

国指定史跡

白鳥館遺跡第9次～第15次発掘調査報告書

— 遺構・遺物編 —



遺跡全景（東から）

2017

岩手県奥州市教育委員会

例 言

- 1 本書は岩手県奥州市前沢区字白鳥館・鶴ノ木田・浪洗に所在する白鳥館遺跡の第9次から第15次発掘調査の報告書である。
- 2 白鳥館遺跡第9次から第15次発掘調査は、遺跡の範囲内容確認調査である。
- 3 本事業は文化庁の国庫補助金の交付を受けて実施したものである。
- 4 遺跡略号は、「SR」(SiRotoritate)である。
- 5 発掘調査面積は、約3,514㎡である。
- 6 調査期間は平成22年6月1日～平成29年3月31日である。
- 7 発掘調査は奥州市教育委員会歴史遺産課世界遺産登録推進室が主体となり実施した。
- 8 発掘調査は及川真紀が担当し、庄子とし子、高橋千幸、柴田巳幸、二階堂里絵がこれを補佐した。
- 9 本報告は及川真紀が執筆・編集し、庄子とし子、高橋千幸がこれを補佐した。
- 10 調査については、「平泉遺跡群調査整備指導委員会」から指導を受けたほか、次の方々・機関からご教示・ご協力を賜った。(順不同・敬称略)
浅野晴樹、飯村 均、小野正敏、狭川真一、佐川正敏、鋤柄俊夫、中野晴久、羽柴直人、藤澤良祐、八重樫忠郎、岩手県教育委員会、白鳥5区の方々
- 11 調査および整理作業の参加者は次の通りである。
阿部国雄、阿部文行、小野チヨミ、佐々木フヨ子、佐々木欣明、佐々木勝郎、佐々木精喜、佐藤義雄、鈴木信吉、鈴木 勇、鈴木 勉、鈴木和一、高橋 宏、千田金次、原田和子、原田利雄、湊 美津子
- 12 本遺跡の出土遺物・資料類は奥州市教育委員会世界遺産登録推進室で保管している。
- 13 白鳥館遺跡第9次から第14次発掘調査成果については、調査次ごとに刊行した発掘調査概要報告書に掲載してきたが、本書の内容が優先する。

凡 例

- 1 本書中で使用する座標値は、日本測地系の座標値である。
- 2 図中の方位は、平面直角座標第X系の座標北を示す。
- 3 図版、写真図版、遺物観察表の遺物番号は共通である。
- 4 本書に掲載している図の縮尺は、図に示したスケールのとおりである。
- 5 遺物写真の縮尺は不定である。
- 6 土層と土器の色調は農林水産省農林水産技術会議事務局監修『新版標準土色帖』1996年版に拠る。
- 7 土器の胎土は、混和材の色調と粒子の大きさによって区分している。大きさの区分は微砂0.5mm以下、細砂0.5～1mm、粗砂1～2mm、礫2mm以上である。混入の割合は『新版標準土色帖』所載の面積割合を用いている。
- 8 本書で使用している遺構略号の表す遺構は次のとおりである。
SA塀跡、SB掘立柱建物跡、SD溝跡、SE井戸跡、SF道路状遺構、SH窯跡・炉跡・焼成遺構、SI
竪穴住居跡、SK土坑、SX性格不明遺構
- 9 遺構および調査区名に冠している数字は調査年次である。
- 10 調査区名に使用しているローマ数字およびアルファベットは地区を表す記号である。

目 次

例言

凡例

目次

第1章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境…………… 4

第2節 歴史的環境…………… 6

第2章 調査の経緯と方法…………… 11

第1節 調査の経緯と経過…………… 11

第2節 調査の方法と調査区の設定…………… 11

第3節 基本層序…………… 14

第4節 過去の調査成果…………… 14

第3章 調査成果

第1節 9・10次調査の遺構…………… 17

第2節 11次調査の遺構…………… 36

第3節 12次調査の遺構…………… 42

第4節 13次調査の遺構…………… 54

第5節 14次調査の遺構…………… 66

第6節 15次調査の遺構…………… 72

第7節 9～15次調査の出土遺物…………… 75

報告書抄録…………… 259

挿図目次

第1図 遺跡の位置と周辺の地形……………	5	第33図 11SD52～54……………	106
第2図 周辺の遺跡……………	7	第34図 11SD70・71・102～105・61、Pit……………	107
第3図 近隣の遺跡……………	10	第35図 11次 Pit……………	108
第4図 遺跡全体図……………	12	第36図 12次遺構全体図(1)……………	109
第5図 調査区の位置……………	13	第37図 12次遺構全体図(2)……………	111
第6図 遺構全体図・基本層序図……………	15	第38図 12次調査区全体図……………	113
第7図 9・10次調査区全体図……………	77	第39図 12SB1・2……………	114
第8図 9・10次遺構全体図(1)……………	78	第40図 12SB3～5……………	115
第9図 9・10次遺構全体図(2)……………	79	第41図 12SE4・43・294・151……………	116
第10図 9・10次遺構全体図(3)……………	81	第42図 12SE45・117・134……………	117
第11図 9・10SB1平面図……………	83	第43図 12SE343・346・347……………	118
第12図 9・10SB1セクション図……………	84	第44図 12SE372・375・455・463……………	119
第13図 9・10SB2～4……………	85	第45図 12SE511・514・532……………	120
第14図 9・10SE180・1037・1054・1059……………	86	第46図 12SE525、SH530・145、SK46・48……………	121
第15図 9・10SE1051～1052、SD1049、SK1050……………	87	第47図 12SK102・42・44・10・15・22・20・19・86……………	122
第16図 9・10SH16・80……………	88	第48図 12SK28・38・41・40・79・150・119・510・263…	123
第17図 9・10SH200……………	89	第49図 12SK149・236・513・454・520・521・534・528・	
第18図 9・10SH202・231・373・374……………	90	529・SD……………	124
第19図 9・10SK33・378・201・423・4・6・43・53・54……………	91	第50図 12次 Pit(1)……………	125
第20図 9・10SK137・138・140・320・128・130・379・319・12…	92	第51図 12次 Pit(2)……………	126
第21図 9・10SD249、SK255・11・250・5・13・18……………	93	第52図 13次遺構全体図……………	127
第22図 9・10SK41・50・77・82・106・233・60・196・197・		第53図 13次調査区全体図……………	129
445、P125……………	94	第54図 13SB1・2……………	130
第23図 9・10SK1017・1081・1125・1095、SX190・395……………	95	第55図 13SE4・38・97……………	131
第24図 9・10SD185・310・1006・1020・1022・1023、Pit…	96	第56図 13SE96・127・128……………	132
第25図 11次調査区全体図……………	97	第57図 13SE131・133・166……………	133
第26図 11次遺構全体図(1)……………	98	第58図 13SE161、SK45・70・5……………	134
第27図 11次遺構全体図(2)……………	99	第59図 13SK6・7・10・16・17・19・27・23……………	135
第28図 11SB1～4、SA1平面図……………	101	第60図 13SK33・35・39・60・73・49・52・124……………	136
第29図 11SB1～4、SA1セクション図……………	102	第61図 13SK142・146・165・136・160……………	137
第30図 11SE43・48・50……………	103	第62図 13SK137・164、SD……………	138
第31図 11SE49、SK1……………	104	第63図 13SF1、SD18・28・138～140・37平面図……………	139
第32図 11SK101・106、SD2・55、SF159……………	105	第64図 13SF1、SD18・28・138～140・37セクション図…	140

第65図	13次 Pit (1)	141	第79図	15G4	156
第66図	13次 Pit (2)	142	第80図	15G2・15G5・15G6	157
第67図	14次調査区全体図	143	第81図	9～15次出土遺物 縄文～弥生土器・石器	161
第68図	14次遺構全体図 (1)	144	第82図	9～15次出土遺物 土師器・須恵器 (1)	162
第69図	14次遺構全体図 (2)	145	第83図	9～15次出土遺物 土師器・須恵器 (2)	163
第70図	14SI43	147	第84図	9～15次出土遺物 かわらけ	164
第71図	14SI43、SE1	148	第85図	9～15次出土遺物 国産陶器 (渥美)	165
第72図	14SE12、SK8・62・77・76	149	第86図	9～15次出土遺物 国産陶器 (渥美・常滑)	166
第73図	14SK2・3・25	150	第87図	9～15次出土遺物 国産陶器 (常滑)	167
第74図	14SK34・39・65・66、SD	151	第88図	9～15次出土遺物 国産陶器 (その他)	168
第75図	14SD74・75・67、Pit	152	第89図	9～15次出土遺物 貿易陶磁器 (白磁・青磁)	169
第76図	15次調査区平面図	153	第90図	9～15次出土遺物 貿易陶磁器 (その他)、土製品	170
第77図	15G1	154	第91図	9～15次出土遺物 石製品、銅製品	171
第78図	15G3	155	第92図	9～15次出土遺物 銅製品 (銭)	172

表目次

第1表	周辺の遺跡	9	第9表	縄文・弥生土器観察表	161
第2表	近隣の遺跡	10	第10表	石器観察表	161
第3表	過去の調査成果	14	第11表	土師器・須恵器観察表	173
第4表	9・10次、11次調査 調査柱穴一覧表	108	第12表	かわらけ観察表	173
第5表	12次調査 調査柱穴一覧表	126	第13表	国産陶器観察表	174
第6表	13次調査 調査柱穴一覧表	142	第14表	貿易陶磁器観察表	176
第7表	14次、15次調査 調査柱穴一覧表	152	第15表	土製品・石製品・銅製品観察表	176
第8表	確認遺構一覧表	158	第16表	銭観察表	176

図版目次

図版1	遺跡遠景	177	図版43	13次調査 調査区遠景、全景	219
図版2	遺跡遠景、9・10次調査かわらけ焼成遺構	178	図版44	13次調査 調査区全景、近景、掘立柱建物跡	220
図版3	9・10次調査かわらけ焼成遺構	179	図版45	13次調査 掘立柱建物跡、井戸跡	221
図版4	9・10次調査かわらけ焼成遺構・ 焼成遺構、9～13次出土遺物	180	図版46	13次調査 井戸跡	222
図版5	9・10次調査 調査区遠景、全景	181	図版47	13次調査 井戸跡、方形堅穴遺構、土坑	223
図版6	9・10次調査 調査区近景	182	図版48	13次調査 土坑 (1)	224
図版7	9・10次調査 調査区近景、9・10次調査掘立柱建物跡	183	図版49	13次調査 土坑 (2)	225
図版8	9・10次調査 掘立柱建物跡、井戸跡	184	図版50	13次調査 土坑、道路状遺構・溝跡	226
図版9	9・10次調査 井戸跡、かわらけ焼成遺構、土坑	185	図版51	13次調査 溝跡 (1)	227
図版10	9・10次調査 土坑 (1)	186	図版52	13次調査 溝跡 (2)	228
図版11	9・10次調査 土坑 (2)	187	図版53	13次調査 掘立柱建物跡柱穴 (1)	229
図版12	9・10次調査 土坑 (3)	188	図版54	13次調査 掘立柱建物跡柱穴、その他柱穴	230
図版13	9・10次調査 土坑、性格不明遺構	189	図版55	13次調査 その他柱穴、遺物出土状況	231
図版14	9・10次調査 性格不明遺構、溝跡	190	図版56	14次調査 調査区遠景、全景	232
図版15	9・10次調査 掘立柱建物跡柱穴 (1)	191	図版57	14次調査 調査区全景、近景	233
図版16	9・10次調査 掘立柱建物跡柱穴 (2)	192	図版58	14次調査 調査区近景、堅穴住居跡	234
図版17	9・10次調査 掘立柱建物跡柱穴 (3)	193	図版59	14次調査 堅穴住居跡、井戸跡、土坑	235
図版18	9・10次調査 掘立柱建物跡柱穴、その他柱穴	194	図版60	14次調査 土坑	236
図版19	11次調査 調査区遠景、全景	195	図版61	14次調査 土坑、溝跡	237
図版20	11次調査 調査区全景	196	図版62	14次調査 溝跡、柱穴	238
図版21	11次調査 調査区近景、掘立柱建物跡	197	図版63	15次調査 調査区近景	239
図版22	11次調査 井戸跡、土坑	198	図版64	15次調査 調査区近景、土坑、溝跡	240
図版23	11次調査 土坑、道路状遺構・溝跡	199	図版65	出土遺物 縄文～弥生土器・石器、須恵器	241
図版24	11次調査 溝跡	200	図版66	出土遺物 土師器・須恵器 (1)	242
図版25	11次調査 溝跡、畝状遺構	201	図版67	出土遺物 土師器・須恵器 (2)	243
図版26	11次調査 掘立柱建物跡柱穴 (1)	202	図版68	出土遺物 かわらけ (1)	244
図版27	11次調査 掘立柱建物跡柱穴 (2)	203	図版69	出土遺物 かわらけ (2)	245
図版28	11次調査 掘立柱建物跡・堀跡柱穴、その他柱穴	204	図版70	出土遺物 貿易陶磁器 (白磁)	246
図版29	12次調査 調査区遠景、全景	205	図版71	出土遺物 貿易陶磁器 (青磁) (1)	247
図版30	12次調査 調査区近景、井戸跡	206	図版72	出土遺物 貿易陶磁器 (青磁) (2)	248
図版31	12次調査 井戸跡 (1)	207	図版73	出土遺物 貿易陶磁器 (青白磁、褐釉陶器、緑釉陶器)	249
図版32	12次調査 井戸跡 (2)	208	図版74	出土遺物 国産陶器 (渥美)	250
図版33	12次調査 井戸跡 (3)	209	図版75	出土遺物 国産陶器 (渥美・常滑)	251
図版34	12次調査 井戸跡、鍛冶炉跡、焼成遺構、土坑	210	図版76	出土遺物 国産陶器 (常滑)	252
図版35	12次調査 土坑 (1)	211	図版77	出土遺物 国産陶器 (常滑・その他)	253
図版36	12次調査 土坑 (2)	212	図版78	出土遺物 国産陶器 (瀬戸)、土製品	254
図版37	12次調査 土坑 (3)	213	図版79	出土遺物 石製品	255
図版38	12次調査 溝跡	214	図版80	出土遺物 石製品、銅製品	256
図版39	12次調査 掘立柱建物跡柱穴 (1)	215	図版81	出土遺物 銅製品 (銭)	257
図版40	12次調査 掘立柱建物跡柱穴 (2)	216	図版82	出土遺物 銅製品 (銭)、その他	258
図版41	12次調査 掘立柱建物跡柱穴、その他柱穴	217			
図版42	12次調査 その他柱穴、遺物出土状況	218			

第1章 遺跡の位置と環境

第1節 地理的環境

概要 本遺跡は岩手県奥州市前沢区字白鳥館に所在する。遺跡は、岩手県奥州市前沢区の南部、白鳥地区にあり、JR東北線沿いに位置する。岩手県のほぼ中央を流れる北上川の西岸、衣川区付近を東西に延びる長根丘陵が北上川に突出した地点に白鳥館遺跡がある。

水系 白鳥館遺跡の東約1kmを流れる北上川は、約150km上流の岩手県北部の七時雨山に源を発し、各地で支流を合流しながら南へ流れ、岩手－宮城県境の狐禅寺峡谷を貫流して、約100km下流の宮城県石巻市の追波湾に注ぐ。白鳥館遺跡付近は、現在の北上川河口から約100km上流にあり、総延長250kmの北上川のほぼ中間地点に位置する。遺跡の北西には、胆沢扇状地を水源とする白鳥川が西から東へ流れ、遺跡の北西約500mの地点で北上川と合流する。

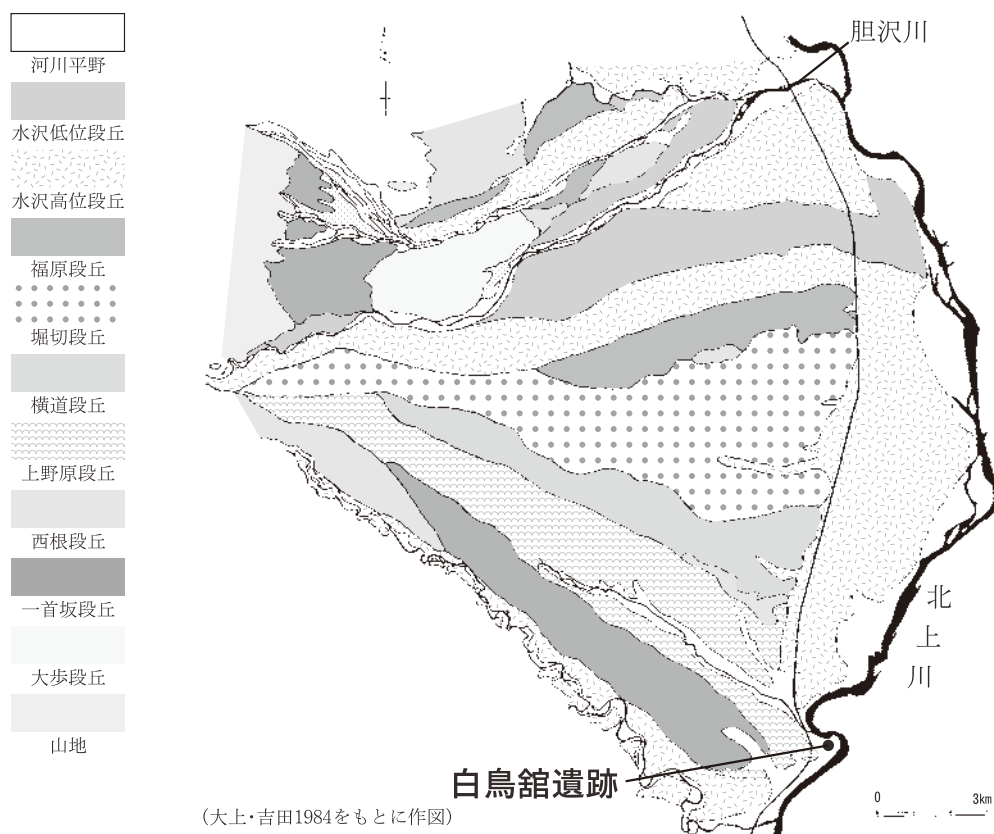
地形 白鳥館遺跡は、焼石岳（1,548m）駒ヶ岳山（1,130m）をはじめとする焼石連峰に源を発する胆沢川が、流路を北方に遷移させながら形成した扇状地である胆沢扇状地の最南端に位置する。胆沢扇状地は高位の面から上野原、横道、堀切、福原、水沢の各段丘に区分されるが、一首坂段丘は、上野原面より古期の形成とされる。遺跡と対岸の平泉町月館付近の表層地質は、先第三系火山岩類の輝緑岩である。長根丘陵は、奥州市胆沢区小山から北上川西岸に至る東西約20kmの尾根状の丘陵で、南側は衣川、北側が白鳥川・徳沢川によって開析される。これら河川沿いは谷底平野となり、小規模な河岸段丘が形成されている。白鳥川南岸には、胆沢台地の上野原面に対比される平坦面が断続的に見られ、前沢区字谷記田付近まで続く。胆沢台地から東は、比高差50mの段丘崖を経て下位の段丘面となり、北上川沿岸低地帯に至る。下位の段丘面と北上川沿岸低地帯との比高は1m以下で、景観的にはほぼ連続した沖積平野として認識される。従って、遺跡から北を望む景観は、広大かつ肥沃な沖積平野が、足下からはるか北まで連続する風景として捉えられる。

交通 白鳥地区は、胆沢台地から東流する白鳥川流域にあり、胆沢台地から北上川までの間を横断して東西に細長く延びる。そのため、北上川沿いに南北を往来する主要な交通路は、全て白鳥地区を縦断している。胆沢台地段丘崖付近には、国道4号線と東北縦貫自動車道が近接して南北に走り、北上川沿いにはJR東北線が縦走する。JR東北線は、前沢－平泉町境で丘陵を迂回するために東に向きを変え、白鳥地区鶯ノ木付近でトンネルを通過して西からやがて北方向へ走行する（第2図）。また、遺跡の南方には、箱石橋を渡り東山と平泉・衣川・前沢を東西に結ぶ県道長坂・東稲・前沢線が東西に延びている。橋が架橋される以前、昭和30年ごろまでは船による渡しが行われていたという。

白鳥館と区内を結ぶ東西に延びる町道は、明治18年（1885）に奥州街道から切り替えられた旧陸羽街道である。旧陸羽街道は、平泉からJR東北線のルートとほぼ並走して北上していたが、川が近くたびたび冠水するため、昭和6年（1931）、現在の国道4号線のルートに変更された。

近世期の奥州街道は、衣川日向地内から現在の東北縦貫自動車道のルートを北上し、白鳥神社付近で現在の県道前沢馬口沢線と合流、前沢区の旧市街地を通過して水沢方面へ向かう。現在も前沢町徳沢地内には道路跡があり、奥州街道の名残を留める。

遺跡周辺の地理的環境 白鳥館遺跡は、北上川と白鳥川の合流点の南東、平泉町と奥州市を隔てる段丘が北上川に半島状に突き出た標高42mの丘陵と標高25m前後の微高地上にある。遺跡の北側で大きく蛇行する北上川は、遺跡の北から東側を取り巻くように、およそ270°の角度でめぐり、遺跡東側と対岸にの間の小峡谷を経て平泉方面へと南流する。遺跡付近は丘陵が川に突出する地形から、近世期以降は「蛇の鼻」ともいわれた。



第1図 遺跡の位置と周辺の地形

遺跡北西の北上川の大規模な蛇行部は、元禄12年（1699）作成の下胆沢郡絵図には見えず、北上川は白鳥館遺跡の北を直流するように描かれている。天保11年（1840）には館跡対岸の沖積地で、前沢村と赤生津村境に新川を開削し、河道の切り替えを実施したが、13年後の嘉永6年（1853）には施工の不備と洪水によって再び元の河道に戻ったという。（東北地方建設局岩手工事事務所編1977「北上川」）。このことから、現在、白鳥館遺跡の北西側にある大規模な北上川の蛇行部は、元禄12年（1699）～天保11年（1840）の間に生じたもので、おおむね18世紀前半頃に固定したものと推定される。

遺跡付近は川が大きく蛇行するうえ、河床にも岩が露出しているため、近世においては、舟運の難所としても知られていた。船の難破により溺死者や積荷の被害がたびたびあった一方で、北上川の蛇行と河畔にそそり立つ岩壁の景観から景勝地としても認識されていた。

遺跡は、箱石橋付近から北上川まで、南北約800m、東西400mの規模を持ち、標高42mの丘陵と標高25m前後の低地からなる。丘陵部の平坦面については、北から本丸・二の丸・三の丸という俗称で呼称されている。伝本丸跡は先端部の約2／3が欠損しているが、これは昭和30年代から40年代にかけての碎石採取によって削り取られたものである。また、遺跡南西部の低地部には、遺跡からJR東北本線の鉄橋まで小堤防が築かれている。現在、遺跡は、山林、宅地、畑地、水田として土地利用されている。戸数は13戸で、近世初期あるいはそれ以前からの居住を伝える家が多い。近世初期の居住は、屋敷内の墓地の墓石の形状・年号などから裏付けられ、この地区の開発の古さを窺わせる。地区内には住民の氏神として、白山神社、熊野神社、三寶荒神の3つの社が祀られている。

第2節 歴史的環境

概要 白鳥館遺跡は、縄文、弥生後期と平安、中世の遺跡である。10世紀ごろに土地利用が始まり、12～15世紀には手工業生産を伴う流通拠点として機能したとみられ、14世紀後半ごろには丘陵に城館が築かれる。15世紀後半には城館が廃絶、江戸時代には百姓の屋敷地あるいは農地・山林となった。

1 周辺の遺跡（第1図・第2図 第1表・第2表）

弥生時代 白鳥館遺跡では、弥生時代後期の遺物が出土している。白鳥館遺跡の対岸に位置する里遺跡でも同時期の遺物が出土しており、北上川沿岸における弥生時代後期の土地利用を示すものとして注目される。このほか周辺では、高位段丘にある明後沢遺跡で弥生後期の土器が出土している。

平安時代 白鳥館遺跡は、9世紀後半～10世紀には利用されていることが明らかとなっている。周辺の平安時代の遺跡は、衣関遺跡や新城Ⅰ遺跡、照井館遺跡など、白鳥川下流域に比較的多くの遺跡が分布している。現在のところ上流域には平安時代の遺跡が確認されていない。下流域の遺跡のうち衣関遺跡では、10世紀初頭と10世紀第4四半期ごろの竪穴住居跡が出土している。

11世紀の遺跡については、鳥海柵の擬定地である金ヶ崎町西根遺跡、衣川区長者ヶ原廃寺跡以外には、近隣に確認例がない。北上市では白山廃寺跡、黒岩城跡、国見山廃寺跡などから11世紀の土器が出土している。このうち白山廃寺跡は11世紀の寺院跡と推定される遺跡である。

12世紀の遺跡は、遺跡の南3.7kmにある柳の御所遺跡を中心に、平泉町中心部に濃密に分布するが、その範囲を過ぎると遺跡数はずっと少なくなる。平泉縁辺の遺跡としては、白鳥館遺跡のほか、衣川北岸と北上川東岸の遺跡があり、さらにその外周域には前沢区古城地区、前沢区白山地区、水沢区杉の堂地区、胆沢区南都田地区などに遺跡のまとまりがみられる。白鳥館遺跡の対岸に所在する月館遺跡では、12世紀とされる石造の伝教大師像や、経塚2基、平泉型宝塔3基、永仁2年（1294）、弘安6年（1283）の年号を持つ板碑などが確認されており、月館遺跡の周辺が12世紀から中世にかけて、聖地的な空間として認識されていたことが窺える。月館遺跡に聖地が成立した背景には、月館から



第2図 周辺の遺跡

白鳥館にかけての北上川狹隘部一帯が、河川交通の要衝地であったことと関わる可能性が高い。

中世 白鳥館遺跡の周辺では、およそ90箇所の中世城館が遺跡登録されている。このうち、15箇所の館跡については発掘調査等で年代が確認されている。時期的には16世紀代の城館が多く、寺ノ上遺跡、西館遺跡、猪岡館（東城）、東館Ⅱ遺跡などがある。白鳥館遺跡と同じ15世紀代の城館としては、前沢区東館遺跡、八郎館遺跡、水沢区白井坂Ⅰ・Ⅱ（お伊勢館跡）遺跡、仙人西遺跡、金ヶ崎町松本館跡が知られる。14世紀代の城館は少なく、田高Ⅱ遺跡と、古館遺跡でこの時期の遺物が出土している。近世 江戸時代には石巻から盛岡を結ぶ北上川舟運の川湊が整備され、石艦が停泊した。白鳥館遺跡近隣では、平泉（平泉町）、大曲（前沢区）、黒石、跡呂井、下川原（奥州市水沢区）に川湊があるが、これまでに調査された例はない。川湊の付近に設置された上納米および買米を収納貯蔵した御蔵については、川岸場Ⅱ遺跡、跡呂井御蔵場・町屋敷遺跡（瀬田野御蔵・跡呂井御蔵の前身）、柳之御所跡などの調査例があり、土蔵と推定される建物跡なども確認されている。

歴史的背景 白鳥館遺跡は、平安時代末期の豪族である安倍頼時の八男、白鳥八郎行任（または則任）の城といわれ、安倍氏が前九年合戦（1051～62）で源頼義・義家父子に敗れて滅亡した後、室町時代後半には白鳥氏が居城したとされる。

白鳥館の所在する白鳥地区は、10世紀前半に成立したとされる『延喜式』と『和名類聚抄』に見える「白鳥」の遺称地とされる。『和名類聚抄』には胆沢郡の郷名のひとつに白鳥が見え、『延喜式』には陸奥国駅馬として「白鳥駅」が置かれていたと記される。

前九年合戦の顛末を記した『陸奥話記』には、康平5年（1062）、衣川関の陥落に成功した源氏軍が胆沢郡白鳥村に入り、大麻生野（前沢区白山）と瀬原柵へと進軍したことが記される。また、後三年合戦を記した『奥州後三年記』には、永保3年（1083）、清原真衡の館の襲撃を企てた藤原清衡とその弟である清原家衡が、その道すがら白鳥村在家400余家を焼き払ったことが見える。これらの記述から、白鳥村は古代以来、11世紀においても南北を往来する主要道の通過点であり、古代・中世においては経済・軍事上の重要拠点であったと考えられる。現在、「白鳥村在家400戸」の所在地は未確定だが、白鳥川下流域には、衣関遺跡、新城遺跡など平安時代の遺跡が濃密に分布しており、これらの遺跡が「在家400戸」に該当する可能性が高い。

12世紀以降、中世前期における白鳥地区の様相は詳らかでないが、近世の地誌では、本遺跡の西1.5kmに所在する照井館遺跡が「泰衡家臣の照井氏の館跡」であり、白鳥館地区に隣接する鵜ノ木地内には衣関があったと伝える。衣関については、近世初期の成立とされる中尊寺利生院の『平泉古図』や、天明6年（1786）の菅江真澄の『はしわのわかば』等に記載が見える。なお、中世後期には、16世紀中葉以後の葛西氏の知行状に白鳥村の名がたびたび現れる。

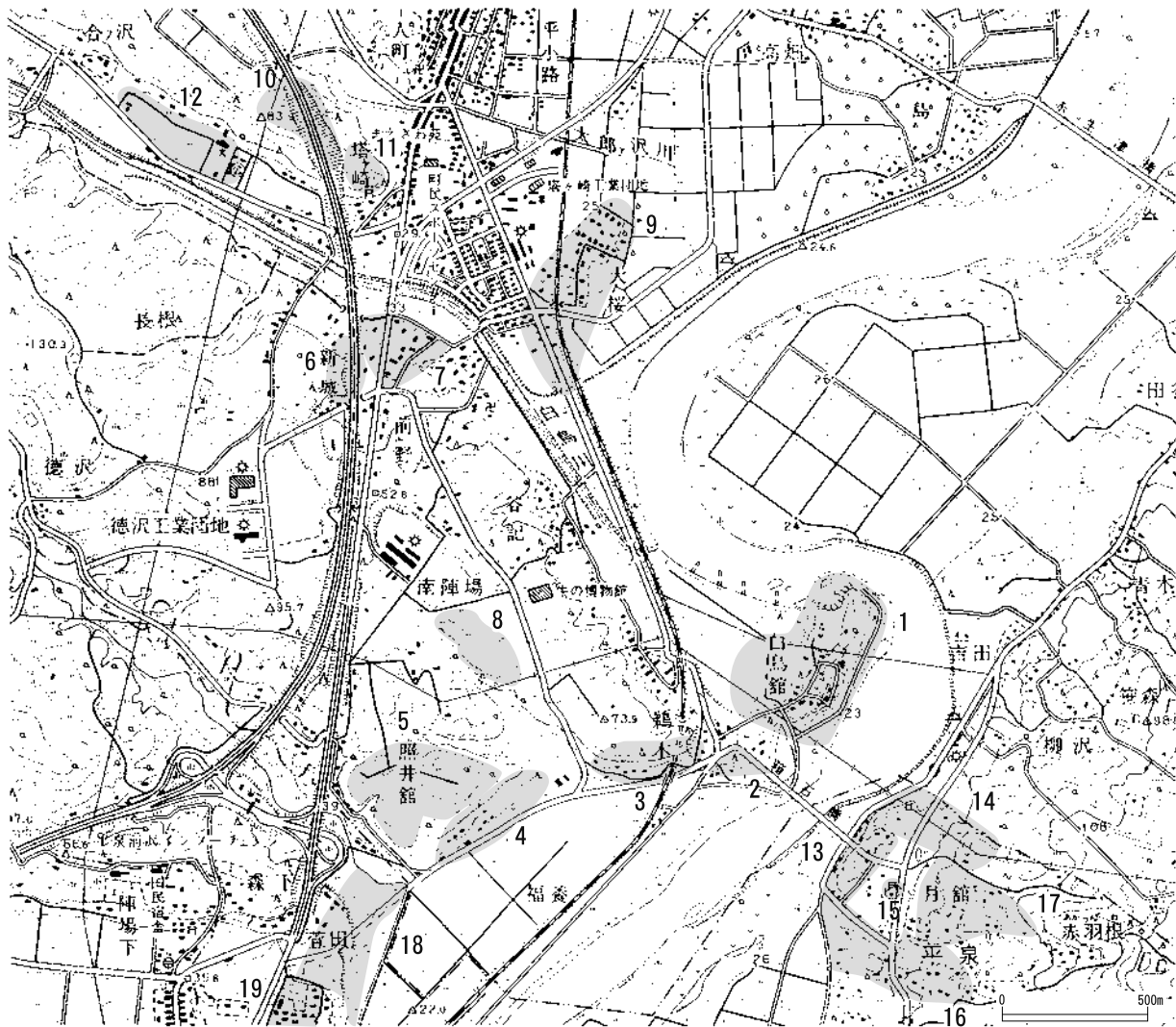
「白鳥館」あるいは「白鳥城」という名称は、延宝年間（1673～1681）に書かれた『仙台領古城書上』が初出である。この中に「胆沢郡白鳥村 山 白鳥城（中略）城主貞任弟白鳥八郎阿部行任」と見え、江戸時代前期には安倍氏の館跡と伝えられていたことがわかる。これ以降に書かれた『奥羽観蹟聞老志』（享保4年・1719）、『封内名蹟志』（安永元年・1772）、『白鳥村風土記書上』（安永6年・1777）等の地誌にも安倍氏の館との伝承が記載されている。安倍氏以降の城主については、『奥羽観蹟聞老志』、『封内名蹟志』、『白鳥村風土記書上』等の江戸時代の地誌では、白鳥治部少輔、岩渕伊賀守の名前を挙げている。中世文書では『熊野速玉神社奉加帳』に「白鳥 前飛驒守重□」が見えるが、本遺跡との関連は不明である。

なお、遺跡名称については、史料に見える城館名が「白鳥館」「白鳥城」など一定していないことから、遺跡所在地の字名である「白鳥館」を冠して遺跡名としている。

第1表 周辺の遺跡

番号	遺跡名	所在地	時期・性格
1	白鳥館	前沢区 字白鳥館	弥生後期、10～15c、 中世城館15c
2	徳沢一里塚	前沢区 字徳沢	近世一里塚
3	目呂木本杉	前沢区 字本杉	10c集落
4	六本松館	前沢区 字六本松	中世城館
5	大林寺跡	前沢区 字箕輪	中世寺院
6	青木	前沢区 生母字青木・ 吉ヶ沢	縄文後晩期
7	上水	前沢区 生母字上水・吉 田	縄文後期
8	古館	前沢区 生母字剣林	中世城館
9	東館(赤生津城)	前沢区 生母字斉田	中世城館15c
10	西館	前沢区 生母字西館	中世城館16c
11	前沢城	前沢区 字陣場	中世城館
12	明後沢	前沢区 古城字明後沢	古瓦出土地
13	幅	前沢区 古城字幅	縄文、弥生後期、 9～10c集落 (粘土採掘穴)、 12c
14	熊野	前沢区 古城字幅	
15	前堀	前沢区 古城字前堀	
16	鳥子沢	前沢区 古城字鳥子沢	
17	宗角館	前沢区 古城字姥沢	
18	八郎館	前沢区 古城字高代寺	中世城館15c
19	九郎館	前沢区 古城字南上野	中世城館16c
20	古城外ヶ沢	前沢区 古城字外ヶ沢	縄文前・晩期
21	寺ノ上	前沢区 古城字寺ノ上	中世城館16c
22	寺ノ上経塚	前沢区 古城字寺ノ上	12c経塚
23	古城上野	前沢区 古城字寺領上野	縄文中期、平安
24	中畑城(櫻山城)	前沢区 古城字水沖西	中世城館16c
25	川岸場Ⅰ・Ⅱ	前沢区 白山字川岸場	縄文晩期、平安、 近世蔵場
26	田高Ⅱ	前沢区 白山字田高	縄文中期、14c方形館
27	内屋敷	前沢区 白山字内屋敷	平安
28	八幡	前沢区 白山字八幡	縄文晩期
29	桧葉田	前沢区 白山字桧葉田	中近世
30	五輪経塚	前沢区 白山字籠林	12c経塚
31	養ヶ森	前沢区 字養ヶ森	平安
32	登満羽毛経塚	前沢区 生母字壇ノ腰	12c経塚カ
33	生母長根Ⅱ	前沢区 生母字長根	12c経塚カ
34	経塚山	前沢区 生母字二子	12c経塚カ
35	上麻生城	前沢区 白山字館	中世城館
36	六日入城	前沢区 白山字古館	中世城館
37	水ノ口	前沢区 白山字水ノ口	平安集落
38	北館	衣川区 下衣川字横道下	縄文中期、中世
39	小松柵(小松館)	衣川区 下衣川字横道下	平安カ
40	館代館(楯代館)	衣川区 下衣川字館城	中世城館
41	接待館	衣川区 下衣川字 七日市場	12c
42	長者ヶ原廃寺	衣川区 下衣川字田中西	11c寺院
43	石倉・東裏	衣川区 下衣川字東裏	縄文晩期
44	枅形森陣場(陣 場館)	衣川区 下衣川字日向	平安カ
45	古館	衣川区 上衣川字古戸	中世城館
46	安倍新城	衣川区 上衣川字石神	中世城館16c
47	本町	平泉町 長島字本町	10～15c墓
48	矢崎Ⅰ	平泉町 長島字若宮	縄文後期、平安、 近世
49	館岡	平泉町 長島字館岡	中世城館
50	小島館(古館)	平泉町 長島字古館	中世城館
51	猪岡館(東城)	平泉町 長島字須崎	中世城館16c
52	長部館(中館)	平泉町 長島字滝ノ沢	中世城館
53	中村Ⅰ	平泉町 長島字中村	縄文晩期
54	二反田Ⅰ(内館)	平泉町 長島字二反田	中世城館
55	里	平泉町 長島字里	弥生後期、10～12c
56	道綱館(西館)	平泉町 長島字竜ヶ坂	中世城館
57	中尊寺	平泉町 平泉字衣閭	12c～寺院
58	衣閭	平泉町 平泉字衣閭	12c
59	柳之御所	平泉町 平泉字柳ノ御所	12c居館
60	高館(衣河館)	平泉町 平泉字柳御所	12c～15c、 中世城館15c
61	猫間ヶ淵	平泉町 平泉字柳御所	12c
62	伽羅之御所	平泉町 平泉字伽羅楽	12c
63	金鷄山	平泉町 平泉字花立	12c経塚

番号	遺跡名	所在地	時期・性格
64	無量光院	平泉町 平泉字花立	12c寺院
65	白山社	平泉町 平泉字鈴沢	12c～神社
66	鈴沢の池	平泉町 平泉字鈴沢	12c
67	志羅山	平泉町 平泉字志羅山	12c
68	花立Ⅰ	平泉町 平泉字花立	12c
69	花立Ⅱ	平泉町 平泉字花立	12c
70	倉町	平泉町 平泉字倉町	12c
71	国衡館	平泉町 平泉字倉町	12c
72	大沢	平泉町 平泉字大沢	縄文早～晩期
73	毛越寺	平泉町 平泉字大沢	12c～寺院
74	観自在王院	平泉町 平泉字志羅山	12c寺院
75	泉屋	平泉町 平泉字泉屋	12c
76	祇園Ⅰ	平泉町 平泉字祇園	12c
77	高玉	平泉町 平泉字高玉	12c、近世
78	高田	平泉町 平泉字高田	12c
79	新城館	平泉町 平泉字高田前	中世城館
80	佐野	平泉町 平泉字佐野	近世
81	佐野原	平泉町 平泉字佐野原	縄文早～晩期
82	三日町Ⅲ	平泉町 平泉字三日町	12c
83	三日町Ⅱ	平泉町 平泉字三日町	12c
84	宿	平泉町 平泉字宿	12c
85	鳥屋崎館	平泉町 平泉字小金沢	中世城館
86	鶴ヶ館(古館)	平泉町 平泉字南郷	中世城館
87	大仏館	平泉町 平泉字樋ノ沢	中世城館
88	片岡Ⅱ	平泉町 平泉字片岡	12c
89	片岡Ⅰ	平泉町 平泉字片岡	中世城館
90	黒沢館	平泉町 平泉字片岡	中世城館
91	毛越Ⅱ	平泉町 平泉字毛越	12c
92	毛越Ⅴ	平泉町 平泉字毛越	12c
93	毛越Ⅵ	平泉町 平泉字毛越	12c
94	毛越Ⅰ	平泉町 平泉字毛越	12c
95	安土城(日向館)	平泉町 平泉字要害	中世城館
96	北野Ⅳ	水沢区 真城字北野	平安
97	外浦洗田	水沢区 羽田町字外浦	9c須恵器窯
98	北鶴ノ木	水沢区 羽田町字北鶴ノ 木	9c須恵器工房
99	鶴ノ木館	水沢区 黒石町字鶴ノ木	中世城館
100	下柳館(下谷木 館)	水沢区 黒石町字下柳	中世城館
101	柳沢館	水沢区 黒石町字柳沢	中世城館
102	上姉体城(館)	水沢区 姉体町字寺田	中世城館
103	林前南館	水沢区 姉体町字林前	平安、中世方形館
104	見分森	水沢区 字見分森	9c須恵器窯
105	龍ヶ馬場	水沢区 字龍ヶ馬場	平安
106	下植田	水沢区 真城字下植田	平安、近世
107	館(中野館)	水沢区 真城字館	中世城館
108	熊之堂	水沢区 真城字熊ノ堂	縄文中～晩期、 8c集落
109	林前Ⅰ	水沢区 真城字迎畑	平安集落
110	高根Ⅰ(砂川)	水沢区 真城字高根・砂 川	平安集落
111	堤尻館(堤尻沢 館)	水沢区 真城字大壇	中世城館
112	谷地	水沢区 真城字谷地	中世城館
113	寺ヶ前Ⅲ	水沢区 真城字谷地田	平安、中近世
114	中平館	水沢区 真城字中平	平安、近世
115	中林A	水沢区 真城字中林	縄文中期、中世
116	中林B	水沢区 真城字中林	平安集落
117	町屋敷(瀬台野 館)	水沢区 真城字町屋敷	近世蔵場
118	栗林	水沢区 真城字八反町	近世屋敷
119	要害	水沢区 真城字要害	中世城館
120	漆町	胆沢区 南都田字漆町	弥生後期、12c
121	二本木	胆沢区 南都田字清水下	8c集落、12c
122	塚田	胆沢区 南都田字塚田	8c集落、12c
123	国分	胆沢区 南都田字国分	17c居館
124	尼坂	胆沢区 南都田字尼坂	縄文早期、平安
125	濁川	胆沢区 南都田字濁川	縄文、平安
126	小山方八丁館	胆沢区 小山字方八丁	中世城館カ



第3図 近隣の遺跡

第2表 近隣の遺跡

番号	遺跡名	所在地	時期・性格	文献
1	白鳥館	前沢区 字白鳥館	平成15年からの調査で平安10cの集落、11cの包含層、12～14cの掘立柱建物跡など、14c後半～15cの城館（堀・整地層・柱穴）、16cの墓坑などを確認。	金丸1999、及川真2005～2009
2	鶴ノ木	前沢区 字鶴ノ木	長根丘陵の頂部から斜面に位置する。平成19年の発掘調査で、後期旧石器ブロック3箇所と、縄文早期後半～晩期前葉、弥生後期、奈良・平安時代の遺物が出土。	北村ほか2009
3	衣関	前沢区 字衣関	長根丘陵の南斜面に位置する。平成12年の発掘調査で、平安9c～10c末の堅穴住居跡が3棟を確認。遺跡全域に土師器・須恵器が分布することから斜面地に立地する集落遺跡と推定される。	及川真・小野寺1999
4	小沢口	前沢区 字小沢口・照井館	衣関遺跡の西に連続する丘陵の斜面地で、須恵器・土師器が採集される。衣関遺跡と一体の遺跡である可能性大。	及川真・小野寺1999
5	照井館	前沢区 字照井館	長根丘陵上の平坦地にある遺跡で、昭和40年代の耕地整理時に縄文早期末・前期（大木1～2b）、弥生（谷起島・天王山）が大量に採集されている。須恵器・土師器も若干量ある。近世地誌類には、藤原秀衡の家臣照井氏の陣場跡とある。現状は耕地整理により城館遺構は全く確認できないが、耕地整理以前は堀跡が見られたらしい。	狩野・小平1980
6	新城Ⅰ	前沢区 字新城	白鳥川南岸の河岸段丘上に立地する遺跡。昭和48年、東北縦貫道に伴う発掘調査で縄文前期・中期、土師器・須恵器が出土。遺構は確認されていないが、平安時代の土器は比較的多く、9～11世紀代の可能性あり。近世地誌類には城館として記載があるが、時期・城主等詳細は全く不明である。現地は改変著しく城館の遺構は確認できない。	及川真・小野寺1999
7	新城Ⅱ	前沢区 字新城	河岸段丘の平坦面で土師器・須恵器が採集される。新城Ⅰ遺跡と一体の遺跡か。	及川真・小野寺1999
8	南陣場	前沢区 字南陣場	長根丘陵上に立地。昭和40年代の耕地整理時に縄文早期末、弥生土器、須恵器・土師器が大量に採集されている。照井館遺跡と一体の遺跡と推定。以前に鉄鐘らしきものが出土したというが、遺物は所在不明。	法政大学1990・1996
9	大桜	前沢区 字大桜・屋敷・赤面・里	北上川西岸の沖積地に立地する。平成4年は場整備に伴う発掘調査で、平安9c前～10c代の堅穴住居跡4棟と12cの墓壙を確認。大規模な集落遺跡と予想される。	小田野・熊谷・中村1994・1995
10	泊ヶ崎	前沢区 字泊ヶ崎	尾根の先端部にある遺跡で、昭和48年の東方縦貫道に伴う発掘調査により縄文中期（大木8）、弥生（谷起島・天王山）、平安10cの土器が出土。遺構は確認されていない。平安の遺物は少ないが、完形に復元される須恵器の短頸壺が2点出土。隣接する塔ヶ崎遺跡との関連か。	狩野・小平1980
11	塔ヶ崎	前沢区 字合ノ沢・泊ヶ崎	尾根の先端部の平場に礎石がある。近世地誌類には「三重塔」があったと記されるが、年代等詳細は不明。	及川真・小野寺1999
12	合ノ沢A	前沢区 字合ノ沢	白鳥川北岸の河岸段丘の平坦面で、縄文中期（大木8）土師器・須恵器が採集される。	及川真・小野寺1999
13	月館Ⅰ	平泉町 長島字月館	北上川東岸の東稲山麓丘陵の端部に立地する。平成5年の個人住宅工事に伴う発掘調査で、平安12cかわらけ、12c以後の土坑を確認。	及川司1994
14	月館Ⅱ（築館）	平泉町 長島字月館	月館Ⅰに隣接する主郭、堀、土塁が確認される中世城館であるが、平成5年の調査では遺構面は削平を受けていた。近世地誌類は及川雅楽亮が城主と伝える。地内には経塚、平泉型宝塔、13cの板碑なども所在する。	八重樫1994
15	月館大師堂（築館）	平泉町 長島字月館	12c前半の石仏が安置されるほか、平泉型宝塔1基、13cの板碑が2基所在する。	金丸・千葉2004
16	新山権現社	平泉町 長島字月館	平成5年の箱石橋架橋関連の発掘調査により、縄文後期前葉～後葉の集落、晩期中葉は墓域であることが判明。僅かではあるが平安12cかわらけ・白磁碗、永楽通宝が出土。	金子昭1993、及川司1994
17	東福寺Ⅰ	平泉町 長島字月館	礎石があり社寺跡と推定されている。	
18	瀬原Ⅰ	平泉町 平泉字瀬原	北上川西岸の河岸段丘上にある。平成3年、県道工事に伴い発掘調査が行われ、弥生後期（天王山）、平安10c後～11c? 堅穴・溝、12c常滑、中世13c青磁碗、近世後期の墓壙が出土。	花坂・溜1997
19	瀬原Ⅱ	平泉町 平泉字瀬原	住宅新築に伴う発掘調査で平安10c土師器・須恵器、12c掘立柱建物跡が出土。	本澤1994

第2章 調査の経緯と方法

第1節 調査の経緯と経過

白鳥館遺跡第9～15次の発掘調査は、遺跡の内容確認を目的として奥州市世界遺産登録推進室が実施した範囲内容確認調査である。

「平泉の文化遺産」の世界遺産登録を目指し、資産候補地を検討していた岩手県教育委員会は、白鳥館遺跡を候補地のひとつに挙げ、遺跡の内容確認調査を平成15年3月に旧前沢町教育委員会に依頼した。旧前沢町教育委員会はこれを受け、平成15年度から遺跡の内容確認を目的とした発掘調査を開始した。平成15～16年度の第2～3次調査の結果を踏まえ、平成16年2月には、文化庁に国指定史跡の申請を行い、平成17年7月14日には「柳之御所・平泉遺跡群」として白鳥館遺跡が国史跡に指定された。また、同月に開催された「平泉の文化遺産」世界遺産登録推薦書作成委員会において白鳥館遺跡が「平泉の文化遺産」の構成資産として正式に認定された。これに伴い史跡見学ルートの明確化や安全対策などの整備が早急に必要と判断されたことから、市では見学者を誘導する遊歩道の整備と、安全柵の設置、案内板の設置、枝打ち・間伐など暫定的な史跡の整備を実施することとした。このため平成18年度には整備に伴う遺構確認と、碎石採取場跡地の遺構状況の確認を目的として第5次調査を実施した。この結果、碎石採取場跡地にも一部遺構が残っていることが確認されたことから、史跡の追加指定がなされた。平成20年度の第7次調査では、史跡範囲外の低地部分に12世紀の遺構が存在することが明らかになった。同年には「平泉－浄土思想を基調とする文化的景観」が世界遺産委員会で審議されたが、登録延期の決議がなされた。平成21年には再推薦を目指すにあたり白鳥館遺跡・長者ヶ原廃寺跡・達谷窟・骨寺村荘園遺跡を構成資産候補から除外し、拡張登録を目指すことが合意された。これに伴い、白鳥館遺跡では第7次調査で確認された12世紀の遺構について、範囲及び内容を確認することを目的に平成21年度から第8～10次の発掘調査を実施した。

平成23年には、再推薦された「平泉－仏国土（浄土）を表す建築・庭園・考古学的遺跡群」が世界遺産委員会で審議され、柳之御所遺跡を除いて世界遺産リストに登載することが決議された。平成24年には「平泉の遺産 拡張」が世界遺産暫定一覧表に記載され、拡張登録に向けた5ヵ年の調査研究を推進することが岩手県、一関市、奥州市、平泉町で申し合わせされた。

白鳥館遺跡においても、拡張登録を目的とした低地の遺構群の範囲内容確認を進めることとし、平成24年度から5ヵ年にわたり第11次～第15次調査を実施し、平成28年度には第9～15次の発掘調査報告書の遺構・遺物編を刊行した。

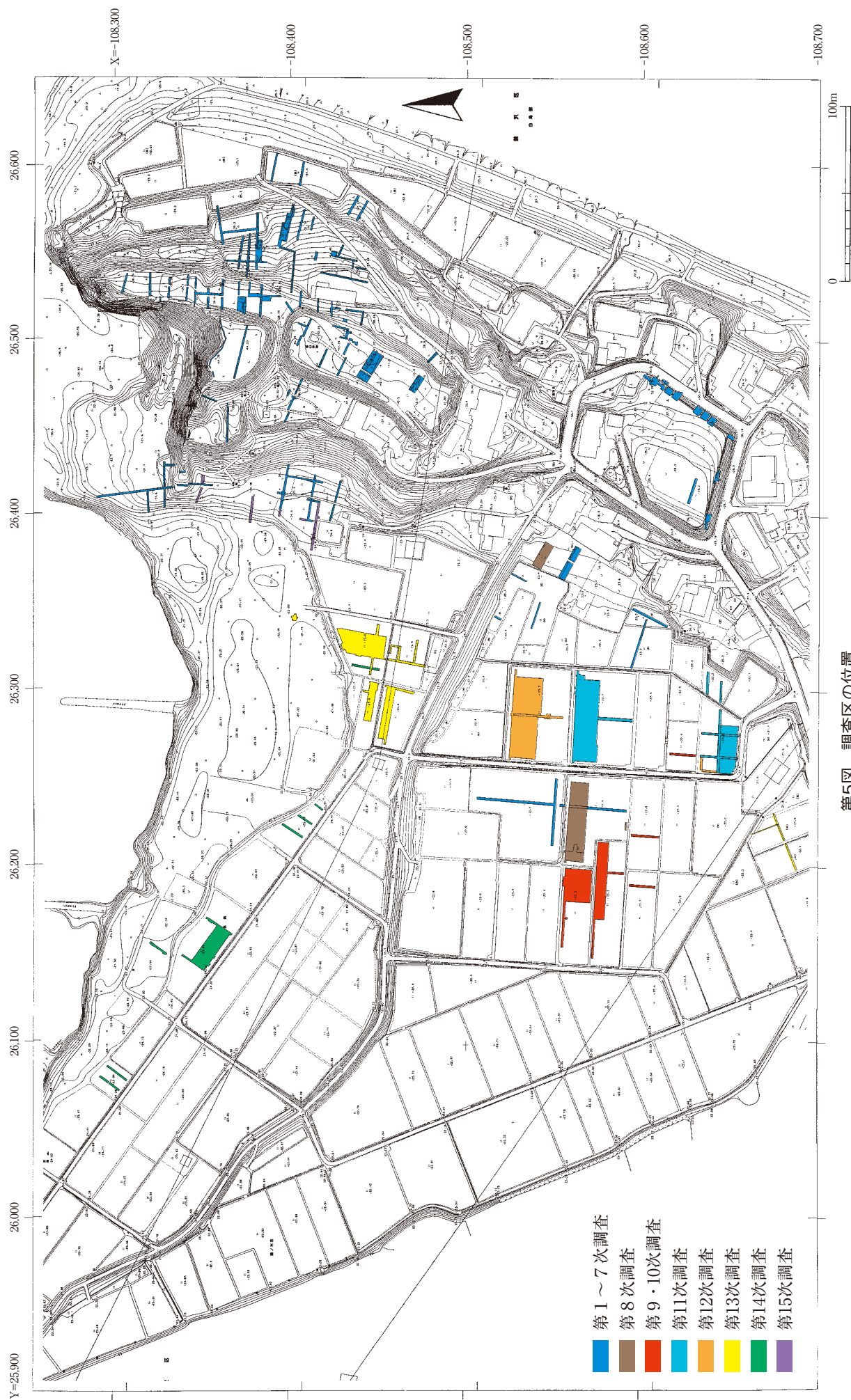
第2節 調査の方法と調査区の設定

発掘調査にあたっては、重機によって表土と近世以降の洪水堆積層であるⅡ層を除去している。基準点と水準点は、2次調査後に設置した4級基準点401（X=-108,361.984 Y=26,531.885 H=38.666）と、遺跡北端部に既設されていた図根点三角点A01001（X=-108,288.268 Y=26,601.271）を基準点とし、国土座標（平面直角座標）第X系のX・Yの座標にのせた測量杭を設置している。遺構は、確認した後SI・SK等の略号（凡例参照）に通し番号の数字を振った。遺構の調査は基本的に半裁によって埋土を確認し、写真撮影・断面図・埋土・平面図を記録した。遺構の測量は光波測量機で行い、簡易遣方測量と平板測量も併用した。写真は35mm、デジタルカメラで撮影した。遺物は調査後、洗浄・出土位置の注記・接合作業を行ったのち実測図化し、写真を撮影した。

調査区については、地形により大区分と細区分を行い、調査区を設定している。



第4図 遺跡全体図



第3節 基本層序

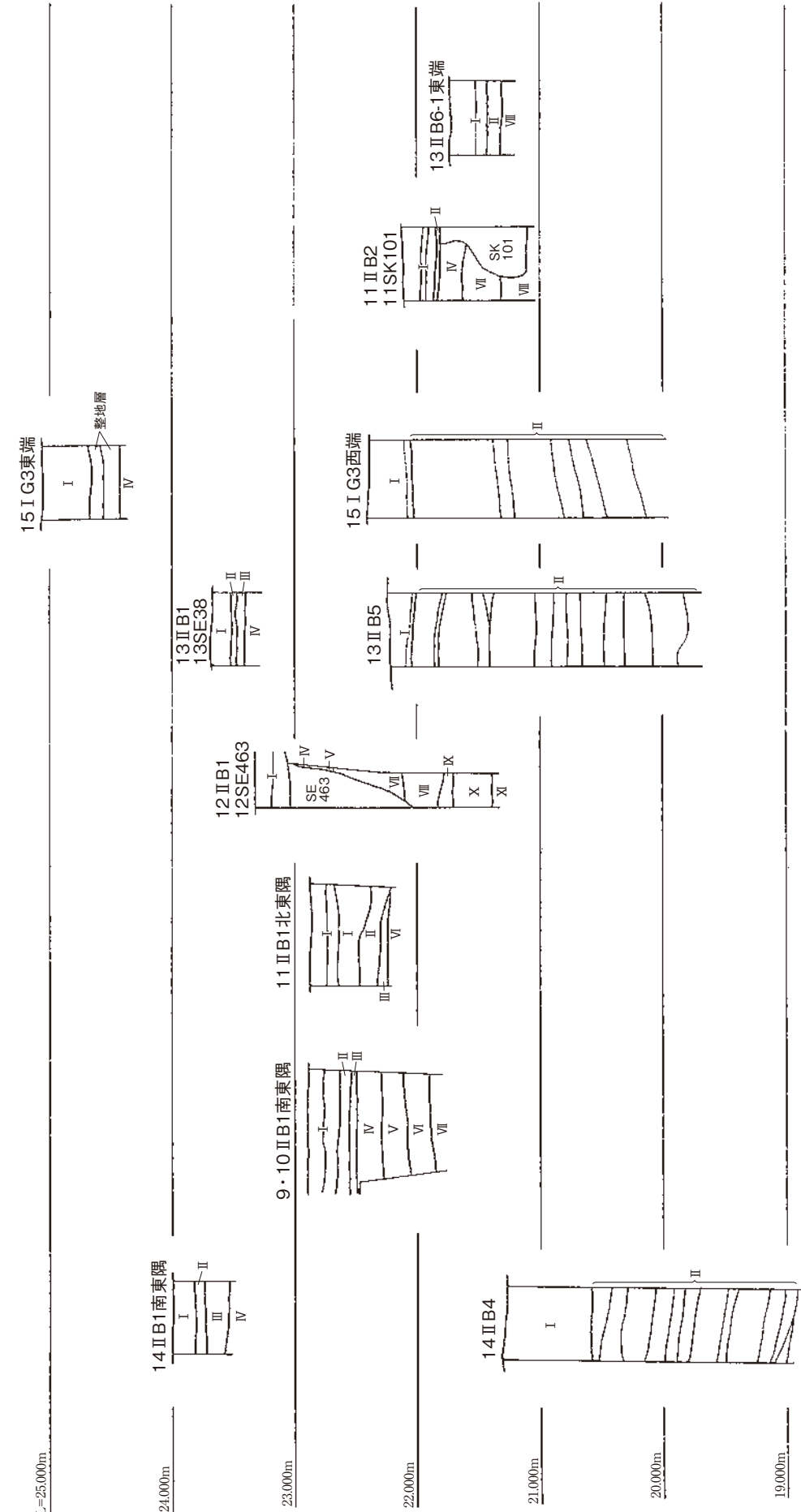
遺跡の層序は、Ⅰ～Ⅷの8層に分けられる。Ⅰ層は主に水田耕作土である現表土、Ⅱ層は近世以降の洪水堆積層である。Ⅱ層は丘陵には分布せず、低地でのみ確認され、Ⅲ～Ⅳ層上に厚く堆積する。Ⅲ層は暗褐色土のシルト質土、Ⅳ層は黄褐色シルト質土で、遺構は基本的にⅢないしⅣ層の上面で確認される。Ⅴ層は暗褐色粘土層、Ⅵ層は黄褐色粘土層、Ⅶ黄褐色砂質粘土層、Ⅷ層は白色粘土層である。Ⅷ層は微高地上ではかなり深いところに位置するが、低地部ではⅠ～Ⅱ層の直下で確認される。

第4節 過去の調査成果

これまでの調査成果については第3表のとおりである。

第3表 過去の調査成果

次数	調査年度	調査主体	調査成果
第1次	1992(H4)	前沢町教育委員会	道路整備に伴う調査。中世後期の土塁と10世紀、16世紀の遺物出土。
第2次	2003(H15)	前沢町教育委員会	範囲内容確認調査。館跡東、伝二の丸を調査。11世紀の遺物包含層、15世紀の整地層、堀跡確認。
第3次	2004(H16)	前沢町教育委員会	範囲内容確認調査。館東面、伝二の丸、南西低地を調査。10世紀の堅穴住居跡、14世紀堀跡、15世紀掘立柱建物跡・井戸跡・整地層、16世紀土坑墓確認。10～16世紀の遺物出土。
第4次	2005(H17)	前沢町教育委員会、 H18.2～奥州市世界遺産登録推進室	範囲内容確認調査。伝二の丸東部、伝本丸西部の郭を調査。伝二の丸の虎口、堀跡、整地など中世後期の状況確認。遺跡北西部が現代の整地であることが判明。
第5次	2006(H18)	奥州市世界遺産登録推進室	範囲内容確認調査。伝本丸、伝本丸東側、伝二の丸虎口、採石場跡を調査。伝本丸の遺構内容と規模が確定したほか伝二の丸の堀跡が2時期あることが判明。
第6次	2007(H19)	奥州市世界遺産登録推進室	範囲内容確認調査。伝本丸東側、伝二の丸虎口、伝二の丸南東の堀を調査。15世紀の伝本丸虎口の構造が確定したほか、伝二の丸の古期の堀跡を確認。
第7次	2008(H20)	奥州市世界遺産登録推進室	範囲内容確認調査。伝二の丸の旧虎口、伝本丸東側、遺跡南西部の低地を調査。古期の虎口と造成面及び建物跡が確認されたほか、史跡指定地外の遺跡南西部で12世紀の建物跡・溝跡が出土。低地まで遺跡が広がることが確認された。
第8次	2009(H21)	奥州市世界遺産登録推進室	指定地の南西部で、12世紀の掘立柱建物跡4棟と土坑、溝跡が出土。指定地内でも一部調査し、中世城館期以前の遺構の有無を確認。
第9次	2010(H22)	奥州市世界遺産登録推進室	8次調査で遺跡南西部の未指定地で12世紀の遺構が確認されたことを受け、低地の遺構群の範囲内容確認調査を開始。8次調査の西隣接地の調査を行い12～13世紀のかわけ焼成窯、鍛冶炉など手工業生産関連の遺構群を確認。
第10次	2011(H23)	奥州市世界遺産登録推進室	9次調査区の再調査を行い、微高地中央にL字状に配された掘立柱建物群、その北西側に工房群、建物の西に井戸群が確認され、12～13世紀の遺跡様相が明らかになった。
第11次	2012(H24)	奥州市教育委員会世界遺産登録推進室	8次調査東隣接について範囲内容確認。12～13世紀の道路状遺構と掘立柱建物群、微高地南端で粘土採掘穴が確認され、遺跡の遺構配置が明確になった。
第12次	2013(H25)	奥州市教育委員会世界遺産登録推進室	11次調査北隣接地について範囲内容確認。区画溝に囲まれた建物・井戸群など13世紀後半～14世紀後半の遺構が確認され、低地の遺跡の年代幅が広がった。
第13次	2014(H26)	奥州市教育委員会世界遺産登録推進室	北上川河畔の微高地について範囲内容確認。北上川へ向かう道路状遺構や方形堅穴遺構など13世紀の遺構が確認され、低地の遺構が鎌倉時代にも及ぶことが明確になった。
第14次	2015(H27)	奥州市教育委員会世界遺産登録推進室	遺跡西側の範囲確定と川湊関連の遺構の有無の確認調査。10世紀の遺構が確認され、低地の利用が古代までさかのぼることが明確になった。
第15次	2016 (H28)	奥州市教育委員会世界遺産登録推進室	既史跡指定地と低地の遺構群の関係把握と、川湊関連の遺構の有無の確認調査。中世前期の遺構群は、既史跡指定地の中世城館の下層にも広がっていることが確認され、中世前期の遺構群の範囲が既史跡指定地内にも及ぶことが明らかとなった。また、船着き場と目される地点は、近世以降の洪水により失われた可能性が高いことが判明した。



第3章 調査成果

第1節 9・10次調査の遺構

1 調査区と調査の概要

9・10次調査は、微高地中央部、8次調査区の西側に9・10ⅡB1～2の主たる調査区を設定し、遺構を掘削する調査を実施したほか、これら主たる調査区から南側の遺構分布状況を確認するため9・10ⅡB3～5の3本の南北トレンチを設定し、遺構確認調査を行った。その結果、9・10次調査区では、掘立柱建物跡4棟（柱穴55基）、竪穴住居跡1棟、溝跡26条、井戸跡6基、焼成遺構7基、土坑78基、性格不明遺構18基、柱穴322基の遺構が確認された。このうち9・10次調査では、掘立柱建物跡4棟（柱穴55基）、竪穴住居跡1棟、溝跡10条、井戸跡6基、焼成遺構7基、土坑42基、性格不明遺構2基、柱穴18基について遺構を半裁あるいは一部掘削する調査を行った。

9・10ⅡB1～2は、標高22.7m前後の平坦な地形で、現況は2枚の水田である。9・10ⅡB2は9・10ⅡB1より50cmほど標高が高い。表土を除去すると、洪水堆積土が堆積し、その直下に地山とした暗褐色または黄褐色のシルト質土が確認される。遺構は、この暗褐色・黄褐色シルト質土層の面で確認される。表土及び洪水堆積土を除去した旧地形は、南に向かってなだらかに傾斜しており、西側も低地状に下がる。また、南側に設定した調査区9・10ⅡB3～5では、遺構の密度が高くなかったことから、9・10次調査で確認された掘立柱建物跡や手工業生産遺構群を中心とする遺構群は、9・10ⅡB1～2を中心に、北西方向へと広がると推定される。

2 掘立柱建物跡

9・10SB1（第11～12図 図版7・15～17）

位置 9・10ⅡB1中央から9・10ⅡB2南東にかけて位置する。東側には8次調査で確認された8SB1～4の4棟の東西棟の掘立柱建物群が隣接する。

構成柱穴 P45、P94、P104、P116、P122、P132、P162、P168、P169、P187、P189、P192、P204、P223、P273、P275、P282～285、P1025、P1028、P1038、P1032～P1034、P1039、P1043～1045、P1048、P1070～P1072、P1079、P1107の36基の柱穴からなる。

重複 9・10SD185・1020・1023・1049、9・10SE180、9・10SK1125などと重複し、9・10SD1020→9・10SD1023・1049→9・10SB1→9・10SE180、9・10SK1125→9・10SD185の新旧関係である。

調査状況 10次調査で全ての柱穴を半裁して埋土と遺物を確認した。9・10次概要報告書に10SB1として報告したが、本報告にあたり9・10SB1に名称を改めた。

規模・形状 桁行7間×梁行2間の身舎に庇と縁を持つ南北棟の建物で、総長は南北15.5m、東西9mである。平均的な柱間寸法は梁行・桁行とも2.1m、庇1.5m、縁1.2m、主軸方位はN-3°-Eを測る。柱穴は直径40cm前後で、大半の柱穴で柱痕を確認できる。柱穴の深さは40cm前後のものが主体であるが、縁の柱穴は総じて浅い。なお、9・10次概要報告書では、東側にも孫庇または縁を持つ建物として掲載したが、今回の本報告にあたり最東列の柱穴を検討した結果、本建物を構成する柱穴とは考えにくいものが多かったことから、東側の孫庇または縁はないものと判断した。

埋土 柱穴の埋土は、おおむね全ての柱穴で共通しており、上部の堆積土と柱痕、掘り方の3層に大別できる。柱痕や埋土の状況は、隣接する掘立柱建物跡8SB1とよく似ている。

出土遺物 遺物はP45とP204、P1045から常滑甕の破片（2101、2102）、P162から渥美甕の破片（2001）、P284とP1034から手づくねかわかけ片（1008、1009）、P1045とP1072から鉄製品、P283から鉄滓が出

土したほか、大半の柱穴から手づくねかわらけの小片が出土している。

遺構の年代 出土した遺物から12世紀後半ごろと推定される。

性格 出土遺物の年代及び柱穴の埋土の状況から、9・10SB1は8次調査で確認された3棟の東西棟の掘立柱建物跡8SB1、8SB3、8SB4とほぼ同時期に存在していたとみられ、東西棟の建物3棟と南北棟の建物1棟がL字型に配された建物群であったと考えられる。また、建物群の前面にあたると思われる南東部には遺構がほとんど見られないことから、庭状の空間が想定される。

9・10SB2（第13図 図版7・17）

位置 9・10ⅡB2の北東に位置し、9・10SB1の北に隣接する。

構成柱穴 P61、P75、P85、P97、P113、P139、P258、P301の8基の柱穴からなる。

重複 9・10SK60・140・233・297・417・418、9・10SH80などと重複するが、直接の切り合いがあるのは9・10SK140だけであり、9・10SK140→9・10SB2の新旧関係である。

調査状況 10次調査で全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状 桁行3間（5.3m）×梁行1間（3.8m）の東西棟の建物である。柱間寸法は桁行1.6～1.8m、梁行3.8m、主軸方位はN-2°-Wである。柱穴は直径30cm、深さ25～50cmである。

埋土 上部の堆積土と柱痕、掘り方の3層に大別される。

出土遺物 P301から青白磁の合子蓋の破片（3051）、P139から手づくねかわらけ（1010）が出土したほか、P85から常滑甕片、P97、P301から手づくねかわらけ片、P301から鉄製品が出土した。

遺構の年代 出土遺物と9・10SB1との位置関係から12世紀後半～13世紀前半ごろと推定される。

性格 かわらけ窯跡などが集中する区域に位置することから、工房に関係する建物と推定される。

9・10SB3（第13図 図版8・18）

位置 9・10ⅡB2の西部に位置し、9・10SB1の西に隣接する。

構成柱穴 P26、P31、P47、P188、P212、P232の6基の柱穴からなる。

重複 9・10SK41・50などと重複するが、遺構が切り合うものはない。

調査状況 10次調査で全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状 桁行2間（5m）×梁行1間（3.6m）の東西棟の建物としたが、西側は調査区外へ延びる可能性もある。柱間寸法は桁行2.5m、梁行3.6m、主軸方位はN-1°-Wである。柱穴は直径40cm、深さ40cm前後で柱痕が確認できるものもある。

埋土 上部の堆積土と柱痕、掘り方の3層に大別される。

出土遺物 P26から渥美甕片（2002）が1点、P188から常滑甕片2点出土したほか、P47、188、232から手づくねかわらけ片が出土している。

遺構の年代 出土遺物と9・10SB1との位置関係から12世紀後半～13世紀前半ごろと推定される。

性格 9・10SB2と同様に、工房に関係する建物と推定される。

9・10SB4（第13図 図版18）

位置 9・10ⅡB2の南西、9・10SB3の南に位置する。

構成柱穴 P191、P193、P206、P214、P382の5基の柱穴からなる。

重複 9・10SH200・202、9・10SK197・196・201、423、9・10SX190などと重複するが、切り合いはない。

調査状況 10次調査で一部の柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 桁行3間以上（7m～）×梁行1間以上（3.5m～）の東西棟の建物で、南と西側は調査区外へ延びる。柱間寸法は桁行2.2～2.8m、梁行2.4m、主軸方位はN-5°-Eである。柱穴は直径30cm、深さ20～30cm前後で、柱痕が確認できる。埋土は柱痕と掘り方の2層に大別される。

出土遺物 P193とP206から手づくねかわらけの破片が出土している。

遺構の年代 出土遺物と9・10SB1との位置関係から12世紀後半～13世紀前半ごろと推定される。

性格 9・10SB2と同様に、工房に関係する建物と推定される。

3 竪穴住居跡

9・10SI1062（第9図 図版8）

位置・重複 9・10II B1西部に位置する。9・10SE1054、9・10SD1049などと重複し、本遺構が最も古い。

調査状況 遺構確認面で土師器の集中がみられたことから、10次調査で一部をトレンチ状に掘削し、プラン確認を試みた。調査時点では明瞭な立ち上がりを確認できなかったが、14次調査で本遺構と同様に埋土の把握しにくい竪穴住居跡が確認されたことから、本遺構についても竪穴住居跡と判断した。

規模・形状 東西4.3m、南北5.8m以上の長方形プランの竪穴住居跡と推定される。調査区内に焼土分布は認められず、竈の位置は不明である。

出土遺物 土師器坏（101）のほか、多数の土師器片が出土した。

遺構の年代 出土遺物から10世紀ごろと判断される。

4 井戸跡

9・10SE180（第14図 図版8）

位置 9・10II B2の南東に位置する。

重複 9・10SD185、9・10SB1などと重複し、9・10SB1→9・10SE180→9・10SD185の新旧関係である。

調査状況 9次調査で半裁し、埋土及び出土遺物等を確認した。底面までは掘削していない。

規模・形状 直径1.6m、深さ0.8m以上の平面円形、断面漏斗形の井戸跡である。

埋土 埋土は6層以上で、いずれも自然堆積土である。最上層には炭化物や焼土塊が多く含まれていた。3～5層から陶磁器やかかわらけ片が出土している。

出土遺物 在地産片口鉢の破片（2212・2213・2215）が3点出土したほか、手づくねかわらけ片、鉄製品が出土している。片口鉢のうち2213と2215は同一個体の底部と口縁部の破片である。

遺構の年代 出土遺物から13世紀以降と推定される。

性格 掘立柱建物跡9・10SB1の廃絶後に掘削された井戸跡である。

9・10SE1037（第14図 図版8）

位置 9・10II B1の中央部に位置する。

重複 9・10SB1と重複するが、直接の切り合いはない。

調査状況 10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。湧水のため底面までは確認していない。

規模・形状 直径約1.4m、深さ1.2m以上の9・10SE180とよく似た平面円形、断面漏斗形の井戸跡である。

埋土 埋土は8層以上で、いずれも自然堆積土と推定される。2～3層には比較的大きな地山ブロックが含まれ、5層は黒色土である。3～5層からはかわらけ片などの遺物が出土している。

出土遺物 図化掲載していないが、手づくねかわらけの小片が8点と鉄滓が出土している。

遺構の年代 出土遺物から12世紀中葉以降であるが、形状が9・10SE180などと類似することから、重複する掘立柱建物跡9・10SB1よりは新しい遺構である可能性が高い。

性格 掘立柱建物9・10SB1の廃絶後に掘削された井戸跡の可能性はある。

9・10SE1051（第15図 図版8）

位置 9・10ⅡB1の西部、掘立柱建物跡9・10SB1の西側に位置する。西側には9・10SE1052が隣接する。

重複 9・10SK1050と重複する。平面の状況から9・10SE1051→9・10SK1050の新旧関係と判断したが、9・10SK1050が浅く断面での新旧関係はあまりはっきりしていない。

調査状況 10次調査で半裁し、埋土及び出土遺物を確認した。浅かったため底面まで確認できた。9・10次概要報告書に10SE1051として概要を掲載したが、本報告にあたり名称を9・10SE1051に改めた。

規模・形状 直径2.2m、深さ1.1mの平面楕円形、断面すり鉢形の浅い井戸で、隣接する9・10SE1052とよく似た井戸跡である。湧水はみられなかった。

埋土 埋土は7層で、いずれも自然堆積土である。5～7層には直径50cm前後の石が多量に堆積していた。埋土上位からはかわらけ片、下位の黒色土からは陶器片や木片、植物の種子などが出土した。

出土遺物 同安窯系青磁碗片（3016）、手づくねかわらけ大皿（1011）、渥美大甕の底部（2008）、常滑甕片（2103～2105）のほか、釘や鉄滓、植物の種子、多数の礫が出土した。図化掲載していないが手づくねかわらけ片は比較的多く出土している。礫は被熱しているものが多い。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半頃と考えられる。

性格 掘立柱建物跡9・10SB1やかわらけ焼成窯9・10SH200などに伴う井戸跡と考えられる。ほかの井戸跡に比べると浅く、湧水もみられなかったことから、井戸状遺構の可能性もある。

9・10SE1052（第15図 図版8）

位置 9・10ⅡB1の西部、掘立柱建物跡9・10SB1の西側に位置する。東側には9・10SE1051が隣接する。

重複 9・10SK1050と重複する。9・10SE1051と同様に平面の状況から9・10SE1052→9・10SK1050の新旧関係と判断したが、9・10SK1050が浅く断面での新旧関係はあまりはっきりしていない。

調査状況 10次調査で半裁し、埋土及び出土遺物を確認した。浅かったため底面まで確認できた。9・10次概要報告書に10SE1052として概要を掲載したが、本報告にあたり名称を9・10SE1052に改めた。

規模・形状 直径1.7m、深さ1.1mの平面円形、断面ラッパ形の井戸跡である。断面形にやや違いがあるものの9・10SE1051とよく似る。9・10SE1051と同様に湧水は確認されなかった。

埋土 5層に分けられ、漏斗状に開く部分に堆積する1～3層は自然堆積土、円筒部分に堆積する4～5層は人為堆積である。

出土遺物 埋土上位から銭片〔聖宋元宝〕が2点（4019）出土したほか、12世紀の渥美甕（2003・2004）と常滑甕（2108～2110）、釘や鉄滓が出土した。手づくねかわらけ片も多く出土している。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半頃と考えられる。

性格 9・10SE1051と同様に掘立柱建物跡9・10SB1やかわらけ焼成窯9・10SH200などに伴う井戸跡または井戸状遺構と考えられる。9・10SE1051と近接、類似した井戸跡であるが、本遺構のみが人為的に埋め戻されていることから、9・10SE1051に先行する井戸跡の可能性が高い。

9・10SE1054（第14図 図版9）

位置 9・10ⅡB1の西部、9・10SE1051・1052の西側に位置する。

重複 9・10SD1049と重複し、切り合いから9・10SD1049→9・10SE1054の新旧関係である。

調査状況 10次調査で半裁し、断面及び出土遺物を確認した。底面までは確認していない。

規模・形状 直径1.8～2 m、深さ1.2m以上を測る、平面円形、断面漏斗形の井戸跡である。

埋土 6層に分けられる。このうち1～2層は自然堆積土でかわらけ片などを含む。4層は粘土質の黒色で炭化物を多く含む自然堆積土、5～6層は粘土質土のブロックを主体とする人為堆積土である。

出土遺物 龍泉窯系青磁碗Ⅲ類片（3032）、手づくねかわらけ小皿（1013・1014）、ロクロかわらけ大皿（1012）などのほか、刀子・釘・鉄塊などの鉄製品が出土した。図化掲載していないが、手づくねかわらけの破片は比較的多く出土している。1012のロクロかわらけは12世紀のロクロかわらけより新しい時期のものと考えられる。

遺構の年代 青磁碗とロクロかわらけの年代から、13世紀以降と推定される。

性格 9・10SE180、9・10SE1037などと同じく、9・10SB1より新しい時期の井戸跡の可能性はある。

9・10SE1059（第14図 図版9）

位置 9・10ⅡB1の西端に位置する。

重複 9・10SX1102と重複し、切り合いから9・10SE1059→9・10SX1102の新旧関係である。

調査状況 10次調査で遺構を半裁し、底面まで掘削した。

規模・形状 直径2 m、深さ約1 mを測る。平面円形、断面すり鉢形の井戸跡で、9・10SE1051と9・10SE1052に類似している。

埋土 6層に分けられ、全て自然堆積土である。2層と5層は炭化物を多く含む土、6層は地山粘土ブロックを主体とする土層である。

出土遺物 遺物は、確認面で13世紀前半の渥美片口鉢（2006）が出土したほか、上層から12世紀の常滑甕（2106）、3層から釘や鉄滓、6層から砥石（4007）と12世紀の常滑甕（2107）が出土した。また図化掲載していないが、手づくねかわらけの破片が比較的多く出土している。

遺構の年代 埋土の出土遺物から12世紀後半以降と推定される。

性格 9・10SE1051と9・10SE1052と同時期の井戸跡または井戸状遺構と考えられる。

5 鍛冶炉跡、かわらけ窯跡

9・10SH16、SK17（第16図 図版4・9）

位置 9・10ⅡB2の北西部に位置し、周囲の遺構確認面より10cm前後高い面で確認されている。

重複 9・10SK17と重複し、9・10SK17→9・10SH16の新旧関係である。

調査状況 9次調査で半裁し、埋土及び遺物を確認した。9・10次概要報告書に10SF16として報告したが、本報告にあたり9・10SH16に名称を改めた。

規模・形状・埋土 平面L字状で、中央部には炉床面と考えられる強く焼けた面が広がり、その西方は炭化物が堆積する土坑となる。炉床面は直径80cm、深さ4 cmを測り、断面は浅い皿状である。中央部から同心円状に黒、黄、赤と色調が変化し、いずれも硬く焼けているが、炉床の中心部と考えられる直径30cmの黒色部分が、最も硬化している。また、炉床面の上部には炉壁と考えられる砂質の赤褐色土ブロックが所々に堆積している。炉床面の西側の土坑部分は、長さ65cm、幅50cm、深さ15cmを測り、内部には炭化物が堆積する。炉床面の北側には長さ50cm、幅60cmの浅い掘り込みが北

へ延び9・10SK17と重複する。鍛冶炉の周囲から炉床面の下部にかけては、人為的な埋土と考えられる土が認められた。周囲の遺構よりも10cmほど高い面で確認されたことを考慮すると、炉を構築するにあたり10～12cmほどの盛土整地がなされたと考えられる。整地土層の下からはP405が確認されており、刀子が1点出土している。また、この整地部分の東側と南側の縁辺では炉床面より3cmほど高い位置に径2cm大の小礫の集積が見られた。性格はわからないが本遺構に関係するものと推定される。

出土遺物 炉床面及び土坑部からの出土遺物はないが、遺構外周部の整地からロクロかわらけ(1007)が1点出土したほか、炉の周囲の整地土と思われるところから多数の釘が出土した。ロクロかわらけは12世紀のものとは形態が異なっている。

遺構の年代 12世紀後半から13世紀前半頃と推定される。

性格 周囲で鍛造剥片が確認できなかったことから、精錬鍛冶炉と推定される。また、今回の調査では炉底の断ち割りを行っていないが、整地土の下にも柱穴が存在すること、整地土から釘や鉄塊などが多数出土することを考慮すると、整地土の下に9・10SH16に先行する鍛冶炉が存在する可能性がある。

9・10SH80 (第16図 図版4・9)

位置 9・10ⅡB2の北東に位置する。東側には確認面で数珠玉が出土した9・10SK82が隣接する。

重複 9・10P290と9・10SB2と重複するが、切り合うのは9・10P290だけであり、本遺構が新しい。

調査状況 9次調査と10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状 南北2.1m、東西0.7m、深さ0.2mの細長い楕円形の遺構で、南端は丸みを帯びている。南端部の丸みを帯びたところの底面地山は極暗赤褐色に変化しており、弱く被熱している。被熱面の中央部には直径20cmほどの被熱による硬化面がみられた。被熱部周辺の壁面は外側に弱く抉れており、底面同様に被熱によって地山が極暗赤褐色化している。遺構の底面は全体的に水平だが、遺構北端には径30cm、深さ15cmほどの窪みがあり、2層土で埋まっている。

埋土 埋土は自然堆積土で、最下層の2層は2cm大の極暗赤褐色の焼土塊や炭化物を多く含み、1層は1～3cm大の明赤褐色の焼土塊を含む。明赤褐色の焼土塊は南端部の円形部分に多くみられた。

出土遺物 ベルト南側の底面付近から銅塊(4015)が出土したほか、埋土から手づくねかわらけの破片数点と鉄製品が出土した。

遺構の年代 出土した遺物から12世紀後半以降と思われる。

性格 被熱部の壁面の形状は9・10SH200などかわらけ窯跡に似ているが、規模が小さいことや底面形状が異なっているため、かわらけ窯跡とは異なる性格不明の炉跡である。

9・10SH200 (第17図 図版2～3)

位置 9・10ⅡB2の南西、掘立柱建物跡9・10SB1の西に位置する。西側には炭溜め状の土坑9・10SK423が隣接する。

重複 9・10P281、9・10SB4と重複するが、切り合いがあるのは9P281だけで、9・10P281が新しい。

調査状況 9次調査と10次調査で掘削し、埋土及び遺物を確認した。9・10次概要報告書に10SF200として報告したが、本報告にあたり名称を9・10SH200に改めた。

規模・形状 長さ3m、幅0.9～1.3m、深さ38cmの東端の幅が狭い楕円形状の土坑で、北西部に煙道をもつ。焼成部と考えられる土坑西端部は、壁面が強い火を受けて赤褐色化しており、底面も極暗赤

褐色化している。焚口と考えられる東端部には被熱が全く見られない。底面は、焼成部が深く、焚口に向かってスロープ状に立ち上がる。壁面は焼成部では袋状に壁が挟れるが、焚口部では外に向かって開き気味に立ち上がる。煙道は地山トンネル状に削り貫いて構築されるもので、壁面の地山が赤褐色に変色している。

埋土 埋土は、1層が自然堆積土、2層が窯の構築材と推定される卵大のスサ入り焼成粘土塊を大量に含む層で、土坑全体に厚く堆積する。焼成部には、焼成粘土塊層の下部に黄褐色の砂質粘土がブロック状に点在し、底面の直上には、甘く焼けた2～3cm大の粘土塊や炭化材を含む層が薄く堆積する。

出土遺物 遺物は、底面から鉄塊状の鉄製品が1点出土したほか、2層の焼成粘土塊層の直上で、ロクロかわらけ小皿の完形品1点(1001)と鉄鏝1点が埋納されたような状態で出土している。このほか、1層から手づくねかわらけ大皿と小皿の破片(1002～1006)や釘が出土した。1001と1003のかわらけ小皿は口縁部に油煙が付着しており、灯明皿として使用されたものと思われる。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半以降に位置付けられる。

性格 焼成未成品などの直接的な証拠は得られていないが、構造からかわらけ窯跡と推定される。

9・10SH202 (第18図 図版4)

位置 9・10ⅡB2の西南、9・10SH200の東に位置する。遺構の南は調査区外へ延びる。

重複 9・10P203、9・10SB4と重複するが、切り合うのは9・10P203だけであり、本遺構が古い。

調査状況 10次調査で掘削し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状 幅68cm以上、長さ30cm以上の円形の遺構である。深さは35cmで、壁面は外側に大きくオーバーハングする。壁面には明赤褐色の粘土塊が2cmほどの厚さで貼り付けられていて、粘土塊の周囲の地山は極暗赤褐色化している。この壁の粘土塊は確認面から明瞭に確認できた(図版4)。この壁面の粘土塊は底面までは広がらず、底面は地山が暗赤褐色に変化している。なお、遺構の続きを確認するため畦畔の南側を一部掘削して確認したが、本遺構の続きは認められなかった。

埋土 埋土は1～2層が自然堆積土、3層が3～4cm大の焼成粘土塊を含む土、4～5層が炭化物と黄褐色砂質粘土塊を含む土である。底面の直上には6層とした薄い炭層が堆積している。

出土遺物 底面付近から刀子が1点出土したほか、埋土から手づくねかわらけの小片が出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。

性格 焼成未成品などの直接的な証拠は得られていないが、構造からかわらけ窯跡と推定される。

9・10SH231 (第18図 図版3・9)

位置 9・10ⅡB2中央部の北端に位置する。

重複 同一の場所に、規模・形状をほぼ同じくする9・10SH231と9・10SH374、9・10SH373の3基の窯跡が焼成部の方向を変えて重複するもので、9・10SH231→9・10SH374→9・10SH373の順に構築されている。また、近世以降の溝跡9・10SD310にも切られている。

調査状況 9次、10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。9・10次概要報告書に10SF231として報告したが、本報告にあたり9・10SH231に名称を改めた。

規模・形状 長さ1.6m以上、幅0.6m以上、深さ22cmを測る、東西方向に延びる平面楕円形の土坑である。東端部の底部と壁面が被熱しており、焼成部と考えられる。西端部は被熱しておらず、焚口と思われる。底面は焼成部が深く、そこから焚口に向かってスロープ状に立ち上がる。壁面は、焼成部で袋状に挟れて立ち上がるのに対し、焚口では外に向かって開き気味に立ち上がる。焼成部の底面は

被熱により極暗赤褐色化し、壁面には厚さ1cmほどの明赤褐色の粘土の貼り付けがみられる。

埋土 自然堆積土で、2～3層が窯の構築材とみられる焼成粘土塊を含む層、焼成部の床面には、薄い炭化物層が堆積する。

出土遺物 埋土から釘、鉄塊が出土したほか、手づくねかわらけ片が4点ほど出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。

性格 焼成未成品などの直接的な証拠は得られていないが、構造からかわらけ窯跡と推定される。

9・10SH373（第18図 図版3・9）

位置 9・10ⅡB2中央部の北端に位置する。

重複 同一の場所に、規模・形状をほぼ同じくする9・10SH231と9・10SH374、9・10SH373の3基の窯跡が焼成部の方向を変えて重複するもので、9・10SH231→9・10SH374→9・10SH373の順に構築されている。また、遺構北部は9・10SK425にも切られている。

調査状況 9次、10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。9・10次概要報告書に10SF373として報告したが、本報告にあたり9・10SH373に名称を改めた。

規模・形状 長さ2.4m、幅1.1m以上、深さ0.2mの東西に長い平面楕円形の土坑で、東端部の幅が少し狭い。西端部の底部と壁面が被熱しており、焼成部と考えられる。東端部は被熱しておらず、焚口と思われる。底面は焼成部が深く、そこから焚口に向かってスロープ状に立ち上がる。壁面は、焼成部では真っ直ぐ、焚口では外に向かって開き気味に立ち上がる。焼成部の底面の中央には硬化した粘土層、奥壁には明赤褐色の粘土の貼り付けがみられる。

埋土 自然堆積土で、2層は窯の構築材とみられる焼成粘土塊と炭を含み、3層は炭化物を含む。

出土遺物 2層からC字状の鉄製品、焼成部の3層から釘が出土したほか、手づくねかわらけ片が7点出土した。

遺構の年代 出土遺物から、12世紀後半以降と推定される。

性格 焼成未成品などの直接的な証拠は得られていないが、構造からかわらけ窯跡と推定される。

9・10SH374（第18図 図版3・9）

位置 9・10ⅡB2中央部の北端に位置する。

重複 同一の場所に、規模・形状をほぼ同じくする9・10SH231と9・10SH374、9・10SH373の3基の窯跡が焼成部の方向を変えて重複するもので、9・10SH231→9・10SH374→9・10SH373の順に構築されている。また、遺構南辺は9・10P410にも切られている。

調査状況 9次、10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。9・10次概要報告書に10SF374として報告したが、本報告にあたり9・10SH374に名称を改めた。

規模・形状 長さ2.1m、幅0.9m、深さ0.2mを測る、平面鍵穴形の土坑である。東端部の底部と壁面が被熱しており、焼成部と考えられる。西端部は被熱しておらず、焚口と思われる。底面は焼成部が深く、そこから焚口に向かってスロープ状に立ち上がる。壁面は、焼成部でオーバーハングして立ち上がるのに対し、焚口では外に向かって開き気味に立ち上がる。焼成部の底面は被熱により明赤褐色、周囲が同心円状に暗赤褐色化する。壁面には厚さ1cmほどの明赤褐色の粘土の貼り付けがみられ、周囲の地山が暗赤褐色化する。なお、調査では底面の明赤褐色部分が均一に広がることから、焼成面と判断し、それ以上の掘削を行わなかったが、底面の明赤褐色化土はブロック状の塊で4層土と連続すること、他のかわらけ焼成窯跡の底面が極暗赤褐色であったことを考慮すると、底面と判断した明

赤褐色化した部分は窯構築土の崩落土であった可能性が高い。

埋土 自然堆積土で、2～3層は窯の構築材とみられる焼成粘土塊と炭を含む土、4層は焼成粘土塊を主体とする土である。

出土遺物 埋土から手づくねかわらけの破片が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から、12世紀後半以降と推定される。

性格 焼成未成品などの直接的な証拠は得られていないが、構造からかわらけ窯跡と推定される。

6 土坑

9・10SK33（第19図 図版9）

位置・重複 9・10ⅡB2の西部に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 9次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.6m、幅0.5m、深さ18cmの楕円形の土坑である。底面の中央と一部の壁面の地山が極暗赤褐色化しており、わずかに焼けている。埋土は炭化物と2cm大の焼成粘土塊を含む。

出土遺物 埋土から手づくねかわらけ小片が2点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。性格不明の焼土遺構である。

9・10SK378（第19図 図版9）

位置 9・10ⅡB2の北東部に位置する。

重複 9・10P311、9・10SD310と重複し、9・10SK378→9・10P311→9・10SD310の新旧関係である。

調査状況 10次調査でベルトを残し掘削し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.8m、幅0.6m、深さ13cmの平面不整形の土坑である。土坑北辺の縁の地山が極暗赤褐色化しており、わずかに焼けている。

埋土 埋土は2層で、焼成粘土塊と炭化物を少量含む。また径20cm大の礫が多く含まれていた。

出土遺物 遺物は出土しなかった。

遺構の年代 調査区全体の出土遺物の年代から12世紀から13世紀前半と推定される。

性格 性格不明の焼土遺構である。

9・10SK423（第19図 図版9）

位置 9・10ⅡB2の南西部、9・10SH200の西に隣接する。

重複 9・10SK201と重複し、9・10SK423→9・10SK201の新旧関係である。

調査状況 9次調査と10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状 長さ1.4m、幅0.8m、深さ25cmの平面不整形の土坑である。

埋土 底面付近に炭化材が面的に広がっていた。

出土遺物 埋土から手づくねかわらけ片が1点出土した。

遺構の年代 9・10SH200と近接するものの重複しないことから同時に存在した遺構と考えられる。

性格 炭溜状土坑で、9・10SH200と関係する可能性が高い。

9・10SK4（第19図 図版10）

位置 9・10ⅡB2の北西に位置し、9・10SK255の北に隣接する。

重複 9・10P329と重複し、9・10SK4→9・10P329の新旧関係である。

調査状況 9次調査で黒色土部分を半裁、白色粘土部分を一部掘削し、埋土と遺物を確認した。
規模・形状・埋土 黒色部分は長さ1.5m、幅0.6m、深さ60cmの平面楕円形の土坑で、黒色土の周囲には白色粘土が広がる。白色粘土の中央部付近が不整形に掘り込まれ、そこに炭化物を微量に含む黒色土が堆積している。黒色土を除去すると、その底面は3ヶ所がピット状に深くなる。
出土遺物 黒色土から鉄製品と土師器、手づくねかわらけ細片が出土した。
遺構の年代 調査区全体の出土遺物の年代から12世紀から13世紀前半と推定される。
性格 白色粘土を伴うことから、粘土溜め状の遺構と推定される。

9・10SK6 (第19図 図版10)

位置・重複 9・10ⅡB2の北西部に位置する。9・10SK255と重複し、本遺構が新しい。
調査状況 9次調査で黒色土部分のみ半裁し、埋土と遺物を確認した。
規模・形状・埋土 黒色土部分は径0.6m、深さ15cmの円形土坑で、周囲には白色粘土がみられる。白色粘土の中央を円形に掘り込まれ、そこに黒色土が堆積する。黒色土部分の底面は平坦である。
出土遺物 黒色土から手づくねかわらけ細片がわずかに出土した。
遺構の年代 調査区全体の出土遺物の年代から12世紀から13世紀前半と推定される。
性格 白色粘土を伴うことから、粘土溜め状の遺構と推定される。

9・10SK43 (第19図 図版10)

位置・重複 9・10ⅡB2の北西部、9・10SB3の北に隣接する。重複する遺構はない。
調査状況 9次調査で黒色土部分を半裁、10次調査で全体を半裁し、埋土と遺物を確認した。
規模・形状・埋土 長さ1m、幅0.8m、深さ11cmの平面楕円形の土坑で、2層とした白色粘土の中央部が掘り込まれていて、そこに1層とした黒色土が堆積する。
出土遺物 黒色土から手づくねかわらけ細片がわずかに出土した。
遺構の年代 調査区全体の出土遺物の年代から12世紀から13世紀前半と推定される。
性格 白色粘土を伴うことから、粘土溜め状の遺構と推定される。

9・10SK53・54 (第19図 図版10)

位置・重複 9・10ⅡB2中央北に位置し、南北に隣接する2つの土坑である。重複する遺構はない。
調査状況 9次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。
規模・形状・埋土 9・10SK53は直径0.5m前後、深さ19cmの円形土坑で、黒色土が堆積する。9・10SK54は直径0.6m前後の円形土坑で、白色粘土の中央部に黒色土が5cmほど皿状に堆積している。
出土遺物 9・10SK53の埋土から鉄製品と手づくねかわらけ片が1点出土した。
遺構の年代 出土遺物及び調査区全体の出土遺物の年代から12世紀から13世紀前半と推定される。
性格 白色粘土を伴うことから、粘土溜め状の遺構と推定される。また、類似、近接する遺構であるが、重複しないことから、関連する遺構と考えられる。

9・10SK137・138 (第20図 図版10)

位置・重複 9・10ⅡB2の北東部、9・10SH80に隣接する。9・10SB2と重複するが、切り合いはない。
調査状況 10次調査で黒色土部分を半裁し、埋土と遺物を確認した。
規模・形状・埋土 9・10SK137は直径0.6m、9・10SK138は直径0.4mの平面円形の土坑で、周囲には

白色粘土が広がる。両者とも白色粘土を20cmほど掘り込んでいて、そこによく似た黒色土が堆積している。9・10SK138は底面がピット状に深くなっている。

出土遺物 9・10SK137の黒色土中から手づくねかわらけとロクロかわらけ片が各1点、9・10SK138の黒色土中から手づくねかわらけ片が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。

性格 白色粘土を伴う粘土溜め状の遺構と推定される。遺構の形状や埋土が類似することから関連する遺構と考えられる。

9・10SK140（第20図 図版10）

位置・重複 9・10ⅡB2の東部に位置し、9・10SB2-P139、9・10P286、P427と重複する。切り合いから9・10SK140→9・10SB2-P139、9・10P286、P427の新旧関係である。

調査状況 10次調査で一部断ち割りし、埋土と遺物を確認した。9・10次概要報告書に10SX140として報告したが、本報告にあたり名称を9・10SK140に改めた。

規模・形状・埋土 長さ1.5m、幅0.9mの平面が不整形な楕円形状の土坑で、白色粘土部分は深さ24cm以上を測る。土坑の南寄りには直径40cm、深さ10～65cmの2基の小土坑P1とP2がある。小土坑の埋土は炭化物や焼土粒を含む黒色土である。南側の小土坑P2は、ロクロピット状の土坑で中央部には柱痕と考えられる土が見られる。

出土遺物 P1、P2埋土から手づくねかわらけ片が7点出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。

性格 白色粘土を伴うことから、粘土溜め状の遺構と推定される。

9・10SK320（第20図 図版10）

位置 9・10ⅡB2の東部、9・10SK140の南に位置する。

重複 9・10SB1、9・10SK120と重複し、9・10SK320→9・10SK120の新旧関係である。9・10SB1との切り合いはない。

調査状況 10次調査で黒色土部分を半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.3m、幅0.7mの平面楕円形状の白色粘土プランの中央に、直径40cm前後、深さ13cmの2基の小土坑P1とP2がある。小土坑の埋土は炭化物や焼土粒を含む黒色土である。

出土遺物 黒色土から羽口（4001）と、手づくねかわらけ小片が4点ほど出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。

性格 白色粘土を伴うことから、粘土溜め状の遺構と推定される。

9・10SK379・128・130（第20図 図版10）

位置 9・10ⅡB2の東部、9・10SK320の東に隣接する。白色粘土の土坑9・10SK379に黒色土の小土坑9・10SK128と9・10SK130が重複するもので、一連の遺構と考えられる。

重複 9・10SX129と9・10P391、P131と重複し、9・10SK379→9・10SX129、9・10P131、P391と変遷する。

調査状況 10次調査で黒色土部分を半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.3m、幅1mの平面不整形の白色粘土プランの中央から南にかけて、直径40cm前後、深さ15cmの2基の小土坑9・10SK128と9・10SK130が掘られている。小土坑の埋土は炭

化物や焼土粒を含む黒色土である。埋土、形状ともに隣接する9・10SK320に酷似する。

出土遺物 9・10SK128から手づくねかわらけ小片2点、9・10SK130から常滑甕の破片(2111)と手づくねかわらけ小片2点出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。

性格 白色粘土を伴うことから、粘土溜め状の遺構と推定される。

9・10SK319 (第20図 図版11)

位置 9・10ⅡB2の北西部に位置する。不整形な白色粘土の広がり、複数の土坑が複雑に重複している。調査では明瞭に判別できなかったため、一連の遺構として報告する。

重複 9・10SK12などと重複し、9・10SK319→9・10SK12、10P6、P7の新旧関係である。

調査状況 10次調査で一部を断ち割りし、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ2.2m以上、幅1.6m前後の不整形な白色粘土の広がり、不整形な土坑P1～P3、P5が複雑に重複する。底面も高低差があり、深いところで20cmを測る。

出土遺物 P1、P5から鉄滓が出土した。

遺構の年代 調査区全体の出土遺物の年代から12世紀から13世紀前半と推定される。

性格 白色粘土を伴うことから、粘土溜め状の遺構と推定される。

9・10SK255 (第21図 図版11)

位置 9・10ⅡB2の北西部に位置し、9・10SH16の東に隣接する。

重複 9・10SD249、9・10SK5・6、9・10P225・P227・P390・P389などと重複し、本遺構が最も古い。

調査状況 10次調査で一部を断ち割りし、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ3.3m以上、幅2.1m前後、深さ23cmの不整形な白色粘土の広がりである。上層は暗褐色土、下層は白色粘土が堆積する。

出土遺物 釘が1点出土した。

遺構の年代 調査区全体の出土遺物の年代から12世紀から13世紀前半と推定される。

性格 白色粘土を伴うことから、粘土溜め状の遺構と推定される。

9・10SK5 (第21図 図版11)

位置・重複 9・10ⅡB2の北西部に位置する。9・10SK255と重複し、これを切って構築される。

調査状況 9次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.2m、幅0.8m、深さ15cmの楕円形の土坑で、暗褐色土が自然堆積する。

出土遺物 手づくねかわらけと渥美甕の小片が出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される、性格不明の土坑である。

9・10SK11 (第21図 図版11)

位置・重複 9・10ⅡB2の北西部に位置する。9・10SD249と重複し、これを切っている。

調査状況 9次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.5m前後、深さ28cmの円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 手づくねかわらけの小片が2点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される、性格不明の土坑である。

9・10SK12（第20図 図版11）

位置 9・10ⅡB2の北西部に位置する。

重複 9・10SK319、9・10P6・7と重複する。9・10SK319→9・10SK12→9・10P6・P7の新旧関係である。

調査状況 9次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.8m、深さ4cmの円形土坑で、褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 東濃系の片口鉢の破片（2203）と釘状の鉄製品が各1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀ごろと推定される、性格不明の土坑である。

9・10SK13（第21図 図版11）

位置・重複 9・10ⅡB2の北西部、9・10SK12の西に隣接する。9・10P444と重複し、これに切られる。

調査状況 9次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径1.7m、深さ17cmのほぼ円形の土坑で、黒褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 手づくねかわらの小片が3点と鉄滓が出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される、性格不明の土坑である。

9・10SK18（第21図 図版11）

位置・重複 9・10ⅡB2北西部、9・10SH16の南に位置する。9・10P19と重複し、これを切っている。

調査状況 9次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.4m、深さ17cmの円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 調査区全体の出土遺物の年代から12世紀から13世紀前半と推定される。

9・10SK41（第22図 図版11）

位置・重複 9・10ⅡB2の南西部に位置する。9・10P220と9・10SB3と重複するが、直接切り合いがあるのは9・10P220だけであり、9・10SK41→9・10P220の新旧関係である。

調査状況 9次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.7m前後、深さ12cmの円形土坑で、黒褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 手づくねかわらの小片が3点と鉄塊が出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される、性格不明の土坑である。

9・10SK50（第22図 図版12）

位置・重複 9・10ⅡB2の南西部に位置する。9・10SB3と重複するが、遺構の切り合いはない。

調査状況 10次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径1.1m、深さ17cmの円形土坑で、にぶい黄褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 手づくねかわらの小片が10点ほど出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される、性格不明の土坑である。

9・10SK60（第22図 図版12）

位置・重複 9・10ⅡB2の北東部に位置する。9・10P419と9・10SB2と重複するが、直接の切り合い

があるのは9・10P419だけであり9・10SK60→9・10P419の新旧関係である。

調査状況 10次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.5m、幅0.9mの浅い楕円形土坑で、北端に深さ53cmのロクロピット状の土坑を伴う。ピット状の遺構は黒褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 ピット状の土坑から、手づくねかわらけの小片が2点と鉄塊が出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。性格は不明である。

9・10SK77 (第22図)

位置・重複 9・10ⅡB2の北東部に位置する。9・10SK65・P78と重複し、9・10SK65→9・10SK77→9・10P78の新旧関係である。

調査状況 9次調査で半裁して埋土と遺物を確認したが、断面図及び写真を記録しなかった。

規模・形状 長さ0.8m、幅0.7mの楕円形土坑である。

出土遺物 手づくねかわらけの小片が2点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。性格は不明である。

9・10SK82 (第22図 図版12)

位置・重複 9・10ⅡB2北東部、9・10SH80の東に隣接する。9・10SB2と重複するが切り合いはない。

調査状況 10次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状 長さ0.8m、幅0.4mの平面が不整形な土坑で、底面は深さ50cmほどの柱穴状の土坑が2基重複したような形状である。

埋土 遺構確認面で水晶製数珠玉の母珠が出土したため周囲も確認したが、破片等は見られなかった。上部には炭化物や焼土粒を含む黒褐色土が堆積する。

出土遺物 確認面で水晶製数珠玉の母珠の未成品(4006)が出土したほか、埋土から手づくねかわらけの小片が8点ほど出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。性格は不明である。

9・10SK106 (第22図 図版12)

位置・重複 9・10ⅡB2南東部に位置する。9・10SB1と重複するが、遺構の切り合いはない。

調査状況 9次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.7m、幅0.4m、深さ7cmの楕円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 遺物は出土しなかった。

遺構の年代 調査区全体の出土遺物の年代から12世紀から13世紀前半と推定される。

9・10SK160 (第24図)

位置・重複 9・10ⅡB2の南東部に位置する。9・10P159と重複し、これに切られる。

調査状況 10次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.5m、深さ13cmの浅い円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 手づくねかわらけ細片がわずかに出土した。

遺構の年代・性格 遺構の重複から12世紀後半ごろと推定される。性格は不明である。

9・10SK163（第10図）

位置 9・10ⅡB2の南東部に位置する。

重複 9・10SB1-P162、9・10SD170と重複し、9・10SB1P162→9・10SK163→9・10SD170と変遷する。

調査状況 10次調査で一部を掘削した。

規模・形状・出土遺物 長さ0.6m、幅0.2mの細長い土坑である。遺物は出土していない。

遺構の年代・性格 遺構の重複から12世紀後半以降である。性格は不明である。

9・10SK196（第22図 図版12）

位置 9・10ⅡB2南西部に位置し、9・10SK197に隣接する。

重複 9・10SB4と重複するが、遺構の切り合いはない。

調査状況 9次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状 直径0.7m、深さ18cmの円形土坑で、底面中央部が一段下がる。

出土遺物 手づくねかわらけ小片が9点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。性格は不明である。

9・10SK197（第22図 図版12）

位置 9・10ⅡB2南西部に位置し、9・10SK196に隣接する。

重複 9・10SB4と重複するが、遺構の切り合いはない。

調査状況 9次調査で半裁して、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.7m、深さ45cmの円形土坑で、黒褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 12世紀の常滑甕片（2112）が1点と、かわらけ小片が出土している。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。性格は不明である。

9・10SK201（第19図 図版12）

位置 9・10ⅡB2南西部に位置する。

重複 9・10SK423と重複し、9・10SK423→9・10SK201の新旧関係である。

調査状況 9次調査と10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1m、幅0.5m、深さ5cmの楕円形土坑である。暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 埋土から手づくねかわらけ細片がわずかに出土した。

遺構の年代 遺構の重複から、12世紀後半以降と推定される。性格は不明である。

9・10SK233（第22図 図版13）

位置・重複 9・10ⅡB2北東部に位置する。9・10SB2と重複するが、遺構の切り合いはない。

調査状況 9次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.7m、深さ42cmの柱穴状の円形土坑で、黒褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 手づくねかわらけ小片が1点出土した。

遺構の年代・性格 重複と出土遺物から12世紀後半以降と推定される。性格は不明である。

9・10SK250（第21図 図版13）

位置・重複 9・10ⅡB2の北西部に位置する。9・10SD249と重複し、本遺構が新しい。

調査状況 10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径1.1m、深さ45cmの円形土坑で、暗褐色土と黒褐色土が自然堆積する。

出土遺物 遺物は出土しなかった。

遺構の年代 遺構の重複から12世紀後半以降と推定される。性格は不明である。

9・10SK445 (第22図 図版13)

位置・重複 9・10ⅡB2の南東部に位置する。9・10P125とP126と重複し、これらに切られている。

調査状況 10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.3m以上、幅0.2m、深さ18cmの楕円形土坑で、暗褐色土が自然堆積する。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 調査区全体の出土遺物の年代から12世紀から13世紀前半と推定される。

9・10SK1017 (第23図 図版13)

位置・重複 9・10ⅡB1の東部、9・10SD1085の東に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.5m、深さ24cmの円形土坑である。埋土1層には炭化物が多く含まれる。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 調査区全体の出土遺物の年代から12世紀から13世紀前半と推定される。

9・10SK1050 (第15図 図版13)

位置・重複 9・10ⅡB1西部に位置し、9・10SE1051・SE1052、SD1049と重複する。平面の土の状況から9・10SE1051・SE1052→9・10SK1050→9・10SD1049の新旧関係と判断したが、9・10SK1050が浅く断面での新旧関係はあまりはっきりしていない。

調査状況 10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ2.5m、幅1.7m、深さ10cm前後の平面楕円形状の浅い土坑である。底面は平らで、埋土には径10～20cm大の礫や陶器片などを多く含む。

出土遺物 手づくねかわらけの大皿(1017)、渥美の甕(2005)と大甕の底部(2008)、常滑甕(2113)が出土したほか、手づくねかわらけ片や長さ20cmほどの板状の粘板岩などが出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物と遺構の重複から12世紀後半以降である。性格は不明である。

9・10SK1081 (第23図 図版13)

位置・重複 9・10ⅡB1の中央部、9・10SB1の東に位置する。重複遺構はない。

調査状況 10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.2m、幅1m、深さ10cmの楕円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 手づくねかわらけ小片が3点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。性格は不明である。

9・10SK1095 (第23図 図版13)

位置 9・10ⅡB1の中央部、9・10SK1081の南に隣接する。

重複 9・10SK1096、9・10P1108と重複し、9・10SK1095→9・10SK1096、9・10P1108の新旧関係で

ある。

調査状況 10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ2.3m、幅1.7m、深さ10cmの不整形な土坑で、黒褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 手づくねかわらけ大皿（1018・1019）、渥美甕（2007）のほか釘が出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。性格は不明である。

9・10SK1125（第23図）

位置・重複 9・10ⅡB1の中央部に位置する。9・10SB1-P1072と重複し、これより新しい。

調査状況 10次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.5mのごく浅い円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代・性格 遺構の重複から12世紀後半以降である。性格は不明である。

7 性格不明遺構

9・10SX190（第23図 図版13）

位置・重複 9・10ⅡB2南西部に位置する。9・10SB1、SB4と重複するが、遺構の切り合いはない。

調査状況 9次調査で半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.8m、幅0.3m、深さ15cmの細長い土坑で、埋土は自然堆積土である。

出土遺物 手づくねかわらけ小片が1点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。性格は不明である。

9・10SX395（第23図 図版14）

位置・重複 9・10ⅡB2の西トレンチに位置する。9・10SD394と重複し、これに切られる。

調査状況 10次調査で上部のみを掘削し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状 南北1.5m以上、東西2.8m、深さ20cm以上の方形土坑で、埋土は自然堆積土である。

出土遺物 3層から渥美甕（2010）が出土したほか、手づくねかわらけ小片が出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半以降と推定される。

性格 埋土の状況から、井戸跡のような深い遺構であると思われる。

8 溝跡

9・10SD91、9・10SD257（第10図）

位置 9・10ⅡB2中央を南北に延びる。

重複 9・10SD90、9・10P86、P88と重複するが、本遺構が最も新しい。

調査状況 10次調査で完掘した。

規模・形状 9・10SD91と9・10SD257を通した延長8.1m、幅0.5mのごく浅い溝跡である。

埋土 埋土はⅡ層の洪水堆積土である。

出土遺物 土師器片が出土した。

遺構の年代 埋土から近世以降である。

性格 9・10SD185・1022と同時期で、方位も一致することから、関連する溝跡と思われる。

9・10SD185（第10・24図 図版14）

位置 9・10ⅡB2中央を南北に延びる。9・10ⅡB1の9・10SD1042と同一遺構である。

重複 9・10SB1、9・10SE180、9・10P399～404などと重複するが、本遺構が最も新しい。

調査状況 10次調査で完掘した。

規模・形状・埋土 9・10SD1042を含めた延長24m、幅0.5mの浅い溝跡で、埋土はⅡ層土である。

出土遺物 近世陶磁器、鉄製品が出土した。

遺構の年代 埋土と出土遺物から近世以降である。

性格 9・10SD91、9・10SD257と同時期で、方位も一致することから、関連する溝跡と思われる。

9・10SD310（第10・24図）

位置 9・10ⅡB2北東部を東西に延びる。

重複 9・10SH231・373、9・10P312・315・380、9・10SK378などと重複するが、本遺構が最も新しい。

調査状況 10次調査で完掘した。

規模・形状・埋土 延長7m、幅0.3～0.8mのごく浅い溝跡で、埋土はⅡ層の洪水堆積土である。

出土遺物 遺物は出土していない。

遺構の年代・性格 埋土から近世以降である。

性格 9・10SD91・257と9・10SD185・1022と関連する溝跡と思われる。

9・10SD249（第21図 図版14）

位置 9・10ⅡB2の北西部を南北に延びる。

重複 9・10SK11・17・250・255、9・10P7・221・344・387・406と重複し、9・10SK255→9・10SD249→9・10SK11・17・250、9・10P221・344・387・406の新旧関係である。

調査状況 10次調査で一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長7m以上、幅0.5m、深さ15cmの断面カマボコ形の溝跡で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 鉄滓が1点出土した。

遺構の年代 遺構の重複から12世紀後半ごろと推定される。

9・10SD1006（第9・24図）

位置 9・10ⅡB1を東西に延びる。

重複 9・10SD1093と同一遺構である。9・10SK1008と重複し、これを切る。

調査状況 10次調査で一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 9・10SD1093を含めた延長12m、幅0.2mの浅い溝跡で、埋土は暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 土師器が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から10世紀以降である。

9・10SD1020（第9・24図 図版14）

位置・重複 9・10ⅡB1を東西に延びる。9・10SB1、9・10SD1085・1023・1022、9・10P1106・1110と重複し、9・10SD1085、9・10P1110→9・10SD1020→9・10SD1022・1023→9・10SB1、9・10P1106

と変遷する。

調査状況 10次調査で一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長9m、幅0.5m、深さ25cmの溝跡で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 釘と鉄塊、手づくねかわらけ小片が各1点出土した。

遺構の年代 遺構の重複と出土遺物から12世紀ごろと推定される。

9・10SD1022 (第9・24図 図版14)

位置 9・10ⅡB1中央を南北に延びる。9・10ⅡB2の9・10SD170と同一の遺構と思われる。

重複 9・10SD1020、9・10P1104、9・10SB1と重複し、9・10SD1020→9・10SD1022→9・10P1104の新旧関係である。また、9・10SD170は9・10SB1-P162→9・10SK163→9・10SD170の新旧関係であるので、本遺構は9・10SB1より新しい。

調査状況 10次調査で一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。

規模・形状 9・10SD170を含めた延長11m、幅0.5m、深さ14cmの溝で、北端が直角に西へ曲がる。

埋土 黒褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 渥美片口鉢(2011)、常滑甕(2116)のほか、手づくねかわらけ小片、釘などが出土した。

遺構の年代 遺構の重複と出土遺物から12世紀後半以降である。

9・10SD1023 (第9・24図 図版14)

位置 9・10ⅡB1中央部、9・10SD1022と並走して南北に延びる。9・10ⅡB2に9・10SD1023の延長部分がみられないことから、9・10ⅡB2の南を東西に延びる9・10SD422が本遺構の延長である可能性が高い。

重複 9・10SD1020、9・10SB1、9・10SK1026・1027と重複し、9・10SD1020、9・10SK1026・1027→9・10SD1023→9・10SB1の新旧関係である。

調査状況 10次調査で一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長6m以上、幅0.7m、深さ28cmの溝跡で、暗褐色土が自然堆積する。

出土遺物 手づくねかわらけ小片が5点ほどと鉄製品が出土した。

遺構の年代 遺構の重複と出土遺物から12世紀後半以降である。

9・10SD1049 (第15図 図版14)

位置 9・10ⅡB1西部を東西に延びる。

重複 9・10SE1054、9・10SX1068、9・10SK1050、9・10SI1062、9・10SB1と重複するが、9・10SK1050との新旧関係はあまりはっきりしていない。9・10SK1050以外との新旧関係は、9・10SX1068、9・10SI1062→9・10SD1049→9・10SE1054、9・10SB1-P1107である。

調査状況 10次調査で一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長17m以上、幅1m、深さ29cmの溝跡で、埋土は自然堆積土である。

出土遺物 渥美甕(2005)、常滑甕(2117・2118)、砥石(4009)が出土したほか、手づくねかわらけ小片が出土した。

遺構の年代 遺構の重複と出土遺物から12世紀中頃である。

第2節 11次調査の遺構

1 概要

11次調査は、8次調査区の東の微高地東部に11ⅡB1、微高地南端部に11ⅡB2～3の主たる調査区を設定し、遺構を掘削する調査を実施した。その結果、11次調査区では、掘立柱建物跡5棟（柱穴37基）、溝跡14条（道路状遺構1を含む）、井戸跡4基、土坑8基、性格不明遺構6基、柱穴89基の遺構が確認された。このうち11次調査では、掘立柱建物跡5棟（柱穴37基）、溝跡12条、井戸跡4基、土坑3基、性格不明遺構1基、柱穴9基について遺構を半裁あるいは一部掘削する調査を行った。

11ⅡB1は、標高22.6m前後の平坦な地形で、現況は1枚の水田である。表土を除去すると、洪水堆積土が堆積し、その直下に地山とした暗褐色または黄褐色のシルト質土が確認される。遺構は、この面で確認される。表土及び洪水堆積土を除去した旧地形は、南に向かってなだらかに傾斜しており、東側も低地状に下がる。また、微高地南端部の調査区11ⅡB2～3は、標高21.8mで南側の低地部に向かって緩やかに下がる地形である。現況是水田で、表土下には水田造成層と洪水堆積層が堆積し、この直下が地山となる。11ⅡB1、11ⅡB2～3ともに、9・10次調査区に比べると遺構の密度が低い。

2 掘立柱建物跡

掘立柱建物跡4棟、堀跡1棟が確認された。いずれも11ⅡB1の北東隅にあり、道路状遺構11SF159の東側に位置する。4棟が重複しているが、遺構の直接的な切り合いはない。これらの掘立柱建物跡は、長期にわたり同一個所で繰り返し建て替えられていることから、連続性を持つ建物であることが窺える。

11SB1（第28・29図 図版21・26～27）

構成柱穴 P3～8、P10、P11、P14～16、P18～20、P31、P57の16基の柱穴からなる。

重複 11SB2～4、11SK1と重複する。切り合いから11SK1→11SB1・11SB2の新旧関係である。

調査状況 全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状 桁行4間（12.3m）×梁行1間以上（5.3m～）の身舎の四面に庇が付く建物か、あるいは南の一面が庇になる東西棟の建物である。主軸方位は、N-18°-Eで、道路状遺構と近似する。平均的な柱間寸法は、梁行・桁行とも2.5m、軒の出1.3mである。柱穴は直径50cm前後で、大半の柱穴で柱痕を確認できる。柱穴は深さ10～40cmを測るが、身舎の柱と東部に位置する柱が深い。

埋土 埋土は柱痕と掘り方の2層に大別できる。柱痕には掘り方の土が含まれており、柱の抜き取り痕と思われる。

出土遺物 P14確認面から銭破片が出土したほか、P3、P8、P15かわらけ小片がわずかに出土した。

遺構の年代 遺構の重複から12世紀後半以降～中世末である。道路状遺構と11SA1と方位が一致しており、これらの遺構と並存していた可能性が高い。

11SB2（第28・29図 図版21・27）

構成柱穴 P27、P36、P40、P42、P44～47、P51、P56の10基の柱穴からなる。

重複 11SB1・3、11SK1、11SE48と重複しており、切り合いから11SK1、11SE48→11SB2の新旧関係である。

調査状況 全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状 桁行4間（8.7m）×梁行1間（5.3m）の東西棟の建物だが、柱間寸法を見ると、桁行中

央の2間は1.8m前後と揃っているものの、東西端の梁間は2.5m前後と広いため、桁行2間×梁行1間の身舎に東西に庇が付く建物と考えられる。主軸方位はN-16°-Eである。柱穴は、直径40cm前後、深さ40～50cmを測り、全て柱痕が確認できる。

埋土 埋土は柱痕と掘り方の2層からなり、柱痕は黒色の軟質土である。柱穴は規模、埋土ともに総じて均一である。

出土遺物 P36の柱痕から火縄銃玉（4016）が1点出土したほか、P42、45、47からよく似た鶏卵形の円石が6点出土した。

遺構の年代 出土遺物から中世末から近世と推定される。

11SB3 （第28・29図 図版21・27～28）

構成柱穴 P23、P28、P34、P64の4基の柱穴からなる。

重複 11SB1～4、11P29、P25と重複し、11P29→11SB3→11P25の新旧関係である。

調査状況 全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状 桁行3間（7.5m）、梁行1間以上（3.2m～）の東西棟の建物で、主軸方位はN-20°-Eを測る。桁行の柱間寸法は2.4mである。柱穴は、いずれも深さ10cm前後と浅く、底面には礎石状の石が見られる。小規模な礎石建物の可能性もある。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 重複する遺構との関係から、中世と推定される。

11SB4 （第28・29図 図版21・28）

構成柱穴 P30、P37、P38、P63の4基の柱穴からなる。

重複 11SB1・3と重複するが、遺構の切り合いはない。

調査状況 全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状 桁行3間（7.9m）、梁行1間以上（1.9m～）の東西棟の建物で、主軸方位はN-10°-Eを測る。柱間寸法は2.6m前後、柱穴は直径、深さとも40cm前後で、大半で柱あたりが確認できる。

埋土 埋土は、上部の堆積土と柱痕、掘り方の3層である。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 重複する遺構との関係から、中世と推定される。

11SA1 （第28・29図 図版28）

構成柱穴 P66～P68の3基の柱穴からなる。

重複 遺構の切り合いはない。

調査状況 全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 2間（4m）の柱穴からなる堀跡で、柱間寸法は2mである。柱穴は径20cm、深さ30cm前後である。P68のみ柱痕がみられる。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 主軸方位が11SB1と近似していることから、11SB1に伴う堀跡と考えられる。

3 井戸跡

11SE43 (第30図 図版22)

位置・重複 11ⅡB1の西部、道路状遺構より西側に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径1.4m、深さ1.1m以上の断面漏斗形の井戸跡で、下部は円筒状である。

埋土 8層以上で、全て自然堆積土である。1層が暗褐色土、5層と6層が灰褐色の粘土質の薄い層、それ以外は地山ブロックを主体とする土である。

出土遺物 上層から釘と鉄滓が出土した。土器は細片も出土していない。

遺構の年代 調査区の遺構の年代から、中世と推定される。

11SE48 (第30図 図版22)

位置・重複 11ⅡB1の東部に位置する。11SB2-P51と重複しており、11SB2-P51が新しい。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径1.8m前後、深さ1.6m以上の断面漏斗形、下部は円筒状の井戸跡である。

埋土 8層以上で、いずれも自然堆積土である。1層が暗褐色土、3層が灰褐色の粘土質土、それ以外は地山ブロックを主体とする土である。

出土遺物 上～中層から、かわらけ小片がわずかに出土したほか、釘と鉄滓が出土した。

遺構の年代 出土遺物と遺構の重複から、12～14世紀ごろと推定される。

11SE49 (第31図 図版22)

位置・重複 11ⅡB1の南東部に位置する。11SE50が西に隣接する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径1.7m、深さ2.1m以上のすり鉢形に開く深い井戸跡である。

埋土 11層以上で、自然堆積土である。5～6層が砂と炭化物、白色粘土粒を多く含む層、11層はグライ化した粘土質土である。

出土遺物 埋土の上位から、かわらけ小片がわずかに出土したほか、11層から木片が出土した。

遺構の年代 出土遺物と周辺の遺構の年代から、中世と推定される。

性格 11SE50とよく似た土で埋まっていることから、ほぼ同時期に埋まった遺構と考えられる。

11SE50 (第30図 図版22)

位置・重複 11ⅡB1の南東部に位置し、11SE49の西に隣接する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径1.6m、深さ1.5m以上のすり鉢形に開く井戸跡で、11SE49によく似ている。

埋土 9層以上で、自然堆積土である。埋土も全体的に11SE49と似ており、3層は11SE49の5～6層と同じ砂や炭化物、白色粘土粒を多く含む土である。また5層には20cm大の礫が多数含まれていた。

出土遺物 3～5層から、かわらけと土師器の小片が各1点出土した。

遺構の年代 出土遺物と周辺の遺構の年代から、中世と推定される。

性格 11SE49とよく似た土で埋まっていることから、ほぼ同時期に埋まった遺構と考えられる。

4 土坑

11SK1 (第31図 図版22)

位置・重複 11ⅡB1の北東部に位置する。11SB1-P18と11SB2-P42と重複し、本遺構が古い。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径1.6m、深さ1.4mのすり鉢状に開く井戸状の土坑である。

埋土 6層で、いずれも自然堆積土である。1層は焼土塊と炭化物を主体とする土、その他は壁の崩落土と思われる地山ブロックを主体とする土である。

出土遺物 確認面から手づくねかわらけ(1029)、3～5層から手づくねかわらけ片が2点出土したほか、上層から鉄塊と鉄滓が数点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀と考えられる。土坑としたが井戸跡の可能性もある。

11SK101、11SK106 (第32図 図版22～23)

位置・重複 11ⅡB2の南東部に位置し、11SK101、11SK106が南北に隣接する。11SK101は11SD102と重複し、本遺構が新しい。11SK106と重複する遺構はない。

11ⅡB2では、Ⅳ層とした遺構確認面の層の直下に2層の粘土層が堆積する。上部の粘土層①層は、砂質分を含んだ白～灰黄色の粘土で、一部に炭化物を含んでいる。下部の粘土層②層は、白色の硬く締まった粘土層である。

調査状況 一部を掘削し、埋土と遺物を確認した。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 11SK101は、確認面では1.7m×1.6mの不整な楕円形の土坑として確認される。深さ80cmの断面フラスコ形の土坑であり、粘土層②層が堆積する底面付近では、壁面が大きく抉られている。埋土は、大半が壁の崩落土と考えられる粘土質土であるが、最上層の1層は固く締まった褐色の砂質土である。11SK106は、確認面で1m×0.7mを測る不整な楕円形の土坑で、深さは80cmである。11SK101と同様に断面フラスコ形の土坑で、底面付近は横に大きく抉られている。埋土もほぼ11SK101と同じで、最上層の土もよく似ている。

遺構の年代・性格 遺構の形状から粘土採掘坑跡と考えられる。11SK101・106いずれも遺物は出土しておらず、年代の決め手に欠けるが、9・10次調査で確認されたかわらけ窯跡に関連する遺構と考えられることから、これらと同時期のものと捉えられる。

5 道路状遺構

11SF159 (11SD2、11SD55) (第32図 図版23)

位置・重複 11ⅡB1の中央部、掘立柱建物群の西側に位置する。調査区北半部は水田造成時に遺構確認面が削平されているが、南は削平されていないため、南側の遺構の残りが良い。遺構の重複はない。

調査状況 一部を掘削し、埋土と遺物を確認した。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 道路側溝と考えられる11SD2と11SD55の並走する2条の溝からなる。2条の溝は11ⅡB1南端から北東方向に10mほど延びて、調査区北部で途切れる。総長は10m以上、溝を含めた幅は2.3～3.3mを測る。主軸方位は、N-20°-Eで、11SB1の傾きと近い。11SD55と11SD2は幅50cm前後、深さ30cm前後を測る断面カマボコ形の溝で、規模、形状、埋土ともによく似る。埋土はいずれも自然堆積土である。路面は、幅1.6～1.8mを測り、10～15cmほどの厚さで地山を主体とする土が薄く盛られている。なお、調査区北部で遺構が途切れる部分は、深さ15cm程度でなだらかに北側へ向かって浅くなっていたことから、水田造成により削平され、遺構が途切れていたものと考えられる。

出土遺物 11SD2の確認面から刀子が出土したほか、11SD2と55の埋土からかわらけの小片、土師器片がわずかに出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から中世と推定される。11SB1、11SA1と方位が近似することから、これらの建物跡と同時に存在していたと推定される。道路状遺構の周囲には、同時期の遺構がほとんど分布していないことから、道の周辺は広場状の空間であったことが窺える。

6 溝跡

11SD52 (第33図 図版24)

位置 11ⅡB1の西部を南北に延びる。北に位置する12次調査区の12SD509と同一の遺構と思われる。

重複 11SD53、11SD54、11P144、11P145と重複するが、本遺構が最も古い。

調査状況 一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状 12SD509を含めた延長50m以上、幅0.8m、深さ60cmの断面箱形の溝跡である。

埋土 最下層には鉄分を多く含む灰色化した粘土質土が堆積しており、水が滞留したことが窺われる。

出土遺物 確認面から手づくねかわらけ片が1点出土した以外、遺物は出土しなかった。

遺構の年代 重複する遺構から12世紀後半以前と推定される。

11SD53 (第33図 図版24)

位置・重複 11ⅡB1の南西部を南東－北西方向に延びる。11SD52と重複し、本遺構が新しい。

調査状況 一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 掘り直しと思われる3期の溝が重複するもので、11SD53A→11SD53B→11SD53Cの順に変遷する。溝の延長は7m以上で、11SD53Aは幅0.6m以上、深さ50cmの断面箱形の溝、11SD53Bは0.7m、深さ30cmの断面U字形の溝である。11SD53A、53Bの最下層には鉄分を多く含む灰色化した粘土質土が堆積しており、水が滞留したことが窺われる。11SD53Cは、53Aと53Bの上部を掘り込んでいる幅2.5m前後、深さ約20cmの浅い溝で、全面に砂質土が堆積する。

出土遺物 11SD53Cから手づくねかわらけ(1028)、渥美甕(2034)、常滑甕(2169)、鉄滓が出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半ごろと推定される。

11SD54 (第33図 図版24)

位置・重複 11ⅡB1の南西部を南東－北西方向に延びる。11SD52と重複し、本遺構が新しい。

調査状況 一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。概要は11次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 延長18m、幅0.5～1m、深さ20cmの断面カマボコ形の溝跡である。11SD53に並走するが途中でコの字状に北に大きく屈曲する。埋土は自然堆積である。

出土遺物 羽口(4003)のほか、鉄製品と鉄滓が各1点出土した。

遺構の年代 重複する遺構から12世紀以降と推定される。

11SD61 (第34図 図版25)

位置・重複 11ⅡB1の東部、11SE48と11SE49の間に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ3m、幅0.6m、深さ25cmの土坑状の遺構である。埋土は自然堆積土である。

出土遺物・遺構の年代 埋土にⅡ層土が含まれないことから中世である。

11SD70、11SD71（第27・34図 図版25）

位置・重複 11ⅡB1の南トレンチに位置し、11SD70と71が南北に並走する。重複する遺構はない。

調査状況 一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 11SD70は、幅0.5m、深さ30cmの断面カマボコ形の溝跡、11SD71は幅1.9m、深さ60cmの断面箱形の溝跡である。11SD71は2期の掘り直しがみられる。

出土遺物 11SD70から砥石（4011）、11SD71からかわらけの小片が出土した。

遺構の年代・性格 埋土と形状から、11SD70は11SD54、11SD71は11SD53の延長部分と考えられる。

11SD102（第26・34図 図版25）

位置・重複 11ⅡB2南東部に位置する。11SK101、11SD104・105などと重複し、本遺構が最も古い。

調査状況 一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長21m以上、幅0.5～1.5m、深さ38cmの断面カマボコ形の溝跡である。埋土はにぶい黄褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 遺物は出土していない。

遺構の年代 遺構の重複から12世紀以降と思われる。

11SD103（第26・34図 図版25）

位置・重複 11ⅡB2の西部を南北に緩く曲がりながら延びる。重複する遺構はない。

調査状況 一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長9.5m以上、幅0.8m、深さ17cmの箱形の溝跡で、埋土は11SD102に似る。

出土遺物 土師器片が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から10世紀以降である。

11SD104、11SD105（第26・34図 図版25）

位置 11ⅡB2南東部に位置する。

重複 11SD102と重複し、11SD102→11SD104→11SD105の新旧関係である。

調査状況 一部を断ち割り、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土・出土遺物 11SD104は延長5m以上、幅0.4m、深さ17cm、11SD105は延長3m、幅0.2m、深さ4cmのごく浅い溝跡である。いずれも遺物は出土していない。

遺構の年代 遺構の重複から12世紀後半以降である。

7 畝跡

11SX161（第26図 図版25）

位置・重複 11ⅡB2の南西部に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 下層の遺構を確認するため、完掘した。

規模・形状・埋土 東西12m、南北5mの範囲に14本の畝状の溝跡が並列する。底面は不整形である。埋土はⅡ層の洪水堆積土を含む。

出土遺物 瀬戸大窯期と思われる小片や近世陶磁器が出土した。

遺構の年代・性格 埋土と出土遺物から近世以降の畝跡である。

第3節 12次調査の遺構

1 概要

12次調査は、微高地東部11ⅡB1の北、4次調査でトレンチを入れたところに主たる調査区12ⅡB1を設定したほか、微高地南部に11次調査の補足のため調査区12ⅡB2を設定して、遺構を掘削する調査を実施した。その結果、12ⅡB1を中心に、掘立柱建物跡5棟（柱穴40基）、溝跡10条、井戸跡18基、焼成遺構2基、土坑51基、性格不明遺構2基、柱穴447基の遺構が確認された。このうち12次調査では、掘立柱建物跡5棟（柱穴40基）、溝跡7条、井戸跡18基、焼成遺構2基、土坑29基、柱穴32基について遺構を掘削する調査を行った。

12ⅡB1は、標高23.1m前後の平坦な地形で、現況は1枚の水田である。表土を除去すると、水田造成土と洪水堆積土が堆積し、その直下に遺構確認面となる暗褐色シルト質土が堆積する。遺構は水田造成時の攪乱により一部が失われている。旧地形は、南に向かってなだらかに傾斜しており、東側も低地状に下がる。

2 掘立柱建物跡

掘立柱建物跡は5棟確認された。いずれも12ⅡB1の中央部にあり、区画溝の内部で5棟が重複する。

12SB1（第39図 図版39）

構成柱穴 P279、P286、P387、P394、P412、P430、P431、P456、P500の9基の柱穴からなる。

重複 12SB2～4、12SD1、12SE294・375と重複するが、遺構の切り合いがあるのは12SD1だけであり、12SD1が新しい。

調査状況 全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 桁行3間（7.6m）×梁行1間（3.6m）の東西棟の建物で、南側の中央に軒を持つ。主軸方位は、N-44°-Eで、区画溝と近似する。平均的な柱間寸法は、桁行2.4m、梁行3.6m、軒の出1.3mである。柱穴は径30cm前後、深さ20cmで、柱痕はみられない。

出土遺物 P500から手づくねかわらけ小片が1点出土した。

遺構の年代 遺構の重複と主軸方位から14世紀ごろと思われる。

12SB2（第39図 図版39）

構成柱穴 4P8、P203・204、P295、P366・367、P380・381、P386、P427・428の11基からなる。

重複 12SB1・3・4、12SE294・375・372と重複するが、遺構の切り合いがあるのは12SE294だけで、12SE294より新しい。またP203・204とP366・367間の柱は12SB3-P397と重複するとみられるが、12SB3の柱穴が大きく12SB2の柱痕跡は残っていない。

調査状況 全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 桁行3間（7.6m）×梁行1間（3.7m）の東西棟の建物で、平均的な柱間寸法は、梁行3.6m、桁行2.4m、主軸方位は、N-44°-Eである。規模、形態ともに重複する12SB1とよく似る。柱穴は径30cm、深さ10～30cm前後で、柱跡が残るものもある。また、P203・204、P366・367、P380・381、P427・428の柱が重複しており、同一場所で建て替えが行われたとみられる。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 遺構の重複と主軸方位から14世紀ごろと思われる。

12SB3 (第40図 図版40)

構成柱穴 P278、P350、P378、P389、P397、P579の6基の柱穴からなる。

重複 12SB1・2・4、12SE294と重複するが、直接の切り合いがあるのは12SB2だけであり、これを切っていると思われる。

調査状況 全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 桁行2間(5.8m)×梁行1間(3.5m)の南北棟の建物である。主軸方位はN-16°-Eで、桁行は2.3m、梁行3.5mを測る。柱穴は径35cm、深さ40cm前後と比較的大きく、ほとんどの柱で柱痕が確認できる。

出土遺物 P389の柱痕から15世紀中頃の古瀬戸縁釉小皿(2301)が出土している。

遺構の年代 出土遺物から15世紀ごろである。

12SB4 (第40図 図版40)

構成柱穴 P167、P182、P206、P358、P368、P574の6基の柱穴からなる。

重複 12SB1～3・5、12SE375などと重複するが、切り合いはない。

調査状況 現場調査終了後に建物に組めることが判明したものであるため、半裁していない柱穴がある。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 桁行2間(5.5m)×梁行1間(3.9m)の東西棟の建物である。主軸方位はN-5°-E、柱間寸法は桁行2.7m、梁行3.9mを測る。北列の柱穴のみの調査だが、柱穴は径25cm、深さ40cm前後で柱痕が残る。

出土遺物 P206の柱痕から隅金具状の銅製品(4017)が出土している。

遺構の年代 主軸方位が8SB1と近いことから、12世紀ごろの可能性はある。

12SB5 (第40図 図版40～41)

構成柱穴 P163、P169、P173、P188、P195、P224、P332、P577の8基の柱穴からなる。

重複 12SB4などと重複するが、切り合いはない。

調査状況 現場調査終了後に建物として把握したもので、柱穴は掘削していない。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状 桁行3間(6.6m)×梁行1間(4.1m)の東西棟建物と考えられる。柱間寸法は桁行2.1m前後、梁行4.1mで、柱穴は比較的小さい。主軸方位はN-33°-Eで12SD1・2と近似する。

遺構の年代 12SB1・2及び12SD1・2と主軸方位が近いことから、14世紀ごろと推定される。

3 井戸跡

井戸跡は、12ⅡB1の区画溝周辺で18基が確認された。このうち9基は区画溝内部、6基が区画溝外に位置する。12SE514・117・347の3基は区画溝と重複し、12SE514が区画溝に切られ、SE117は区画溝を切っている。

12SE4 (第41図 図版30)

位置・重複 12ⅡB1東部、区画溝の外側に位置する。12P571と重複し、本遺構が新しい。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。底面までは掘削していない。

規模・形状・埋土 直径1.2m、深さ1.3m以上の断面円筒形の井戸である。埋土は自然堆積である。

出土遺物 手づくねかわらけと12世紀以降のロクロかわらけの小片が10点ほど出土した。

遺構の年代 出土遺物から14～15世紀ごろと推定される。

12SE43 (第41図 図版31)

位置・重複 12ⅡB1の北東隅、区画溝の内部に位置する。12SK42と近接するが切り合いはない。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。湧水のため底面までは掘削していない。

規模・形状・埋土 直径1.3m、深さ1.7m以上を測る、開口部がラッパ状に開く井戸跡である。

埋土 10層以上の自然堆積で、5層には20cm大の礫が含まれる。

出土遺物 埋土上層から渥美の山茶碗の口縁部小片(2035)、10層から鉄製品が出土したほか、12世紀以降のロクロかわらけの小片が4点ほど出土した。

遺構の年代 出土遺物から13～14世紀ごろと推定される。

12SE45 (第42図 図版31)

位置 12ⅡB1の北東部、区画溝の内部に位置する。12SE43に隣接する。

重複 12SK102と重複し、本遺構が古い。

調査状況 底面まで半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径1.8m、深さ2.4mの開口部が緩やかに開く井戸跡である。壁面はあまり崩落していないように見受けられた。

埋土 最下層以外が単層の人為堆積土で一気に埋め戻されている。

出土遺物 埋土から手づくねかわらけ片、粗い胎土のかわらけ片や釘が出土した。また、取り上げられなかったが、底面付近で板状の木製品がみられた。

遺構の年代・性格 出土遺物から12世紀後半～13世紀ごろと推定される。調査時にも湧水がみられなかったことを考慮すると、井戸の掘削時にも水が湧かなかったために廃棄された可能性がある。

12SE117 (第42図 図版31)

位置 12ⅡB1の東部、区画溝上に位置する。

重複 12SD3・324・519などと重複し、12SE514→12SD3→12SD324・519→12SE117の新旧関係である。

調査状況 半裁したが底面まで掘削していない。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 直径1.4m、深さ1.8m以上の断面円筒形の井戸跡である。埋土は自然堆積土で、上層には炭や2cm大の焼土塊が多く含まれる。

出土遺物 ロクロかわらけ底部片(1030)、白磁端反皿(3012)のほか、釘や鉄塊などが出土した。

遺構の年代 出土遺物と遺構の重複から15世紀前半ごろである。

12SE134 (第42図 図版31)

位置・重複 12ⅡB1中央の南部、区画溝の内部に位置する。12SK510と重複し、本遺構が新しい。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。底面までは掘削していない。

規模・形状 長径1.6m以上、短径1.7m、深さ2.1m以上の平面楕円形、断面円筒形の井戸跡である。

埋土は6層以上で上部が埋め戻されている。形状や埋土は12SE463とよく似ている。

出土遺物 1層から銭〔皇宋通宝〕(4023)が出土したほか、埋土上層から鉄製品と12世紀以降のロクロかわらけ片が15点ほど出土した。

遺構の年代 出土遺物から14世紀ごろと推定される。

12SE151 (第41図 図版31)

位置・重複 12ⅡB1の北東、区画溝の内部に位置し、12SE346が西に隣接する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。湧水のため底面までは掘削していない。

規模・形状 直径1.5m、深さ1.6m以上の平面円形、断面円筒形がの井戸跡である。

埋土 6層以上で、上層が自然堆積土、下層が人為堆積土である。

出土遺物 手づくねかわらけ小片が1点だけ出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半以降である。

12SE294 (第41図 図版31)

位置・重複 12ⅡB1中央の南部、区画溝の内部に位置する。

重複 12SB2-P295、12P296・297・442・526と重複し、12P442→12SE294→12SB2-P295・12P296・12P297・12P526の新旧関係である。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。湧水のため底面までは掘削していない。

規模・形状 直径1.6m、深さ1.7m以上の平面円形、断面円筒形の井戸跡である。

埋土 5層以上で、最上層以外が埋め戻されている。

出土遺物 上層から須恵器系陶器の片口鉢片(2202)、3～5層から12世紀以降ロクロかわらけ片が10点ほど出土した。また、取り上げられなかったが4層で木材がみられた。

遺構の年代 出土遺物と遺構の重複から13世紀ごろと推定される。

12SE343 (第43図 図版32)

位置・重複 12ⅡB1の中央部、12SE346の西に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁したが底面まで掘削していない。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 直径1.6m、深さ1.5m以上の円筒形の井戸跡で、埋土は埋め戻しされている。

出土遺物 上～中層から青磁端反碗(3040・3041)と銭〔元豊通宝、祥符元宝〕(4024・4025)、かわらけ小片が出土した。また、また取り上げられなかったが7層で木材がみられた。

遺構の年代 出土遺物から14世紀ごろと推定される。

12SE346 (第43図 図版32)

位置・重複 12ⅡB1の北東、区画溝の内部に位置し、12SE151が東に隣接する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁したが底面まで掘削していない。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 直径1.8m、深さ1.6m以上の、平面円形、断面漏斗形の井戸跡である。

埋土 埋土は最上層のみ埋め戻されている。壁際には薄く粘土質土がみられることから、井戸枠があった可能性がある。

出土遺物 埋土の上～中層から、手づくねかわらけと粗い土のかかわらけ片が15点ほど出土したほか、釘などが出土した。また、また取り上げられなかったが8層で長さ1mほどの板材がみられた。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半以降である。

12SE347 (第43図 図版32)

位置・重複 12ⅡB1の北東部に位置し、区画溝12SD3と重複する。断面から本遺構が新しいと判断したが、12SD3と12SE347の埋土が似ており分層が難しかったことから、逆転する可能性もある。

調査状況 半裁したが底面まで掘削していない。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 直径2.4m、深さ2.3m以上と12ⅡB1では最も規模の大きな井戸跡である。平面は整然とした円形で、断面はラッパ状に開く。埋土は自然堆積である。

出土遺物 埋土の上～中層から、粗い胎土のかわらけ片と釘や鉄塊、鉄滓などの鉄製品が出土した。

遺構の年代 出土遺物からは13世紀以降とみられることから、新旧関係の判断が誤っている可能性が高い。

12SE372 (第44図 図版32～33)

位置・重複 12ⅡB1の西部、区画溝の内部に位置する。12SB2と重複するが、切り合いはない。

調査状況 半裁したが底面まで掘削していない。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 直径1.3m、深さ1.6m以上の円筒形の井戸跡で、最上層が埋め戻されている。

出土遺物 埋土上層から鉄製品、中層から13世紀ごろのロクロかわらけの口縁部片が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から13世紀以降と推定される。

12SE375 (第44図 図版33)

位置 12ⅡB1の西部、区画溝の内部に位置する。北西に12SE372が隣接する。

重複 12SB1、12SB2、12SB4、12P374と重複するが、切り合うのは12P374だけで、12P374が新しい。

調査状況 半裁したが底面まで掘削していない。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 直径1.3m、深さ1.2m以上の円筒形の井戸跡で、最上層が埋め戻されている。

出土遺物 1～3層から粗い胎土のロクロかわらけの底部(1033)と口縁部小片が各1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から13世紀以降と推定される。形状・埋土とも12SE372に類似することから、同時期の遺構と考えられる。

12SE455 (第44図 図版33)

位置・重複 12ⅡB1の西部、区画溝の外に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。底面までは掘削していない。

規模・形状・埋土 直径1.1m、深さ1.9m以上の円筒形の井戸跡で、12ⅡB1では最も径が小さい。

埋土 6層以上で、最下層6層以外が埋め戻されている。6層上面には20cm大の礫がみられた。

出土遺物 2層から炭化米が1点出土した。それ以外の出土遺物はない。

遺構の年代 埋土にⅡ層土が含まれないことから、中世である。

12SE463 (第44図 図版33)

位置・重複 12ⅡB1中央の南部、区画溝の外に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。底面までは掘削していない。

規模・形状・埋土 長径1.5m以上、短径1.5m、深さ2m以上の平面楕円形、断面円筒形の井戸跡である。埋土は7層以上で最下層以外が埋め戻されている。形状や埋土は12SE134とよく似ている。

出土遺物 埋土上層から、粗い胎土のかわらけ片が4点と鉄滓が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から13世紀以降と推定される。

12SE511 (第45図 図版33)

位置 12ⅡB1南東、区画溝の外に位置する。

重複 12SK512、12SK529と重複し、12SK512→12SE511→12SK529の新旧関係である。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。底面までは掘削していない。

規模・形状 直径1.8m、深さ1.2m以上の断面がラッパ状の井戸跡で、埋土は自然堆積土である。

出土遺物 埋土上～中層から12世紀以降のロクロかわらけ片が20点、下層から青磁碗片(3042)、釘、鉄塊が各1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から15世紀ごろである。

12SE514 (第45図 図版33)

位置・重複 12ⅡB1南東部に位置し、区画溝12SD3と溝跡12SD519と重複する。本遺構が最も古い。

調査状況 一部を掘削したが底面まで掘削していない。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 直径1.9m、深さ60cm以上を測る。埋土は人為的に埋め戻されている。

出土遺物 手づくねかわらけ片が2点ほど出土した。

遺構の年代 出土遺物と遺構の重複から12世紀後半以降である。

12SE525 (第46図 図版34)

位置・重複 12ⅡB1の北東、区画溝の外に位置する。12SH530と重複し、本遺構が新しい。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。底面までは掘削していない。

規模・形状・埋土 長径1.5m、短径1.1m以上、深さ1.2m以上を測る、平面楕円形でラッパ状に開く井戸跡である。埋土は4層以上で、1～3層が自然堆積、4層が人為堆積土である。3層には1～3cm大の焼成粘土塊が多量に含まれる。

出土遺物 手づくねかわらけと思われる破片が2点出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半以降である。

12SE532 (第45図 図版34)

位置・重複 12ⅡB1の南トレンチ、区画溝の外に位置する。12P570と重複し、本遺構が新しい。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。底面までは掘削していない。

規模・形状・埋土 直径2m、深さ95cm以上のラッパ状に開く井戸跡である。埋土は5層以上で、全て自然堆積土である。

出土遺物 1～5層から、15世紀ごろのロクロかわらけ片が出土した。

遺構の年代 出土遺物から15世紀ごろと推定される。

4 焼成遺構

12SH145、12SK46、12SK48 (第46図 図版34)

位置 12ⅡB1南東部、区画溝の外に位置する。

重複 12SK46・48・528・529、12P39・557・558と重複し、12P558→12SH145→12SK46・48・528・529・12P39・557の新旧関係である。また、遺構の南部は水田造成による掘削を受けており残ってい

ない。

調査状況 ベルトを残し掘削し、埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状 南北1.5m以上、東西1.9mの平面方形の土坑で、南西隅に炉床面と考えられる赤色化した面がある。床面は地形に沿って南に傾斜している。炉床面は確認面から約10cmの深さのところに、あまり硬化していない暗赤灰色面が径50cmにわたって広がり、その直上に硬い赤褐色ブロックの塊と炭が堆積する。周囲には20cm前後の被熱した石が床から浮いた状態で点在する。

埋土 炉床面付近の上部には赤褐色ブロックや炭を多く含む土が堆積し、土坑全体は炭や焼土粒をわずかに含む地山主体の土で被覆されている。また12SK46の埋土には炭が多量に含まれていた。

出土遺物 土坑の炉床面とほぼ同じレベルで、製鉄炉壁片（4005）が6点出土したほか、内側を上向きにした土師器小形甕（107）の一部と、その中央に鉄製品1点が置かれたような状態で出土している。このほか12SK46埋土中から12世紀以降のロクロかわらけ片（1032）が出土している。

遺構の年代 出土遺物から14世紀ごろと推定される。

性格 製鉄炉壁以外の製鉄関連遺物や鍛造剥片が見られないことから精錬炉跡と考えられる。

12SH530（第46図 図版34）

位置・重複 12ⅡB1の北東、区画溝の外に位置する。12SE525と重複し、本遺構が古い。

調査状況 一部を掘削し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1m、幅0.5m、深さ7cmの不整形な土坑で、底面から壁面が被熱している。

埋土 炭と焼成粘土塊が含まれる。重複する12SE525の埋土にも焼成粘土塊が多量に含まれていた。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代・性格 遺構の重複から12～13世紀ごろと推定される。性格不明の焼成遺構である。

5 土坑

12SK102（第47図 図版34）

位置・重複 12ⅡB1の北東部、区画溝の内部に位置する。12SE45と重複し、本遺構が新しい。

調査状況 半掘し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径2.1m、深さ37cmの円形土坑で、埋土に炭化物和焼土塊を多く含む。

出土遺物 手づくねかわらけと12世紀以降のロクロかわらけ片（1034）が10点ほど出土したほか、鉄製品が1点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から14世紀ごろと推定される、炭溜め状の遺構である。

12SK42（第47図 図版34）

位置・重複 12ⅡB1北東部、区画溝の内部に位置する。西に12SE43が近接するが切り合いはない。

調査状況 半掘し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径1m、深さ22cmの平面不整形な土坑で、埋土には炭化物が多く含まれる。

出土遺物 東濃系片口鉢（2205）とふいごの羽口1点のほか、鉄塊と鉄製品、鉄滓が出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀以降と推定される、炭溜め状の遺構である。

12SK44（第47図 図版35）

位置・重複 12ⅡB1北東部、区画溝の内部に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 長さ0.9m、幅0.8m、深さ15cmの平面楕円形の皿状土坑である。埋土は炭片や焼成粘土塊を多量に含む土が自然堆積している。

出土遺物 遺物は出土していない。

遺構の年代・性格 年代は不明の炭溜め窯状の遺構である。

12SK10 (第47図 図版35)

位置・重複 12ⅡB1南東部、区画溝の外に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.6m、深さ12cmの浅い円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 遺物は出土していない。

遺構の年代 埋土にⅡ層土が含まれないことから、中世と思われる。

12SK15 (第47図 図版35)

位置 12ⅡB1南東部、区画溝の外に位置する。

重複 12P13・527・572と重複し12P527→12SK15→12P13・572の新旧関係である。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.9m、幅0.7m、深さ38cmの楕円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 遺物は出土していない。

遺構の年代 埋土にⅡ層土が含まれないことから、中世と思われる。

12SK19 (第47図 図版35)

位置・重複 12ⅡB1南東部、区画溝の外に位置する。東に12SK86が隣接する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.9m、幅0.7m、深さ30cmを測る、底面皿状の楕円形土坑である。埋土は白色粘土ブロックや炭化物を含む土が自然堆積する。形状や埋土など12SK454・38・40と類似する。

出土遺物 かわらけ細片がわずかに出土した。

遺構の年代・性格 埋土と出土遺物から中世の土坑である。

12SK20、12SK22 (第47図 図版35)

位置・重複 12ⅡB1南東部、区画溝の外に位置する。

重複 12SK22と重複し、12SK20→12SK22の新旧関係である。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.8～1.2m、深さ50cm前後の円形ないし楕円形の土坑である。埋土は両者とも白色粘土ブロックを多く含む土が自然堆積している。形状、埋土ともに相似した遺構である。

出土遺物 手づくねかわらけ小片と12世紀以降のかわらけ片が8点、鉄製品が1点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から13世紀以降と推定される、粘土溜め状の遺構である。

12SK28 (第48図 図版35)

位置 12ⅡB1南東、区画溝の外に位置する。

重複12P29・30と重複し、12P30→12SK28→12P29の新旧関係である。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1m、幅0.4m、深さ8cmの浅い楕円形土坑で、埋土は白色粘土や炭を含む。

出土遺物 遺物は出土していない。

遺構の年代 埋土にⅡ層土が含まれないことから中世である。

12SK38 (第48図 図版35)

位置・重複 12ⅡB1南東部、区画溝の外に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.2m、幅0.9m、深さ43cmを測る、底面皿状の楕円形土坑である。埋土は白色粘土や炭化物を含む土が自然堆積する。規模形状や埋土など12SK454・19・40と類似する。

出土遺物 図化掲載していないが、体部下端がヘラケズリされるロクロかわらけ片が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から14世紀ごろと推定される。

12SK40 (第48図 図版36)

位置 12ⅡB1北東部、区画溝の内部に位置する。

重複 12SD3と重複し、12SD3に切られている。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1m、幅0.7m、深さ17cmを測る、底面皿状の楕円形土坑である。埋土は白色粘土や炭化物を多く含む土が自然堆積する。規模形状や埋土など12SK454・19・38と類似する。

出土遺物 手づくねかわらけ片が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物と重複する遺構から、12世紀後半～14世紀中ごろである。

12SK41 (第48図 図版36)

位置・重複 12ⅡB1北東部、区画溝の内部に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 直径0.8m、深さ63cmの円筒形の遺構である。底面には黒色の粘土質土が薄く堆積し、その上部は地山ブロック主体の土で一気に埋め戻されている。

出土遺物 手づくねかわらけ片が2片出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半ごろと推定される。

性格 柳之御所遺跡などで確認されている井戸状遺構と類似する。

12SK79 (第48図 図版36)

位置・重複 12ⅡB1中央の南部、区画溝の内部に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.4m、幅0.8m、深さ20cmの楕円形土坑である。埋土は埋め戻されている。

出土遺物 粗い胎土のロクロかわらけ底部片が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から13世紀以降と思われる。

12SK86（第47図 図版36）

位置・重複 12ⅡB1南東部、区画溝の外に位置する。西に12SK19が隣接する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.8m、幅0.5m、深さ16cmを測る、底面皿状の楕円形土坑である。

埋土 白色粘土を主体とする土の一部に1層の炭化物を含む黒色土が堆積する。

出土遺物 12世紀以降のロクロかわらけ（1035）が1点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から14世紀ごろと推定される、粘土溜め状の遺構である。

12SK119、12SK510（第48図 図版36）

位置 12ⅡB1南部、区画溝内部に位置する。

重複 12SE134と12SK510・119が重複しており12SE134と12SK119が12SK510を切っている。

調査状況 一部を掘削して埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 12SK119は、南北1m、東西0.6m以上、深さ10cmの楕円形の浅い土坑で、埋土は炭化物を比較的多く含む土が自然堆積している。12SK510は東西1.1m、南北0.7m、深さ10cmの方形の土坑で、土坑中央部の底面に直径30cm、深さ20cmほどのピットを持つ。埋土はピットが埋められたのち、全体が地山ブロックを含む土で埋め戻されている。

出土遺物 12SK119から12世紀以降のロクロかわらけ片と鉄塊が出土した。

遺構の年代 出土遺物と遺構の重複から12SK119が14世紀ごろ、12SK510がそれ以前である。

性格 12SK510は形状から方形竪穴遺構の可能性がある。

12SK149（第49図 図版36）

位置・重複 12ⅡB1北部、区画溝の内部に位置する。遺構の重複はない。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.4m、幅0.5m、深さ3cmの浅い楕円形土坑で、埋土は黄褐色土である。

出土遺物 遺物は出土していない。

遺構の年代 埋土にⅡ層土が含まれないことから中世である。

12SK150（第48図 図版36）

位置・重複 12ⅡB1北部、区画溝の内部に位置する。東に12SK236が隣接する。遺構の重複はない。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.7m、深さ20cmの円形土坑で、地山ブロックを含む土で埋まっている。

出土遺物 粗い胎土のロクロかわらけ片のほか、弥生土器、土師器片などが出土した。

遺構の年代 出土遺物から中世である。

12SK236（第49図 図版37）

位置 12ⅡB1北部、区画溝の内部に位置する。西に12SK150が隣接する。

重複 12P235・238・239・243と重複し、12P239→12P238・12P243・12P235→12SK236の新旧関係である。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1m、幅0.9m、深さ21cmの楕円形土坑で、埋土は焼土を多量に含む。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 埋土にⅡ層土が含まれないことから中世である。

12SK263 (第48図 図版37)

位置・重複 12ⅡB1北東部、12SE151の東に隣接する。重複する遺構はない。

調査状況 確認面で弥生土器が出土したが、遺構の掘削は行わず上面での確認に留めた。

規模・形状 長さ1.3m、幅0.9mの不整形な土坑である。埋土は地山に似ている砂質土であった。

出土遺物 確認面から弥生土器(3)が潰れた状態で出土した。

遺構の年代 出土遺物から弥生時代後期である。

12SK454 (第49図 図版37)

位置・重複 12ⅡB1北西部、区画溝の内部に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 長さ1m、幅0.7m、深さ35cmを測る楕円形土坑である。埋土は1層が黒色地山を含む土、2～3層はグライ化した粘土質土である。形状や埋土など12SK40・19・38と類似する。

出土遺物 2層から在産陶器の甕片(2217)が1点出土している。

遺構の年代 出土遺物から13世紀末～14世紀ごろである。

12SK513、12SK520、12SK521、12SK528、12SK529 (第49図 図版37)

位置・重複 12ⅡB1南東部にあり、12SK513と12SK528、12SK529は区画溝の外、12SK520、12SK521は区画溝の内部に位置する。いずれも重複する遺構はない。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.7m前後、深さ30cmのよく似た不整形な土坑である。埋土は炭や焼土を含む土である。

出土遺物 12SK513から12世紀以降のかわらけ片、12SK520と12SK521からかわらけの細片が出土した。

遺構の年代 出土遺物から14世紀以降と思われる。

12SK534 (第49図 図版38)

位置・重複 12ⅡB1北東部に位置し、区画溝12SD3と重複する。本遺構が古い。

調査状況 半裁し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.6m、幅0.4m～、深さ22cmの楕円形土坑で、2層に白色粘土を多く含む。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 遺構の重複から14世紀以前である。

6 溝跡

区画溝跡12SD1、12SD2、12SD3、12SD466、12SD468 (第36・49図 図版38)

位置 12ⅡB1の中央に位置する。12SD3と12SD1、12SD466、12SD2、12SD468は、一辺28m以上の方形形状の区画をなす溝の一部と考えられる。

重複 12SE117・347・514、12SD509・519、12SK534と重複し、12SD509、12SE514、12SK534が区

画溝に切られ、12SD519、12SE117・347が区画溝を切る（12SE347については新旧逆転の可能性がある）。

調査状況 一部を掘削して埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状 区画溝は、調査区中央のトレンチ付近を南隅とし、N-45°-Eの角度で北西および北東方向におおむね直角に延びる。区画の東辺となる12SD3は、区画の南隅から調査区北東隅まで28mほど延びる。調査区北部は水田の造成により遺構が浅くなっているため判然としないものの、北端部がやや西側に傾くことから、ここで西へ屈曲する可能性が高い。区画の西辺となる12SD1は、区画の南隅から約20m北西に延びたところで土橋状に途切れて、その延長に12SD466と12SD2が方位を南側に振られて続く。12SD1と12SD466の間は、土橋状の開口部と考えられる。区画の南隅から約27m付近の12SD466の西端部には、枝分かれ状に北に延びる部分が認められ、12SD1北端部と同様に区画の屈曲部にあたると考えられる。西は12SD2との間が攪乱で失われているものの、12SD2に接続すると思われる。また、12SD3の中央付近から北西に延びる12SD468は、12SD3との明瞭な切り合いを確認できないことから、一連の遺構と捉えられ、方形区画の内部を画する溝と考えられる。

これらの溝跡は、幅1m、深さ0.5m前後を測り、内部を画する溝跡12SD468は浅い。いずれも断面カマボコ形の溝跡である。

埋土 埋土は下層が自然堆積土で、上層は埋め戻されている。

出土遺物 12SD1から鉄塊、12SD2から鉄製品、12SD3から在地産片口鉢（2216）と東濃系の片口鉢（2206）、渥美甕（2036）、釘などの鉄製品、12世紀以降と思われる粗い胎土のかわけ片、12SD466からふいごの羽口（4004）、12SD468から珠洲片口鉢（2201）が出土した。

遺構の年代 出土遺物と重複遺構から14世紀ごろと考えられる。

12SD324 （第36・49図 図版38）

位置 12ⅡB1の南部、12SD468の南に位置する。

重複 12SE117、12SD3と重複し、12SE117より古い。12SD3との新旧は不明である。

調査状況 一部を掘削して埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 延長7m、幅0.4m、深さ8cmの断面カマボコ形の溝で、埋土は黒褐色土である。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 重複する遺構から15世紀前半以前である。

12SD519 （第45図 図版33）

位置 12ⅡB1の南東部に位置する。

重複 区画溝12SD3、12SE117、12SE514と重複する。新旧関係は12SE514→12SD3→12SD519→12SE117である。

調査状況 一部を掘削して埋土と遺物を確認した。概要は12次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 延長4.8m、幅0.3m、深さ6cmのごく浅い溝跡で、埋土は黒褐色土である。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 重複する遺構から14世紀後半ごろである。

第4節 13次調査の遺構

1 概要

13次調査は、小堤防の北側と北上川との間に広がる微高地に13ⅡB1～4の主たる調査区を設定し、遺構を掘削する調査を実施したほか、微高地北の段丘下に13ⅡB5、微高地南部の低地に13ⅡB6の調査区を設定して遺構の確認を行った。その結果、13ⅡB1～4から、掘立柱建物跡2棟（柱穴18基）、溝跡20条（道路状遺構1を含む）、井戸跡10基、方形竪穴遺構1基、土坑28基、柱穴106基の遺構が確認された。このうち13次調査では、掘立柱建物跡2棟（柱穴18基）、溝跡15条、井戸跡10基、方形竪穴遺構1基、土坑25基、柱穴30基について遺構を半裁あるいは一部掘削する調査を行った。

13ⅡB1～4は、標高23.4m前後の平坦な地形で、現況は4枚の水田である。表土を除去すると、洪水堆積土が堆積し、その直下に地山とした暗褐色または黄褐色のシルト質土が確認される。遺構は、この面で確認される。表土及び洪水堆積土を除去した旧地形は、おおむね平らであるが、13ⅡB1の東と西が低地状に下がる。微高地北の段丘下に設定した調査区13ⅡB5は、標高21.8mで、13ⅡB1～4より2mほど低い。現況は原野で、表土下には洪水堆積層が2m以上堆積する。13ⅡB6は標高21.9mで、表土下には白色粘土層が堆積する。13ⅡB5、13ⅡB6ともに遺構は確認されなかった。

2 掘立柱建物跡

掘立柱建物跡は、13ⅡB1西部で13SB1と13SB2の2棟が確認された。いずれも道路状遺構13SF1の路面と西側側溝13SD31を切って構築されている。

13SB1（第54図 図版44・53）

構成柱穴 P22、P26、P29、P34、P36、P143、P144、P145、P153、P155の10基の柱穴からなる。

重複 道路状遺構の西側側溝13SD31のほか13SE4、13SK27と重複し、これらよりも本遺構が新しい。

調査状況 全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 桁行3間（6.3m）、梁行2間（4.2m）の東西棟の建物である。主軸方位はN-16°-E、平均的な柱間寸法は、桁行、梁行ともに2.1m前後である。柱穴は、径35cm、深さ38cm前後で、P22とP29、P36は柱痕跡が確認できた。

出土遺物 P36からふいごの羽口と鉄滓、鉄製品、P156から鉄製品が出土した。

遺構の年代 道路状遺構の路面及び西側側溝を切って構築されていることから、道路状遺構より新しい。さらに東側道路側溝13SD3とは切り合いがなく方位も近似することから、13SD3の最末期に伴うものと推定される。これらのことから13SB1の年代については15世紀以降と考えられる。

13SB2（第54図 図版45・53～54）

構成柱穴 P8、P11、P12、P13、P25、P150、P156、P157の8基の柱穴からなる。

重複 道路状遺構の西側側溝13SD31のほか13SK52、13SD37と重複し、13SK52→13SD31→本遺構→13SD37の順で変遷する。

調査状況 全ての柱穴を半裁し、埋土と遺物を確認した。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 桁行4間（7.4m）以上、梁行1間（3.7m）の東西棟の建物であるが、西側は調査区外に延びるため正確な規模は不明である。主軸方位はN-27°-Eで、平均的な柱間寸法は、桁行3.7m、梁行1.85mを測る。柱穴は、径、深さともに40cm前後と比較的大規模で、いずれの柱穴も埋土は埋め戻し土と推定される単層土である。

出土遺物 P8から鉄塊、P12から手づくねかわらけ小片が各1点出土した。

遺構の年代 13SB1と同様に道路状遺構の切り合いと方位から、15世紀以降と考えられる。

3 井戸跡

13SE4 (第55図 図版45)

位置・重複 13ⅡB1北西部、13SD31の区画内に位置する。13SB1-P153と重複し、本遺構が古い。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 直径1.8m、深さ1.4m以上のラッパ状に開く井戸跡で、埋土は自然堆積である。

出土遺物 確認面から青磁碗(3047)、1～3層から銭〔皇宋通宝〕(4036)、常滑壺(2175)、鉄塊、鉄製品が出土したほか、埋土中～下位で12世紀以降のかかわり片が少量出土した。

遺構の年代 出土遺物と重複する遺構から13～14世紀である。

13SE38 (第55図 図版45)

位置 13ⅡB1北西部、13SD31の区画内にあり13SE4が東に隣接する。

重複 13SK165と重複し、これを切る。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。

規模・形状・埋土 直径1.7m、深さ66cm以上の円筒形の井戸跡である。

埋土 埋土は自然堆積で、4層には炭化物や焼土塊が多く含まれていた。

出土遺物 手づくねかわらけ小片と粗い胎土のかかわり片が20点ほど出土した。

遺構の年代 出土遺物から13～14世紀と推定される。

13SE96 (第56図 図版45)

位置 13ⅡB3の中央に位置する。東に13SE97が隣接する。

重複 13SD2、13SK124、13SD135、13P89・90・94・95・98・122・123と重複し、13SD135→13SK124→13SE96→13SD2・13P89・90・94・95・98・122・123の新旧関係である。

調査状況 底面まで半裁し埋土と遺物を確認した。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径2.7m、深さ2.3mのすり鉢状に開く井戸跡で、13次調査区では最大の井戸である。

埋土 埋土は自然堆積土で、2層に炭化物、7層には粉状の炭が堆積する。

出土遺物 確認面から常滑甕(2185)、6～12層から手づくねかわらけ(1040・1042)、釘などの鉄製品が多数出土したほか、埋土全体から手づくねかわらけ片が出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半ごろと推定される。

13SE97 (第55図 図版45)

位置 13ⅡB3の中央に位置する。西に13SE96が隣接する。

重複 13SD135、13P115～118と重複し、13SD135→13SE97→13P115～118の新旧関係である。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径1.6～2.1m、深さ1.6m以上の平面楕円形ですり鉢状に開く井戸である。

埋土 自然堆積土で、4～6層には粉状の炭や焼土塊を含む。全体に13SE96とよく似た埋土である。

出土遺物 3層から刀子と手づくねかわらけ(1041)、5層から渥美甕(2040)、9層から釘が出土したほか、埋土全体から手づくねかわらけ片、土師器片が出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀後半ごろと推定される。

13SE127 (第56図 図版46)

位置・重複 13ⅡB2西部に位置し、13SD126と重複する。本遺構が新しい。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径1m、深さ1.3m以上の円筒形の井戸跡である。

埋土 7層以上で人為堆積である。2～3層には炭化物や焼土を多く含む土が堆積する。

出土遺物 2層の炭化物層から13世紀後半ごろのロクロかわらけ(1043)と銭2点〔淳熙元宝・元祐通宝〕(4037・4038)が出土したほか、1層から鉄塊と鉄滓が出土した。

遺構の年代 出土遺物から13世紀後半ごろである。

13SE128 (第56図 図版46)

位置・重複 13ⅡB2西部、13SE127の北に位置する。13SD129と接するが新旧関係は不明瞭である。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径1.5m、深さ1.6m以上の円筒形の井戸跡である。

埋土 12層以上で人為堆積土である。2～3層にかけては20cm大の大量の礫が出土した。

出土遺物 1層から釘、2層から常滑片口鉢片(2176)が出土したほか、上層から粗い胎土のかわけ片が出土した。

遺構の年代 出土遺物から13～14世紀ごろと推定される。

13SE131 (第57図 図版46)

位置 13ⅡB2の西部、13SE128の東に位置する。

重複 13SD129・130・132と重複し、13SD129→13SE131→13SD130・13SD132の新旧関係である。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径2m、深さ2.2m以上の断面漏斗状の井戸である。埋土は自然堆積土である。

出土遺物 埋土上位から鉄塊と釘、7層から渥美壺(2041)、11層から銭〔熙寧元宝〕(4039)、埋土中位から常滑甕(2177・2178)、粗い胎土のかわけ片が出土した。

遺構の年代 出土遺物から13世紀後半から14世紀ごろである。

13SE133 (第57図 図版46)

位置・重複 13ⅡB2中央部、13SE131の東に位置する。13SD135と重複し、本遺構が新しい。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径1.7m、深さ1.7m以上を測る、断面漏斗状の井戸跡である。

埋土 17層以上で上層が自然堆積、それ以外は人為堆積である。埋土中位から礫が多量に出土した。

出土遺物 6層から鉄製品が多数出土したほか、埋土中位から12世紀以降のロクロかわらけ片が5点ほど出土した。

遺構の年代 出土遺物から13世紀から14世紀ごろである。

13SE161 (第58図 図版46)

位置・重複 13ⅡB3南東に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状 直径2 m、深さ2 m以上のラッパ状に開く井戸跡である。

埋土 14層以上で、上位が人為堆積、下位が自然堆積である。

出土遺物 9層から馬歯と鉄製品が出土したほか、上層から12世紀以降のかわらけ片が出土した。

遺構の年代 出土遺物から13世紀から14世紀ごろである。

13SE166 (第57図 図版47)

位置・重複 13ⅡB4の北部に位置する。13SD3と重複し、本遺構が古い。

調査状況 一部を掘削した。底面までは掘削していない。

規模・形状・埋土 直径2 m、深さ23cm以上の遺構で、埋土の状況から井戸跡と推定される。

出土遺物 1～2層から、銭3点〔元豊通宝・紹聖元宝・祥符元宝または祥符通宝〕(4040～4042)が出土した。

遺構の年代 出土遺物と重複する遺構から13～14世紀ごろと推定される。

4 方形竪穴遺構

13SK45 (第58図 図版47)

位置 13SK45は、13ⅡB1の北西隅、13SD31の区画内に位置する。

重複 13SK6及び13P46と重複し、13SK6→本遺構→13P46の新旧関係である。このほか遺構の北隅の底面は木根と思われる攪乱を受けている。

調査状況 ベルトを残して完掘した。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 南北1.7m、東西1.3m、深さ30cmを測る平面隅丸方形の土坑で、西と南、東の3隅に柱穴を持つ。遺構の外周には裏込めとも考えられる白色粘土が廻っているのが確認される(平面図破線部分)。主軸方位はN-17°-Eで、道路状遺構13SF1に近似する。埋土は自然堆積であるが、壁際には裏込めと想定される白色粘土層の堆積が見られる。遺構の底面にも白色粘土が広がるが、これは地山であることを確認している。柱穴は、径30cm、竪穴遺構の底面からの深さは40cm前後を測る。いずれも径12cmほどの柱痕が明瞭に残り、掘り方には白色粘土が多く用いられている。

出土遺物 かわらけの細片が数点出土したものの、年代を判定できる資料は出土しなかった。

遺構の年代 遺構の年代については、主軸方位が道路状遺構と近似することから、13世紀後半～14世紀代と考えておきたい。

5 土坑

13SK70 (第58図 図版47)

位置・重複 13ⅡB3の西部に位置する。13SD135と重複し、これを切って構築される。

調査状況 半裁し埋土と遺物を確認した。概要は13次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 長さ1.4m、幅0.9mの楕円形の土坑で、深さは約35cmを測る。主軸方位はN-20°-E前後で、道路状遺構などに近い傾きを持つ。埋土は自然堆積で、2層は炭化物層である。

出土遺物 土師器の細片がわずかに出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から10世紀以降と考えられる、炭窯状の土坑である。

13SK5 (第58図 図版47)

位置 13ⅡB1北西部、13SD31の区画内に位置する。

重複 13P42・43、13SK6と重複し、13SK6→13P42→13SK5→13P43の新旧関係である。

調査状況 遺構の3/4を掘削し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径1.5m、深さ25cmの円形土坑ある。

埋土 1層は暗褐色土、2層は白色粘土を主体とする土が自然堆積する。

出土遺物 確認面から銭〔永楽通宝〕の破片1点、1層から鉄滓が1点出土した。

遺構の年代 重複する遺構から中世と推定される。

13SK6 (第59図 図版47)

位置・重複 13ⅡB1北西部に位置する。13SK5、13SK45と重複し、本遺構が最も古い。

調査状況 一部を断ち割りし、埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 埋土がわかりにくく、プランはかなり不明瞭であるが、南北1.4m、東西1.1m以上、深さ15cmの方形の遺構と推定される。埋土は地山とよく似た土が堆積する。

出土遺物 同一個体と思われる須恵器長頸瓶の頸部と底部(108・109)が出土した。

遺構の年代 出土遺物から10世紀ごろである。

性格 竈は確認できないものの、竪穴住居跡の可能性が高い。

13SK7 (第59図 図版47)

位置・重複 13ⅡB1南西部に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.6m、幅0.2m、深さ8cmの浅い楕円形土坑で、黒褐色土が堆積する。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代・性格 近世以前と考えられるが、根跡など自然の穴の可能性もある。

13SK10 (第59図 図版47)

位置・重複 13ⅡB1南西部に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.5m、幅0.3m、深さ11cmの浅い楕円形土坑で、暗褐色土がで堆積する。

出土遺物 かわらけの細片が1点出土した。

遺構の年代 埋土にⅡ層土がみられないことから、中世の可能性はある。

13SK16 (第59図 図版48)

位置・重複 13ⅡB1西部、13SD31の区画内に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 南北1.6m、東西1.4m、深さ5cmのごく浅い方形土坑で、主軸方位が13SD31と近似する。埋土は暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 12世紀以降のロクロかわらけ底部片が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物と方位から13～14世紀ごろと推定される。

13SK17（第59図 図版48）

位置・重複 13ⅡB1西部、13SD31の区画内に位置する。13SD18と重複し、本遺構が新しい。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.7m、深さ4cmのごく浅い円形土坑で、黒褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 遺構の重複関係から13世紀以降と推定される。

13SK19（第59図 図版48）

位置・重複 13ⅡB1西部、13SD31の区画内に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.5m、深さ5cmほどのごく浅い円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 埋土から近世以前である。

13SK23（第59図 図版48）

位置・重複 13ⅡB1中央部に位置する。13SD140と重複し、これを切っている。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.5m、深さ10cmの円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 遺構の重複関係から13世紀以降である。

13SK27（第59図 図版48）

位置 13ⅡB1中央に位置する。

重複 道路状遺構13SF1、13SB1-P143と重複し、13SF1→13SK27→13SB1-P143の新旧関係である。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状 直径1.2m、深さ40cmの円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。底面中央は木根状の攪乱を受けている。

出土遺物 かわらけと土師器の細片が3点出土した。

遺構の年代 重複する遺構から15世紀中ごろと推定される。

13SK33（第60図 図版48）

位置・重複 13ⅡB1の北西部に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.9m、幅0.8m、深さ12cmの楕円形土坑で、埋土は自然堆積土である。

出土遺物 粗い胎土の手づくねかわらけ片などが3点と、釘1点が出土した。

遺構の年代 出土遺物から13～14世紀と思われる。

13SK35（第60図 図版48）

位置・重複 13ⅡB1西部、13SD31の区画内に位置する。土坑中央部が小柱穴に切られている。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.3m、幅0.8m、深さ18cmの不整形な土坑である。

埋土 1～2層に黒～暗褐色土、3層には白色粘土を含む土が自然堆積している。

出土遺物 かわらけ細片が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から13～14世紀と思われる。

13SK39 (第60図 図版48)

位置・重複 13ⅡB1西部、13SD31の区画内に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 直径0.9m、幅0.7m、深さ9cmの楕円形土坑で、暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 遺物は出土していない。

遺構の年代 埋土にⅡ層土を含まないことから、中世の可能性が高い。

13SK49 (第60図 図版49)

位置・重複 13ⅡB1の北西隅、13SD31の区画内に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.1m、幅0.4m以上、深さ38cmを測る、底が丸い楕円形土坑である。埋土は3層で、黒～暗褐色土が自然堆積する。形状、埋土ともに13SK146に相似する。

出土遺物 12世紀以降のロクロかわらけ片が1点出土した。

遺構の年代 層位と出土遺物から、13～14世紀ごろと推定される。

13SK52 (第60図 図版49)

位置 13ⅡB1の西トレンチに位置する。

重複 13P50、13SK51、13SB2-P157と重複し、本遺構が最も古い。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 幅2m、長さ0.8m以上、深さ9cmの浅い円形土坑で、暗褐色土が堆積する。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 重複する遺構から15世紀以前と考えられる。

13SK60 (第60図 図版49)

位置・重複 13ⅡB1北東部、13SD3の東に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.8m、幅0.6m、深さ21cmの底面不整形な楕円形土坑である。埋土は暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 かわらけ細片が1点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から中世以降と思われる。木根跡など自然の穴の可能性はある。

13SK73 (第60図 図版49)

位置・重複 13ⅡB3西部に位置し、13P74・173・174と重複する。本遺構がピットに切られている。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状 直径1.3m、深さ30cmの円形土坑で、底面は平らである。

埋土 1層に炭化物や焼土を含む黒褐色土、2層は地山ブロックを主体とする土が堆積する。

出土遺物 土師器片1点のほか、2層から鉄塊が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から古代以降である。

13SK124 (第60図 図版49)

位置 13ⅡB3の中央部に位置する。

重複 13SE96と重複し、13SK124→13SE96→13P123・13SD2と変遷する。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.8m、幅0.5m以上、深さ22cmの楕円形土坑である。下層は白色粘土ブロックを主体とする土で、その中心を掘り込むように1層の黒色土が堆積する。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代・性格 重複する遺構から12世紀後半以前と推定される、粘土溜め状の遺構である。

13SK142 (第61図 図版49)

位置・重複 13ⅡB1南東部、13SD3の東に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 幅0.2m、長さ0.2m以上、深さ22cmの底面不整形な楕円形土坑である。埋土は暗褐色土が単層で堆積する。埋土、形状とも13SK60に似る。

出土遺物 遺物は出土していない。

遺構の年代・性格 不明である。13SK60と同様に木根跡など自然の穴の可能性がある。

13SK146 (第61図 図版49)

位置・重複 13ⅡB1北端に位置し、13SF1、13SD31と重複する。本遺構が新しい。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1m、幅0.4m以上、深さ30cmを測る、底が丸い楕円形土坑である。埋土は2層で、暗褐色土が自然堆積する。形状、埋土ともに13SK49に相似する。

出土遺物 かわらけ細片が1点出土した。

遺構の年代 遺構の重複から15世紀以降である。

13SK165 (第61図 図版49)

位置・重複 13ⅡB1の西部に位置し、13SE38と重複し、本遺構の中央部を13SE38が切っている。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 南北3m、東西1.3m以上、深さ22cmの平面が方形基調の遺構で、南東隅に柱穴を伴う。柱穴は直径25cm、深さ12cmを測る。土坑、柱穴とも暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 12世紀以降のかわらけが1点出土した。

遺構の年代・性格 重複する遺構から13世紀ごろの可能性がある。

性格 形状から方形竪穴遺構の可能性がある。

13SK137 (第62図 図版50)

位置・重複 13ⅡB2の北東隅に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 直径1.6m以上、深さ74cmの円形土坑で、底面には不整形な窪みがある。2層は暗褐色土の自然堆積土だが、下層と最上層は地山ブロックを主体とする土で埋められている。

出土遺物 12世紀以降のかわらけ片が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から13～14世紀以降と思われるが、近世～近代の植栽痕の可能性もある。

13SK136、13SK160、13SK164（第61・62図 図版50）

位置・重複 13ⅡB2、3の東部、13ⅡB1との間にある低地部に集中する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 直径1.6～1.9m、深さ0.7～1mほどの円形土坑である。いずれも底面が不整形に窪んでいて壁が挟れるものもある。地山ブロックや礫をランダムに含む土で埋まっている。

出土遺物 13SK164から手づくねかわらけ片（1044）が出土したほか、全ての土坑からかわらけ片と、釘や鉄塊などの鉄製品が出土した。

遺構の年代・性格 土坑の形状から植栽痕と推定される。調査区は昭和30年代に水田化される以前は畑や桑畑であったといわれていることから、近世以降の桑の植栽跡と考えられる。低地部に遺構が集中することから、畑として利用しにくい低地部にのみ桑を植えたことが窺える。

6 道路状遺構・溝跡

13SF1（13SD3、13SD31）（第63・64図 図版43・50～52）

位置 13ⅡB1の中央を南北に延びる。

構成遺構 溝の一部が南北に並走する区画溝13SD3と13SD31とそれらを側溝とする道路状遺構13SF1からなる。

調査状況 5ヶ所を断ち割りして埋土と遺構を確認した。概要は13次概要報告書に掲載している。

13SD3 13SD3は、13ⅡB1を南北にほぼまっすぐ延び、13ⅡB1南端でL字状に東に曲がる。13SE166と重複し、これを切って構築されている。溝の長さはおよそ30m、確認面での幅は2.4m前後である。深さは30～40cmで、埋土及び底面の状況から4期の変遷が見て取れる。

遺物は、最上層から瓦質土器（2218）、古瀬戸緑釉小皿（2309）・壺または瓶子（2307・2308）、盤類（2306）天目茶碗（2304）、常滑甕（2179・2180）などが出土したほか、埋土からかわらけ片や鉄塊、鉄滓、鉄製品が出土している。

13SD31 13SD31は、13SD3の西2.5mのところに位置する。調査区北端から南へ約20mを13SD3に並走して延び、T5付近で西へおよそ90°屈曲する。13SD139と13SB1・2と重複し、13SD139→13SD31→13SB1・2の順で変遷する。確認面での幅は0.4～1.4m、深さは10～40cm前後である。埋土及び底面の状況から、3期の変遷があると考えられ、西にL字状に屈曲する溝は、最も新しい時期のものと思われる。本遺構は、溝の屈曲するT3付近から規模が小さくなるが、T3付近には、南北に延びる溝13SD18・138・139・140が集中しており、本遺構の古い段階と連続する可能性もある。

遺物は、確認面から白磁皿（3015）、埋土上層から白磁碗（3014）、常滑甕（2181）、刀子が出土したほか、埋土からかわらけ片や釘などが出土した。

13SF1 13SD3と13SD31が並走する間では、こぶし大の礫が多く散見されたほか、遺構面が削られていないT4付近では、路面とみられる土が確認されたことから、13SD3と13SD31の並走部分は、これらの溝を側溝とする道路状遺構（13SF1）と判断した。路面の長さは20m前後、確認面での幅は1.4～2.6

mである。路面は埋土から3面が確認できる。13SB1、13SK27、13SK146、13SD141と重複するが、路面が最も古い。

遺物は、縁金具と思われる銅製品（4018）、古瀬戸平碗（2305）、鉄滓などが出土した。

遺構の年代 路面と側溝との関係を整理すると、Ⅰ～Ⅳ期の変遷が推定され、Ⅰ～Ⅲ期は13SD3と13SD31を側溝とする道路状遺構であり、Ⅳ期は13SD3単独の溝となると考えられる。各期の年代については、Ⅳ期は出土遺物から15世紀半ば以降、Ⅰ～Ⅲ期は、遺構の重複等から13世紀後半から15世紀半ばまでの間に位置づけられる。

13SD18（第63・64図 図版51）

位置・重複 13ⅡB1の西部、13SD31の区画内に位置する。13SK17と重複し、13SK17に切られる。

調査状況 一部を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状 13SD31の内側で、13SD31と同じように屈曲して並走する溝跡である。延長5.7m以上、幅0.4m、深さ6cmを測る、ごく浅い溝跡である。

出土遺物 銭種不明の銭片と砥石（4013）、かわらけ片、鉄製品が出土した。

遺構の年代・性格 13SD31と並走することから、これと前後する時期のものであり、13SD31に関連する遺構と考えられる。

13SD28（第63・64図 図版51）

位置・重複 13ⅡB1の西部、13SD31の区画内に位置する。13SB1-P29と重複し、これに切られる。

調査状況 一部を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状 13SD18の内側で、13SD18と同じように屈曲する溝跡である。延長2.5m以上、幅0.5m、深さ10cmを測る、浅い溝跡である。

出土遺物 確認面から釘が1点出土した。

遺構の年代・性格 遺構の重複から、15世紀以前である。13SD18と並走することから、これに関連する遺構と考えられる。

13SD37（第63・64図 図版51）

位置・重複 13ⅡB1の南を南北に延びる。13SB2-P156と重複し、これを切る。

調査状況 一部を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状 延長3.5m以上、幅1.1m、深さ12cmの溝状の遺構である。13ⅡB4までは延びない。

出土遺物 かわらけ片が1点出土した。

遺構の年代 重複する遺構から15世紀以前である。

13SD138（第63・64図）

位置・重複 13ⅡB1南部にあり、南北に延びる。重複する遺構はない。

調査状況 一部を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長3m、幅0.5m、深さ9cmの浅い溝跡である。暗褐色土が堆積する。

出土遺物 遺物は出土していない。

遺構の年代 13SD31と並走していることから、これに関連する遺構と推定される。

13SD139（第63・64図 図版52）

位置・重複 13ⅡB1の中央を南北に延びる。13SD31と重複し、本遺構が切られている。

調査状況 一部を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長4.4m、幅0.5m、深さ10cmの浅い溝跡で、暗褐色土が堆積する。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代・性格 重複する遺構から13世紀ごろと推定される。13SD31と並走していることから、これに関連する遺構と推定される。

13SD140（第63・64図 図版52）

位置・重複 13ⅡB1の中央を南北に延びる。13SK23と重複し、これに切られる。また、13SF1とも重複するが、路面土が残っていないところに位置するため、本遺構との新旧関係は不明である。

調査状況 一部を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長7m、幅0.3m、深さ5cmの浅い溝跡で、暗褐色土が堆積する。

出土遺物 かわわけ細片が1点出土した。

遺構の年代 13SD31と並走していることから、これに近い時期のもので、関連する遺構と推定される。

13SD2（第52・62図 図版45）

位置・重複 13ⅡB3北西部を東西に延びる。13SE96、13P175～177と重複し、13SE96・13P175・176・177→13SD2の新旧関係である。

調査状況 一部を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長11.7m以上、幅1.2m、深さ16cmの溝跡で、砂質土が堆積する。

出土遺物 確認面から渥美壺（2042）、埋土から近代陶磁器、鉄製品、火打石などが出土した。

遺構の年代 出土遺物と埋土から近代の遺構である。

13SD126（第52・62図 図版52）

位置・重複 13ⅡB2西部を北西から南東方向に延びる。13SE127と重複し、これに切られる。

調査状況 2ヶ所を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長6.5m以上、幅1.7～2.4m、深さ54cm前後の断面がV字形の溝跡である。

埋土 上層に他の遺構ではみられない褐色砂質土が堆積し、それ以外は地山の崩落土である。

出土遺物 T2の埋土中位から、同一個体と思われる弥生時代後期の土器片（8～12）が多数出土した。

遺構の年代 出土遺物から弥生時代後期の溝の可能性が高い。

13SD129（第52・62図 図版52）

位置 13ⅡB2西部を北西から南東方向に延びる。

重複 13SE128、13SD132、13SE131と重複し、13SD129→13SE131→13SD132・130と変遷する。

調査状況 2ヶ所を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長11.7m以上、幅0.4～0.7m、深さ8cmの溝跡である。

出土遺物 T2から渥美の甕底部片（2043）が出土したほか、かわらけ片が出土した。

遺構の年代 出土遺物と重複する遺構から12世紀後半ごろである。

13SD130（第52・62図 図版52）

位置・重複 13ⅡB2西部を東西に延びる。13SE131と重複し、これを切っている。

調査状況 一部を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長2m以上、幅0.5m、深さ12cmの断面カマボコ形の溝跡である。

埋土 にぶい黄褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 12世紀以降のかわらけ片が2点出土した。

遺構の年代 遺構の重複から14世紀以降である。

性格 13SD132と並走するため、これと関係する可能性もある。

13SD132（第52・62図 図版52）

位置 13ⅡB2西部を、13SD130と平行して東西に延びる。

重複 13SD129、13SE131と重複しており、13SD129→13SE131→13SD132の新旧関係である。

調査状況 一部を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状 延長7.3m以上、幅0.4m、深さ11cmの溝跡で、暗褐色の埋土が堆積する。

出土遺物 遺物は出土していない。

遺構の年代 遺構の重複から14世紀以降であり、13SD130と関係する可能性がある。

13SD134（第52・62図 図版52）

位置 13ⅡB2東部を南北方向に延びる。13SD135と重複し、これを切っている。

調査状況 一部を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長4.6m以上、幅0.5m、深さ11cmの溝跡で、暗褐色の埋土が堆積する。

出土遺物 かわらけの細片が1点出土した。

遺構の年代 埋土から中世と推定される。

13SD135（第52・62図 図版52）

位置 13ⅡB2から13ⅡB3の中央を南北に延びる。

重複 13SD2・134、13SE96・97・133などと重複するが、本遺構が最も古い。

調査状況 一部を断ち割りして埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長15m以上、幅5.3m前後、深さ44cmの溝状の落ち込みである。

埋土 13SD126の1層とよく似た褐色砂質土が堆積する。地山とプランの判別はかなり難しい。

出土遺物 確認面でかわらけ片が出土している。

遺構の年代 重複する遺構と埋土から、弥生時代ごろの溝または自然の落ち込みと考えられる。

第5節 14次調査の遺構

1 概要

14次調査は、13次調査区の西部、小堤防の北側と北上川との間にある微高地に14ⅡB1～3の主たる調査区を設定し、遺構を掘削する調査を実施したほか、微高地北の段丘下に14ⅡB4トレンチ、13次調査の補足調査として14ⅡB5トレンチを設定して遺構の確認を行った。その結果、14次調査区では、竪穴住居跡1棟、溝跡11条、井戸跡2基、土坑17基、畝状遺構1基、柱穴58基の遺構が確認された。14次調査では、このうちの竪穴住居跡1棟、溝跡9条、井戸跡2基、土坑12基、畝状遺構1基、柱穴3基について遺構を半裁あるいは一部掘削する調査を行った。

14ⅡB1～3は、標高23.5m前後の平坦な地形で、現況は3枚の水田である。表土下に洪水堆積土、その直下で地山とした暗褐色または黄褐色のシルト質土で遺構が確認される。旧地形は、おおむね平らだが14ⅡB1中央部が低地状に下がる。14ⅡB4は、標高23mで、14ⅡB1～3より5mほど低くなる。現況は原野で、表土下には2m以上の洪水堆積層が堆積する。14ⅡB4で遺構は確認されなかった。

2 竪穴住居跡

14SI43・14SK71（第70・71図 図版58～59）

位置・重複 14ⅡB1西部に位置する。14SD45・46、14SK62・71・39、14P56・57・72と重複し、14SK62・14SK71→14SI43→14SD45・46・14SK39の新旧関係である。

調査状況 ベルトを残し完掘した。竈は断ち割っていない。概要は14次概要報告書に掲載している。

規模・形状 南北5.3m、東西4.8m、深さ38cm前後の南北に長い竪穴住居跡で、西壁の南寄りのところに小さめの竈があり、床面の中央部には炉跡がある。また、竪穴住居跡の南隅には14SK71が位置し、その延長上の14SI43の床面には焼土溜まりがある。14SK71は、長さ2.5m、幅50cm、深さ20cm前後の南北に長い瓢箪形の土坑である。埋土には焼土塊が多く含まれているが炭化物は少なく、壁面が焼けていることから竈煙道と考えられ、14SI43南西隅の床面の焼土溜まりが14SK71の竈焚口と考えられる。竈本体は残っていないこと、14SI43と主軸方位が同じであることから、14SK71は14SI43の古い竈と推定され、14SI43は新旧の2時期があると考えられる。さらに、14SK71の東隣の南壁際には土坑SK2がある。住居の床面土と考えられる7層と5層が土坑埋土の上部に堆積することから、14SI43の古段階の土坑と考えられる。

竈は、東西1m、東西70cmの規模で、煙道が短い。天井部が真下に崩落したような状態で、掛け口からは完形の内黒坏1点が逆位で出土しており、住居の廃棄に際する儀礼と推定される。

炉跡は、直径40cmの円形土坑で中央部は黒～青灰色の硬く焼き締まった粘土で、外周は赤く焼けている。中央には鉄滓が確認された。また、炉跡の北側には直径50cm前後の炭溜まりが隣接し、さらに、炉跡の西から南には床面に白色粘土が薄く堆積する部分が見られた。鍛造剥片は、住居5層から最も多く出土しており、平面分布はD6グリットを中心に住居跡の東～南にかけて同心円状に広がる。埋土 1～8層に分けられる。このうち最上層の1層は自然堆積土と考えられる暗褐色土で灰白色の火山灰状のものが少量混入している。2層は、土器や炭化物を含む地山を主体とする土で、人為的な埋め戻し土と思われる。地山との判別が難しく、遺構のプランは非常に把握しにくかった。3層と5層は床面上に薄く広がる層で、焼土や鍛造剥片などを多く含む。7層は白～黄褐色の粘土を含む貼り床状の土で、炭化物も薄く広がる。8層は、地山を主体とする土で古い住居跡の埋土と考えられる。出土遺物 遺物は、土師器の甕・内黒坏、須恵器瓶類、鉄塊、鉄滓などがコンテナで約19箱分出土している（112～138）。最も多いのは土師器甕で、口径が15cm前後の小形のヘラ削り整形甕が多く、ロ

クロ整形甕も1点ある。土師器内黒坏は口径14cm、底径5.3cmのものが主体である。ほかに特殊なものとしては、外面黒色処理された小形壺が1点ある。なお、ふいごの羽口や台石は出土していない。
遺構の年代 出土遺物から10世紀前半に位置づけられる、鍛造鍛冶炉を伴う竪穴住居跡である。

3 井戸跡

14SE1 (第71図 図版59)

位置・重複 14ⅡB1東トレンチに位置する。畝状遺構14SX100と重複し、これに切られる。
調査状況 底面まで半裁して埋土と遺物を確認した。概要は14次概要報告書に掲載している。
規模・形状 直径1.8m、深さ2.1mを測る。断面形状は、上に向かって開くラッパ形で、底に行くに従い細くなり、底は丸みを帯びている。
埋土 1～5層が自然堆積、6層以下は人為堆積土である。1層から20cm前後の礫が多数出土した。
出土遺物 1層から常滑の片口鉢片(2186)と、手づくねかわらけ細片が出土している。
遺構の年代 出土遺物から13世紀後半以降に位置づけられる。

14SE12 (第72図 図版59)

位置・重複 14ⅡB1の中央部、南壁際に位置する。14SK76と重複し、これを切っている。
調査状況 半裁したが底面までは掘削していない。概要は14次概要報告書に掲載している。
規模・形状 直径1.3m、深さ1.5m以上を測る円筒形で、井戸の中ほどの壁が大きく抉れている。
埋土 埋土は、1～10層に分けられる。基本的に自然堆積土だが、2～4層は人為的な堆積土である。1層は、灰黄色の火山灰状のものをわずかに含む暗褐色土で、3層は壁土の大破片が主体である。
出土遺物 3～4層から常滑の甕小片(2187)、5層からロクロかわらけ小片が出土した。このほか壁土と鉄製品、土師器、弥生時代後期の土器片(13～15)が出土している。
遺構の年代 出土遺物から12世紀以降である。

4 土坑

14SK62 (第72図 図版59)

位置 14ⅡB1の西部に位置する。14SI43と重複し、これに切られる。
調査状況 ベルトを残して完掘した。概要は14次概要報告書に掲載している。
規模・形状 長さ90cm以上、幅85cm、深さ15cm前後の楕円形の浅い土坑で、中央部に径55cmほどの円形の焼土塊のまとまりがあり、焼土塊の下底面も焼けている。何らかの炉跡と考えられるが、周囲から鍛造剥片などは確認されなかった。
出土遺物 内黒の坏(141)と土師器の甕(142)の破片が4点出土した。
遺構の年代 遺構の重複と出土遺物から10世紀ごろと考えられる炉跡である。

14SK76 (第72図 図版59)

位置・重複 14ⅡB1の中央部、南壁際に位置する。14SE12と重複し、これに切られる。
調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。概要は14次概要報告書に掲載している。
規模・形状・埋土 長さ1.5m、幅1m、深さ40cmの平面楕円形、底面皿形の土坑である。埋土の最下層には炭化物層が厚く堆積し、その間に焼土塊が層状に堆積しているが、底面、壁面はあまり焼けていない。埋土上層は地山を主体とする土で人為的に埋め戻されている。

出土遺物 土師器の甕と坏の破片、弥生時代後期の土器片が多数出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から10世紀ごろと考えられる、炭窯状の遺構である。

14SK77 (第72図 図版60)

位置・重複 14ⅡB1の中央部に位置する。14SK2-1と14SD4と重複しており、本遺構が最も古い。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。概要は14次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 長さ1.5m、幅1.2m、深さ25cmを測る底面皿形の土坑である。埋土の3層は、薄い炭化物層で、2層は埋め戻されている。形状、埋土ともに14SK76と類似している。

出土遺物 須恵器甕(143)、土師器甕破片のほか、底面付近から馬歯が1点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物と遺構の重複から10世紀ごろと考えられる、炭窯状の遺構である。

14SK8 (第72図 図版60)

位置・重複 14ⅡB1の東部に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。概要は14次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 直径68cm、深さ25cmの整った円形の土坑である。黒褐色土の埋土が堆積する。

出土遺物 手づくねかわらの破片7点と土師器片が5点出土している。

遺構の年代 出土遺物から12世紀以降と考えられる。

14SK2 (第73図 図版60)

位置・重複 14ⅡB1中央に位置する。Ⅱ層中で確認されたもので、14SK2はⅡ層中でなくなり、14SK2-1と14SK2-2のみが地山を掘り込む。14SD4、14SK77と重複し、14SK77→14SD4→14SK2と変遷する。

調査状況 Ⅱ層以下の遺構を確認するため、完掘して埋土と遺物を確認した。

規模・形状 東西5.7m、南北2.5m、深さ10cm前後の平面不整形な浅い窪みの中に、14SK2-1と14SK2-2とした、やや深い土坑が伴う。14SK2-1は、14SK2の北西にある東西2.5m、南北1.2m、深さ33cmの楕円形土坑である。底面中央には低い段差になっている。14SK2-2は14SK2の北部にある直径0.6m、深さ13cmの円形土坑である。

埋土 いずれの埋土も、Ⅱ層の砂質土を含む。14SK2の南端の埋土上部には焼土が薄く堆積していた。

出土遺物 近世から近代の陶磁器が出土した。

遺構の年代 出土遺物から19世紀以降である。

14SK3 (第73図 図版60)

位置・重複 14ⅡB1中央部に位置し、Ⅱ層中で確認されている。14SD31と重複し、本遺構が新しい。

調査状況 Ⅱ層以下の遺構を確認する必要があるため、完掘して埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 東西1.1m、南北0.7m、深さ23cmの方形土坑である。3層はグライ化している。

出土遺物 土師器片が4点出土した。

遺構の年代 層序と遺構の重複から近世以降である。遺構の年代から14SK2と関連する可能性がある。

14SK25 (第73図 図版60)

位置・重複 14ⅡB1東部に位置し14SX100、14SD4と重複する。14SK25→14SD4→14SX100と変遷する。

調査状況 半裁して埋土と遺物を確認した。

規模・形状 長さ0.9m以上、幅0.3m前後、深さ28cmの楕円形の土坑である。

埋土 土坑の北側部分と、南側の柱穴状の埋土に15～20cm大の礫が詰まっていた。

出土遺物 土師器片が1点出土した。

遺構の年代 遺構の重複から古代の遺構と思われる。

14SK34 (第74図 図版60)

位置・重複 14ⅡB1中央の北部に位置する。14SK40と重複しており、これを切っている。

調査状況 調査区内部分を完掘し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ0.8m以上、幅0.4m、深さ8cmの土坑で、調査区壁寄りの長辺の壁から底面にかけて被熱している。埋土は、洪水堆積土にみられる泥が沈殿したような土が堆積する。

出土遺物 土師器片が3点出土した。

遺構の年代 洪水堆積土状の土で埋まっていることから、近世の可能性が高い。

14SK39 (第74図 図版60)

位置・重複 14ⅡB1西部に位置し、14SI43と重複する。本遺構が新しい。

調査状況 ベルトを残し完掘した。

規模・形状・埋土 長さ1.1m、幅0.2m、深さ7cmの瓢箪形の土坑で、暗褐色土が堆積する。

出土遺物 土師器片が3点出土した。

遺構の年代 遺構の重複から10世紀以降である。

14SK65 (第74図 図版61)

位置・重複 14ⅡB2、T1の北部に位置する。西に14SK66が隣接する。重複する遺構はない。

調査状況 調査区内部分を完掘し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 長さ1.3m以上、深さ12cmの円形状の土坑である。黒褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 近世～近代の陶磁器が1点出土した。

遺構の年代・性格 出土遺物から近代である。形状と埋土から植栽痕と考えられる。

14SK66 (第74図 図版61)

位置・重複 14ⅡB2、T1の北部に位置する。東に14SK65が隣接する。重複する遺構はない。

調査状況 調査区内部分を完掘し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径1.1m、深さ45cmの円形土坑である。地山ブロックを含む土が堆積する。

出土遺物 近世～近代の陶磁器1点と縄文土器が2点出土した。

遺構の年代 出土遺物から近代である。形状と埋土から植栽痕と考えられる。

5 畝状遺構

14SX100 (第69図 図版61)

位置・重複 14ⅡB1東部に位置する。14SK25、14SD4などと重複するが、本遺構が最も新しい。

調査状況 下層の遺構を確認するため、完掘し埋土と遺構を確認した。

規模・形状・埋土 南北9m、東西4mほどの範囲に、5条の畝痕が残る。畝痕は幅0.5m前後、深さ

は10～30cm前後で、底面は規則的にピット状に深くなっている。埋土はⅡ層の砂質土を含む土である。
出土遺物 近世陶磁器2点と、渥美甕（2047）、青磁小片が各1点出土した。
遺構の年代 埋土と出土遺物から、近世以降である。

6 溝跡

14SD4（第69・74図 図版61）

位置・重複 14ⅡB1の東部を東西に延びる。14SK23・25・77・14SK2、14SX100と重複し、14SK23・25・77→14SD4→14SK2・14SX100の新旧関係である。

調査状況 2ヶ所を断ち割り、遺構と遺物を確認した。概要は14次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 延長12.1m以上、幅0.5m前後、深さ17～28cmを測る、断面箱形の溝跡で、埋土は暗褐色土の自然堆積土である。

出土遺物 手づくねかわらけ片と鉄塊が各1点、土師器片が5点出土した。

遺構の年代 遺構の重複と出土遺物から、中世と推定される。

14SD30（第69・74図 図版61）

位置・重複 14ⅡB1中央部を南西から北東に延びる。14SD31のほか14SD45、14SK40などと重複しており、14SD45→14SD30→14SD31・14SK40の順で変遷する。

調査状況 3ヶ所を断ち割り、遺構と遺物を確認した。概要は14次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 幅0.9m、深さ70cm前後の断面逆台形の溝で、調査区の南西部からまっすぐ北東へ11.5m延び、調査区北で北方向へL字状に屈曲するとみられる。14SD30の南西部は14SD31と重複しており、14SD31へ掘り直したと考えられる。埋土は地山ブロックを含む土で埋め戻されている。

出土遺物 確認面で東濃系の片口鉢片（2209）、埋土から手づくねかわらけ片と鉄製品が出土した。

遺構の年代 重複する遺構と出土遺物から、12世紀後半から14世紀ごろと推定される。

14SD31（第69・74図 図版61）

位置・重複 14ⅡB1中央部を南西から北に延びる。14SD30、14SD45、14SK3と重複しており、14SD45→14SD30→14SD31→14SK3の順で変遷する。

調査状況 3ヶ所を断ち割り、遺構と遺物を確認した。概要は14次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 幅1.2m、深さ40～60cm前後の断面逆台形の溝で、調査区の南西部から北東へ6m延び、北へL字状に屈曲する。延長は11m以上を測る。遺構の南西部は14SD30と重複しており、14SD30から14SD31に付け替えられたとみられる。埋土の最上層は自然堆積土である。

出土遺物 埋土から青磁盤（3049）と鉄塊、かわらけ細片が出土した。

遺構の年代 重複する遺構と出土遺物から14世紀以降と推定される。

14SD45（第69・74図 図版61）

位置・重複 14ⅡB1西部を南北に延びる。3m西には14SD46が並走する。14SI43、14SD30・31、14P64と重複し、14SI43→14SD45→14SD30→14SD31→14P64の順で変遷する。

調査状況 重複する遺構を調査するため、一部を完掘した。概要は14次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 幅1m、深さ50cmの逆台形の溝で、調査区をまっすぐ南北に9.2m延びる。埋土の最上層は埋め戻しされている。なお、並走する14SD46との間に路面状の土は確認できなかった。

出土遺物 手づくねと粗い胎土のかわけ片が5点、鉄塊のほか、土師器、須恵器片が多数出土した。
遺構の年代 重複する遺構と出土遺物から12世紀後半から14世紀ごろと推定される。

14SD46 (第69・74図 図版62)

位置 14ⅡB1西部を南北に延びる。3m東には14SD45が並走する。

重複 14SK71、14SI43、14P60・96と重複し、14SK71→14SI43→14SD46→14P96・60の順で変遷する。

調査状況 重複する遺構を調査するため、一部を完掘した。概要は14次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 幅0.6m、深さ28cmの断面カマボコ形の溝跡で、14SD45と並走して調査区をまっすぐ南北に9.9m延びる。埋土は自然堆積土である。

出土遺物 常滑甕(2188)、鉄塊、土師器片が出土した。

遺構の年代 重複する遺構と出土遺物から12世紀後半以降である。

14SD67 (第68・75図 図版62)

位置 14ⅡB2、T1の中央部を東西に延びる。重複する遺構はない。

調査状況 一部を掘削し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 幅0.4m、深さ25cmの断面カマボコ形の溝跡である。埋土は埋め戻されている。

出土遺物 出土遺物はない。

遺構の年代 Ⅱ層土を含まないことから近世以前と思われる。

14SD73 (第69・74図 図版62)

位置 14ⅡB1南部に位置する。14SX100と重複し、これに切られる。

調査状況 一部を掘削し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 延長1.5m、幅0.5m、深さ3cmの断面逆台形の溝状の遺構である。埋土は暗褐色土が単層で堆積する。

出土遺物 12世紀以降のかわけ片が1点出土した。

遺構の年代 出土遺物から中世である。

14SD74 (第68・75図 図版62)

位置 14ⅡB3、T3中央を東西に延びる。重複する遺構はない。

調査状況 一部を掘削し、埋土と遺物を確認した。概要は14次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 幅0.5m、深さ53cmの断面カマボコ形の溝で、埋土は自然堆積である。

出土遺物 石器が1点出土した。

遺構の年代 Ⅱ層土が含まれないことから中世と思われる。

14SD75 (第68・75図 図版62)

位置 14ⅡB3、T2からT3にかけて東西に延びる。重複する遺構はない。

調査状況 一部を掘削し、埋土と遺物を確認した。概要は14次概要報告書に掲載している。

規模・形状・埋土 延長10m以上、幅1.6m、深さ80cmの断面U字形の溝跡で、自然堆積である。

出土遺物 T3の1層から灰釉陶器の瓶類の破片(144)と、底面付近から渥美甕(2044)が出土した。

遺構の年代 出土遺物から12世紀以降である。

第6節 15次調査の遺構

1 概要

15次調査は、丘陵西裾の微高地に15 I G1～5のトレンチを設定して、遺構を掘削する調査を実施した。その結果、溝跡4条、焼成遺構1基、土坑3基、性格不明遺構2基、柱穴20基の遺構が確認された。15次調査では、このうちの溝跡4条、焼成遺構1基、土坑2基、柱穴3基について遺構について半裁あるいは一部掘削する調査を行った。

15 I G1～5は、標高25m前後の平坦な地形で、西部は標高22.5mほどの低地になっている。現況は原野である。表土を除去すると、洪水堆積土あるいは中世の整地層が堆積し、その下に地山とした暗褐色または黄褐色のシルト質土が確認される。遺構はこの面と中世整地層で確認される。表土及び洪水堆積土を除去した旧地形は、西に向かって傾斜し、15 I G3、15 I G4のトレンチ西端では洪水堆積層が2m以上堆積する。

2 15 I G1の遺構（第77図）

位置 15 I G1は、15次調査区の南端に設定した幅1m、東西27mのトレンチである。

層序 表土、近世以降の洪水堆積土、中世整地層、地山の順で堆積する。洪水堆積層は西に向かって厚く堆積している。中世整地層はトレンチの中程から東にのみ広がる。

遺構 表土直下で現代の溝跡と思われる15SD9が確認されたほか、地山面で柱穴状の遺構がみられた。遺物は、鉄塊や土師器片などが出土している。

15SD9（第77図 図版64）

位置・重複 15 I G1東部に位置する。重複する遺構はない。

調査状況 トレンチ部分を完掘した。

規模・形状・埋土・出土遺物 幅27cm、深さ35cmを測る、グライ化した土が堆積する断面U字形の溝跡である。遺物は出土していない。

遺構の年代 層位と埋土から現代の溝跡である。

3 15 I G3の遺構（第78図）

位置 15 I G3は、15次調査区の中央部に設定した幅1m、東西15mのトレンチである。

層序 表土、近世以降の洪水堆積土、中世整地層、地山の順で堆積する。洪水堆積層はトレンチ中程から西にのみ堆積しており、トレンチ西端では2.5m以上の厚さとなる。中世整地層はトレンチの東端の微高地上にのみ広がる。地山面は、微高地から西の低地に向かって急に下がる地形で、微高地から低地への転換点となるところには、a層とした中世整地層とよく似た土が堆積する。a層については、北上川の洪水によって、微高地部分が抉り取られた際に落盤した中世整地土と推定される。

遺構 遺構は確認されなかった。

4 15 I G4の遺構（第79図）

位置 15 I G4は、15次調査区の北端に設定した幅1m、東西10mのトレンチである。

層序 表土、近世以降の洪水堆積土、中世整地層、地山の順で堆積する。洪水堆積層はトレンチ西部にのみ堆積するが、15 I G3と同様に西に行くほど厚くなり、トレンチ西端では2.3m以上の層厚となる。中世整地層はトレンチの東端の微高地上にだけみられる。地山面は、微高地から西の低地に向かって

急に下がっており、微高地から低地への転換点となるところには、15 I G3でみられた中世整地層とよく似た a 層が堆積する。低地への転換点の II 層は中世整地層を切るような状態で堆積していることから、a 層については、北上川の洪水によって微高地の下部が抉り取られた際に、中世整地土が落盤したことにより生じた土であると推定される。

遺構 トレンチ東端の地山面で柱穴状の遺構と性格不明遺構が確認された。また、中世整地層からは11世紀ごろの土器小片や土師器などの遺物が出土している。

5 15 I G2の遺構 (第80図)

位置 15 I G2は、15 I G4の東に設定した幅 2 m、東西 5 m のトレンチである。トレンチ東端は丘陵の急斜面となる。

層序 表土、中世整地層、地山の順で堆積する。中世整地層は 2 面ある。上層の整地層は層厚 30cm の粘土塊や礫を含む地山を起源とする土、下層の整地層は厚さ 10cm の礫を含まない地山起源の土からなる。2 つの層の間には、炭化物や焼土からなる薄い層が広がる。現在のトレンチ東端が丘陵の急斜面であるのに対し、中世整地層を除いた地山面は比較的平坦に東へ延びる。このことから、現在の丘陵斜面は盛り土造成により造られた地形であり、旧地形は微高地が今より東へ広がっていたと思われる。なお斜面の盛り土造成の時期については、15 I G2上層の中世整地土と同時である可能性が高い。

遺構 下層の中世整地層面で 15P2～4 など多数の柱穴、地山面で柱穴や溝跡状の遺構が確認された。遺物は土師器の坏底部片 (145) などが出土した。

15SK1 (第80図 図版64)

位置 15 I G2の中央に位置する。上層の中世整地層の直下で確認された。

調査状況 下層を調査するため、完掘して埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 直径 35cm の薄い焼土層である。地面までは焼けていないことから、上層の整地層の直下にみられた炭層に伴うものであり、整地前の焼き払いなどの焼土と判断される。

15SD12 (第80図)

位置 15 I G2の西端の地山面で確認された。15P18・19と重複し、本遺構が最も古い。

調査状況 一部を掘削して埋土と遺物を確認した。

規模・形状・出土遺物 幅 24cm、深さ 5 cm の溝跡である。遺物は出土しなかった。

遺構の年代 層位から古代から13世紀ごろの遺構と推定される。

6 15 I G5の遺構 (第80図)

位置 15 I G5は、3 次調査トレンチ 3G2 の延長に設定した幅 1 m、東西 5 m のトレンチである。3 次調査 3G2 では、古代の炭窯状遺構などの遺構が確認されていることから、このトレンチを延長して調査区を設定し、遺構を確認した。

層序 表土、中世整地層、地山の順で堆積する。地山面での地形は平らである。

遺構 地山面で溝跡と土坑、柱穴が確認された。

15SD5 (第80図 図版64)

位置 15 I G5中央に位置し、地山面で確認された。重複する遺構はない。

調査状況 トレンチ部分を完掘し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 幅80cm、深さ33cmの断面カマボコ形の溝跡で、埋土は自然堆積である。遺物は出土していない。

遺構の年代 層位から古代から13世紀ごろの遺構である。

15SK6 (第80図 図版64)

位置 15 I G5南東端に位置し、地山面で確認された。重複する遺構はない。

調査状況 トレンチ部分を完掘し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土 径0.6m以上、深さ60cmの土坑である。埋土は人為堆積である。遺物はない。

遺構の年代 層位から古代から13世紀ごろの遺構である。

7 15 I G6の遺構 (第80図)

位置 15 I G6は、3次調査トレンチ3G1の延長に設定した幅1m、南北3mのトレンチである。3次調査3G1では、14世紀ごろの東西に延びる溝跡3SD75が確認されているが、道路状遺構の可能性もあるため対になる溝を確認するためトレンチを延長した。

層序 表土、中世整地層、地山の順で堆積する。地山面での地形は平らである。

遺構 地山面で溝跡と土坑、柱穴が確認された。

15SD7 (第80図 図版64)

位置 15 I G6の南に位置し、地山面で確認された。重複する遺構はない。

調査状況 一部を掘削して埋土と遺物を確認した。

規模・形状・出土遺物 幅40cm、深さ18cmの溝である。遺物は出土していない。

遺構の年代・性格 層位から古代から13世紀ごろの遺構である。3SD75とは平行するが、埋土も形状も異なることから、3SD75との関係はないと思われる。

15SK8 (第80図 図版64)

位置 15 I G6の北に位置し、地山面で確認された。重複する遺構はない。

調査状況 トレンチ部分を完掘し、埋土と遺物を確認した。

規模・形状・埋土・出土遺物 長さ75cm以上、深さ24cmの土坑である。埋土は人為堆積である。遺物は出土していない。

遺構の年代 層位から古代から13世紀ごろの遺構である。

第7節 9～15次調査の出土遺物

1 概要

第9～15次調査では、縄文時代、弥生時代、古代、中世、近世の遺物がコンテナで約90箱ほど出土した。主体は中世の遺物であり、全体の90%程度を占める。次いで古代の遺物が多く、縄文・弥生時代と近世の遺物は1%程度である。調査地点ごとにみると、9・10次調査区は、古代の遺物が若干あるほかは12世紀～13世紀前半の遺物にはほぼ限定される。11次調査区は、12～15世紀までの遺物があるが、出土点数が極端に少ない。12次調査区は弥生時代と12～15世紀の遺物が出土したが、14世紀が主体である。13次調査区では13世紀後半を中心に、弥生時代と12～15世紀の遺物が若干ある。14次調査区は古代の遺物が主体で、12～14世紀、近世～近代の遺物が少量出土した。15次調査区では、古代と中世の遺物が数点出土した。

2 縄文～弥生時代の遺物

縄文土器2点と弥生土器13点、弥生時代の石器2点を掲載した。1と2は縄文後期ごろの土器である。2は波状口縁である。3～15は弥生時代後期の土器で、8～12は同一個体と思われる破片である。いずれも撚糸文により施文されている。51と52はアメリカ式石鏃である。

3 古代の遺物

古代の遺物は、土師器と須恵器（101～143、145）44点、灰釉陶器（144）1点を掲載した。このほか鉄製品が出土している。大半が14次調査で出土したものである。土師器は坏、甕、壺があり、須恵器は甕、長頸瓶がある。いずれも10世紀ごろのものである。

4 中世の遺物

中世の遺物は、かわらけ、国産陶器、貿易陶磁器、土製品、石製品、銅製品、鉄製品がある。
かわらけ かわらけは実測可能な個体45点について図化掲載した。12世紀のロクロかわらけ2点と手づくねかわらけ30点、それ以降のものとみられるロクロかわらけが13点ある。12世紀のロクロかわらけの出土量は、手づくねかわらけに較べると非常に少ない。

1001、1020は、12世紀のロクロかわらけである。1001は赤褐色に焼成されていて、口縁部には焼成前に指で押したような痕がみられる。1002～1006、1008～1011、1013～1019、1022～1029、1036、1040～1042、1044、1045は手づくねかわらけである。12世紀後半のものが中心であるが、それより新しい様相を呈すものもみられる。1002～1006は9・10SH200から出土したものである。いずれも灰白～橙色の硬質の焼き上がりで、表面がほとんど擦れていない。12世紀第3四半期ごろのものと思われる。1010は底部に特徴的なすのこ状の圧痕がみられる。1007、1012、1021、1030～1035、1037、1038は12世紀以降に位置づけられるロクロかわらけである。1043は13世紀前半ごろのものである。1033と1037は胎土に粗い砂粒を多く含むもの、1012、1021、1030～1035、1038、1039は丘陵部で出土するかわらけと類似した、砂粒を含まない非常に軽い感じのかわらけである。1039は体部下端がヘラケズリされる。体部下端にヘラケズリを施すかわらけは他にも破片が数点ある。

国産陶器 国産陶器は179点出土した。内訳は渥美48点、常滑99点、珠洲1点、須恵器系1点、東濃系7点、在地8点、古瀬戸14点、瓦質土器1点である。このうちの171点について図を掲載した。

2001～2047は渥美産陶器である。2035が山茶碗、2006と2011、2012が片口鉢、2041と2042が壺、それ以外は甕である。2008の大甕は12世紀第2四半期、2035の山茶碗は12世紀中葉、2006の片口鉢は13

世紀前葉のものである。

2101～2193は常滑産陶器である。2119が山茶碗、2120、2121、2171、2176、2182、2183、2186の7点が片口鉢、2175が壺、それ以外は甕である。片口鉢2171が4～5型式、2121と2182が5～6a型式、2176と2186が6a型式である。甕は2172、2173、2177～2180、2184が13世紀～14世紀前半のもの、それ以外は12世紀～13世紀前半のものである。

2201は珠洲Ⅰ期の片口鉢、2202は須恵器系陶器の片口鉢、2203～2209は東濃系の片口鉢である。東濃系の片口鉢は同一個体の破片と思われる。

2210～2217は在地産の陶器である。2210と2211は水沼窯の壺で12世紀のものである。2212～2216の片口鉢と2217の甕は13世紀後半～14世紀ごろの在地産陶器である。2218は瓦質土器の小片である。

2301～2310は古瀬戸である。後Ⅰ～Ⅱ期の瓶子、壺類（2303、2307、2308）と平碗（2305）、後Ⅰ～Ⅲ期中皿（2302）、後Ⅲ期の盤類（2306）と縁釉小皿（2309）、後Ⅳ期古段階の縁釉小皿（2301、2310）と天目茶碗（2304）がある。このほか瀬戸の大窯期のもの（2311～2313）も出土している。古瀬戸は全て12次と13次調査区からの出土である。

貿易陶磁器 貿易陶磁器は60点出土した。内訳は白磁15点、青磁36点、青白磁5点、緑釉2点、褐釉2点である。このうちの58点について図を掲載した。

3001～3015は白磁である。碗2点、皿2点、四耳壺9点が出土している。3003～3006は同一個体と思われるⅡ系の四耳壺、3007と3008も同一個体と思われるⅢ系の四耳壺、3009と3010は大型で高台のない大型の四耳壺である。3014はⅡ類の碗、3002は壺蓋と思われるもの、3013は小型の袋もので、いずれも12世紀ごろのものである。3012は端反皿、3015は皿Ⅰ類である。

3016～3049は青磁である。碗32点、皿1点、盤類1点が出土している。3016と3036は同安窯系青磁碗で、3036がⅠ-1類である。3017～3033、3037、3038、3044～3046は龍泉窯系青磁碗で、Ⅰ-2a類（3018）、Ⅰ-2か3類（3019、3023、3044）、Ⅰ-3類（3037）、Ⅰ-4類（3045）、Ⅰ-5類（3025～3028、3038）、Ⅲ類（3029～3033）がある。3017は内面に白胎線がある小碗である。

3050～3054は青白磁である。3050～3052は同一個体と思われる合子蓋、3053は合子、3054は梅瓶である。3055と3056は磁竈窯産の洗または盤である。3057は褐釉陶器、3058は天目茶碗である。

土製品 土製品は、ふいごの羽口4点と製鉄炉壁1点を掲載した。製鉄炉壁4005は荒砂を多く含む脆い材質で、表面に気泡状になった鉄が付着している。

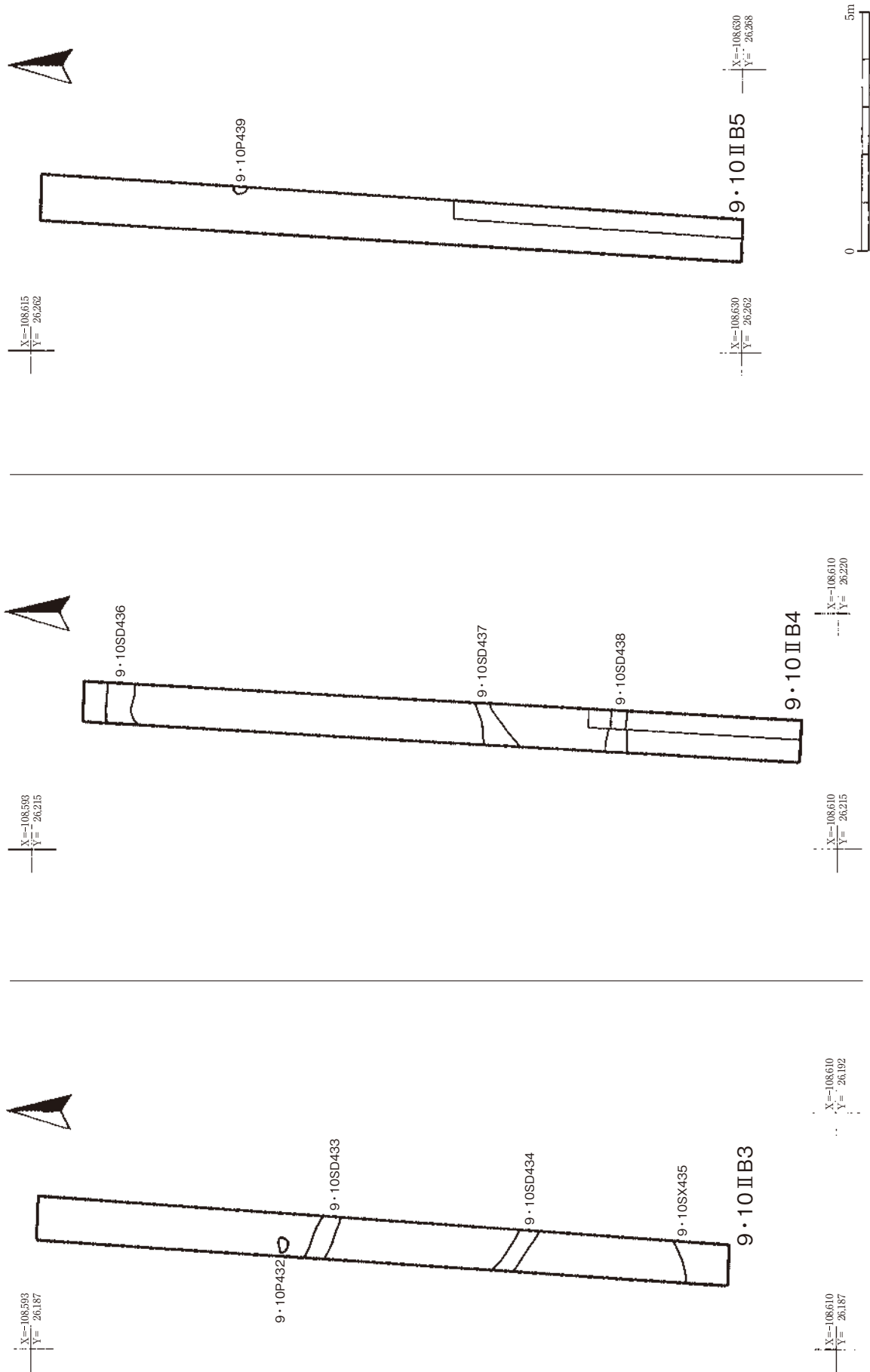
石製品 石製品は、数珠玉1点、砥石7点が出土した。4006は水晶製の数珠玉である。孔部分から半分に割れているものの、T字型に穿孔されていることから母珠である。孔の端部は3か所とも面取りされている。横孔は横方向に磨いた擦痕がみえるが、縦孔にはみられないことから未成品と判断される。破断面をみると横孔の一方の端部からの力で割れているので、横穴を磨いている途中で割れたと推定される。4011の砥石は緑色で軟質の石材である。4012の砥石は戯画が細かい工具で線刻されている。

銅製品 銅製品は、提子金具1点、銅塊1点、火縄銃玉1点、金具2点、銭33点が出土した。4014は提子の金具で鋌穴の周囲に花卉状の透かしが施される。鋌穴と釣り手金具をかける穴にも擦れがみられることから、使用されたものと考えられる。4015は銅塊で一部にカラム状のものが付着している。4016は火縄銃の玉で、両端には小さな突起がみえる。4017は隅金具あるいは水滴と思われるもの、4018は縁に付ける金具と思われる銅製品である。

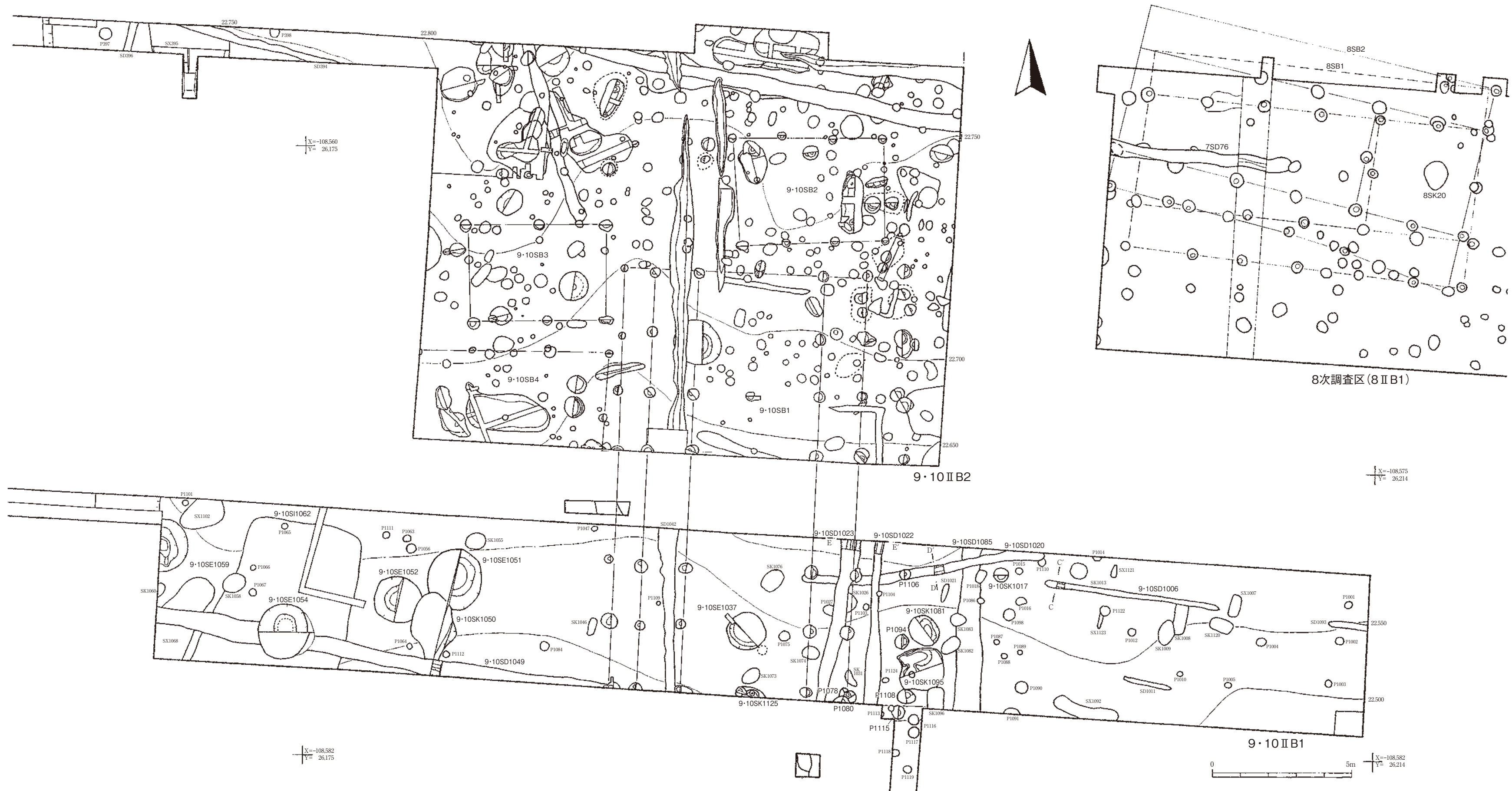
4019～4046は銭である。唐銭3点、北宋銭24点、南宋銭1点、明銭2点、銭種不明3点の33点が出土した。このうち28点の図を掲載した。



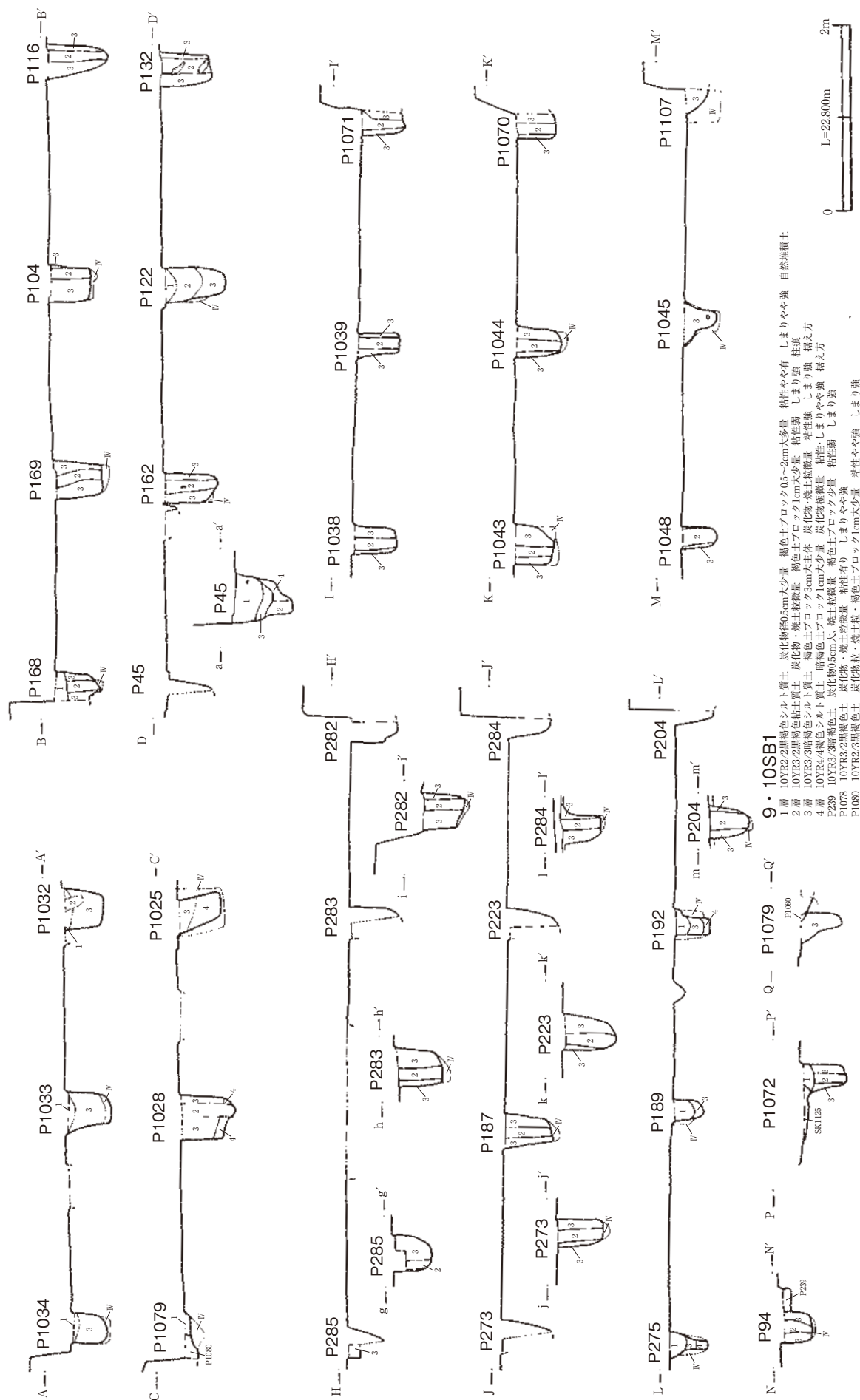
第7図 9・10次調査区全体図



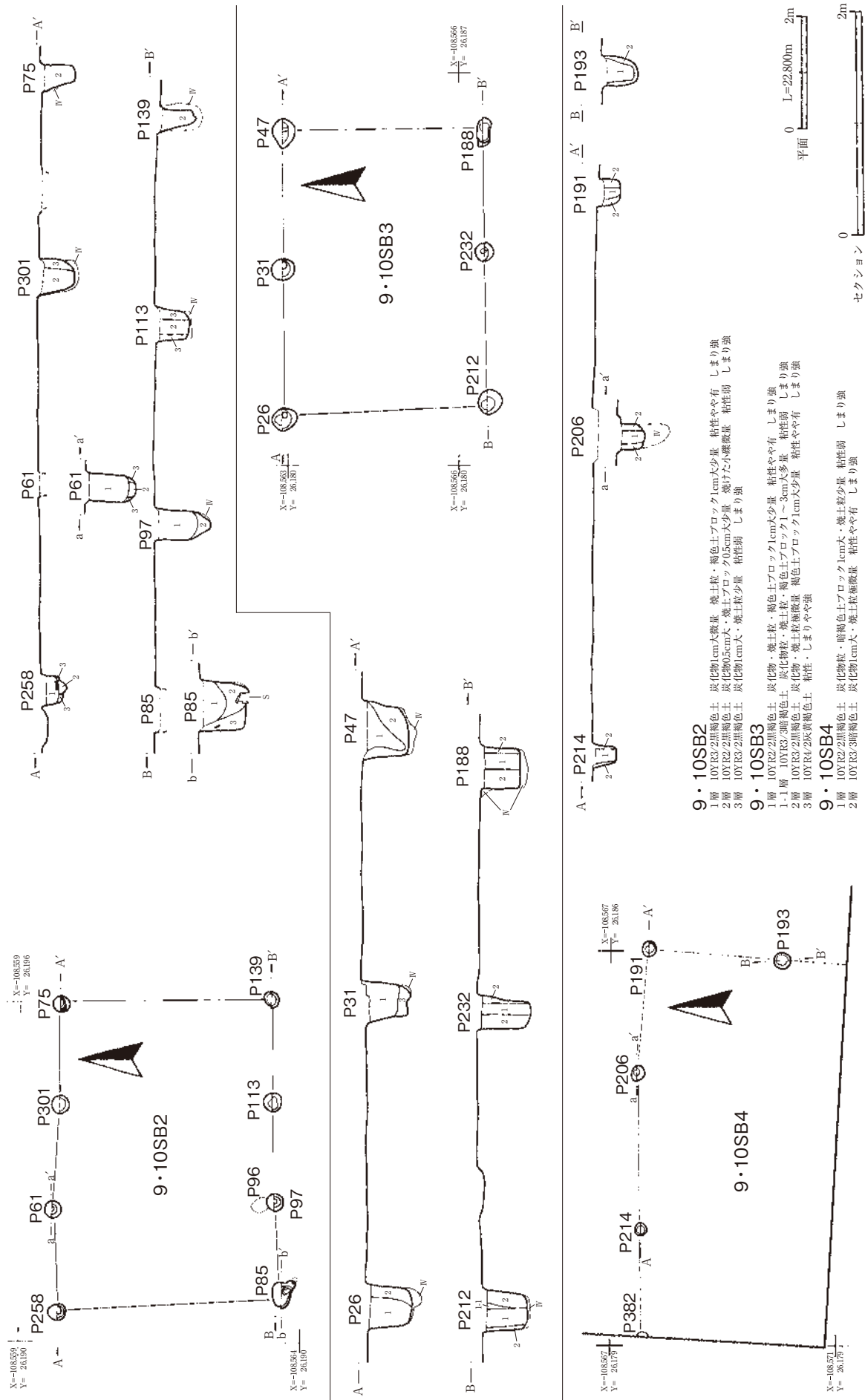
第8図 9・10次遺構全体図 (1)



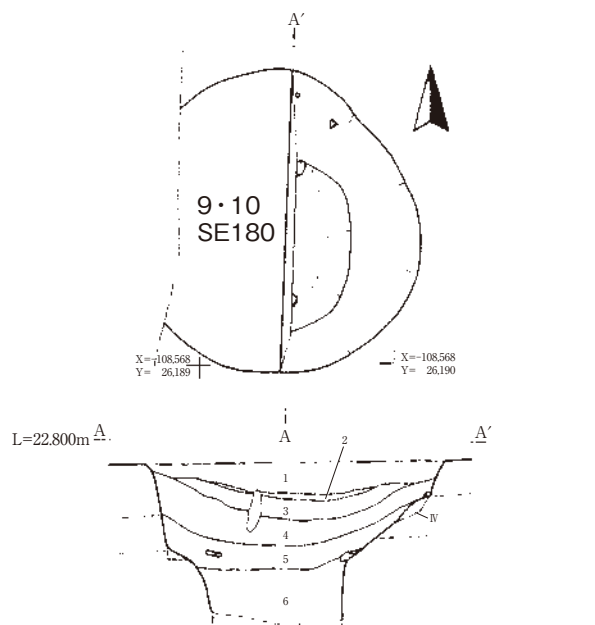
第9図 9・10次遺構全体図(2)



第12図 9・10SB1セクション図

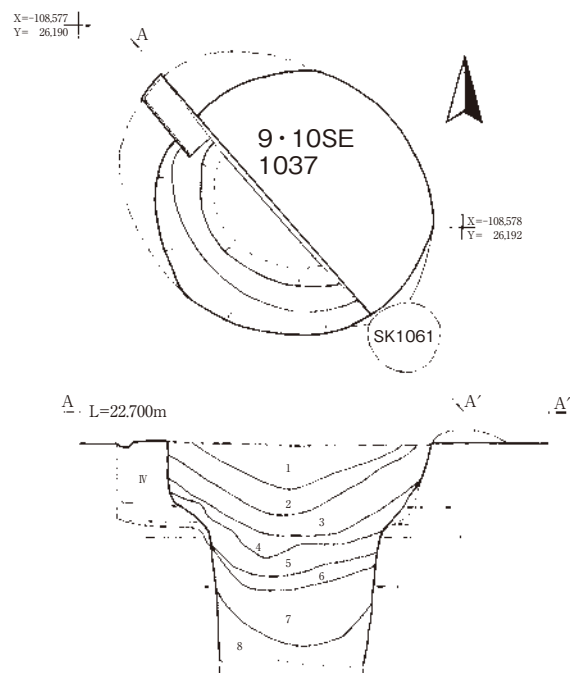


第13図 9・10SB2～4



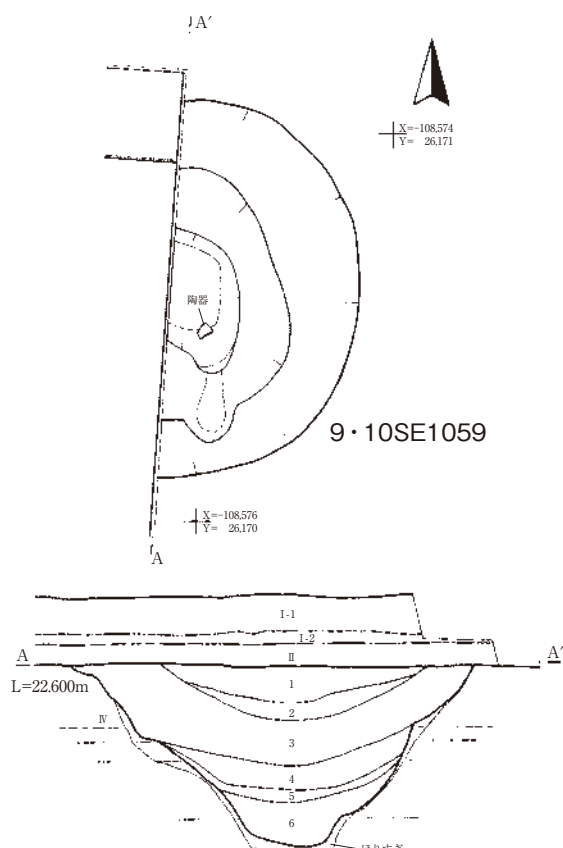
9・10SE180

- 1層 10YR2/3黒褐色土 炭化物、焼土粒0.5～1cm大少量 粘性有・しまり強
- 2層 10YR2/1黒色土 炭化物、焼土粒1cm大少量 粘性やや有・しまり強
- 3層 10YR3/1黒褐色土 炭化物、焼土粒1cm大少量 粘性有・しまり強
- 4層 10YR3/2黒褐色土 黄褐色土塊3cm大少量 炭化物1cm大少量 焼土粒0.5cm大微量 粘性強・しまり強
- 5層 10YR3/1黒褐色土 炭化物、焼土粒0.5cm大少量 粘性強・しまり強
- 6層 10YR3/1黒褐色土 黄褐色土塊1～5cm大少量 炭化物1cm大少量 粘性強・しまり強



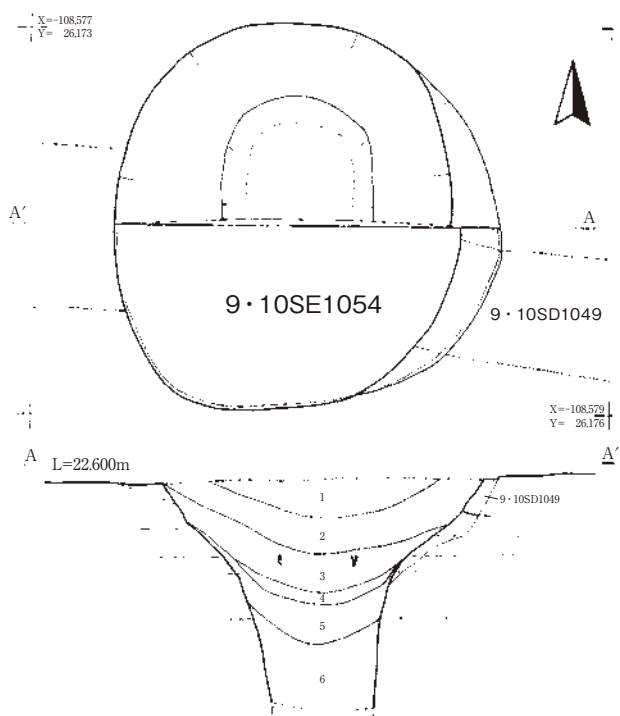
9・10SE1037

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5cm大・黄褐色土塊0.5cm大少量 粘性弱・しまり強
- 2層 10YR3/4暗褐色土 炭化物0.5～1cm大・黄褐色土塊1～5cm大少量 粘性やや有・しまり強
- 3層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物0.5cm大・黄褐色土塊0.5cm大少量 粘性・しまり強
- 4層 10YR4/2灰黄褐色土 黄褐色土塊1～3cm大少量 粘性・しまり強
- 5層 10YR3/1黒褐色土 褐色土塊1～5cm大少量 粘性・しまり弱
- 6層 2.5Y3/1黒褐色粘土質土 炭化物7、8層より多量 粘性・しまり強
- 7層 2.5Y4/2暗灰黄色粘土質土 炭化物極微量 粘性強・しまりやや強
- 8層 2.5Y3/1黒褐色粘土質土 炭化物微量 粘性・しまり強 検土杖では深さ+30cm以上



9・10SE1059

- 1-1層 水田土、1-2層 水田基盤層、II層 洪水堆積土
- 1層 10YR2/2黒褐色土 炭化物0.5～1cm大・焼土粒少量 褐色土塊1cm大微量 粘性弱・しまり強
- 2層 10YR2/1黒色土 炭化物多量 焼土粒微量 炭化物主体 粘性弱・しまりやや強
- 3層 10YR3/1黒褐色土 炭化物0.5cm大・焼土粒・褐色土塊3cm大微量 粘性強・しまり強
- 4層 10YR3/1黒褐色土 炭化物0.5～1cm大・焼土粒少量 褐色土塊1～2cm大微量 粘性強・しまり強
- 5層 2.5Y2/1黒色土 炭層 焼土粒子微量 粘性強・しまり弱
- 6層 2.5Y3/3暗オリーブ褐色土 炭化物微量 褐色土多量 粘性強・しまり弱 陶磁器出土



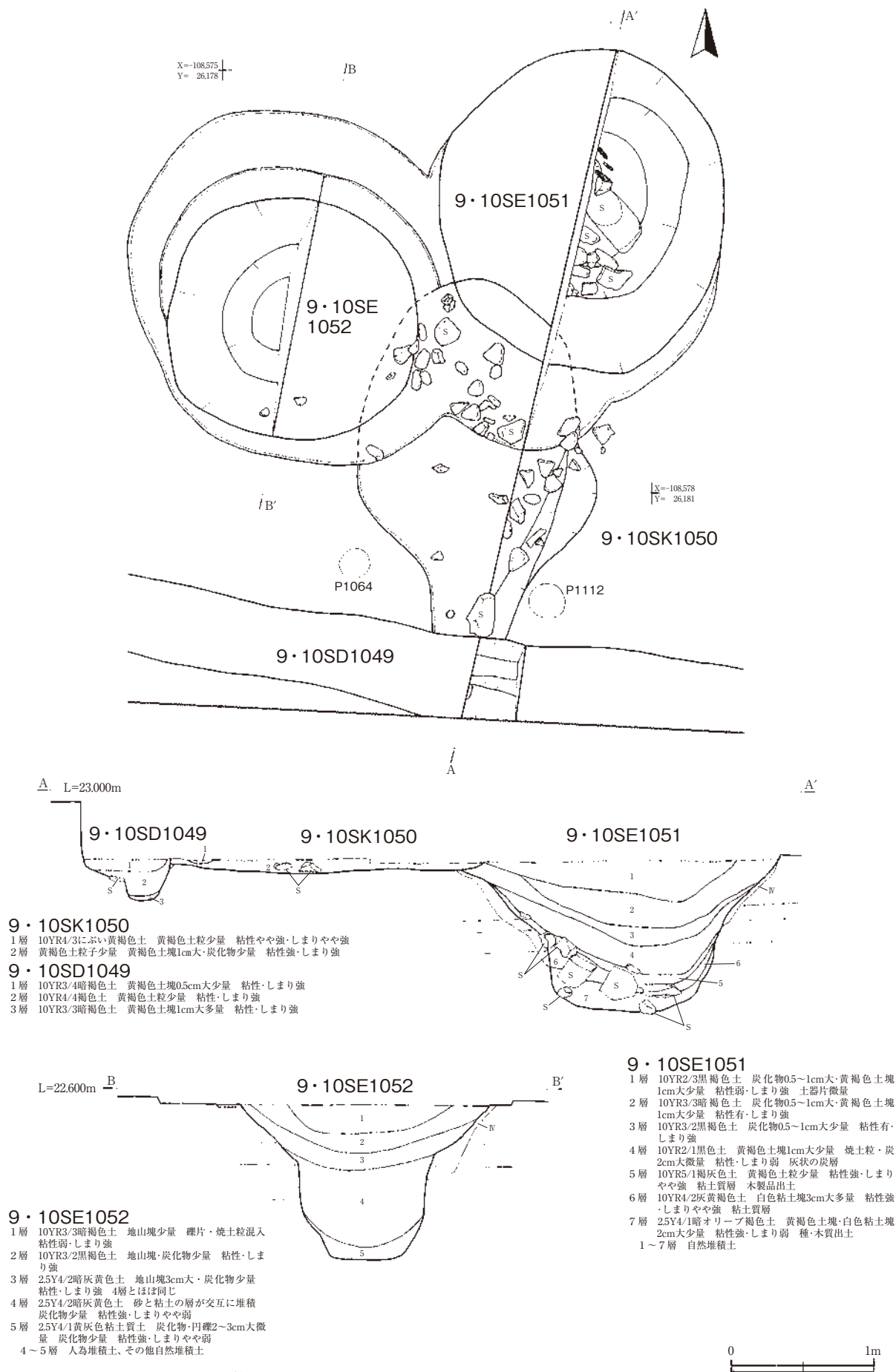
9・10SE1054

- 1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物・焼土粒微量 粘性弱・しまり強
- 2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物1cm大・褐色土塊少量 焼土粒微量 粘性やや弱・しまり強
- 3層 10YR4/1褐灰色土 炭化物0.5cm大・褐色土塊多量 褐色土粒少量 礫3cm大含む 粘性弱・しまり弱
- 4層 10YR4/1褐灰色粘土質土 上層に炭化物多量 黄褐色土粒少量 粘性強・しまり弱
- 5層 2.5Y3/2黒褐色土 炭化物0.5～1cm大が6層より多量 灰色粘土塊多量 砂混入 粘性強・しまり6層より弱
- 6層 2.5Y3/2黒褐色土 炭化物0.5cm大少量 灰色粘土塊多量 砂混入 粘性・しまり強 土器片・木片含む

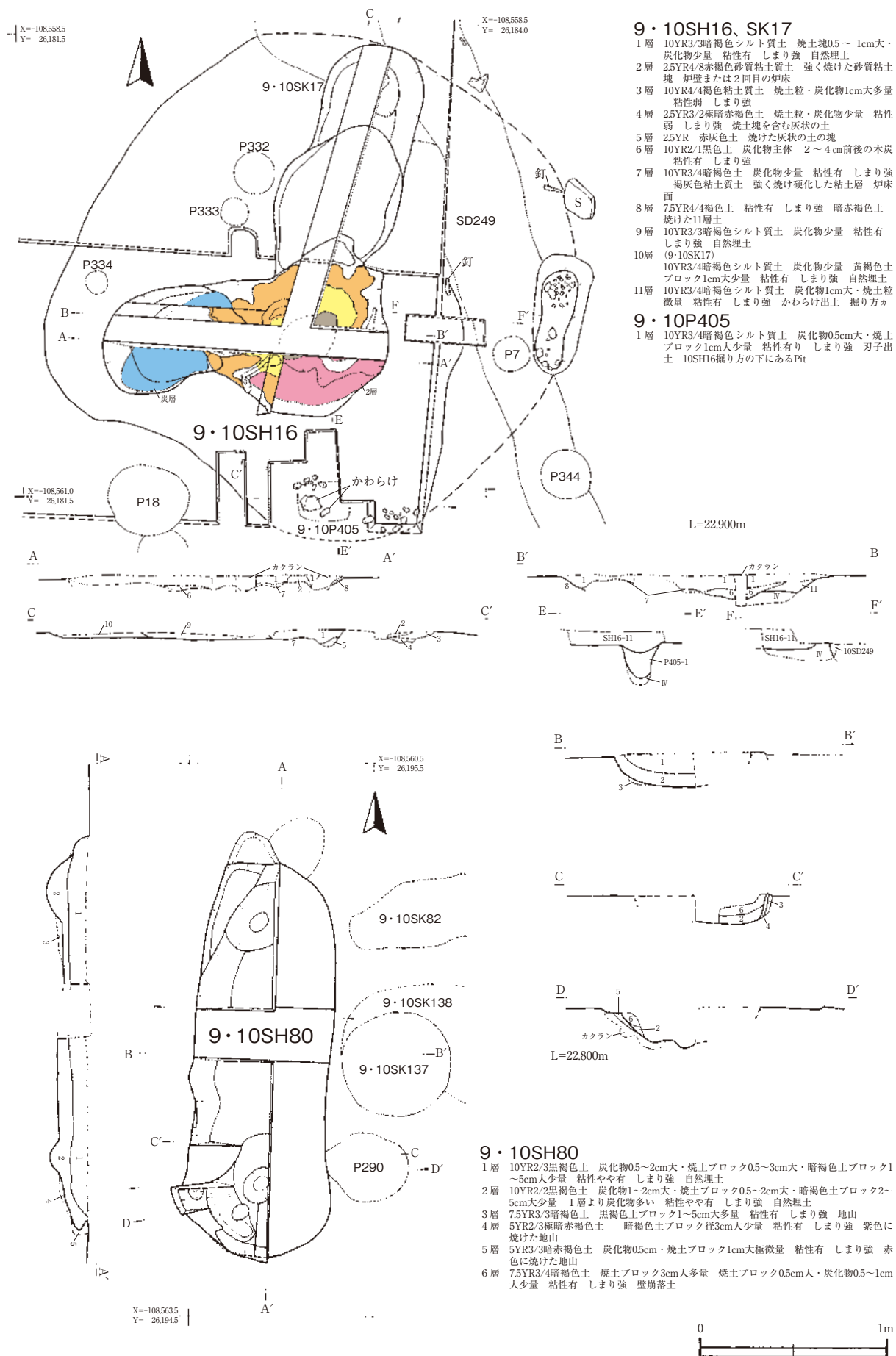
1～4層 自然堆積土

第14図 9・10SE180・1037・1054・1059

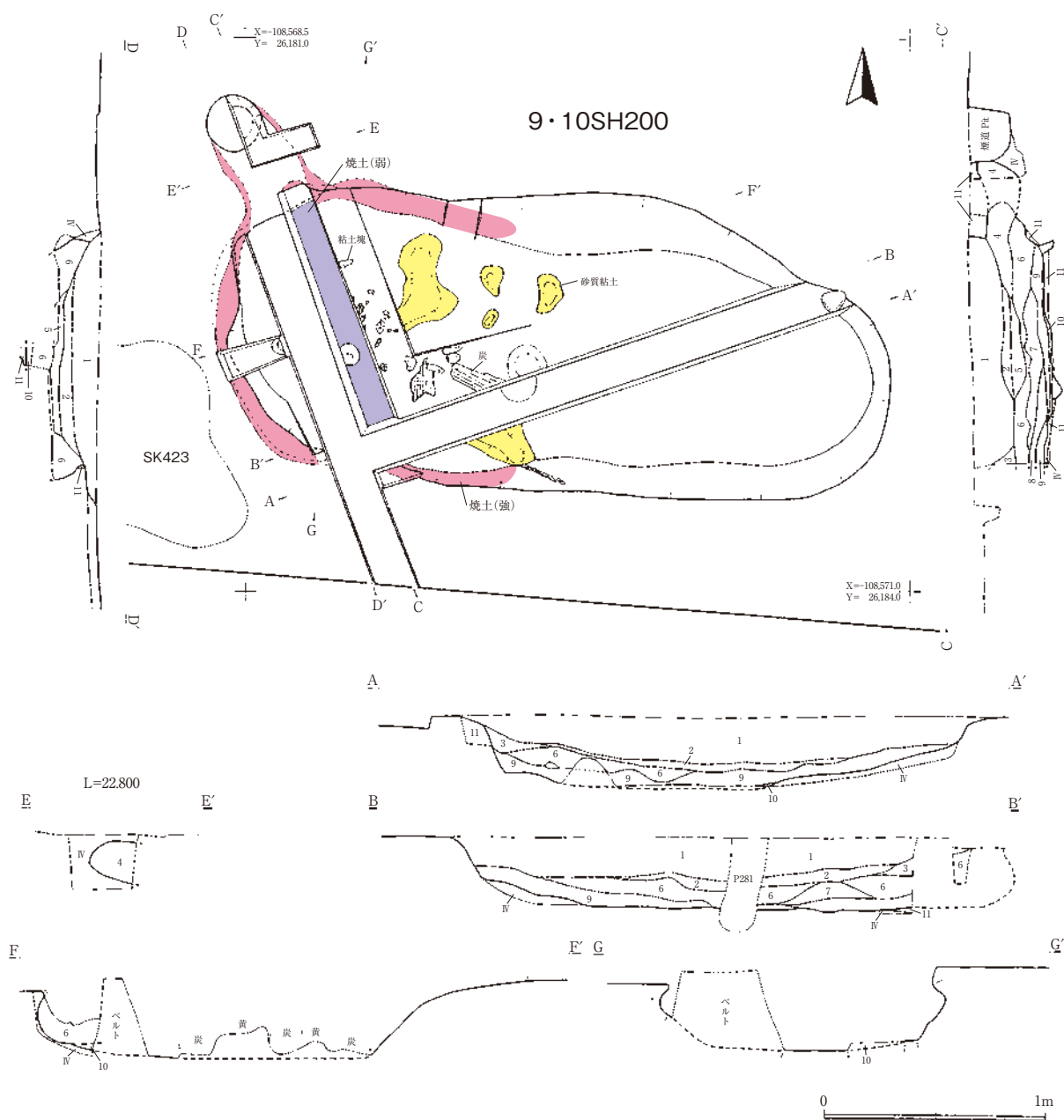




第15図 9・10SE1051~1052、SD1049、SK1050



第16図 9・10SH16・80



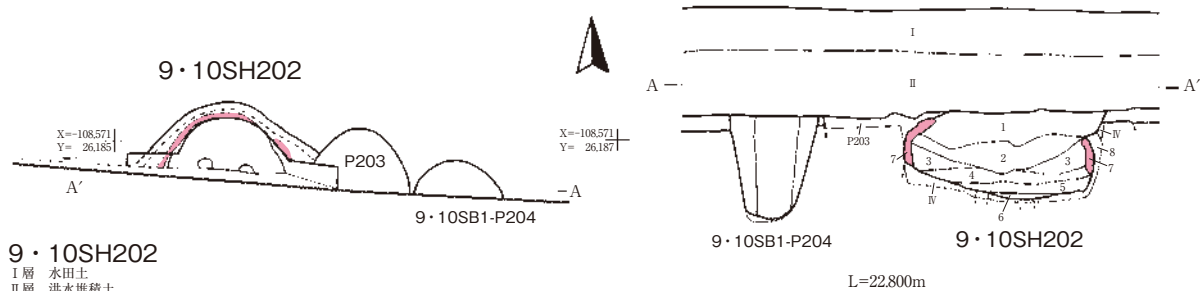
9・10SH200

- 1層 10YR3/2黒褐色シルト質土 焼土塊1cm大、炭化物少量 粘性やや有・しまり強 自然埋土
- 2層 10YR2/2黒褐色シルト質土 炭化物を多く含む 粘性やや有・しまりやや強
- 3層 10YR3/2黒褐色シルト質土 弱く焼けた粘土塊主体 粘性やや有・しまり強 壁崩落土
- 4層 10YR3/2黒褐色シルト質土 1~2cm大の焼土塊、炭化物径2~5cm大少量 粘性やや有・しまりやや弱 煙道流れ込み土
- 5層 10YR2/2黒褐色シルト質土 3cm大の黄褐色砂質粘土塊と弱く焼けた地山塊を含む 炭化物少量 粘性強・しまりやや有 自然埋土
- 6層 10YR4/2灰黄褐色シルト質土 3~5cm大の硬質焼土塊主体 炭化物0.8cm大微量 しまりやや弱・粘性やや有 窓体崩落土
- 7層 10YR5/8明黄褐色砂質粘土 粗い砂質の粘土で同質の礫含む 粘性弱・しまり強
- 8層 10YR3/3暗褐色シルト質土 3cm大の弱く焼けた地山塊主体 炭化物微量 粘性やや有・しまりやや弱 壁崩落土
- 9層 10YR3/2黒褐色シルト質土 3~4cm大の強く焼けた硬質焼土塊主体 窓体崩落土
- 10層 10YR2/1黒色土 炭化物層 炭化物主体とし、にぶい黄褐色土塊0.5~1cm大少量と1~4cm大の明黄褐色土塊を多く含む 粘性強・しまり弱
- 11層 2.5YR2/3極暗赤褐色シルト質土 弱く火をうけた地山 粘性・しまり強
- 煙道Pit 10YR3/2黒褐色シルト質土 地山塊2cm大少量 炭化物0.3cm大微量 焼土粒極微量 粘性弱・しまり強

9・10P281

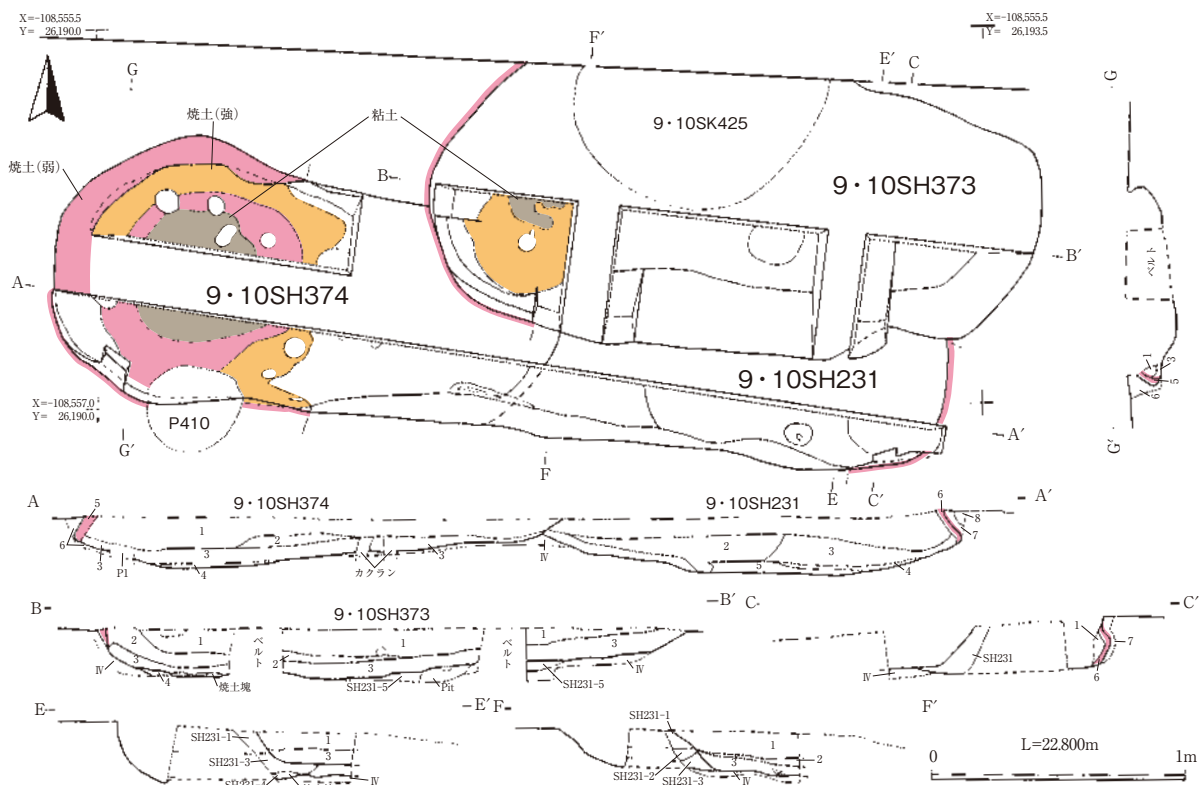
- 10YR3/2黒褐色シルト質土 炭化物・焼土粒少量含む 粘性やや有・しまり弱

第17図 9・10SH200



9・10SH202

- 1層 水田土
 2層 洪水堆積土
 3層 10YR3/2黒褐色シルト質土 炭化物0.7cm大少量 焼土塊1cm大極微量 粘性弱・しまり強 自然堆積土
 4層 10YR3/3暗褐色シルト質土 炭化物0.7cm大少量 焼土塊1cm大極微量 地山塊多量 粘性弱・しまり強 自然堆積土
 5層 10YR3/3暗褐色シルト質土 炭化物1cm大少量 2～5cm大の焼土塊多量 粘性・しまりやや弱 壁崩落土
 6層 10YR2/3黒褐色シルト質土 炭化物3cm大主体 地山塊・黄褐色砂質粘土塊を含む 粘性やや有・しまり弱
 7層 10YR3/4暗褐色シルト質土 地山土塊主体 炭化物1cm大、焼土粒微量 粘性やや有・しまりやや強
 8層 10YR4/4暗褐色シルト質土 炭化物1cm大主体で底面が焼けている 粘性やや有・しまり弱 焼成面カ
 9層 2.5YR5/8明赤褐色粘土質土 強く焼けた硬質焼土塊主体 窯壁カ
 10層 2.5YR3/2暗赤褐色粘土質土 弱く焼けた地山



9・10SH231

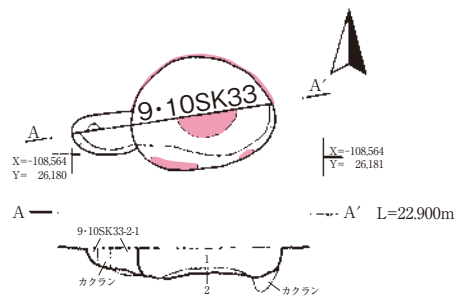
- 1層 10YR3/3暗褐色シルト質土 礫1cm大少量 炭化物0.5～1cm大、焼土粒ごく微量 粘性弱・しまり強 自然埋土
 2層 10YR2/3黒褐色シルト質土 炭化物1cm大、礫1cm大少量 焼土塊1cm大少量 粘性やや有・しまりやや強 自然埋土
 3層 7.5YR2/3暗褐色シルト質土 3cm大の硬質焼土塊主体 炭化物0.5cm大少量 粘性弱・しまり強 窯体崩落土
 4層 2.5YR2/4極暗赤褐色土 弱く焼けた5層土 上部に炭化物が薄く堆積 粘性有・しまり強
 5層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土 炭化物・焼土粒ごく微量 粘性有・しまり強 掘り方カ
 6層 2.5YR4/8赤褐色粘土質土 硬質焼土塊主体 粘性弱・しまり強 壁構築土カ
 7層 2.5YR4/4にぶい赤褐色シルト質土 強く焼けた地山 粘性弱・しまり強
 8層 10YR4/3にぶい黄褐色土 地山

9・10SH373

- 1層 10YR3/2黒褐色シルト質土 炭化物0.3～1cm大、焼土塊1cm大、黄褐色土塊1～3cm大少量 礫1～3cm大微量 粘性弱・しまり強 自然埋土
 2層 10YR4/2灰黄褐色シルト質土 2cm前後の焼土塊、1cm大の炭化物を多く含む 褐色土塊1～1.5cm大少量 下部に炭層が薄く堆積 粘性弱・しまり強 窯体崩落土
 3層 10YR4/3褐色シルト質土 褐色土塊2cm大主体 焼土塊・炭化物0.5～1cm大微量 粘性やや有・しまり強 自然埋土 下部に床面と考えられる硬質の焼土塊が広がる
 4層 2.5YR2/4極暗赤褐色シルト質土 弱く焼けた地山 被熱層の厚さ1～3cm
 5層 2.5YR4/4にぶい赤褐色シルト質土 強く焼けた地山 被熱層の厚さ1～3cm
 Pit 10YR3/2黒褐色シルト質土 炭化物、焼土塊多量 黄褐色砂質粘土含む 10SH231の3層に似る

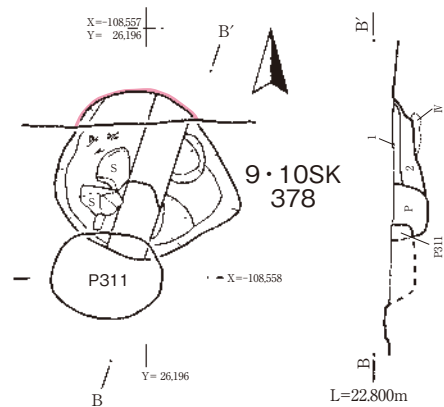
9・10SH374

- 1層 10YR3/2黒褐色シルト質土 炭化物0.5～1cm大、焼土粒、焼土塊2cm大微量 粘性弱・しまり強 自然埋土
 2層 7.5YR3/3暗褐色シルト質土 焼土塊2cm大少量 焼土粒、炭化物0.5cm大微量 粘性弱・しまり強 自然埋土
 3層 7.5YR3/3暗褐色シルト質土 3cm大の硬質焼土塊多量 炭化物1cm大少量 最下部に薄い炭化物層 窯体崩落土
 4層 2.5YR4/6赤褐色粘土質土 強く焼けた硬質焼土塊主体 粘性やや有・しまり強 床面構築土カ
 5層 2.5YR4/6赤褐色粘土質土 強く焼けた硬質焼土塊主体 粘性弱・しまり強 壁構築土カ
 6層 2.5YR2/3暗褐色シルト質土 弱く焼けた地山 被熱層の厚さ1cm以上 粘性弱・しまり強
 P 1 7.5YR3/3暗褐色シルト質土 炭化物0.5～2cm大微量 焼土塊1cm大少量 粘性弱・しまり強



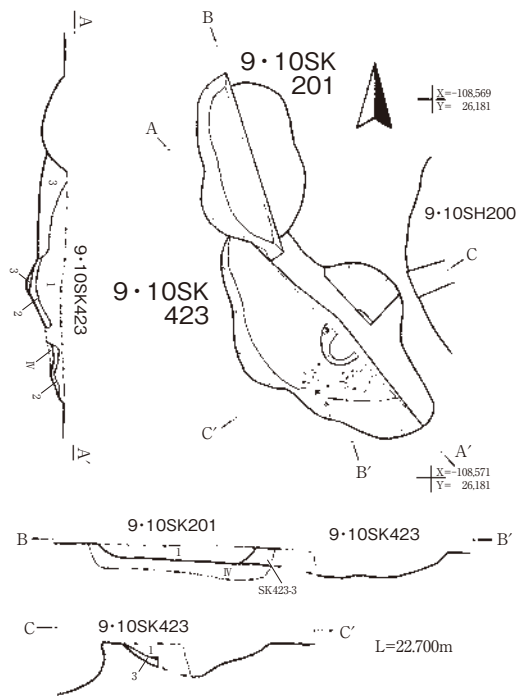
9・10SK33

1層 10YR3/2黒褐色土 焼土塊、暗褐色土粒1cm大少量 炭化物1cm大少量 粘性有 しまり強
 2層 7.5YR3/4暗褐色土 粘性有 しまり強 焼土
 9・10SK33-2 1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物、粒子少量 粘性有 しまり強



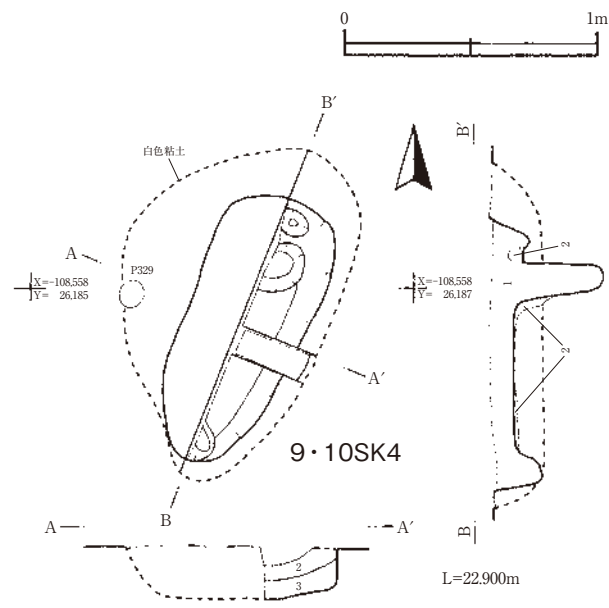
9・10SK378

Pit 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5~1cm大、褐色土ブロック2cm大、焼土粒少量 粘性有 しまり強
 1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 粘性弱 しまり強
 2層 10YR3/4暗褐色土 炭化物0.5cm大、焼土ブロック0.5cm大上面に少量 粘性有 しまり強
 P311 10YR3/4暗褐色土 炭化物、焼土粒、褐色土粒少量 粘性有 しまり強



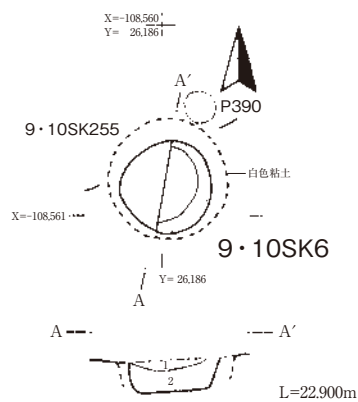
9・10SK201

1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物0.5~1cm大少量・焼土粒微量 かわかけ片をわずかに含む



9・10SK4

1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 粘性有 しまり強
 2層 10YR3/3暗褐色土 におい黄褐色土ブロック3cm大少量 炭化物極微量 粘性有 しまり強
 3層 10YR3/4暗褐色土 黒褐色土ブロック1cm大・焼土粒極微量 粘性やや強 しまり強

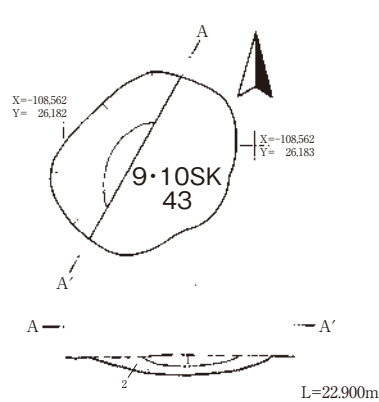


9・10SK6

1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物0.5~1.5cm大少量 焼土粒微量 粘性有 しまり強
 2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物・焼土粒1層より少ない 粘性有 しまり強

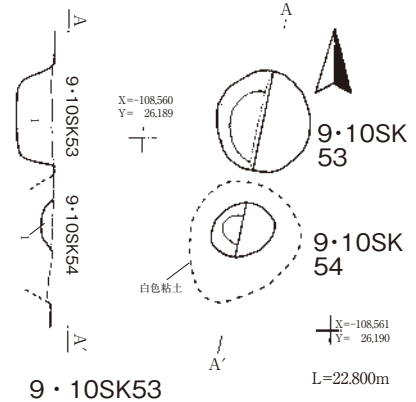
9・10SK423

1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物1~5cm大上面に有 焼土粒微量 粘性有 しまり強
 2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物1~3cm大・炭灰多量 粘性有 しまり強
 3層 10YR4/3におい黄褐色土 炭化物・焼土粒微量 粉炭を少量含む地山風の土 粘性有 しまり強



9・10SK43

1層 10YR3/3暗褐色土 焼土塊0.5~1cm大少量 炭化物0.5cm大少量 粘性有 しまり強
 2層 10YR4/3におい黄褐色土 炭化物0.5cm大微量 粘性有 しまり強



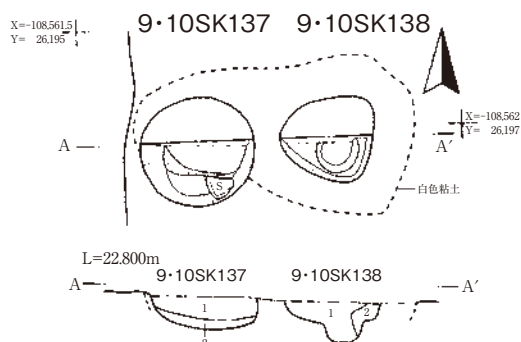
9・10SK53

1層 10YR4/3におい黄褐色土 炭化物、焼土粒微量 褐色土ブロック3cm大少量 粘性有 しまり強

9・10SK54

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物少量 黒褐色土ブロック多量 粘性有 しまり強

第19図 9・10SK33・378・201・423・4・6・43・53・54

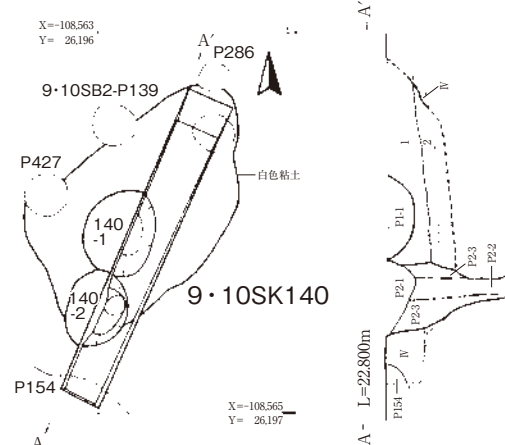


9・10SK137

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.5cm大・焼土粒少量 粘性有 しまりやや強
2層 10YR4/4褐色土 暗褐色土ブロック微量 粘性有 しまり強

9・10SK138

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物・焼土粒・褐色土ブロック少量 粘性有 しまりやや強
2層 10YR4/3にぶい黄褐色土 粘性有 しまり強



9・10SK140

- 1層 10YR4/2灰黄褐色土 粘性やや有 しまり弱 白色粘土層
2層 10YR2/3黒褐色粘土質土 暗褐色土ブロック1~2cm大少量 粘性やや強 しまり強
P1-1層 10YR3/2黒褐色シルト質土 炭化物0.5~1cm大・焼土粒少量 粘性弱 しまり強
P2-1層 10YR2/3黒褐色シルト質土 炭化物0.5~1.5cm大・焼土粒・黄褐色土ブロック1~3cm大少量 粘性弱 しまり強
P2-2層 10YR3/2黒褐色粘土質土 炭化物・焼土粒微量 粘性やや強 しまり弱 柱痕カ
P2-3層 10YR3/2黒褐色シルト質土 炭化物1cm大極微量 褐色土ブロック大少量 粘性やや有 しまり弱
10P154 10YR3/3暗褐色シルト質土 炭化物・焼土粒少量 赤褐色土ブロック1cm大少量 粘性弱 しまり強

9・10SK320-P1

- 1層 10YR2/2黒褐色土 炭化物0.5cm大・焼土粒・褐色土ブロック1cm大少量 粘性弱 しまり強
2層 10YR4/4褐色土 黒褐色土ブロック少量 粘性有 しまり強

9・10SK320-P2

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.5~1cm大少量 焼土粒・焼土ブロック1cm大微量 4cm大微量 粘性弱 しまり強
2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.5cm大・焼土粒微量 粘性弱 しまり強
3層 10YR4/4褐色土 暗褐色土ブロック少量 粘性有 しまりやや強

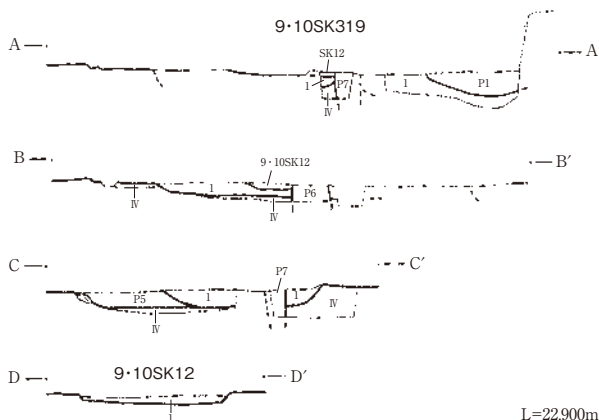
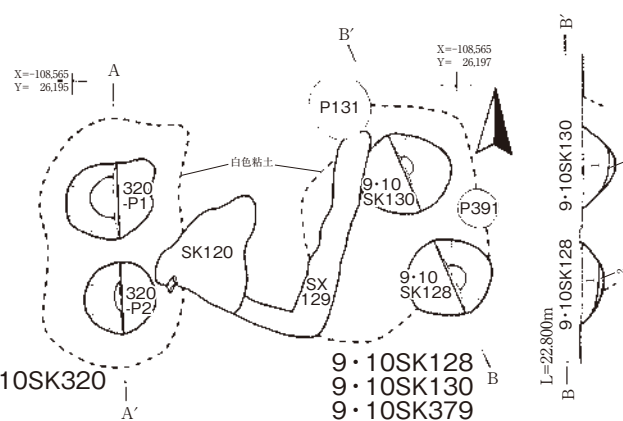
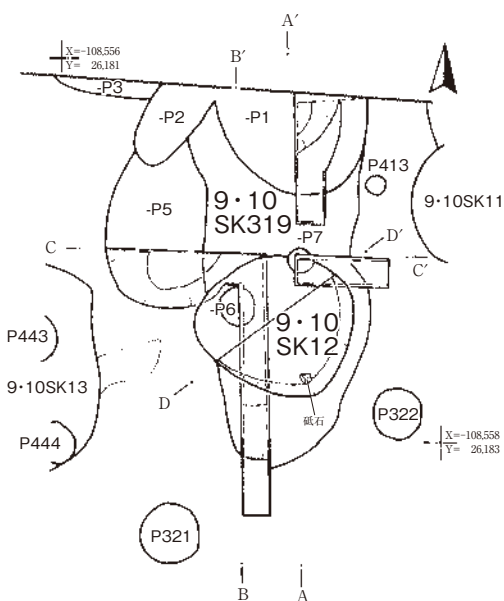
9・10SK379

9・10SK128

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5~1cm大・焼土粒少量 粘性やや有 しまり強
2層 10YR4/3にぶい黄褐色土 暗褐色土ブロック少量 粘性強 しまり強

9・10SK130

- 1層 10YR2/2黒褐色土 炭化物0.5~1cm大・焼土粒少量 粘性やや有 しまり強
2層 10YR3/2黒褐色土 褐色土ブロック多量 粘性弱 しまり弱



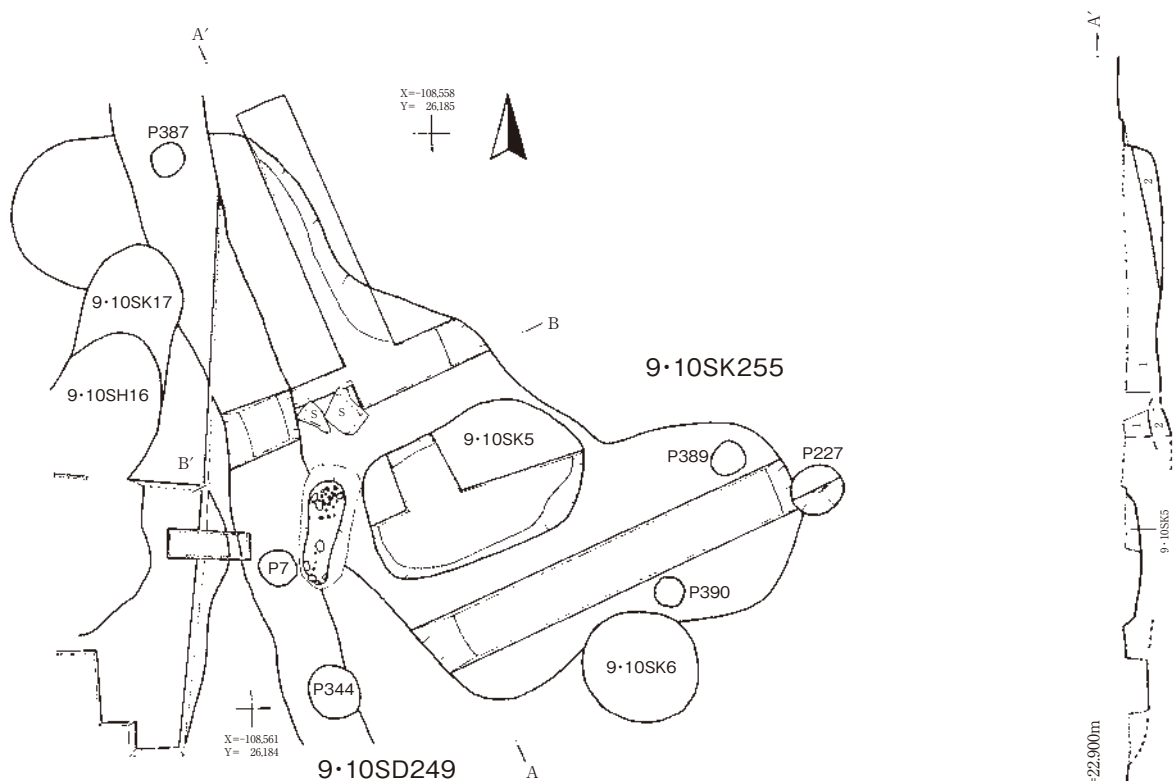
9・10SK319

- 1層 10YR3/4暗褐色土 砂質褐色土ブロック1~3cm大少量 粘性有 しまり強
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物・焼土粒少量 粘性弱 しまり強
P1 10YR3/2黒褐色土 炭化物・焼土粒・焼土ブロック0.5~1cm大少量 粘性有 しまり強
P5 10YR3/3暗褐色土 炭化物・焼土粒少量 粘性弱 しまり強
P6 10YR2/3黒褐色土 炭化物1cm大・焼土粒極微量 粘性有 しまり強
P7 10YR2/2黒褐色土 炭化物0.5~2cm大・焼土粒極微量 粘性有 しまり強

9・10SK12

- 1層 10YR4/4褐色土 焼土粒・炭化物0.5cm大微量 粘性有 しまり強

第20図 9・10SK137・138・140・320・128・130・379・319・12

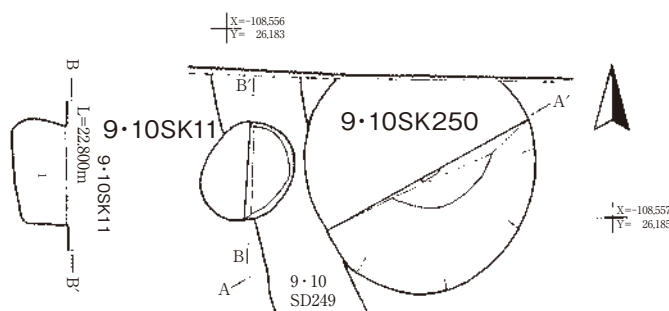
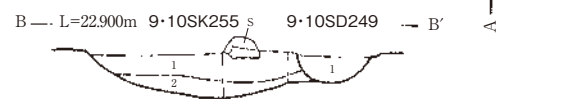


9・10SK255

1層 10YR3/4暗褐色土 におい黄褐色粘土粒多量 赤褐色土ブロック0.5~1cm大微量 炭化物極微量 粘性弱 しまり強
2層 10YR3/3暗褐色土 黄褐色土ブロック0.5cm大少量 炭化物極微量 粘性有 しまり強

9・10SD249

1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物0.5cm大・焼土粒少量 褐色土粒微量 粘性有 しまり強

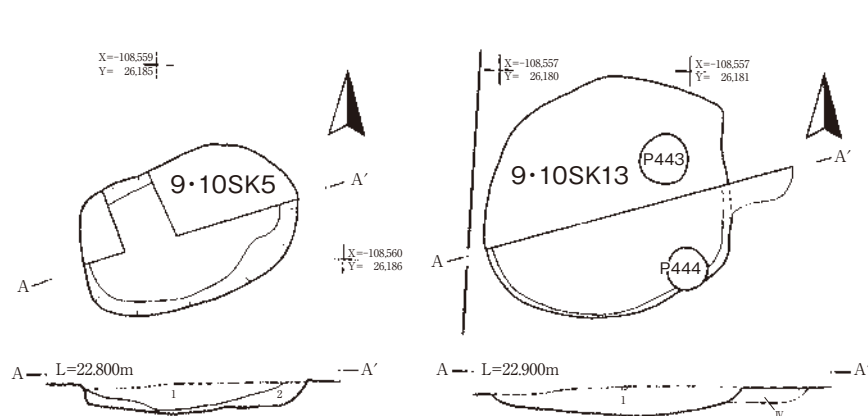
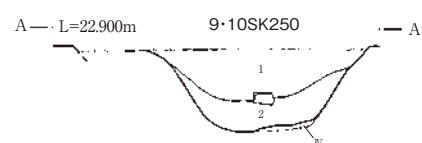


9・10SK11

1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物ブロック0.5~1cm大・焼土粒0.5cm大少量 粘性有 しまり強

9・10SK250

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5~1cm大・焼土粒・褐色土ブロック0.5cm大極微量 礫10cm大微量 粘性有 しまり強
2層 10YR3/2黒褐色土 褐色土粒少量 焼土粒極微量 粘性有 しまり強

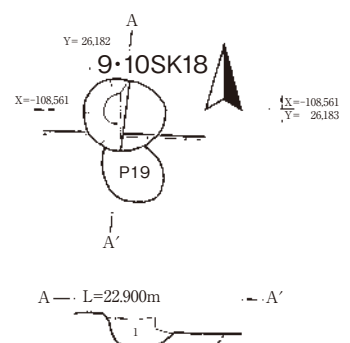


9・10SK5

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5~1cm大少量 焼土粒0.5~1cm大微量 粘性有 しまり強
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 粘性有 しまり強

9・10SK13

1層 10YR2/3黒褐色土 暗褐色土30% 炭0.5~1cm大少量 焼土粒極微量 粘性有 しまり強

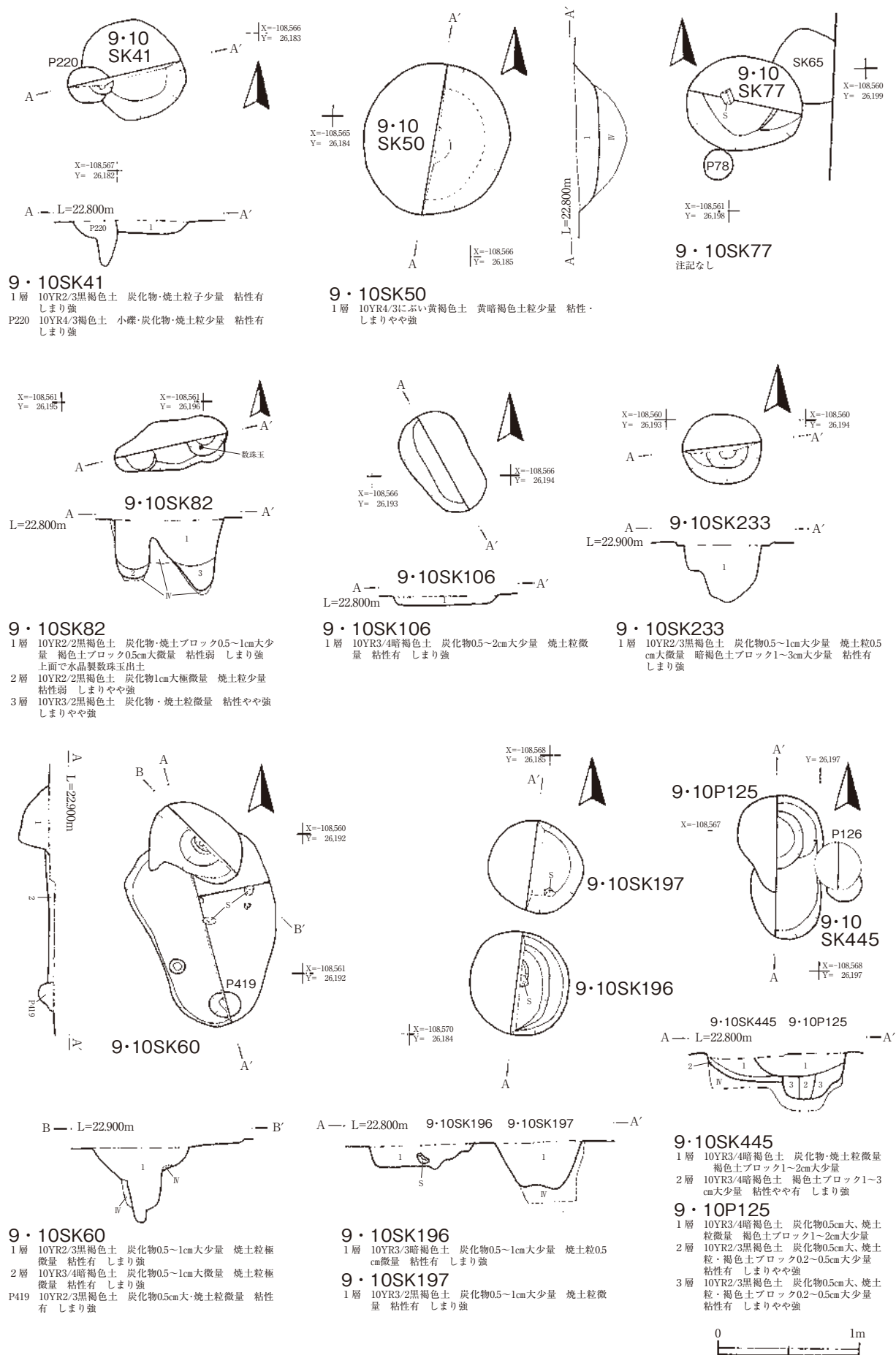


9・10SK18

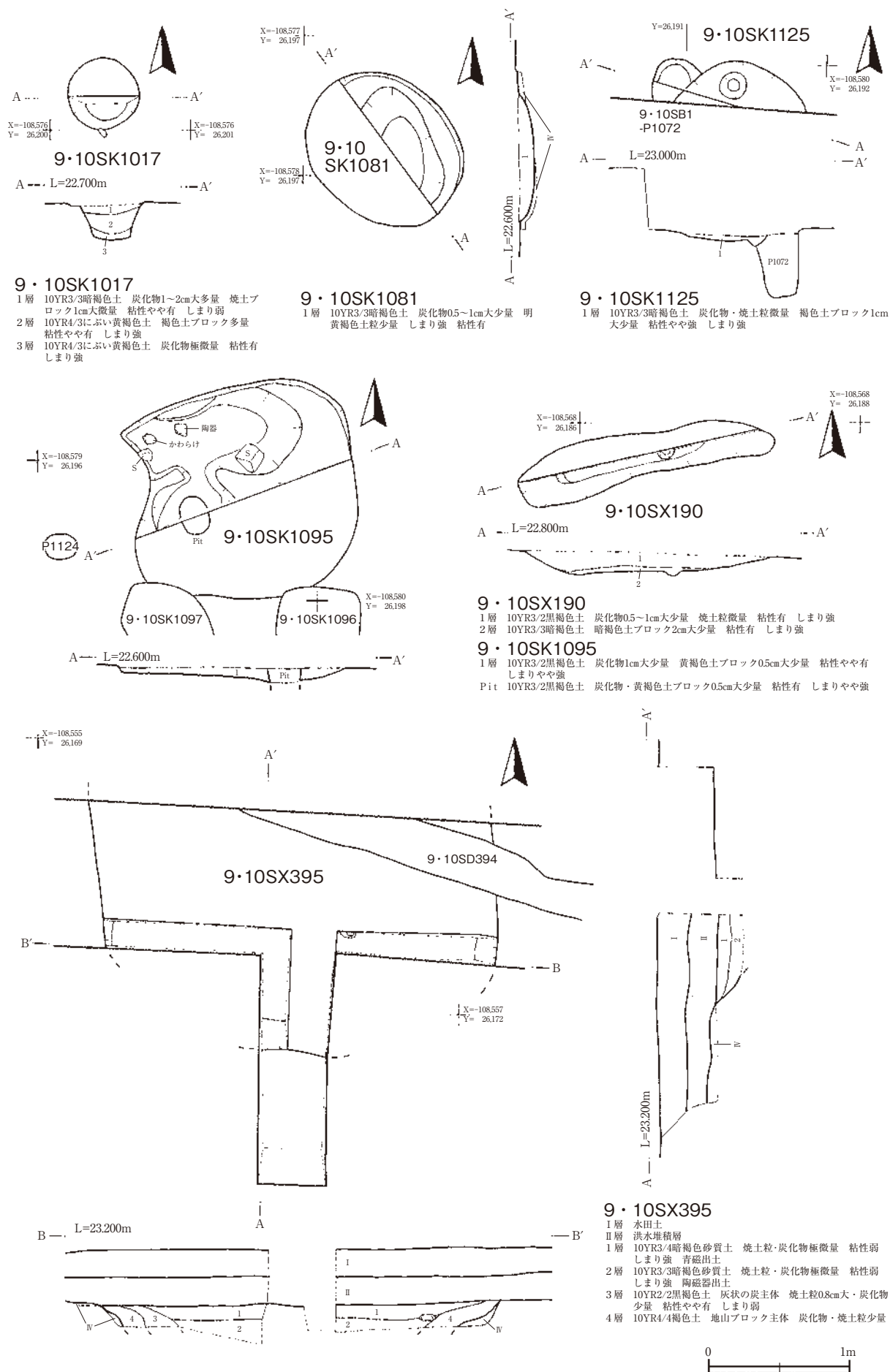
1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5~1cm大多量 焼土粒0.5cm大微量 粘性有 しまり強

第21図 9・10SD249、SK255・11・250・5・13・18

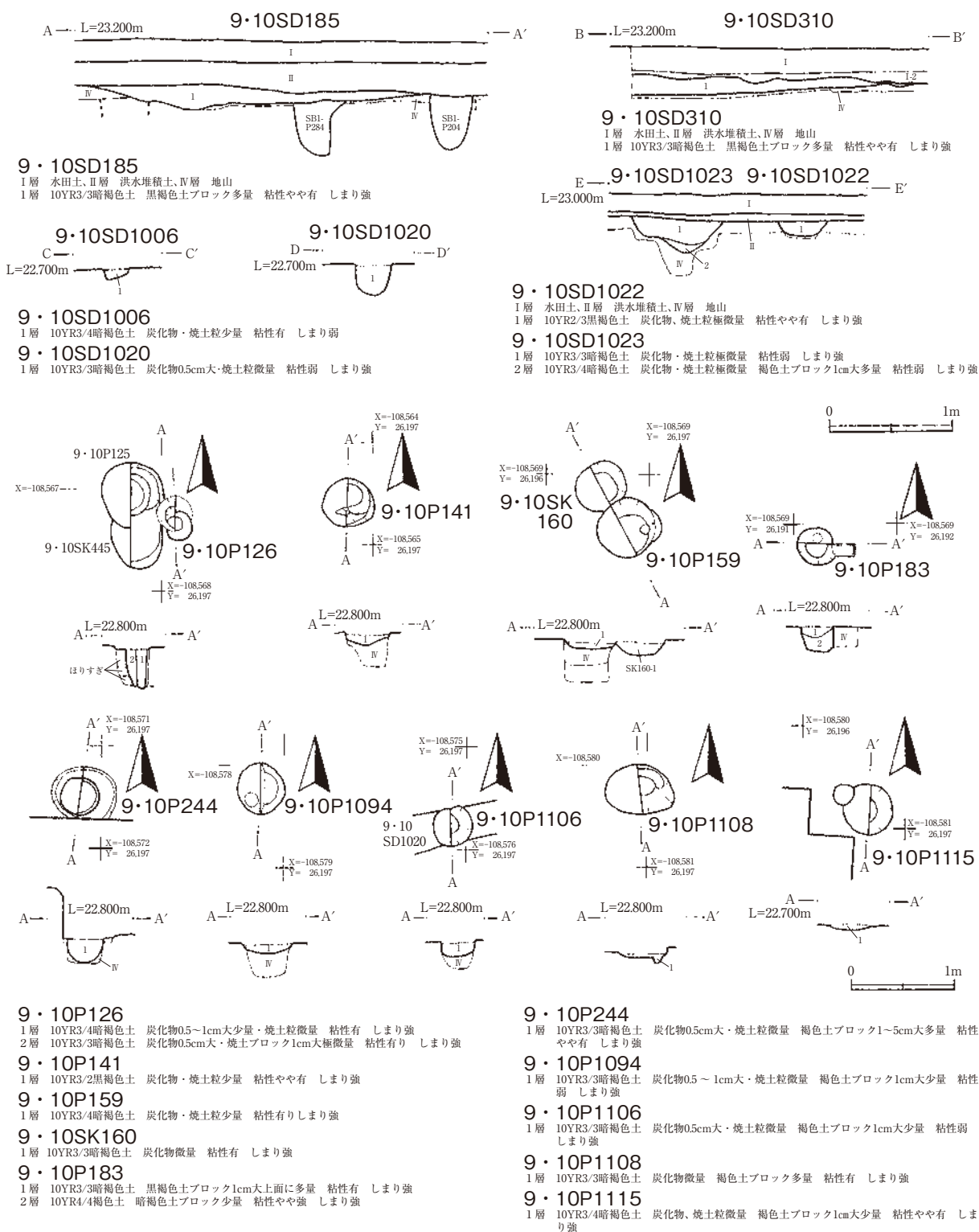




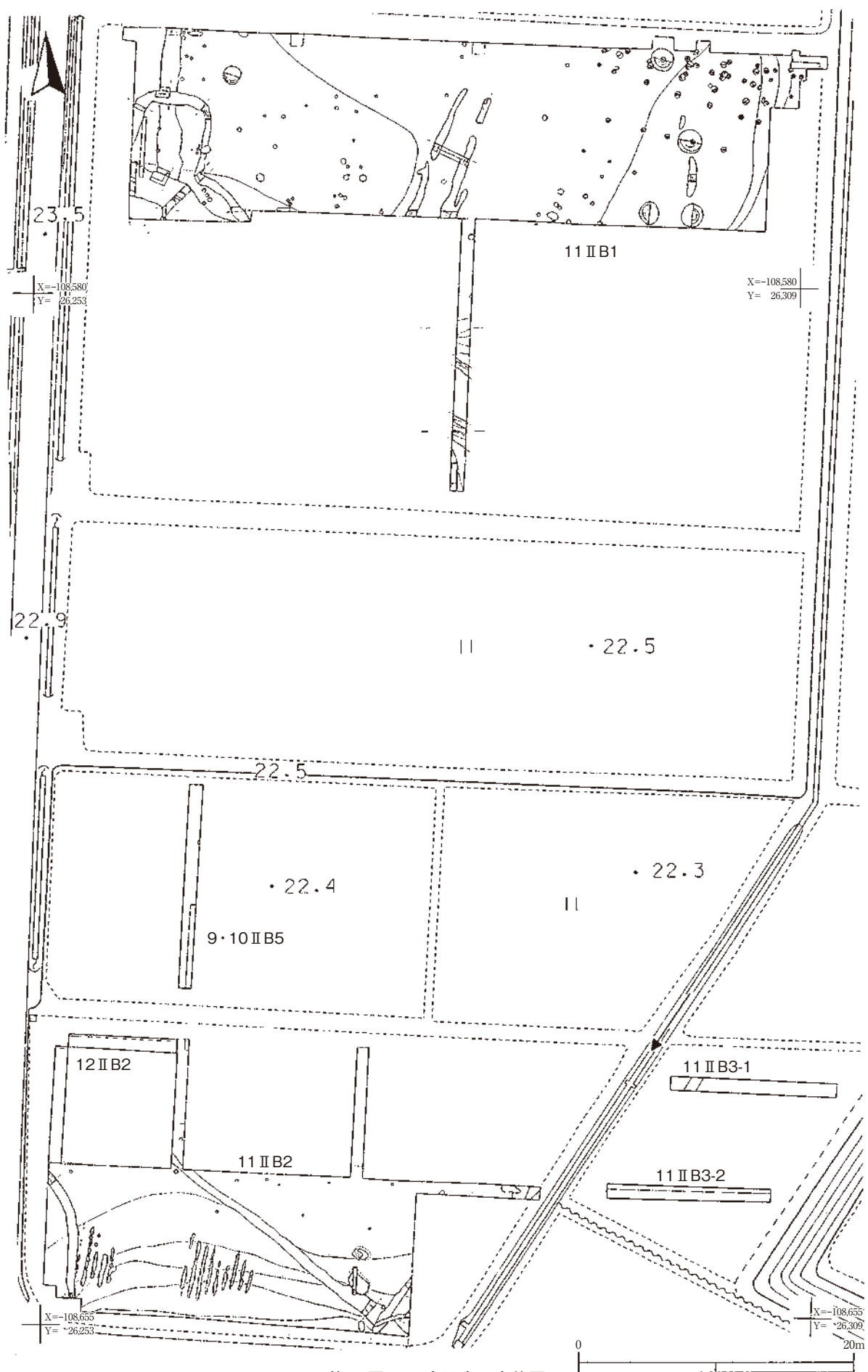
第22図 9・10SK41・50・77・82・106・233・60・196・197・445、P125



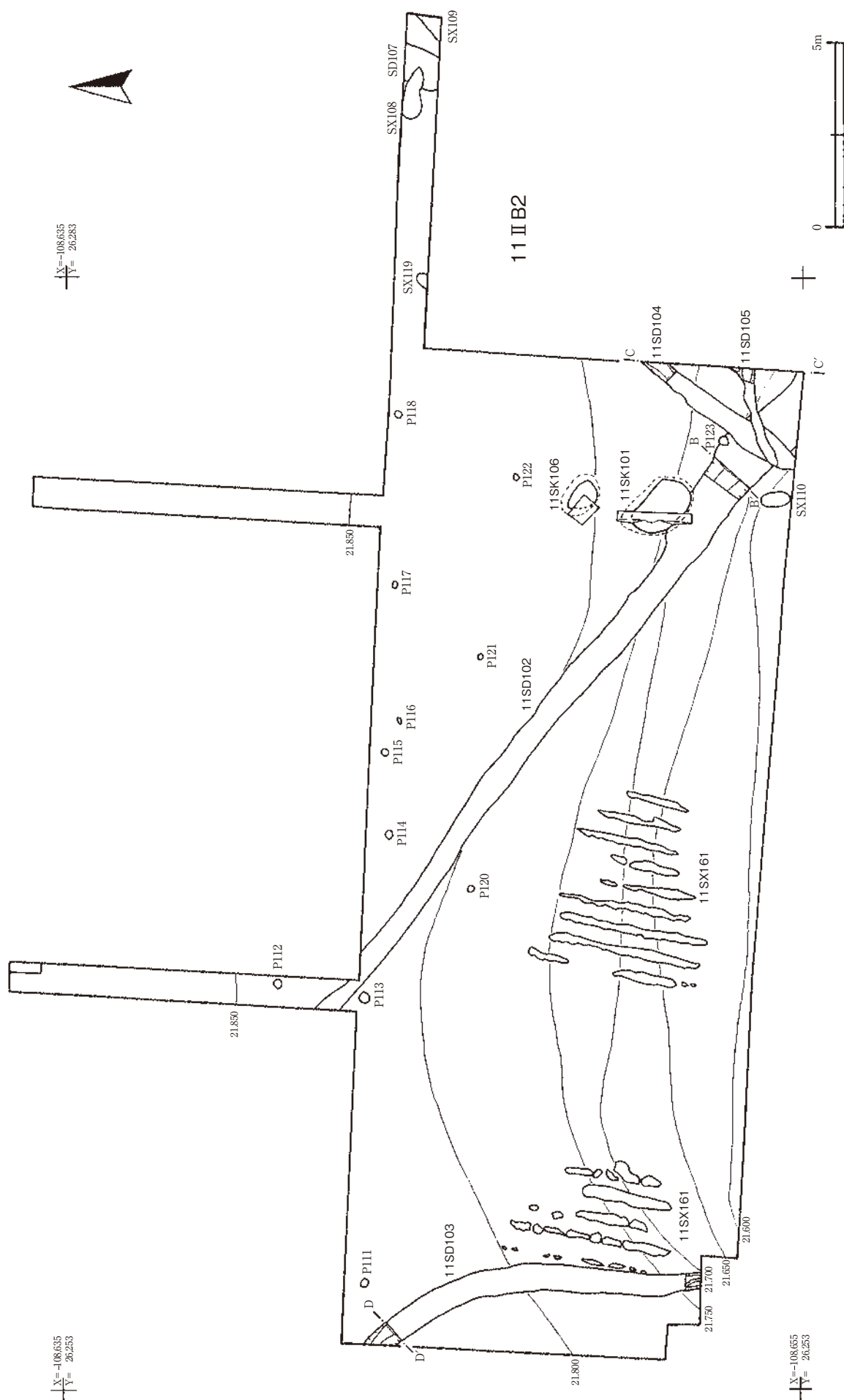
第23図 9・10SK1017・1081・1125・1095、SX190・395



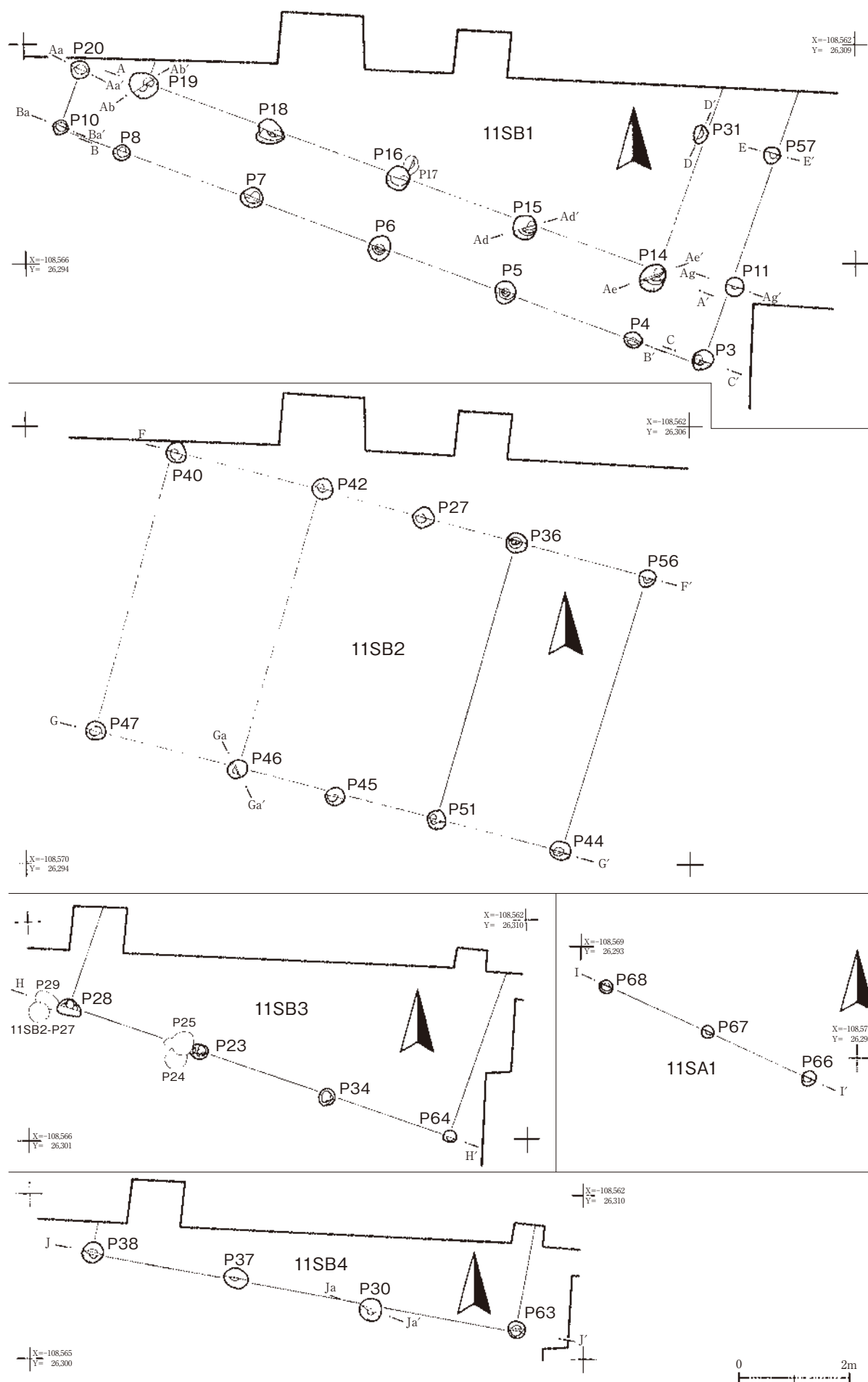
第24図 9・10SD185・310・1006・1020・1022・1023、Pit

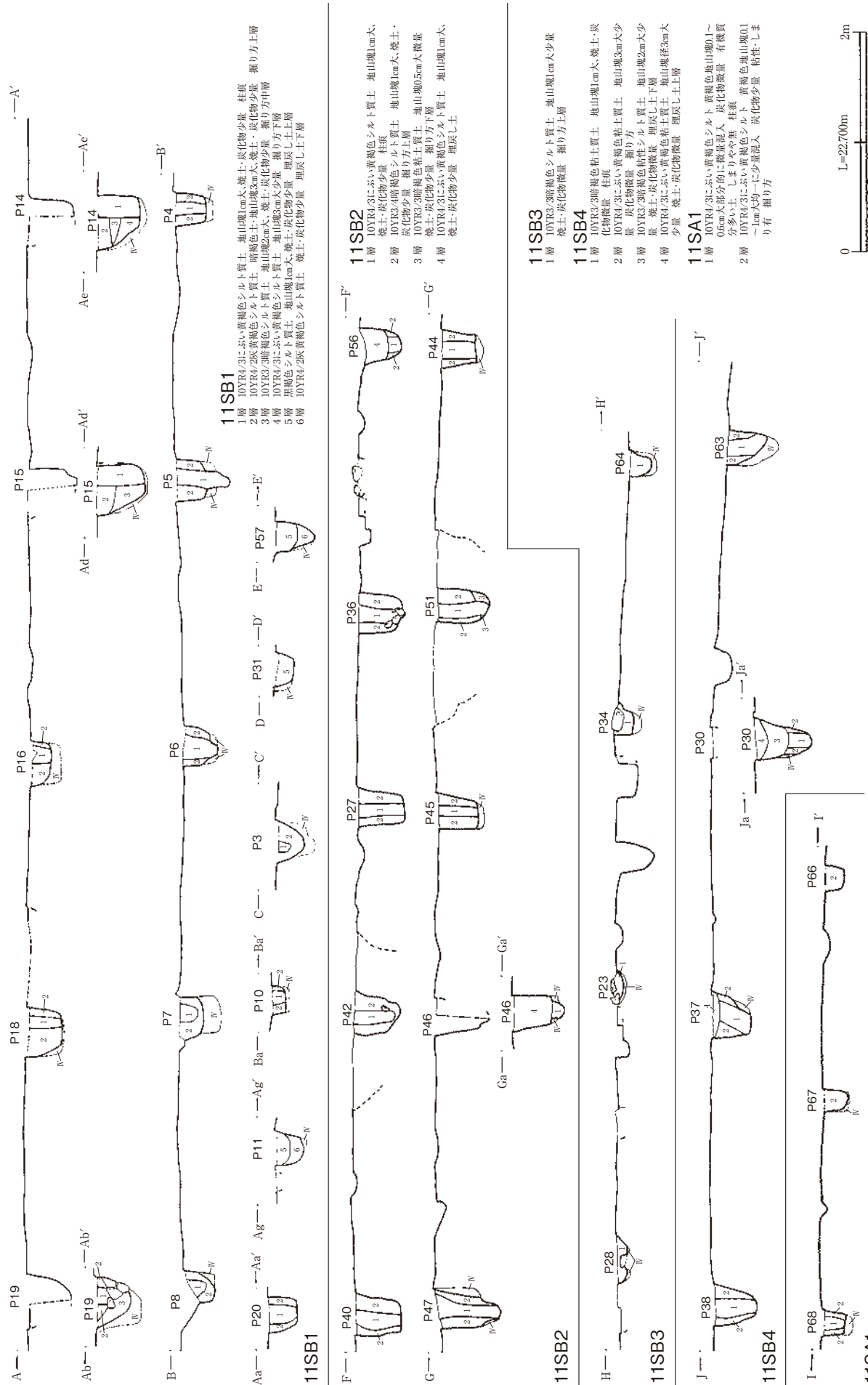


第25図 11次調査区全体図

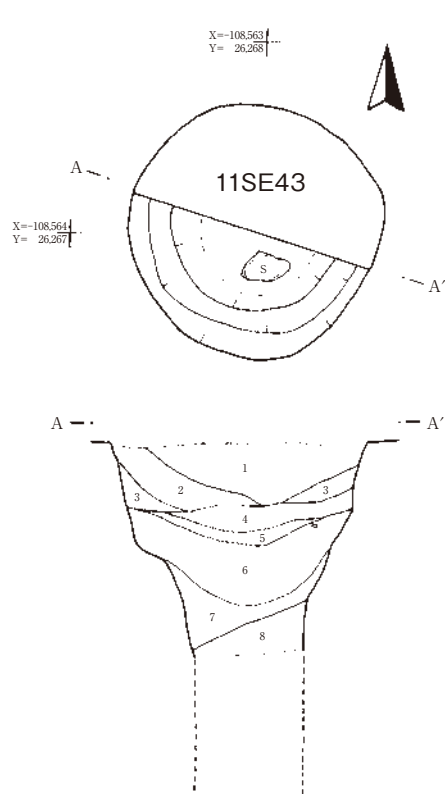


第26図 11次遺構全体図 (1)





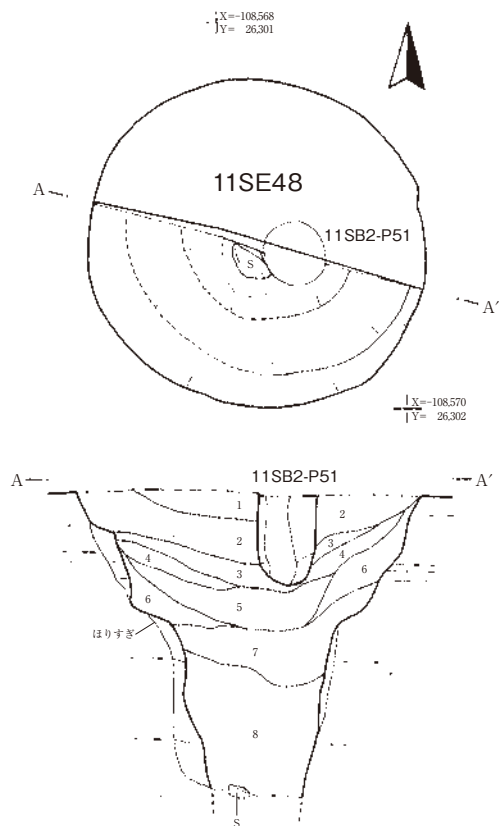
第29図 11SB1～4、SA1セクション図



11SE43

- 1層 10YR3/3暗褐色シルト質土 地山塊1cm大均一に少量 一部黒褐色シルト少量 焼土粒・炭化物多量 粘性・しまり有
- 2層 10YR3/3暗褐色シルト質土 地山塊5cm大均一に少量 炭化物少量 粘性・しまり有
- 3層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土 地山塊1cm大均一に微量 炭化物微量 粘性・しまり有
- 4層 10YR3/3暗褐色シルト質土 地山塊5cm大均一に多量 炭化物少量 粘性・しまり有
- 5層 10YR4/2灰黄褐色粘土質土 地山塊1cm大部分的に少量 焼土粒・炭化物少量 鉄分多い しまり有
- 6層 10YR3/2暗褐色粘土質土 灰色粘土塊3cm大主体 炭化物少量 鉄分多い しまり有
- 7層 10YR4/2灰黄褐色粘土質土 黒色粘土塊3cm大主体 炭化物微量 しまり有
- 8層 10YR5/8黄褐色粘性シルト質土 灰色粘土塊5cm大主体 炭化物微量 しまり有

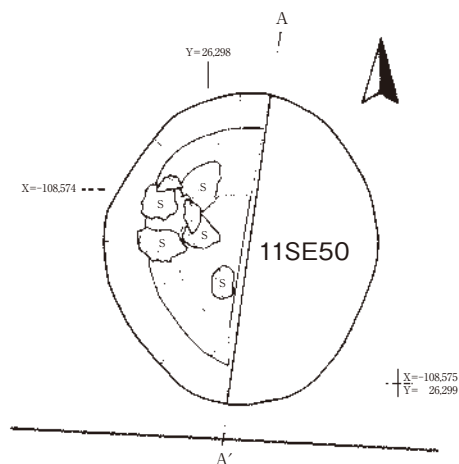
1～8層 自然堆積土



11SE48

- 1層 10YR4/2灰黄褐色シルト質土 焼土粒・炭化物少量 遺物を少量含む 粘性・しまり有
- 2層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土 地山塊1cm大部分的に微量 焼土・炭化物少量 粘性・しまり有
- 3層 10YR4/2灰黄褐色シルト質土 褐灰色シルト部分的に少量 焼土・炭化物少量 粘性・しまり有
- 4層 10YR4/2灰黄褐色シルト質土 地山塊0.5cm大均一に微量 焼土・炭化物少量 粘性・しまり有
- 5層 10YR3/3暗褐色シルト質土 灰黄褐色シルト均一に多量、地山塊1cm大均一に微量 焼土粒・炭化物微量 粘性・しまり有
- 6層 10YR4/2灰黄褐色シルト質土 暗褐色シルト部分的に少量、地山塊3cm大均一に少量 炭化物微量 粘性・しまり有
- 7層 10YR4/2灰黄褐色粘土質土 粘土塊主体 地山塊3cm大均一に少量、暗褐色シルト均一に多量 鉄分多い
- 8層 10YR4/1褐灰色粘土質土 灰色粘土塊5cm大主体 地山塊径5cm大、にぶい黄褐色砂質シルト塊均一に少量 鉄分多い しまり有

1～8層 自然堆積土

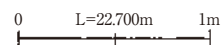


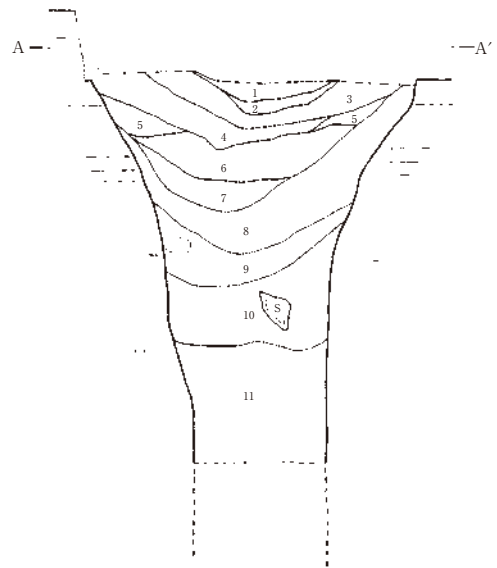
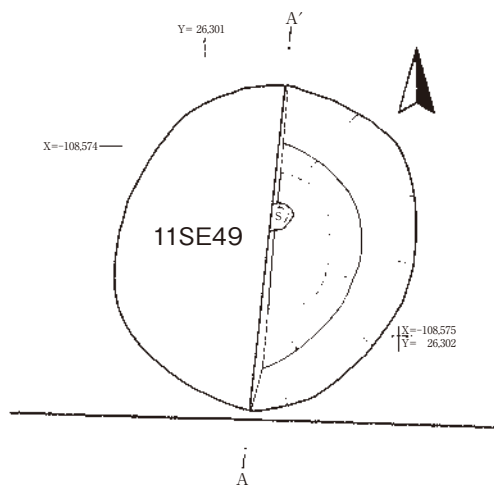
11SE50

- 1層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土 焼土粒・炭化少量 粘性・しまり有
- 2層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土 白色粘土塊3cm大部分的に少量 焼土粒・炭化物少量 礫微量 粘性・しまり有
- 3層 10YR5/2灰黄褐色粘性シルト質土 砂を多量に含む 焼土粒・炭化物多量 11SE49の6層に似る 粘性・しまり有
- 4層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土 2層とほぼ同じ
- 5層 10YR5/2灰黄褐色粘性シルト質土 地山塊径0.5cm大均一に微量 砂を含む 焼土粒・炭化物少量 11SE49の7層に似る 粘性強・しまり有
- 6層 10YR5/2灰黄褐色粘土質土 白色粘土塊10cm大部分的に少量 焼土粒・炭化物少量 11SE49の8層に似る しまり有
- 7層 10YR5/2灰黄褐色粘土質土 地山塊1cm大部分的に微量 焼土粒・炭化物少量 しまり有
- 8層 10YR5/2灰黄褐色粘土質土 地山塊3cm大壁際に集中 炭化物微量 しまり有
- 9層 10YR4/1褐灰色粘土質土 粘土塊5cm大主体 地山塊5cm大壁際に多 炭化物微量 しまり有

1～9層 自然堆積土

第30図 11SE43・48・50

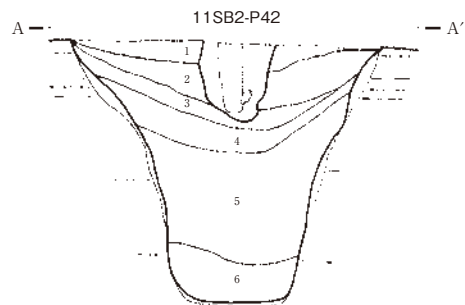
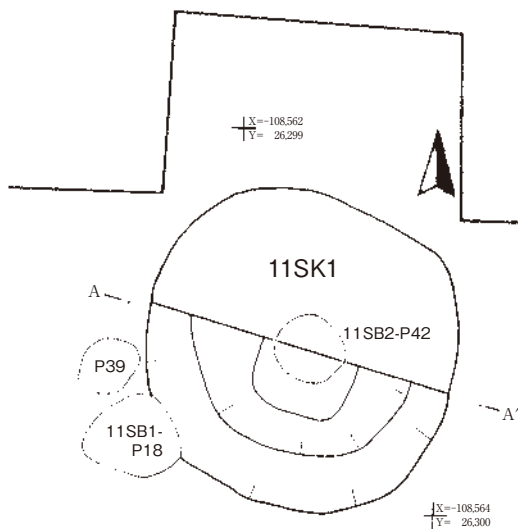




11SE49

- 1層 10YR3/2黒褐色シルト質土 地山塊1cm大均一に少量 焼土粒・炭化物多量 粘性・しまり有
- 2層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土 地山塊1cm大均一に多量 焼土粒・炭化物少量 粘性・しまり有
- 3層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土 地山塊1cm大均一に少量 焼土粒・炭化物少量 粘性・しまり有
- 4層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土 地山塊径3cm大均一に多量 炭化物少量 粘性・しまり有
- 5層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土 地山塊径0.5cm大均一に微量 炭化物少量 粘性・しまり有
- 6層 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト質土 黄褐色地山塊1cm大部分的に少量 砂を多量に含む 鉄分多 焼土粒・炭化物多量 しまり有・粘性強
- 7層 10YR4/2灰黄褐色粘土質土 地山粒均一に微量 砂を含む 焼土・炭化物少量 しまり有・粘性強
- 8層 10YR3/3暗褐色粘土質土 黄褐色地山塊1cm大壁際多い 白色粘土塊15cm大部分的に少量含む しまり有・粘性強
- 9層 10YR4/2灰黄褐色粘土質土 地山塊1cm大均一に少量白色粘土塊20cm大部分的に少量含む 焼土粒・炭化物・小石微量 しまり有
- 10層 10YR4/2灰黄褐色粘土質土 G層地山塊10cm大主体 礫ごく微量 鉄分多い しまり有
- 11層 10YR4/1褐灰色粘土質土 H層地山塊10cm大主体 褐灰色粘土部分的に少量 木製品・木片を含む しまり有

1～11層 自然堆積土

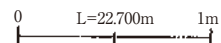


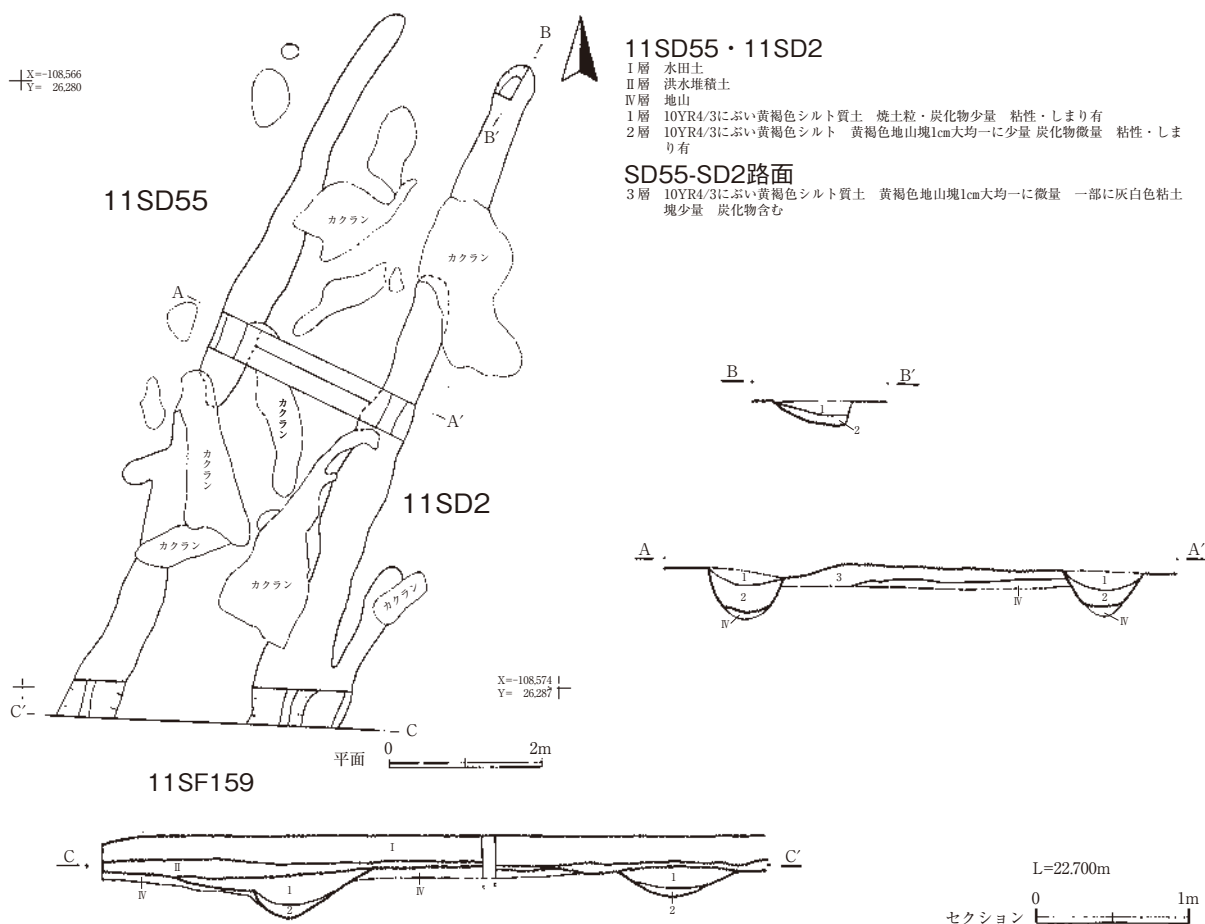
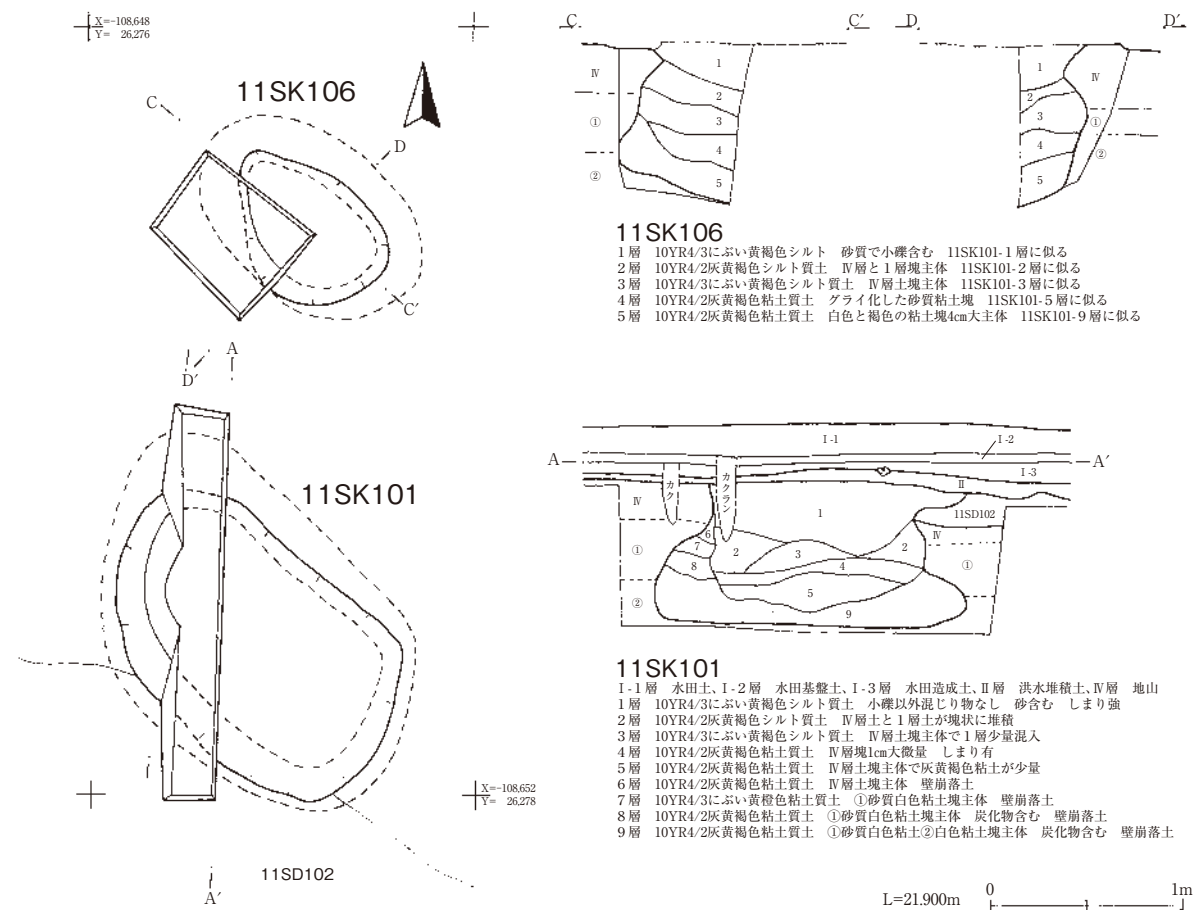
11SK1

- 1層 10YR3/2黒褐色シルト質土 焼土塊3cm大・焼土粒・炭化物を多量に含む 粘性・しまり有
- 2層 10YR4/3黄褐色シルト質土 地山塊3cm大均一に少量 焼土粒・炭化物少量 粘性・しまり有
- 3層 10YR4/2灰黄褐色粘土質土 地山塊3cm大均一に少量 焼土粒・炭化物少量 粘性・しまり有
- 4層 10YR4/2灰黄褐色粘土質土 地山塊3cm大均一に微量焼土粒・炭化物少量 粘性・しまり有
- 5層 10YR4/2灰黄褐色粘土質土 地山塊5cm大均一に多量炭化物微量 粘性・しまり有
- 6層 10YR4/1褐灰色粘土質土 灰色粘土塊5cm大主体 炭化物微量 鉄分多い 粘性・しまり有

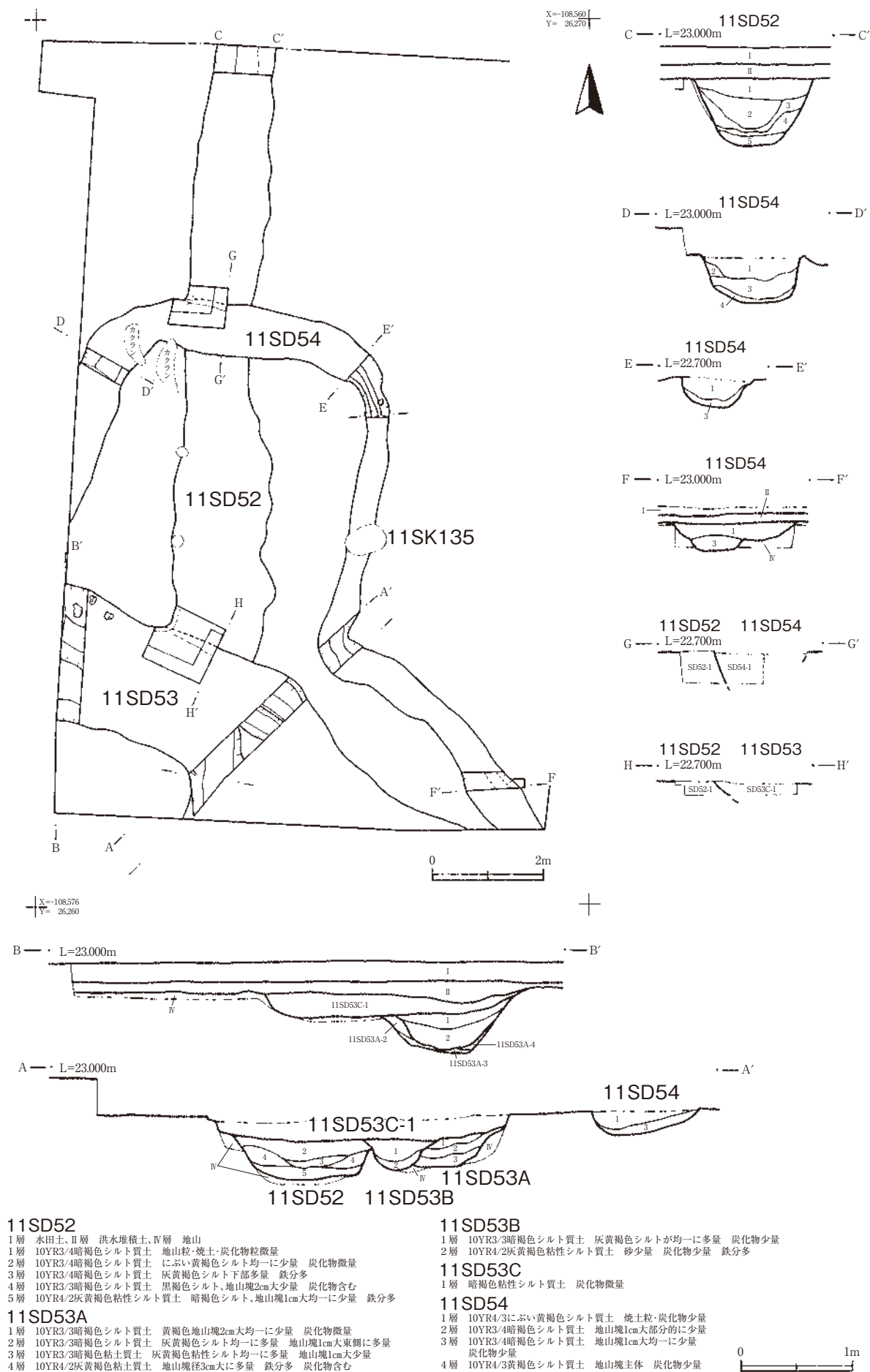
1～6層 自然堆積土

第31図 11SE49、SK1

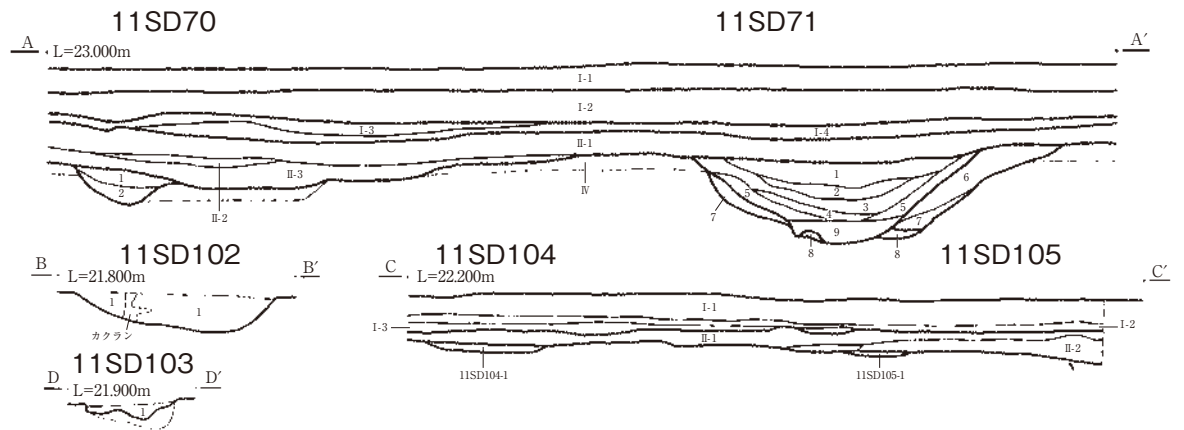




第32図 11SK101・106、SD2・55、SF159



第33図 11SD52～54



11SD70

I-1層 水田土、I-2層 水田造成土、II-1～3層 洪水堆積土

1層 10YR3/3暗褐色粘性シルト 鉄分含む しまり有

2層 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 褐灰色シルト均一に微量 鉄分含む しまり有

11SD71

1層 10YR4/3に黄褐色シルト 炭化物少量含む 粘性・しまり有

2層 10YR5/2灰黄褐色シルト 炭化物微量 粘性・しまり有

3層 10YR5/2灰黄褐色シルト 黄褐色地山ブロック0.1～0.5cm大南側に微量 炭化物含む 粘性・しまり有

4層 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 10YR4/1褐灰色シルトが少量 炭化物微量 しまり有

5層 10YR4/2灰黄褐色粘性シルト 黄褐色地山ブロック0.1～1cm大南側に多く少量 焼土粒・炭化物微量 しまり有

6層 10YR4/3に黄褐色シルトに10YR3/3暗褐色シルトが均一に少量 粘性・しまり有

7層 10YR4/2灰黄褐色粘土に10YR3/3暗褐色シルトと10YR4/1褐灰色シルトが均一に少量 黄褐色地山ブロック0.1～2cm大均一に10～20%混入 焼土粒・炭化物微量 鉄分多い しまり有

8層 10YR4/2灰黄褐色粘土 黄褐色地山ブロック0.1～2cm大均一に30～40%混入 黄褐色シルト少量 鉄分多し しまり有

9層 10YR4/1褐灰色粘土 黄褐色地山ブロック0.1～cm大均一に少量混入 鉄分多し しまり有

11SD102

1層 10YR4/3に黄褐色シルトに黄褐色地山ブロック0.1～2cm大が部分的に微量 炭化物少量 粘性・しまり有

11SD103

1層 10YR4/3に黄褐色シルトに黄褐色地山ブロック0.1～1cm大均一に10～20%微量 10YR3/2黒褐色シルト一部に少量 炭化物 粘性・しまり有

11SD104

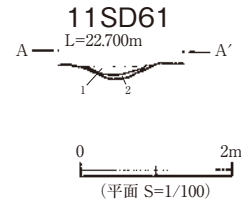
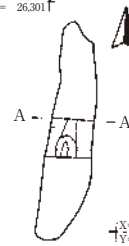
I-1層 水田土、I-2層 水田基盤土、I-3層 水田造成土、II層 洪水堆積土

1層 10YR4/3に黄褐色シルトに黄褐色地山ブロック0.1～1cm大均一に少量 粘性・しまり有

11SD105

1層 13SD104とほぼ同じだが地山ブロックの量がより少ない

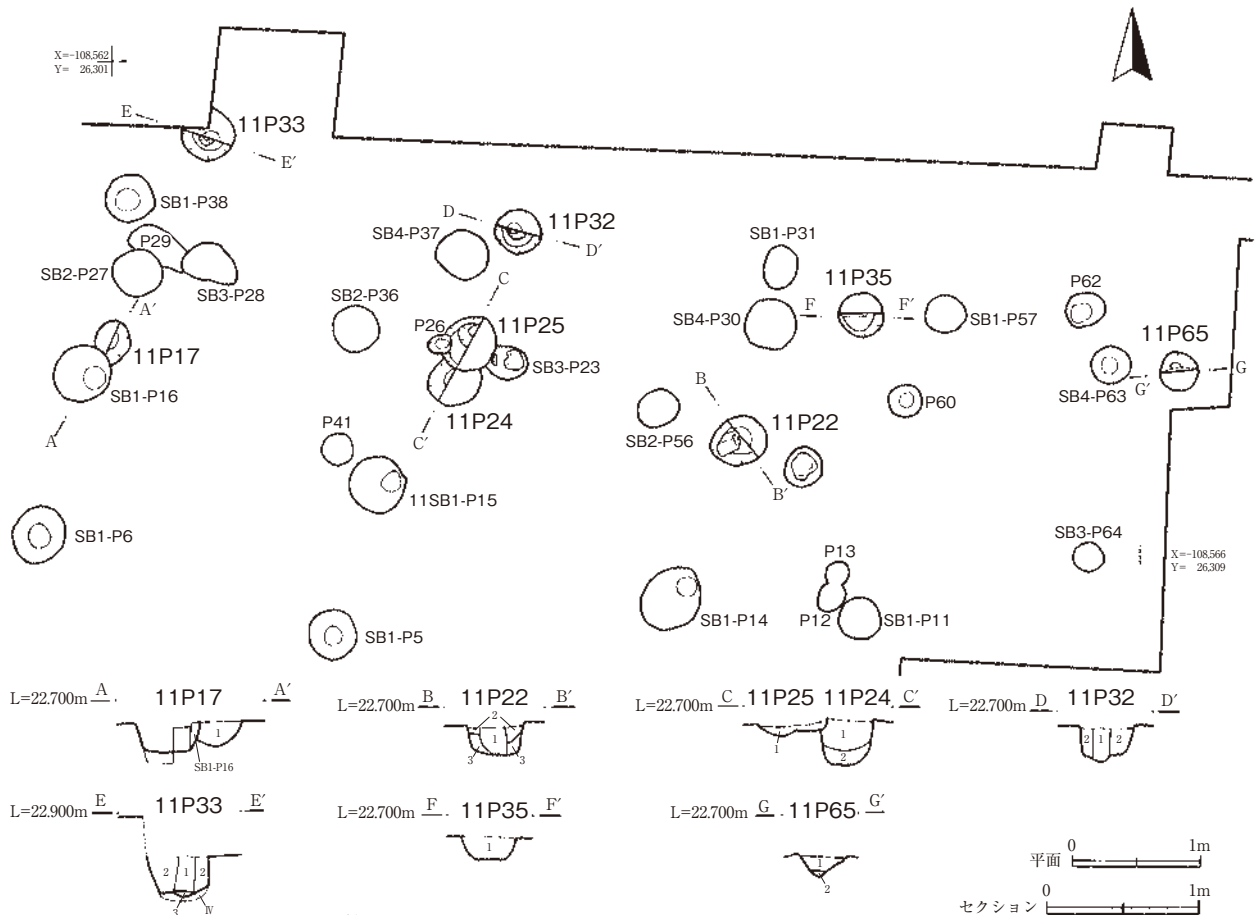
X=-108.570
Y= 26.301



11SD61

1層 10YR4/3に黄褐色シルト 10YR3/3暗褐色シルト少量 黄褐色地山ブロック0.1～0.5cm大・焼土粒・炭化物微量 粘性・しまり有

2層 10YR4/3に黄褐色シルト 黄褐色地山ブロック0.1～1cm大均一に5～10% 粘性・しまり有



第34図 11SD70・71・102～105・61、Pit

11P17

1層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土に黄褐色地山0.5～1cm大均一に微量混入 炭化物微量
粘性・しまり有

11P22

1層 10YR4/2灰黄褐色シルト 暗褐色シルトが均一に、黄褐色地山ブロック0.1～1cm大部分
的に少量混入 炭化物、焼土粒微量 粘性・しまり有 柱痕
2層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 暗褐色シルトが均一に少量 黄褐色地山ブロック2cm大
均一に10～20%混入 炭化物、焼土粒少量 粘性・しまり有
3層 10YR3/3暗褐色シルト 黄褐色地山ブロック0.1～1cm大南東に少量 灰黄褐色シルト南
東に多く混入 粘性・しまり有

11P24

1層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 黄褐色地山ブロック0.1～1cm大均一に少量 炭化物少量
粘性・しまり有
2層 10YR3/2黒褐色粘性シルト 黄褐色地山ブロック0.1～1cm大部分的に少量

11P25

1層 10YR3/3暗褐色シルト 黄褐色地山ブロック0.1～1cm大均一に微量 炭化物微量 粘性
・しまり有

11P32

1層 10YR3/3暗褐色粘性シルト 黄褐色地山ブロック0.1～1cm大均一に微量 焼土粒・炭化
物少量 しまり有 柱痕
2層 10YR3/3暗褐色シルト 黄褐色地山ブロック0.1～1cm大均一に少量 焼土粒・炭化物微
量 粘性・しまり有

11P33

1層 10YR3/2黒褐色粘性シルト 黄褐色地山ブロック0.1～0.5cm大均一に少量 焼土粒・炭化
物少量 しまり有 柱痕
2層 10YR3/3暗褐色シルト 黄褐色地山ブロック0.1～2cm大均一に10～20% 黒褐色粘性シ
ルト下部に少量 しまり有
3層 10YR4/2灰黄褐色粘土 黄褐色地山ブロック0.1～0.5cm大均一に微量 しまり有 柱痕
下部

11P35

1層 10YR4/3にぶい黄褐色シルトに黄褐色地山ブロック0.1～1cm大均一に少量 炭化物少量
粘性・しまり有

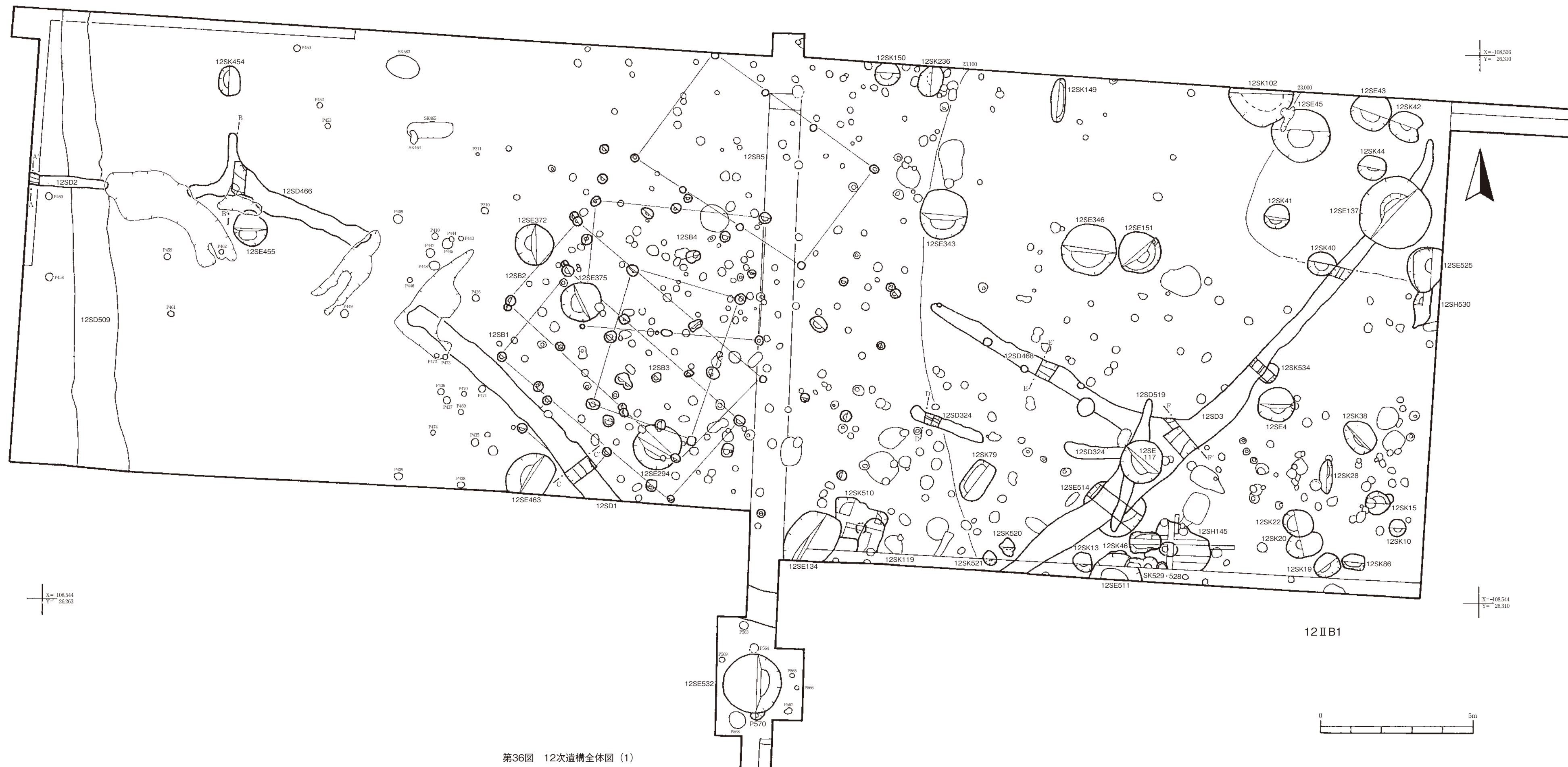
11P65

1層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト 黄褐色地山ブロック0.1～0.5cm大均一に少量 粘性・しま
り有
2層 10YR4/3にぶい黄褐色粘土 黄褐色地山ブロック0.1～1cm大微量 しまり有

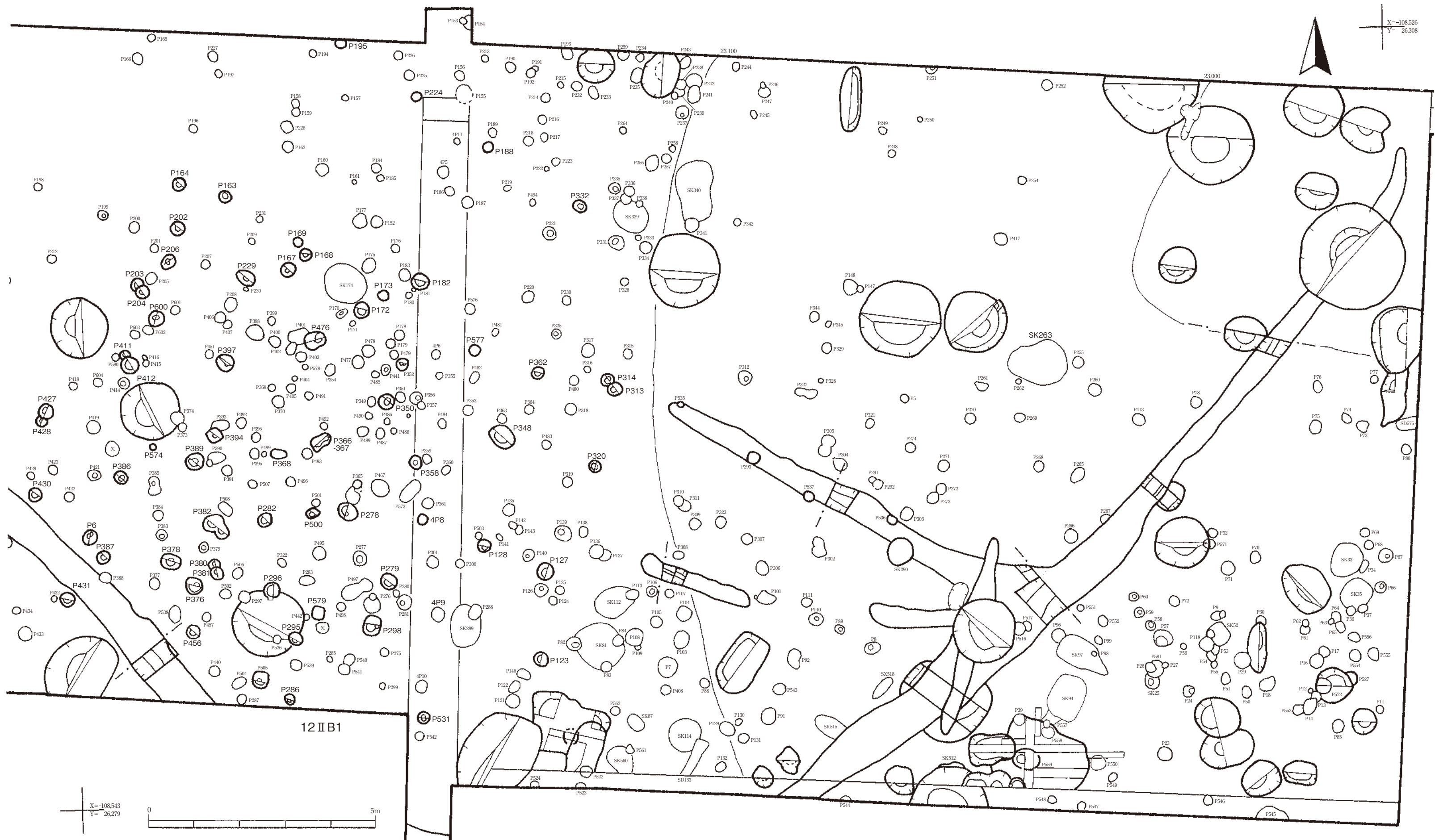
第35図 11次 Pit

第 4 表 9・10次、11次調査 調査柱穴一覧表

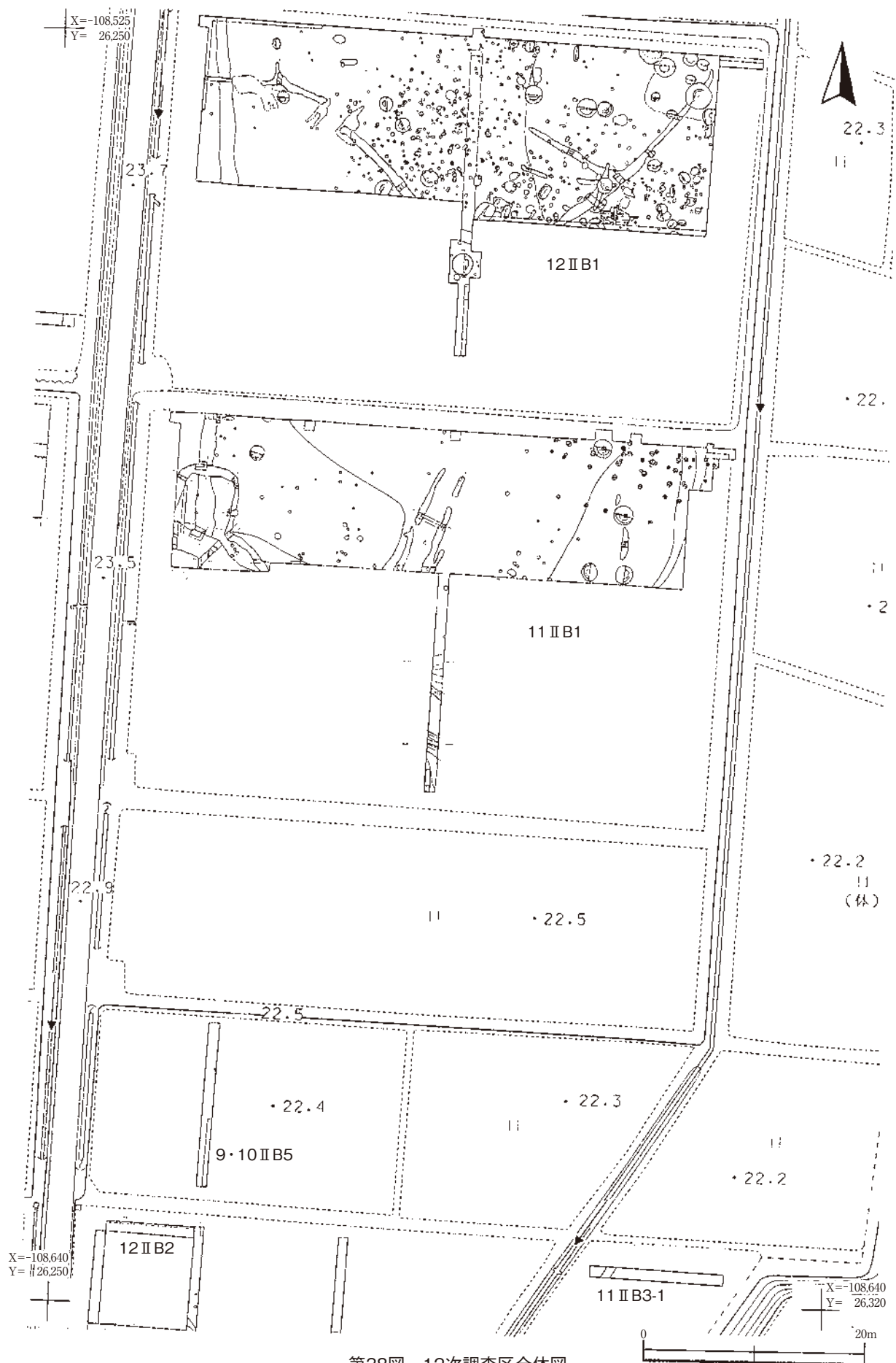
遺構名	区	位置	性格	調査	重複	長さ	幅	深さ	平面形	出土遺物
9・10P123	9・10ⅡB2	東	柱穴	半裁	9・10P123→SB1-P122	0.42		0.38	楕円形	手づくねかわらけ1
9・10P125	9・10ⅡB2	南東	柱穴	半裁	9・10SK445→P125	1.05	0.6	0.32	楕円形	釘
9・10P126	9・10ⅡB2	南東	柱穴	半裁	9・10SK125→P126	0.36	0.35	0.38	円形	
9・10P141	9・10ⅡB2	南東	土坑	半裁		0.53	0.49	0.10	楕円形	
9・10P159	9・10ⅡB2	東	土坑	半裁	9・10P160→P159→SX431→P159	0.61	0.58	0.06	円形	手づくねかわらけ2
9・10P183	9・10ⅡB2	南	柱穴	半裁		0.36	0.3	0.25	楕円形	
9・10P220	9・10ⅡB2	南西	柱穴	半裁	9・10SK41→P220	0.32	0.28	0.30	円形	手づくねかわらけ3
9・10P239	9・10ⅡB2	北東	土坑	半裁	9・10P239→SB1-P94	0.25	0.20～	0.30	円形	
9・10P244	9・10ⅡB2	南東	柱穴	半裁	9・10P412→P244	0.65	0.52～	0.23	円形	手づくねかわらけ3
9・10P281	9・10ⅡB2	南西	柱穴	完掘	9・10SH200→P281	0.18	0.12～	0.41	楕円形	
9・10P405	9・10ⅡB2	北西	土坑	半裁	9・10P405→SF16	0.28	0.2	0.13	方形	刀子
9・10P444	9・10ⅡB2	北西	柱穴	完掘	9・10SK13→P444	0.25	0.25		円形	
9・10P1078	9・10ⅡB1	中央	柱穴カ	半裁	9・10P1078→SB1-P1079→P1080	0.35	0.18～	0.05	円形	
9・10P1080	9・10ⅡB1	中央	柱穴カ	半裁	9・10P1078→SB1-P1079→P1080	0.6	0.25～	0.08	円形	手づくねかわらけ1
9・10P1094	9・10ⅡB1	中央	土坑	半裁		0.51	0.45	0.10	円形	
9・10P1106	9・10ⅡB1	中央	土坑	半裁	9・10SD1020→P1106	0.4	0.38	0.15	円形	手づくねかわらけ1
9・10P1108	9・10ⅡB1	中央	土坑	半裁		0.65	0.51	0.05	楕円形	
9・10P1115	9・10ⅡB1	中央	土坑	半裁	9・10P1115→P1114	0.5	0.47～	0.04	楕円形	
11P65	11ⅡB1	北東	柱穴	半裁		0.3	0.3	0.17	円形	
11P17	11ⅡB1	北	柱穴	半裁	11P17→SB1-P16	0.4	0.3	0.08	楕円形	
11P22	11ⅡB1	東	柱穴	半裁		0.45	0.4	0.2	円形	かわらけ細片1
11P24	11ⅡB1	東	柱穴	半裁	11SB3-P23・24→11P25→11P26	0.42	0.40～	0.31	円形	
11P25	11ⅡB1	東	柱穴カ	半裁	11SB3-P23・24→11P25→11P26	0.47	0.44	0.08	円形	
11P26	11ⅡB1	東	柱穴	完掘	11P25→P26	0.15	0.13		楕円形	
11P32	11ⅡB1	北	柱穴カ	半裁		0.4	0.35	0.23	円形	土師器片1
11P33	11ⅡB1	北	柱穴	半裁		0.42	0.42	0.28	円形	土師器片1
11P35	11ⅡB1	東	柱穴	半裁		0.36	0.36	0.15	円形	



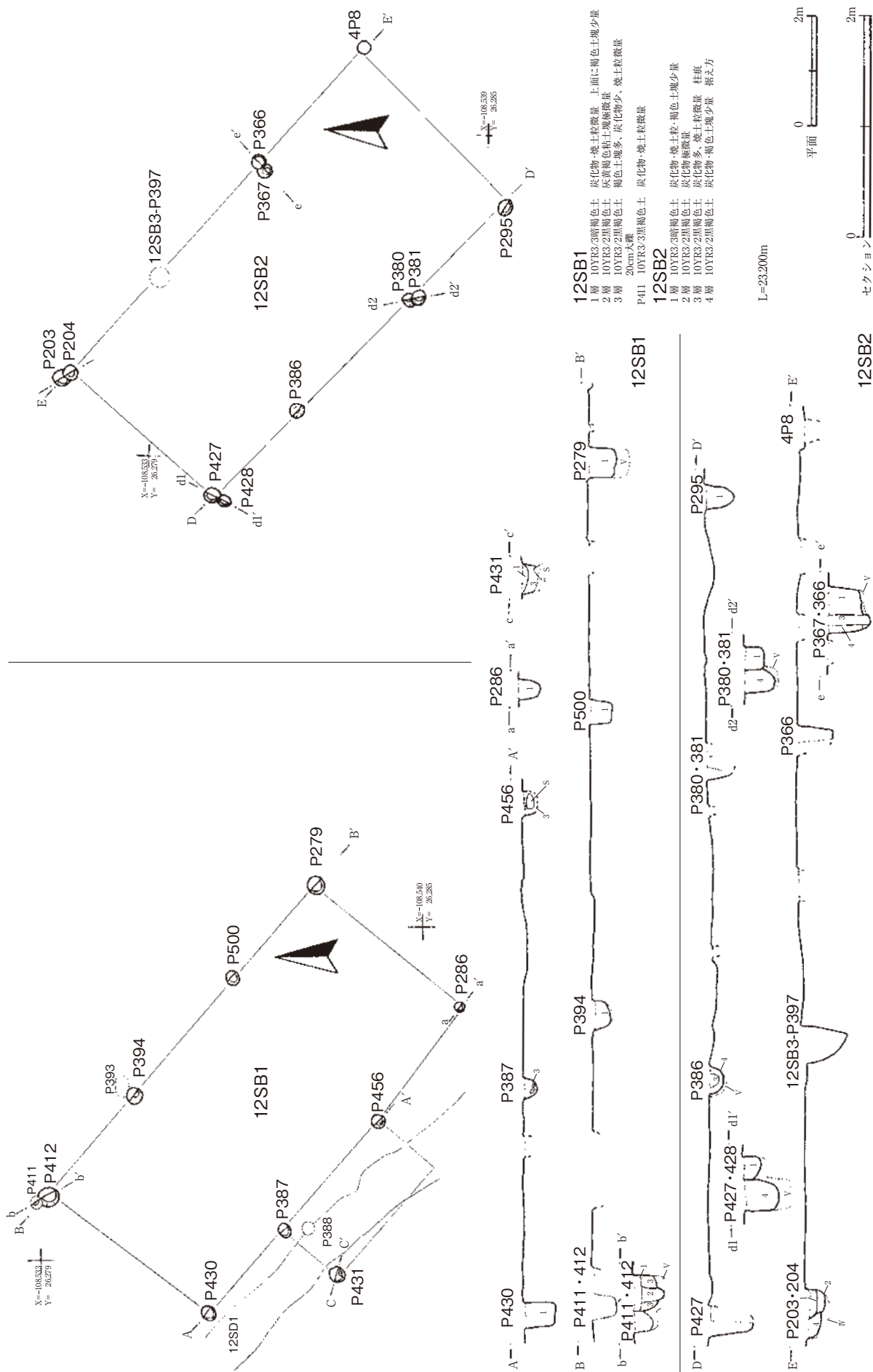
第36図 12次遺構全体図 (1)



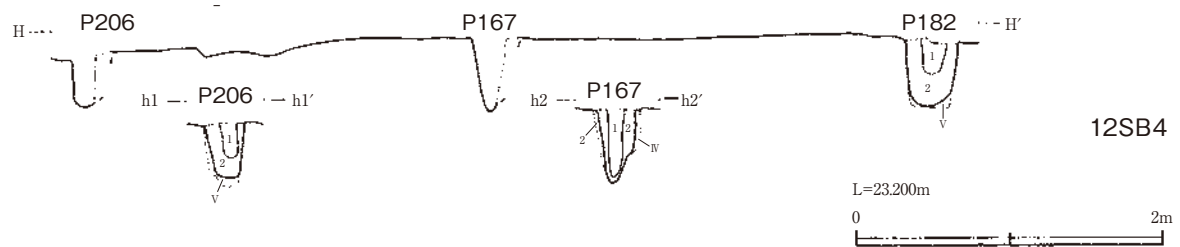
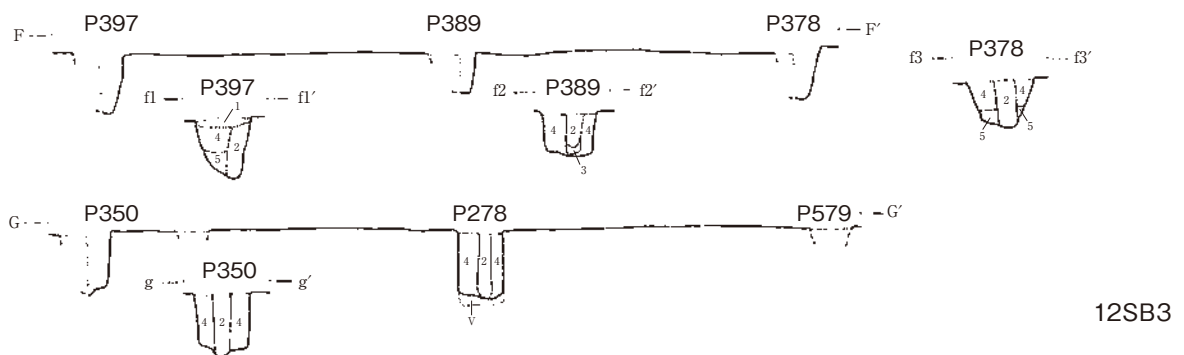
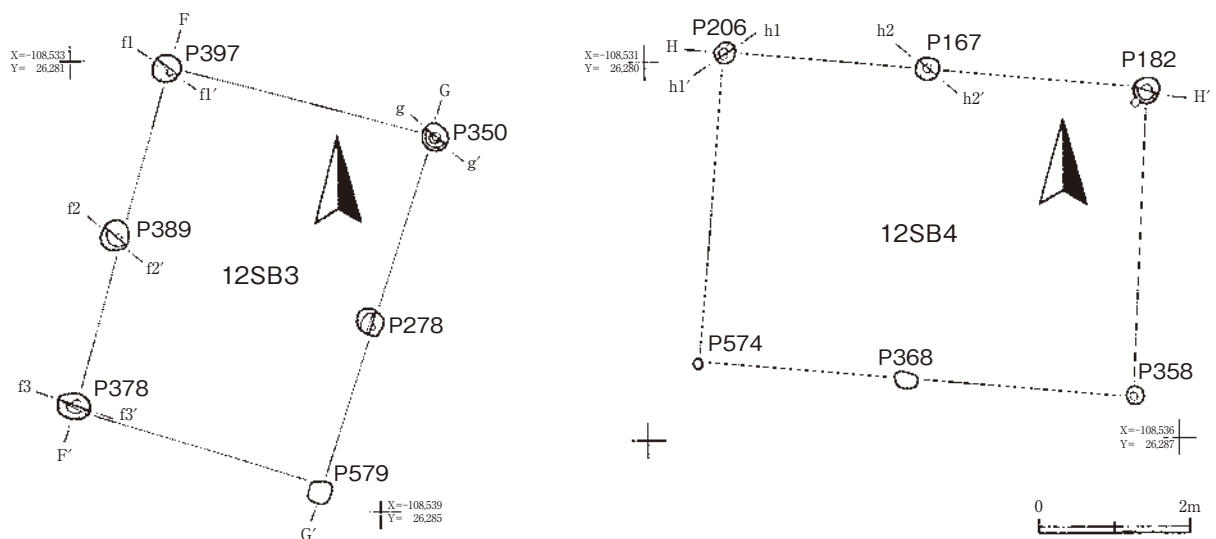
第37図 12次遺構全体図 (2)



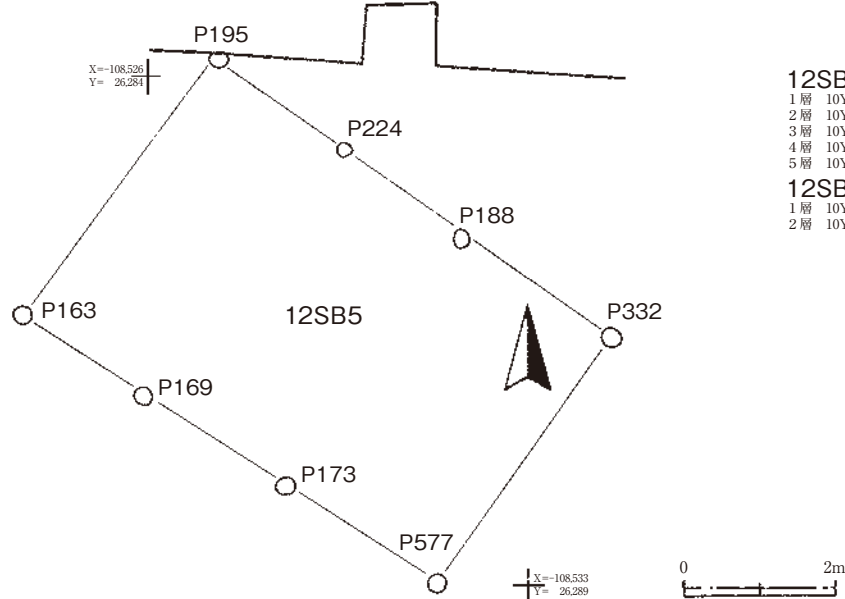
第38図 12次調査区全体図



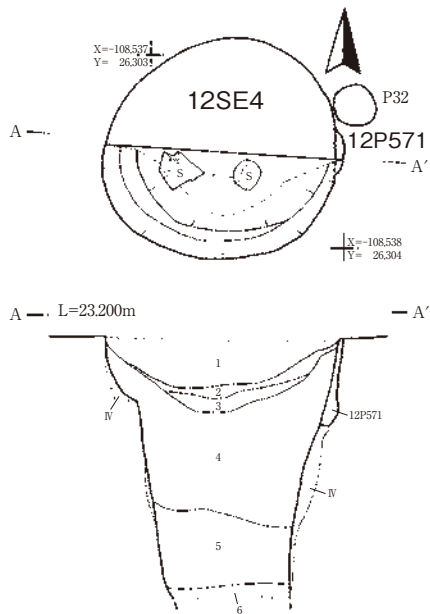
第39図 12SB1・2



- 12SB3**
- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物少、褐色土塊多量
 - 2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物微量 柱痕
 - 3層 10YR4/3いぶい黄褐色土 柱痕底
 - 4層 10YR3/3暗褐色土 炭化物・褐色土塊少量 据え方
 - 5層 10YR3/2黒褐色土 据え方
- 12SB4**
- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、褐色土塊少量 柱痕
 - 2層 10YR3/2黒褐色土 焼土粒極微、褐色土塊少量 据え方

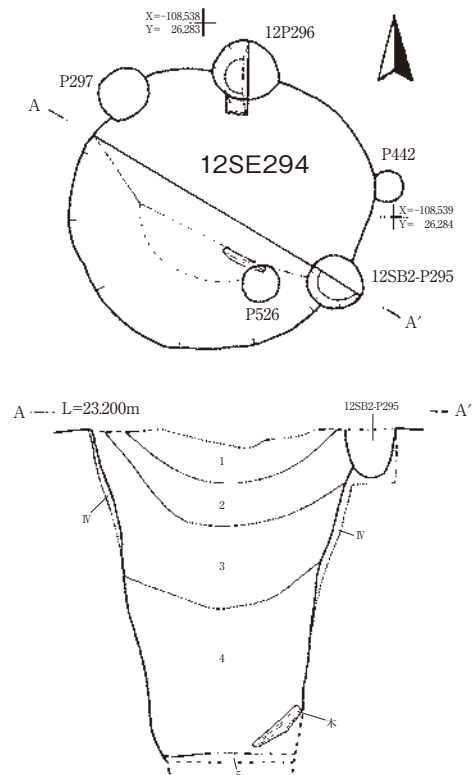


第40図 12SB3~5



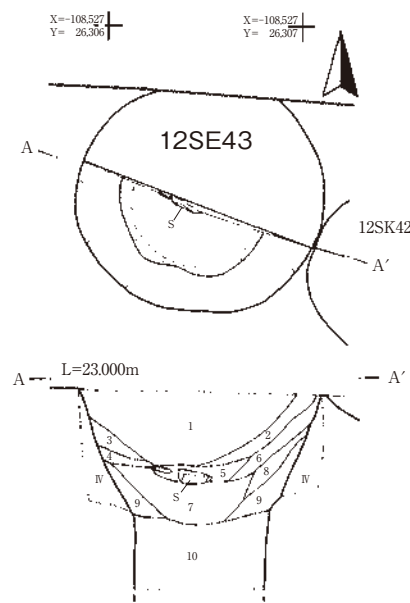
12SE4

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 褐色土ブロック1~3cm大少量 粘性有・しまり強 自然堆積土
 2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 粘性有・しまり強 自然堆積土
 3層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、焼土粒微量 粘性有・しまり強 自然堆積土
 4層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 褐色土ブロック大少量 粘性やや強・しまり強 少し乾いている砂質層 自然堆積土
 5層 10YR3/3暗褐色土 粘性やや強・しまり強 砂質粘土層 自然堆積土
 6層 10YR4/6褐色土 粘性強・しまり強 黄色 自然堆積土
 12P571 10YR3/3暗褐色土 礫0.5~1cm大少量 炭化物、焼土ブロック1cm大極微量 粘性有・しまり



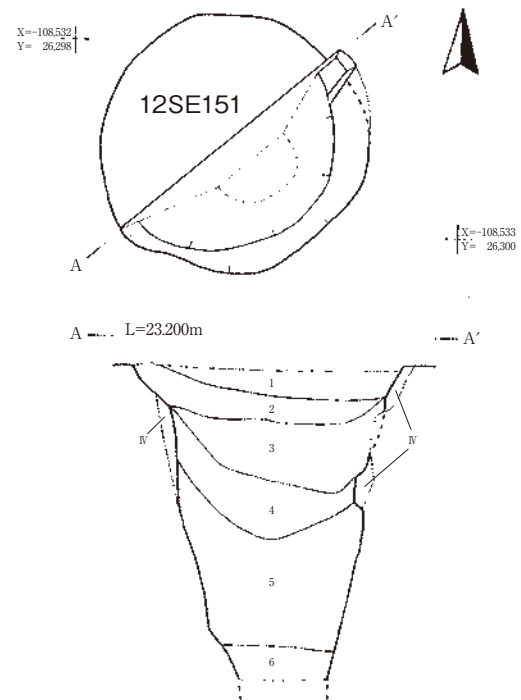
12SE294

- 1層 10YR3/2黒褐色土 白色粘土ブロック主体 黄褐色粘土ブロック2~3cm大少量 炭化物微量 焼土粒極微量 粘性有・しまり強 自然堆積土
 2層 10YR3/3暗褐色土 黄褐色粘土ブロック2~5cm大少量 炭化物微量 粘性有・しまり強 粘土ブロック主体 人為堆積土
 3層 10YR3/2黒褐色土 黄褐色土ブロック1~5cm大少量 炭化物極微量 粘性有・しまり強 粘土ブロック主体 人為堆積土
 4層 10YR3/4暗褐色土 黒褐色土ブロック大少量 炭化物極微量 砂質粘土ブロック 粘性強・しまり強 粘土ブロック主体 人為堆積土
 5層 10YR4/1褐色土 粘土層 粘性強・しまり弱



12SE43

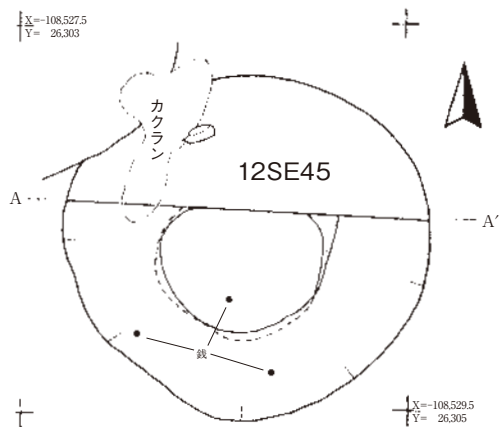
- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒、黄褐色土ブロック0.5~3cm大下層に多量 白色粘土混入 粘性有・しまり強 自然堆積土
 2層 10YR2/2黒褐色土 炭化物、焼土粒、黄褐色土ブロック0.5~3cm大下層に多量 1層より多量 粘性有・しまり強 自然堆積土
 3層 10YR3/3暗褐色土 褐色土ブロック3cm大少量 粘性有・しまり強 自然堆積土
 4層 10YR3/2黒褐色土 炭化物微量 粘性有・しまり強 自然堆積土
 5層 10YR3/3暗褐色土 黒褐色土ブロック1cm大少量 粘性有・しまり強 自然堆積土
 6層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 礫 粘性有・しまり強 自然堆積土
 7層 10YR2/1黒色土 粉状炭化物多量、焼土粒微量 粘性有・しまりやや有 自然堆積土
 8層 10YR2/2黒褐色土 褐色土ブロック1~3cm大少量 炭化物微量 粘性有・しまり強 自然堆積土
 9層 10YR4/4褐色土 黒褐色土ブロック1~3cm大少量 粘性有・しまり強 自然堆積土
 10層 10YR2/3黒褐色土 褐色土ブロック2cm大少量 粘性有・しまり強 自然堆積土



12SE151

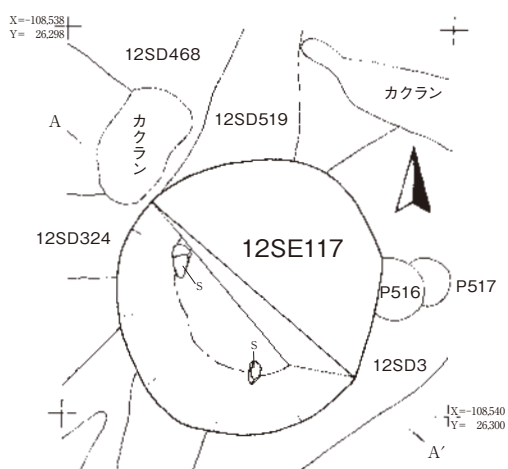
- 1層 10YR4/3に黄褐色土 褐色土ブロック大主体 サビっぽい土少量 炭化物極微量 粘性有・しまり強 埋め戻し土
 2層 10YR4/4褐色土 4/1灰褐色粘土ブロック2cm大微量 錆っぽい黄褐色土主体 粘性有・しまり強 埋め戻し土
 3層 10YR3/4暗褐色土 褐色土ブロック1cm大主体 粘性有・しまり強 埋め戻し土
 4層 10YR3/3暗褐色土 褐色土ブロック3cm大主体 粘性強・しまり強 埋め戻し土
 5層 10YR3/2黒褐色土 褐色土ブロック大少量 炭化物微量 粘性強・しまり強 自然堆積土
 6層 10YR3/2黒褐色土 褐色土ブロック大少量 粘土質土 粘性強・しまり強 自然堆積土

第41図 12SE4・43・294・151



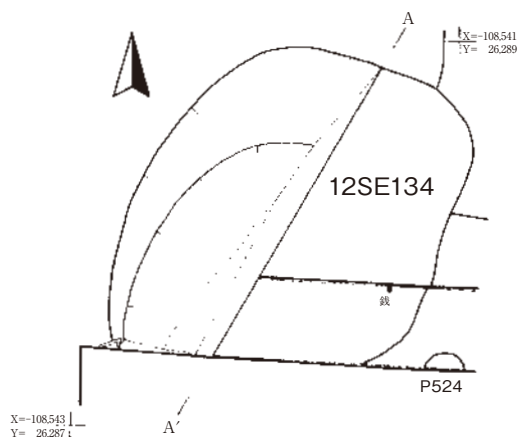
12SE45

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物微量 褐色粘土ブロック20cm大 粘性有・しり強
鉄分含 人為堆積土
2層 2.5Y2/2黒褐色土 粘性強・しり強 自然堆積土
3層 5Y4/2灰オリーブ色土 粘性強・しり強 掘りすぎ



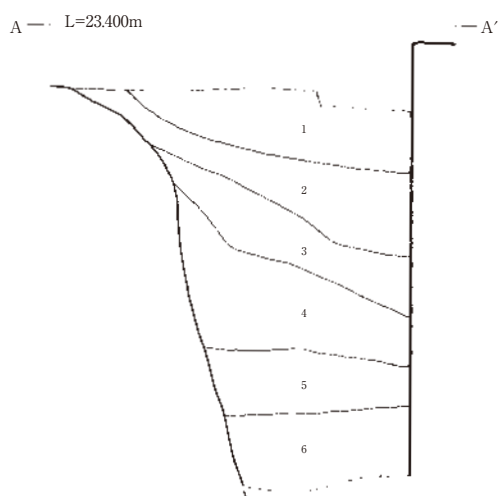
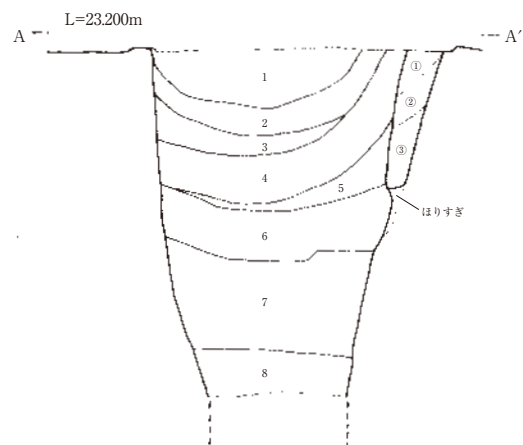
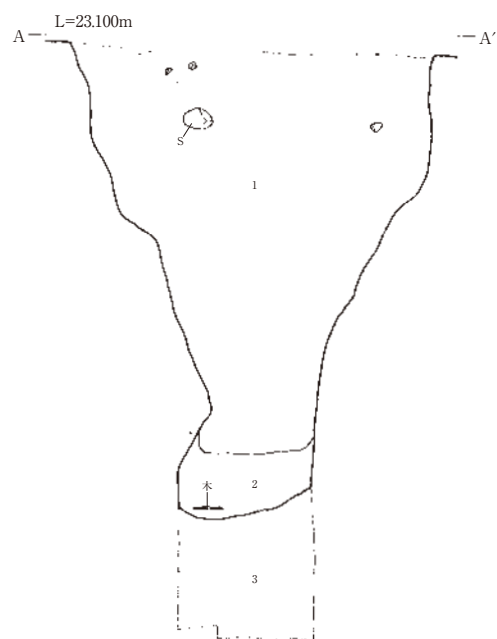
12SE117

- 1層 10YR3/2黒褐色土 焼土粒0.5~3cm大、炭化物0.5~1cm大 粘性弱・しり強
2層 10YR2/1黒色土 炭灰主体 焼土粒・ブロック少量
3層 10YR5/6黄褐色土 褐色土ブロック主体 粘性有・しり強
4層 10YR4/6褐色土 炭化物0.5cm大、褐色土ブロック少量 粘性有・しり弱
5層 10YR3/4暗褐色土 炭化物0.5cm大少量 粘性有・しり強
6層 10YR4/3にぶい黄褐色土 白色粘土ブロック5cm大、炭化物少量 粘性強・しり強
7層 10YR4/3にぶい黄褐色土 砂質粘土主体 鉄分含 粘性強・しり弱
8層 10YR4/1褐色土 灰色粘土主体 竹、葉、萱出土 鉄分含 粘性弱・しり弱
1~8層 自然堆積土
①~③層 12SD3

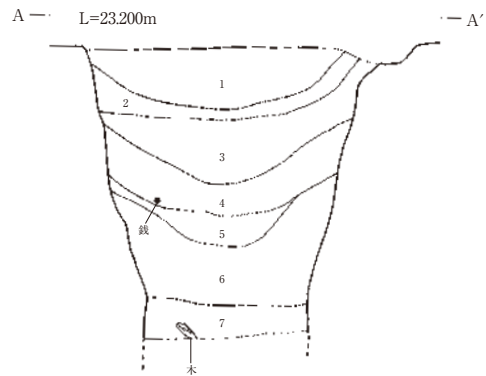
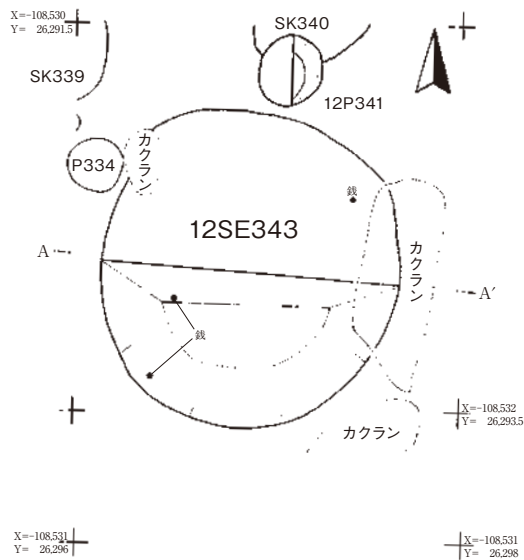


12SE134

- 1層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物1cm大、白色粘土3cm大微量 粘性弱・しり強
2層 10YR4/3にぶい黄褐色土 粘土ブロック5cm大 炭化物0.5cm大微量 粘性強・しり強
3層 10YR4/2灰黄褐色土 白色粘土ブロック5cm大主体 炭化物微量 粘性強・しり強
4層 10YR1/4暗灰褐色土 褐色土ブロック4cm大少量 炭化物少量 粘性強・しり有
5層 10YR4/6褐色土 砂質粘土主体 粘性強・しり弱
6層 10YR4/2灰黄褐色土 灰色粘土主体 萱、竹、木質出土 炭化物微量 粘性強・しり弱

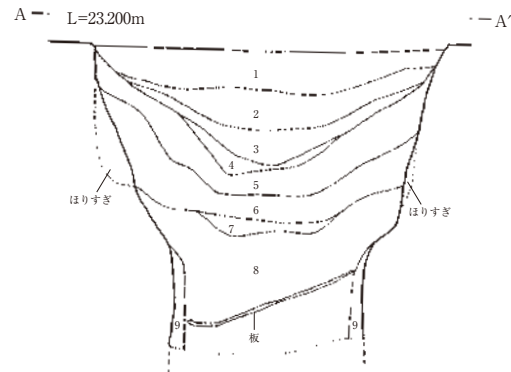
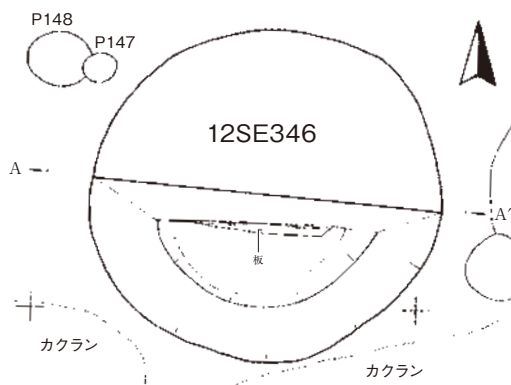


第42図 12SE45・117・134



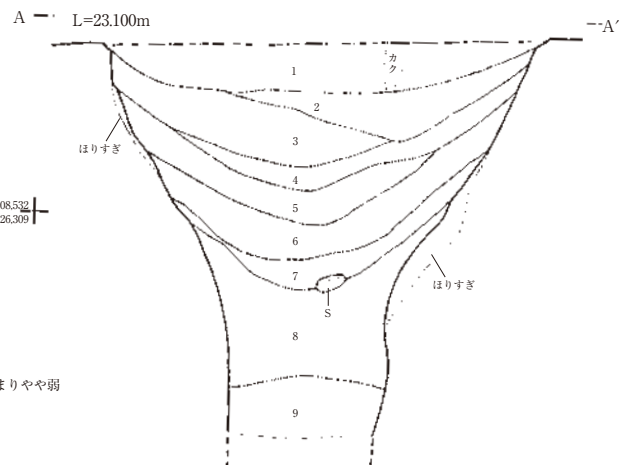
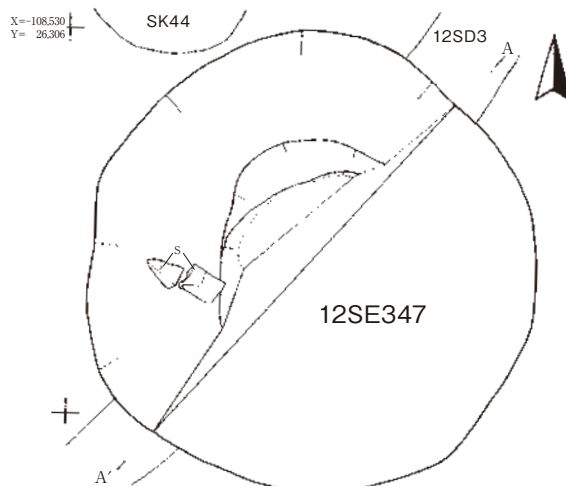
12SE343

- 1層 10YR4/3にふい黄褐色土 炭化物・焼土粒0.7cm大少量 地山ブロック3cm大少量 粘性弱・しまり有
 - 2層 10YR4/3にふい黄褐色土 白色粘土ブロック3cm大少量 炭化物0.5cm大少量 粘性弱・しまり有
 - 3層 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.7cm大少量 地山ブロック微量 粘性弱・しまり有
 - 4層 10YR4/2灰黄褐色土 白色粘土3cm大少量 炭化物0.7cm大微量 粘性有・しまりやや弱
 - 5層 10YR4/2灰黄褐色土 白色粘土3cm大主体 炭化物微量 粘性弱・しまり弱
 - 6層 10YR3/2黒褐色土 砂質粘土主体 炭化物微量 粘性強・しまり弱
 - 7層 10YR4/1褐色土 灰色粘土主体 炭化物微量 粘性強・しまり弱 木杭出土
- 1～7層 人為堆積土



12SE346

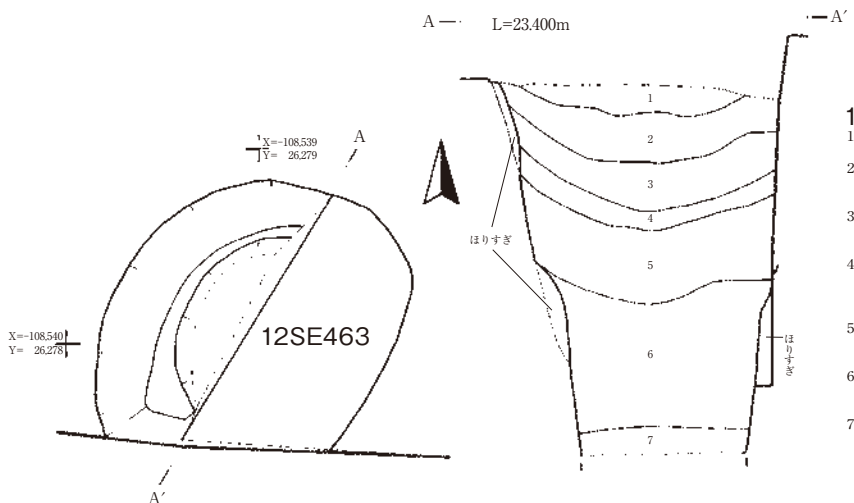
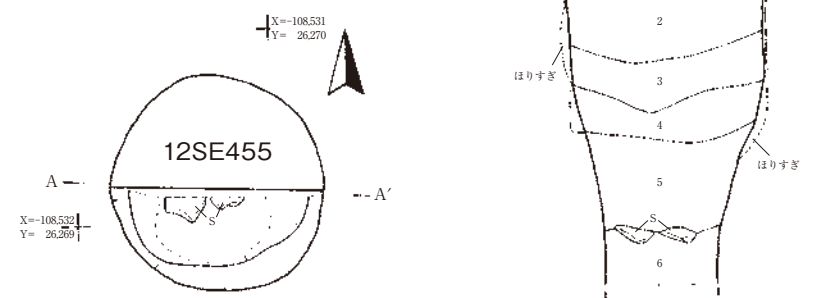
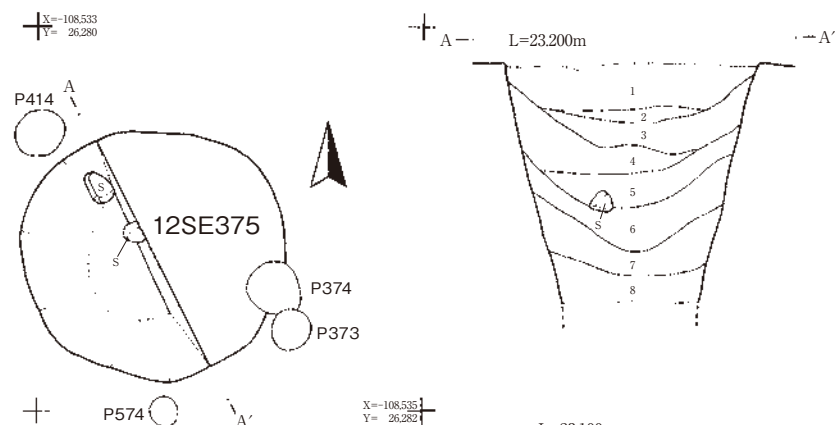
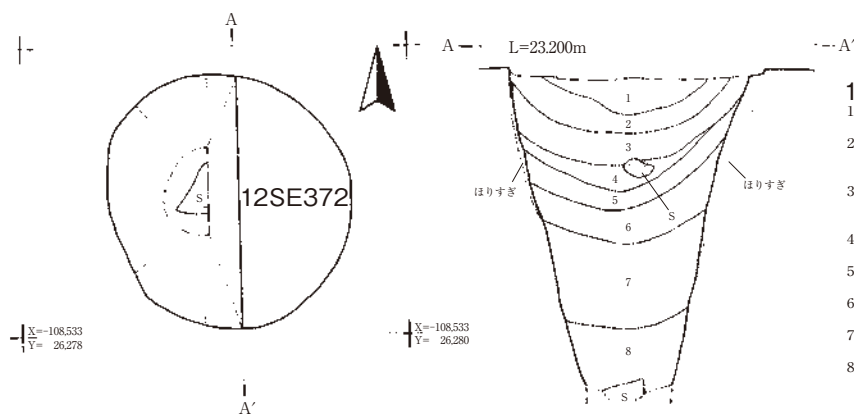
- 1層 10YR3/4暗褐色土 白～にふい黄褐色粘土ブロック4cm大少量 炭化物、焼土粒少量 粘性有・しまり強 人為堆積土
 - 2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、焼土粒多量 黄褐色土ブロック1～3cm大微量 粘性有・しまり強
 - 3層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、焼土粒微量 灰黄褐色粘土ブロック2cm大微量 粘性有・しまり強
 - 4層 10YR4/4褐色土 褐色土ブロック主体 炭化物微量 暗褐色土ブロック少量 粘性有・しまり強
 - 5層 10YR4/3にふい黄褐色土 褐色土ブロック主体 粘性やや強・しまり強
 - 6層 10YR4/3にふい黄褐色粘土質土 灰黄褐～にふい黄褐色粘土ブロック少量 炭化物微量 粘性強・しまり強
 - 7層 10YR3/3暗褐色粘土質土 黄褐色土ブロック、炭化物極微量 粘性やや強・しまり強
 - 8層 10YR3/1黒褐色粘土質土 黄褐色砂質粘土ブロック多量 炭化物微量 粘性強・しまりやや強
 - 9層 10YR3/1黒褐色粘土質土 黄褐色土ブロック2cm大微量 粘性強・しまりやや強
- 2～9層 自然堆積土



12SE347

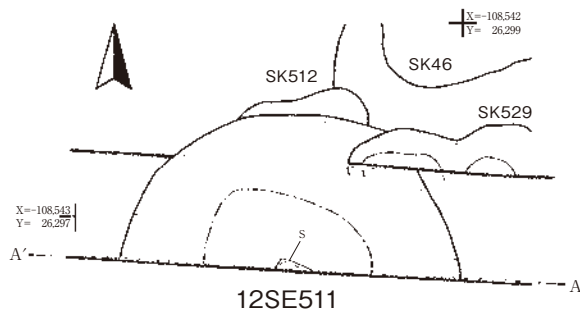
- 1層 10YR4/3にふい黄褐色土 炭化物0.3cm大、地山ブロック少量 粘性弱・しまり有
 - 2層 10YR4/3にふい黄褐色土 1層と同じだが褐色土ブロック1層より多量 粘性弱・しまり有
 - 3層 10YR4/4褐色土 褐色粘土ブロック15cm大主体 炭化物少量 粘性やや有・しまり強
 - 4層 10YR4/4褐色土 3層とほぼ同じ
 - 5層 10YR4/3にふい黄褐色土 白～灰色粘土ブロック10cm大主体 炭化物1cm大少量 粘性強・しまりやや弱
 - 6層 10YR4/1褐色土 灰色粘土ブロック主体 炭化物1～2cm大少量 粘性強・しまり弱
 - 7層 10YR4/1褐色土 砂質粘土主体 炭化物少量 粘性やや有・しまり弱
 - 8層 10YR4/1褐色土 砂質粘土主体 鉄分多い 粘性有・しまり弱
 - 9層 2.5Y3/1黒褐色土 灰色粘土主体 炭化物微量 木、萱、竹、葉出土 粘性強・しまりなし
- 1～9層 自然堆積土

第43図 12SE343・346・347



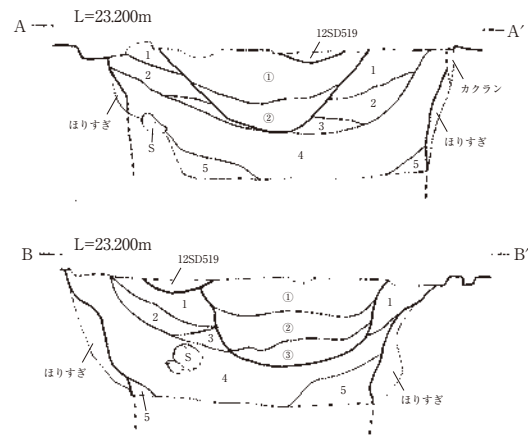
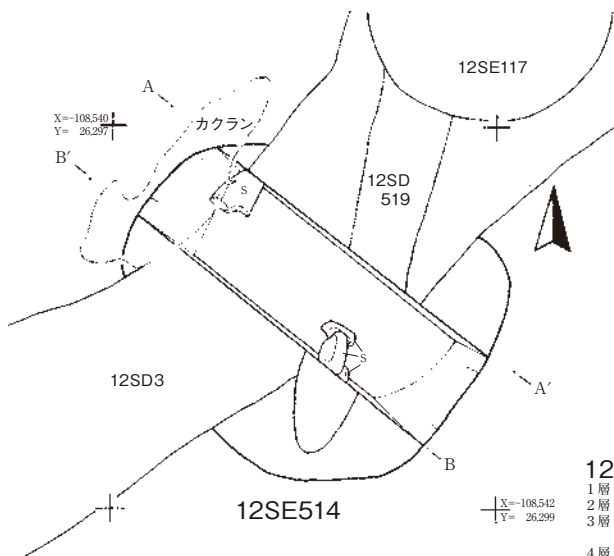
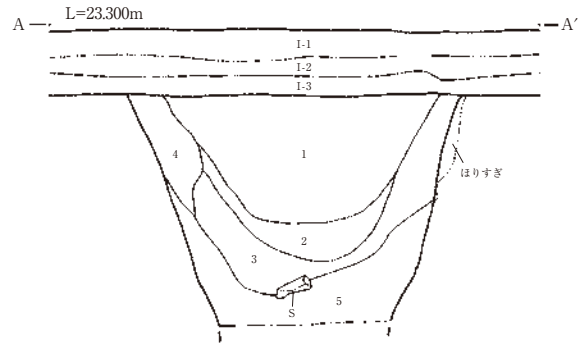
第44図 12SE372・375・455・463





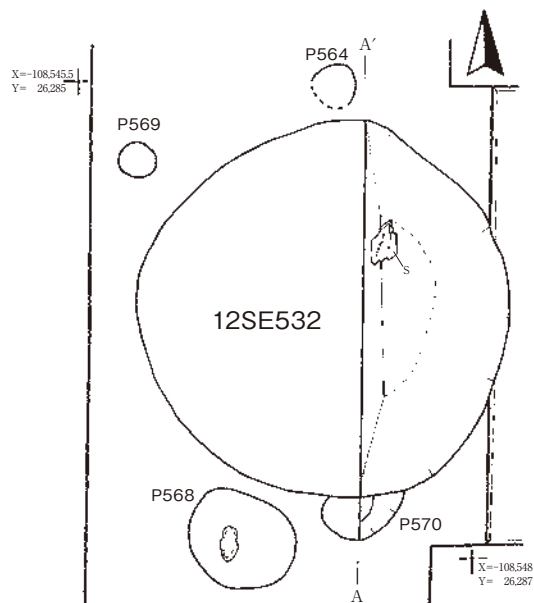
12SE511

- I-1層 水田土、I-2層 水田造成土、I-3層 旧水田土
 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物多量 褐色土粒少量 粘性有・しまり強 自然堆積土
 2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物少量 黄褐色粘土ブロック0.5~2cm大少量 粘性強・しまり強 自然堆積土
 3層 10YR4/2灰黄褐色土 褐色粘土ブロック2cm大少量 炭化物微量 粘性強・しまり強 自然堆積土
 4層 10YR4/4褐色土 暗褐色土ブロック大少量 粘性有・しまり強 壁崩落土
 5層 10YR3/1黒褐色土 暗褐色土ブロック大少量 粘性有・しまり強 壁崩落土



12SE514

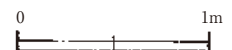
- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、焼土ブロック0.5cm大少量 粘性弱・しまり強
 2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、焼土粒少量 灰黄褐色粘土ブロック多量 粘性弱・しまり強
 3層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物、焼土粒極微量 灰黄褐色粘土ブロック3cm大少量 粘性弱・しまり強
 4層 10YR4/3にぶい黄褐色土 褐色粘土ブロック2~10cm大少量 炭化物、焼土粒極微量 粘性弱・しまり強
 5層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒極微量 粘性弱・しまり強
 1~5層 人為堆積土
 12SD519 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土ブロック0.5cm大少量 粘性弱・しまり強
 ①~③層 12SD3

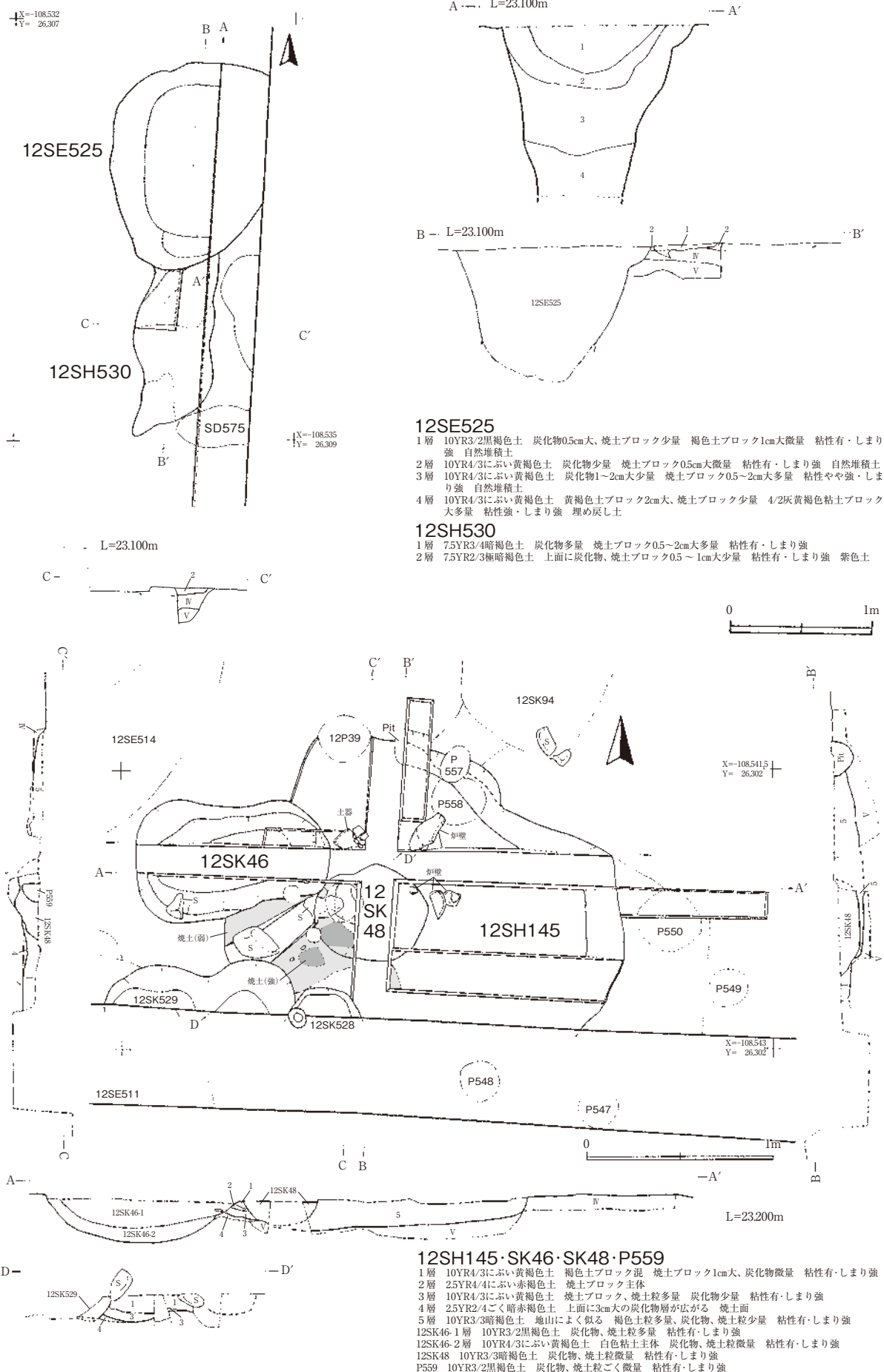


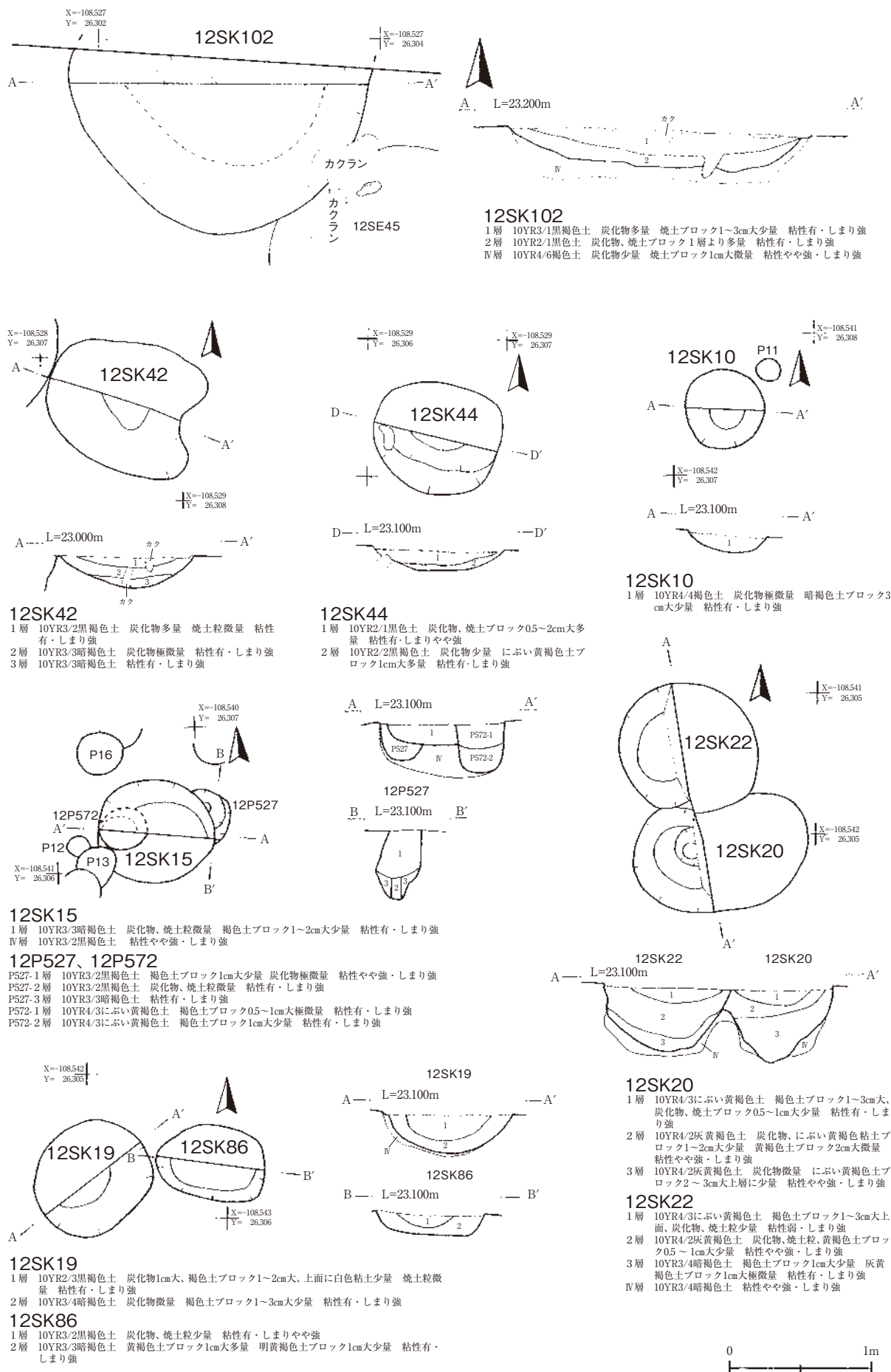
12SE532

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物少量、焼土粒微量 SE511と似ている土 粘性有・しまり強 自然堆積土
 2層 10YR4/2灰黄褐色土 炭化物、焼土粒微量 褐色土ブロック1cm大、白色粘土ブロック1cm大少量 粘性やや強・しまり強 自然堆積土
 3層 10YR4/2灰黄褐色土 にぶい黄褐色粘土ブロック1~5cm大、焼土ブロック0.5cm大微量 炭化物、白色粘土ブロック3cm大少量 粘性やや強・しまり強 砂質層 自然堆積土
 4層 10YR3/2黒褐色土 褐色土ブロック1~5cm大少量 褐色粘土主体 粘性やや強・しまり強 自然堆積土
 5層 10YR4/3にぶい黄褐色土 褐色土ブロック1~3cm大少量 粘性強・しまり強 自然堆積土
 P570 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 褐色土ブロック1cm大少量 粘性有・しまり強

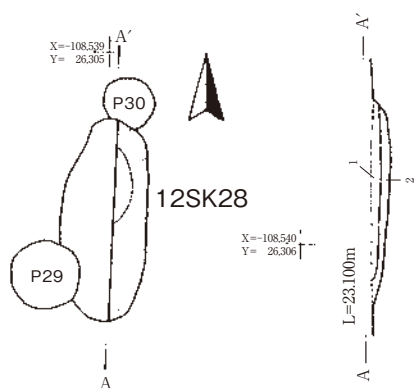
第45図 12SE511・514・532





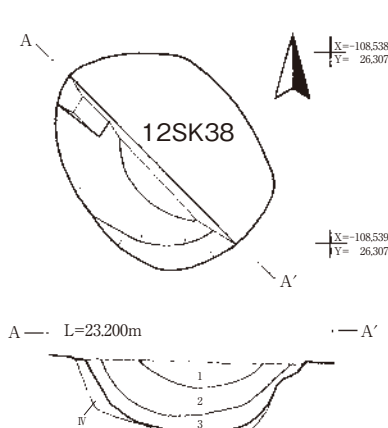


第47図 12SK102・42・44・10・15・22・20・19・86



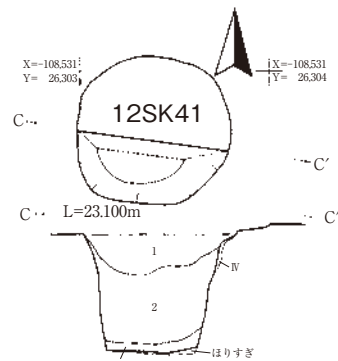
12SK28

- 1層 10YR3/4暗褐色土 におい黄褐色粘土ブロック1~10cm大、炭化物1~2cm大少量 粘性有・しまり強
2層 10YR4/4褐色土 暗褐色土ブロック底面に多量 炭化物極微量 粘性有・しまり強



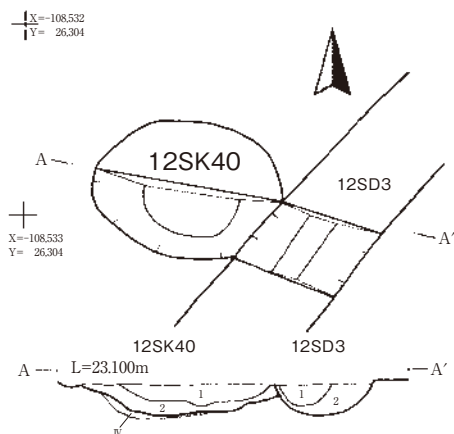
12SK38

- 1層 10YR3/2黒褐色土 黄褐色土ブロック0.5cm大微量 炭化物、焼土粒少量 褐色粘土帯状に混入 粘性有・しまり強
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒少量 褐色粘土ブロック2cm大微量 粘性強・しまり強
3層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒、褐色粘土ブロック0.5~3cm大少量 粘性強・しまり強



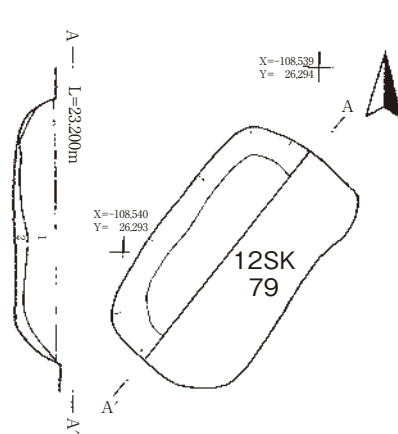
12SK41

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 黄褐色土ブロック0.5~3cm大少量 粘性有・しまり強
2層 10YR4/4褐色土 炭化物微量 暗褐色土ブロック2~10cm大少量 粘性有・しまり強
3層 10YR3/2黒褐色土 褐色土ブロック1cm大少量 粘性・しまり強 粘土質土



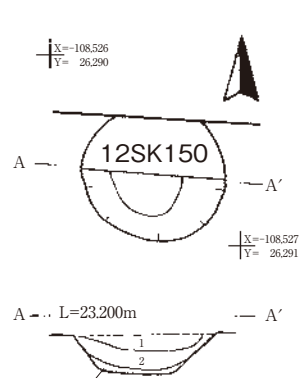
12SK40

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、灰黄褐色粘土ブロック1~3cm大少量 焼土ブロック1cm大微量 粘性有・しまり強
2層 10YR3/2黒褐色土 灰黄褐色粘土ブロック1~2cm大少量 黄褐色土ブロック1cm大微量 粘性やや強・しまり強
IV層 10YR2/2黒褐色土 粘性やや強・しまり強



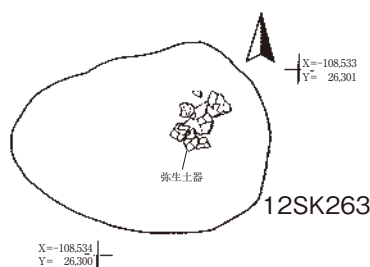
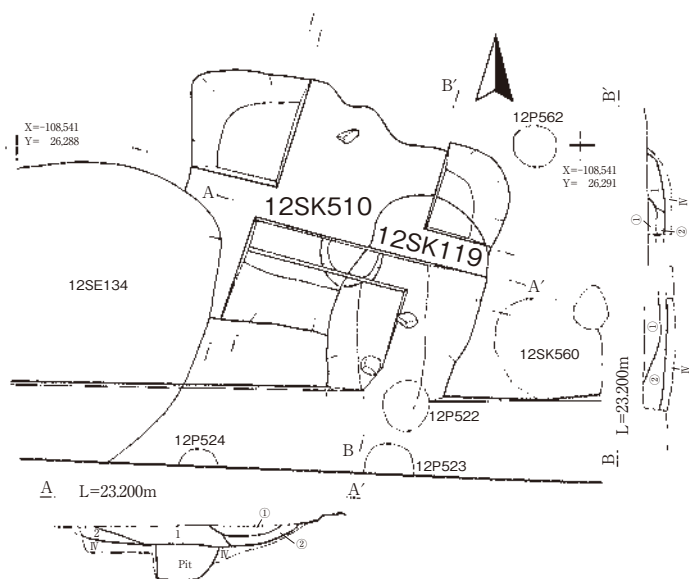
12SK79

- 1層 10YR4/3におい黄褐色土 黄褐色土ブロック0.5~3cm大少量 炭化物1cm大、焼土ブロック0.5~1cm大少量 粘性有・しまり強
2層 10YR3/3暗褐色土 褐灰色粘土ブロック2cm大極微量 粘性強・しまり強



12SK150

- 1層 10YR3/3暗褐色土 褐色土ブロック1~3cm大少量 炭化物0.5~2cm大微量 粘性有・しまり強
2層 10YR3/2黒褐色土 褐灰色粘土ブロック2~7cm大少量 黄褐色土ブロック0.5~1cm大少量 粘性有・しまり強
3層 10YR3/4暗褐色土 褐色土ブロック底面に多量 粘性有・しまり強



12SK263

注記なし

12SK119

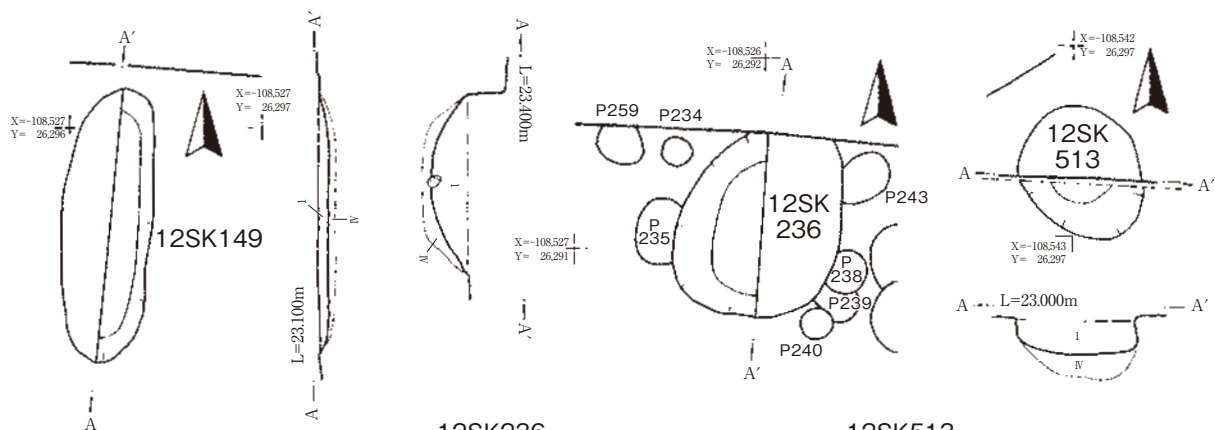
- ①層 10YR4/3におい黄褐色土 炭化物、焼土粒少量 粘性有・しまり強
②層 10YR4/3におい黄褐色土 炭化物、焼土粒少量 黄褐色土ブロック1cm大少量 粘性有・しまり強

12SK510

- 1層 10YR4/3におい黄褐色土 炭化物、焼土粒少量 黄褐色土ブロック1~3cm大少量 粘性有・しまり強
2層 10YR4/3におい黄褐色土 炭化物、焼土粒1層より少量 黄褐色土ブロック1cm大少量 粘性有・しまり強
Pit 10YR4/4褐色土 炭化物0.5cm大微量 暗褐色土ブロック1cm大少量 粘性有・しまり強



第48図 12SK28・38・41・40・79・150・119・510・263



12SK149

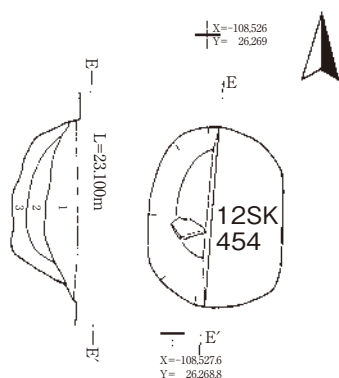
1層 10YR4/3に黄褐色土 黄褐色土ブロック1~3cm大、炭化物1cm大少量 焼土粒微量 粘性有・しり強

12SK236

1層 10YR3/3暗褐色土 褐色土ブロック0.5~3cm大、炭化物1cm大、焼土粒0.5cm大少量 粘性有・しり強

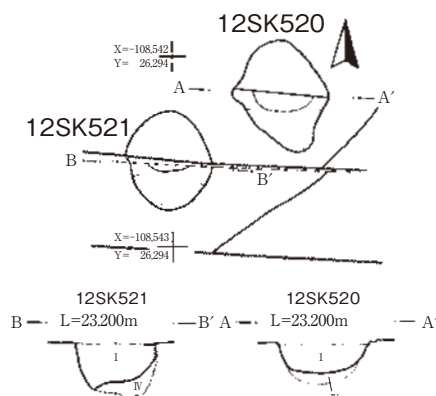
12SK513

1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物、焼土ブロック0.5~1cm大少量 褐色土ブロック5cm大1個 灰黄褐色土粘土ブロック1cm大微量 粘性有・しり強



12SK454

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 粘性有・しり強
2層 10YR4/2灰黄褐色土 黄褐色土ブロック1~3cm大少量 粘性・しりやや強 陶器出土
3層 10YR4/3に黄褐色土 褐色土ブロック大下層に多量 粘性強・しり強

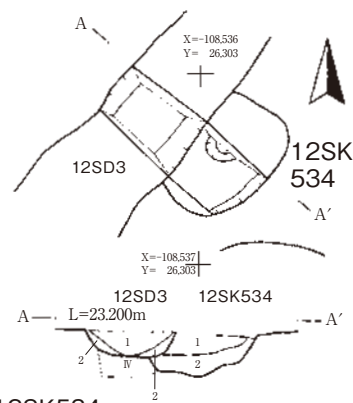


12SK520

1層 10YR4/2灰黄褐色土 混入物はP521とよく似る 粘性有・しり強 P521と良く似ている

12SK521

1層 10YR4/3に黄褐色土 黄褐色土ブロック1cm大、焼土ブロック1cm大、炭化物1cm大少量 粘性有・しり強 P520と良く似ている



12SK534

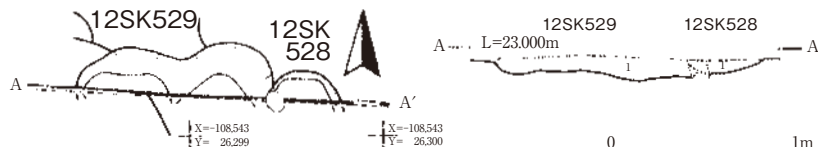
SD3-1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土ブロック0.2~0.5cm大、褐色土ブロック0.5cm大少量 粘性有・しり強
SD3-2層 10YR3/3暗褐色土 焼土ブロック0.2cm大極微量、褐色土ブロック0.5~1cm大少量 粘性やや有・しり強
SK534-1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土ブロック0.2cm大、褐色土ブロック0.2~0.5cm大少量 粘性やや有・しり強
SK534-2層 10YR3/2黒褐色土 褐色粘土ブロック0.5~3cm大少量 粘性有・しり強
IV層 10YR3/4暗褐色土 粘性有・しり強

12SK528

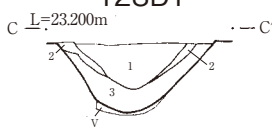
1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物1cm大微量 黄褐色土ブロック0.5~1cm大少量 粘性やや弱・しり強

12SK529

1層 10YR4/3に黄褐色土 炭化物微量 粘性弱・しり強



12SD1



12SD2



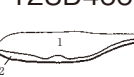
12SD3



12SD324



12SD466



12SD468



12SD324

1層 10YR3/2暗褐色土 褐色粘土ブロック0.5~1cm大少量 粘性有・しり強

12SD466

1層 10YR5/6黄褐色土 炭化物、焼土粒、暗褐色土ブロック1~3cm大少量 粘性有・しり有
2層 10YR4/4褐色土 粘性有・しり有

12SD468

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 褐色土ブロック1cm大少量 粘性有・しり強

12SD1

1層 10YR4/3に黄褐色土 炭化物、焼土粒少量 粘性有・しり強
2層 10YR4/3に黄褐色土 黄褐色土粒少量 粘性有・しり強
3層 10YR4/4褐色土 炭化物極微量、粘性有・しり強
1~3層 自然堆積土

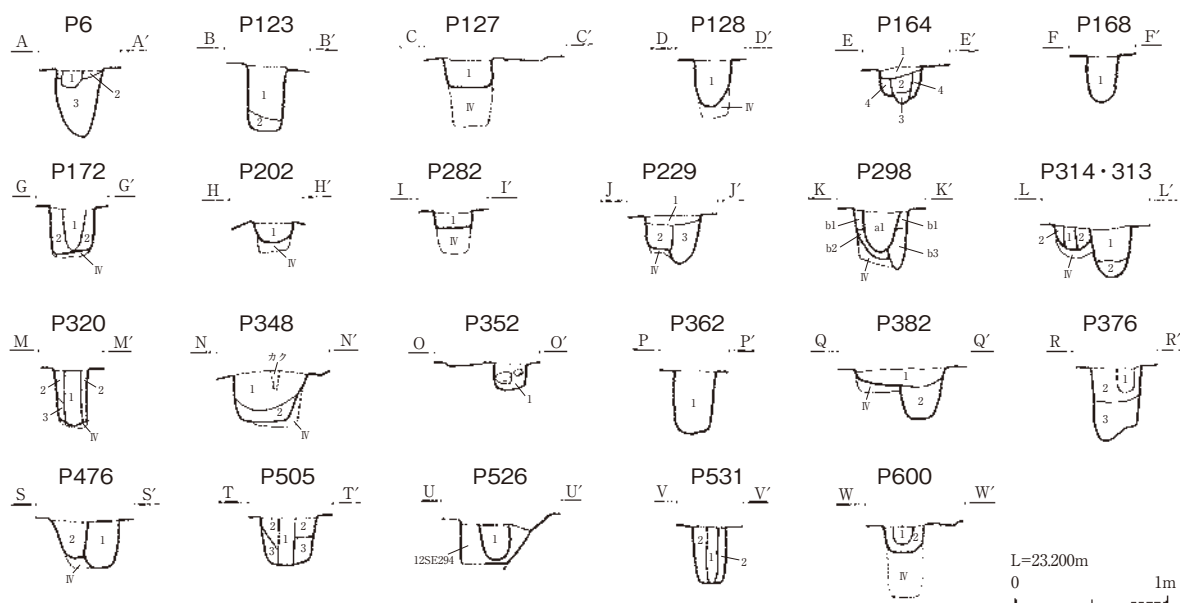
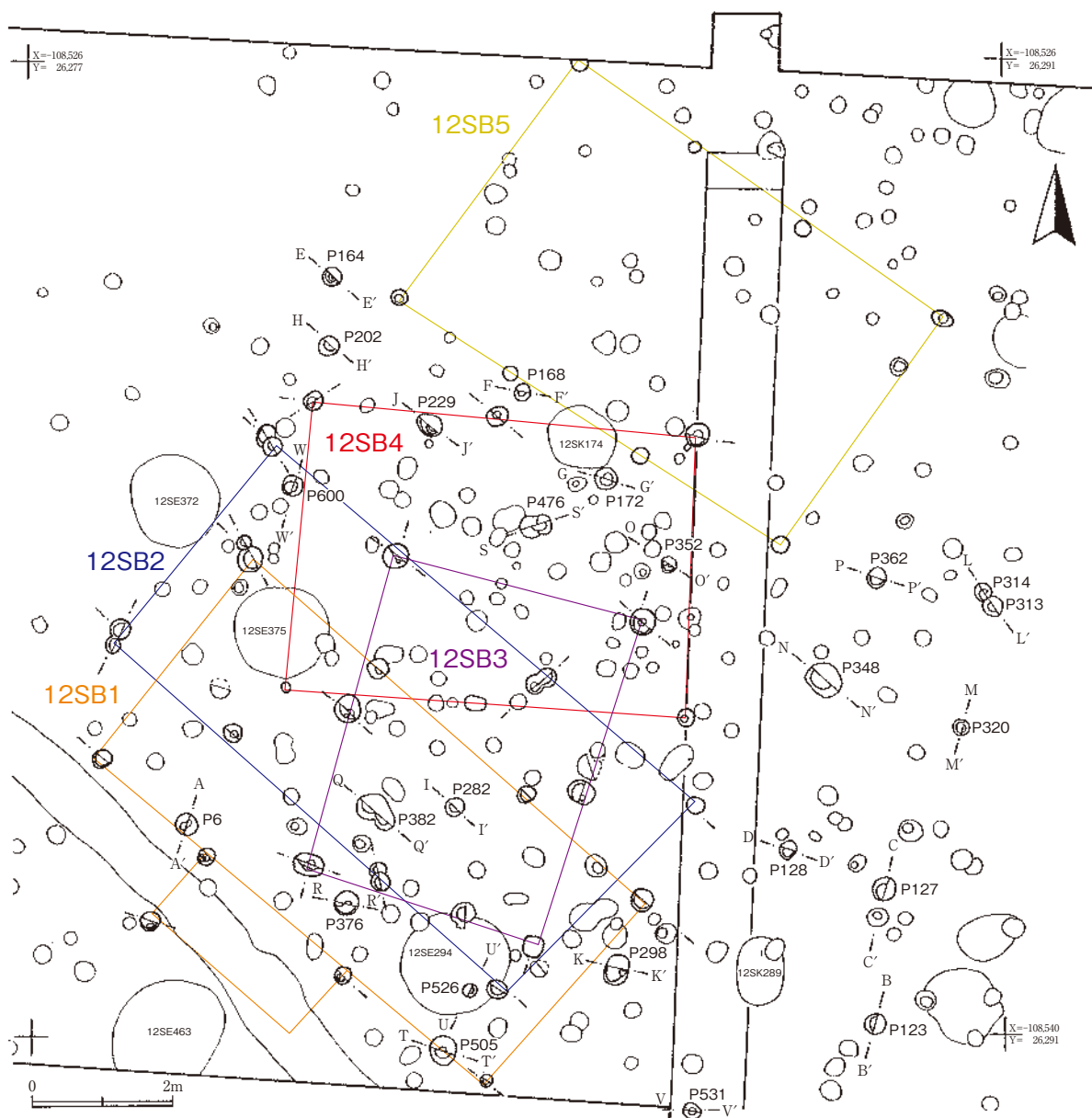
12SD2

1層 10YR3/2黒褐色土 褐色粘土ブロック0.5~1cm大少量 粘性有・しり強

12SD3

1層 10YR4/1褐灰色土 灰黄褐色土ブロック大少量 炭化物、焼土粒少量 礫含 粘性有・しり強
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒、褐色土ブロック0.5~1cm大少量 粘性やや強・しり強
3層 10YR3/4暗褐色土 炭化物極微量 褐色土ブロック1~3cm大少量 粘性やや強・しり強

第49図 12SK149・236・513・454・520・521・534・528・529、SD



第50図 12次 Pit (1)

12P6

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 褐色土ブロック0.5～2cm大少量 粘性やや有・しまり強
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 褐色土ブロック0.5～2cm大少量 粘性やや有・しまり強
3層 10YR3/3暗褐色土 粘性有・しまり強

12P123

- 1層 10YR3/2黒褐色土 焼土粒、炭化物極微量 褐色土ブロック0.5～3cm大上層に多量 粘性やや有・しまり強
2層 10YR3/2黒褐色土 粘性有・しまり強

12P127

- 1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物少量 粘性有 しまり強

12P128

- 1層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物、褐色土ブロック1cm大少量 粘性有 しまり強

12P164

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、焼土粒微量 褐色土ブロック1～3cm大少量 粘性有・しまり強
2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物微量 褐色土ブロック0.5～2cm大少量 粘性強・しまり強 柱痕
3層 10YR3/3暗褐色土 粘性強・しまり強 柱痕下層
4層 10YR3/3暗褐色土 粘性強・しまり強

12P168

注記忘れ

12P172

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.5～1cm大少量 粘性有・しまり強
2層 10YR4/3にぶい黄褐色土 褐色土ブロック1cm大少量 粘性有・しまり強

12P202

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物微量 褐色土ブロック1cm大少量 粘性有・しまり強

12P229

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物・焼土粒微量 粘性有・しまり強
2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物極微量 粘性有・しまり強
3層 10YR3/3暗褐色土 粘性有・しまり強

12P282

- 1層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物、焼土粒少量 褐色土ブロック1cm大少量 粘性有・しまり強

12P298

- a層 10YR3/2黒褐色土 炭化物少量 焼土粒微量 褐色土ブロック1cm大上層に多量 粘性有・しまり強
b1層 10YR4/4褐色土 粘性有・しまり強
b2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物微量 黄褐色土少量 粘性有・しまり強
b3層 10YR3/2黒褐色土 粘性やや強・しまり強

12P313

- 1層 10YR3/2黒褐色土 黄褐色土ブロック1cm大少量 粘性やや強・しまり強
2層 10YR4/3にぶい黄褐色土 粘性やや強・しまり強

12P314

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物多量 粘性有・しまり強
2層 10YR3/3暗褐色土 黄褐色土ブロック1cm大少量 粘性有・しまり強

12P320

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物多量 粘性有・しまり強
2層 10YR4/3にぶい黄褐色土 褐色土ブロック0.5～1cm大少量 粘性有・しまり強
3層 10YR4/3にぶい黄褐色土 粘性やや強・しまり強

12P348

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒極微量 褐色土ブロック0.5～3cm大少量 粘性やや有・しまり強
2層 10YR3/4暗褐色土 粘性有・しまり強

12P352

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物微量 褐色土ブロック0.5cm大少量 粘性有・しまり強

12P362

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒、褐色土ブロック0.5～2cm大少量 粘性有・しまり強

12P376

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.5～1cm大少量 褐色土ブロック1cm大少量 粘性有・しまり強
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物微量 褐色土ブロック0.5～1cm大少量 粘性有・しまり強
3層 10YR3/3暗褐色土 粘性やや強・しまり強

12P382

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物多量 焼土ブロック0.5～3cm大少量 粘性弱・しまり強
2層 10YR3/4暗褐色土 炭化物、焼土ブロック0.5cm大少量 粘性有・しまり強

12P476

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物・焼土粒極微量 礫 粘性有・しまり強
2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物・焼土粒極微量 粘性有・しまり強

12P505

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 礫2cm大微量 粘性有・しまり強
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 褐色土ブロック0.5～3cm大少量 粘性有・しまり強
3層 10YR3/2黒褐色土 粘性有・しまり強

12P526

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.2～2cm大少量 橙粒0.5cm大、褐色粒0.5cm大微量 粘性有・しまり強

12P531

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 粘性やや有・しまり強
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 粘性有・しまり強

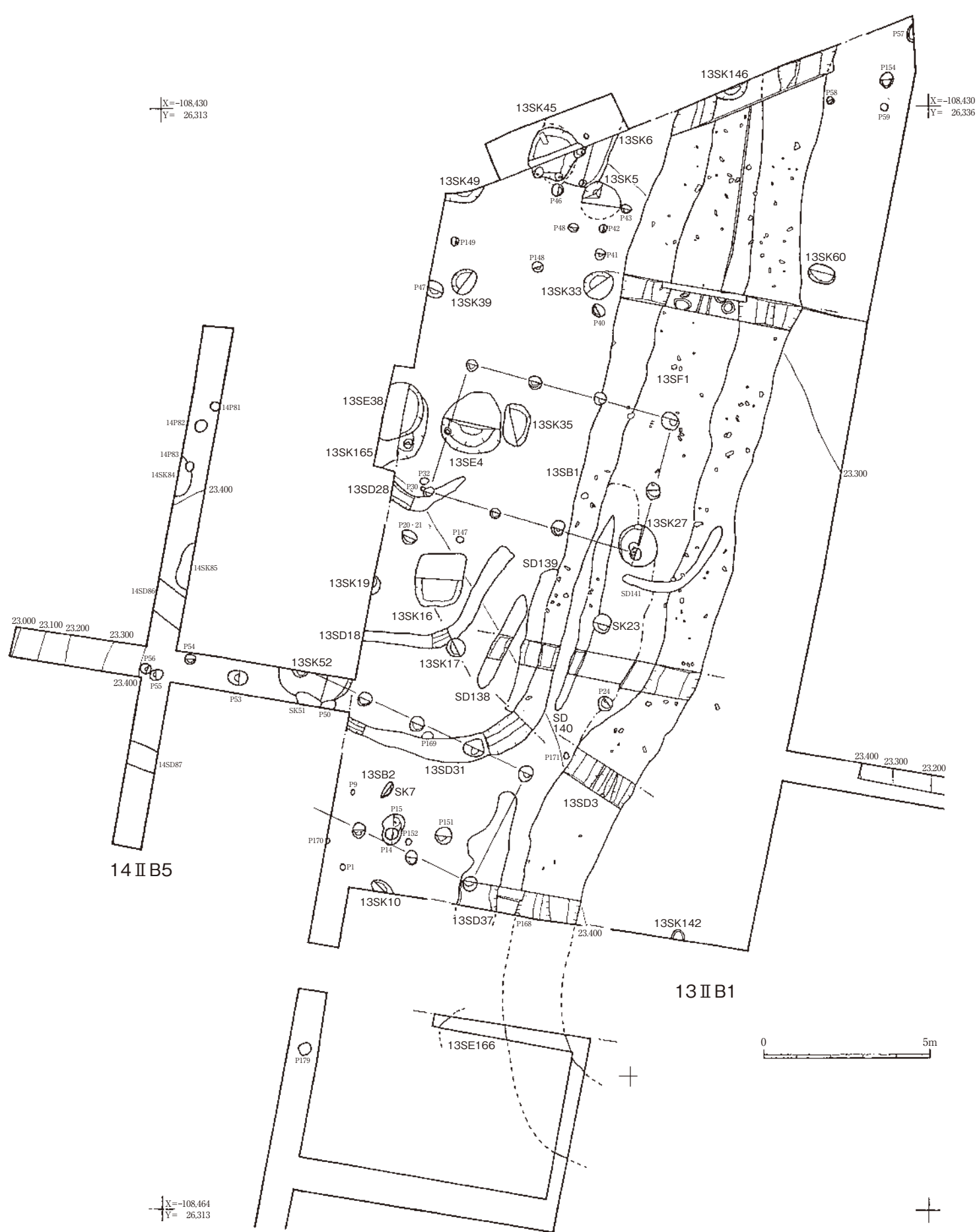
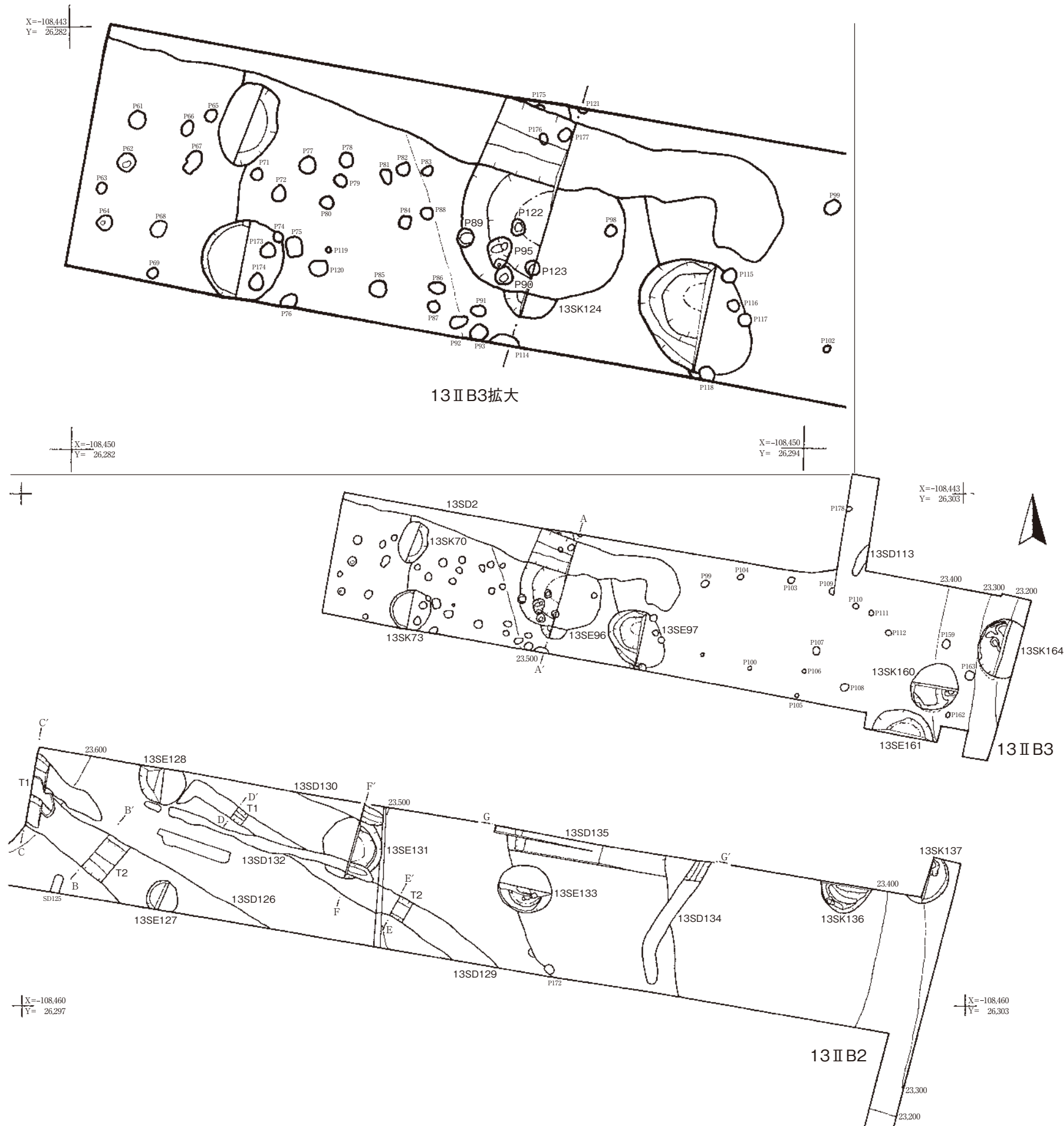
12P600

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、焼土粒微量 粘性有・しまり強
2層 10YR3/3暗褐色土 褐色土ブロック0.5cm大少量 粘性有・しまり強

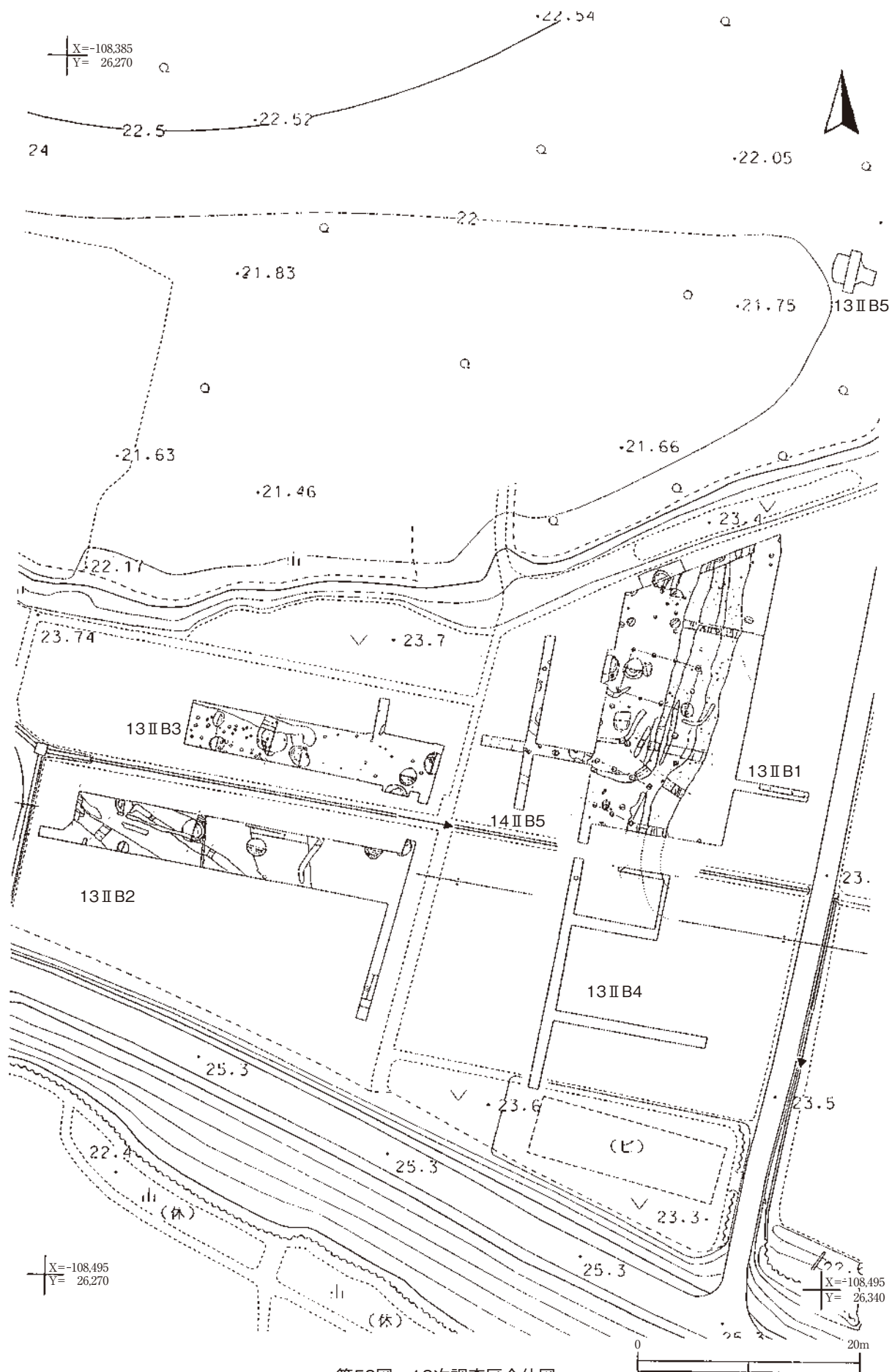
第51図 12次 Pit (2)

第5表 12次調査 調査柱穴一覧表

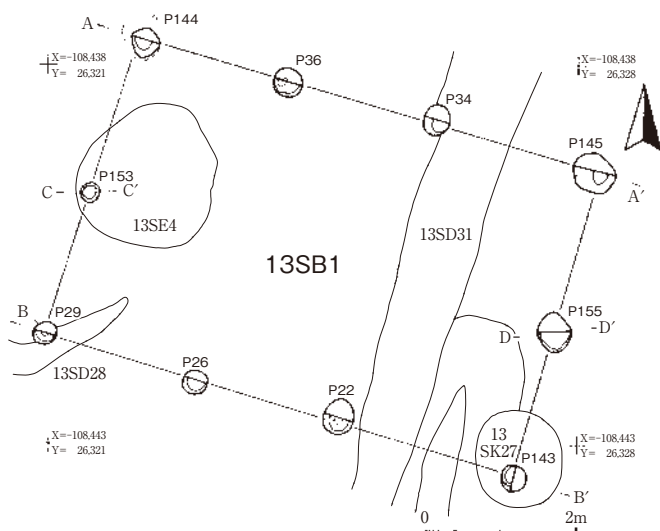
遺構名	区	位置	性格	調査	重複	長さ	幅	深さ	平面形	出土遺物
12P6	12ⅡB1	南	柱穴	半裁		0.33	0.32	0.43	円形	鉄製品
12P123	12ⅡB1	南東	柱穴	半裁		0.3	0.29	0.26	円形	
12P127	12ⅡB1	南東	土坑	半裁		0.34	0.32	0.38	円形	手づくねかわらけ2、土粗いかわらけ1、弥生1
12P128	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.28	0.25	0.30	円形	
12P164	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.27	0.25	0.25	円形	
12P168	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.27	0.2	0.29	円形	
12P172	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.34	0.32	0.28	円形	
12P202	12ⅡB1	中央	柱穴状	半裁		0.29	0.26	0.13	円形	
12P229	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.39	0.3	0.32	楕円形	
12P282	12ⅡB1	中央	柱穴状	半裁		0.27	0.25	0.29	円形	
12P296	12ⅡB1	中央	柱穴ヵ	半裁	12SE294→12P296	0.35	0.31		円形	
12P298	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.45	0.37	0.32		
12P313	12ⅡB1	中央	柱穴状	半裁	12P314→12P313	0.29	0.28	0.32	円形	
12P314	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁	12P314→12P313	0.30～	0.24	0.15	楕円形	
12P320	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.25	0.23	0.38	円形	
12P341	12ⅡB1	北	柱穴ヵ	半裁	12P340→12P341	0.4	0.35		円形	
12P348	12ⅡB1	中央	土坑ヵ	半裁		0.53	0.47	0.33	円形	手づくねかわらけ1
12P352	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.26	0.25	0.17	円形	12c以降ロクロかわらけ1
12P362	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.29	0.28	0.41	円形	手づくねかわらけ1、12c以降ロクロかわらけ1
12P376	12ⅡB1	南	柱穴	半裁		0.35	0.33	0.48	円形	
12P382	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.61	0.25	0.33	楕円形	
12P411	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁	12SB1-P412→12P411	0.21	0.2	0.16	円形	
12P476	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.48	0.26	0.30	楕円形	
12P505	12ⅡB1	南	柱穴	半裁		0.42	0.39	0.32	円形	
12P526	12ⅡB1	南	柱穴	半裁	12SE294→12P526	0.19	0.19	0.25	円形	
12P527	12ⅡB1	東	柱穴	半裁		0.3	0.28	0.48	円形	
12P531	12ⅡB1	南	柱穴	半裁		0.24	0.23	0.38	円形	
12P559	12ⅡB1	南東	柱穴状	半裁	12SH145→12SK48→12P559	0.2	0.19	0.09	円形	
12P570	12ⅡB1	南	柱穴状	半裁		0.45	0.28～	0.35	楕円形	
12P571	12ⅡB1	東	柱穴	一部	12P571→12SE4	0.16	0.15	0.45	円形	
12P572	12ⅡB1	東	柱穴状	半裁	12SK15→12P572	0.34	0.3	0.35	円形	
12P600	12ⅡB1	中央	柱穴	半裁		0.32	0.3	0.22	円形	



第52図 13次遺構全体図

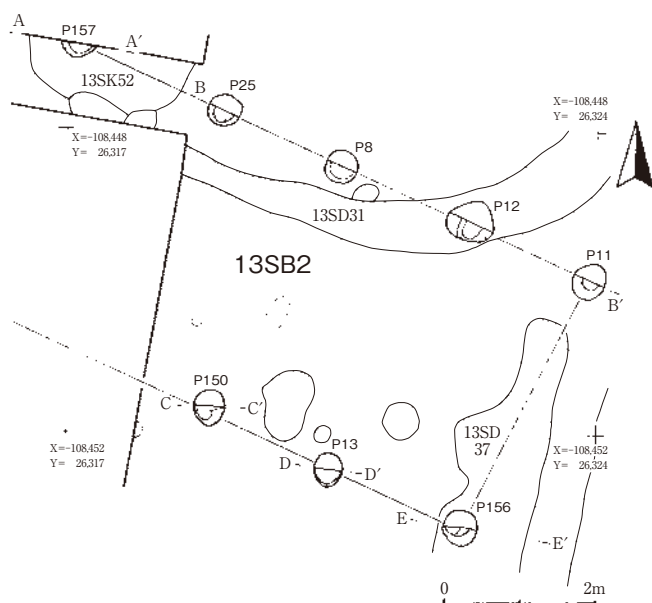
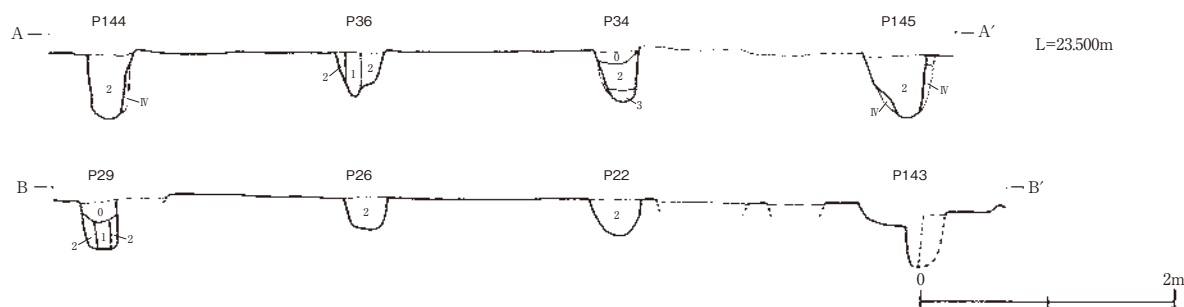
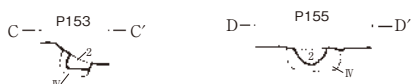


第53図 13次調査区全体図



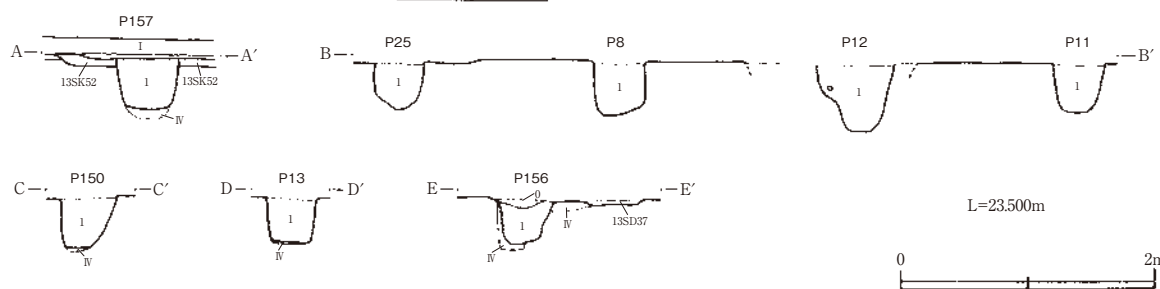
13SB1

- 0層 10YR3/3暗褐色土 褐色土ブロック0.5~2cm大少量 しまり強・粘性有
- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5cm大極微量 褐色土ブロック1cm大少量 しまり強・粘性有 柱痕
- 2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.2~0.5cm大極微量 褐色土ブロック0.5~3cm大 多量 しまり強・粘性有 柱据え方
- 3層 10YR3/4暗褐色土 炭化物、明黄褐色土ブロック2cm大極微量 しまりやや強・粘性有

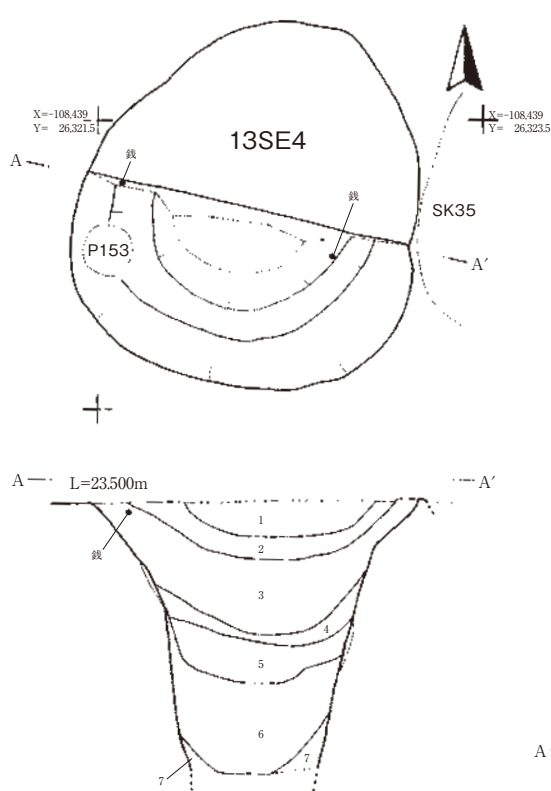


13SB2

- 1-1層 水田土
- 1-2層 水田基盤土
- 0層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 赤褐色土ブロック0.2cm大微量 褐色土ブロック下層に入る しまりやや強・粘性有
- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5cm大、焼土粒微量 地山ブロック3cm大多量 しまり強・粘性やや有 埋め戻し土



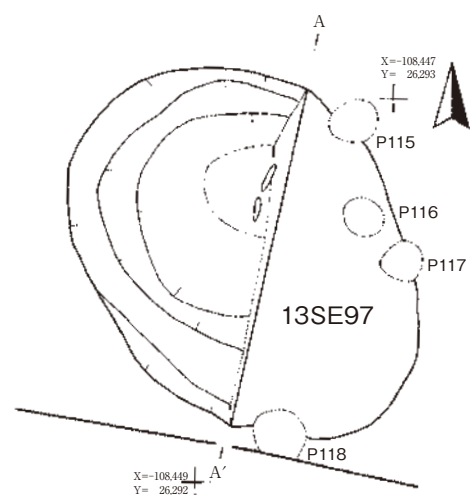
第54図 13SB1・2



13SE4

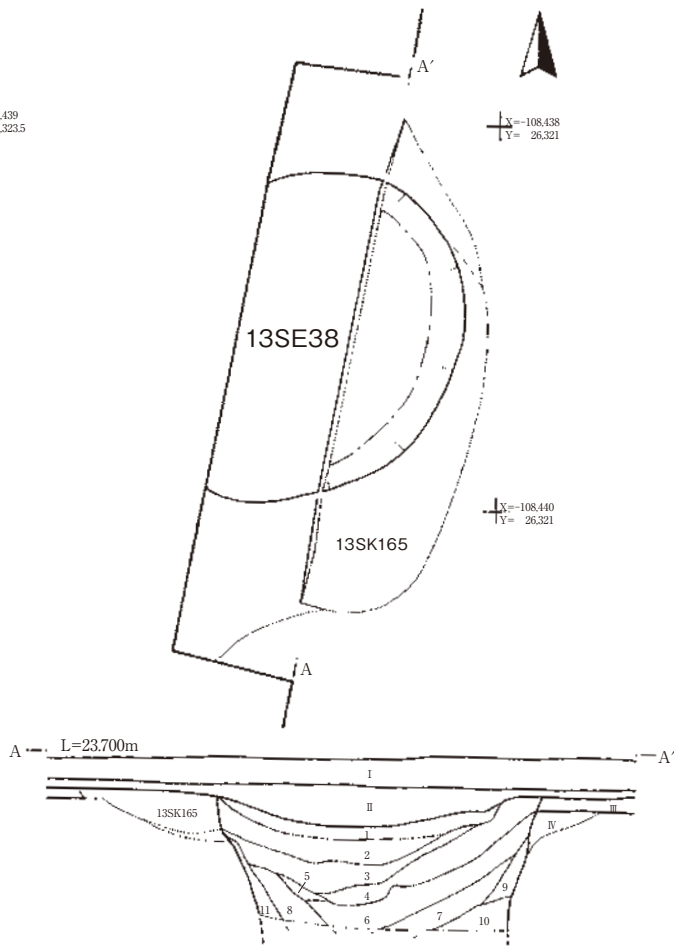
- 1層 10YR3/2黒褐色土 シルト質土 炭化物0.5~1cm大少量 焼土粒子微量 灰状のもの含む しまりやや有・粘性弱
- 2層 10YR4/2灰黄褐色土 シルト質土 炭化物0.5~1cm大、焼土粒子微量 白色粘土粒1cm大少量 しまり有・粘性有
- 3層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物微量 地山ブロック1~5cm大少量 しまり強・粘性やや有 崩落土
- 4層 10YR4/3にぶい黄褐色土 3層と同じだが、白色粘土ブロック多く含む 炭化物微量 しまり強・粘性やや有 崩落土
- 5層 10YR2/3黒褐色土 地山ブロック径5.0cm大少量 暗褐色土ブロック含む しまりやや弱・粘性やや有
- 6層 10YR4/4褐色土 地山ブロック主体 炭化物極微量 黒色土ブロック1cm大少量 しまり弱・粘性有
- 7層 10YR4/4褐色土 6層と同じだが、褐色土少ない 炭化物極微量 しまり6層より強・粘性有

1~7層 自然堆積土



13SE97

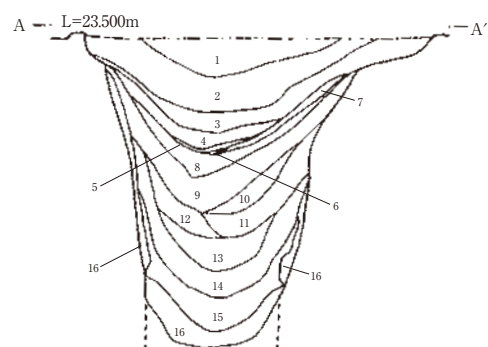
- 1層 10YR2/3黒褐色土 炭化物、焼土粒少量 しまり強・粘性弱
- 2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒0.5cm大が1層より多い 地山ブロック少量 しまり強・粘性弱
- 3層 10YR4/4褐色土 地山ブロック主体 炭化物、焼土粒微量 しまり強・粘性やや有
- 4層 10YR2/2黒褐色土 粉状の灰主体 焼土粒2cm大少量 しまり弱・粘性やや有
- 5層 25YR4/4にぶい赤褐色土 焼土ブロック主体 下の方が黒っぽい しまり強・粘性弱
- 6層 10YR2/2黒褐色土 4層とほぼ同じ
- 7層 10YR4/4褐色土 3層とほぼ同じ
- 8層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒、地山粒少量 窪んだ所に焼土ブロックと粉状の灰 しまりやや弱・粘性やや有



13SE38

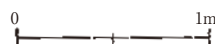
- I層 水田土、II層 洪水堆積土、III層 地山
- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物微量 褐色土ブロック0.5~2cm大少量 赤褐色土ブロック0.5cm大極微量 しまり強・粘性弱
- 2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.3~1cm大微量 褐色土ブロック0.5cm大少量 赤褐色土粒極微量 しまり強・粘性やや有
- 3層 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.3~1cm大少量 褐色土ブロック0.2~2cm大少量 しまり強・粘性やや有
- 4層 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.5~1cm大少量 褐色土ブロック1~7cm大少量 赤褐色土ブロック0.5cm大極微量 しまり強・粘性やや有
- 5層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 しまり強・粘性やや有
- 6層 10YR3/2黒褐色土 炭層 赤褐色土、褐色土ブロック1.0~5cm大少量 しまり弱・粘性やや有
- 7層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5~1cm大、褐色土ブロック0.5~1cm大微量 しまり弱・粘性やや有
- 8層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、地山ブロック0.5cm大、赤褐色土ブロック微量 しまり強・粘性やや有
- 9層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 地山ブロック5cm大少量 砂質土 しまり弱・粘性やや有
- 10層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 地山ブロック0.5~2cm大少量 砂質土 しまり弱・粘性やや有
- 11層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 地山ブロック0.5~2cm大少量 しまりやや強・粘性やや有

1~11層 自然堆積土

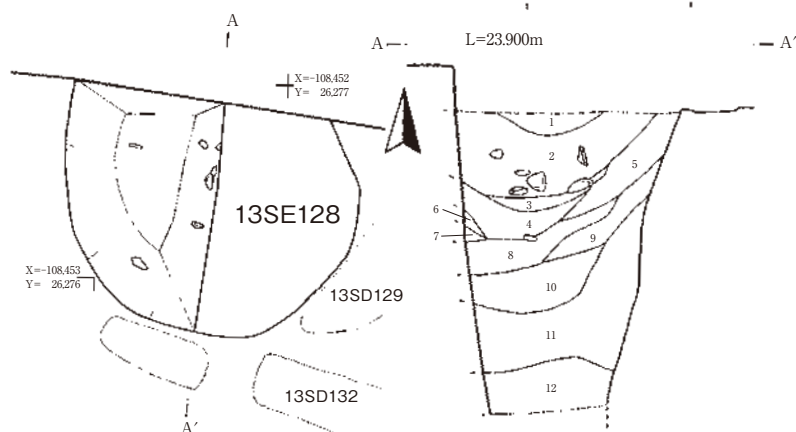
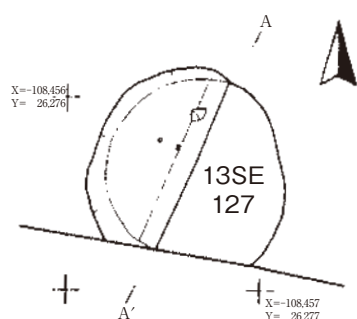
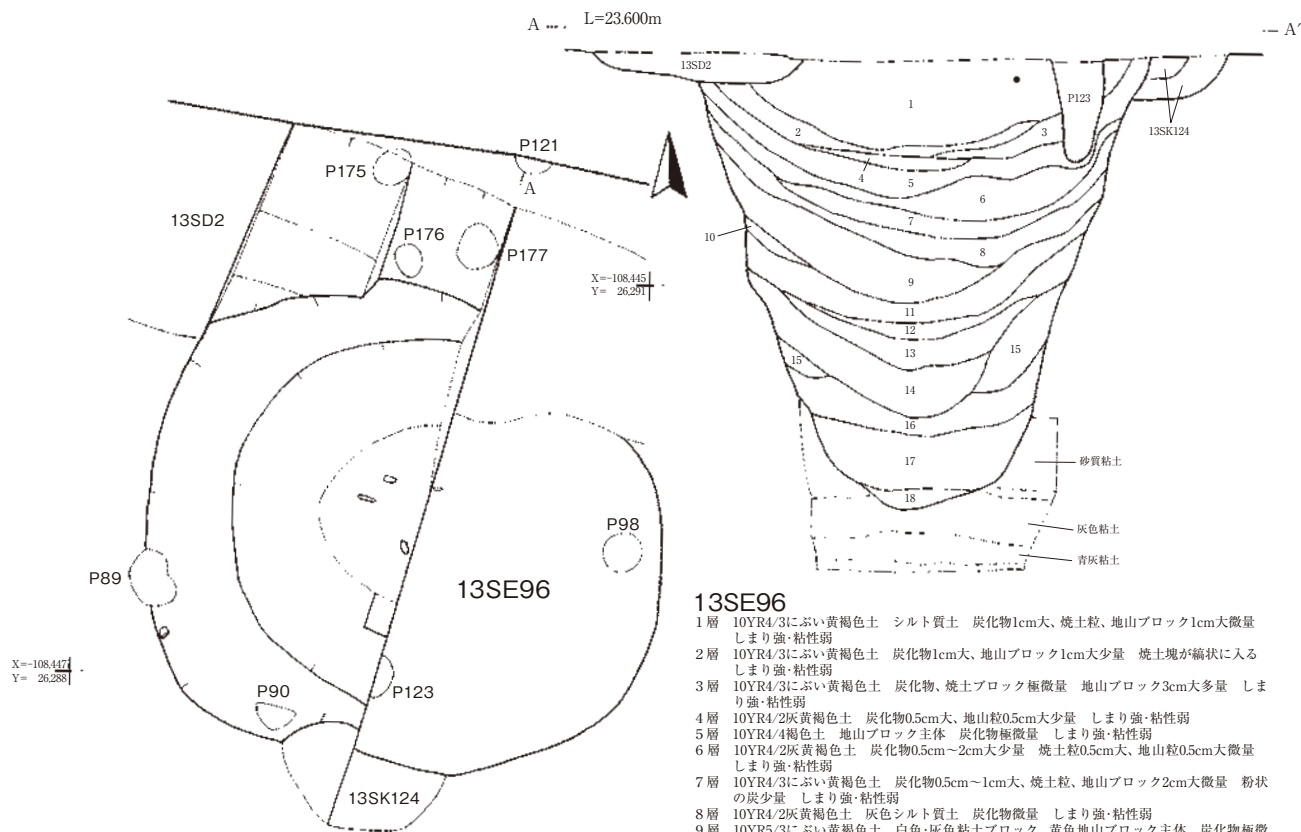


- 9層 10YR4/4褐色土 炭化物、焼土粒極微量 黒色土ブロック微量 しまり強・粘性やや有
- 10層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物、焼土粒極微量 しまり強・粘性弱
- 11層 10YR4/4褐色土 9層とほぼ同じだが、白色粘土ブロック含む
- 12層 10YR4/3にぶい黄褐色土 10層とほぼ同じ
- 13層 10YR4/3にぶい黄褐色土 12層とほぼ同じだが、白色粘土ブロック少量含む
- 14層 10YR4/4褐色土 炭化物極微量 白色粘土ブロック少量 しまり弱・粘性強
- 15層 10YR3/2黒褐色土 炭化物1cm大、地山粒少量 焼土粒微量 しまり弱・粘性やや有
- 16層 10YR4/4褐色土 地山ブロック主体 黒色粘土ブロック少量 しまりやや有・粘性強

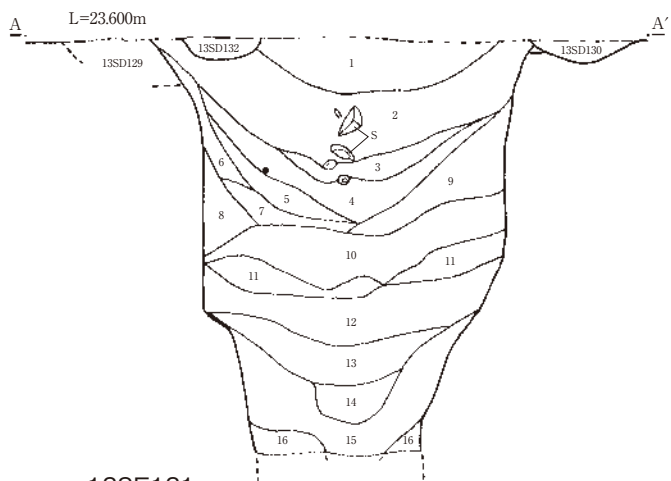
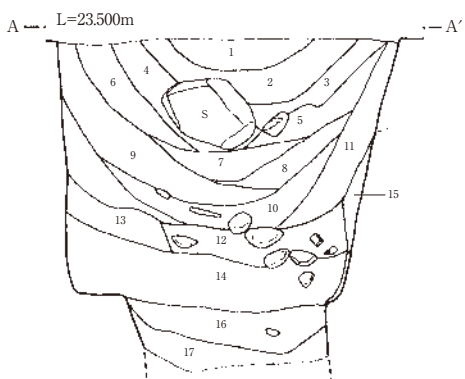
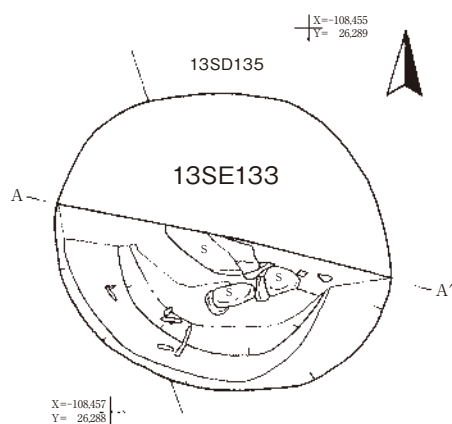
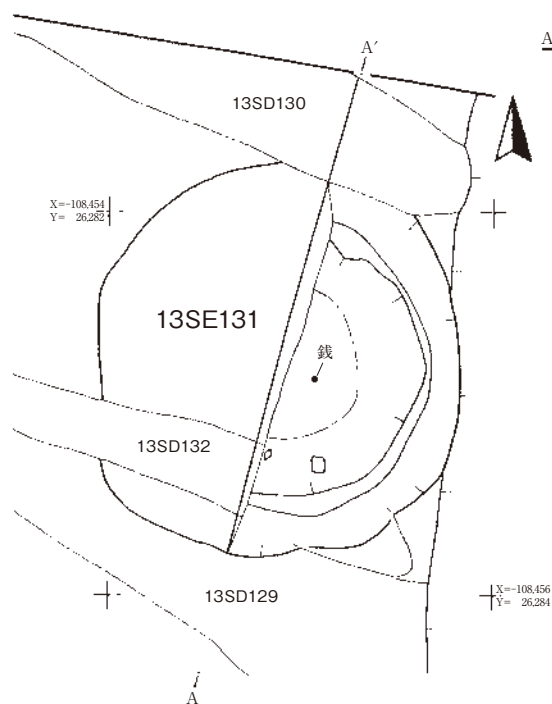
1~9層・16層は自然堆積土、それ以外は人為堆積土



第55図 13SE4・38・97



第56図 13SE96・127・128

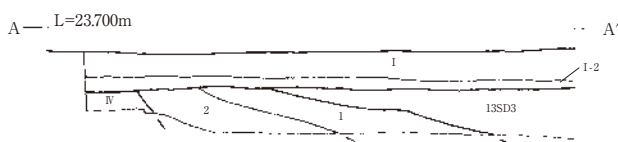
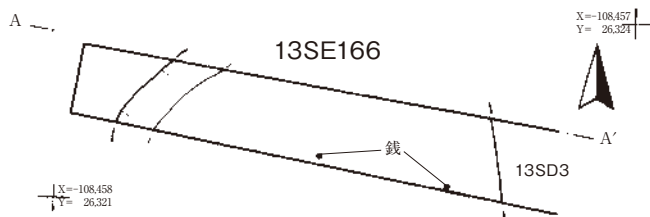


13SE131

- 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒少量 地山粒微量 しまり強・粘性弱
- 2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒、地山ブロック1cm大少量 礫10cm大微量 しまり強・粘性弱
- 3層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、焼土粒、地山ブロック1cm大微量 しまり強・粘性やや有
- 4層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物、焼土粒微量 地山ブロック2cm大少量 白色粘土ブロック少量 しまりやや弱・粘性やや有
- 5層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、焼土粒1cm大、地山ブロック1cm大少量 しまりやや弱・粘性やや有
- 6層 10YR4/6褐色土 地山主体 炭化物極微量 黒色土微量 しまり強・粘性やや有
- 7層 10YR4/4褐色土 炭化物極微量 灰色粘土ブロック、地山ブロック各50% しまり弱・粘性強
- 8層 10YR4/6褐色土 6層とほぼ同じ
- 9層 10YR4/4褐色土 地山主体 炭化物極微量 黒色土少量 しまり強・粘性弱
- 10層 10YR4/4褐色土 7層とほぼ同じだが、炭化物がやや多い
- 11層 10YR4/6褐色土 地山主体 黒色土微量 しまり弱・粘性強
- 12層 10YR4/6褐色土 地山ブロック主体 灰色粘土ブロック30% 白色粘土ブロック10% しまり弱・粘性強
- 13層 10YR4/1褐灰色土 灰色粘土主体 炭化物微量 しまり弱・粘性強
- 14層 2.5Y4/2暗灰黄色土 灰色粘土主体 炭化物極微量 しまり弱・粘性強
- 15層 10YR4/1褐灰色土 褐色砂質粘土主体 炭化物極微量 しまり弱・粘性強
- 16層 10YR6/1褐灰色土 白色粘土主体 鉄分多い しまり弱・粘性強
- 1~16層 自然堆積土

13SE133

- 1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、焼土粒、地山粒微量 しまり強・粘性強
- 2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物多量 焼土粒、地山ブロック1cm大微量 しまり弱・粘性有
- 3層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、焼土粒微量 地山ブロック少量 しまり強・粘性弱
- 4層 10YR4/3にぶい黄褐色土 5層とほぼ同じ
- 5層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物、焼土粒極微量 地山ブロック微量 しまり強・粘性弱
- 6層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物、焼土粒極微量 地山ブロック少量 しまり強・粘性弱
- 7層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物極微量 地山粘土ブロック極少量 しまり強・粘性やや有
- 8層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物極微量 地山ブロック少量 鉄分含む しまり強・粘性強
- 9層 10YR4/4褐色土 地山主体 炭化物極微量 黒い土が層状に入る しまり強・粘性強
- 10層 10YR4/2灰黄褐色土 灰色粘土主体 炭化物極微量 15cm大の礫少量 鉄分多い しまり強・粘性強
- 11層 10YR4/4褐色土 地山主体 灰色の土層状に入る しまり強・粘性強
- 12層 10YR4/2灰黄褐色土 10層とほぼ同じだが、礫が多い
- 13層 10YR4/4褐色土 11層とほぼ同じだが、灰色土が多い
- 14層 10YR4/4褐色土 13層とほぼ同じ 炭化物極微量 鉄分多い しまり弱・粘性強
- 15層 10YR4/4褐色土 地山主体 しまり強・粘性強
- 16層 10YR4/2灰黄褐色土 10層とほぼ同じ 炭化物極微量 礫含む しまり弱・粘性強
- 17層 10YR5/3にぶい黄褐色土 白色粘土主体 下層グライ化 しまり弱・粘性強
- 1・2・15層は自然堆積土、それ以外は人為堆積土

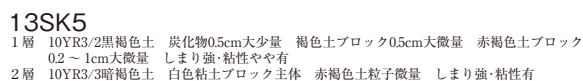
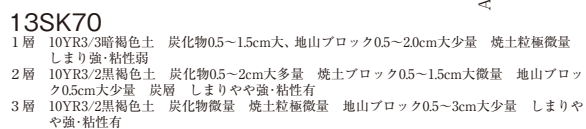
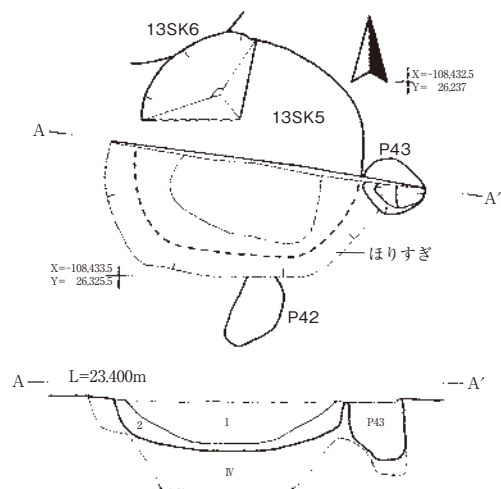
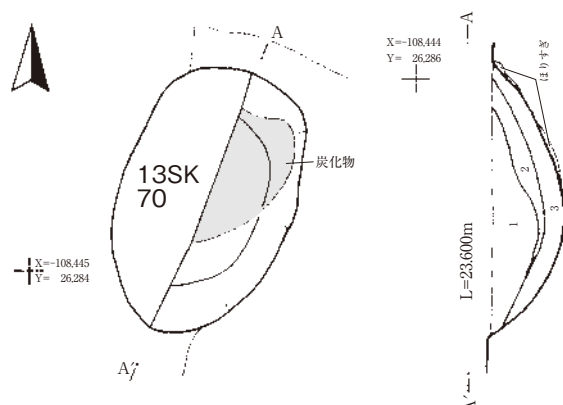
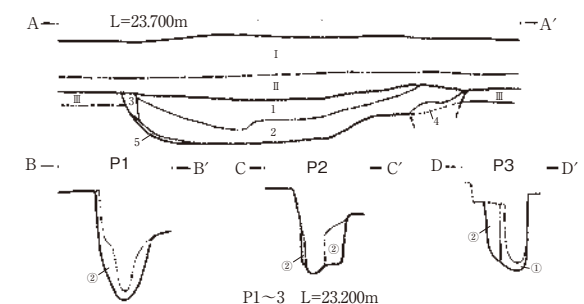
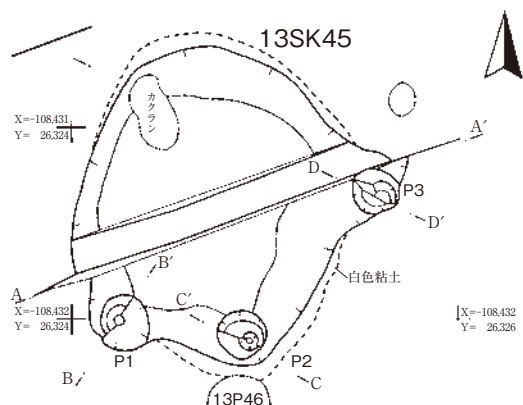
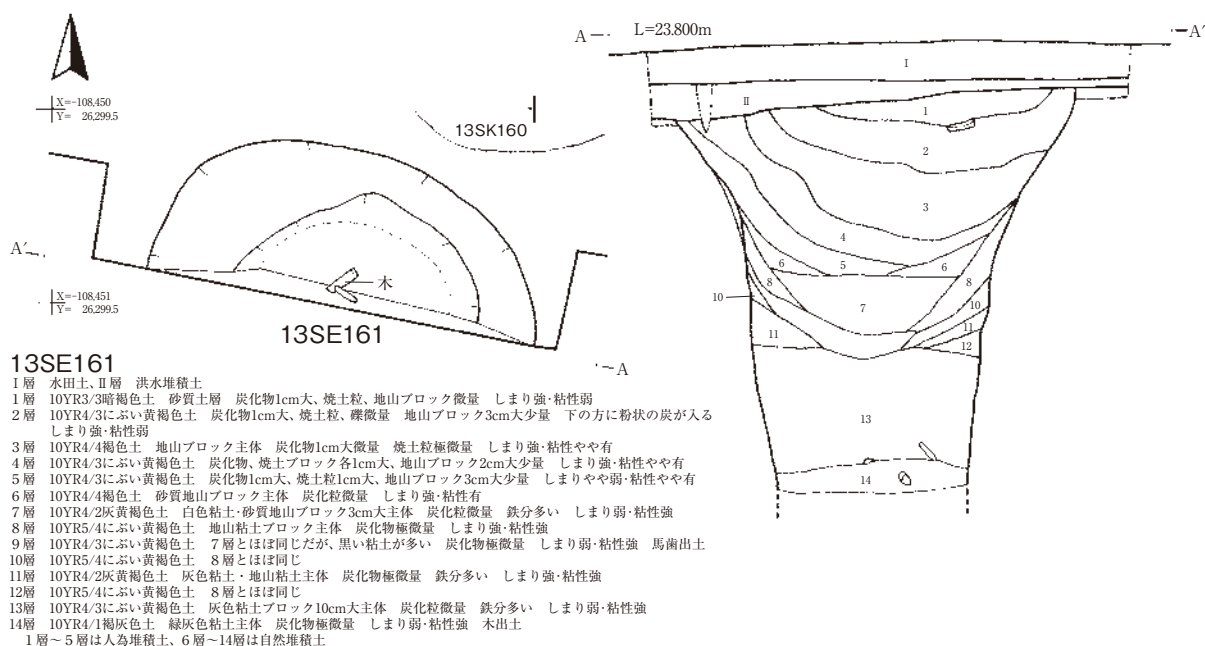


13SE166

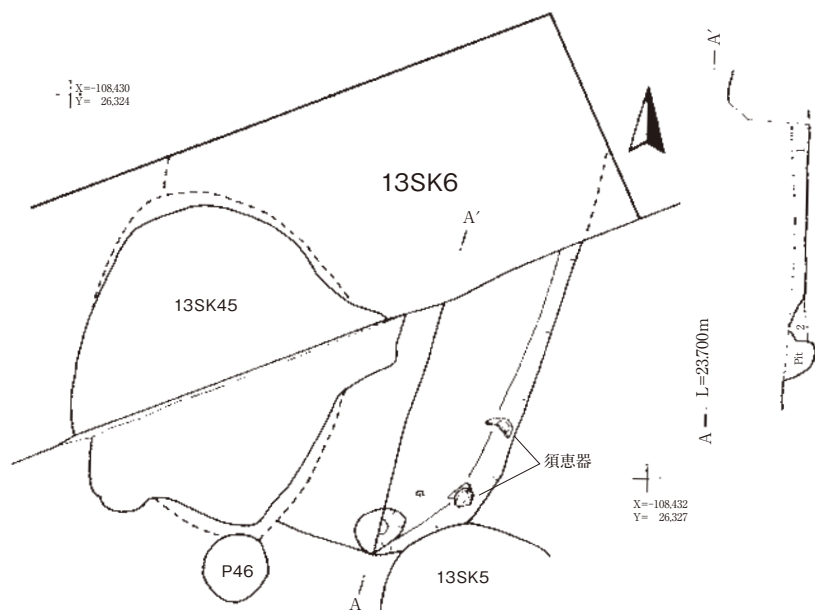
- 1-1層 水田土、I-2層 水田基盤土、IV層 地山
- 1層 10YR2/1黒色土 炭化物2cm大少量 焼土粒微量 地山ブロック、上の方と下の方に少量 しまり強・粘性やや有
- 2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物1cm大少量 焼土粒1cm大少量 地山ブロック1~2cm大少量 銭出土層 しまり強・粘性やや有

第57図 13SE131・133・166



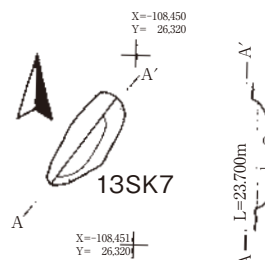


第58図 13SE161、SK45・70・5



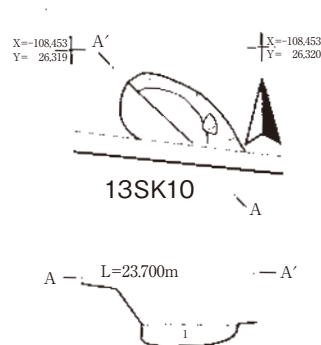
13SK6

P 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5~2cm大微量 褐色土
ブロック0.5~5cm大少量 しまり強・粘性弱
1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 褐色土ブロッ
ク0.5~2cm大少量 しまり強・粘性有
2層 10YR3/4暗褐色土 地山ブロック主体 しまり強・
粘性弱



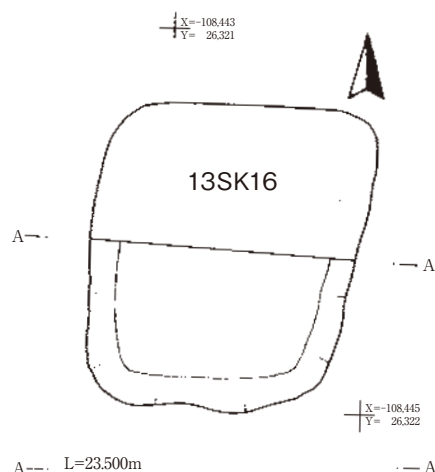
13SK7

1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物微量 地山ブロック0.5
~2cm大少量 赤褐色土粒子極微量 灰色粘土ブ
ロック含む しまりやや強・粘性



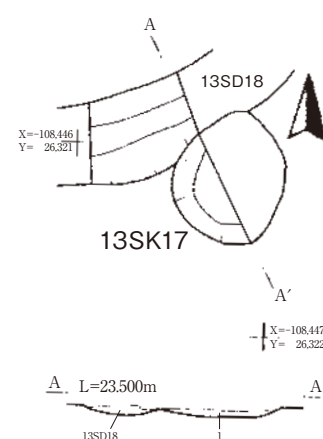
13SK10

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 地山ブロック
0.5~2cm大少量 しまり強・粘性やや有



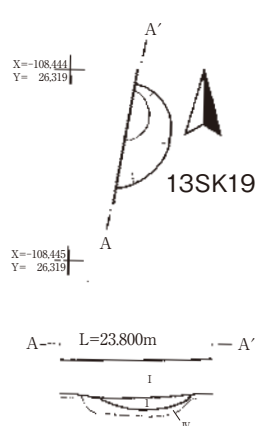
13SK16

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.3~1.0cm大少 赤褐色
土ブロック0.3cm大極微量 灰色粘土ブロック少し
含む しまり強・粘性やや有



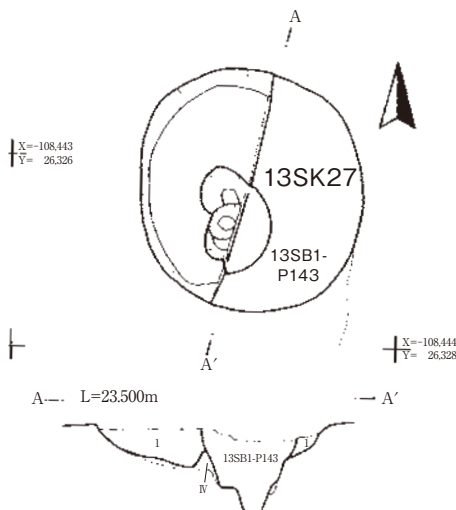
13SK17

1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物極微量 赤褐色土粒子
極微量 地山ブロック0.5~2cm大少量 しまり強・
粘性やや有



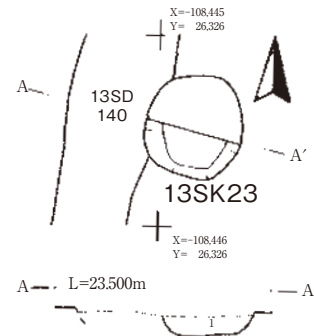
13SK19

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 地山ブロック
0.5~2cm大少量 しまり強・粘性やや有



13SK27

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5cm大少量 褐色土ブ
ロック0.2~3cm大少量 しまり強・粘性やや有

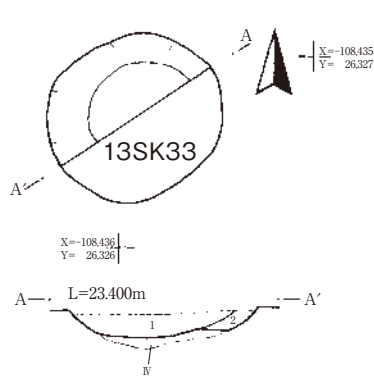


13SK23

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 しまり強・粘性
弱

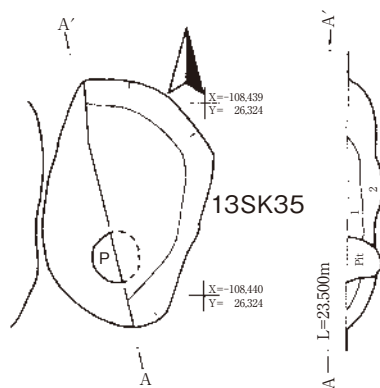
第59図 13SK6・7・10・16・17・19・27・23





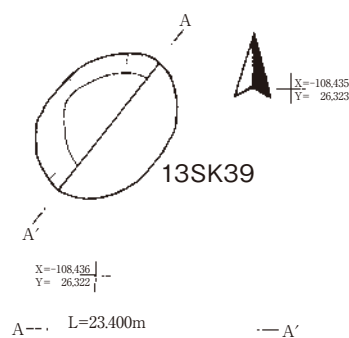
13SK33

1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物微量 褐色土ブロック0.5~3cm大少量 赤褐色土粒子微量 しまり強・粘性弱
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 しまり強・粘性弱



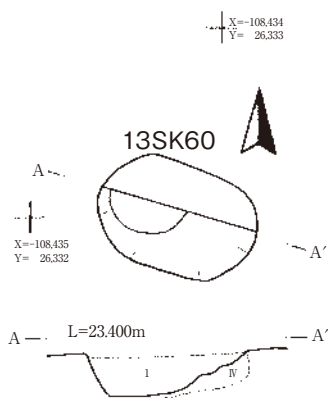
13SK35

Pit 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.3~1cm大少量 褐色土ブロック0.5~1cm大下層に多く混じる 赤褐色土粒子微量 しまりやや弱・粘性有 柱穴か？
1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.2~1cm大微量 褐色土ブロック0.5~3cm大少量 しまり強・粘性有
2層 10YR3/3暗褐色土 赤褐色土ブロック1~3cm大極微量 灰白色粘土ブロック3cm大縦長に混じる 地山ブロック多量 しまりやや強・粘性有



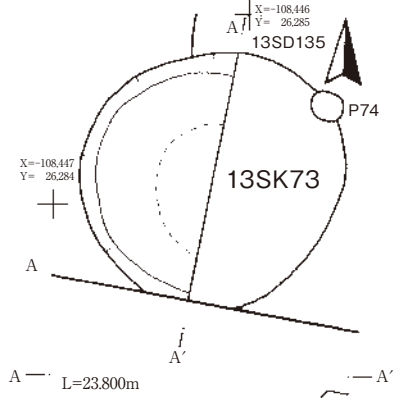
13SK39

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 地山ブロックマーブル状に入る しまりやや強・粘性有



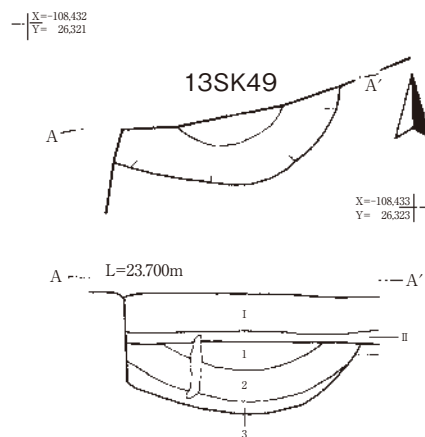
13SK60

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物微量 地山ブロック0.5~2cm大少量 しまりやや強・粘性有



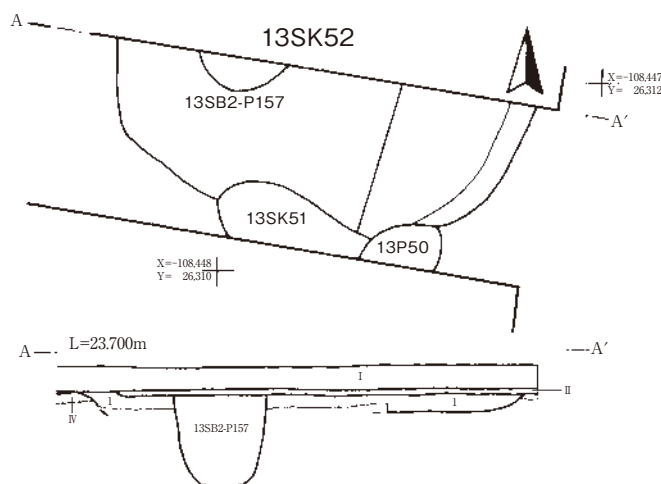
13SK73

1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物1cm大微量 焼土粒少量 地山粒子多量 しまり強・粘性弱
2層 10YR4/4褐色土 褐色土主体 焼土粒少量 しまり強・粘性強 掘りすぎかも？



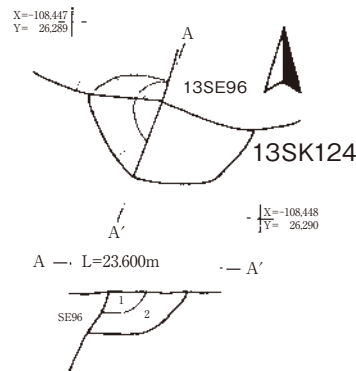
13SK49

I層 水田土、II層 洪水堆積土
1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5cm大極微量 褐色土ブロック0.2~0.5cm大極微量 橙色土ブロック0.2~0.5cm大極微量 しまり強・粘性やや有
2層 10YR3/4暗褐色土 炭化物0.5cm大少量 褐色土ブロック0.2~0.5cm大極微量 しまり強・粘性やや有
3層 10YR2/3黒褐色土 炭化物0.2~1cm大少量 地山ブロック0.5~2cm大多量 しまりやや強・粘性有



13SK52

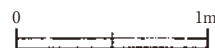
1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物少量 地山粒少量 しまり強・粘性有

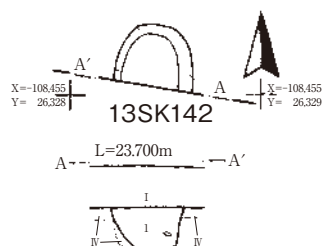


13SK124

1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物・焼土粒0.5cm大極微量 地山ブロック0.5~3cm大多量 しまり強・粘性やや有
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 地山ブロック0.5cm大極微量 しまり強・粘性やや有

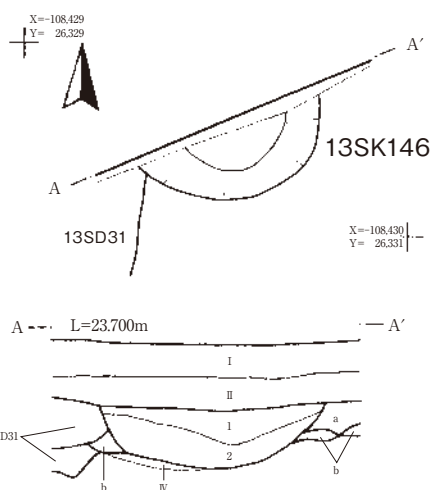
第60図 13SK33・35・39・60・73・49・52・124





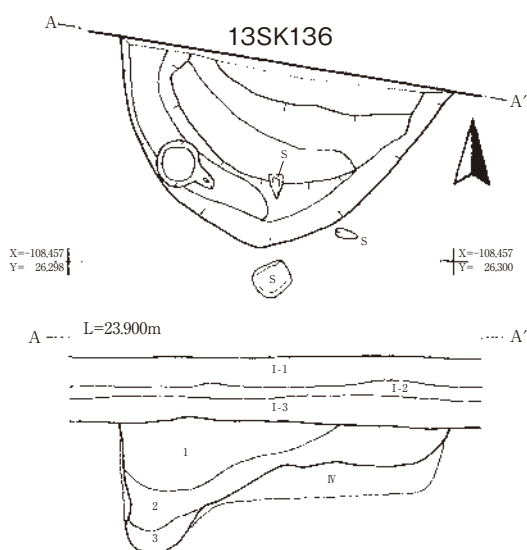
13SK142

1層 10YR3/3暗褐色土 地山ブロック0.5～2cm大少量
しまりやや強・粘性有



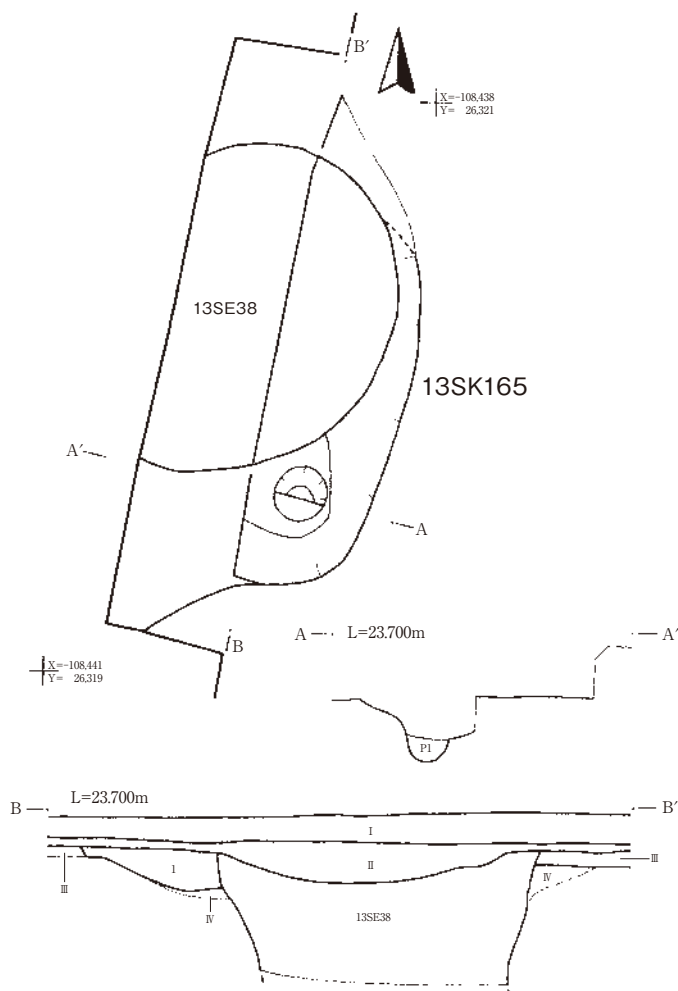
13SK146

1層 水田土、II層 洪水堆積土、a・b層 13SF1
1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.2～0.5cm大極微量 褐色土ブロック0.5～1cm
大少量 しまり強・粘性弱
2層 10YR3/4暗褐色土 炭化物0.5～2cm大極少量 褐色土ブロック0.5～1cm
大少量 しまり強・粘性やや有



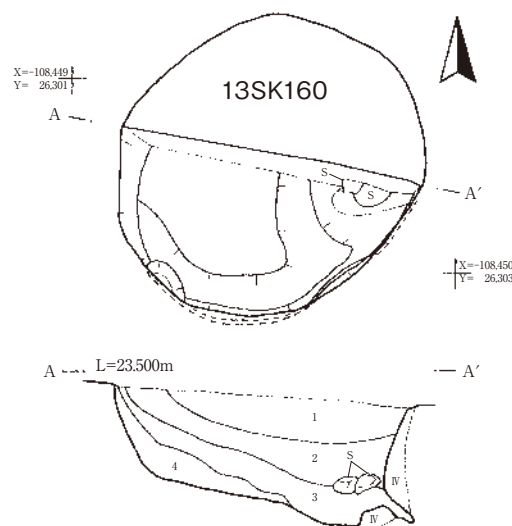
13SK136

I-1層 水田土、I-2層 水田基盤土、I-3層 旧水田土
1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5～2cm大少量 焼土粒微量 地山ブロック0.5～3cm大少量
しまり強・粘性弱
2層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物少量 焼土ブロック少量 地山ブロック少量 しまり
強・粘性有
3層 10YR4/3にぶい黄褐色土 炭化物極微量 地山ブロック多量 鉄いまい土極微量 しま
りやや強・粘性有
IV層 10YR4/4褐色土 炭化物極微量 焼土粒極微量 にぶい黄褐色土ブロック1～3cm大微量
しまり強・粘性有



13SK165

1層 水田土、II層 洪水堆積土、III層 地山
1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物微量 地山ブロック2cm大少量 赤褐色粒極微量 しまり強・
粘性弱

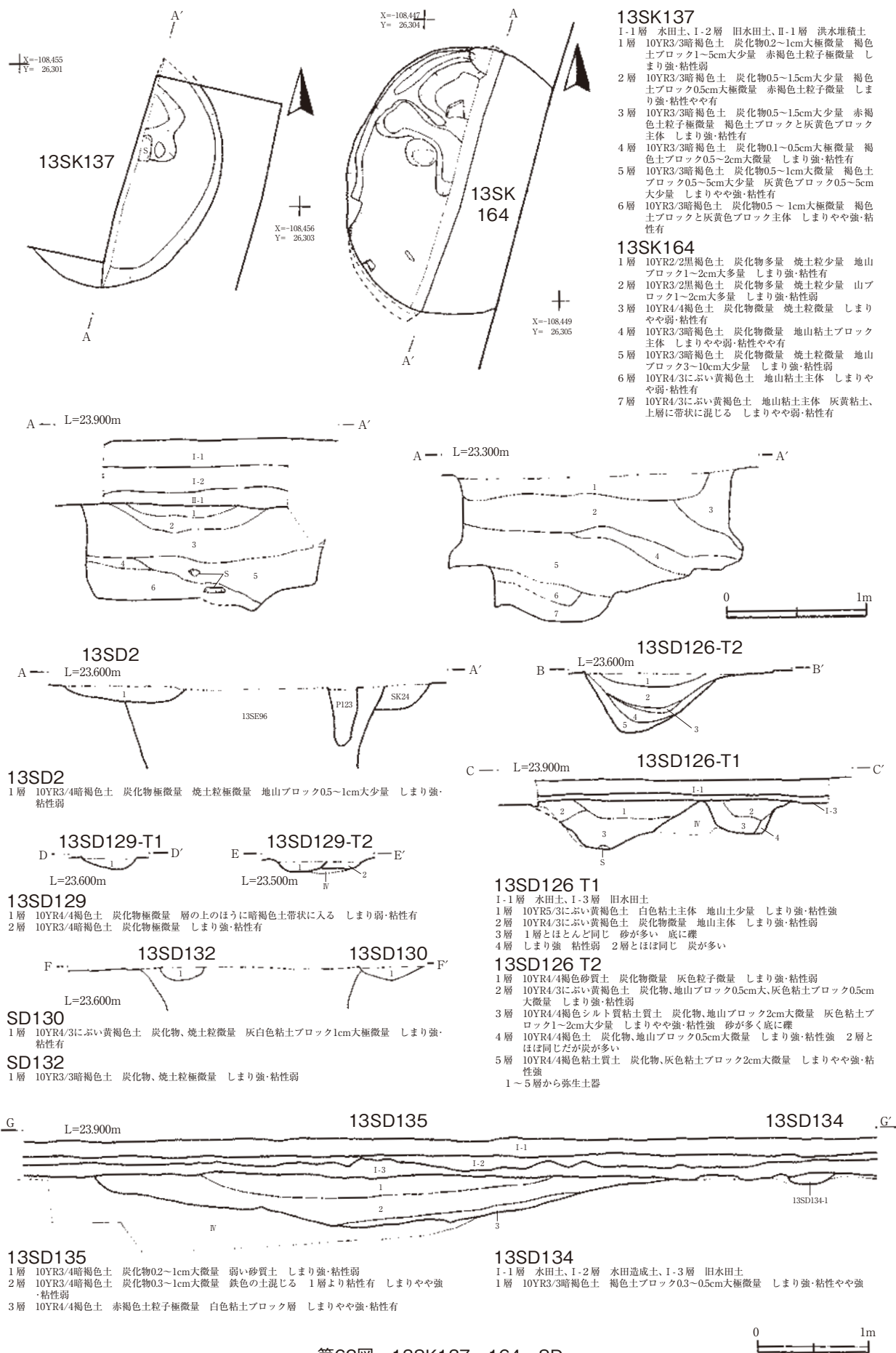


13SK160

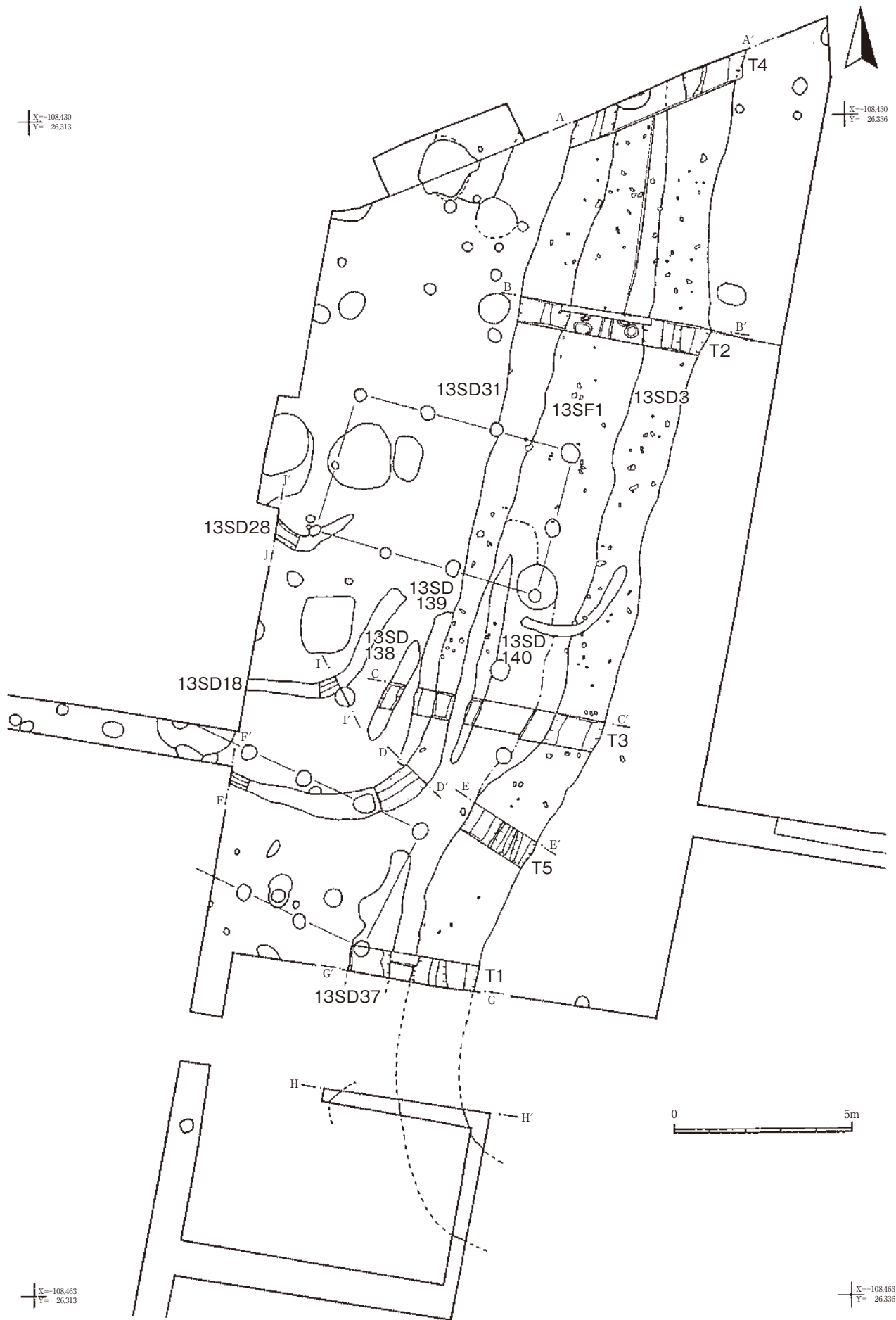
1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物少量 焼土粒少量 地山ブロック0.5～3cm大少量 しまり強・
粘性やや有
2層 10YR3/2黒褐色土 炭化物少量 焼土粒少量 地山ブロック0.5～3cm大少量 しまりや
や強・粘性やや有
3層 10YR3/3暗褐色土 炭化物少量 焼土粒少量 地山ブロック1～7cm大少量 しまりやや
強・粘性やや有
4層 10YR4/4褐色土 炭化物極微量 地山ブロック主体 しまりやや強・粘性有

第61図 13SK142・146・165・136・160

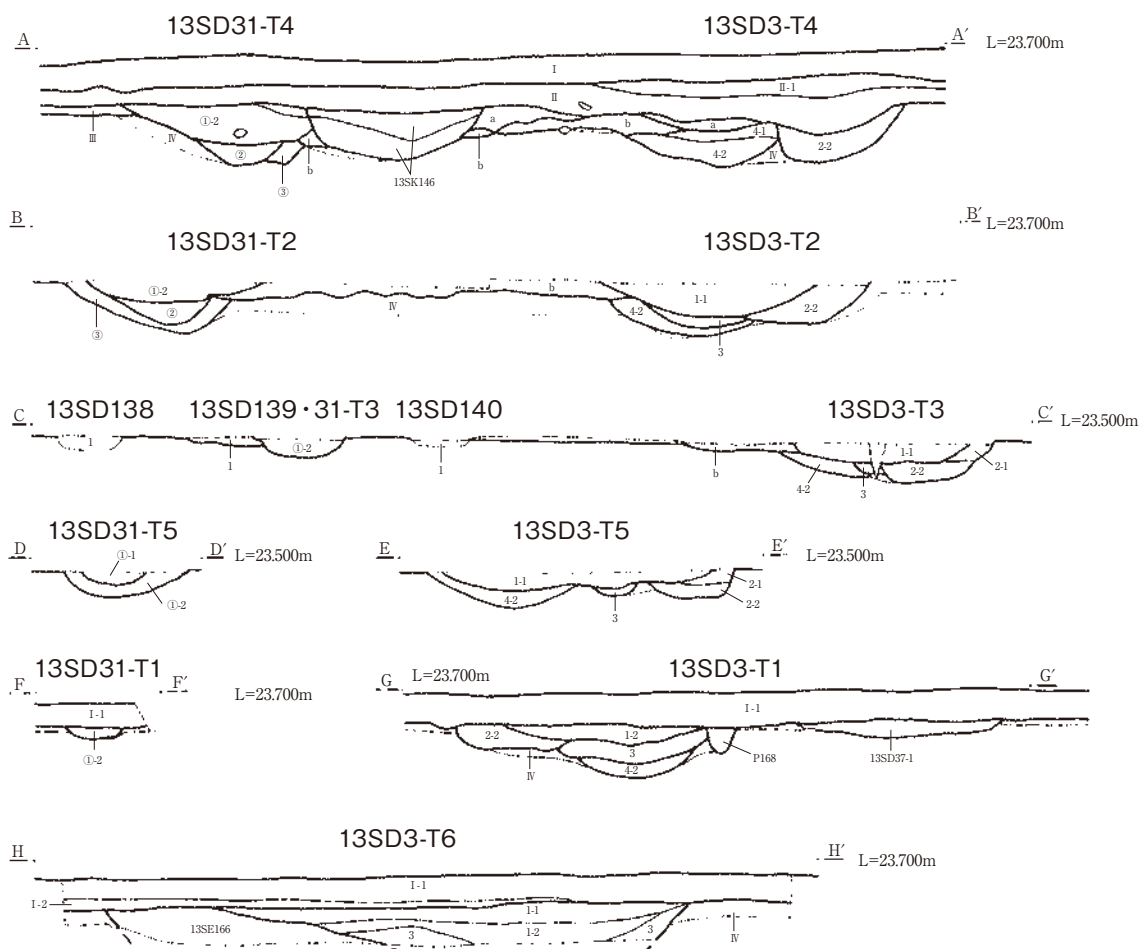




第62図 13SK137・164、SD



第63図 13SF1、SD18・28・138～140・37平面図



13SF1 (13SD3—13SD31)

I層 表土
 II-1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5cm大極微量 褐色土粒子少量 しまり強・粘性弱 洪水堆積土
 II層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.3～0.5cm大、褐色土粒子微量 褐色土ブロック0.5～2cm大少量 しまり強・粘性やや有 洪水堆積土
 III層 10YR3/4暗褐色土 炭化物0.2～1cm大微量 褐色土ブロック0.5～2cm大、褐色土粒子少量 しまり強・粘性有 地山
 a層 10YR3/4暗褐色土 砂質土層 褐色粘土ブロック1～3cm大極微量 上面に礫10～15cm多く見られる しまり強・粘性やや有 溝III期路面
 b層 10YR3/3暗褐色土 細かい砂質土層 炭化物0.2～1cm大微量 褐色土粒子少量 グレーの砂含む しまり強・粘性やや有 溝II期路面

13SD3

1-1層 10YR3/2黒褐色土 砂質土 炭化物0.5～1cm大極微量 焼土粒微量 褐色土ブロック0.5cm大少量 しまり強・粘性弱 溝IV期
 1-2層 10YR2/2黒褐色土 炭化物0.3～1cm大少量 焼土粒、褐色土ブロック0.3～1cm大微量 焼土が層状に入る しまり強・粘性弱 溝IV期
 2-1層 褐色土ブロック主体 しまり強・粘性有 溝III期
 2-2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.3～1.5cm大極微量 地山ブロック少量 しまり強・粘性有 溝III期
 3層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、赤褐色粒子極微量 褐色土ブロック0.5cm大微量 しまり強・粘性有 溝II期
 4-1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物粒、褐色土粒少量 しまり強・粘性有 溝I期
 4-2層 10YR3/4暗褐色土 炭化物0.5～3cm大極微量 地山ブロック少量 しまりやや強・粘性有 溝I期

13SD31

①-1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.2cm大極微量 褐色土ブロック0.2～0.5cm大少量 しまり強・粘性弱 溝III期
 ①-2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.2～1cm大微量 褐色土ブロック0.2cm大極微量 しまり強・粘性やや有 溝III期
 ②層 10YR3/4暗褐色土 炭化物0.5cm大極微量 褐色土ブロック0.5～2cm大極少量 しまり強・粘性有 溝II期
 ③層 10YR4/4褐色土 地山ブロック主体 しまり強・粘性有 溝I期

13SD37

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.2～0.5cm大極微量 しまり強・粘性有

13SD138

1層 10YR3/4暗褐色土 地山ブロック混じる しまり強・粘性弱

13SD139

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.2cm大微量 褐色土ブロック0.2～0.3cm大極微量 しまり強・粘性弱 13SD31③層、溝III期溝か

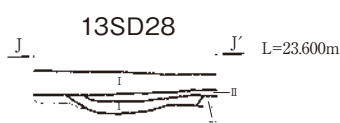
13SD140

1層 10YR3/3暗褐色土 地山ブロック主体 褐色土粒微量 しまり強・粘性弱 13SD31②層、溝II期か

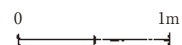


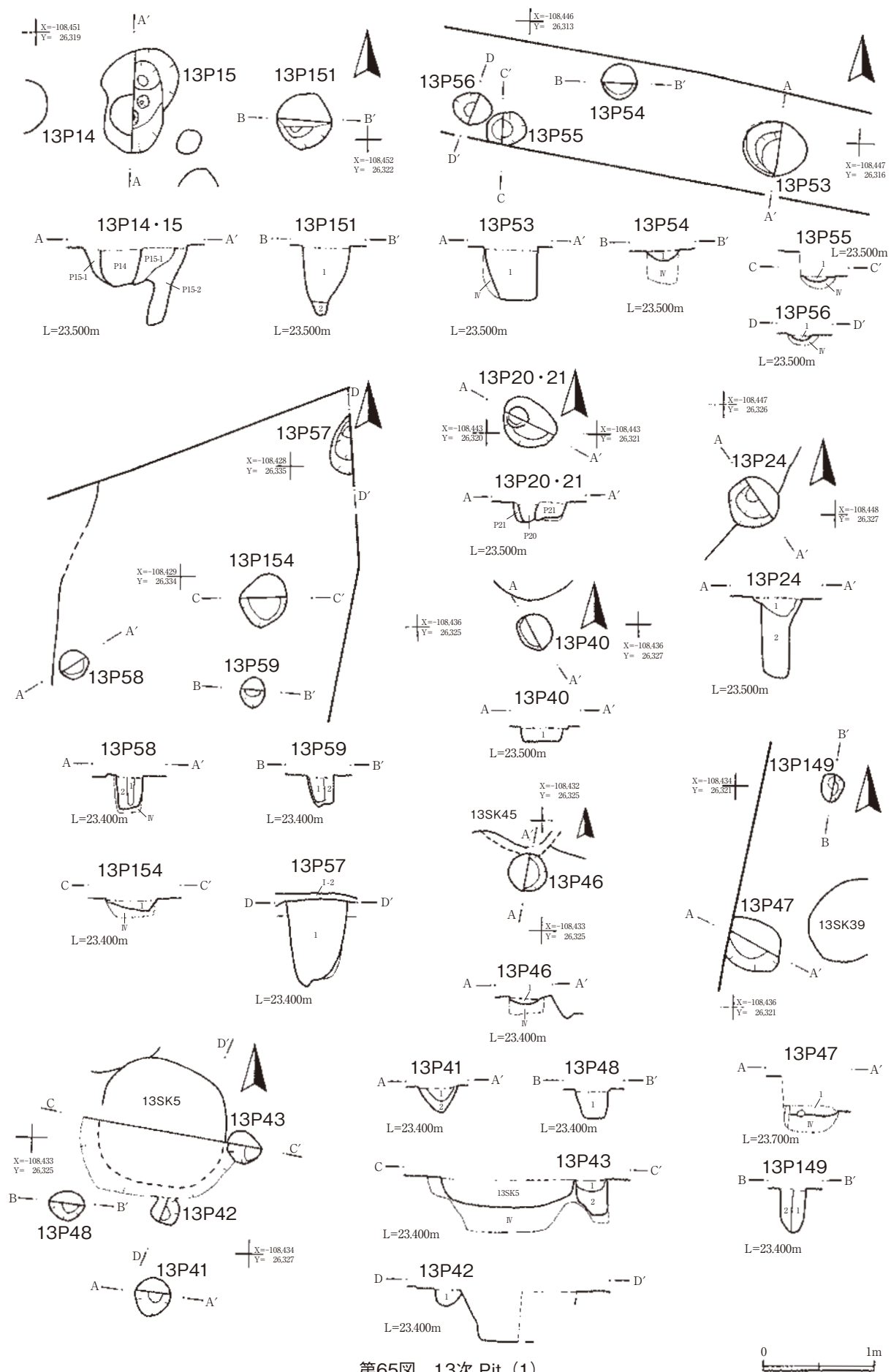
13SD18
 1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物微量 赤褐色土粒極微量 地山ブロック0.5～1cm大少量 しまり強・粘性弱

13SD28
 注記なし

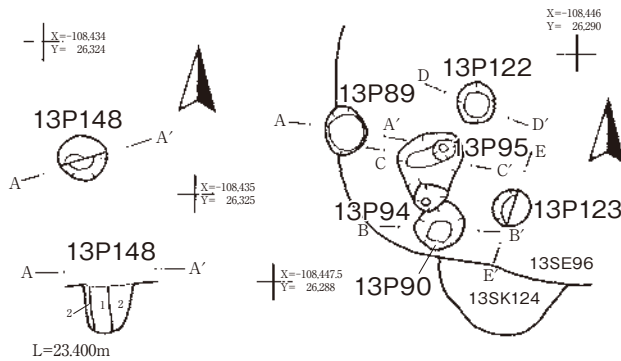


第64図 13SF1、SD18・28・138～140・37セクション図





第65図 13次 Pit (1)



13P14

1層 10YR3/3暗褐色土 地山ブロック1~7cm大少量 赤褐色土粒極微量 しまり強・粘性弱

13P15

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 地山ブロック0.5~3cm大少量 しまり強・粘性弱
2層 10YR3/3暗褐色土 地山ブロック主体 浅黄色粘土中頃に入る しまり強・粘性やや有 本根痕カ

13P20

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物微量 褐色土ブロック0.5~2cm大少量 しまり強・粘性弱

13P21

1層 10YR3/4暗褐色土 炭化物極微量 地山ブロック0.5~3cm大少量 しまり強・粘性やや有

13P24

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 褐色土ブロック0.5~3cm大少量 しまり強・粘性弱
2層 10YR3/4暗褐色土 炭化物微量 地山ブロック0.5~7cm大少量 しまり強・粘性有

13P40

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.3~1.5cm大微量 赤褐色土粒極微量 地山ブロック下層に多く混じる しまり強・粘性弱

13P41

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、褐色土粒微量 しまり強・粘性弱
2層 10YR3/4暗褐色土 赤褐色土粒子極微量 地山ブロック多量 しまり強・粘性弱

13P42

1層 10YR3/4暗褐色土 地山ブロック下層に混じる しまり強・粘性弱

13P43

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、赤褐色土粒極微量 しまり強・粘性弱
2層 10YR3/4暗褐色土 褐色土ブロック0.5~5cm大微量 しまり強・粘性弱

13P46

1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物少量 褐色土ブロック0.3~2cm大微量 しまり強・粘性弱

13P47

1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、赤褐色土粒極微量 褐色土ブロック0.5~5cm大少量 しまり強・粘性やや有 銭出土

13P48

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、赤褐色土粒極微量 地山ブロック少量 しまり強・粘性弱

13P53

1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物、焼土粒、地山ブロック微量 しまり強・粘性やや有

13P54

1層 10YR3/3暗褐色土 灰黄色粘土ブロック1~5cm大少量 鉄っぽい土混じる しまり強・粘性有

13P55

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物微量 褐色土ブロック1~3cm大少量 しまり強・粘性弱 P56と似る

13P56

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物微量 褐色土粒子少量 赤褐色土粒子極微量 しまり強・粘性やや有

13P89

A --- A' ---
L=23.600m

13P90

B --- B' ---
L=23.600m

13P95

C --- C' ---
L=23.600m

13P122

D --- D' ---
L=23.600m

13P123

E --- E' ---
L=23.600m



13P57

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 褐色土ブロック0.5~5cm大微量 しまり強・粘性やや有 本根痕カ?

13P58

1層 10YR3/2黒褐色土 赤褐色土粒極微量 しまりやや強・粘性有 柱痕
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物、褐色土ブロック0.5~1cm大、赤褐色土粒微量 しまり強・粘性やや有

13P59

1層 10YR3/2黒褐色土 赤褐色土粒微量 しまり強・粘性有 柱痕
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 褐色土ブロック0.5~1cm大少量 しまりやや強・粘性有

13P89

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 褐色土ブロック下層に多量 赤褐色土粒微量 しまり強・粘性弱
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 しまり強・粘性有

13P90

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 褐色土ブロック0.5~3cm大下層に多量 赤褐色土粒微量 しまり強・粘性弱 P89と似る

13P95

1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物微量 地山ブロック0.5~5cm大下層に多量 赤褐色土粒極微量 しまり強・粘性やや有 P122と似る

13P122

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 しまり強・粘性有

13P123

1層 10YR3/2黒褐色土 炭化物0.5cm大、地山ブロック0.5~1cm大少量 焼土粒0.5cm大極微量 しまり強・粘性弱

13P148

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物1~3cm大上層に多量 褐色土ブロックマーブル状に混じる 赤褐色土粒極微量 しまりやや強・粘性有 柱痕
2層 10YR3/3暗褐色土 褐色土ブロック0.5~3cm大少量 赤褐色土粒極微量 しまり強・粘性有

13P149

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.5~1cm大、褐色土ブロック0.3~5cm大少量 しまり強・粘性やや有 柱痕
2層 10YR3/3暗褐色土 炭化物0.3~0.5cm大微量 褐色土ブロック0.2~2cm大少量 しまり強・粘性有

13P151

1層 10YR3/3暗褐色土 炭化物極微量 褐色土ブロックマーブル状に入る しまり強・粘性やや有
2層 10YR4/6褐色土 しまりやや弱・粘性有

13P154

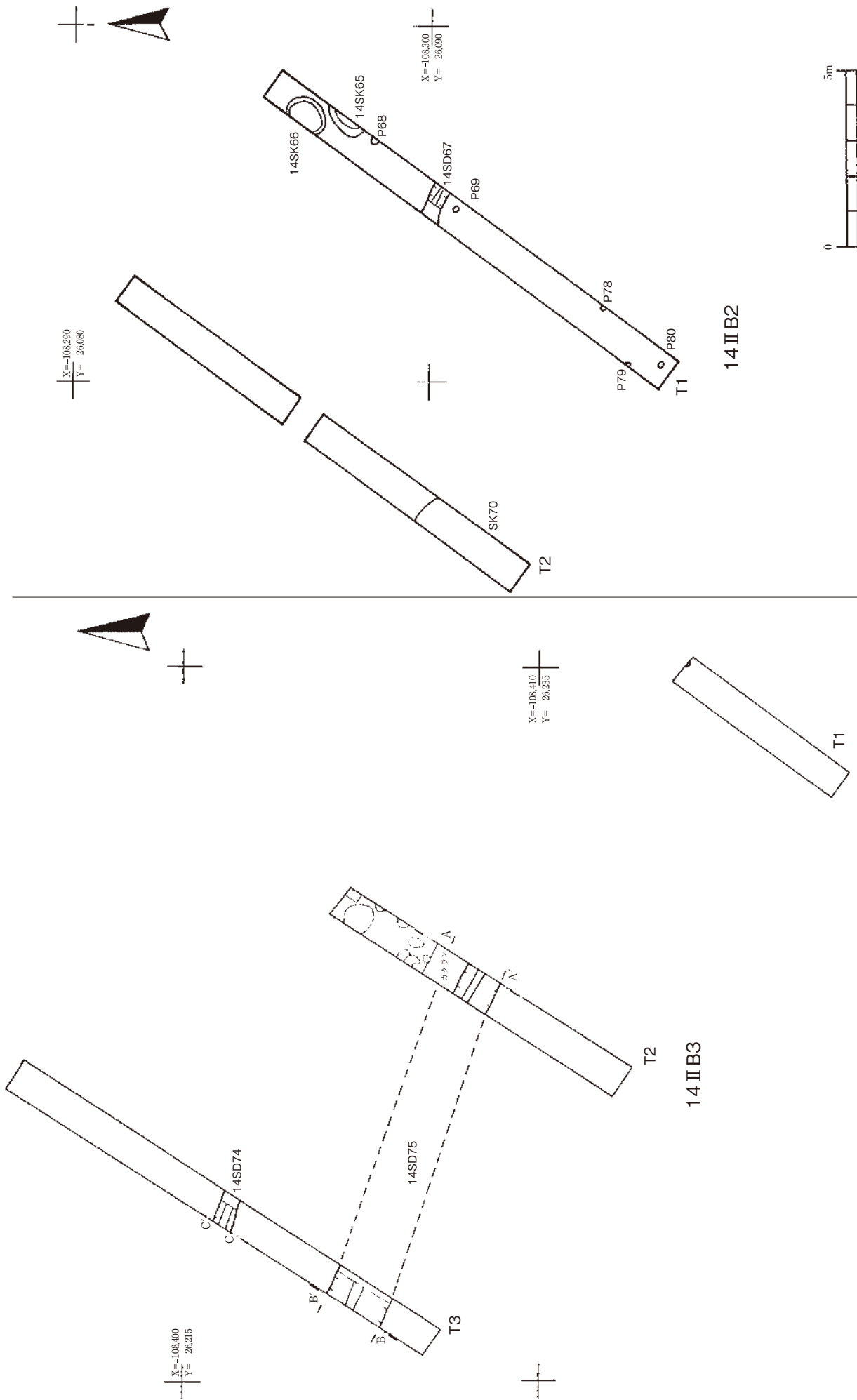
1層 10YR3/3暗褐色土 灰褐色土ブロック主体にぶい黄褐色土ブロック混じる しまり強・粘性弱

第66図 13次 Pit (2)

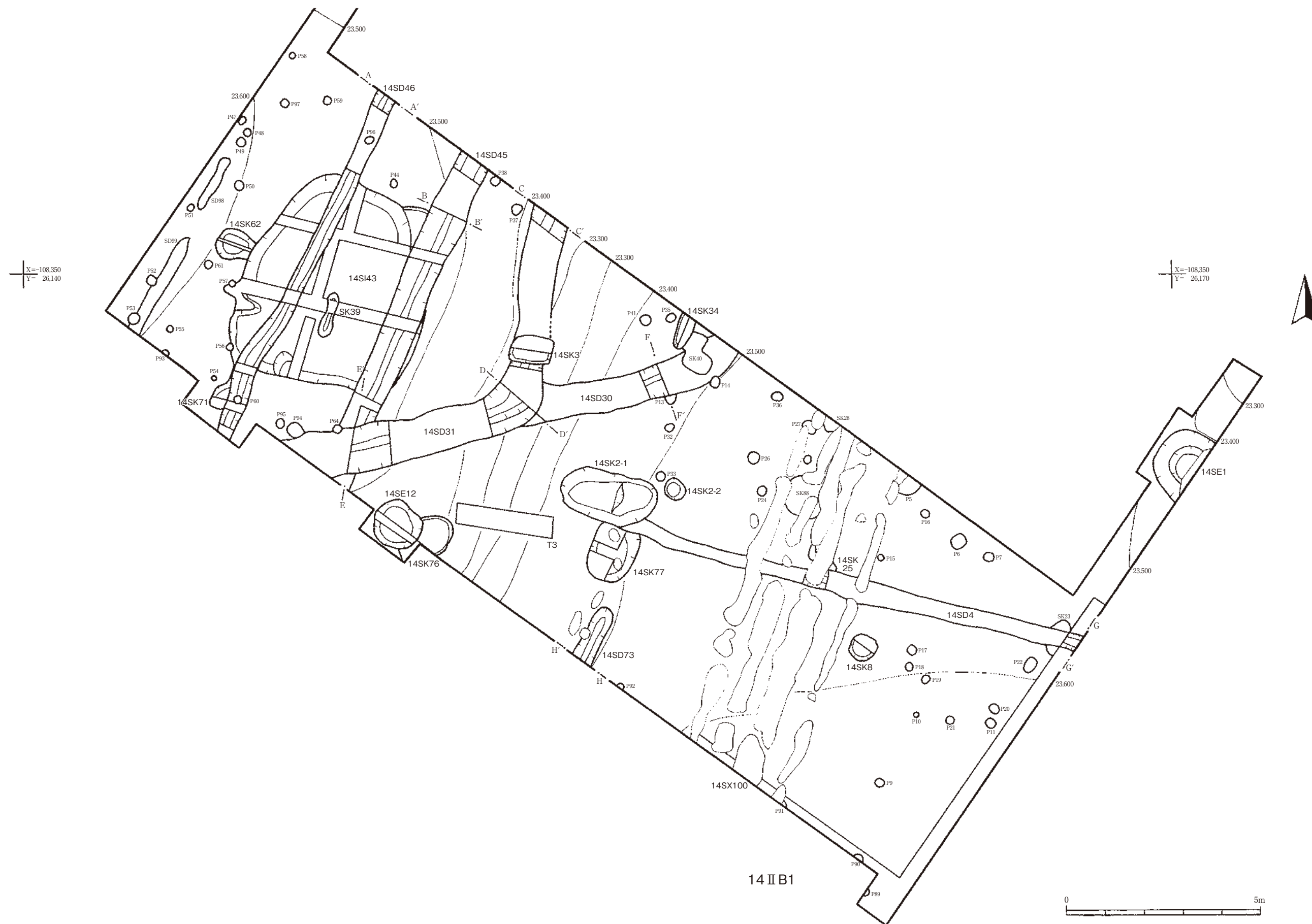
第6表 13次調査 調査柱穴一覧表

遺構名	区	位置	性格	調査	重複	長さ	幅	深さ	平面形	出土遺物
13P14	13ⅡB1	南西	木根痕カ	半裁	13P15→13P14	0.48	0.36	0.32	円形	
13P15	13ⅡB1	南西	木根痕カ	半裁	13P15→13P14	0.94	0.68	0.34	楕円形	手づくねかわらけ3
13P20	13ⅡB1	西	柱穴	半裁	13P21→13P20	0.2	0.1	0.16	円形	
13P21	13ⅡB1	西	土坑	半裁	13P21→13P20	0.51	0.41	0.16	円形	12c以降ロクロかわらけ1
13P24	13ⅡB1	南	木根跡カ	半裁	13SD3→13P24	0.46	0.46	0.72	円形	
13P40	13ⅡB1	北	土坑	半裁		0.33	0.3	0.12	円形	
13P41	13ⅡB1	北	自然穴カ	半裁		0.34	0.32	0.21	円形	
13P42	13ⅡB1	北	柱穴カ	半裁	13P42→13SK5	0.26	0.24	0.12	円形	
13P43	13ⅡB1	北	柱穴	半裁	13SK5→13P43	0.31	0.29	0.31	円形	釘1
13P46	13ⅡB1	北	土坑	半裁	13SK145→13P46	0.35	0.33	0.17	円形	
13P47	13ⅡB1	北西	土坑	半裁		0.5	0.45	0.10	楕円形	元祐通宝、12c以降のロクロかわらけ1
13P48	13ⅡB1	北	柱穴	半裁		0.3	0.25	0.24	円形	
13P53	13ⅡB1	西	柱穴	半裁		0.58	0.5	0.46	円形	12c以降ロクロかわらけ1
13P54	13ⅡB1	西	土坑	半裁		0.32	0.31	0.08	円形	
13P55	13ⅡB1	西	土坑	半裁		0.35	0.32	0.03	円形	
13P56	13ⅡB1	西	土坑	半裁		0.36	0.3	0.05	円形	
13P57	13ⅡB1	北東	柱穴	半裁		0.5	0.2~	0.78	楕円形	
13P58	13ⅡB1	北東	柱穴	半裁		0.26	0.26	0.29	円形	
13P59	13ⅡB1	北東	柱穴	半裁		0.28	0.23	0.27	円形	
13P89	13ⅡB3	西	柱穴	完掘	13SE96→13P89	0.32	0.28	0.26	円形	
13P90	13ⅡB3	西	柱穴	完掘	13SE96→13P95・90→13P94	0.34	0.33	0.17	円形	手づくねかわらけ1
13P94	13ⅡB3	西	柱穴カ	完掘	13SE96→13P90・95→13P94	0.22	0.19	0.19	楕円形	
13P95	13ⅡB3	西	柱穴カ	完掘	13SE96→13P90・95→13P94	0.46	0.33	0.32	楕円形	
13P122	13ⅡB3	西	柱穴	完掘	13SE96→13P122	0.27	0.25	0.15	円形	
13P123	13ⅡB3	西	柱穴	半裁	13SE96-13P123	0.24	0.24	0.52	円形	
13P148	13ⅡB1	北西	柱穴	半裁	13SK158→13P148	0.32	0.3	0.32	円形	
13P149	13ⅡB1	北西	柱穴	半裁		0.25	0.2	0.39	円形	
13P151	13ⅡB1	南西	木根跡	半裁		0.5	0.62	0.1	円形	かわらけ細片1
13P154	13ⅡB1	北東	自然穴カ	半裁		0.46	0.43	0.1	円形	
13P168	13ⅡB1	南	柱穴	半裁	13SD3→13P168	0.2	0.11	0.15	円形	





第68図 14次遺構全体図 (1)



第69図 14次遺構全体図 (2)

14SI43

- 1層 10YR3/3暗褐色 シルト質土 炭化物微量、焼土粒微量、火山灰を含む、自然堆積 しまり強・粘性弱
 2層 10YR4/4褐色 シルト質土 炭化物0.5cm大・焼土粒0.2~1cm大少量、礫0.5cm大・鉄塊微量、土器多量、人為堆積 しまり強・粘性やや有
 3層 10YR4/4褐色 シルト質土 炭化物0.5cm大・焼土粒1cm大多量 しまり弱・粘性強
 4層 10YR4/4褐色 シルト質土 炭化物微量、焼土粒0.5cm大少量 しまり強・粘性弱
 5層 10YR4/6褐色 粘土質土 炭化物0.5cm大微量、焼土粒1cm大多量、砂質粘土微量、鉄塊・滓・鍛造剥片含む、床直上の土 しまり強・粘性やや有
 6層 10YR4/6褐色 シルト質土 炭化物極微量、焼土塊0.8cm大多量、砂質粘土微量 しまり強・粘性弱
 7層 10YR5/4にぶい黄褐色 粘土質土 粘土主体、炭化物極微量、貼り床状の土 しまり強・粘性有
 8層 10YR5/6黄褐色 粘土質土 炭化物極微量、古い住居の埋土か しまり強・粘性有
 9層 10YR4/4褐色 炭化物・焼土粒極微量、土器含む しまり強・粘性弱
 カマド0層 10YR4/4褐色 粘土質土 炭化物0.5cm大少量、焼土塊0.8cm大多量、甕の埋土 しまり強・粘性強
 カマド1層 10YR4/6褐色 シルト質土 橙色焼土塊主体、甕天井 しまり強・粘性弱
 カマド3層 25YR3/4暗赤褐色 焼土主体、甕の床土 しまり強・粘性弱
 カマド4層 10YR4/6褐色 14SI436層とほぼ同じ しまり強・粘性弱

14SI43-SH1

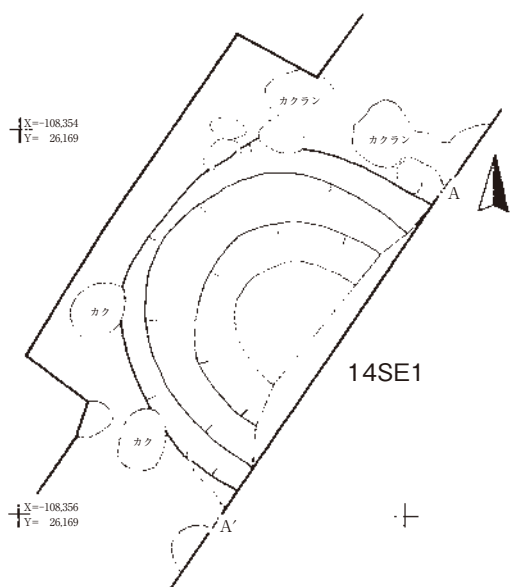
- SH1-1層 10YR4/3にぶい黄褐色 粘土質土 鉄滓を含む しまり強・粘性弱
 SH1-2層 10YR4/3にぶい黄褐色 粘土質土 青灰色粘土含む しまり強・粘性弱

14SI43-SK2

- SK2-①層 10YR4/4褐色 シルト質土 14SI438層とほぼ同じ しまり強・粘性有
 SK2-②層 10YR5/6黄褐色 粘土質土 白色粘土多量、焼土粒微量 しまり強・粘性有
 SK2-③層 10YR4/4褐色 粘土質土 炭化物微量、焼土塊1cm大多量 しまり強・粘性有
 SK2-④層 10YR6/4にぶい黄褐色 粘土質土 炭化物0.3cm大微量、焼土塊1cm大・砂質粘土ブロック1cm大少量、橙色焼土多い しまりやや弱・粘性強

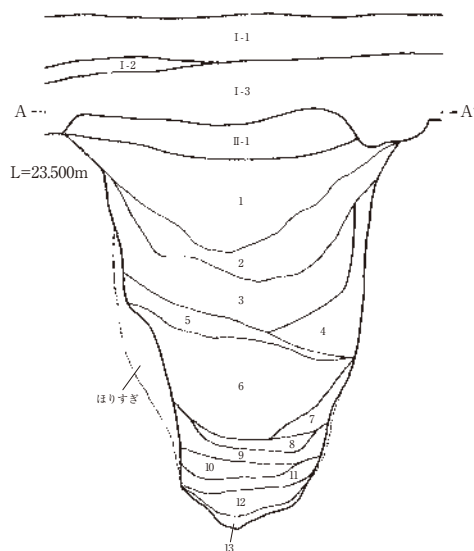
14SK71

- SK71-1層 10YR4/4褐色 シルト質土 焼土塊0.5cm大・炭化物微量 しまり強・粘性弱
 SK71-2層 10YR4/4褐色 シルト質土 焼土塊0.5~1cm大少量 しまり強・粘性弱
 SK71-3層 25YR2/1赤黒色 焼土塊2cm大主体、褐色粘土ブロック微量、土師器含む しまり強・粘性弱
 SK71-4層 10YR4/4褐色 粘土質土 赤黒色焼土塊微量、南壁面が弱く焼ける しまり弱・粘性やや有



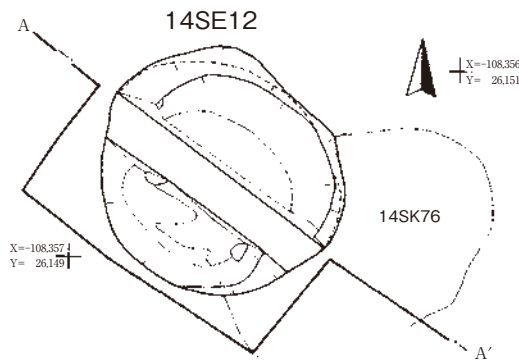
14SE1

- 1層 10YR3/3暗褐色 シルト質土 地山ブロック1cm大微量、炭化物0.5~1cm大・焼土粒少量 しまり強・粘性弱
 2層 10YR3/3暗褐色 シルト質土 地山ブロック3cm大少量、炭化物0.5cm大少量 しまり強・粘性弱
 3層 10YR4/6褐色 シルト質土 灰色粘土ブロック1cm大下層に多量、炭化物少量 しまり強・粘性やや有
 4層 10YR4/6褐色 粘土質土 褐色土主体、炭化物極微量 しまり強・粘性やや有
 5層 10YR5/6黄褐色 シルト質土 白色土・灰色土ブロック1cm大多量、炭化物微量 しまり強・粘性やや有
 6層 10YR4/3にぶい黄褐色 粘土質土 白色粘土主体、炭化物0.2~1cm大少量、鉄分多 しまり強・粘性強
 7層 10YR6/4にぶい黄褐色 粘土質土 粘土ブロック主体、炭化物極微量 しまり強・粘性強
 8層 10YR3/2黒褐色 粘土質土 砂を含む、炭化物微量、しまり強・粘性強
 9層 10YR5/4にぶい黄褐色 10層とほぼ同じ しまり強・粘性強
 10層 10YR4/3にぶい黄褐色 砂を含む粘土質土 炭化物微量、鉄少量 しまり強・粘性強
 11層 10YR4/4褐色 硬く締まった粘土質土 粘土ブロック主体 しまりかなり強・粘性強
 12層 10YR5/6黄褐色 粘土質土 砂を含む、炭化物微量 しまり強・粘性強
 13層 10YR4/6褐色 粘土質土 粘土主体、底面に暗褐色土薄く広がる しまり強・粘性強



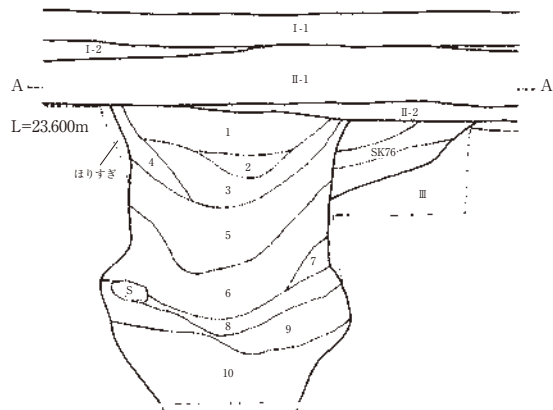
- I-1層 水田土
 I-2層 洪水堆積土
 I-3層 畑耕作土
 II-1層 洪水堆積土
 III層 地山

第71図 14SI43、SE1

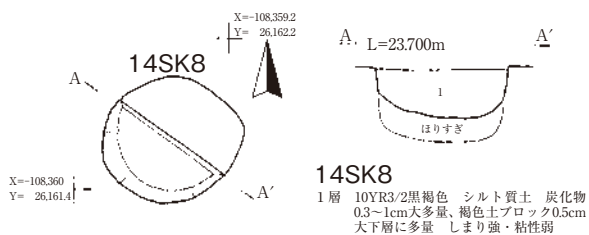


14SE12

- I-1層 水田土、I-2層 洪水堆積土、I-3層 畑耕作土、II-1層 洪水堆積土、II-2層 粘質洪水堆積土、III層 地山
- 1層 10YR3/3暗褐色 シルト質土 褐色土粒・炭化物少量、火山灰状のもの少量 しまり強・粘性やや有
- 2層 10YR3/3暗褐色 シルト質土 焼土粒・炭化物多量、褐色土粒少量 しまり強・粘性やや有
- 3層 10YR3/2黒褐色 シルト質土 焼土塊3~4cm大主体、炭化物少量 しまり強・粘性やや有
- 4層 10YR3/3暗褐色 シルト質土 2層とほぼ同じ、褐色土粒多い しまり強・粘性やや有
- 5層 10YR3/2黒褐色 シルト質土 地山ブロック1~2cm大少量、礫10cm大少量、炭化物・焼土粒微量 しまり強・粘性やや有
- 6層 10YR4/3にぶい黄褐色 粘土質土 暗褐色土と白っぽい褐色土ブロック4cm大主体、炭化物・焼土粒微量 しまり強・粘性やや有
- 7層 10YR4/3にぶい黄褐色 粘土質土 6層とほぼ同じ、暗褐色土が主体 しまり強・粘性やや有
- 8層 10YR4/4褐色 粘土質土 ほぼ10層と同じ、炭化物と焼土ブロック3cm大を塊で含む しまり弱・粘性強
- 9層 10YR4/4褐色 粘土質土 ほぼ10層と同じだが炭化物やや多い、炭化物と焼土が層状に薄く入る しまり弱・粘性強
- 10層 10YR4/4褐色 粘土質土 暗褐色土ブロック・褐色土ブロック3cm大主体、炭化物微量 しまり弱・粘性強

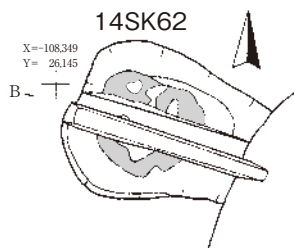


- I-1層 水田土
I-2層 洪水堆積土
I-3層 畑耕作土
II-1層 洪水堆積土
II-2層 粘質洪水堆積土
III層 地山



14SK8

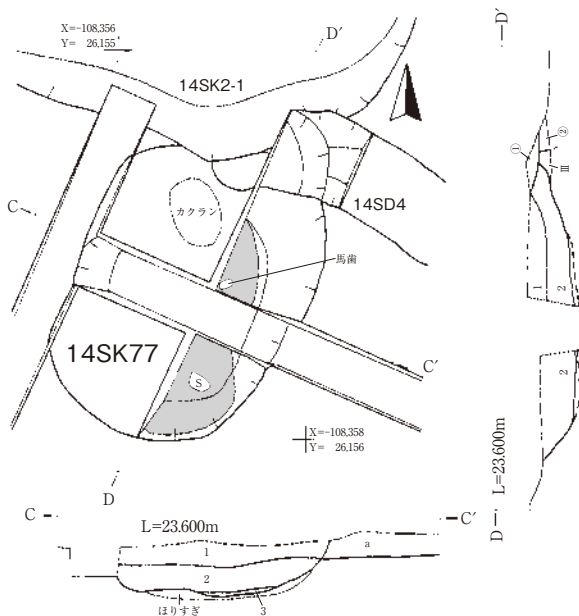
- 1層 10YR3/2黒褐色 シルト質土 炭化物0.3~1cm大多量、褐色土ブロック0.5cm大下層に多量 しまり強・粘性弱



14SK62

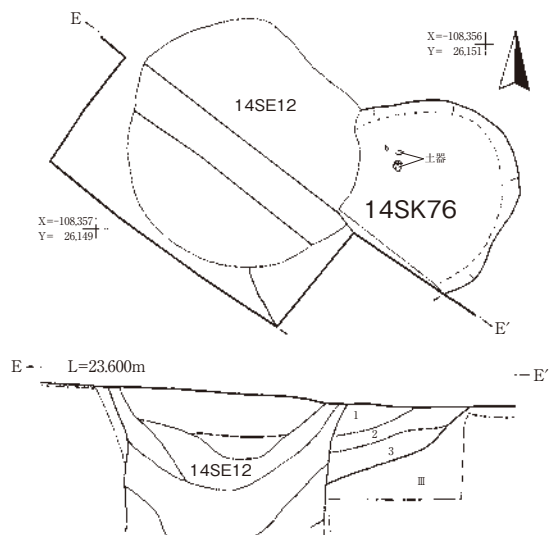
14SK62

- 1層 10YR4/6褐色 褐色シルト質土 炭化物0.5cm大少量、赤褐色焼土塊3cm大主体 しまり強・粘性弱
- 2層 10YR4/6褐色 シルト質土 炭化物2cm大少量、赤褐色焼土塊3cm大主体 しまり強・粘性弱
- 3層 25YR2/4極暗赤褐色 シルト質土 焼けた層 しまり強・粘性弱
- 4層 10YR4/4褐色 シルト質土 炭化物0.5cm大微量 しまり強・粘性弱



14SK77~14SD4

- 1層 10YR4/3にぶい黄褐色 シルト質土 炭化物微量、褐色土ブロック微量 しまり強・粘性弱
- 2層 10YR4/4褐色 シルト質土 炭化物・褐色土・白色土3cm大微量 しまり強・粘性有
- 3層 10YR3/3暗褐色 炭化物3cm大少量、赤黒焼土面的に入る、床の土 しまり弱・粘性有
- a層 10YR4/3にぶい黄褐色 シルト質土 炭化物微量、褐色土ブロック0.5cm微量、灰色土ブロック1.0cm大微量 しまり強・粘性弱
- ①層 14SD4
- ②層 10YR3/4暗褐色 炭化物極微量、焼土粒微量、褐色土ブロック0.5cm大少量 しまり強・粘性弱 別遺構カ

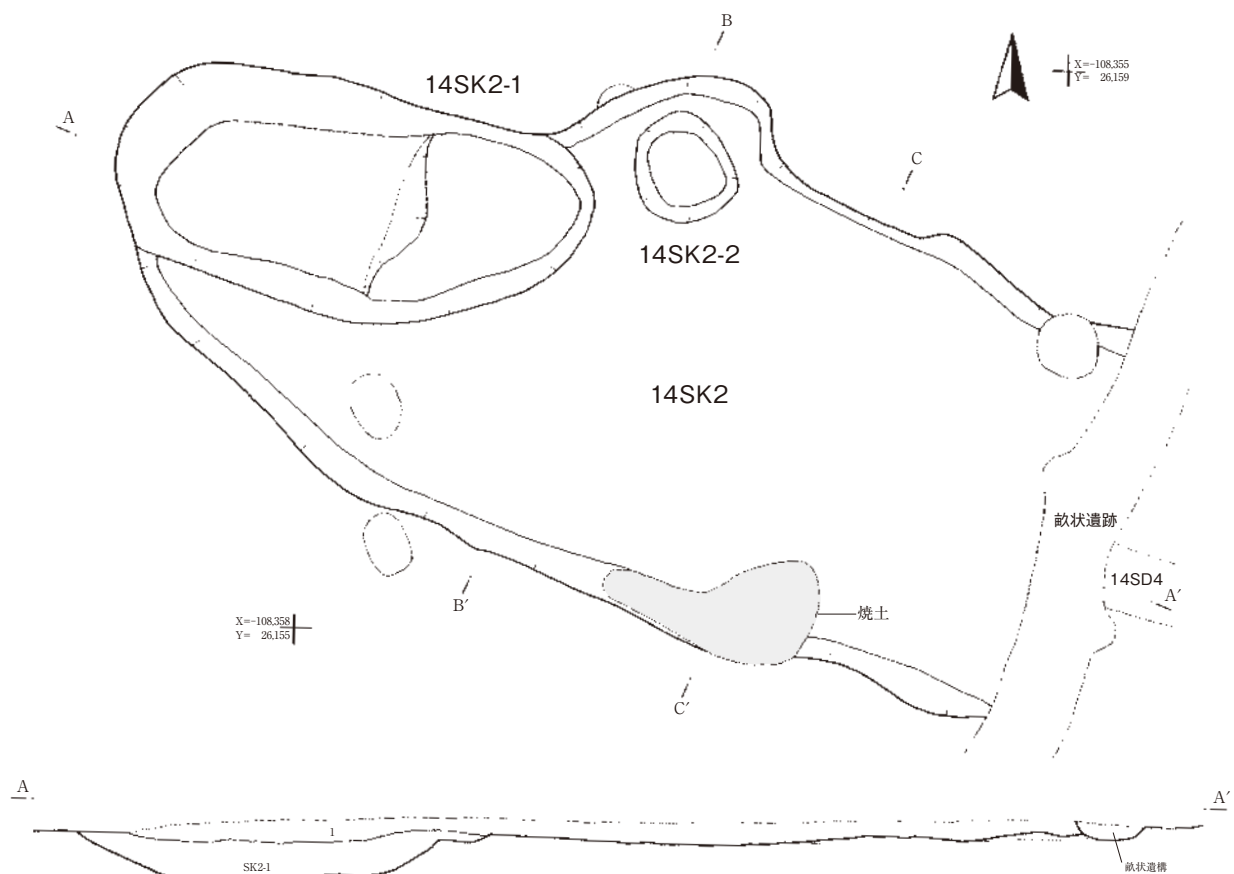


14SK76

- 1層 10YR4/6褐色 粘土質土 炭化物微量、焼土粒微量、褐色粘土ブロック主体 しまり強・粘性有 人為堆積土
- 2層 10YR4/6褐色 粘土質土 白色粘土ブロック0.5cm大少量、黒色焼土ブロック0.3cm大少量、炭化物極微量 しまり強・粘性有 人為堆積土
- 3層 25YR2/1赤黒色 粘土質土 暗赤褐色焼土ブロック0.1~5cm大少量、褐色焼土ブロック2cm大少量、炭化物3cm大中頃に層状に入る、褐色土ブロック多量 しまり強・粘性強

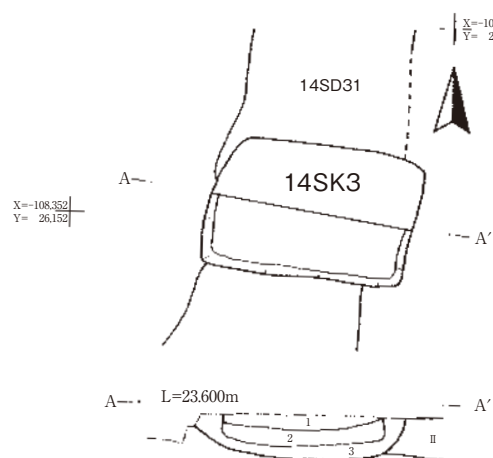


第72図 14SE12、SK8・62・77・76



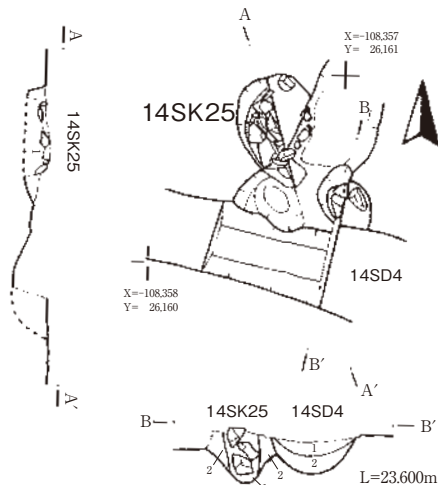
14SK2

SK2 10YR3/3暗褐色シルト質土 炭化物極微量、褐色土ブロック0.2~0.5cm大少量 しまり強・粘性弱
SK77 10YR3/4暗褐色シルト質土 褐色土ブロック0.2~1cm大少量 しまり強・粘性やや有
焼土 10YR3/4暗褐色シルト質土 炭化物少量、焼土ブロック0.5~1cm大少量 しまり強・粘性弱
畝状遺構 10YR3/3暗褐色シルト質土 炭化物・焼土粒極微量、赤褐色土粒微量 しまり強・粘性弱
SK2-1 10YR3/2黒褐色シルト質土 炭化物・褐色土粒極微量、褐色土ブロック0.5~1cm大少量 しまり強・粘性弱
SK2-2 10YR3/3暗褐色シルト質土 褐色土ブロック0.2~7cm大微量、赤褐色土粒極微量 しまり強・粘性やや有



14SK3

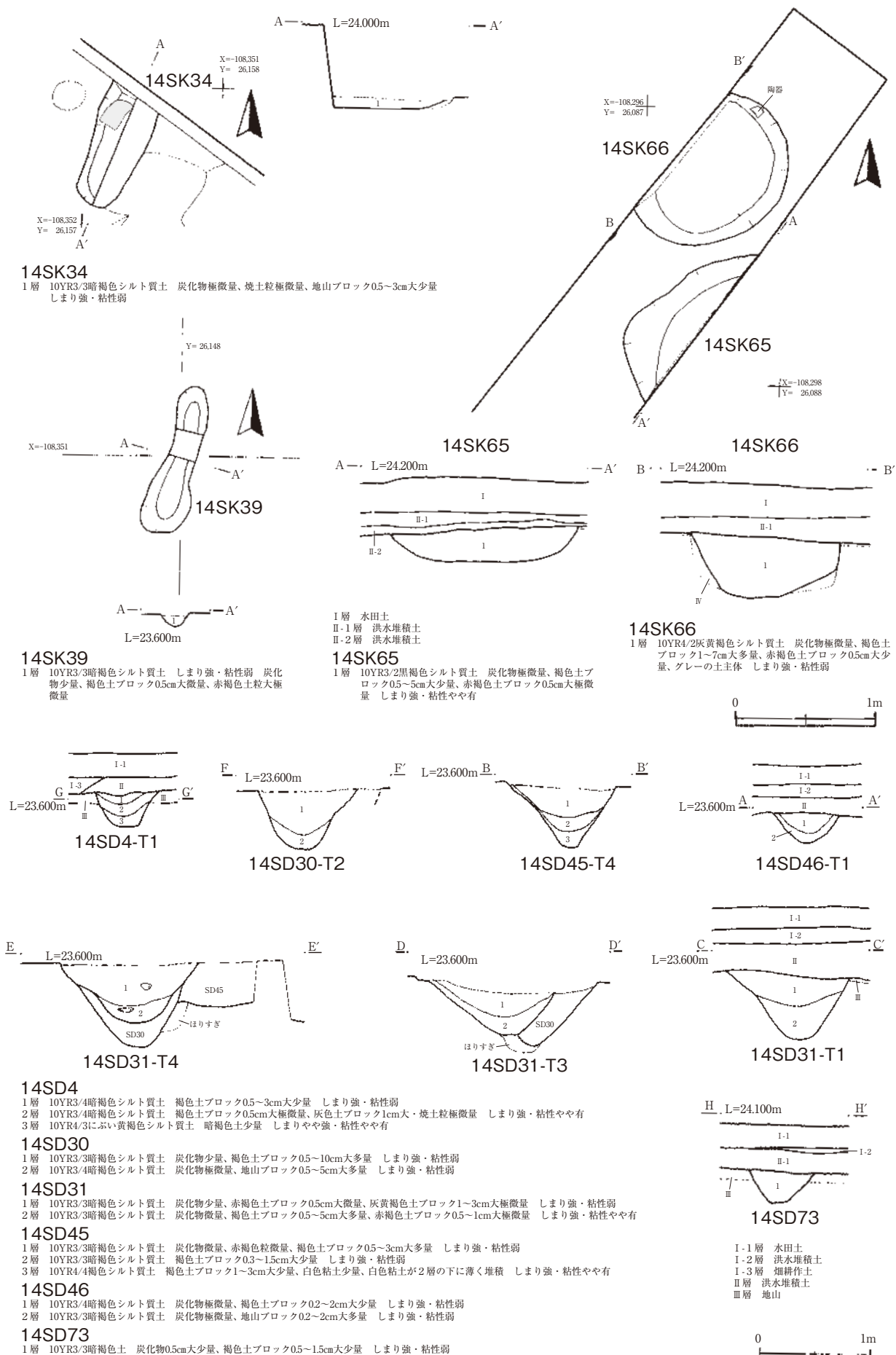
1層 10YR3/3暗褐色シルト質土 炭化物少量、褐色土ブロック0.2~1cm大少量、焼土ブロック0.5~1cm大少量、粘土ブロック3cm大微量、焼土多量 しまり強・粘性やや有
2層 10YR4/4褐色シルト質土 炭化物少量、褐色土ブロック0.2cm大極微量、焼土粒微量 しまり強・粘性弱 しまり強・粘性弱
3層 10YR4/3褐色シルト質土 褐色土ブロック1~2cm大微量

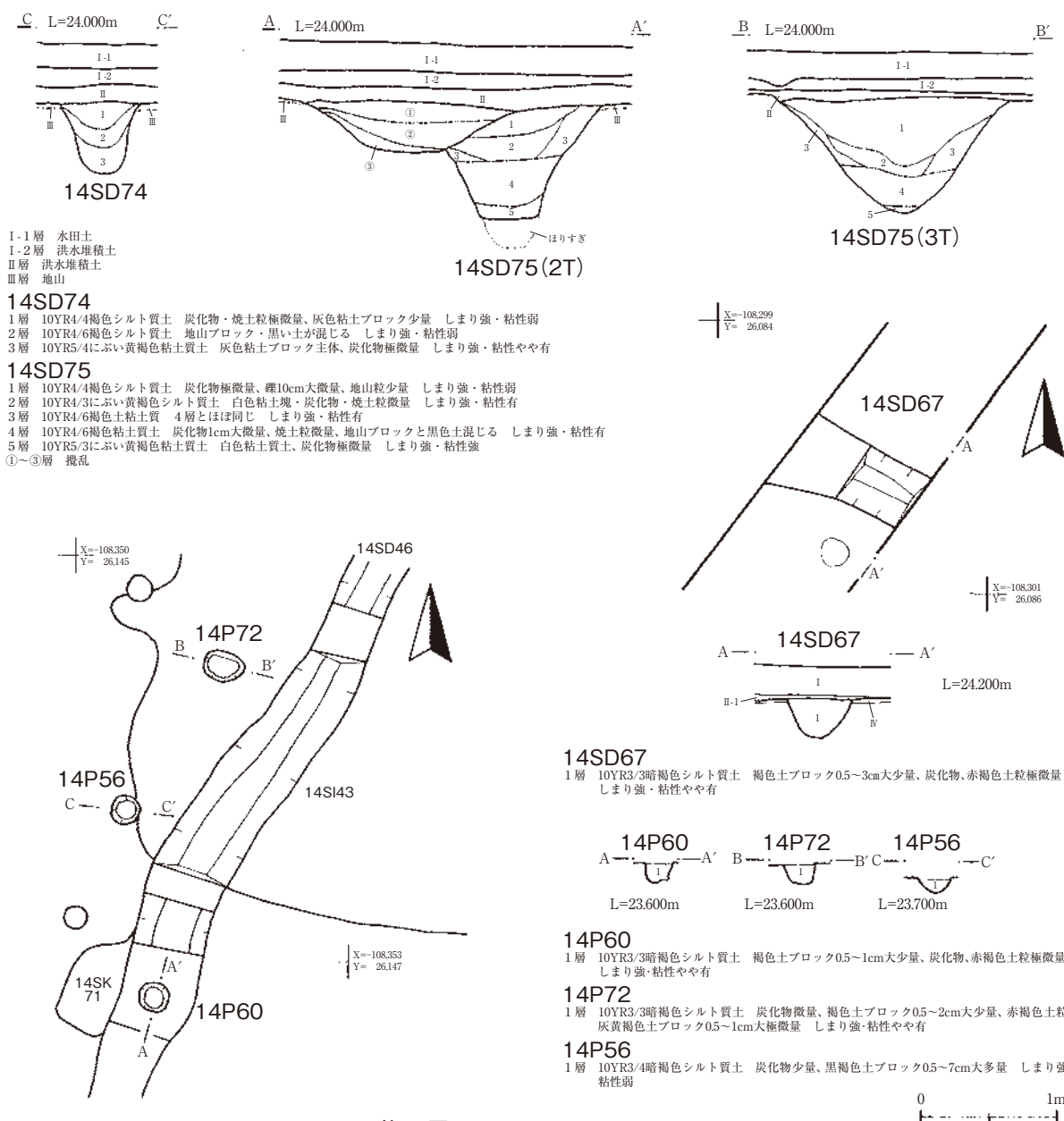


14SK25

1層 10YR3/3暗褐色シルト質土 炭化物極微量、赤褐色土粒少量、遺物出土 しまり強・粘性弱
2層 10YR4/4褐色シルト質土 暗褐色土混じる しまり強・粘性弱
SD4-1層 10YR3/4暗褐色シルト質土 褐色土ブロック0.5~3cm大少量 しまり強・粘性弱
14SD4-T1の1層と同じ
SD4-2層 10YR4/3にぶい黄褐色シルト質土 暗褐色土少量 しまりやや強・粘性やや有
14SD4-T1の3層と同じ

第73図 14SK2・3・25

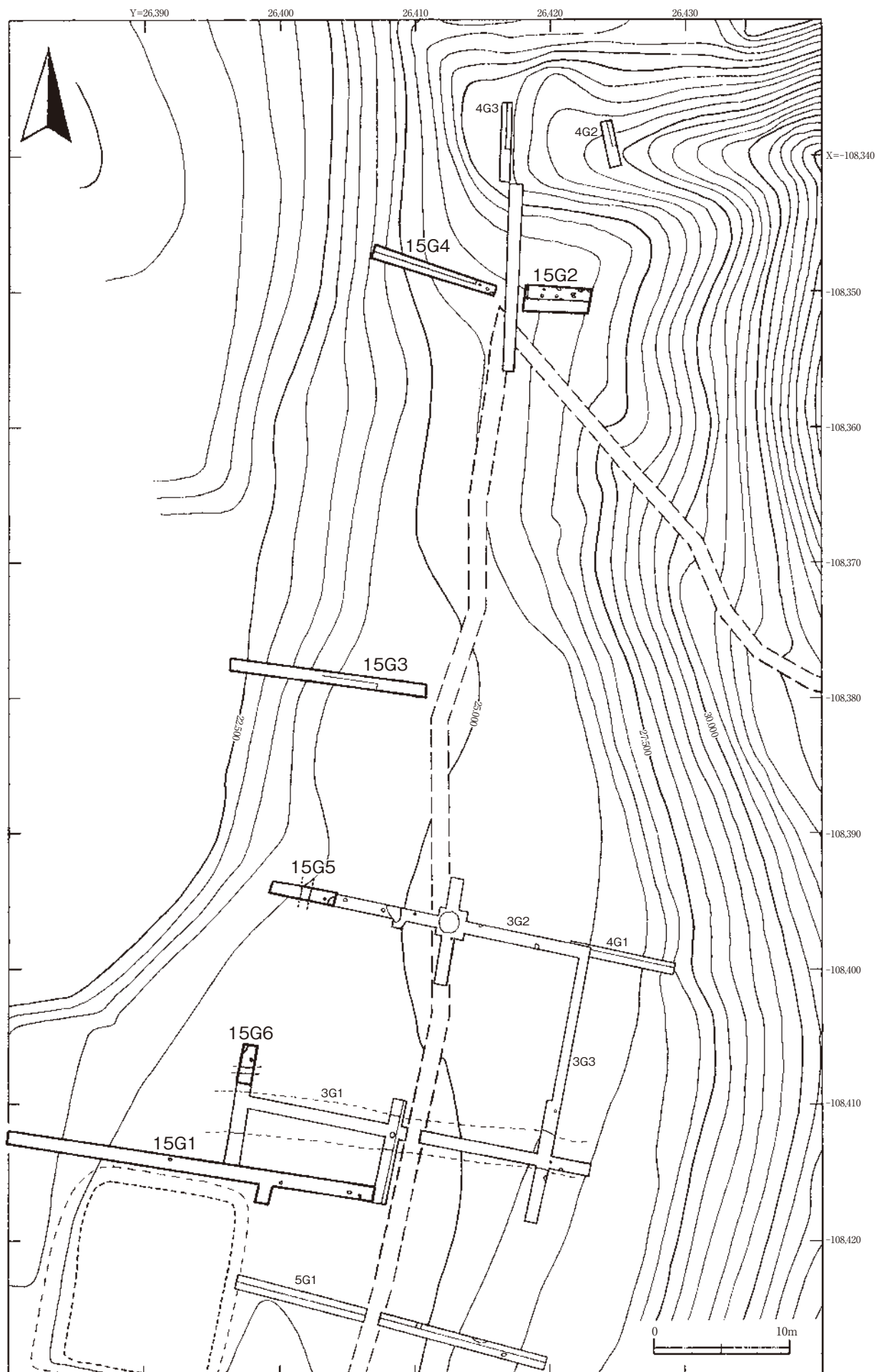




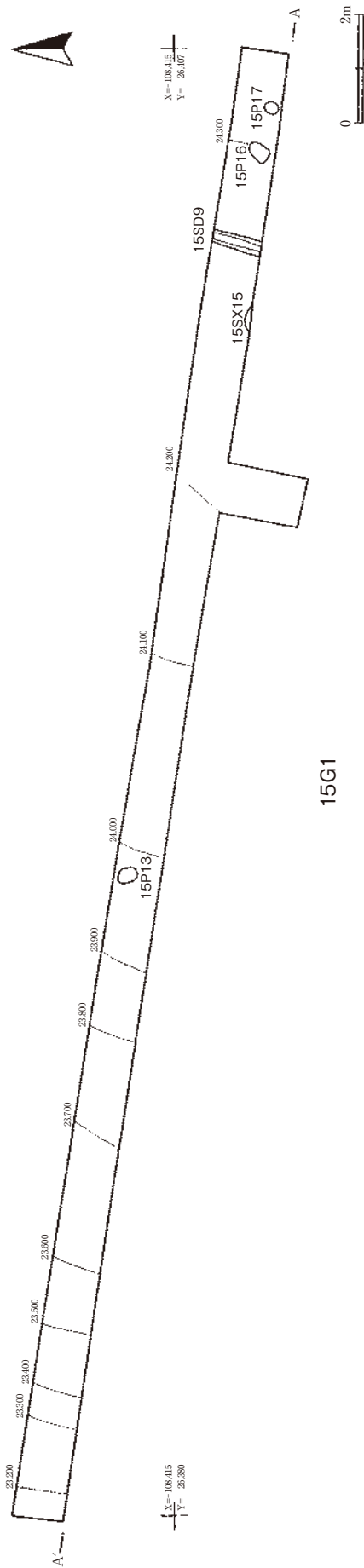
第75図 14SD74・75・67、Pit

第7表 14次、15次調査 調査柱穴一覧表

遺構名	区	位置	性格	調査	重複	長さ	幅	深さ	平面形	出土遺物
14P56	14ⅡB1	南西	柱穴	完掘		0.22		0.1	円形	
14P60	14ⅡB1	南西	柱穴	完掘	14SK71→14SD60→14P60	0.24	0.22	0.14		
14P72	14ⅡB1	西	柱穴	半裁	14SI43→14P72	0.3	0.2	0.14	円形	
15SK6	15G5	東	土坑	一部		0.65～	0.55	0.60	円形	
15SK8	15G5	北	土坑	一部		0.75～	0.25～	0.24	円形	
15P2	15G5	北	柱穴	一部		0.19	0.10～	0.3	円形	
15P3	15G5	東	柱穴	一部	15P26→15P3	0.16	0.07～	0.25	円形	
15P4	15G5	北	柱穴	一部		0.05～	0.03～	0.25	円形	



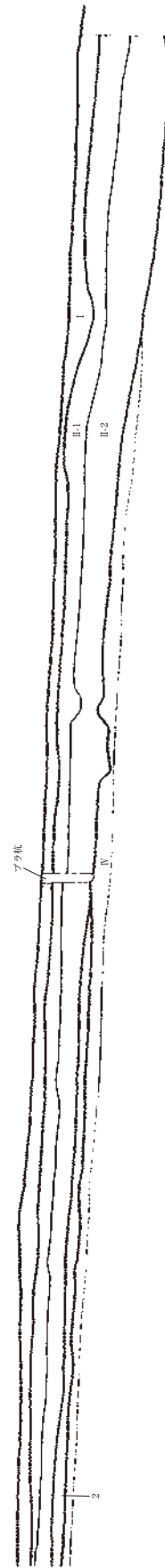
第76図 15次調査区平面図



A — L=25.000m



A'

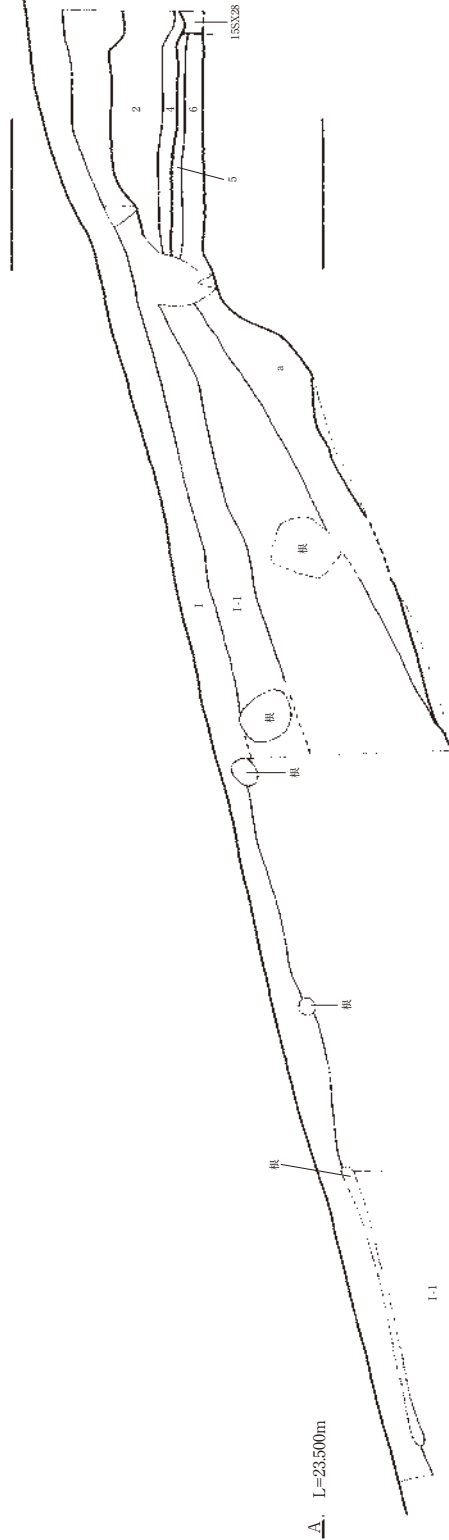


15G1

- 1層 10YR4/3に多い黄褐色 表土
- II-1層 10YR4/4褐色 砂質土 赤褐色土粒・埋1cm入無微量 しまり強・粘性弱 洪水堆積層
- II-2層 10YR4/4褐色 砂質土 赤褐色土粒・埋1cm入無微量 しまり強・粘性弱 洪水堆積層
- 2層 10YR4/3に多い黄褐色 腐化物0.2~0.5cm入無微量 しまり強・粘性有 整地土①
- 3層 10YR4/3に多い黄褐色 腐化物0.2~0.5cm入無微量 褐色土ブロック多量に混じる しまり強・粘性有 整地土②

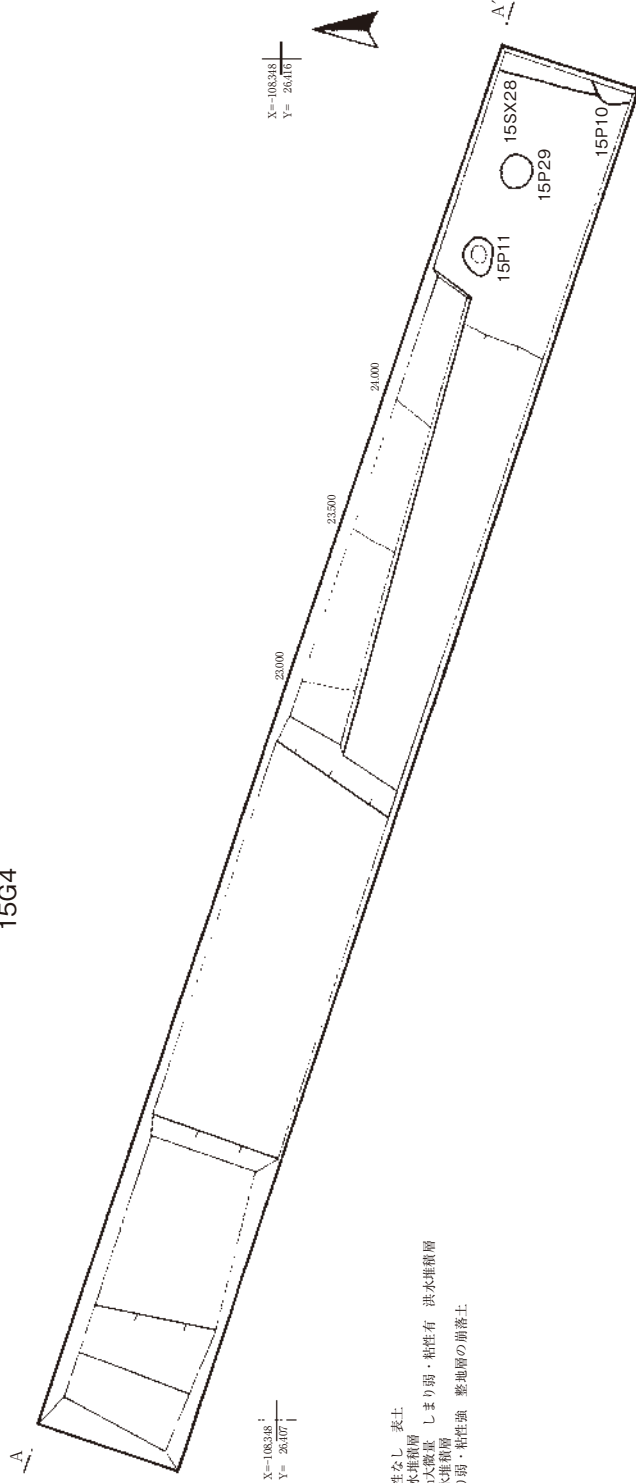
第77図 15G1

A' L=25,600m



A L=23,500m

15G4



X=108348
Y=26416

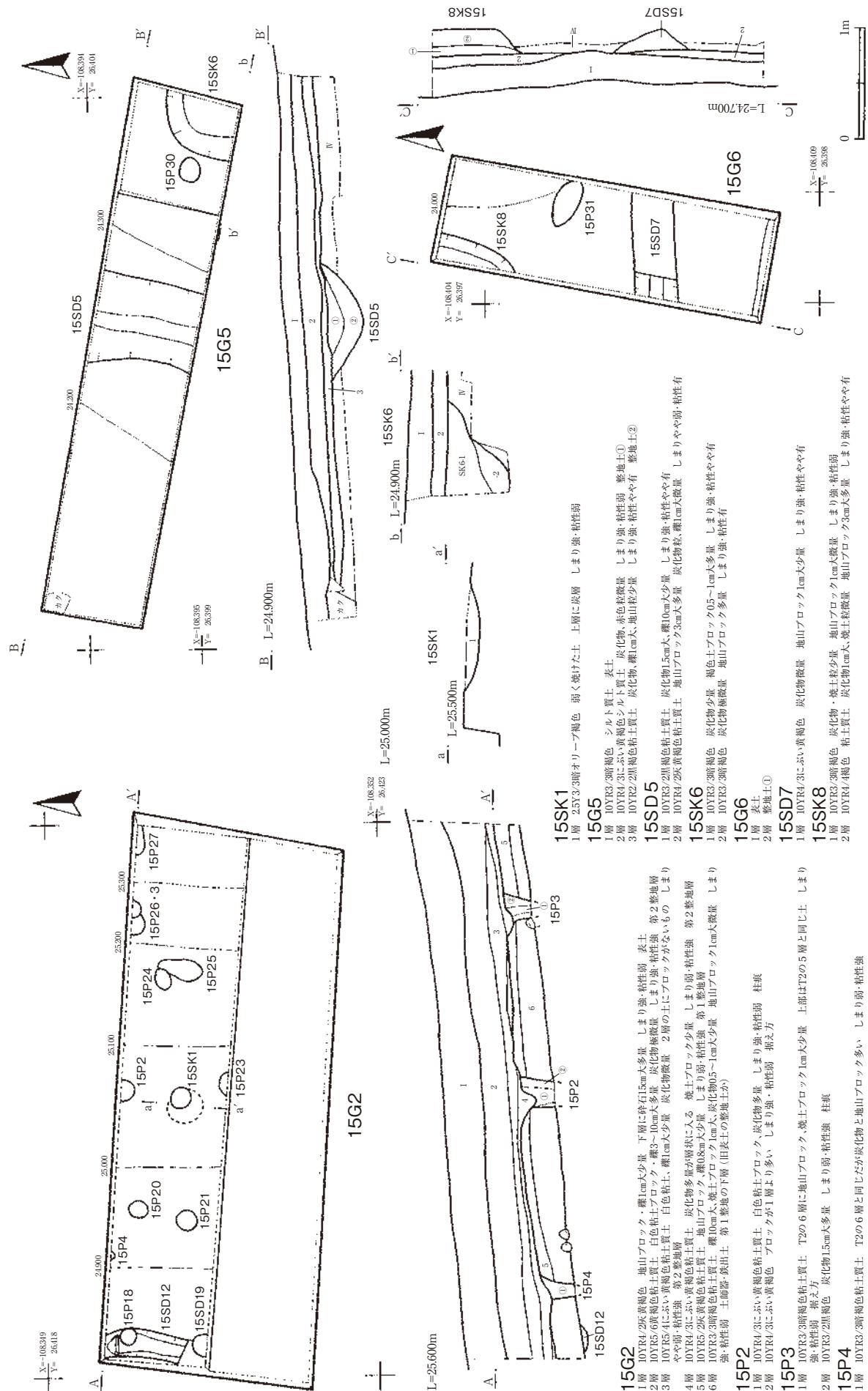
X=108348
Y=26416

15G4

1-2層 10YR3/4暗褐色 3層と同じだが白っぽい土 しまり弱・粘性なし 表土
1-1層 10YR5/6黄褐色 3層より荒い砂層 しまり弱・粘性有 洪水堆積層
II-2層 10YR4/3にふい、黄褐色 細かい砂層が塊状に堆積 炭化物1cm大微量 しまり弱・粘性有 洪水堆積層
II-3層 10YR4/6褐色 粘土含土、シルト質 しまり弱・粘性有 洪水堆積層
a層 10YR4/3にふい、黄褐色 黄褐色土ブロック・炭化物少量 しまり弱・粘性強 整地層の崩落土
SX28 10YR3/3暗褐色 炭化物少量 しまり強・粘性やや有
2・4・5・6層 15G2と同じ



第79図 15G4



第80図 15G2・15G5・15G6

第8表 確認遺構一覧表

遺構名	長さ	幅	遺構名	長さ	幅	遺構名	長さ	幅	遺構名	長さ	幅
9-10P2	0.27	0.26	9-10P171	0.29	0.29	9-10P331	0.13	0.13	9-10P1016	0.40	0.25
9-10P3	0.32	0.32	9-10P172	0.24	0.24	9-10P332	0.22	0.22	9-10P1018	0.48	0.35
9-10P7	0.20	0.20	9-10P173	0.31	0.29	9-10P333	0.17	0.15	9-10P1027	0.40	0.36
9-10P8	0.28	0.28	9-10P174	0.20	0.20	9-10P334	0.13	0.12	9-10P1047	0.22	0.20
9-10P14	0.14	0.14	9-10P175	0.23	0.20	9-10P335	0.18	0.17	9-10P1056	0.35	0.35
9-10P15	0.43	0.40	9-10P176	0.35	0.31	9-10P336	0.19	0.17	9-10P1063	0.30	0.30
9-10P19	0.30	0.30	9-10P177	0.30	0.28	9-10P337	0.34	0.32	9-10P1064	0.23	0.18
9-10P20	0.20	0.19	9-10P179	0.29	0.24	9-10P338	0.23	0.20	9-10P1065	0.22	0.22
9-10P21	0.19	0.18	9-10P181	0.23	0.20	9-10P339	0.35	0.35	9-10P1066	0.21	0.21
9-10P22	0.24	0.22	9-10P182	0.34	0.29	9-10P340	0.21	0.21	9-10P1067	0.29	0.29
9-10P23	0.18	0.17	9-10P184	0.18	0.15	9-10P341	0.10	0.10	9-10P1075	0.41	0.38
9-10P25	0.23	0.17	9-10P194	0.17	0.15	9-10P342	0.20	0.18	9-10P1084	0.33	0.33
9-10P27	0.47	0.39	9-10P195	0.19	0.19	9-10P343	0.18	0.18	9-10P1086	0.26	0.24
9-10P30	0.21	0.21	9-10P198	0.35	0.35	9-10P344	0.32	0.27	9-10P1087	0.20	0.20
9-10P32	0.28	0.27	9-10P199	0.29	0.28	9-10P345	0.29	0.27	9-10P1088	0.22	0.20
9-10P37	0.42	0.35	9-10P203	0.37	0.25	9-10P346	0.29	0.25	9-10P1089	0.17	0.17
9-10P38	0.30	0.28	9-10P207	0.19	0.18	9-10P348	0.20	0.19	9-10P1090	0.45	0.45
9-10P39	0.24	0.24	9-10P208	0.73	0.24	9-10P349	0.18	0.18	9-10P1091	0.63	0.20
9-10P40	0.23	0.22	9-10P209	0.25	0.22	9-10P350	0.27	0.26	9-10P1098	0.42	0.42
9-10P42	0.50	0.50	9-10P210	0.45	0.40	9-10P351	0.17	0.15	9-10P1101	0.28	0.25
9-10P44	0.20	0.18	9-10P215	0.37	0.36	9-10P352	0.22	0.22	9-10P1103	0.24	0.24
9-10P46	0.42	0.35	9-10P218	0.30	0.29	9-10P353	0.29	0.24	9-10P1104	0.21	0.21
9-10P48	0.35	0.23	9-10P221	0.27	0.27	9-10P354	0.17	0.13	9-10P1109	0.16	0.16
9-10P49	0.40	0.28	9-10P222	0.25	0.24	9-10P355	0.17	0.15	9-10P1110	0.27	0.23～
9-10P51	0.20	0.20	9-10P224	0.20	0.20	9-10P356	0.15	0.15	9-10P1111	0.27	0.27
9-10P52	0.24	0.24	9-10P225	0.14	0.14	9-10P357	0.28	0.22～	9-10P1112	0.25	0.25
9-10P55	0.37	0.30	9-10P227	0.30	0.25	9-10P358	0.10	0.10	9-10P1113	0.26	0.07～
9-10P56	0.27	0.16～	9-10P228	0.37	0.32	9-10P359	0.08	0.08	9-10P1114	0.21	0.21
9-10P57	0.19	0.14	9-10P229	0.40	0.37	9-10P360	0.29	0.29	9-10P1116	0.44	0.37
9-10P58	0.19	0.19	9-10P230	0.30	0.28	9-10P361	0.18	0.15	9-10P1117	0.44	0.43
9-10P59	0.55	0.30	9-10P235	0.19	0.19	9-10P362	0.17	0.17	9-10P1118	0.25	0.20～
9-10P66	0.23	0.19	9-10P237	0.33	0.23	9-10P363	0.36	0.32	9-10P1119	0.39	0.30
9-10P67	0.34	0.33	9-10P238	0.40	0.30	9-10P364	0.17	0.15	9-10P1122	0.40	0.39
9-10P68	0.51	0.20	9-10P240	0.49	0.43	9-10P365	0.17	0.16	9-10P1124	0.25	0.2
9-10P69	0.30	0.27	9-10P242	0.22	0.21	9-10P366	0.17	0.17	9-10SD76	14.80～	0.45
9-10P70	0.12	0.12	9-10P248	0.26	0.26	9-10P367	0.25	0.23	9-10SD90	3.2	0.23
9-10P71	0.37	0.33	9-10P251	0.22	0.19～	9-10P368	0.13	0.13	9-10SD170	4	0.25
9-10P72	0.36	0.32～	9-10P252	0.40	0.37	9-10P369	0.17	0.15	9-10SD394	5.2	0.35
9-10P73	0.25	0.22	9-10P259	0.20	0.17	9-10P370	0.27	0.19	9-10SD396	1.10～	0.30
9-10P74	0.26	0.25	9-10P260	0.25	0.22	9-10P371	0.20	0.20	9-10SD422	2.80～	0.50
9-10P78	0.29	0.27	9-10P261	0.42	0.35	9-10P372	0.27	0.22～	9-10SD1011	1.7	0.16
9-10P79	0.30	0.28	9-10P262	0.27	0.25	9-10P375	0.42	0.35～	9-10SD1021	0.66	0.18
9-10P83	0.17	0.17	9-10P265	0.18	0.18	9-10P376	0.32～	0.22～	9-10SD1042	0.70	0.23
9-10P84	0.28	0.27	9-10P267	0.31	0.26	9-10P377	0.34	0.18	9-10SD1085	5.9	0.99
9-10P86	0.27～	0.25	9-10P268	0.40	0.28	9-10P380	0.30	0.30	9-10SD1093	0.24	0.20
9-10P87	0.29	0.23～	9-10P270	0.18	0.18	9-10P383	0.31	0.29	9-10SK34	0.48	0.25
9-10P88	0.40	0.25	9-10P271	0.27	0.27	9-10P384	0.13	0.13	9-10SK35	0.97	0.40
9-10P89	0.36	0.29	9-10P272	0.40	0.40	9-10P385	0.12	0.12	9-10SK36	0.75	0.50
9-10P93	0.27	0.26	9-10P274	0.30	0.30	9-10P386	0.17	0.15	9-10SK62	0.60	0.38
9-10P95	0.37	0.29	9-10P276	0.18～	0.22	9-10P387	0.17	0.17	9-10SK63	0.50	0.48
9-10P96	0.26	0.24～	9-10P277	0.45	0.15	9-10P388	0.24	0.24	9-10SK65	0.55	0.30～
9-10P98	0.16	0.15	9-10P278	0.21	0.18	9-10P389	0.21	0.21	9-10SK92	0.69	0.35
9-10P99	0.30	0.26	9-10P279	0.23	0.21	9-10P390	0.21	0.21	9-10SK120	0.55	0.50
9-10P100	0.20	0.19	9-10P286	0.13	0.13	9-10P391	0.20	0.19	9-10SK155	1.20	0.75
9-10P102	0.21	0.21	9-10P287	0.37～	0.34	9-10P392	0.32	0.30	9-10SK167	0.72	0.47
9-10P103	0.21	0.21	9-10P290	0.50	0.40	9-10P397	0.44	0.42	9-10SK211	0.38	0.30
9-10P105	0.44	0.40	9-10P291	0.22	0.10～	9-10P398	0.33～	0.35	9-10SK226	1.63	0.48～
9-10P108	0.30	0.28	9-10P292	0.15	0.15	9-10P399	0.30	0.24～	9-10SK241	0.82	0.70
9-10P109	0.29	0.29	9-10P293	0.13	0.13	9-10P400	0.34	0.32	9-10SK243	0.90～	0.65～
9-10P110	0.26	0.20～	9-10P294	0.13	0.11	9-10P401	0.26	0.26	9-10SK263	0.90	0.83
9-10P111	0.21	0.21	9-10P295	0.15	0.15	9-10P402	0.36	0.25	9-10SK297	0.50	0.45
9-10P112	0.34	0.34	9-10P296	0.17	0.17	9-10P403	0.27	0.24	9-10SK347	0.80	0.57
9-10P114	0.17	0.17	9-10P298	0.20	0.20	9-10P404	0.17	0.14	9-10SK381	0.46	0.40～
9-10P115	0.26	0.26	9-10P299	0.30	0.25	9-10P406	0.21	0.19	9-10SK411	0.75	0.29
9-10P117	0.48	0.47	9-10P300	0.27	0.26	9-10P407	0.17	0.11～	9-10SK414	0.70	0.45
9-10P118	0.32	0.28	9-10P302	0.15	0.14	9-10P408	0.20	0.15～	9-10SK425	1.00	0.54～
9-10P119	0.34	0.33	9-10P303	0.27	0.25	9-10P409	0.42	0.41	9-10SK1008	1.44	0.48
9-10P124	0.45	0.39	9-10P304	0.27	0.27	9-10P410	0.35	0.35	9-10SK1009	0.92	0.54
9-10P127	0.42	0.35	9-10P305	0.25	0.25	9-10P412	0.14	0.12	9-10SK1013	0.59	0.59
9-10P131	0.32	0.30	9-10P306	0.12	0.12	9-10P413	0.10	0.10	9-10SK1026	0.67	0.30
9-10P133	0.47	0.44～	9-10P307	0.23	0.23	9-10P415	0.17	0.15	9-10SK1031	0.65	0.25
9-10P134	0.30	0.25	9-10P308	0.15	0.15	9-10P416	0.33	0.27	9-10SK1046	0.66	0.24
9-10P135	0.30	0.29	9-10P309	0.21	0.21	9-10P419	0.27	0.27	9-10SK1055	0.72	0.58
9-10P136	0.40	0.39	9-10P311	0.43	0.20～	9-10P421	0.21	0.19	9-10SK1058	0.84	0.73
9-10P142	0.35	0.22	9-10P312	0.32	0.13	9-10P426	0.22	0.20	9-10SK1060	0.52	0.16～
9-10P143	0.20	0.19	9-10P313	0.20	0.20	9-10P427	0.45	0.44	9-10SK1073	0.74	0.5
9-10P144	0.12	0.12	9-10P314	0.25	0.25	9-10P428	0.43	0.36	9-10SK1074	0.61	0.47
9-10P145	0.20	0.20	9-10P315	0.24	0.22	9-10P429	0.25	0.22	9-10SK1076	0.88	0.66
9-10P148	0.50	0.38	9-10P316	0.33	0.15	9-10P430	0.25～	0.24	9-10SK1082	0.78	0.48
9-10P149	0.18	0.15	9-10P317	0.24	0.19	9-10P443	0.25	0.25	9-10SK1083	0.57	0.45
9-10P150	0.20	0.20	9-10P318	0.29	0.28	9-10P1001	0.28	0.28	9-10SK1096	0.76～	0.60
9-10P151	0.45	0.25	9-10P321	0.32	0.30	9-10P1002	0.27	0.27	9-10SK1120	0.8	0.46
9-10P152	0.25	0.24	9-10P322	0.29	0.28	9-10P1003	0.27	0.27	9-10SX129	1.35	0.18
9-10P154	0.53	0.25	9-10P323	0.12	0.10	9-10P1004	0.37	0.26	9-10SX236	1.30	1.10～
9-10P156	0.29	0.29	9-10P326	0.08	0.08	9-10P1005	0.24	0.22	9-10SX288	0.58	0.10
9-10P157	0.36	0.36	9-10P327	0.35	0.32	9-10P1010	0.20	0.20	9-10SX289	1.15	0.15
9-10P158	0.47	0.35	9-10P328	0.30	0.15	9-10P1012	0.29	0.24	9-10SX393	0.50	0.30
9-10P161	0.35	0.34	9-10P329	0.14	0.14	9-10P1014	0.30	0.18～	9-10SX420	2.50～	0.21～
9-10P166	0.39	0.39	9-10P330	0.11	0.11	9-10P1015	0.31	0.31	9-10SX424	5.5	1.60～

遺構名	長さ	幅	遺構名	長さ	幅	遺構名	長さ	幅	遺構名	長さ	幅
9-10SX431	1.83	1.30～	11P154	0.21	0.21	12P118	0.3	0.27	12P239	0.22	0.1
9-10SX1007	0.85	0.38	11P155	0.22	0.22	12P121	0.30		12P240	0.16	
9-10SX1061	0.35		11P156	0.28	0.28	12P122	0.3	0.28	12P241	0.37	0.32
9-10SX1068	3.35～	1.15	11P157	0.40	0.40	12P124	0.20		12P242	0.34	0.31
9-10SX1092	2.4	0.40	11P158	0.40～	0.30	12P125	0.21		12P243	0.25	0.22
9-10SX1102	1.88	0.97	11SD107	1.00	0.85	12P126	0.29	0.26	12P244	0.18	
9-10SX1121	0.47	0.17	11SD160	1.2～	0.8	12P129	0.35	0.28	12P245	0.17	
9-10SX1123	0.50	0.14	11SK80	0.70	0.35～	12P130	0.2	0.18	12P246	0.15	
10P432	0.36	0.24	11SK95	0.83	0.52	12P131	0.22		12P247	0.27	0.16
10P439	0.27	0.20～	11SK119	0.40	0.30～	12P132	0.23	0.19	12P248	0.16	
10SD433	0.40	0.40	11SK135	0.74	0.51	12P135	0.28		12P249	0.16	
10SD434	0.45	0.35	11SK151	0.66	0.59	12P136	0.30		12P250	0.11	0.1
10SD436	0.61	0.53	11SX72	0.98	0.30	12P137	0.27	0.17	12P251	0.28	0.11～
10SD437	0.80	0.30	11SX81	1.12	0.35	12P138	0.25	0.22	12P252	0.24	
10SD438	0.48	0.33	11SX108	1.40	0.35	12P139	0.35	0.32	12P254	0.15	
10SX435	1.40		11SX109	不明	不明	12P140	0.27	0.22	12P255	0.2	0.17
11P9	0.29	0.29	11SX110	0.80	0.44	12P141	0.17	0.13	12P256	0.35	0.32
11P12	0.24	0.24	12P5	0.18		12P142	0.20		12P257	0.22	
11P13	0.20	0.20	12P7	0.45		12P143	0.21	1.5	12P258	0.15	
11P21	0.30	0.24～	12P8	0.30	0.25	12P146	0.3	0.22	12P259	0.23	0.18
11P29	0.45～	0.24～	12P9	0.39	0.28	12P147	0.16	0.14	12P260	0.25	
11P39	0.30	0.30	12P11	0.16		12P148	0.30	0.27	12P261	0.33	0.2
11P41	0.25	0.25	12P12	0.14	0.12	12P152	0.28		12P262	0.15	
11P60	0.29	0.27	12P13	0.30		12P153	0.15	0.13	12P264	0.15	
11P62	0.30	0.27	12P14	0.34	0.31	12P154	0.32	0.17～	12P265	0.4	0.35
11P69	0.40	0.15	12P16	0.33	0.27	12P155	0.37	0.15～	12P266	0.34	
11P73	0.40	0.33	12P17	0.3	0.23	12P156	0.23		12P267	0.24	0.17
11P74	0.26	0.26	12P18	0.4	0.25	12P157	0.17	0.15	12P268	0.22	0.2
11P75	0.19	0.19	12P23	0.33		12P158	0.2	0.17	12P269	0.25	0.20
11P76	0.22	0.22	12P24	0.26	0.25	12P159	0.17		12P270	0.25	0.22
11P77	0.21	0.21	12P26	0.25		12P160	0.3	0.27	12P271	0.25	
11P78	0.23	0.23	12P27	0.19	0.17	12P161	0.14		12P272	0.25	
11P79	0.22	0.22	12P29	0.35		12P162	0.27		12P273	0.28	0.25
11P82	0.25	0.25	12P30	0.25	0.23	12P165	0.2	0.17	12P274	0.25	
11P83	0.27	0.27	12P32	0.25		12P166	0.26	0.22	12P275	0.25	0.21
11P84	0.20	0.20	12P34	0.28	0.15	12P170	0.25	0.2	12P276	0.45	0.38
11P85	0.22	0.20	12P36	0.23		12P171	0.14		12P277	0.33	0.3
11P86	0.25	0.20	12P37	0.25	0.22	12P175	0.30		12P280	0.17	
11P87	0.20	0.20	12P39	0.28	0.25	12P176	0.20		12P281	0.3	0.29
11P88	0.34	0.34	12P50	0.31	0.21	12P177	0.35	0.32	12P283	0.35	0.18
11P89	0.24	0.24	12P51	0.24		12P178	0.26	0.25	12P285	0.17	0.15
11P90	0.30	0.28～	12P53	0.23	0.18	12P179	0.25		12P287	0.22	
11P91	0.21	0.21	12P54	0.25	0.19	12P180	0.15		12P288	0.34	0.25
11P92	0.40	0.40	12P55	0.17		12P181	0.15	0.12	12P291	0.18	0.10
11P93	0.35	0.32	12P56	0.19	0.17	12P183	0.26		12P292	0.25	
11P94	0.26	0.26	12P57	0.36	0.35	12P184	0.23		12P293	0.3	0.27
11P96	0.25	0.13～	12P58	0.25	0.23	12P185	0.20		12P297	0.25	
11P97	0.30	0.27	12P59	0.23	0.21	12P186	0.20		12P299	0.2	0.17
11P98	0.40	0.36	12P60	0.25		12P187	0.27		12P300	0.23	0.16～
11P99	0.24	0.23	12P61	0.23	0.15	12P189	0.20		12P301	0.24	0.22
11P100	0.18	0.18	12P62	0.17		12P190	0.23		12P302	0.43	0.2
11P111	0.24	0.24	12P63	0.15		12P191	0.15	0.1	12P303	0.26	
11P112	0.24	0.24	12P64	0.38	0.23	12P192	0.18		12P304	0.29	0.25
11P113	0.29	0.29	12P65	0.25	0.20	12P193	0.22	0.2～	12P305	0.5	0.15
11P114	0.23	0.23	12P66	0.30	0.26	12P194	0.17		12P306	0.30	
11P115	0.20	0.20	12P67	0.30	0.28	12P196	0.20		12P307	0.25	
11P116	0.16	0.11	12P68	0.17		12P197	0.18	0.16	12P308	0.27	0.23
11P117	0.20	0.15	12P69	0.18		12P198	0.22		12P309	0.27	0.2
11P118	0.20	0.20	12P70	0.25	0.23	12P199	0.21		12P310	0.25	
11P120	0.20	0.20	12P71	0.29	0.27	12P200	0.25	0.23	12P311	0.26	0.18
11P121	0.17	0.17	12P72	0.22		12P201	0.19	0.17	12P312	0.30	
11P122	0.19	0.19	12P73	0.26	0.23	12P205	0.28		12P315	0.24	0.2
11P123	0.24	0.24	12P74	0.25	0.18	12P207	0.22	0.18	12P316	0.17	0.15
11P124	0.16	0.16	12P75	0.35	0.34	12P208	0.3	0.28	12P317	0.28	
11P125	0.37	0.37	12P76	0.21		12P209	0.2	0.16	12P318	0.27	0.23
11P126	0.46	0.45	12P77	0.23		12P210	0.25	0.22	12P319	0.25	0.23
11P127	0.19	0.19	12P78	0.25		12P211	0.13		12P321	0.22	
11P128	0.25	0.25	12P80	0.25		12P212	0.20		12P322	0.23	0.22
11P129	0.30	0.26	12P82	0.30		12P213	0.17		12P323	0.25	
11P130	0.33	0.17	12P83	0.23		12P214	0.24		12P325	0.24	0.22
11P131	0.14～	0.12	12P84	0.27	0.23	12P215	0.17		12P326	0.21	0.2
11P132	0.26	0.23	12P85	0.30	0.29	12P216	0.20	0.16	12P327	0.53	0.13
11P133	0.20	0.20	12P88	0.23	0.2	12P217	0.20		12P328	0.14	0.12
11P134	0.30	0.30	12P89	0.19	0.16	12P218	0.23		12P329	0.26	0.24
11P136	0.16	0.16	12P91	0.35	0.3	12P219	0.17	0.15	12P330	0.22	0.2
11P137	0.25	0.20	12P92	0.45	0.30	12P220	0.27	0.23	12P331	0.34	0.29
11P138	0.16	0.16	12P96	0.3	0.27	12P221	0.25		12P333	0.16	0.15
11P139	0.14	0.14	12P98	0.20	0.17	12P222	0.18	0.13	12P334	0.28	
11P140	0.30	0.27	12P99	0.2	0.18	12P223	0.18		12P335	0.23	
11P141	0.27	0.24	12P100	0.37	0.23	12P225	0.21		12P336	0.21	
11P142	0.34	0.34	12P101	0.41	0.3	12P226	0.21	0.19	12P337	0.23	
11P143	0.29	0.29	12P103	0.37		12P227	0.23		12P338	0.15	0.14
11P144	0.20	0.20	12P104	0.37	0.34	12P228	0.31	0.26	12P342	0.16	0.15
11P145	0.24	0.24	12P105	0.25		12P230	0.15	0.12	12P344	0.25	0.24
11P146	0.26	0.21	12P106	0.27	0.25	12P231	0.15		12P345	0.15	0.13
11P147	0.30	0.30	12P107	0.24	0.2	12P232	0.23	0.2	12P349	0.23	0.19
11P148	0.24	0.20	12P108	0.40		12P233	0.32	0.23	12P351	0.22	
11P149	0.33	0.33	12P109	0.15	0.1	12P234	0.15		12P353	0.22	0.20
11P150	0.29	0.29	12P110	0.3	0.27	12P235	0.33	0.20	12P354	0.25	0.22
11P152	0.22	0.22	12P111	0.20		12P237	0.28	0.26	12P355	0.19	0.17
11P153	0.20	0.20	12P113	0.3	0.26	12P238	0.2	0.18	12P356	0.3	0.15～

遺構名	長さ	幅
12P357	0.18	0.16
12P359	0.23	
12P360	0.22	
12P361	0.25	
12P363	0.23	0.2
12P364	0.21	
12P365	0.27	
12P369	0.19	
12P370	0.30	
12P373	0.25	0.23
12P374	0.27	
12P377	0.26	
12P379	0.24	
12P383	0.28	0.24
12P384	0.22	
12P385	0.45	0.2
12P388	0.24	
12P390	0.42	0.32
12P391	0.22	
12P392	0.24	
12P393	0.4	0.35
12P395	0.24	0.21
12P396	0.21	
12P398	0.38	
12P399	0.22	
12P400	0.27	
12P401	0.47	0.44
12P402	0.28	0.20
12P403	0.22	
12P404	0.16	
12P405	0.2	0.16
12P406	0.27	
12P407	0.23	0.21
12P408	0.23	0.21
12P409	0.3	0.26
12P410	0.25	0.23
12P413	0.25	0.22
12P414	0.25	
12P415	0.16	0.13
12P416	0.16	0.15
12P417	0.24	0.20
12P418	0.21	0.2
12P419	0.30	
12P421	0.27	0.20
12P422	0.23	0.22
12P423	0.19	0.17
12P426	0.24	0.23
12P429	0.2	0.19
12P432	0.18	
12P433	0.28	
12P434	0.18	
12P435	0.25	
12P436	0.20	
12P437	0.24	0.22
12P438	0.25	0.22
12P439	0.27	0.25
12P440	0.25	
12P441	0.22	
12P442	0.16	0.14
12P443	0.15	
12P444	0.15	
12P445	0.31	
12P446	0.20	
12P447	0.28	
12P448	0.35	0.31
12P449	0.28	
12P450	0.26	
12P451	0.23	0.20
12P452	0.21	
12P453	0.19	0.17
12P457	0.21	
12P458	0.23	
12P459	0.23	0.22
12P460	0.20	
12P461	0.2	0.17
12P462	0.20	
12P464	0.45	0.18
12P467	0.43	0.35
12P469	0.23	
12P470	0.2	0.18
12P471	0.26	
12P472	0.2	0.16
12P473	0.20	
12P474	0.16	
12P477	0.30	
12P478	0.34	0.3
12P479	0.24	
12P480	0.23	0.16
12P481	0.18	
12P482	0.28	0.19
12P483	0.25	0.22

遺構名	長さ	幅
12P484	0.2	0.17
12P485	0.16	
12P486	0.17	
12P487	0.25	0.22
12P488	0.18	0.15
12P489	0.28	0.25
12P490	0.18	0.16
12P491	0.20	
12P492	0.15	
12P493	0.24	
12P494	0.17	0.15
12P495	0.3	0.28
12P496	0.23	
12P497	0.72	0.22
12P498	0.25	
12P499	0.15	
12P501	0.22	0.21
12P502	0.26	
12P503	0.17	
12P504	0.32	0.25
12P506	0.24	
12P507	0.20	
12P508	0.35	0.2
12P516	0.25	0.18
12P517	0.25	0.18
12P522	0.26	0.24
12P523	0.26	0.15
12P524	0.2	0.09
12P535	0.16	
12P536	0.22	
12P537	0.21	
12P538	0.35	0.25
12P539	0.28	
12P540	0.26	0.20
12P541	0.30	0.25
12P542	0.21	0.18
12P543	0.27	
12P544	0.27	0.11
12P546	0.25	0.21
12P547	0.21	
12P548	0.21	
12P549	0.21	0.19
12P550	0.34	
12P551	0.18	0.16
12P552	0.17	0.15
12P553	0.26	0.22
12P554	0.30	
12P555	0.26	0.25
12P556	0.27	
12P557	0.21	0.15
12P558	0.29	0.23
12P561	0.22	0.18
12P562	0.21	
12P563	0.28	
12P564	0.24	
12P565	0.15	
12P566	0.15	
12P567	0.25	0.23
12P569	0.2	0.18
12P573	0.58	0.3
12P576	0.21	
12P578	0.12	
12P580	0.18	
12P581	0.4	0.4
12P601	0.20	
12P602	0.22	0.2
12P603	0.24	0.23
12P604	0.21	
12SD133	0.75	0.27
12SD509	15	1.64
12SD575	0.50	0.22
12SK25	0.31	0.25
12SK33	0.80	0.65
12SK35	0.77	0.67
12SK52	0.55	0.5
12SK81	1.26	1.06
12SK87	0.40	0.30
12SK94	1.02	0.81
12SK97	1.26	0.6
12SK112	0.96	0.63
12SK114	0.8	0.64
12SK174	0.98	0.9
12SK289	0.97	0.68
12SK290	0.64	0.52
12SK339	0.8	0.75
12SK340	1.4	0.77
12SK465	1.50	0.54
12SK512	0.67	0.15
12SK515	0.54	0.4
12SK545	0.78	0.27
12SK560	0.56	0.50

遺構名	長さ	幅
12SK568	0.56	0.53
12SK582	1.5	0.7
12SX518	0.62	0.20
12SX583	0.3～	0.3
13P1	0.2	0.16
13P9	0.15	0.15
13P30	0.15	0.13～
13P32	0.25	0.2
13P50	0.4	0.2～
13P61	0.29	0.29
13P62	0.29	0.29
13P63	0.16	0.16
13P64	0.23	0.23
13P65	0.19	0.19
13P66	0.25	0.16
13P67	0.4	0.25
13P68	0.25	0.25
13P69	0.2	0.2
13P71	0.2	0.2
13P72	0.26	0.22
13P74	0.15	0.15
13P75	0.33	0.26
13P76	0.26	0.2～
13P77	0.29	0.29
13P78	0.24	0.24
13P79	0.21	0.21
13P80	0.22	0.22
13P81	0.22	0.18
13P82	0.23	0.23
13P83	0.18	0.16
13P84	0.22	0.18
13P85	0.3	0.27
13P86	0.27	0.18
13P87	0.2	0.2
13P88	0.2	0.2
13P91	0.23	0.18
13P92	0.27	0.22
13P93	0.29	0.27～
13P98	0.2	0.2
13P99	0.24	0.24
13P100	0.15	0.15
13P101	0.15	0.15
13P102	0.13	0.13
13P103	0.24	0.24
13P104	0.22	0.2
13P105	0.18	0.18
13P106	0.16	
13P107	0.25	0.25
13P108	0.3	0.25
13P109	0.2～	0.2
13P110	0.2	0.17
13P111	0.18	0.18
13P112	0.2	0.18
13P114	0.46	0.15～
13P115	0.25	0.23
13P116	0.2	0.2
13P117	0.21	0.21
13P118	0.25～	0.27
13P119	0.12	0.12
13P120	0.29	0.29
13P121	0.08～	0.18
13P147	0.23	0.2
13P152	0.23	0.23
13P159	0.26	0.26
13P162	0.16	0.16
13P163	0.35	0.3
13P169	0.33	0.22～
13P170	0.2	0.09～
13P171	0.16	0.16
13P172	0.34	0.29
13P173	0.23	0.23
13P174	0.29	0.23
13P175	0.2	0.17
13P176	0.16	0.13
13P177	0.24	0.20
13P178	0.15～	0.15
13P179	0.37	0.35
13SD113	1.0～	0.35
13SD125	0.57～	0.32
13SD141	0.37	0.22
13SK51	0.78	0.3
14P81	0.27	0.25～
14P82	0.35	0.33
14P83	0.25	0.22
14SD86	1	0.97
14SD87	1	0.66
14SK84	1.23～	0.45～
14SK85	1.45～	0.4～
14P5	0.51～	0.4～
14P6	0.38	
14P7	0.25	

遺構名	長さ	幅
14P9	0.22	
14P10	0.17	0.15
14P11	0.25	0.23
14P13	0.32	0.2～
14P14	0.27	
14P15	0.17	
14P16	0.24	0.21
14P17	0.26	
14P18	0.21	
14P19	0.23	
14P20	0.24	0.22
14P21	0.22	
14P22	0.4	0.26
14P24	0.24	
14P26	0.32	0.3
14P27	0.43	0.28～
14P32	0.22	
14P33	0.25	0.23
14P35	0.21	
14P36	0.3	0.25
14P37	0.27	
14P38	0.27	0.25
14P41	0.27	0.25
14P44	0.20	
14P47	0.2	0.17
14P48	0.20	
14P49	0.24	
14P50	0.21	
14P51	0.19	0.16
14P52	0.25	
14P53	0.28	
14P54	0.16	
14P55	0.16	
14P57	0.20	0.18
14P58	0.20	
14P59	0.20	
14P61	0.20	0.18
14P64	0.21	
14P68	0.21	0.18～
14P69	0.20	
14P78	0.19	0.15～
14P79	0.2	0.15～
14P80	0.18	0.18
14P89	0.19	0.1～
14P90	0.33	0.15～
14P91	0.22	0.1～
14P92	0.18	0.08～
14P93	0.16～	0.17～
14P94	0.46～	0.35
14P95	0.21	0.21
14P96	0.21	0.16
14P97	0.23	0.2
14SD98	1.5	0.28
14SD99	2.8	0.36
14SK23	0.95	0.25
14SK28	0.77	0.45～
14SK40	1.15	0.38
14SK70		
14SK88	1.3	1.0
15P10	0.30～	0.15～
15P11	0.25	0.18
15P13	0.38	0.28
15P14	0.20	0.15
15P16	0.40	0.26
15P17	0.24	0.24
15P18	0.16	0.14
15P19	0.22	0.13～
15P20	0.18	0.15
15P21	0.17	0.17
15P23	0.22～	0.08～
15P24	0.28～	0.08～
15P25	0.40	0.20
15P26	0.16～	0.12～
15P27	0.25～	0.07～
15P29	0.23	0.22
15P30	0.22	0.19
15SK31	0.50	0.23
15SX15	0.50～	0.09～
15SX28	1.00～	0.15～



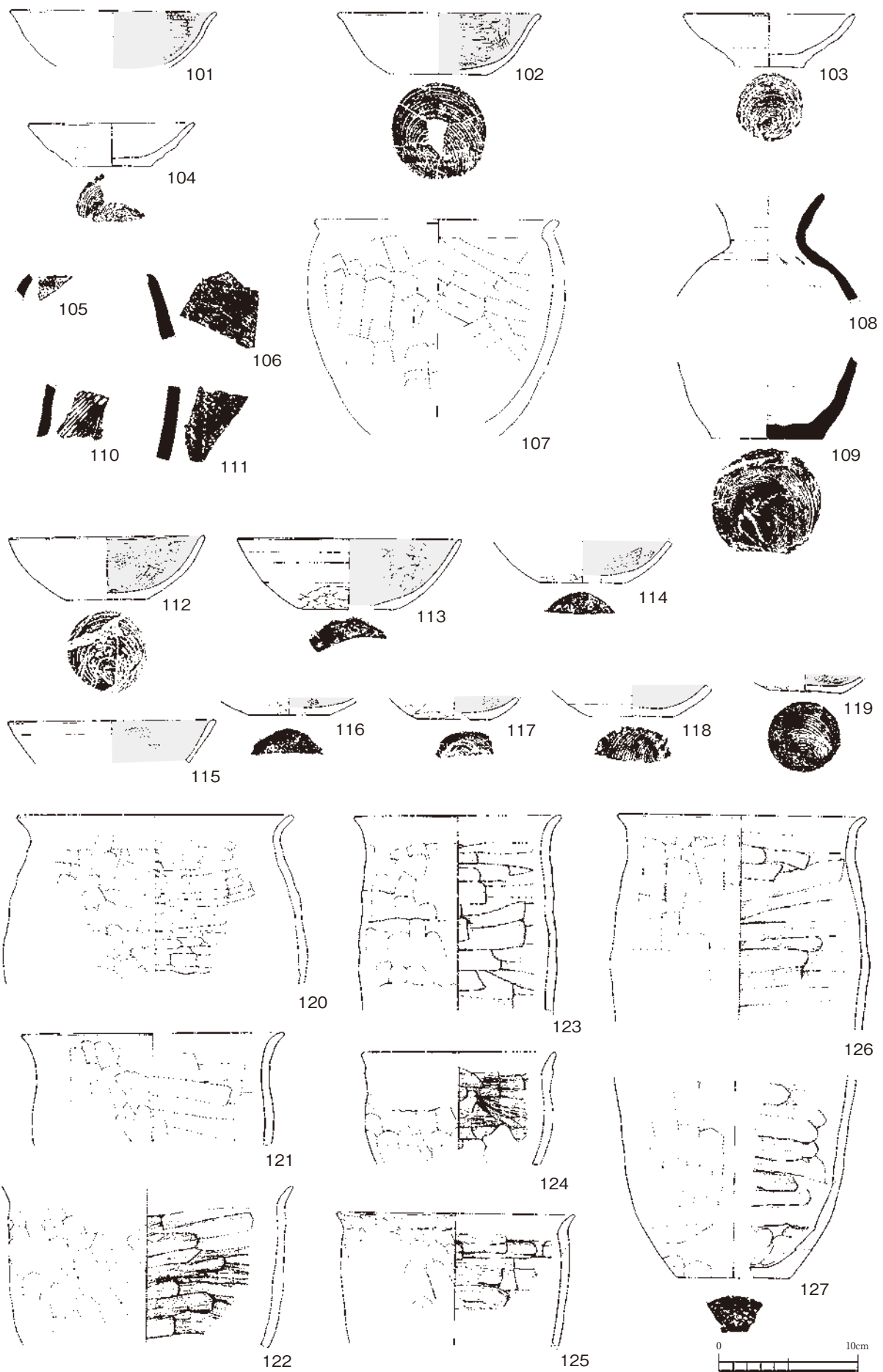
第9表 縄文・弥生土器観察表

No.	出土位置	種別	文様・その他	色調	図
1	14SK70 No.8	縄文土器	RL 横位	にぶい黄橙	81
2	14SK70 No.10	縄文土器	波状口縁	黒褐	81
3	12SK263	弥生土器	縦位燃糸文、上部と下端は斜位、木葉底	暗褐	81
4	12SE45 2層	弥生土器	燃糸圧痕、口唇部刻み	褐灰	81
5	12ⅡB1 E2 攪乱	弥生土器	燃糸圧痕	にぶい褐	81
6	12ⅡB1 T1	弥生土器	燃糸圧痕	にぶい黄橙	81
7	12P127	弥生土器	斜位燃糸文	にぶい黄橙	81
8	13SD126 No.7	弥生土器	縦位燃糸文、8~12同一個体	にぶい黄褐	81
9	13SD126 No.6	弥生土器	縦位燃糸文、8~12同一個体	にぶい黄褐	81
10	13SD126 No.3	弥生土器	縦位燃糸文、8~12同一個体	にぶい黄褐	81
11	13SD126 No.2	弥生土器	縦位燃糸文、8~12同一個体	にぶい黄褐	81
12	13SD126-T2	弥生土器	縦位燃糸文、8~12同一個体	にぶい黄褐	81
13	14SE12 焼土下	弥生土器	縦位燃糸文、13~15同一個体	灰褐	81
14	14SE12 焼土下	弥生土器	縦位燃糸文、13~15同一個体	にぶい橙	81
15	14SE12 6層	弥生土器	縦位燃糸文、13~15同一個体	灰黄褐	81

第10表 石器観察表

No.	出土位置	器種	石材	長さ	幅	厚さ	重量	その他	図
51	11SB1-P8付近攪乱	石鏃	頁岩	2.8	1.0	1.0	1.9	アメリカ式石鏃、先端欠損	81
52	12P6付近攪乱	石鏃	黒曜石	1.4	0.9	0.2	0.39	アメリカ式石鏃、先端と右側面欠損	81

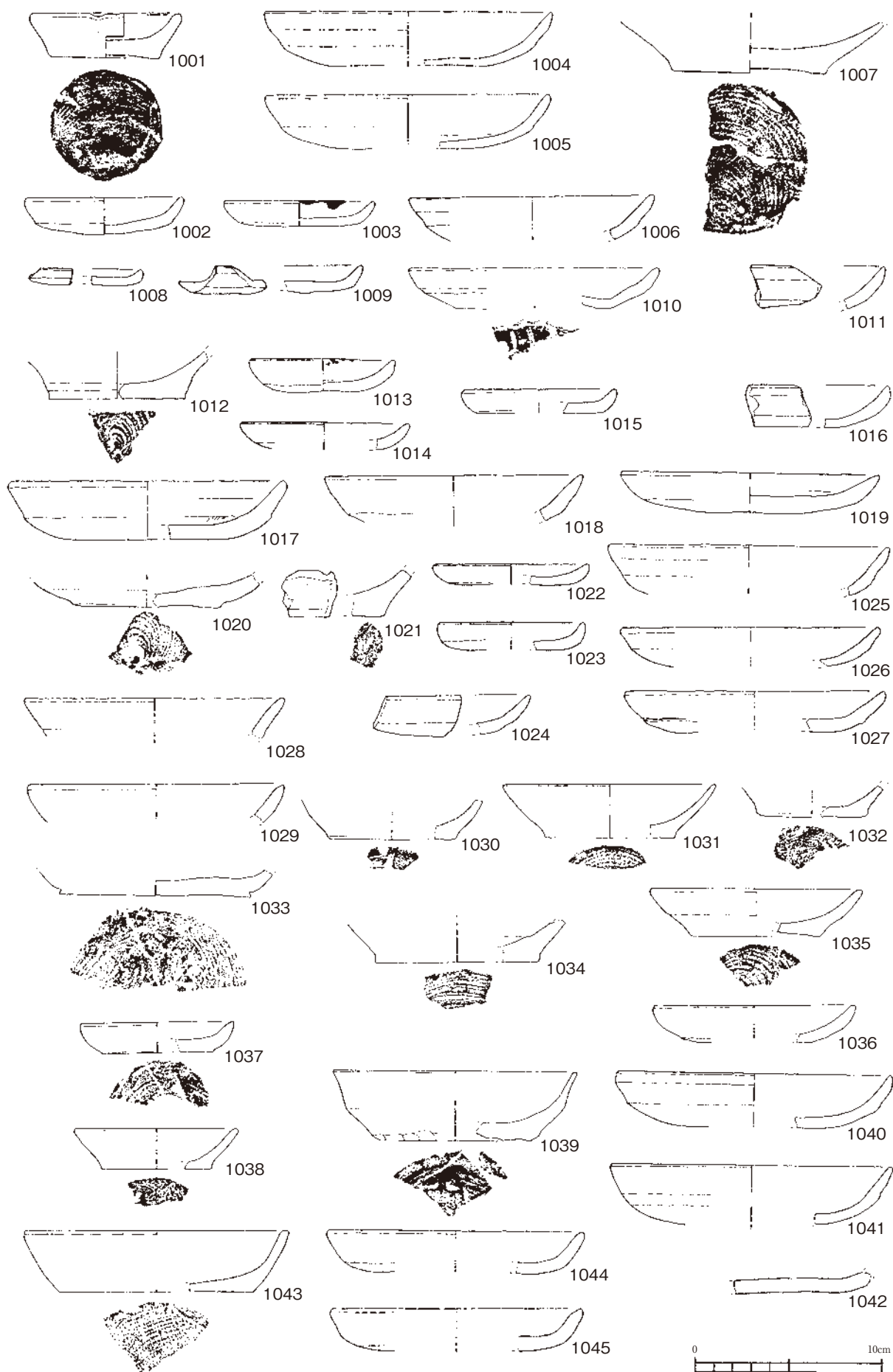
第81図 9~15次出土遺物 縄文・弥生土器・石器



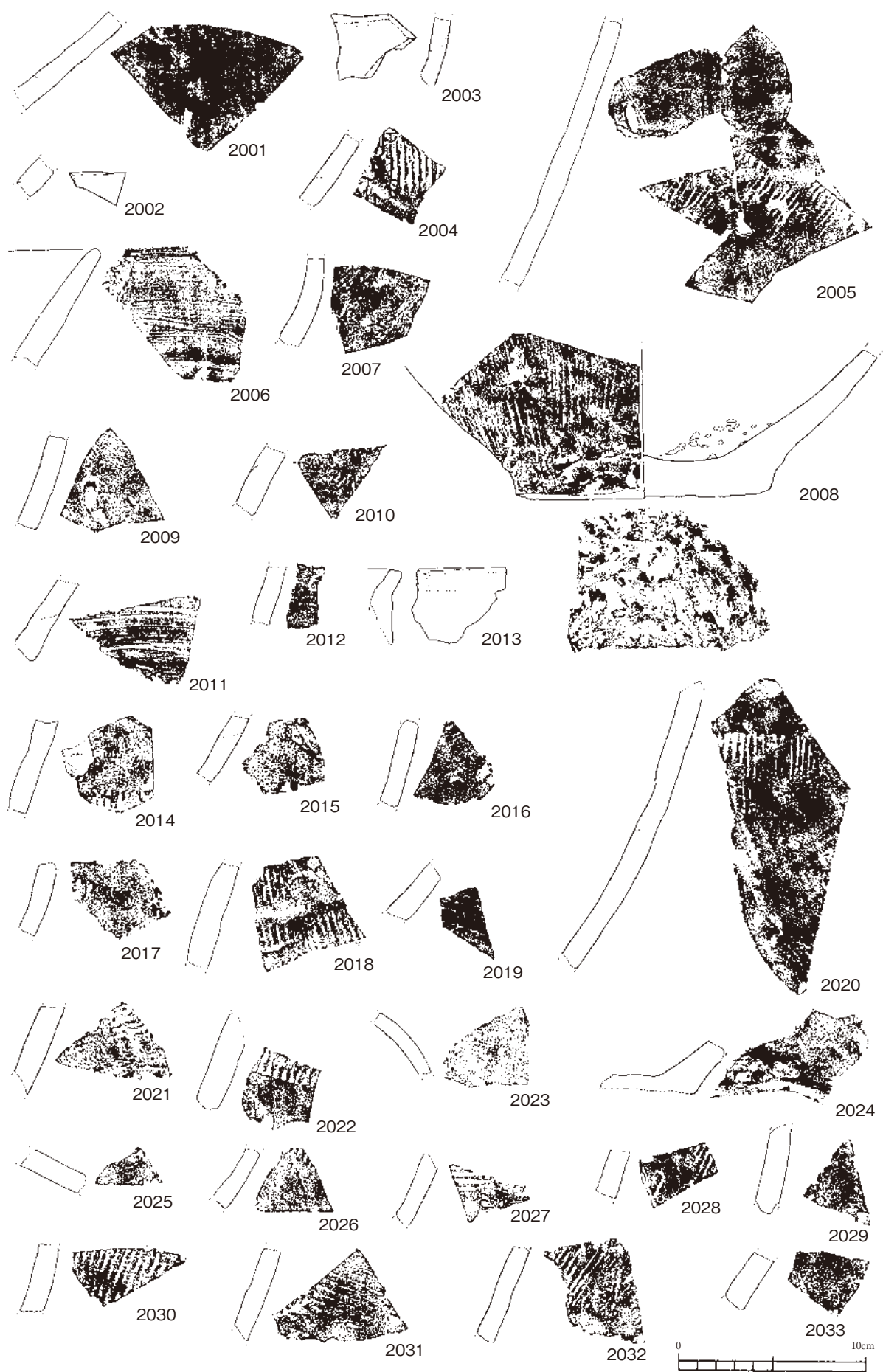
第82図 9~15次出土遺物 土師器・須恵器 (1)



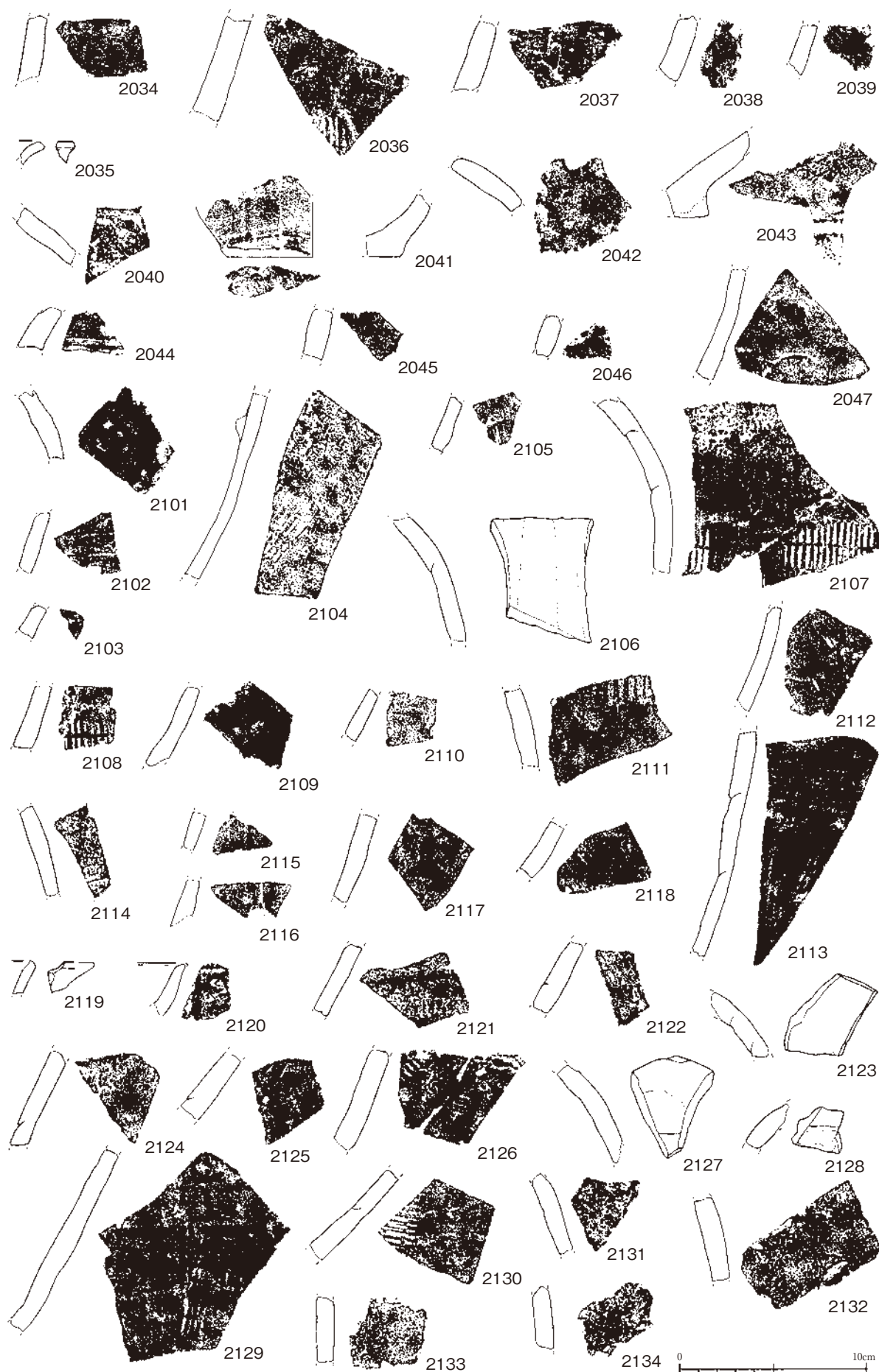
第83図 9～15次出土遺物 土師器・須恵器 (2)



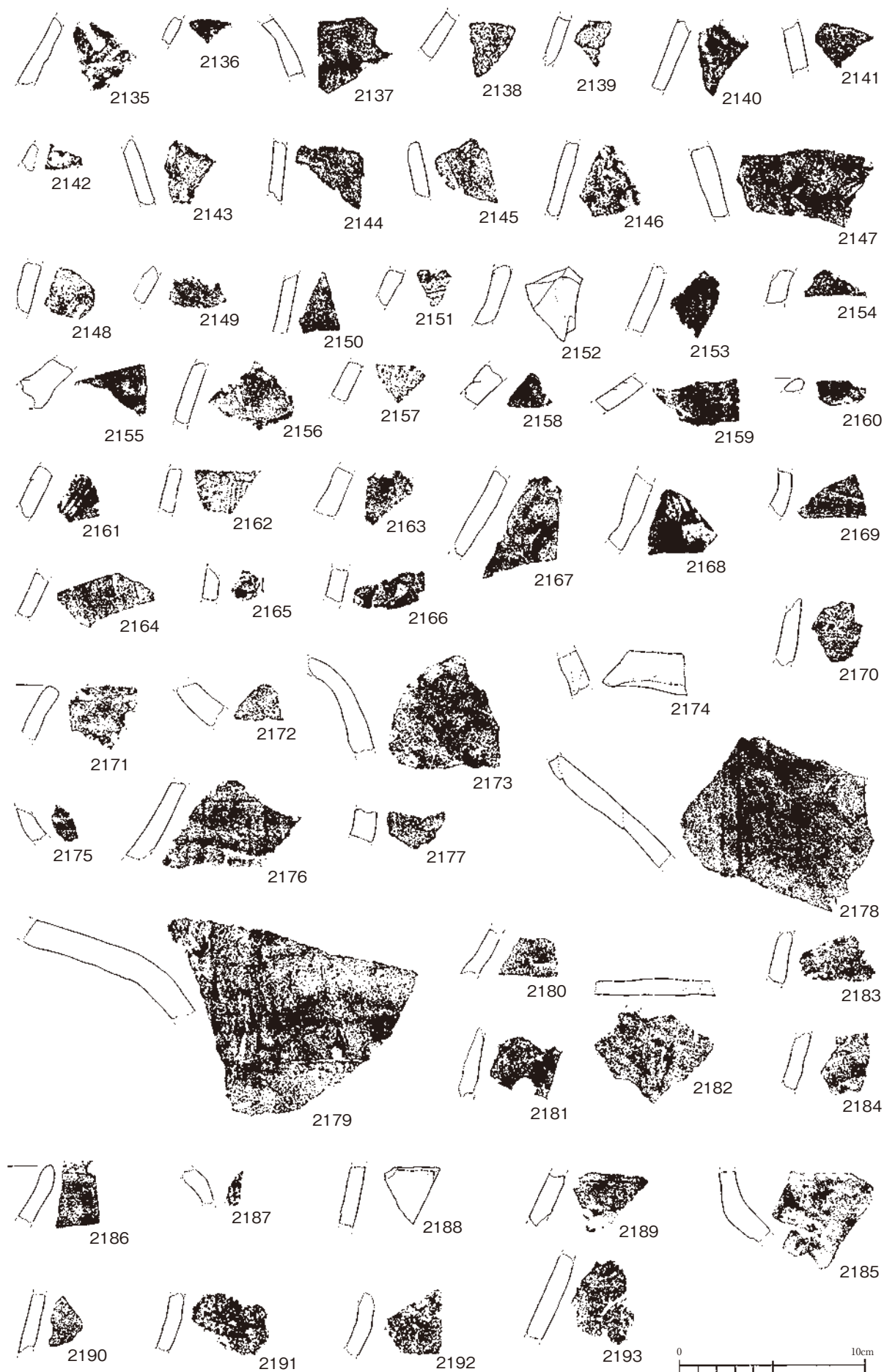
第84図 9~15次出土遺物 かわらけ



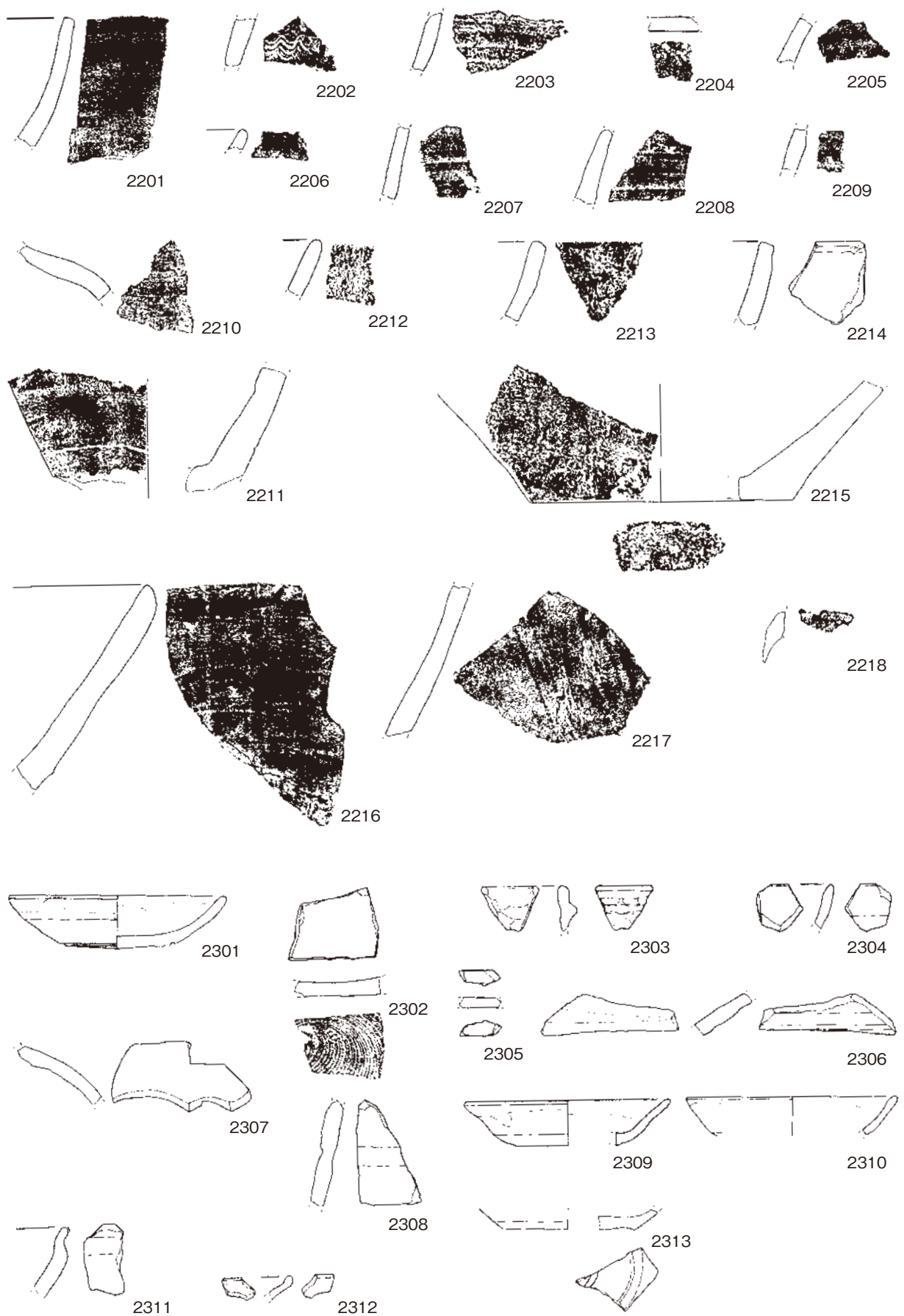
第85図 9～15次出土遺物 国産陶器（渥美）



第86図 9~15次出土遺物 国産陶器（渥美・常滑）



第87図 9~15次出土遺物 国産陶器 (常滑)

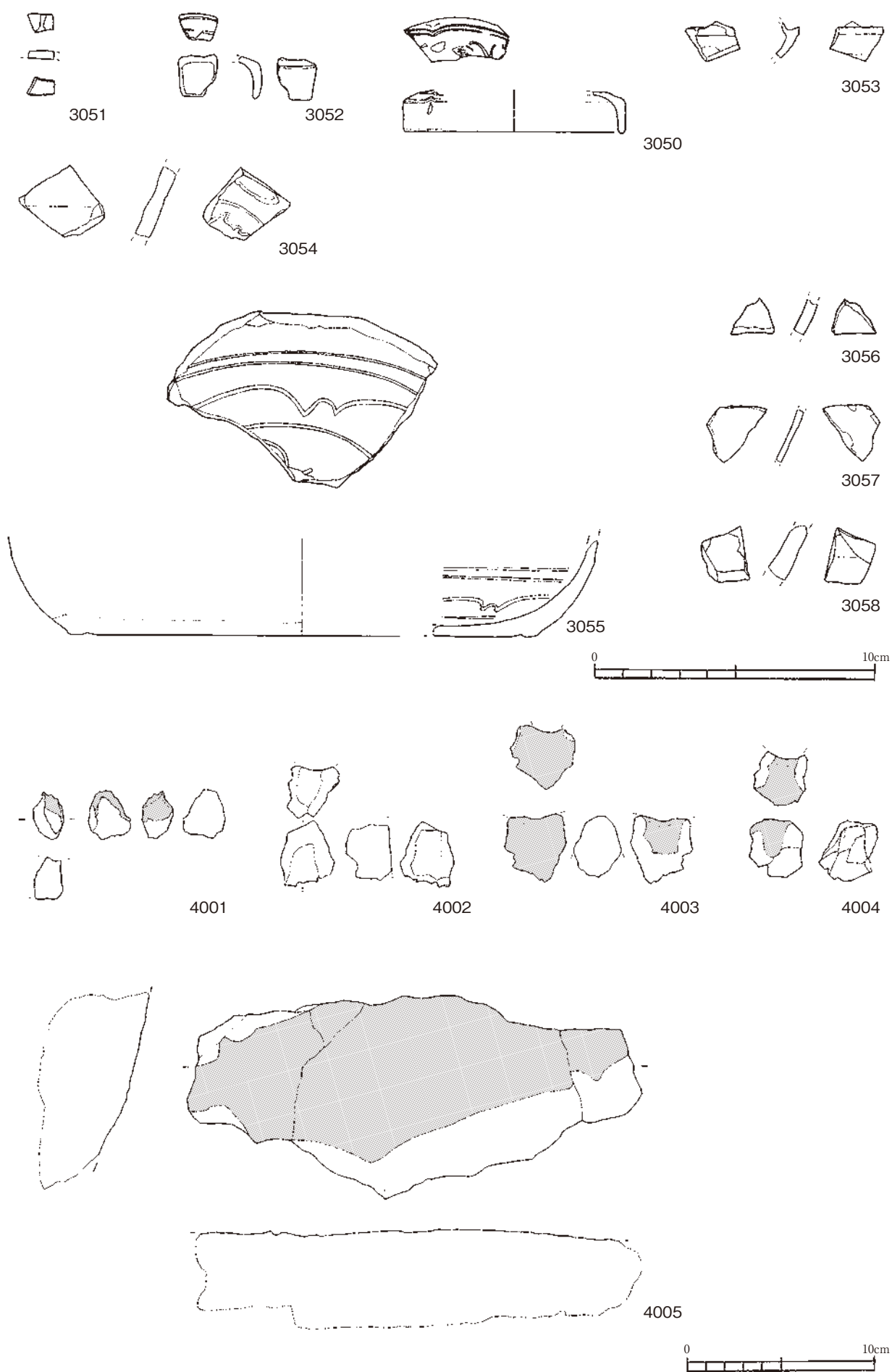


第88図 9～15次出土遺物 国産陶器（その他）

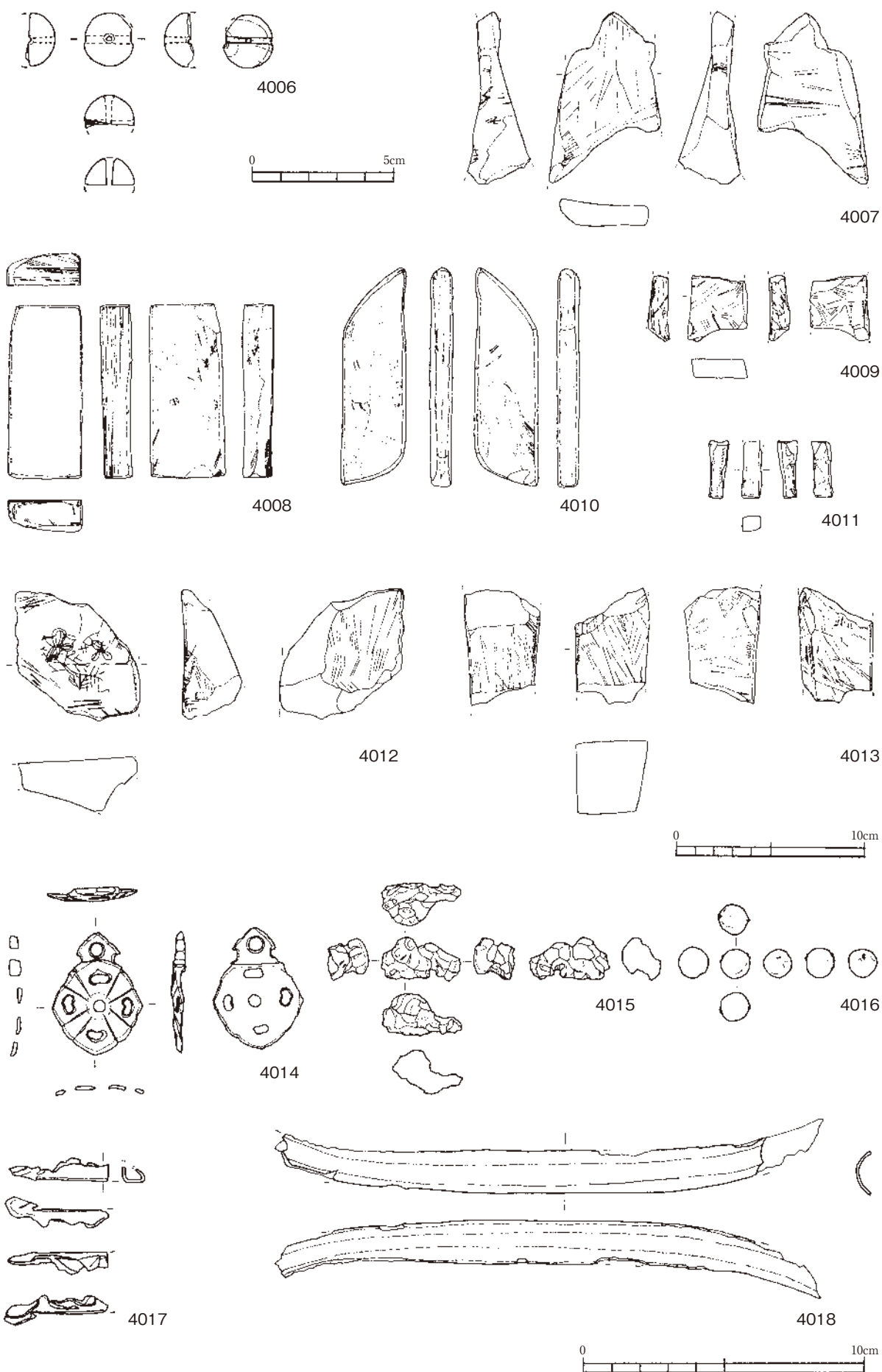




第89図 9～15次出土遺物 貿易陶磁器（白磁・青磁）



第90図 9～15次出土遺物 貿易陶磁器（その他）、土製品



第91図 9~15次出土遺物 石製品、銅製品



第92図 9~15次出土遺物 銅製品 (銭)

第11表 土師器・須恵器観察表

No	出土位置	種別	器種	口径	底径	器高	色調	焼成	残存率	技法	図
101	9・10SI1062	土師器	坏	(14.9)		(4.0)	浅黄橙、	やや硬	1/6	内面黒色処理ヘラミガキ	82
102	10ⅡB1 A	土師器	坏	(14.6)	(7.0)	4.4	にぶい黄橙	やや硬	2/3	回転糸切り、内面黒色処理ヘラミガキ	82
103	10ⅡB1 G区	土師器	坏	(12.4)	5.0	3.8	浅黄橙	やや硬	1/4	回転糸切り	82
104	10ⅡB1 H区	土師器	坏	(12.0)	(5.6)	(3.1)	橙	やや硬	1/4	回転糸切り	82
105	10ⅡB4	須恵器	甕				灰	硬		頸部若干	82
106	9ⅡB1 C Ⅱ層	須恵器	壺類				暗灰	硬		体部若干	82
107	12SH145 No.2	土師器	小型甕	(17.7)		(15.6)	にぶい黄褐	やや硬	1/6	ヘラケズリ、ナデ	82
108	13SK6 No.2	須恵器	瓶類			(7.7)	黄灰	硬	1/8		82
109	13SK6 No.1	須恵器	瓶類		8.0	(5.9)	灰褐	硬	1/8	回転糸切り	82
110	13SD3 T4	須恵器	甕				灰	硬		体部若干	82
111	13ⅡB1 A4 Ⅱ層	須恵器	甕				灰白	硬		体部若干	82
112	14SI43	土師器	坏	(14.1)	5.8	4.5	にぶい黄橙	やや軟	4/5	内面黒色処理ヘラミガキ	82
113	14SI43	土師器	坏	(16.2)	(6.2)	5.1	にぶい橙	やや硬	口～底部1/8	底部と体部下端ヘラケズリ	82
114	14SI43	土師器	坏		(6.0)	(3.1)	浅黄橙	やや硬	底部1/4	底部ヘラケズリ、内面黒色処理ヘラミガキ	82
115	14SI43	土師器	坏	(14.4)		(3.1)	にぶい黄橙	硬	口縁部1/6	内面黒色処理ヘラミガキ	82
116	14SI43	土師器	坏		(5.6)	(1.3)	にぶい橙	やや硬	底部1/4	底部ヘラケズリ、内面黒色処理ヘラミガキ	82
117	14SI43	土師器	坏		(5.2)	(1.7)	にぶい橙	やや硬	底～体部1/3	底部ヘラケズリ、内面黒色処理ヘラミガキ	82
118	14SI43	土師器	坏		(5.8)	(2.3)	橙	やや硬	底部1/3	内面黒色処理・ヘラミガキ	82
119	14SI43	土師器	坏		5.2	(1.25)	にぶい橙	やや硬	底部	内面黒色処理・ヘラミガキ	82
120	14SI43	土師器	甕	(20.0)		(12.2)	にぶい橙	やや硬	口～体部1/5	外：ヘラケズリ、内：指ナデ	82
121	14SI43	土師器	甕	(19.0)		(8.1)	橙	やや軟	口～底部1/8	外：ヘラケズリ、内：ヘラナデ	82
122	14SI43	土師器	甕	(21.0)		(11.6)	明赤褐	やや硬	口～体部1/5	外：ヘラケズリ、内：ハケ目	82
123	14SI43	土師器	甕	(15.0)		(4.1)	橙	やや軟	口～体部1/3	外：ヘラケズリ、内：ハケ目	82
124	14SI43	土師器	小型甕	(14.0)		(8.1)	橙	やや硬	口～体部1/4	底部ヘラケズリ・ハケナデ、内：ハケ目	82
125	14SI43	土師器	小型甕	(17.2)		(9.5)	橙	やや軟	口～体部1/4	外：ヘラケズリ、内：ハケ目	82
126	14SI43	土師器	甕	(17.6)		(15.4)	橙	やや硬	口～体部1/5	外：ヘラケズリ、内：ハケ目・ヘラケズリ	82
127	14SI43	土師器	甕		(8.0)	(14.4)	明赤褐	やや硬	底～体部1/9	外：ヘラケズリ、内：ハケ目・ヘラケズリ	82
128	14SI43	土師器	甕	(16.4)		(5.5)	明赤褐	やや硬	口縁部1/2	外：ヘラケズリ・横ナデ、内：ハケ目	83
129	14SI43	土師器	小型甕		8.0	(7.0)	にぶい黄橙	やや硬	底部4/5	外：ヘラケズリ、内：ハケ目	83
130	14SI43	土師器	甕		(9.2)	(7.8)	明赤褐	やや硬	底部1/5	外：ヘラケズリ、内：ハケ目・指ナデ	83
131	14SI43	土師器	甕		(10.0)	(4.1)	灰黄褐	硬	底部1/8	外：ヘラケズリ、内：ヘラナデ	83
132	14SI43	土師器	甕	(22.6)		(19.1)	にぶい橙	やや軟	1/2	外：ヘラケズリ、内：ヘラナデ	83
133	14SI43	土師器	甕		(8.0)	(3.6)	橙	やや硬	底部2/3	外：ヘラケズリ、内：ハケ目	83
134	14SI43	土師器	甕		(7.6)	(2.3)	にぶい赤褐	やや軟	底部3/4	外：ヘラケズリ、内：指ナデ	83
135	14SI43	土師器	小型壺				黒褐	やや硬	肩部1/5	外：黒色処理ヘラミガキ	83
136	14SI43	須恵器	甕				黄灰	硬	1/10以下	外：ヘラケズリ、内：ヘラナデ	83
137	14SI43	須恵器	瓶類		(10.6)	(10.5)	灰	硬	底～体部1/4	外：ヘラケズリ・指ナデ、内：指ナデ	83
138	14SI43	須恵器	瓶類		(9.8)	(7.9)	灰	硬	1/10以下	外：ヘラケズリ	83
139	14SK71	土師器	甕	(18.4)		(8.9)	明褐	やや硬	口～体部1/3	口クロ成形	83
140	14SK71	土師器	甕	(20.0)		(8.0)	にぶい褐	やや硬	口～体部1/5	外：ヘラケズリ、内：ハケ目	83
141	14SK62	土師器	坏	(16.0)		(3.4)	灰黄褐	やや硬	口縁部1/6	内面黒色処理ヘラミガキ	83
142	14SK62	土師器	小型甕	(12.0)		(5.6)	橙	やや硬	口～体部1/4	外：ヘラケズリ・指ナデ、内：ハケ目	83
143	14SK77	須恵器	甕				灰	硬	肩部1/5	平行叩き	83
144	14SD75 1層	灰釉陶器	瓶類				灰白	硬		体部若干	83
145	15C2 No.8	土師器	坏		(5.2)	(1.6)	浅黄橙	硬	底部1/2	底部回転糸切り後ヘラで調整	83

第12表 かわらけ観察表

No	出土位置	器種	年代	口径	底径	器高	残存率	色調	焼成	胎土	特徴	図
1001	9・10SH200 No.11	ロクロ 小	12c	8.0	6.0	2.5	完形	赤褐	硬	白細砂3%	口縁に焼成前の傷、煤	84
1002	9・10SH200 No.9	手づくね 小	12c	8.6		2.0	1/3	黄橙	硬	白針、透明粗砂各1%		84
1003	9・10SH200 No.3	手づくね 小	12c	(8.2)	(6.6)	1.4	1/4	浅黄橙	やや硬	透明粗砂、透・白・黒・金細砂各1%	油煙付着	84
1004	9・10SH200 No.2+13	手づくね 大	12c	15.6		2.9	1/4	にぶい黄褐	硬	透明粗砂1%		84
1005	9・10SH200 No.12	手づくね 大	12c	15.4		2.9	1/3	黄橙	硬	白針、透明粗砂各1%		84
1006	9・10SH200 No.1	手づくね 大	12c	(13.3)		(2.4)	1/10	灰黄褐	やや硬	透明1%、白1%、金雲母1%		84
1007	9・10SH16	ロクロ 大	12c以降		8.4	3.0	底1/2	浅黄	やや軟	白針3%、白色・透明粗砂各1%		84
1008	9・10SB1-P284	手づくね 小	12c			0.9	1/10	浅黄橙	やや硬	透明・白細砂各1%	内折れ風	84
1009	9・10SB1-P1034	手づくね 小	12c			1.5	1/5	浅黄	硬	透明1%、白1%、黒1%		84
1010	9・10SB2-P139	手づくね 大	12c	(13.6)		(2.2)	1/10	浅黄橙	やや硬	透明粗砂、透明・白・黒・金細砂各1%	底部すのこ痕	84
1011	9・10SE1051	手づくね 大	12c			(2.3)	1/10	浅黄橙	硬	透明・白・黒細砂各1%		84
1012	9・10SE1054 No.5 1層	ロクロ 大	12c以降		(7.4)	(2.6)	底1/8	にぶい黄橙	硬	透明粗砂、透明・白・黒細砂、礫各1%		84
1013	9・10SE1054 No.1 2層+1層	手づくね 小	12c	7.9	3.8	1.85	1/2	灰白	やや硬	透明粗砂、透明・白細砂各1%	口縁部油煙	84
1014	9・10SE1054 No.3 1層	手づくね 小	12c	(9.2)		(1.4)	1/10	浅黄橙	硬	透明・黒細砂各1%		84
1015	9・10SK226 確認面	手づくね 小	12c	(8.4)		(1.3)	1/6	浅黄橙	やや硬	透明・黒細砂各1%		84
1016	9・10P227 確認面	手づくね 大	12c			(2.3)	1/10	にぶい黄橙	硬	透明・白・黒・金細砂各1%		84
1017	9・10SK1050 No.2+3	手づくね 大	12c	(14.8)	(9.0)	3.2	1/4	浅黄橙	やや硬	透明粗砂、白・金・透明・黒細砂各1%		84
1018	9・10SK1095 No.3+4	手づくね 大	12c	(14.0)		(2.6)	1/8	にぶい黄橙	硬	透明・白細砂各1%		84
1019	9・10SK1095 No.6+8	手づくね 大	12c	(14.0)		2.1	1/4	浅黄橙	やや硬	透明粗砂、透明・黒細砂、赤粒各1%		84
1020	9ⅡB1 D	ロクロ 大	12c		(8.0)	(1.8)	底1/4	にぶい赤褐	やや硬	透明・黒細砂各1%、白細砂3%		84
1021	9ⅡB2 B2	ロクロ 大	12c以降				底1/10	橙	硬	透明・白色・黒色細砂1%		84
1022	10ⅡB1 D区	手づくね 小	12c	(8.5)	(6.8)	1.1	1/5	浅黄橙	硬	透明・白・黒細砂各1%		84
1023	10ⅡB1 2トレ	手づくね 小	12c	(8.0)	(6.0)	(1.5)	1/4	にぶい黄橙	硬	透明・白・黒・金細砂各1%		84
1024	9ⅡB1 F	手づくね 大	12c	(10.8)		(2.1)	1/10	にぶい橙	硬	透明・白細砂各1%		84
1025	9ⅡB2 B2	手づくね 大	12c	(15.2)		(2.7)	口1/4	浅黄橙	やや硬	透明粗砂、透明・白・黒・金細砂各1%		84
1026	9ⅡB1 D	手づくね 大	12c	(14.2)		(2.1)	1/8	灰褐色	やや硬	透明粗砂2%、白・金細砂各1%		84
1027	9ⅡB2 C3	手づくね 大	12c	(14.0)		(2.2)	1/6	にぶい黄橙	やや硬	透明・白・黒細砂各1%		84
1028	11SD53	手づくね 大	12c	(17.0)		(2.1)	1/10以下	にぶい黄橙	やや硬	透明1・白細砂各1%		84
1029	11SK1 確認面No.1	手づくね 大	12c	(14.0)		(2.1)	1/10以下	にぶい橙	やや硬	透明粗砂1%、黒・白細砂各1%		84
1030	12SE117 3-4層	ロクロ 大	12c以降		(7.0)	2.1	1/10	灰褐	やや硬	透明・白・黒・金細砂各1%		84
1031	12SE511	ロクロ 大	12c以降	(11.6)	(7.0)	2.9	1/10	灰黄褐	やや硬	礫、透明・白・黒・金細砂各1%		84
1032	12SK46 段下げ	ロクロ 大	12c以降		(6.0)	(2.0)	底1/5	にぶい橙	やや軟	透明・白・黒・金細砂各1%		84
1033	12SE375 No.1+2 1+3層	ロクロ 大	13c前		(10.4)	(1.5)	底1/2	にぶい黄橙	やや硬	透明粗砂2%、白・黒細砂、赤粒、礫各1%		84
1034	12SK102	ロクロ 大	12c以降		(8.9)	(2.3)	底1/10	にぶい黄橙	やや硬	透明・白・黒細砂、赤粒各1%		84
1035	12SK86 段下げ	ロクロ 大	12c以降	(11.6)	(7.1)	2.5	1/6	にぶい黄褐	やや硬	透明・黒・金細砂各1%		84
1036	12P265 確認面	手づくね 小	12c	(11.0)		(2.0)	口1/10	にぶい黄橙	やや硬	金細砂2%、白・黒細砂各1%		84
1037	12ⅡB1 F3 攪乱	ロクロ 小	12c以降	(8.4)	(6.0)	1.65	1/3	浅黄橙	やや硬	透明粗砂、透明・黒細砂、赤粒、礫各1%		84
1038	12P9 確認面	ロクロ 小	12c以降	(9.0)	(6.0)	2.2	1/5	にぶい黄橙	やや硬	透明・白・黒細砂各3%		84
1039	12ⅡB1 F2 攪乱	ロクロ 大	13c前	(13.2)	(8.0)	(3.8)	底1/4	にぶい橙	やや軟	礫、透明・白・黒細砂、赤粒各1%		84
1040	13SE96 No.5 12層	手づくね 大	12c			(2.9)	1/4	にぶい黄橙	硬	透明・白・金細砂各1%		84
1041	13SE97 3層	手づくね 大	12c	(15.4)		(3.1)	1/10	灰黄褐	やや硬	透明・白細砂各1%、金細砂3%		84
1042	13SE96 No.3 6層	手づくね 大	12c			(1.1)	底1/4	橙	硬	透明・白細砂各1%		84
1043	13SE127 炭層No.2	ロクロ 大	13c前	(14.4)	(10.6)	3.3	1/5	にぶい黄橙	硬	透明・白粗砂各1%、透明・白・黒細砂各1%	かなり硬質	84
1044	14SK164 上層	手づくね 大	12c	(14.0)		2.3	1/10	灰黄褐	硬	透明・白・黒細砂各1%、		84
1045	14ⅡB1 E2確認面	手づくね 大	12c	(13.8)		(2.3)	1/10	にぶい黄橙	やや硬	透明・白細砂各1%		84

第13表 国産陶器観察表

No.	遺構	種別	器種	年代	部位	色調	その他	図
2001	9・10SB1-P162 柱痕	渥美	甕	12c	体部	灰白		85
2002	9・10SB3-P26	渥美	甕	12c	体部	暗オリーブ		85
2003	9・10SE1052	渥美	甕	12c	体部	暗オリーブ	釉、 火脹れ	85
2004	9・10SE1052	渥美	甕	12c	体部	黄灰	押印	85
2005	9・10SD1049+ SK1050 No.4+SE1052+ 9次A3	渥美	甕	12c	体部	黄灰	押印、 釉	85
2006	9・10SE1059	渥美	片口鉢	13c前	口縁部	灰		85
2007	9・10SK1095 No.7	渥美	甕	12c	体部	灰褐	釉、火 脹れ	85
2008	9・10SK1050 No.5+SE1051 No.1 5層+SE1051	渥美	大甕	12c第2四 半期	底部	灰黄	押印	85
2009	9・10SK241 確認面	渥美	甕	12c	体部	灰白		85
2010	9・10SX395 3層	渥美	甕	12c	体部	灰		85
2011	9・10SD1022	渥美	片口鉢	12c	体部	灰		85
2012	9ⅡB2 A1 Ⅲ層	渥美	片口鉢	12c	体部	灰白		85
2013	10ⅡB1 G 1層	渥美	甕	12c	口縁部	黒褐	釉	85
2014	9ⅡB2 A2	渥美	甕	12c	体部	灰黄	押印、 火脹れ	85
2015	9ⅡB1 B Ⅱ層	渥美	甕	12c	体部	灰オリーブ		85
2016	9ⅡB2 B1	渥美	甕	12c	体部	にぶい黄 褐	二次転 用	85
2017	9ⅡB2 B3 Ⅱ層	渥美	甕	12c	体部	灰		85
2018	9ⅡB1 C	渥美	甕	12c	体部	灰白	押印	85
2019	9ⅡB2 C2	渥美	甕	12c	体部	灰白		85
2020	10ⅡB2 西 TNo.8	渥美	甕	12c	体部	灰白	押印	85
2021	9ⅡB2 C2 Ⅱ層	渥美	甕	12c	体部	灰白	押印	85
2022	9ⅡB2 C3	渥美	甕	12c	体部	灰	押印	85
2023	9ⅡB1 D	渥美	甕	12c	肩部	灰白		85
2024	9ⅡB2 B3	渥美	甕	12c	底部	黒褐	火脹れ	85
2025	9ⅡB1 D	渥美	甕	12c	体部	灰		85
2026	9ⅡB1 D Ⅱ層	渥美	甕	12c	体部	灰	押印	85
2027	9ⅡB1 D Ⅲ層	渥美	甕	12c	体部	灰白	押印	85
2028	9ⅡB2 D3	渥美	甕	12c	体部	灰	押印	85
2029	9ⅡB1 E	渥美	甕	12c	体部	灰白		85
2030	9ⅡB1 G Ⅱ層	渥美	甕	12c	体部	灰オリーブ	押印	85
2031	9ⅡB1 北壁	渥美	甕	12c	体部	灰白	押印	85
2032	9ⅡB1	渥美	甕	12c	体部	灰白	押印	85
2033	10ⅡB1-2T	渥美	甕	12c	体部	黄灰		85
2034	11SD53 No.1	渥美	甕	12c	体部	灰白		86
2035	12SE43	渥美	山茶碗	12c中	口縁部	黄灰		86
2036	12SD3 No.4	渥美	甕	12c	体部	黄灰	押印	86
2037	12P152 確認面	渥美	甕	12c	体部	暗青灰		86
2038	12ⅡB1 A3~4 I層	渥美	甕	12c	体部	灰褐		86
2039	12ⅡB1西 表土	渥美	甕	12c	体部	灰褐	磨滅	86
2040	13SE97 No.2 5層	渥美	甕	12c	体部	灰オリーブ		86
2041	13SE131 7層	渥美	壺	12c	底部	灰白		86
2042	13SD2 確認面	渥美	壺	12c	体部	灰		86
2043	13SD129 No.1	渥美	甕	12c	底部	にぶい赤 褐		86
2044	14SD75 -62cm	渥美	甕	12c	頸部	灰		86
2045	14ⅡB1 B1 確認面	渥美	甕	12c	体部	灰		86
2046	14ⅡB1 C2	渥美	甕	12c	体部	灰		86
2047	14SX100	渥美	甕	12c	体部	灰		86
2048	9・10SK5	渥美	甕		体部	灰		
2101	9・10SB1-P45 1層	常滑	甕	12c	体部	暗オリーブ		86
2102	9・10SB1-P204	常滑	甕	2~3型式	体部	褐灰		86
2103	9・10SE1051	常滑	甕	12c	体部	灰褐	釉	86

No.	遺構	種別	器種	年代	部位	色調	その他	図
2104	9・10SE1051 No.2 5層	常滑	甕	12c	体部	にぶい赤 褐	押印	86
2105	9・10SE1051	常滑	甕	12c	体部	黄灰		86
2106	9・10SE1059	常滑	甕	12c	肩部	暗オリーブ	釉	86
2107	9・10SE1059 No.2+10ⅡB2	常滑	甕	12c	肩部	にぶい赤 褐	押印、 釉	86
2108	9・10SE1052	常滑	甕	12c	体部	にぶい赤 褐	押印	86
2109	9・10SE1052	常滑	甕	12c	体部	灰オリーブ		86
2110	9・10SE1052 No.2 2層	常滑	甕	12c	体部	灰黄褐		86
2111	9・10SK130	常滑	甕	12c	体部	灰	押印	86
2112	9・10SK197	常滑	甕	2~3型式	体部	黄灰		86
2113	9・10SK1050 No.6	常滑	甕	12c	体部	にぶい赤 褐	押印	86
2114	9・10SD170 確認面	常滑	甕	2~3型式	体部	灰黄褐		86
2115	9・10SD185	常滑	甕	12c	体部	灰		86
2116	9・10SD1022	常滑	甕	12c	体部	灰		86
2117	9・10SD1049	常滑	甕	12c	体部	にぶい赤 褐		86
2118	9・10SD1049	常滑	甕	12c	体部	にぶい赤 褐		86
2119	10ⅡB2 西 TNo.7	常滑	山茶碗	12c	口縁部	灰		86
2120	9ⅡB2 B2 Ⅲ層	常滑	片口鉢 Ⅱ類		口縁部	灰		86
2121	9ⅡB1	常滑	片口鉢 I類 5~ 6a型式		体部	黄灰		86
2122	9ⅡB2 2T I	常滑	甕	12c	体部	にぶい赤 褐		86
2123	9ⅡB1 D	常滑	甕	12c	肩部	暗オリーブ		86
2124	9ⅡB1 C Ⅱ層	常滑	甕	12c	体部	褐		86
2125	9ⅡB2 C1	常滑	甕	12c	体部	にぶい赤 褐		86
2126	9ⅡB2	常滑	甕	12c	体部	暗オリーブ		86
2127	9ⅡB2 A3	常滑	甕	12c	肩部	暗オリーブ	釉	86
2128	9ⅡB2 A3	常滑	甕	12c	頸部	暗オリーブ	釉	86
2129	9ⅡB1 D	常滑	甕	12c	体部	にぶい赤 褐	押印、 釉	86
2130	9ⅡB1 G	常滑	甕	12c	体部	にぶい赤 褐	押印	86
2131	9ⅡB2 SH200 の南	常滑	甕	2~3型式	体部	灰白		86
2132	9ⅡB1 A Ⅱ層	常滑	甕	3~4型式	体部	灰		86
2133	9ⅡB1 I層	常滑	甕	2~3型式	体部	黒褐		86
2134	9ⅡB2 A3	常滑	甕	2~3型式	体部	灰黄褐		86
2135	9ⅡB2 B1	常滑	甕	2~3型式	体部	灰	磨滅	87
2136	9ⅡB2 B3 Ⅱ層	常滑	甕	2~3型式	体部	暗褐		87
2137	9ⅡB2 B3 Ⅲ層	常滑	甕	2~3型式	肩部	黄灰		87
2138	9ⅡB2 C1	常滑	甕	2~3型式	体部	灰黄褐		87
2139	9ⅡB1 C1 I層	常滑	甕	2~3型式	体部	灰		87
2140	9ⅡB2 C3	常滑	甕	2~3型式	体部	灰		87
2141	9ⅡB2 C3	常滑	甕	2~3型式	体部	灰黄褐		87
2142	9ⅡB1 E	常滑	甕	2~3型式	体部	褐灰		87
2143	9ⅡB1 F Ⅱ層	常滑	甕	2~3型式	体部	黒褐	磨滅	87
2144	9ⅡB1 G	常滑	甕	2~3型式	体部	灰		87
2145	9ⅡB1 G Ⅲ層	常滑	甕	2~3型式	体部	灰		87
2146	9ⅡB1 H Ⅱ層	常滑	甕	2~3型式	体部	灰		87
2147	9ⅡB2 No.140	常滑	甕	2~3型式	体部	黄灰		87
2148	9ⅡB1 No.123	常滑	甕	3~4型式	体部	灰		87
2149	9ⅡB1 G Ⅲ層	常滑	甕	2~3型式	体部	黄灰		87
2150	9ⅡB1 G Ⅲ層	常滑	甕	2~3型式	体部	黄灰		87
2151	9ⅡB2 A2	常滑	甕	12c	体部	黄灰		87
2152	9ⅡB1 B	常滑	甕	12c	体部	暗オリーブ	釉	87
2153	9ⅡB2 B1 I層	常滑	甕	12c	体部	暗赤褐		87
2154	9ⅡB2 C1 Ⅱ層	常滑	甕	12c	頸部	灰		87

No.	遺構	種別	器種	年代	部位	色調	その他	図
2155	9ⅡB1 C	常滑	甕	12c	底部	灰褐	釉、火眼れ	87
2156	9ⅡB2 C1	常滑	甕	12c	体部	にぶい赤褐	磨減	87
2157	9ⅡB1 D Ⅱ層	常滑	甕	12c	体部	暗オリーブ	釉	87
2158	9ⅡB1 H Ⅱ層	常滑	甕	12c	体部	灰褐		87
2159	9ⅡB1 I	常滑	甕	12c	体部	灰褐		87
2160	9・10P371付近 確認面	常滑	甕	12c	口縁部	褐灰		87
2161	9ⅡB1 Ⅱ層	常滑	甕	12c	体部	にぶい赤褐	押印	87
2162	9ⅡB2 西壁1層	常滑	甕	12c	体部	灰褐	釉	87
2163	9ⅡB2	常滑	甕	12c	体部	灰	磨減	87
2164	10ⅡB2 西 TNo.9	常滑	甕	12c	体部	灰黄褐		87
2165	10ⅡB1 調査区外	常滑	甕	12c	体部	灰オリーブ		87
2166	10ⅡB1 2T	常滑	甕		体部	灰褐		87
2167	9ⅡB2	常滑	甕	12c	体部	黄灰	釉	87
2168	10ⅡB2 西 TNo.5	常滑	甕	12c	体部	灰オリーブ	押印	87
2169	11SD53	常滑	甕	12c	体部	灰褐		87
2170	11ⅡB1-2T I-2層	常滑	甕		体部	灰黄褐		87
2171	12ⅡB1 表土	常滑	片口鉢	4～5型式	口縁部	にぶい褐		87
2172	12ⅡB1 表土	常滑	甕	13c後-14c	肩部	灰白	釉	87
2173	12ⅡB1 E1 攪乱	常滑	甕	13c後-14c	肩部	灰白		87
2174	12ⅡB1西 表土	常滑	甕	12c	肩部	暗オリーブ	釉、火眼れ	87
2175	13SE4	常滑	壺	12c	頸部	灰褐		87
2176	13SE128 No.2 2層	常滑	片口鉢	I 類 6a型式	体部	黄灰		87
2177	13SE131	常滑	甕	13c後-14c	体部	灰白		87
2178	13SE131	常滑	甕	13c後-14c	肩部	黄灰	輪積痕 明瞭	87
2179	13SD3	常滑	甕	13c後-14c	体部	暗赤灰		87
2180	13SD3 T6	常滑	甕	13c後-14c	体部	褐灰		87
2181	13SD31 T2	常滑	甕	12c	体部	灰オリーブ		87
2182	13ⅡB3 表土	常滑	片口鉢	I 類 5～ 6a型式	底部	黄灰		87
2183	13ⅡB3 表土	常滑	片口鉢	Ⅱ類	体部	灰白	磨減	87
2184	13ⅡB1 B3 確認面	常滑	甕	13c後-14c か	体部	灰		87
2185	13SE96・ 13SE97付近	常滑	甕	12c	頸部	暗オリーブ	釉	87
2186	14SE1 No.1	常滑	片口鉢	Ⅱ類 6a型式	口縁部	灰褐		87
2187	14SE12	常滑	甕		肩部	灰白		87
2188	14SD46 T6	常滑	甕		体部	暗赤褐	釉	87
2189	14ⅡB3 2T 確認面	常滑	甕		体部	灰赤		87
2190	14ⅡB3 2T 表土	常滑	甕	12c	体部	灰褐		87
2191	14ⅡB1 C1 Ⅱ層	常滑	甕	12c	体部	灰	磨減	87
2192	14ⅡB1 調査区外 表採	常滑	甕		体部	灰白	磨減	87
2193	14ⅡB1 E2 確認面	常滑	甕		体部	にぶい赤褐		87
2194	9・10SB1- P1045	常滑	甕	2～3型式	体部	にぶい黄		
2195	9・10SB2-P85	常滑	甕	2～3型式	体部	にぶい黄		
2196	9・10SB3-P188	常滑	甕	2～3型式	体部	にぶい黄		
2197	9・10SB3-P188	常滑	甕	2～3型式	体部	にぶい黄		
2198	10ⅡB2 A1 北東隅壁	常滑	甕	2～3型式	体部	にぶい黄		
2199	9ⅡB1 2T	常滑	甕	12c	体部	灰白	釉	
2201	12SD468	珠洲	片口鉢	I 期	口縁部	灰		88
2202	12SE294	須恵器 系	片口鉢	12c末-13c 前	体部	灰		88
2203	9・10SK12	東濃系	片口鉢	12c	体部	黄灰		88

No.	遺構	種別	器種	年代	部位	色調	その他	図
2204	9ⅡB1	東濃系	片口鉢	12c	底部	黄灰		88
2205	12SK42	東濃系	片口鉢	12c後	体部	黄灰		88
2206	12SD3	東濃系	片口鉢	12c後	口縁部	黄灰		88
2207	12ⅡB1 No.2 確認面	東濃系	片口鉢	12c後	体部	黄灰		88
2208	12ⅡB1 C2 攪乱	東濃系	片口鉢	12c後	体部	黄灰		88
2209	14SD30	東濃系	片口鉢	12c	体部	灰白		88
2210	12ⅡB1 表採	水沼	壺	12c	肩部	灰赤		88
2211	12ⅡB1 G2 攪乱3	水沼	壺	12c	底部	にぶい赤褐		88
2212	9・10SE180	在地	片口鉢		口縁部	灰黄褐		88
2213	9・10SE180 3層	在地	片口鉢		口縁部	灰	渥美系 窯カ	88
2214	12ⅡB1 南壁際	在地	片口鉢	13c後	口縁部	褐灰	瓷器系	88
2215	9・10SE180 5層	在地	片口鉢		底部	灰	渥美系 窯カ	88
2216	12SD3	在地	片口鉢	13c-14c 前	口縁部	にぶい赤褐	瓷器系	88
2217	12SK454	在地	甕	13c末-14c 初	体部	灰		88
2218	13SD3 T4	瓦質				灰	小片	88
2301	12SB3-P389	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅳ古	口～底部	灰白	底に煤	88
2302	12ⅡB1 No.1 確認面	古瀬戸	中皿	後ⅠかⅢ	底部	灰黄		88
2303	12ⅡB1 4TⅠ層	古瀬戸	瓶子	後ⅠかⅡ	口縁部	灰オリーブ		88
2304	13SD3 T1	古瀬戸	天目茶碗	後Ⅳ古	口縁部	黒褐		88
2305	13SF1路面土	古瀬戸	平碗	後ⅠかⅡ	底部	灰白		88
2306	13SD3	古瀬戸	盤類	後Ⅲ	体部	オリーブ黄		88
2307	13SD3 T4+B2・C2 表土	古瀬戸	壺か瓶	後ⅠかⅡ	肩部	オリーブ黄		88
2308	13SD3 直上	古瀬戸	壺か瓶	後ⅠかⅡ	体部	オリーブ黄		88
2309	13SD3 確認面	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅲ	口縁部	灰白		88
2310	13ⅡB1 B4 確認面	古瀬戸	緑釉小皿	後Ⅳ古	口縁部	灰白		88
2311	13ⅡB1 4T Ⅱ層	古瀬戸	天目茶碗	大窯 4後	口縁部	赤黒		88
2312	13ⅡB1 A～C1表土	古瀬戸	折緑皿	大窯 4前	口縁部	浅黄		88
2313	13ⅡB1 C2 No.1 確認面	古瀬戸	丸皿	大窯 2・3	底部	オリーブ		88
2314	11SX161	古瀬戸	小片不明	大窯カ		にぶい黄橙		

第14表 貿易陶磁器観察表

No.	遺構	種別	器種	分類・その他	年代	図
3001	9ⅡB1 E	白磁	碗カ		12c?	89
3002	9ⅡB1 B Ⅲ層	白磁	壺蓋カ		12c	89
3003	9ⅡB1 D+G Ⅲ層	白磁	四耳壺	Ⅱ系	12c	89
3004	9ⅡB1 I Ⅲ層	白磁	四耳壺	Ⅱ系	12c	89
3005	9ⅡB1 D Ⅲ層	白磁	四耳壺	Ⅱ系	12c	89
3006	10ⅡB1サフトレ	白磁	四耳壺	Ⅱ系	12c	89
3007	10ⅡB1 D Ⅲ層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	12c	89
3008	10ⅡB1 D Ⅲ層	白磁	四耳壺	Ⅲ系	12c	89
3009	9ⅡB2 A+B3 Ⅱ層	白磁	四耳壺	大型、高台のないもの	12c	89
3010	9ⅡB1 I 層	白磁	四耳壺	大型、高台のないもの	12c	89
3011	9ⅡB2 B2	白磁	不明			89
3012	12SE117	白磁	皿	端反皿	15c前	89
3013	12ⅡB1 D1 I 層	白磁	壺類	小形の袋もの	12c	89
3014	13SD31 No.2	白磁	碗	Ⅱ類	12c前	89
3015	13SD31 確認面 No.1	白磁	皿	D類	15c前	89
3016	9・10SE1051	青磁	碗	同安窯系 碗	12c	89
3017	10ⅡB1 1-2T拡張	青磁	輪花碗	龍泉窯系 小碗 I -3類 白胎線	12c	89
3018	9・10SK395+D3+1TN0.6	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I -2a類	12c	89
3019	9ⅡB2 A3	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I -2か3類	12c	89
3020	9ⅡB1 E Ⅲ層	青磁	碗	龍泉窯系 碗	12c	89
3021	9ⅡB1 B Ⅱ層	青磁	碗	画花文碗	12c	89
3022	10ⅡB3 No.2	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I 類	12c	89
3023	9ⅡB1 C Ⅲ層	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I -2か3類	12c	89
3024	9ⅡB1 D壁 I層	青磁	碗	龍泉窯系 碗	12c	89
3025	9ⅡB2 2T A Ⅱ層	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I -5類	13c前	89
3026	9ⅡB2 A3	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I -5類カ	13c前	89
3027	9ⅡB2 B2 I 層	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I -5類カ	13c前	89
3028	9ⅡB1 I 層	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I -5類カ	13c前	89
3029	9ⅡB1 G Ⅲ層	青磁	碗	龍泉窯系 碗Ⅲ類	13c	89
3030	9ⅡB1 I Ⅲ層	青磁	碗	龍泉窯系 碗Ⅲ類	13c	89
3031	9ⅡB1 H Ⅱ層	青磁	碗	龍泉窯系 碗Ⅲ類	13c	89

第15表 土製品・石製品・銅製品観察表

No.	遺構	器種	その他	長さ	幅	厚さ	図
4001	9・10SK320	羽口	るつぼの可能性	2.6	1.7	2.2	90
4002	9ⅡB2 D2・3 Ⅲ層	羽口		2.7	2.9	2.3	90
4003	11SD54	羽口		3.5	3.3	2.5	90
4004	12SD466	羽口		3.1	3.0	2.2	90
4005	12SH145 No.3,11,13,24	製鉄炉壁		24.5	10.6	5.2	90
4006	9・10SK82 A1 Ⅲ層	数珠玉母珠	横穴のみ研磨	1.9	1.9	1.0	91
4007	9・10SE1059 No.1+7	砥石		9.5	6.0	1.5	91
4008	9・10SK155 確認面	砥石		9.3	3.9	1.7	91

第16表 銭観察表

No.	遺構	銭種	年代	その他	図
4019	9・10SE1052	聖宋元宝	北宋 1101		92
4020	9・10SD422付近確認面	大観通宝	北宋 1107		92
4021	9ⅡB2 A3	開元通宝	唐 960		92
4022	11ⅡB1 1T I -2層 No.3	熙寧元宝	北宋 1068		92
4023	12SE134 No.1 1層	皇宋通宝	北宋 1038		92
4024	12SE343 No.3 4層	元豐通宝	北宋 1078		92
4025	12SE343 No.1 1層 確認面	祥符元宝	北宋 1009		92
4026	12ⅡB1 G2 攪乱4	天聖元宝	北宋 1023		92
4027	12ⅡB1 G2 攪乱4	紹聖元宝	北宋 1094	緡銭	92
4028	12ⅡB1 G2 攪乱4	元祐通宝	北宋 1086	緡銭	92
4029	12ⅡB1 G2 攪乱4	天聖元宝	北宋 1023	緡銭	92
4030	12ⅡB1 G2 攪乱4	開元通宝	唐 960	緡銭	92
4031	12ⅡB1 G2 攪乱4	至和元宝	北宋 1054	緡銭	92
4032	12ⅡB1 G2 攪乱4	治平元宝	北宋 1064	緡銭	92
4033	12ⅡB1 G2 攪乱4	嘉祐元宝	北宋 1056	緡銭	92
4034	12ⅡB1 G2 攪乱4	熙寧元宝	北宋 1068	緡銭	92
4035	12ⅡB1 G2 攪乱4	開元通宝	唐 960	緡銭	92
4036	13SE4 No.1 3層	皇宋通宝	北宋 1038		92

No.	遺構	種別	器種	分類・その他	年代	図
3032	9・10SE1054	青磁	碗	龍泉窯系 碗Ⅲ類	13c	89
3033	10ⅡB2 排土	青磁	碗	龍泉窯系 碗Ⅲ類	13c	89
3034	9ⅡB1 H Ⅱ層	青磁	碗	端反碗 D類	15c前	89
3035	11ⅡB1 1T I -2層	青磁	碗	端反碗	14c?	89
3036	12ⅡB1 F2 攪乱	青磁	碗	同安窯系 碗 I -1類	12c	89
3037	12ⅡB1 表土	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I -3類	12c後	89
3038	12ⅡB1 1T 表土	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I -5類	15c前	89
3039	12ⅡB1C3 攪乱5	青磁	皿		14c前	89
3040	12SE343 No.2	青磁	碗	端反碗 D1類	14c後	89
3041	12SE343	青磁	碗	端反碗	15c前	89
3042	12SE511	青磁	碗	端反碗	15c前	89
3043	12ⅡB1 表土	青磁	碗	端反碗 D2類	15c前	89
3044	13ⅡB1 4T I 層	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I -2か3類	12c後	89
3045	13P148付近確認面	青磁	碗	龍泉窯系 碗 I -4類	12c-13c初	89
3046	13ⅡB1 I 層	青磁	碗	鍋連弁文碗	13c	89
3047	13SE4 確認面	青磁	碗		13c	89
3048	14ⅡB2 2T表土	青磁	碗		15c	89
3049	14SD31 T3	青磁	盤		14c	89
3050	9ⅡB1 B Ⅲ層	青白磁	合子蓋	景德鎮窯	13c前	90
3051	9・10SB2-P301	青白磁	合子蓋	景德鎮窯	13c前	90
3052	9ⅡB2 C3	青白磁	合子蓋	景德鎮窯	13c前	90
3053	12ⅡB1 表採	青白磁	合子		13c後-	90
3054	14ⅡB3 1T 壁	青白磁	梅瓶			90
3055	13ⅡB1 C3 確認面	緑釉	洗か盤	磁甕窯	13c後-	90
3056	13ⅡB1 B4 確認面	緑釉	洗か盤	磁甕窯	13c後-	90
3057	9ⅡB1 C Ⅱ層	褐釉	小壺		12c	90
3058	11ⅡB1 4T I -2層 No.5	天目	天目茶碗	禾目天目	15c	90
3059	14SE12付近拡張表土	青磁	不明	小片		
3060	14SX100	青磁	不明	小片		

No.	遺構	器種	その他	長さ	幅	厚さ	図
4009	9・10SD1049	砥石		3.5	3.2	1.0	91
4010	9・10P158 確認面	砥石		11.7	3.4	1.2	91
4011	11SD70 段下げ	砥石		3.0	1.0	1.0	91
4012	12P129 確認面	砥石	線刻画	6.0	6.5	2.8	91
4013	13SD18 段下げ	砥石		6.0	3.9	3.8	91
4014	10ⅡB1 No.124	提子金具		4.3	3.2	0.5	91
4015	9・10SH80 2層	銅塊	12g	2.9	1.5		91
4016	11SB2-P36	火縄銃玉	5g	1.0	1.0	1.0	91
4017	12SB4-P206	隅金具カ		3.6	0.9	0.1	91
4018	13SF1	飾金具カ		19.5	1.5	0.2	91

No.	遺構	銭種	年代	その他	図
4037	13SE127 No.1 2層	淳熙元宝	南宋 1174		92
4038	13SE127 No.1 2層	元祐通宝	北宋 1086		92
4039	13SE131 11層	熙寧元宝	北宋 1068		92
4040	13SE166 確認面	祥符元宝カ 祥符通宝カ	北宋 1009		92
4041	13SE166 No.1 2層	元豐通宝	北宋 1078		92
4042	13SE166 No.2 2層	紹聖元宝	北宋 1094		92
4043	13P47 1層	元祐通宝	北宋 1086		92
4044	13P159確認面 No.1	明道元宝	北宋 1032		92
4045	13P159確認面 No.1	元祐通宝	北宋 1086		92
4046	13SE4付近確認面 No.6	永樂通宝	明 1408		92
4047	11SB1-P14	判読不能			
4048	13SD18 -2cm	破片不明			
4049	13SK5 確認面	永樂通宝	明 1408		
4050	9・10SE1052	破片不明			
4051	12ⅡB1 G2 攪乱4	元祐通宝カ 元豐通宝カ 元符通宝カ	北宋 1086～98	緡銭	



14次調査区から東を望む



13次調査区から西を望む

図版1 遺跡遠景



13次調査区（南から）



9・10SH200

図版2 遺跡遠景、9・10次調査かわらけ焼成遺構



9・10SH200 セクション



9・10SH200 セクション



9・10SH200 焼土塊出土状況



9・10SH200 遺物出土状況



9・10SH231・373・374



9・10SH231 セクション



9・10SH373 セクション



9・10SH374 セクション

図版3 9・10次調査かわらけ焼成遺構



9・10SH374



9・10SH80



9・10SH202確認面



9・10SH202



9・10SH16



9・10SH16



9・10次出土貿易陶磁器



9・10次出土数珠玉



9・10次出土銅塊



13次出土
磁竈窯産盤

図版4 9・10次調査かわらけ焼成遺構・焼成遺構、9～13次出土遺物



9・10次遠景（北西から）



9・10次全景（南から）

図版5 9・10次調査 調査区遠景、全景



9・10ⅡB1 全景



9・10ⅡB1 西トレンチ



9・10ⅡB1 南北トレンチ



9・10ⅡB1・ⅡB2



9・10ⅡB1・ⅡB2 確認面



9・10ⅡB2 南壁



9・10ⅡB2 北壁



9・10ⅡB2 西トレンチ北壁

図版6 9・10次調査 調査区近景



9・10ⅡB1 サプトレンチ



9・10ⅡB3



9・10ⅡB4



9・10ⅡB4 東壁



9・10ⅡB5



9・10ⅡB5



9・10SB1



9・10SB2

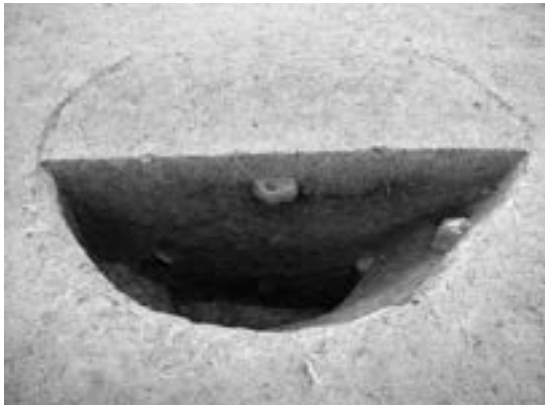
図版7 9・10次調査 調査区近景、9・10次調査掘立柱建跡



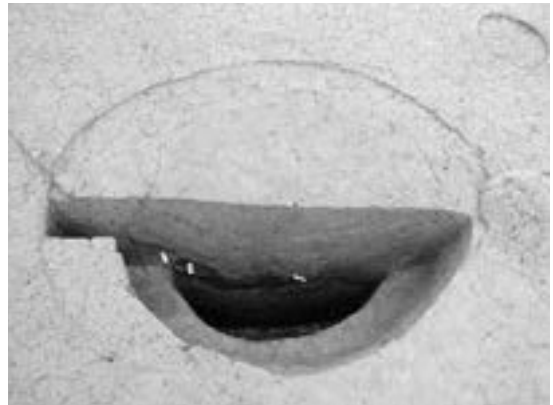
9・10SB3



9・10SI1062



9・10SE180



9・10SE1037



9・10SE1051・1052



9・10SE1051

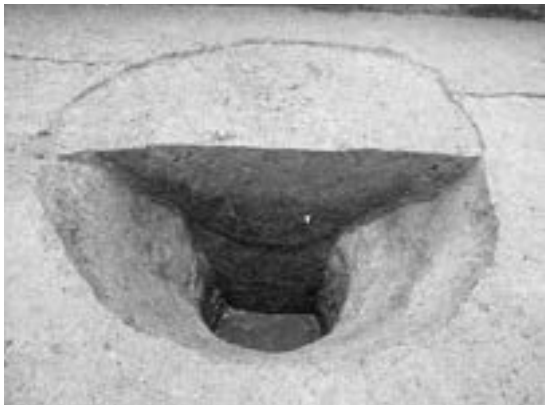


10SE1051



9・10SE1052

図版8 9・10次調査 掘立柱建跡、井戸跡



9・10SE1054



9・10SE1059



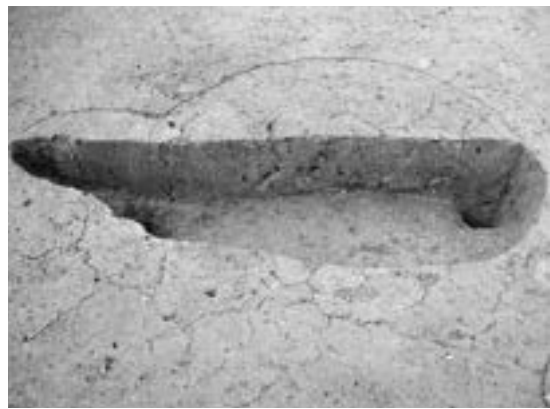
9・10SH16 周辺遺物出土状況



9・10SH80



9・10SH231・373・374



9・10SK33



9・10SK378

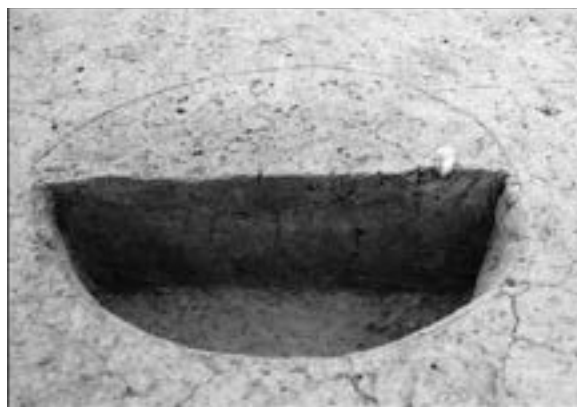


9・10SK423

図版9 9・10次調査 井戸跡、かわらけ焼成遺構、土坑



9・10SK4



9・10SK6



9・10SK43



9・10SK53・54



9・10SK137・138



9・10SK140

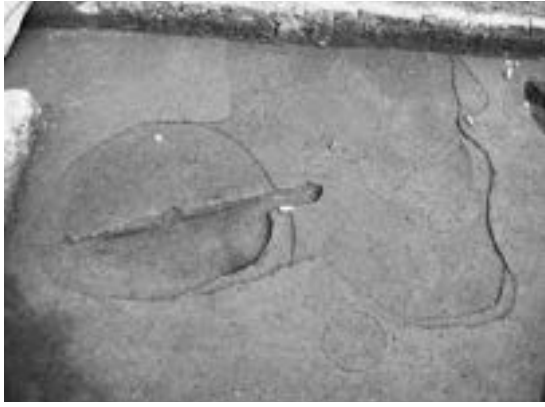


9・10SK320



9・10SK128・130

図版10 9・10次調査 土坑 (1)



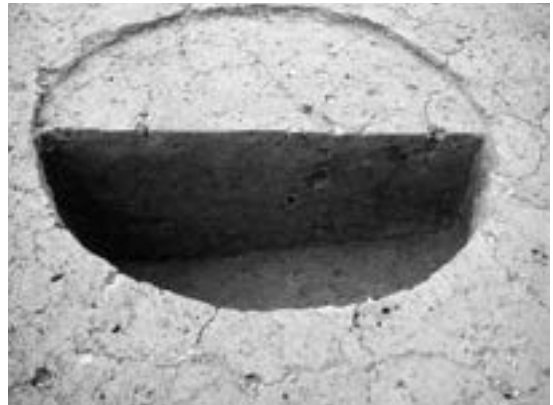
9・10SK319



9・10SK255



9・10SK5



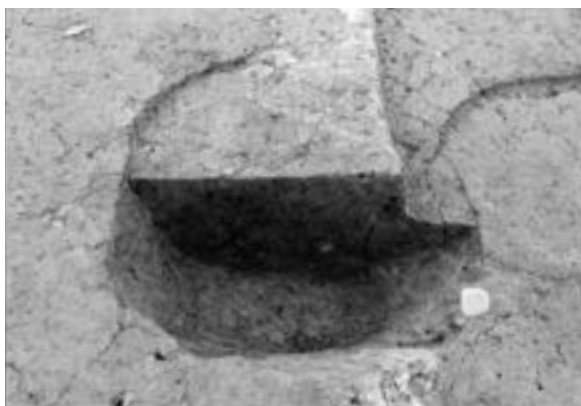
9・10SK11



9・10SK12



9・10SK13

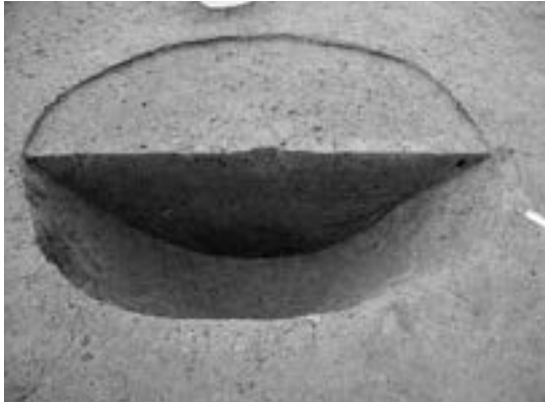


9・10SK18



9・10SK41

図版11 9・10次調査 土坑 (2)



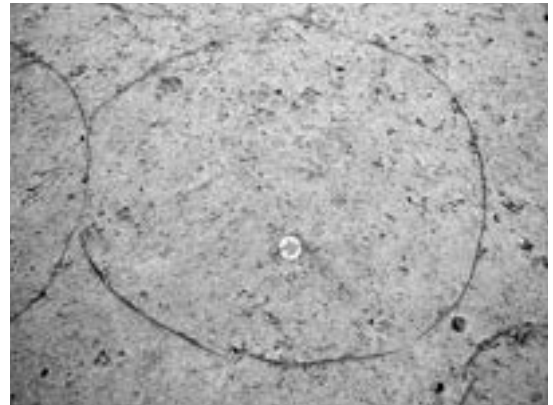
9・10SK50



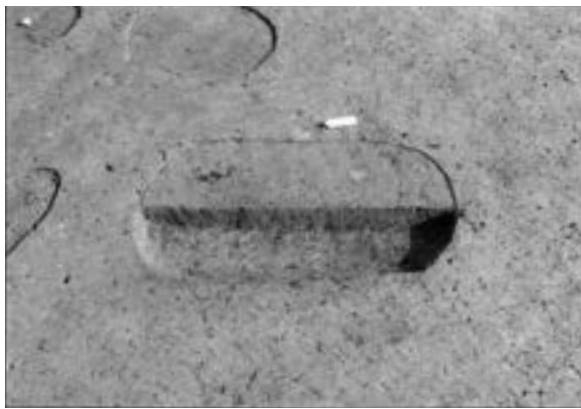
9・10SK60



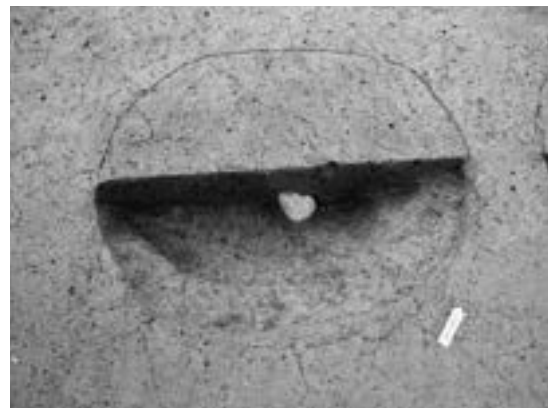
9・10SK82



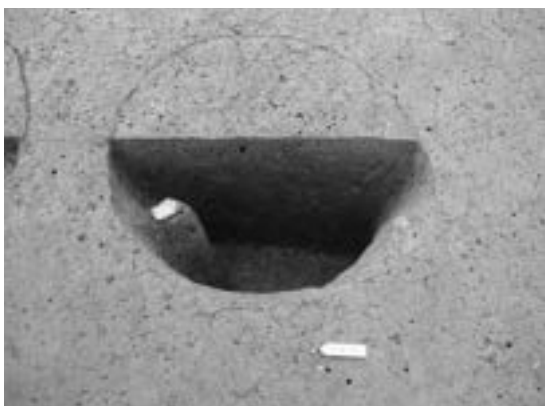
9・10SK82 数珠玉出土状況



9・10SK106



9・10SK196

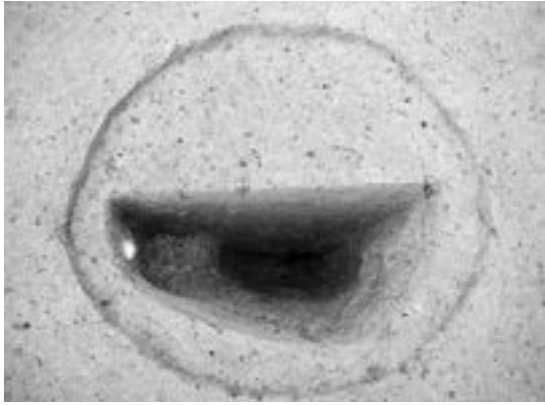


9・10SK197



9・10SK201

図版12 9・10次調査 土坑 (3)



9・10SK233



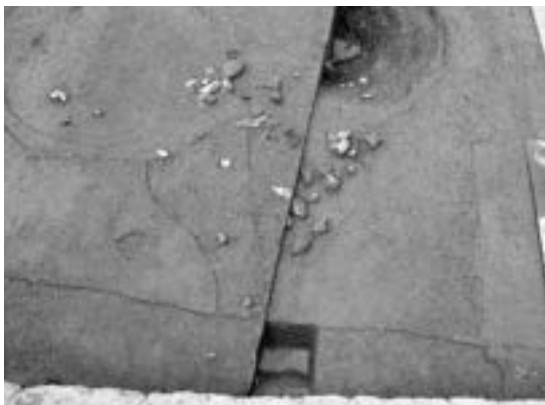
9・10SK250



9・10SK445・P125



9・10SK1017



9・10SK1050



9・10SK1081



9・10SK1095



9・10SX190

図版13 9・10次調査 土坑、性格不明遺構



9・10SX395



9・10SD185



9・10SD249



9・10SD1020



9・10SD1023・1022



9・10SD1022



9・10SD1023

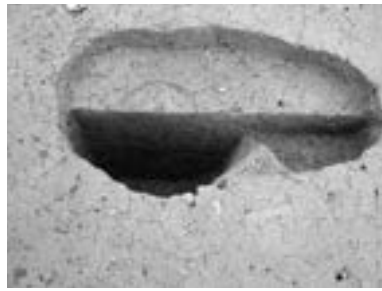


9・10SD1049

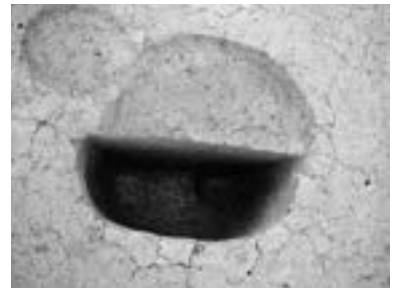
図版14 9・10次調査 性格不明遺構、溝跡



9・10SB1 P45



9・10SB1 P94



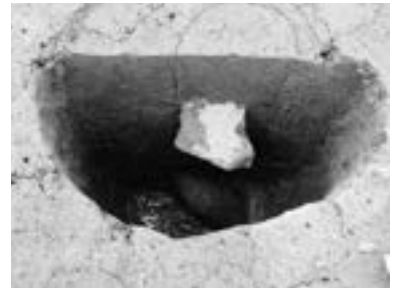
9・10SB1 P104



9・10SB1 P116



9・10SB1 P123



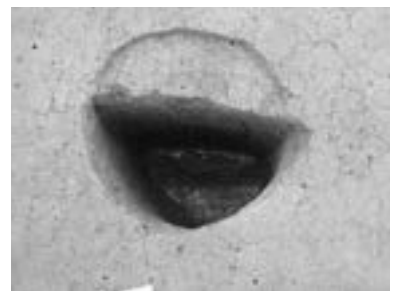
9・10SB1 P132



9・10SB1 P162



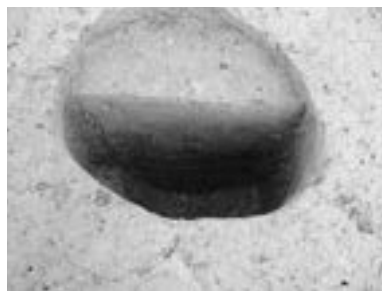
9・10SB1 P168



9・10SB1 P169



9・10SB1 P187



9・10SB1 P189



9・10SB1 P192



9・10SB1 P204



9・10SB1 P223

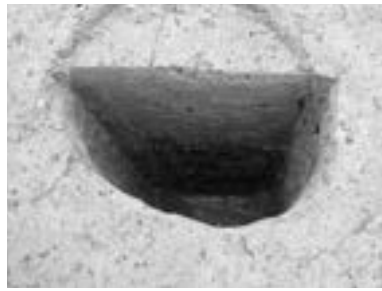


9・10SB1 P244

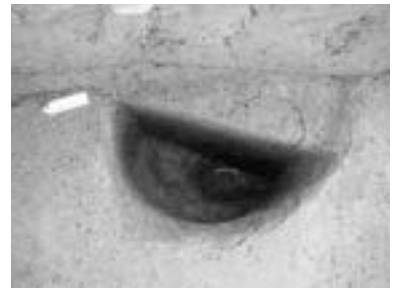
図版15 9・10次調査 掘立柱建物跡柱穴 (1)



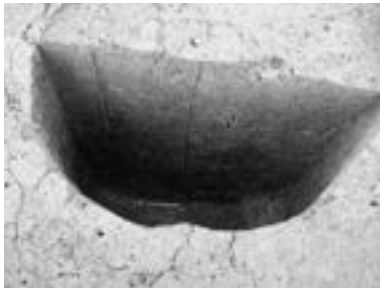
9・10SB1 P273



9・10SB1 P275



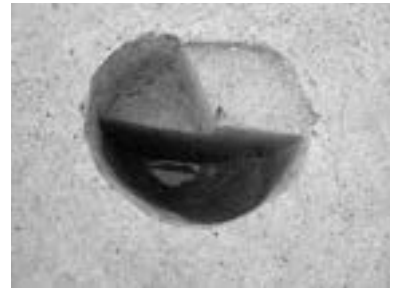
9・10SB1 P282



9・10SB1 P283



9・10SB1 P284



9・10SB1 P285



9・10SB1 P1025



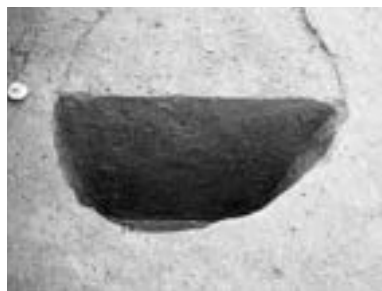
9・10SB1 P1028



9・10SB1 P1032



9・10SB1 P1033



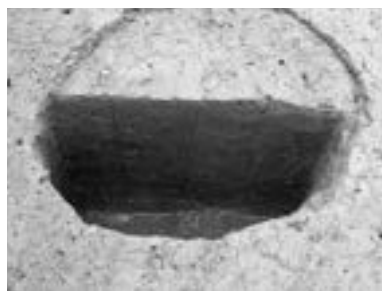
9・10SB1 P1034



9・10SB1 P1038



9・10SB1 P1039

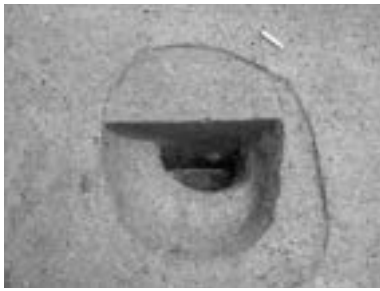


9・10SB1 P1043

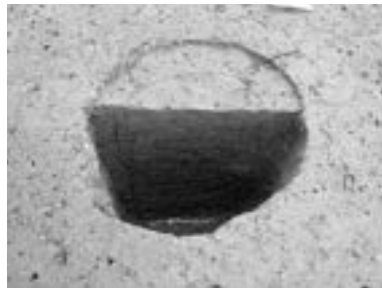


9・10SB1 P1044

図版16 9・10次調査 掘立柱建物跡柱穴 (2)



9・10SB1 P1045



9・10SB1 P1048



9・10SB1 P1070



9・10SB1 P1071



9・10SB1 P1072



9・10SB1 P1079



9・10SB1 P1107



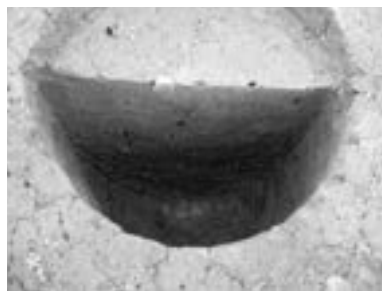
9・10SB2 P61



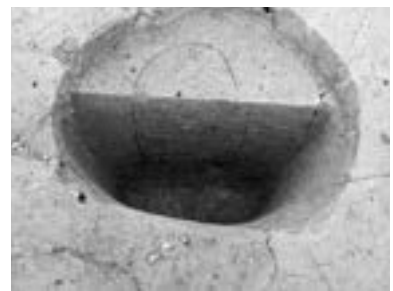
9・10SB2 P75



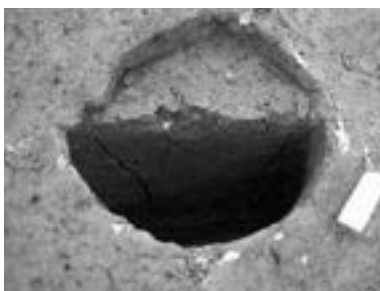
9・10SB2 P85



9・10SB2 P97



9・10SB2 P113



9・10SB2 P139

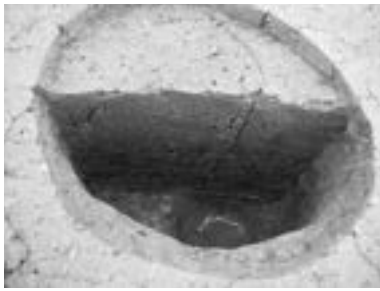


9・10SB2 P258



9・10SB2 P301

図版17 9・10次調査 掘立柱建物跡柱穴 (3)



9・10SB3 P26



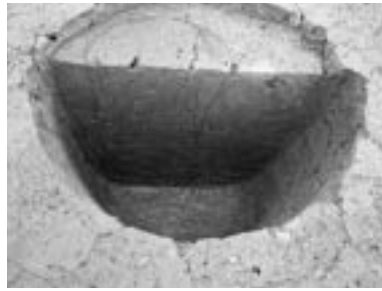
9・10SB3 P31



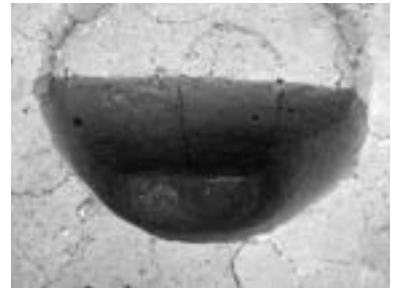
9・10SB3 P47



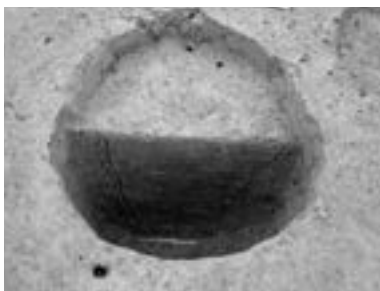
9・10SB3 P188



9・10SB3 P212



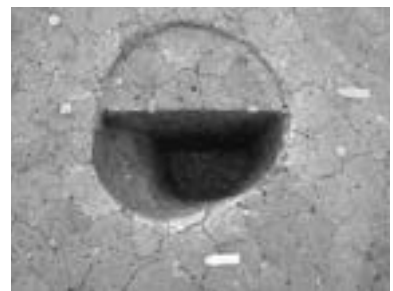
9・10SB3 P232



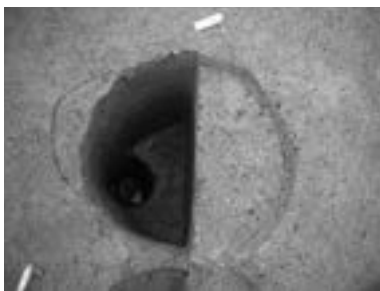
9・10SB4 P193



9・10P126



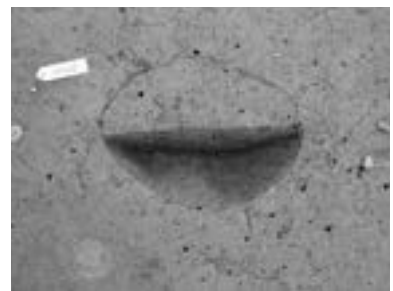
9・10P141



9・10P159



9・10P183



9・10P220



9・10P405



9・10P1094



9・10P1106

図版18 9・10次調査 掘立柱建物跡柱穴、その他柱穴

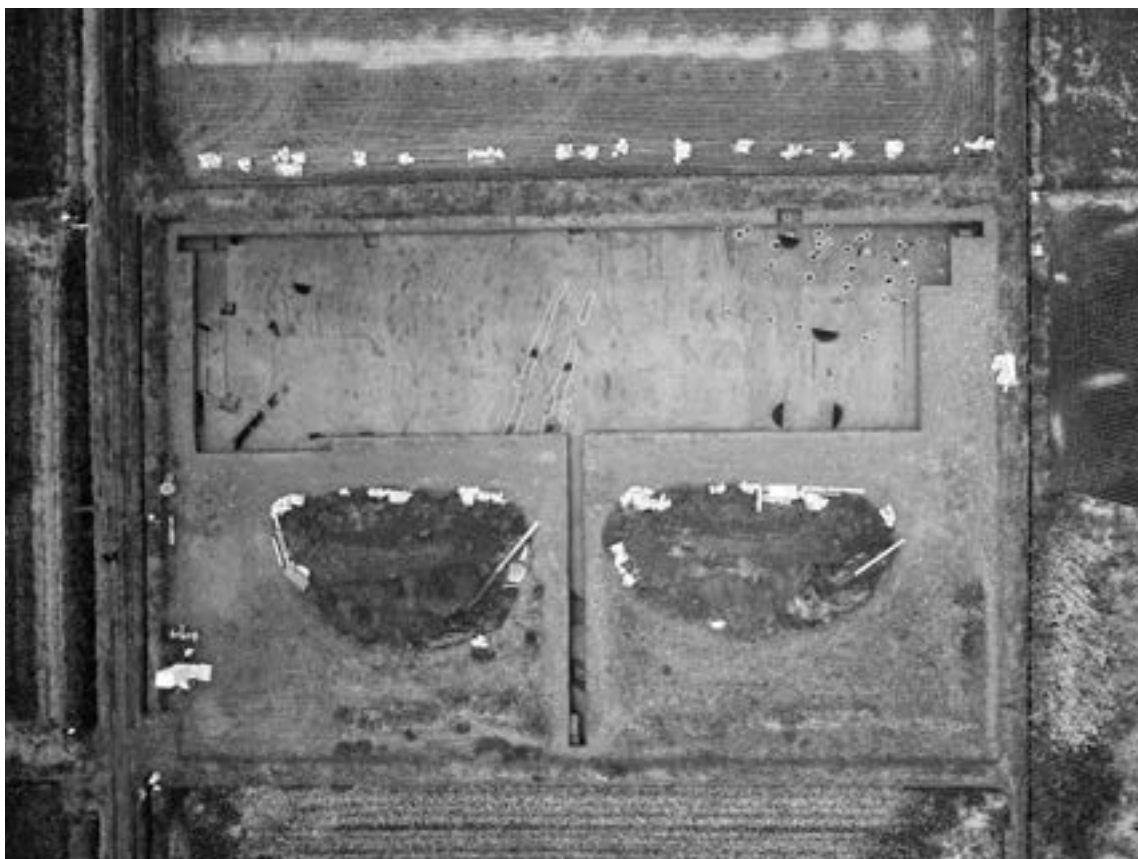


11次全景（東から）



11次遠景（北から）

図版19 11次調査 調査区遠景、全景



11 II B1全景（南から）



11 II B2全景（南から）

図版20 11次調査 調査区全景



11ⅡB2



11ⅡB1 北壁



11ⅡB1 西壁



11ⅡB2 東壁



11ⅡB2 南壁



11ⅡB3-1

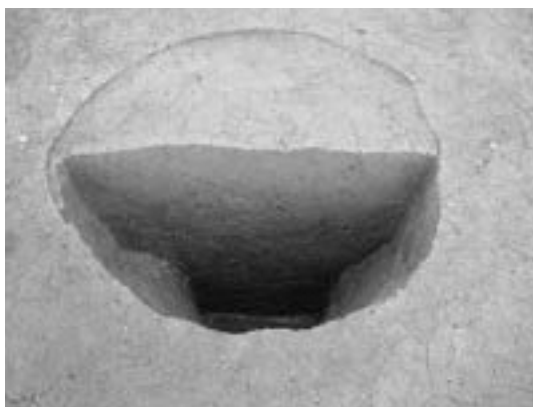


11ⅡB3-1 北壁

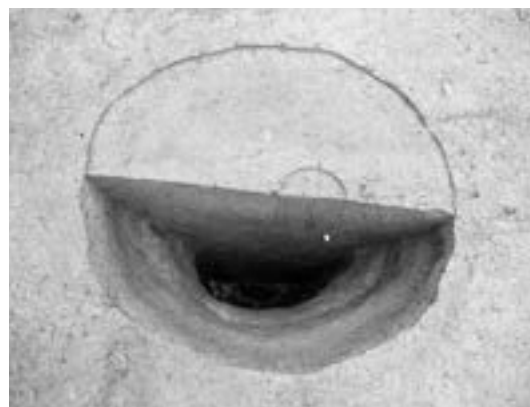


11SB1~4

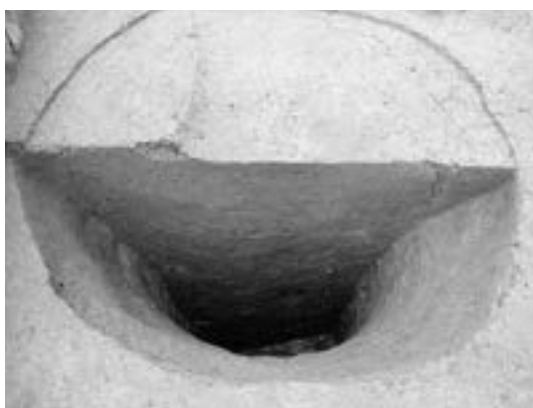
図版21 11次調査 調査区近景、掘立柱建物跡



11SE43



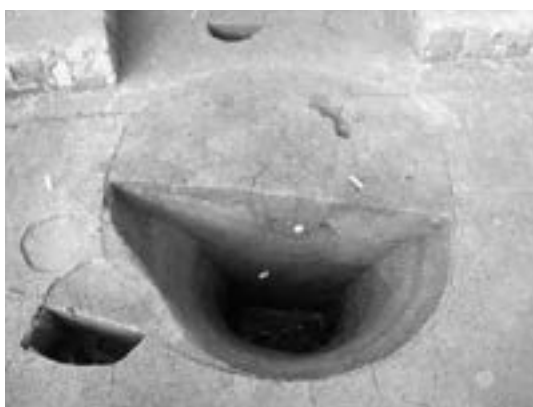
11SE48



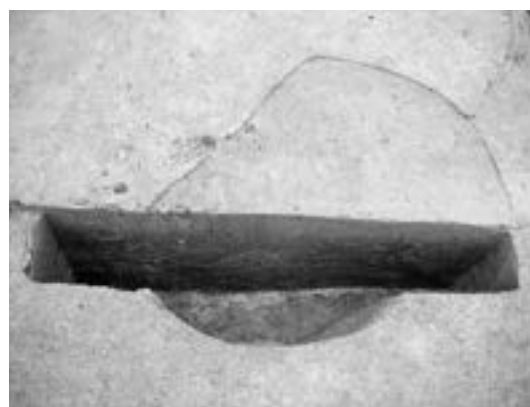
11SE49



11SE50



11SK1



11SK101



11SK101 セクション



11SK101 セクション

図版22 11次調査 井戸跡、土坑



11SK106



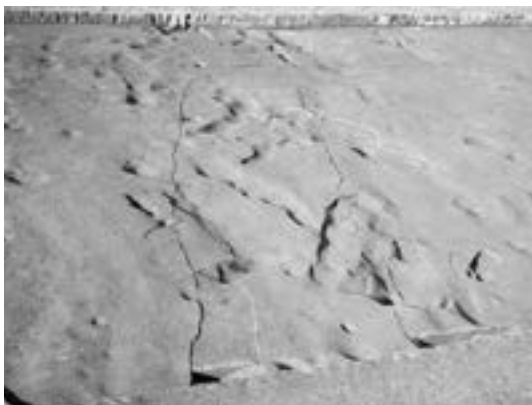
11SK106 セクション



11SK106 セクション



11SF1道路状遺構



11SF1道路状遺構



11SF1道路状遺構



11SD2 南壁



11SD55

図版23 11次調査 土坑、道路状遺構・溝跡



11SD52・53・54



11SD52



11SD52・53・54



11SD53



11SD53 東壁



11SD53



11SD54



11SD54

図版24 11次調査 溝跡



11SD61



11SD70 東壁



11SD71



11SD71 東壁



11SD102



11SD103

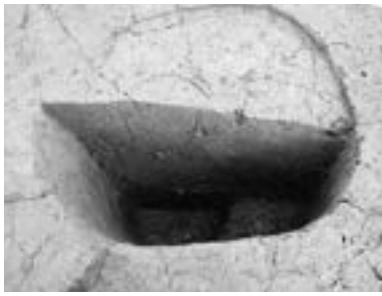


11SD104



11SX161 畝状遺構

図版25 11次調査 溝跡、畝状遺構



11SB1 P3



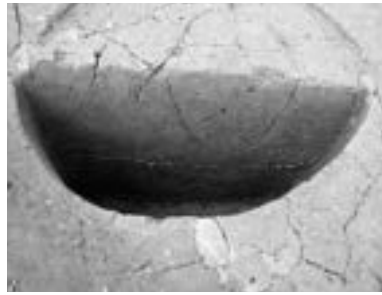
11SB1 P4



11SB1 P5



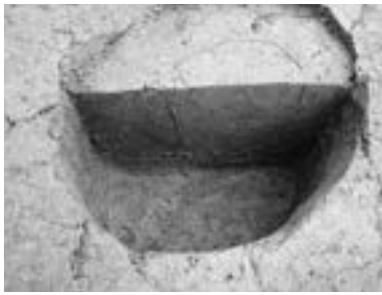
11SB1 P6



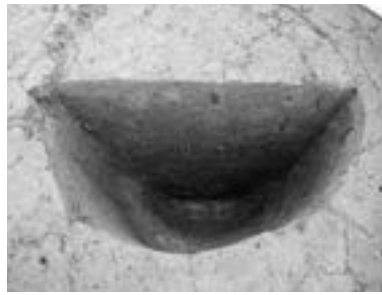
11SB1 P7



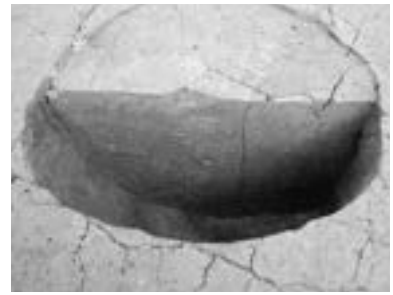
11SB1 P8



11SB1 P10



11SB1 P11



11SB1 P14



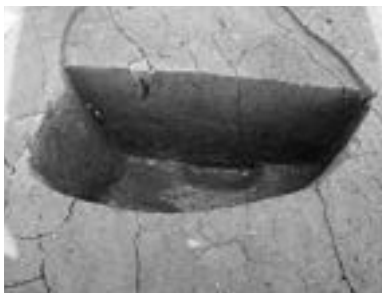
11SB1 P15



11SB1 P16



11SB1 P17



11SB1 P18

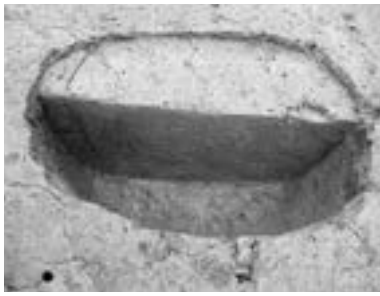


11SB1 P19



11SB1 P20

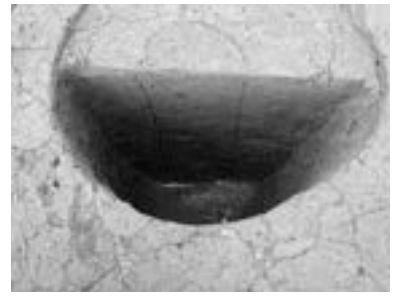
図版26 11次調査 掘立柱建物跡柱穴 (1)



11SB1 P31



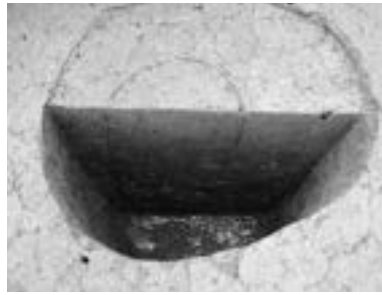
11SB1 P57



11SB2 P27



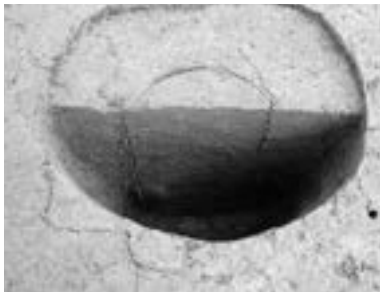
11SB2 P36



11SB2 P40



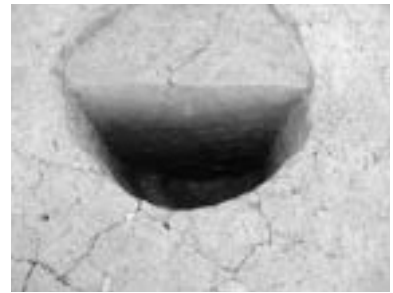
11SB2 P42



11SB2 P44



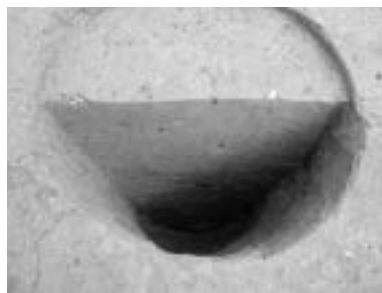
11SB2 P45



11SB2 P46



11SB2 P47



11SB2 P51



11SB2 P56



11SB3 P24

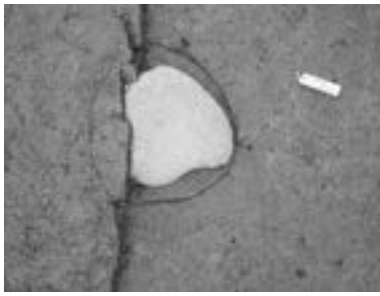


11SB3 P23



11SB3 P28

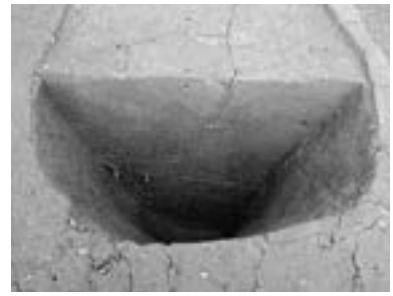
図版27 11次調査 掘立柱建物跡柱穴 (2)



11SB3 P34



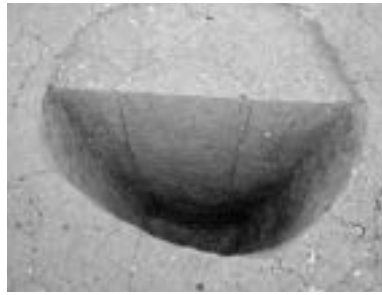
11SB3 P64



11SB4 P30



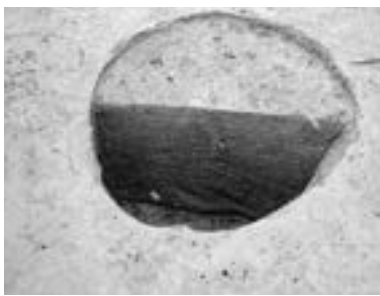
11SB4 P37



11SB4 P38



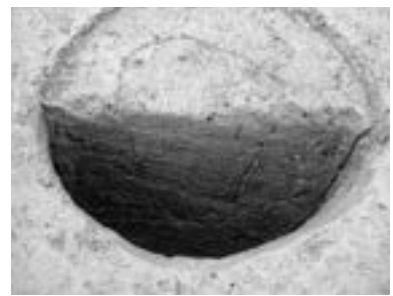
11SB4 P63



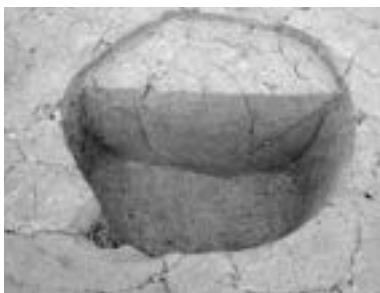
11SA1 P66



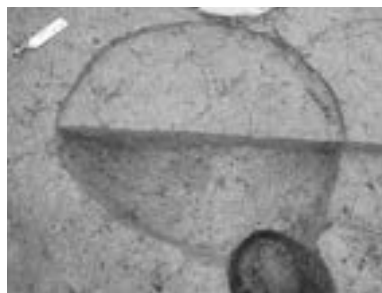
11SA1 P67



11SA1 P68



11P22



11P25



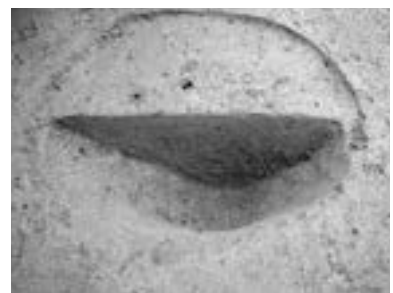
11P32



11P33



11P35



11P65

図版28 11次調査 掘立柱建物跡・堀跡柱穴、その他柱穴



12次遠景（南から）



12次全景（北から）

図版29 12次調査 調査区遠景、全景



12ⅡB1 全景



12ⅡB1 全景



12ⅡB1 南壁



12ⅡB1 北壁



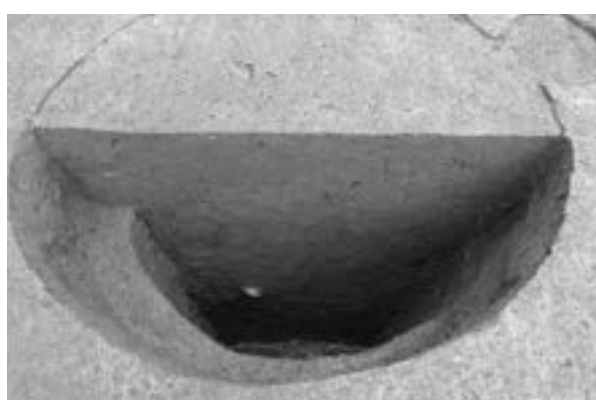
12ⅡB1-1



12ⅡB1-1 東壁



12ⅡB2



12SE4

図版30 12次調査 調査区近景、井戸跡



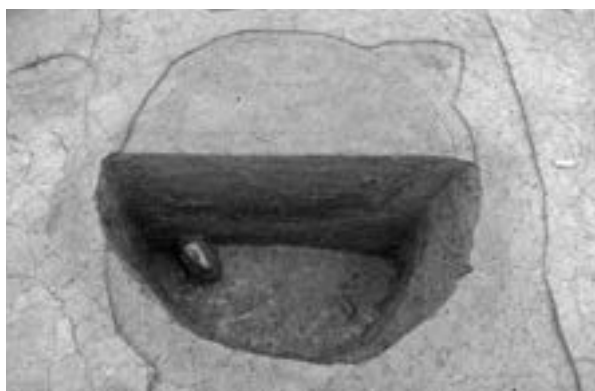
12SE43



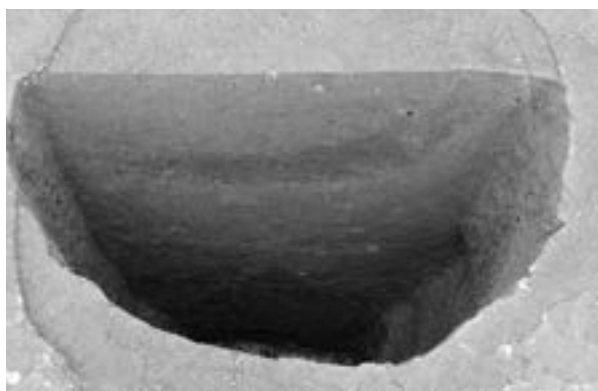
12SE45



12SE45



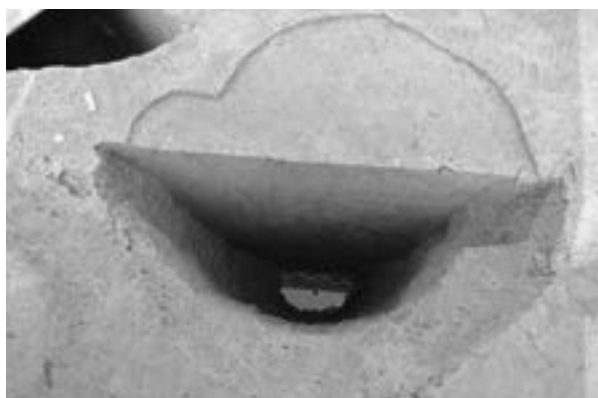
12SE117



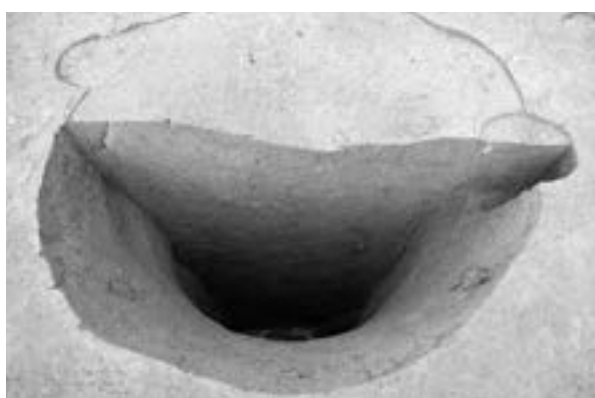
12SE117



12SE134



12SE151



12SE294

図版31 12次調査 井戸跡 (1)



12SE343



12SE343



12SE346



12SE346



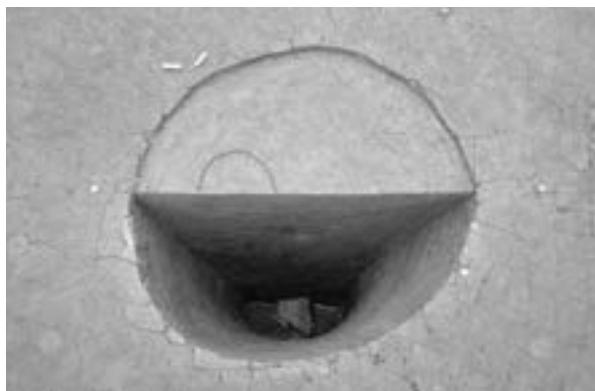
12SE346 板出土状況



12SE347



12SE347



12SE372

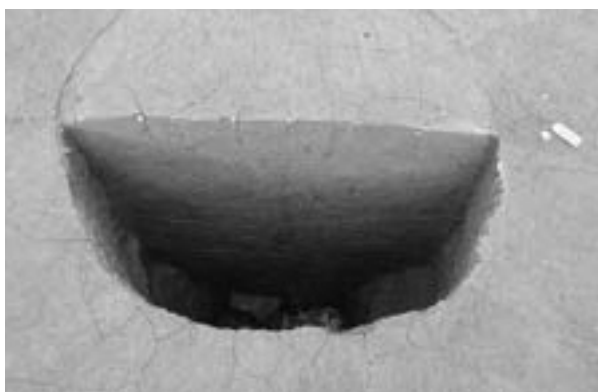
図版32 12次調査 井戸跡 (2)



12SE372



12SE375



12SE455



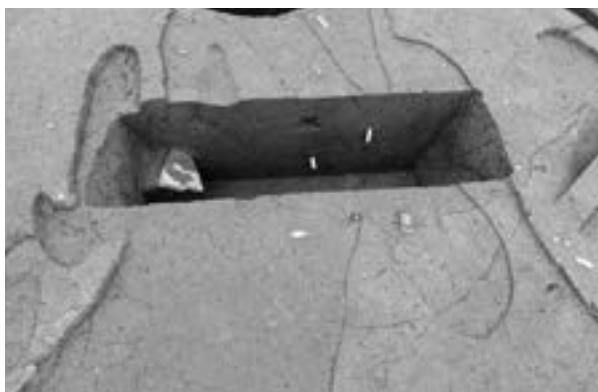
12SE463



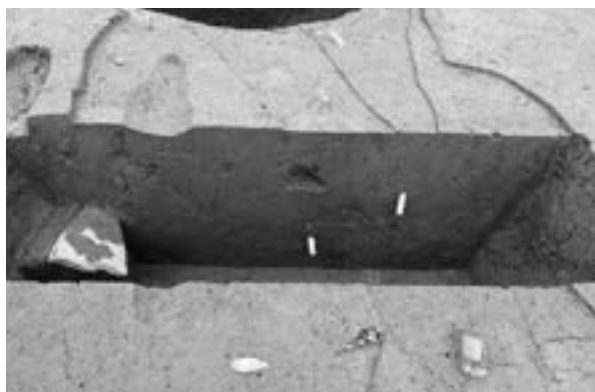
12SE463



12SE511



12SE514 · SD3 · SD519

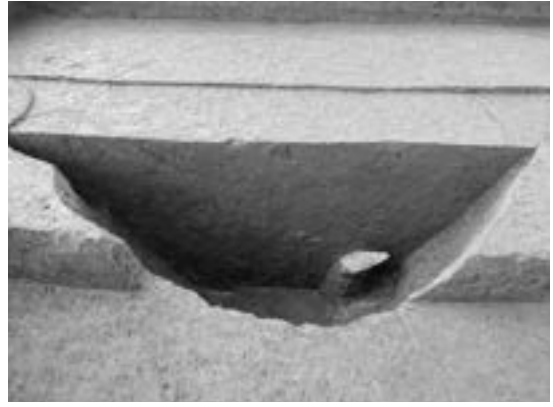


12SE514 · SD3 · SD519 北壁

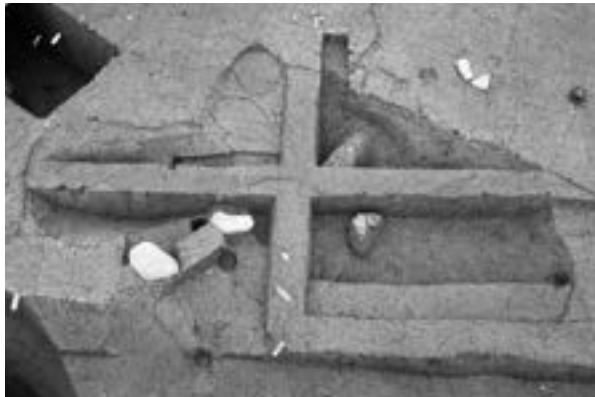
図版33 12次調査 井戸跡 (3)



12SE525



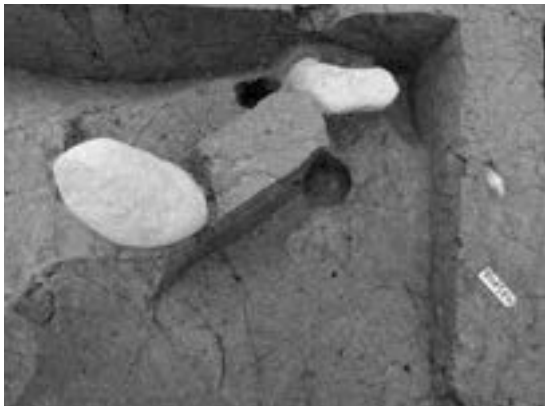
12SE532



12SH145・SK46・SK48



12SH145・SK46・SK48 遺物出土状況



12SH145



12SH530・12SE525



12SK102

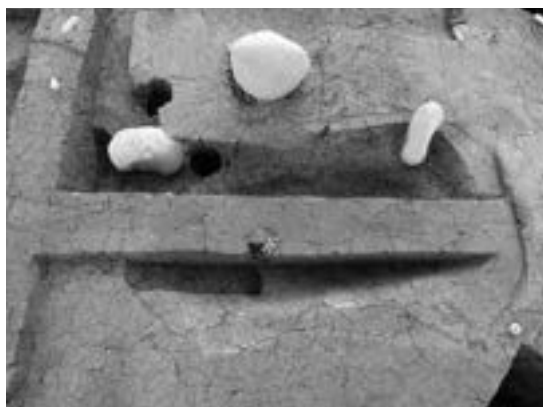


12SK42

図版34 12次調査 井戸跡、鍛冶炉跡、焼成遺構、土坑



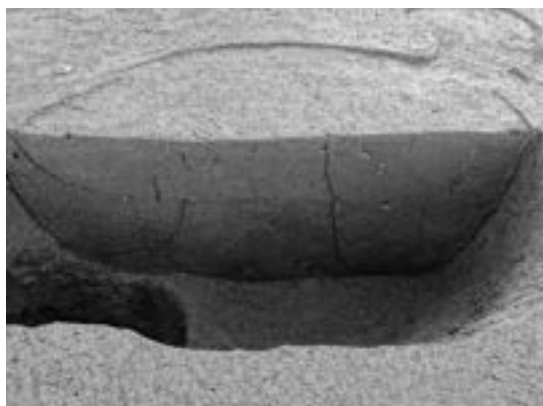
12SK44



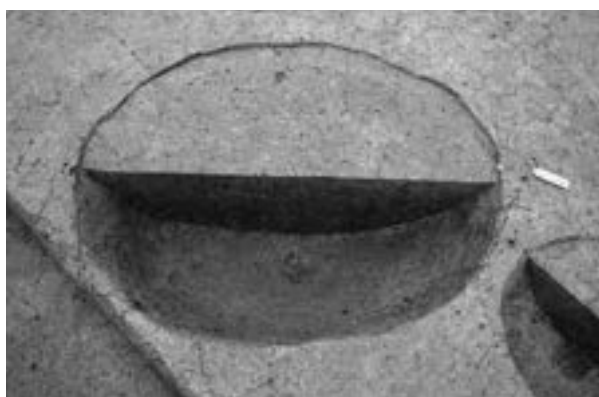
12SK46



12SK10



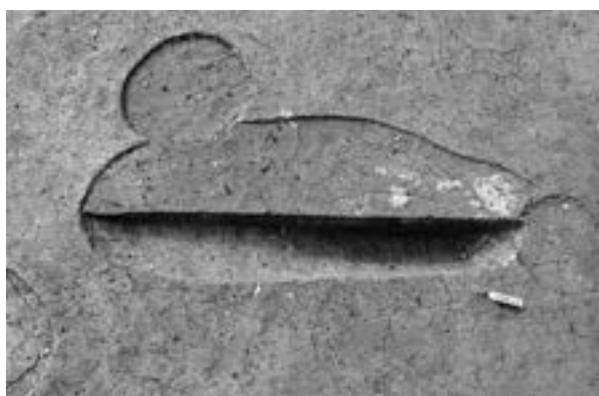
12SK15



12SK19



12SK22・20



12SK28

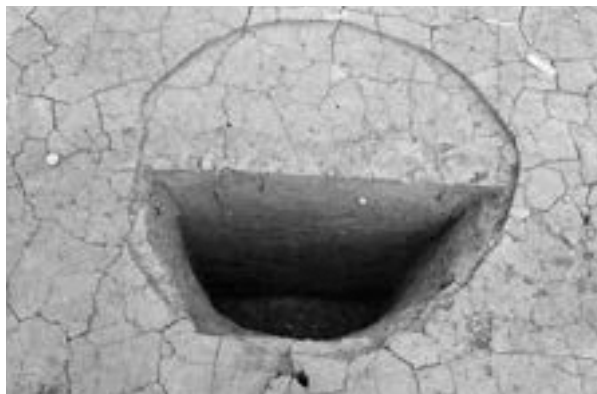


12SK38

図版35 12次調査 土坑 (1)



12SK40・12SD3



12SK41



12SK48



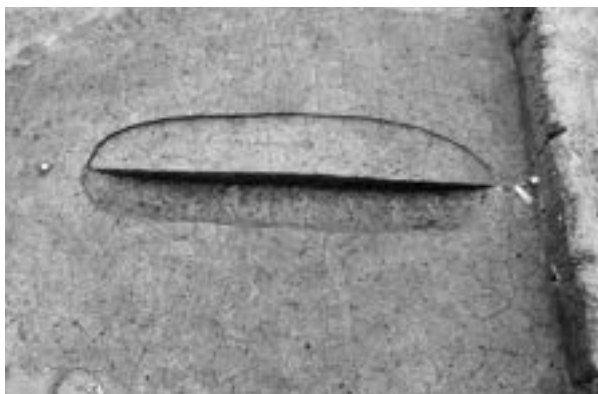
12SK79



12SK86



12SK119・SK510



12SK149

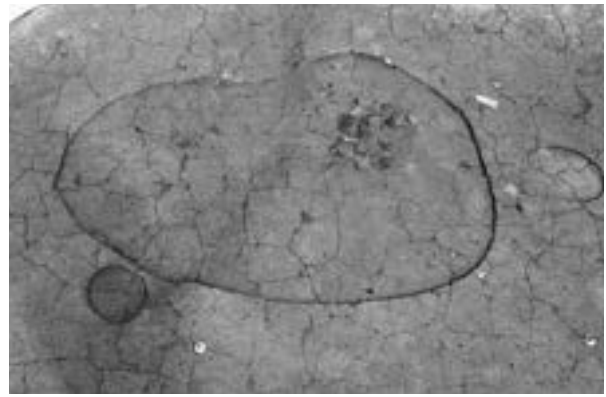


12SK150

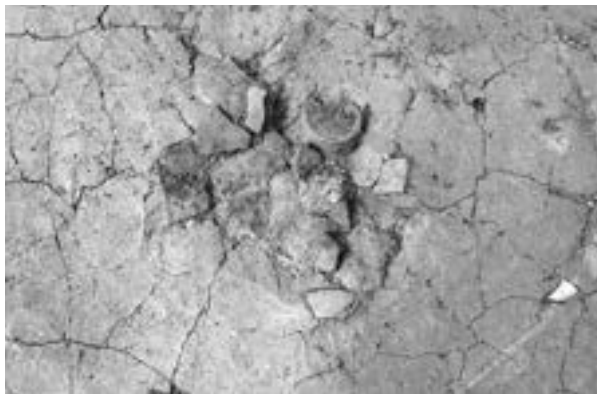
図版36 12次調査 土坑 (2)



12SK236



12SK263



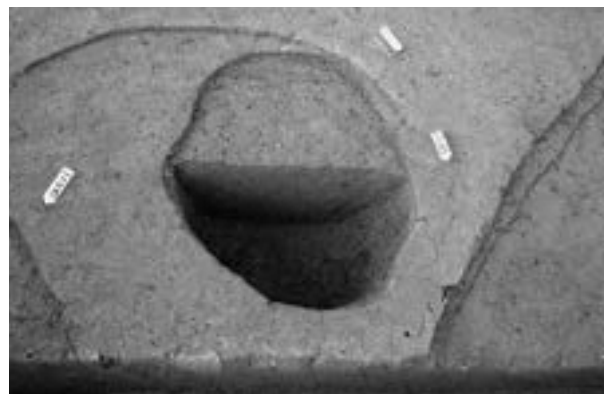
12SK263 土器出土状況



12SK454



12SK513



12SK520



12SK521



12SK529・528

図版37 12次調査 土坑 (3)



12SK534・12SD3



12SD1



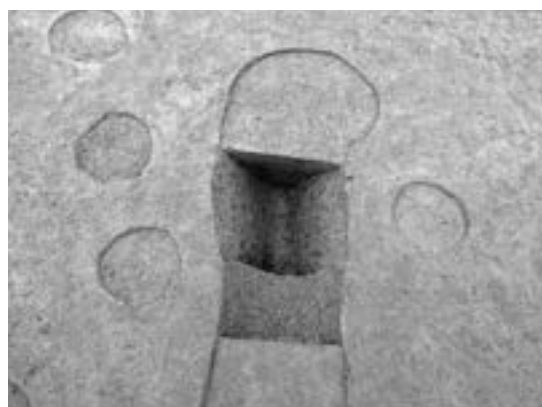
12SD2



12SD3



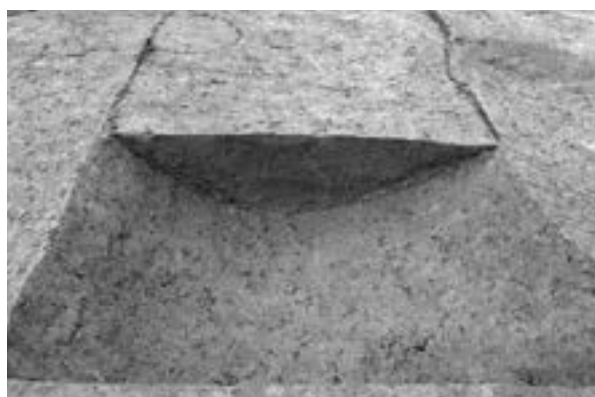
12SD3・SD468



12SD324

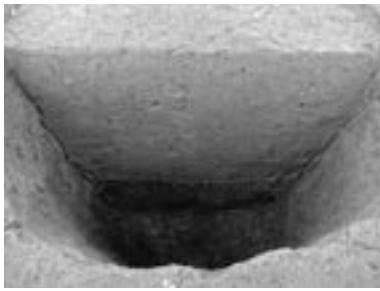


12SD466



12SD468

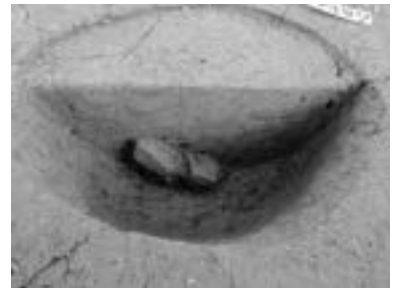
図版38 12次調査 溝跡



12SB1 P279



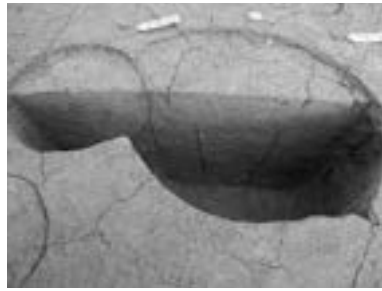
12SB1 P286



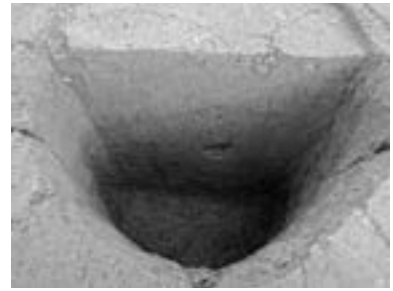
12SB1 P387



12SB1 P394



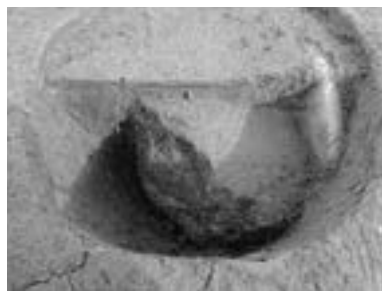
12SB1 P412・P411



12SB1 P430



12SB1 P431



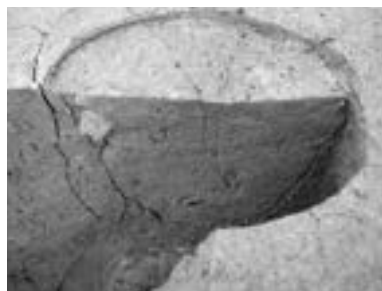
12SB1 P456



12SB1 P500



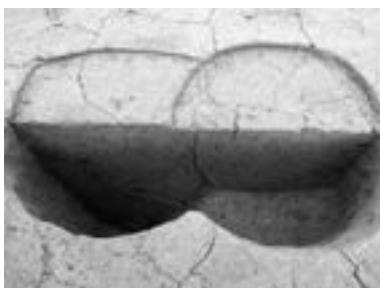
12SB2 P203・204



12SB2 P295・SE294



12SB2 P366・367



12SB2 P380・381



12SB2 P386

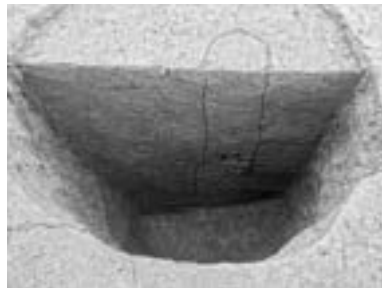


12SB2 P427

図版39 12次調査 掘立柱建物跡柱穴 (1)



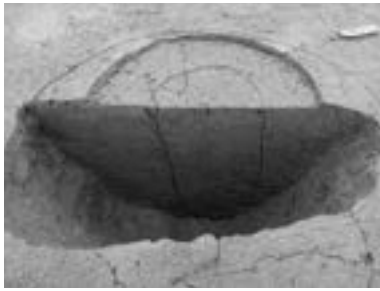
12SB2 P428



12SB3 P278



12SB3 P350



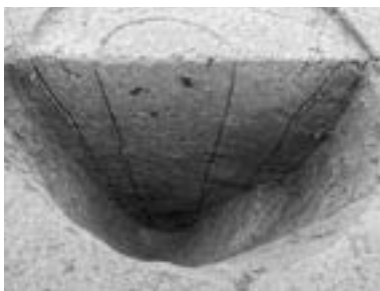
12SB3 P378



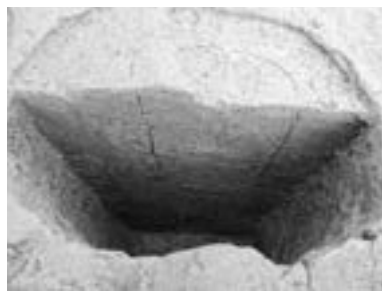
12SB3 P389



12SB3 P397



12SB4 P167



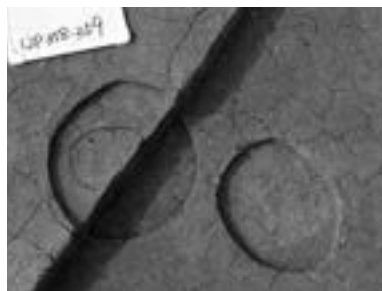
12SB4 P182



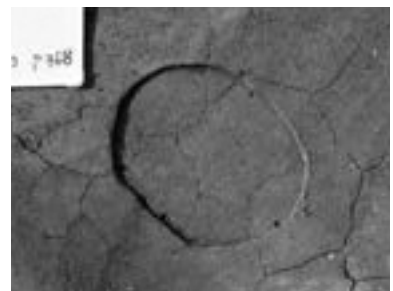
12SB4 P206



12SB4 P206 銅製品出土状況



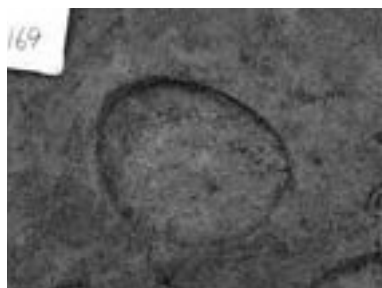
12SB4 P358・359



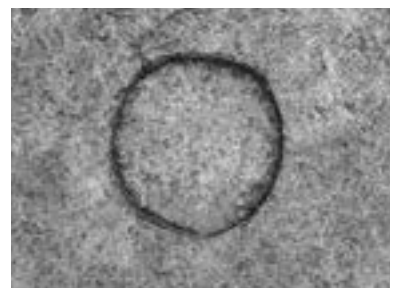
12SB4 P368



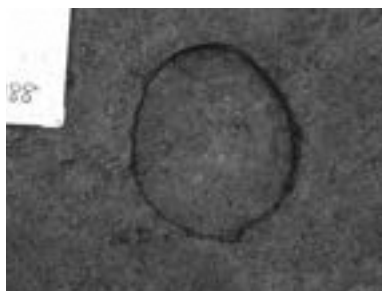
12SB5 P163



12SB5 P169



12SB5 P173



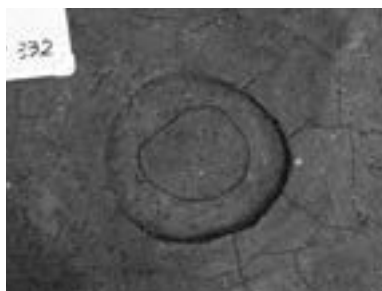
12SB5 P188



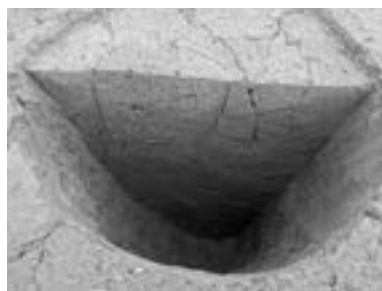
12SB5 P195



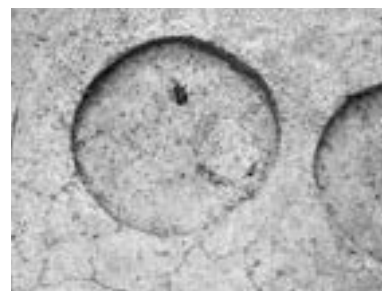
12SB5 P224



12SB5 P332



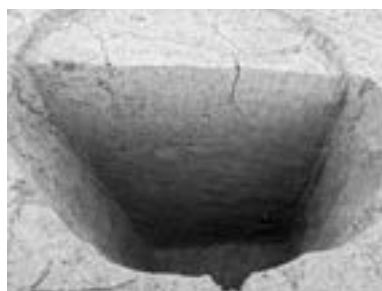
12P6



12P123



12P127



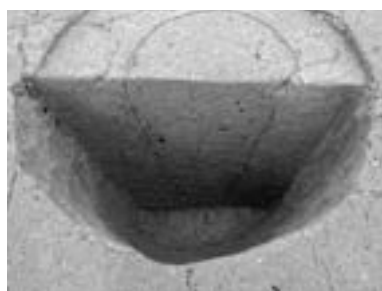
12P128



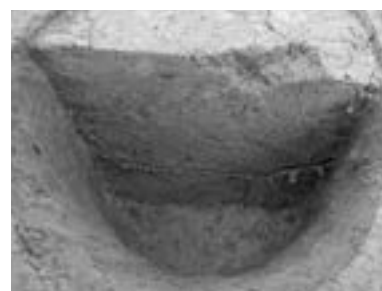
12P164



12P168



12P172



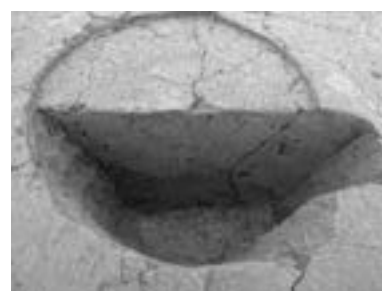
12P202



12P229

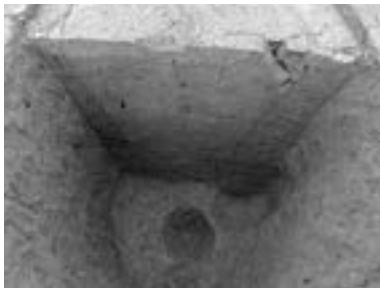


12P282

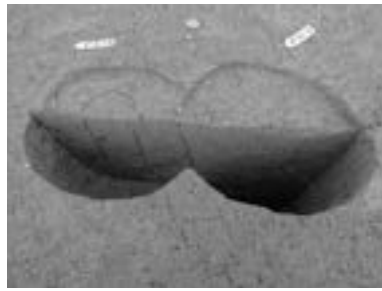


12P296

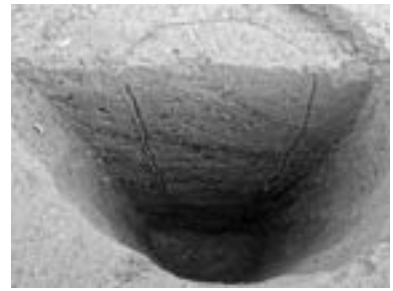
図版41 12次調査 掘立柱建物跡柱穴、その他柱穴



12P298



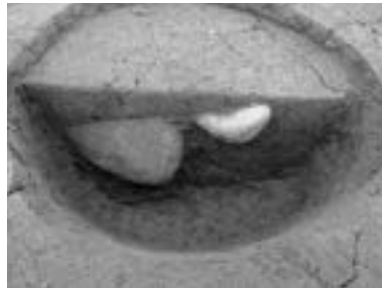
12P314・313



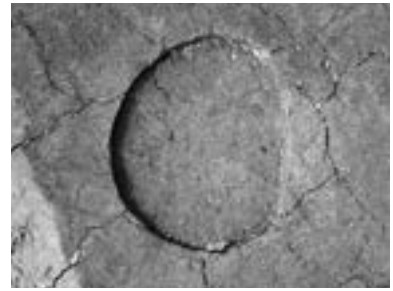
12P320



12P348



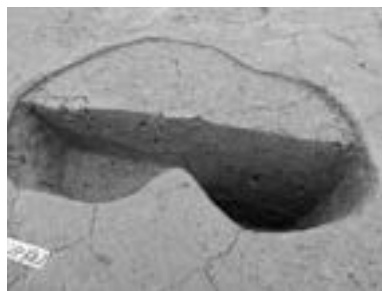
12P352



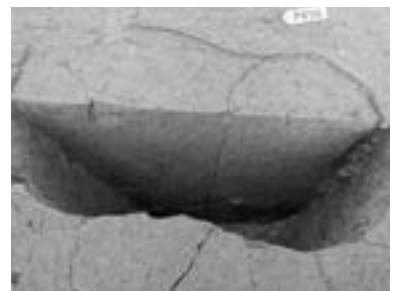
12P362



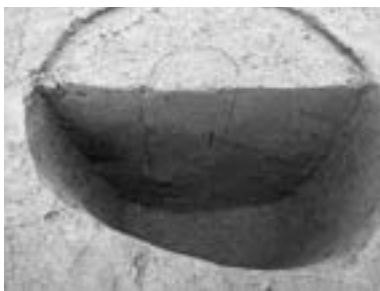
12P376



12P382



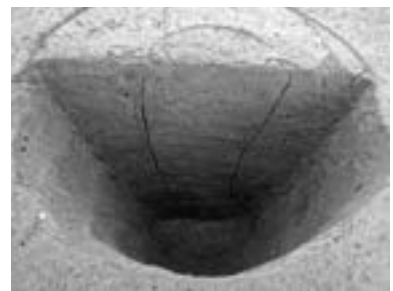
12P476



12P505



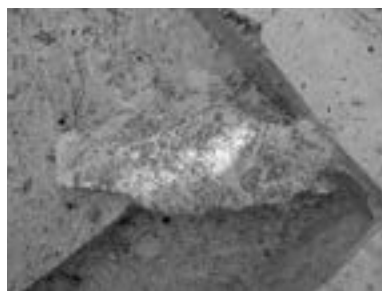
12P526



12P531



12P600



12SH145製鉄炉壁出土状況



12ⅡB1 緡銭出土状況

図版42 12次調査 その他柱穴、遺物出土状況



13次全景（東から）



13ⅡB1 全景

図版43 13次調査 調査区遠景、全景



13ⅡB2 全景



13ⅡB3 全景



13ⅡB3 東壁



13ⅡB4-4・5



13ⅡB5 東壁



13ⅡB6-1・2



13ⅡB6-2 東壁



13SB1

図版44 13次調査 調査区全景、近景、掘立柱建物跡



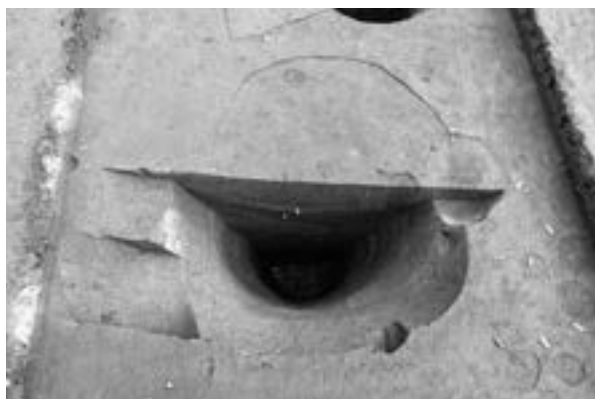
13SB2



13SE4 北壁



13SE38 西壁



13SE96



13SE96 東壁



13SE96 かわらけ出土状況



13SE97



13SE97 東壁

図版45 13次調査 掘立柱建物跡、井戸跡



13SE127



13SE127 東壁



13SE128



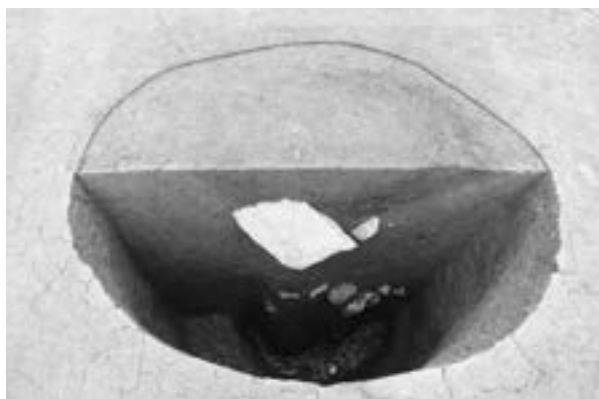
13SE131



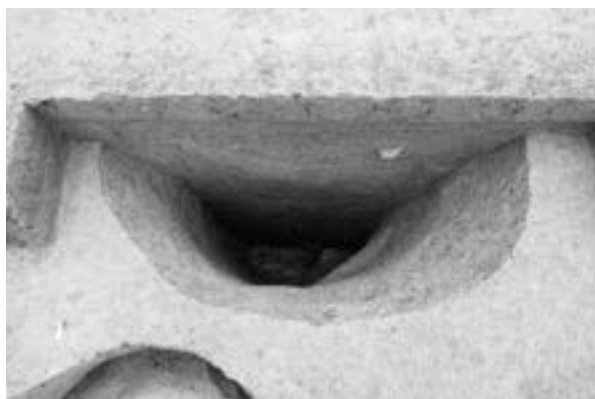
13SE131 西壁



13SE131 礫・陶器出土状況



13SE133



13SE161



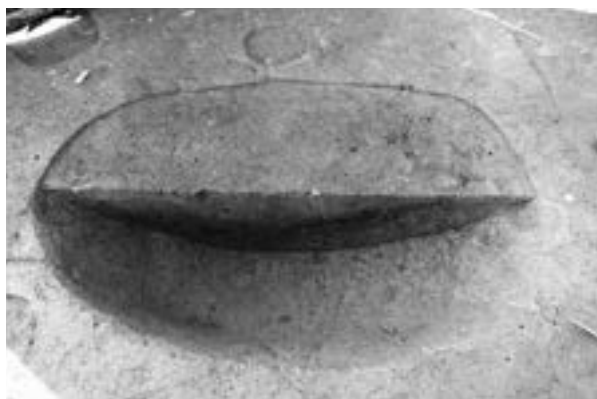
13SE166・13SD3-T6 北壁



13SK45



13SK45 北壁



13SK70



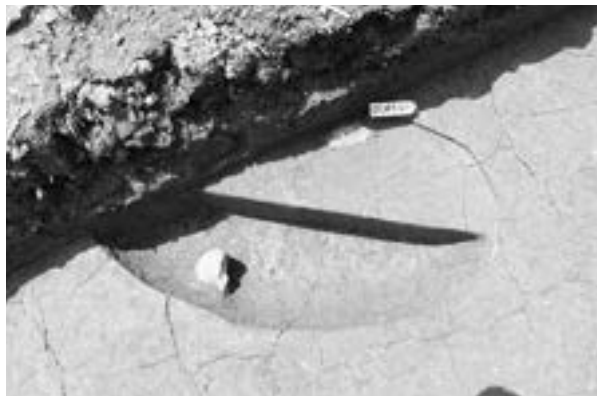
13SK5 南壁



13SK6 土器出土状況

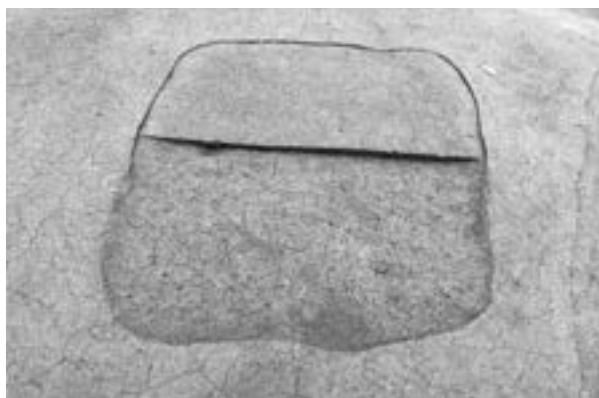


13SK7

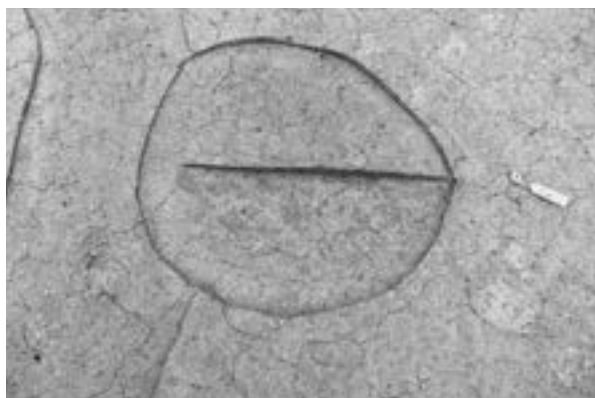


13SK10

図版47 13次調査 井戸跡、方形竪穴遺構、土坑



13SK16



13SK17



13SK19 西壁



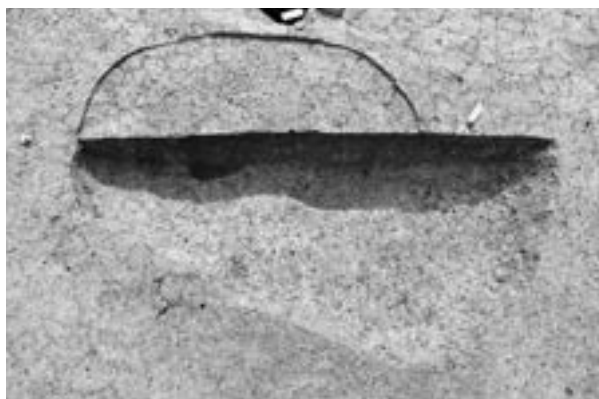
13SK23



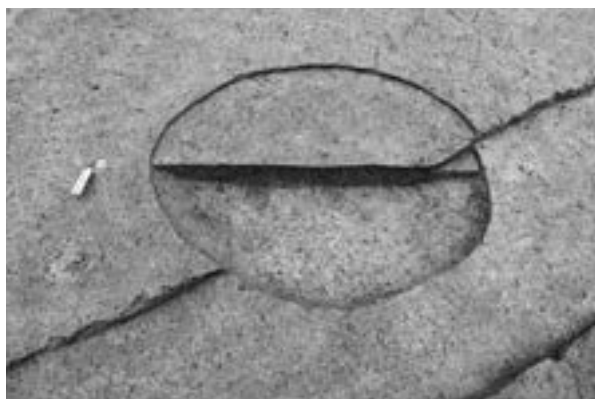
13SK27



13SK33



13SK35



13SK39

図版48 13次調査 土坑 (1)



13SK49 北壁



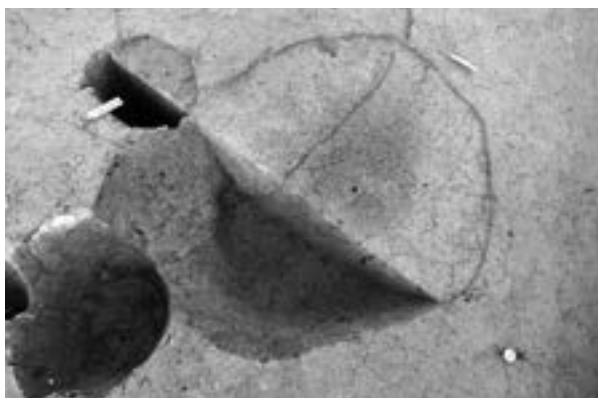
13SK52



13SK60



13SK73



13SK124



13SK142



13SK146



13SK165・13SE38

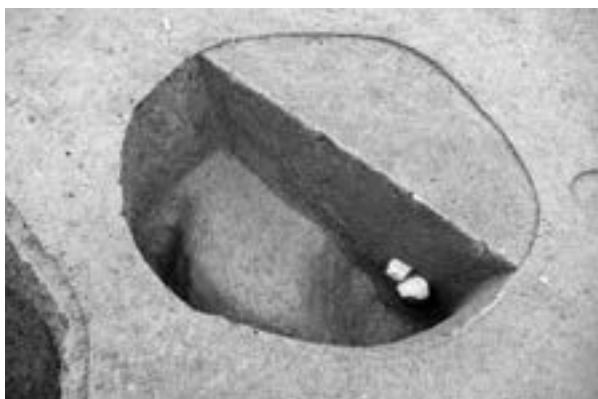
図版49 13次調査 土坑 (2)



13SK136 北壁



13SK137



13SK160 北壁



13SK164 東壁



13SF1-T4



13SF1-T4 北壁

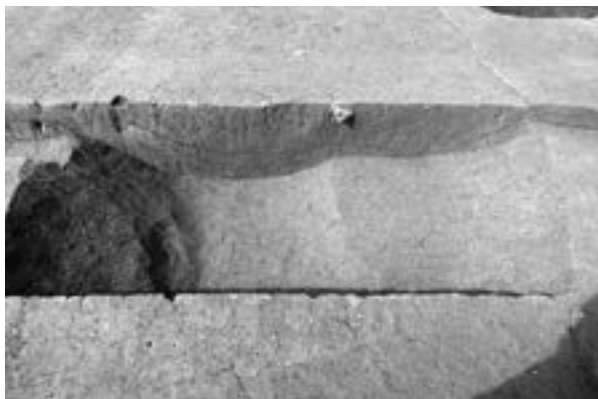


13SF1-T4



13SD3-T1 南壁

図版50 13次調査 土坑、道路状遺構・溝跡



13SD3-T2 北壁



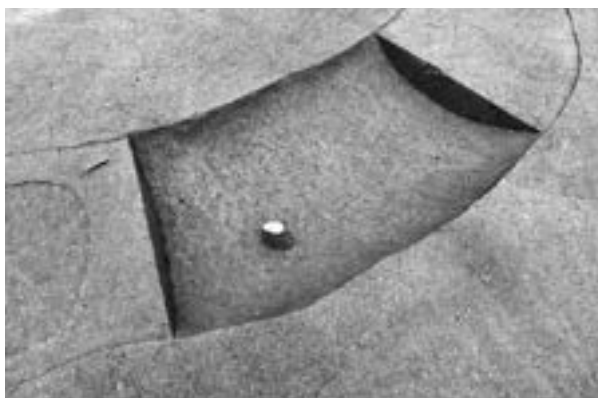
13SD3-T3 北壁



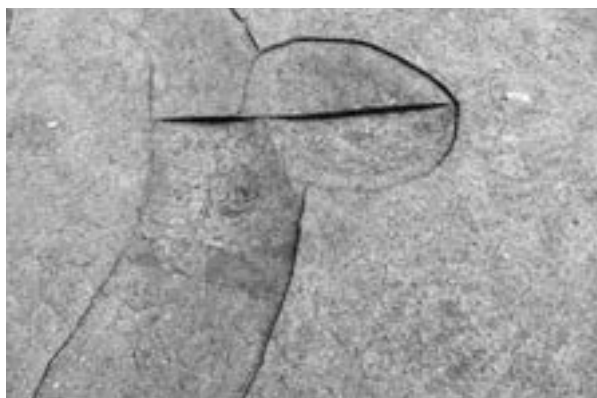
13SD3-T5 北壁



13SD31-T2



13SD31-T5



13SD18-T1・13SK17



13SD28

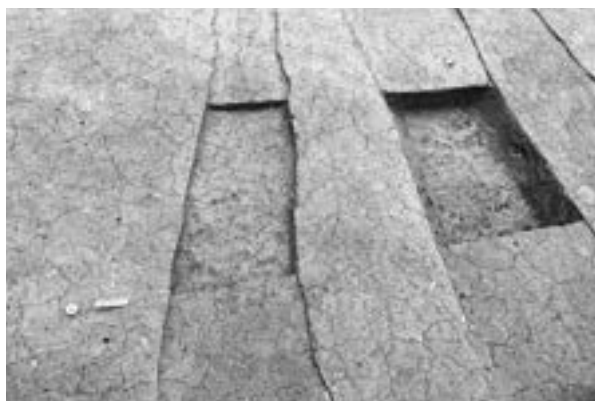


13SD37

図版51 13次調査 溝跡 (1)



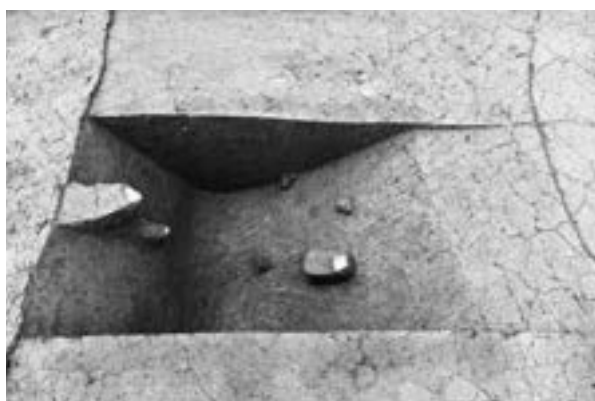
13SD31・139-T3 北壁



13SD31・140-T3



13SD126



13SD126-T2 土器出土状況



13SD129-T2 西壁



13SD130・132

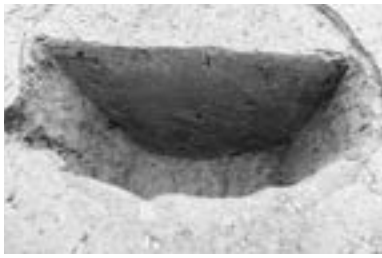


13SD134



13SD135 北壁

図版52 13次調査 溝跡 (2)



13SB1 P22



13SB1 P26



13SB1 P29



13SB1 P34



13SB1 P36



13SB1 P143



13SB1 P144



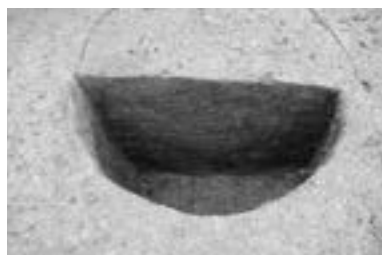
13SB1 P145



13SB1 P153



13SB1 P155



13SB2 P8



13SB2 P11



13SB2 P12

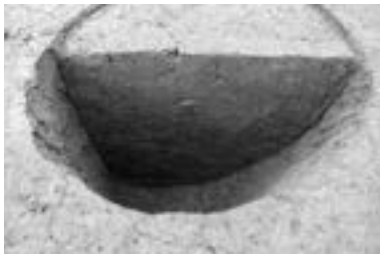


13SB2 P13



13SB2 P25

図版53 13次調査 掘立柱建物跡柱穴 (1)



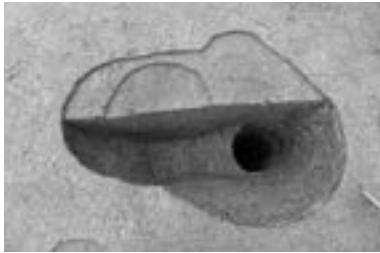
13SB2 P150



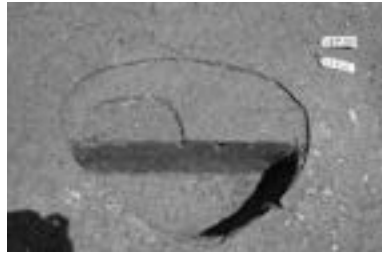
13SB2 P156



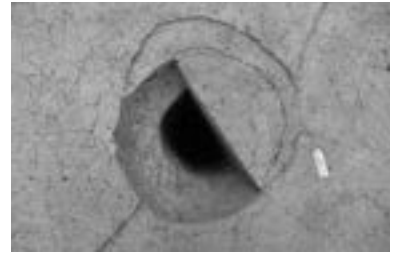
13SB2 P157



13P14・15



13P20・21



13P24



13P40



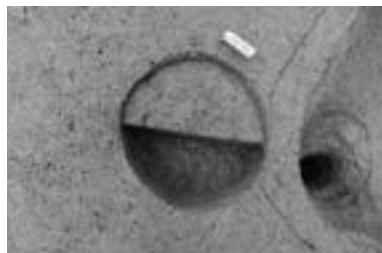
13P41



13P42



13P43



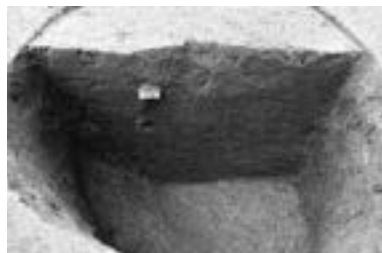
13P46



13P47 北壁



13P48



13P53



13P54

図版54 13次調査 掘立柱建物跡柱穴、その他柱穴



13P55・56



13P57



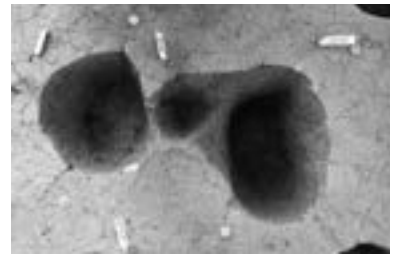
13P58



13P59



13P89



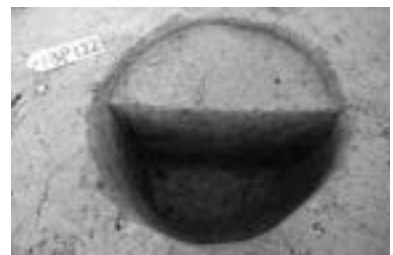
13P90・94・95



13P94



13P95



13P122



13P148



13ⅡB1 青磁出土状況



13P149



13P151



13P154



13ⅡB1 銅製品出土状況

図版55 13次調査 その他柱穴、遺物出土状況



14次遠景（南から）



14次全景（南から）

図版56 14次調査 調査区遠景、全景



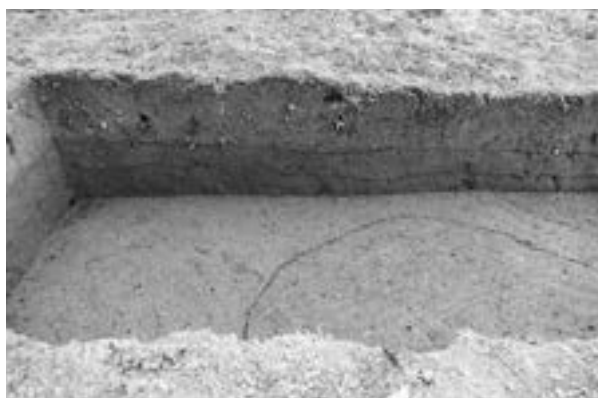
14ⅡB1



14ⅡB1 西壁



14ⅡB2-1・2



14ⅡB2-1 東壁



14ⅡB3-1



14ⅡB3-2 東壁



14ⅡB3-3



14ⅡB3-3 東壁

図版57 14次調査 調査区全景、近景



14ⅡB4



14ⅡB4 西壁



14SI43



14SI43 北壁



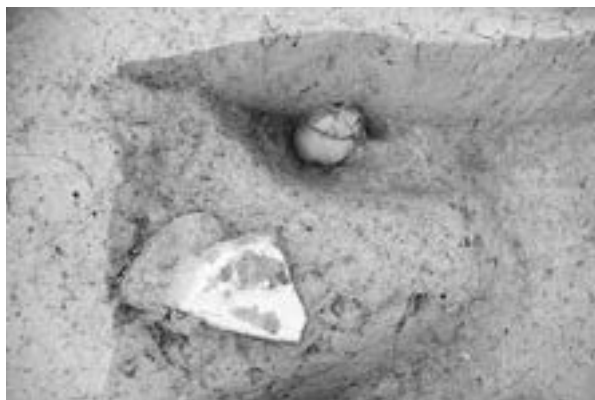
14SI43



14SI43・14SK71



14SI43竈



14SI43土器出土状況

図版58 14次調査 調査区近景、竪穴住居跡



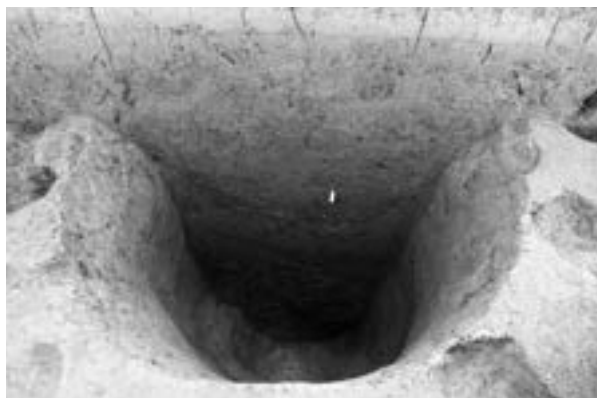
14SI43-SH1 炉



14SK71



14SK71 南壁



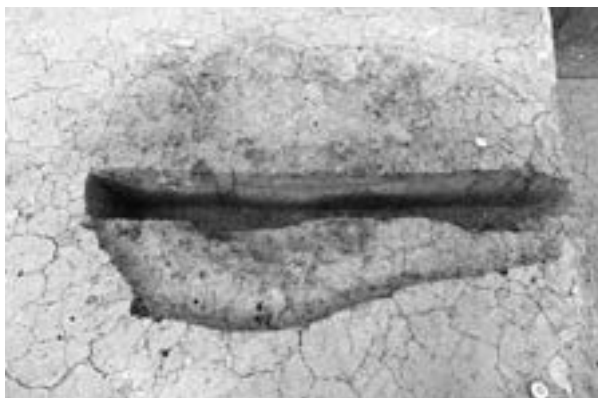
14SE1



14SE12



14SE12壁土出土状況



14SK62

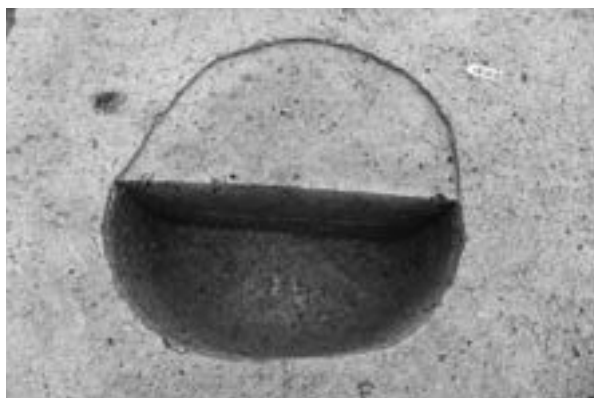


14SK76

図版59 14次調査 竪穴住居跡、井戸跡、土坑



14SK77



14SK8



14SK2



14SK3



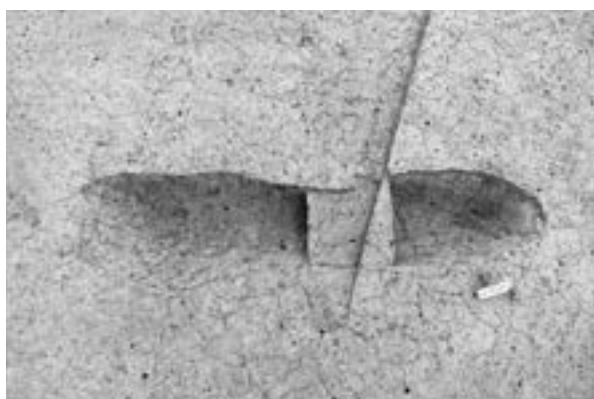
14SK25



14SK25・14SD4



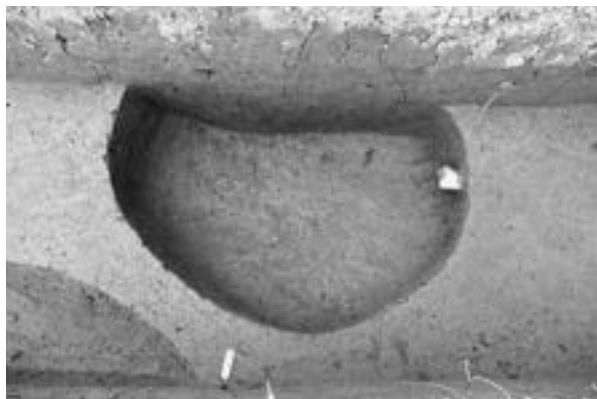
14SK34



14SK39



14SK65



14SK66



14SX100 畝状遺構



14SD4-T1



14SD30-T2



14SD31-T2



14SD31-T4



14SD45-T4

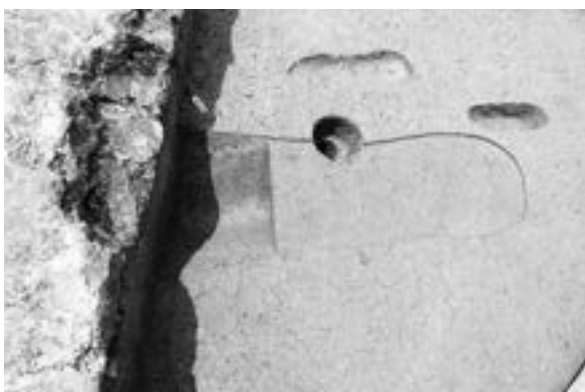
図版61 14次調査 土坑、溝跡



14SD46-T1



14SD67



14SD73



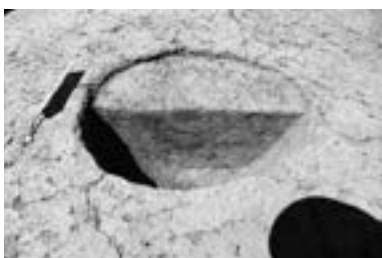
14SD74



14SD75 (2T)



14SD75 (3T)



14P56



14P60



14P72

図版62 14次調査 溝跡、柱穴



15G1 (東から)



15G2 (西から)



15G3 (東から)



15G3 (西から)



15G4 (東から)



15G5 (東から)



15G2 北壁



15G3 北壁

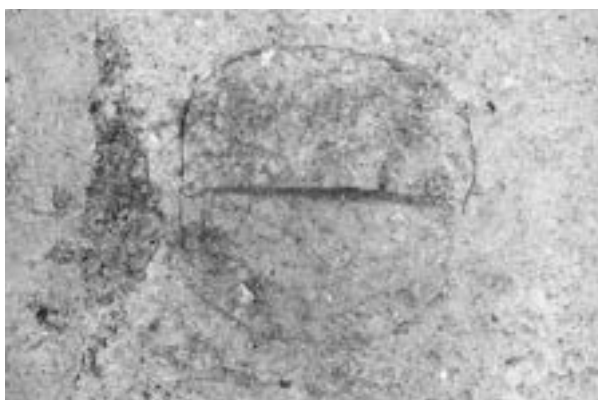
図版63 15次調査 調査区近景



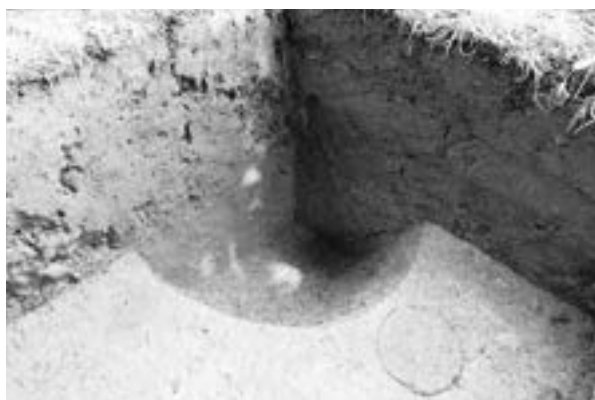
15G4 北壁



15G6



15SK1



15SK6



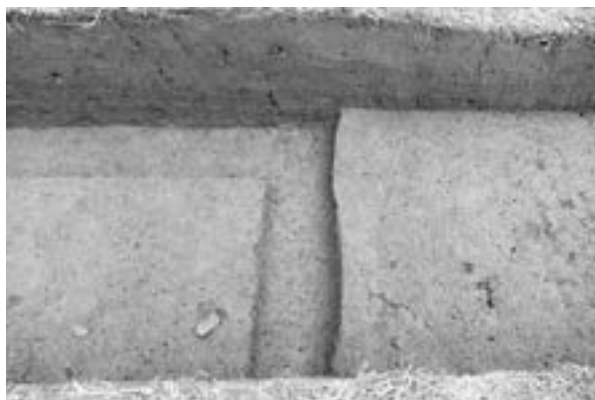
15SK8



15SD5

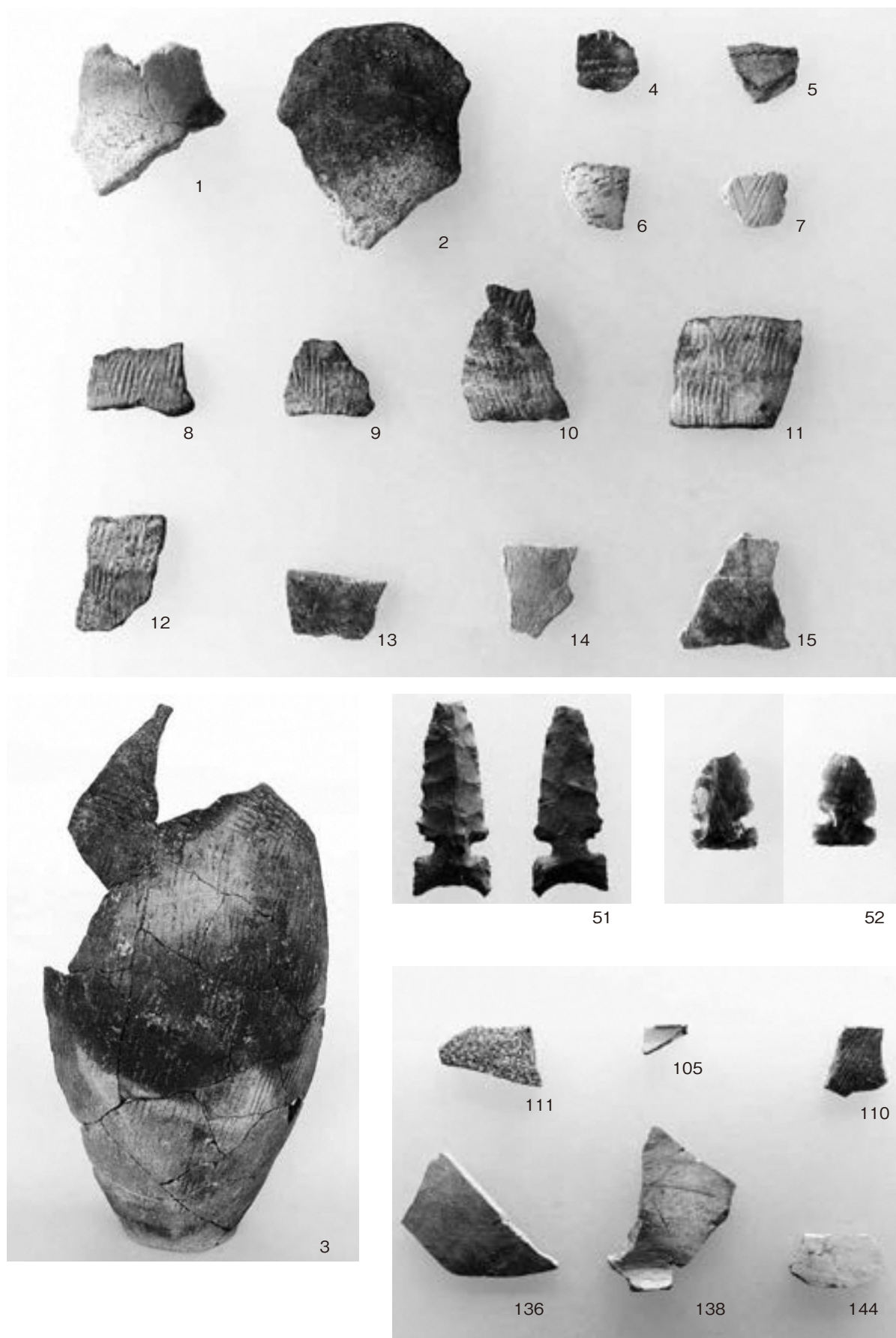


15SD7

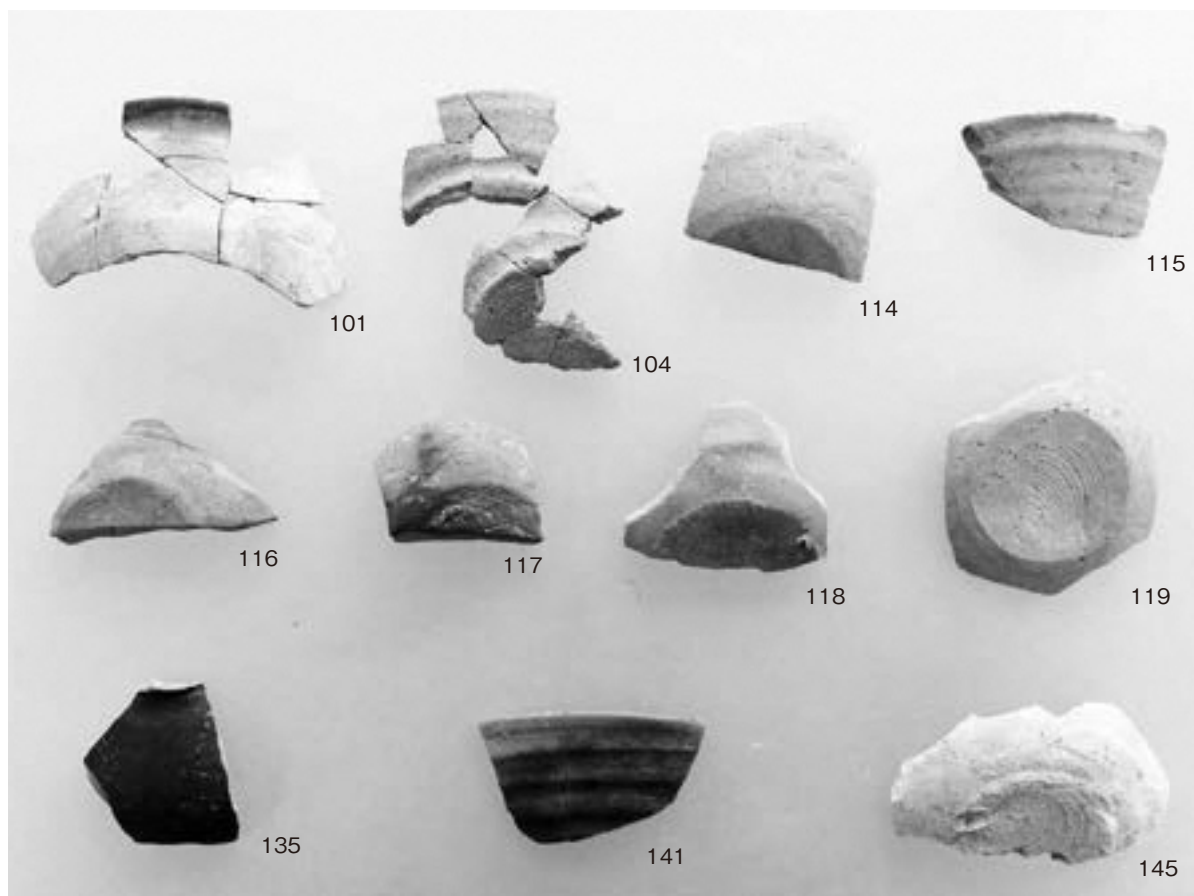


15SD9

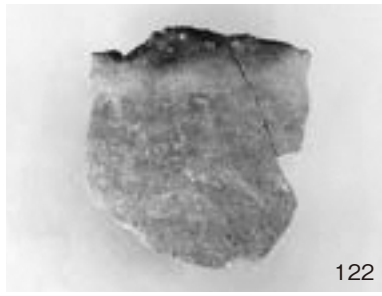
図版64 15次調査 調査区近景、土坑、溝跡



図版65 出土遺物 縄文～弥生土器・石器、須恵器



図版66 出土遺物 土師器・須恵器 (1)



122



123



124



125



126



127



128



129



130



131



132



133



134



137



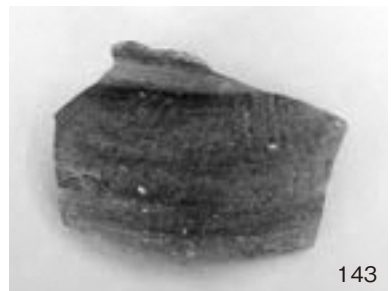
139



140

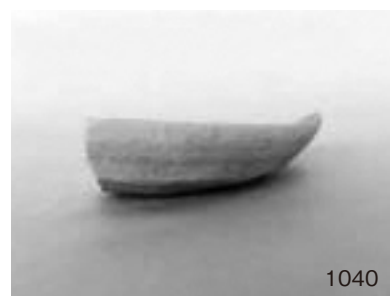
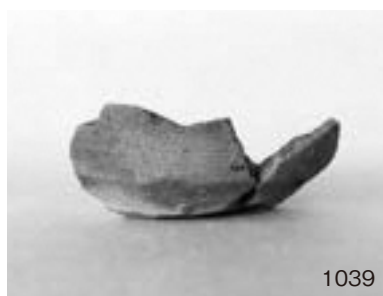
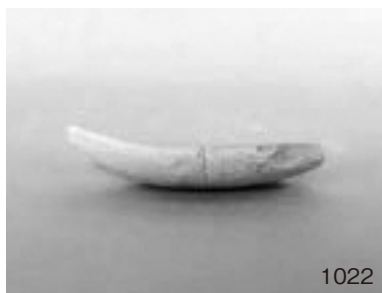
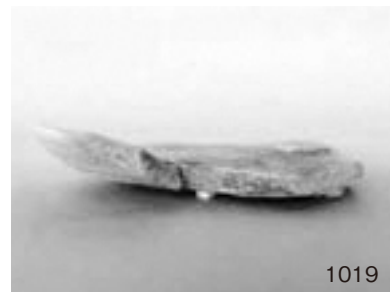
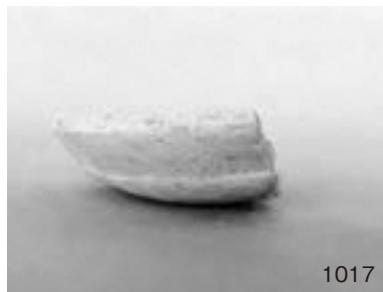
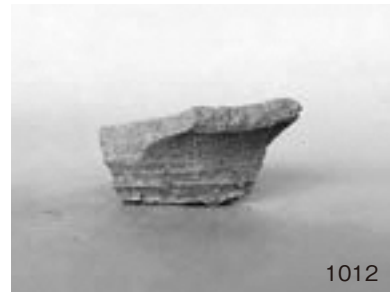
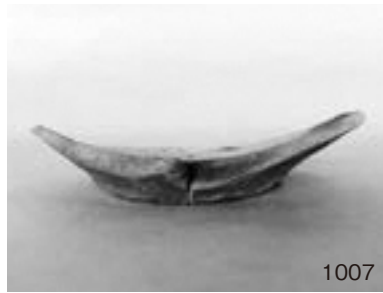
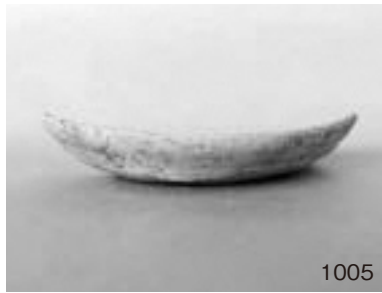


142

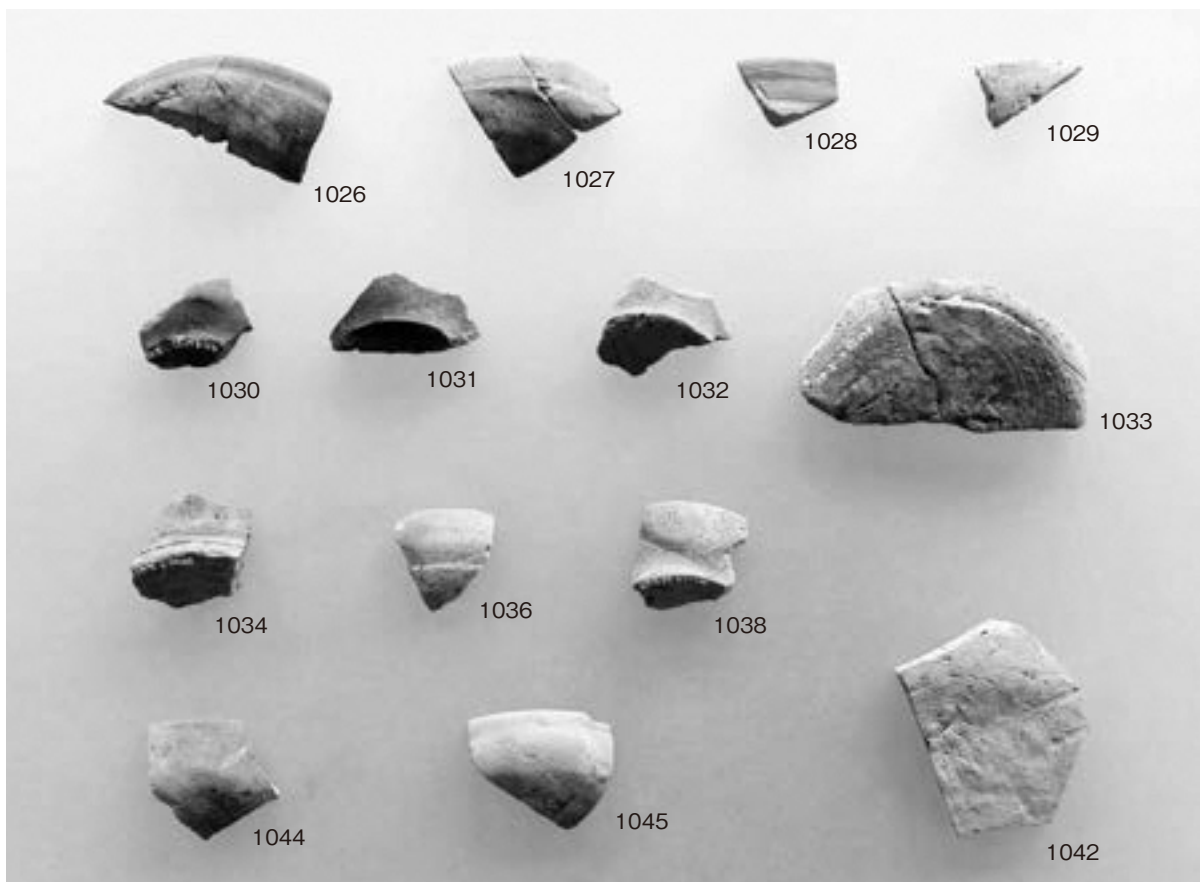
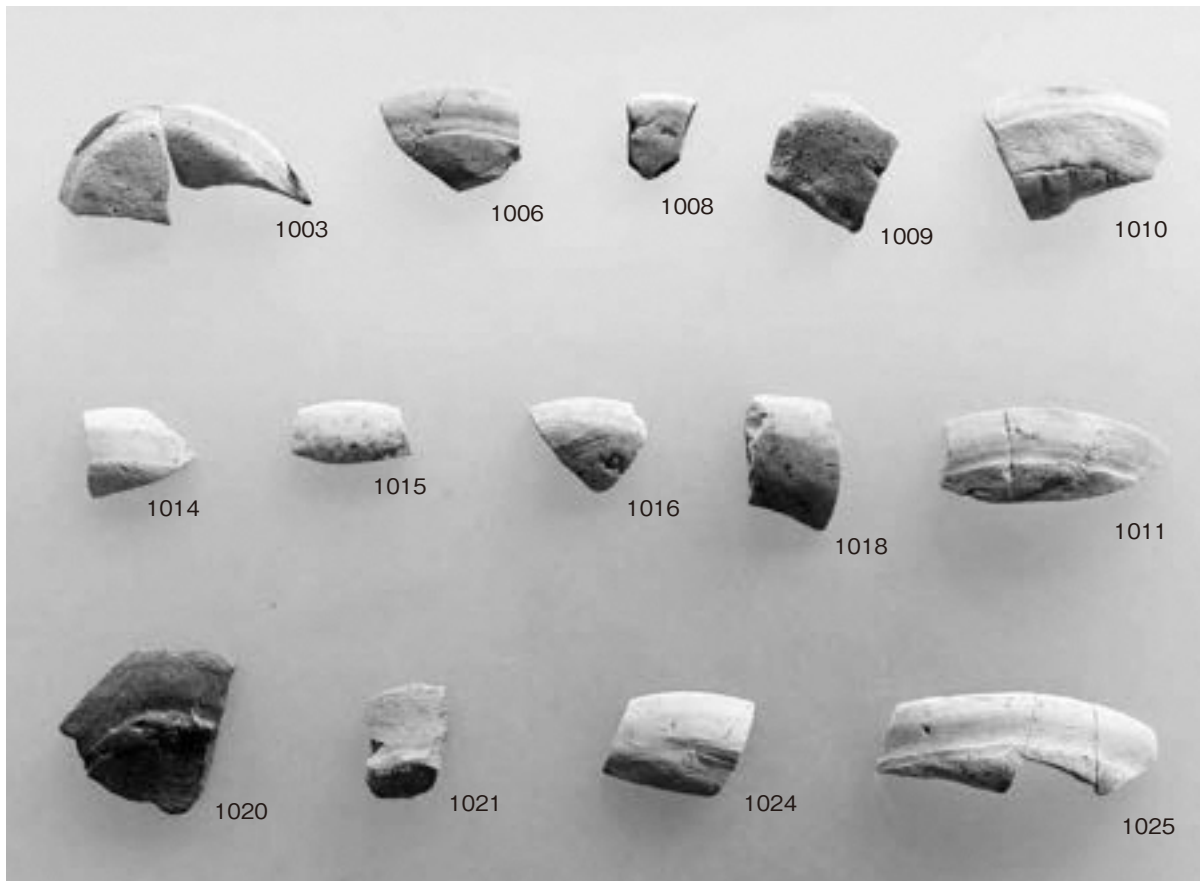


143

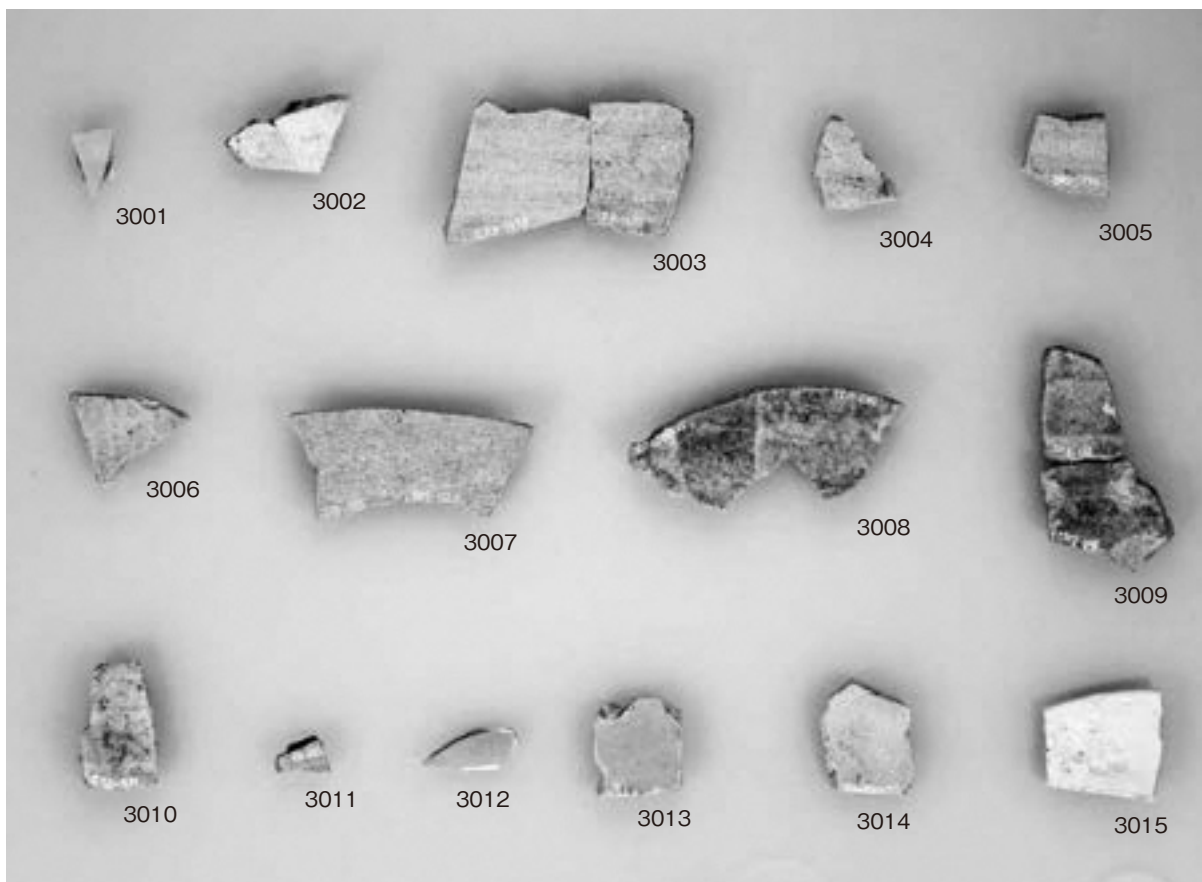
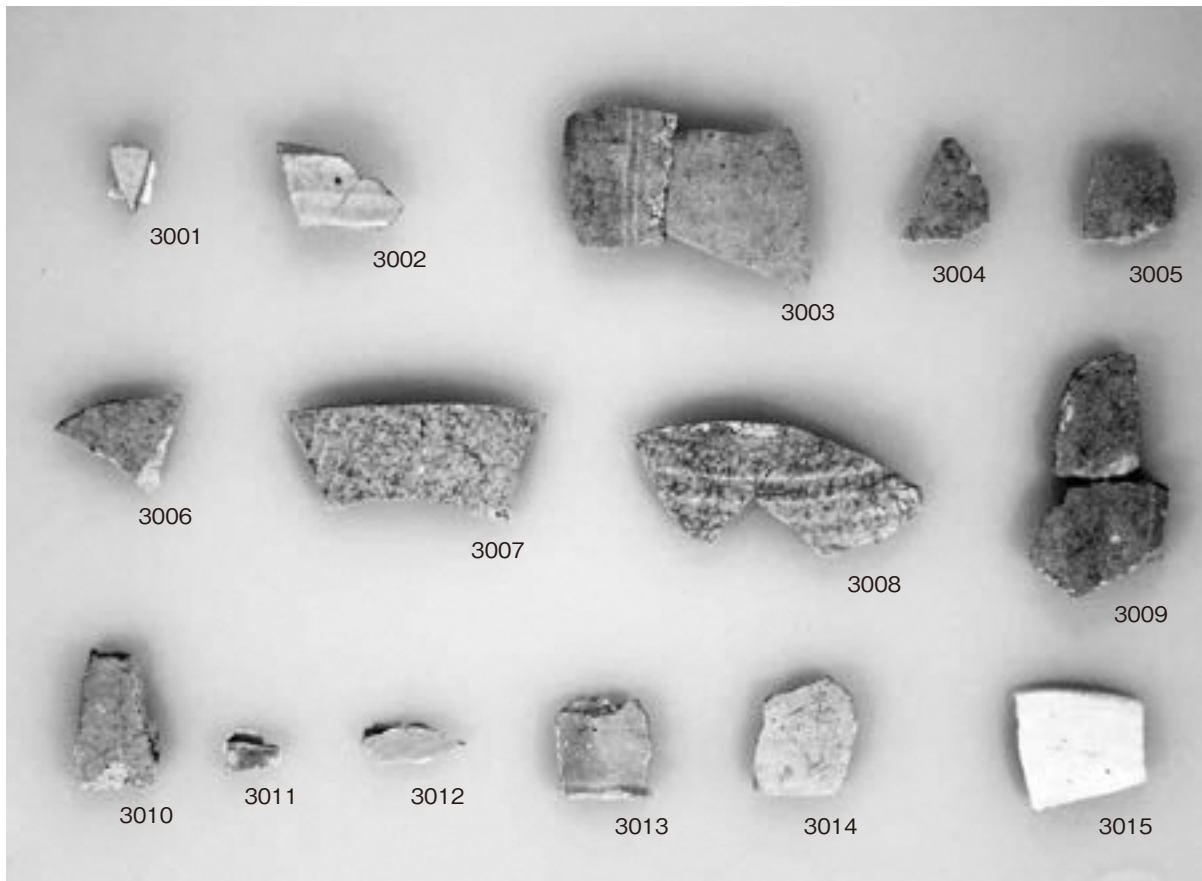
図版67 出土遺物 土師器・須恵器 (2)



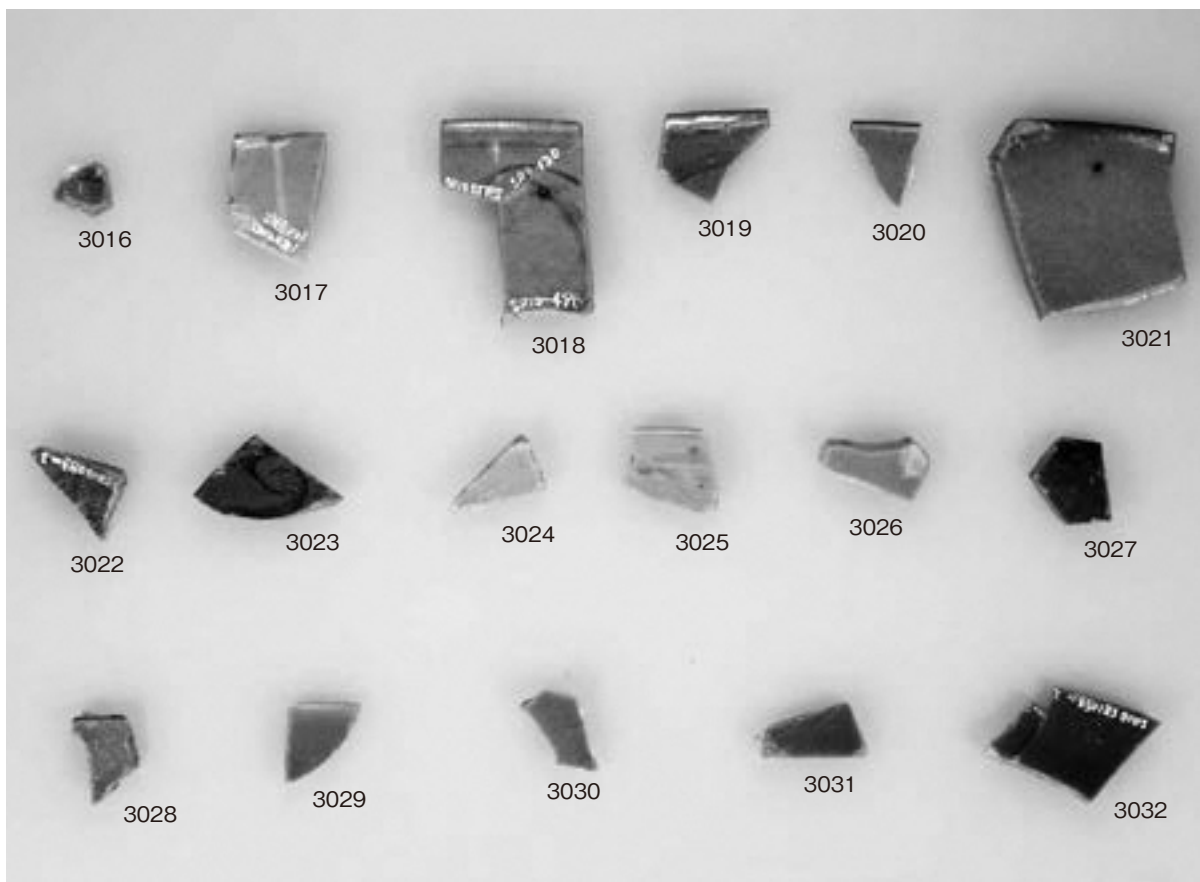
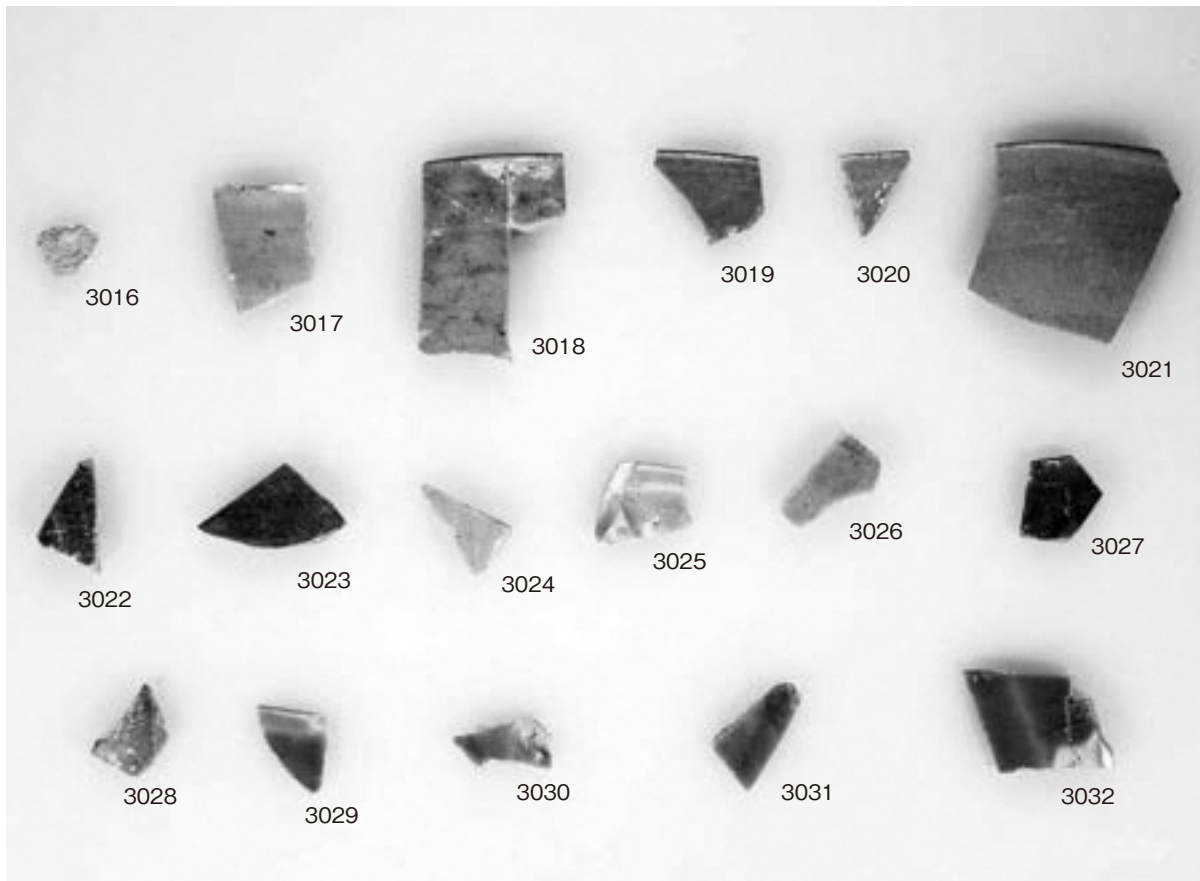
図版68 出土遺物 かわらけ (1)



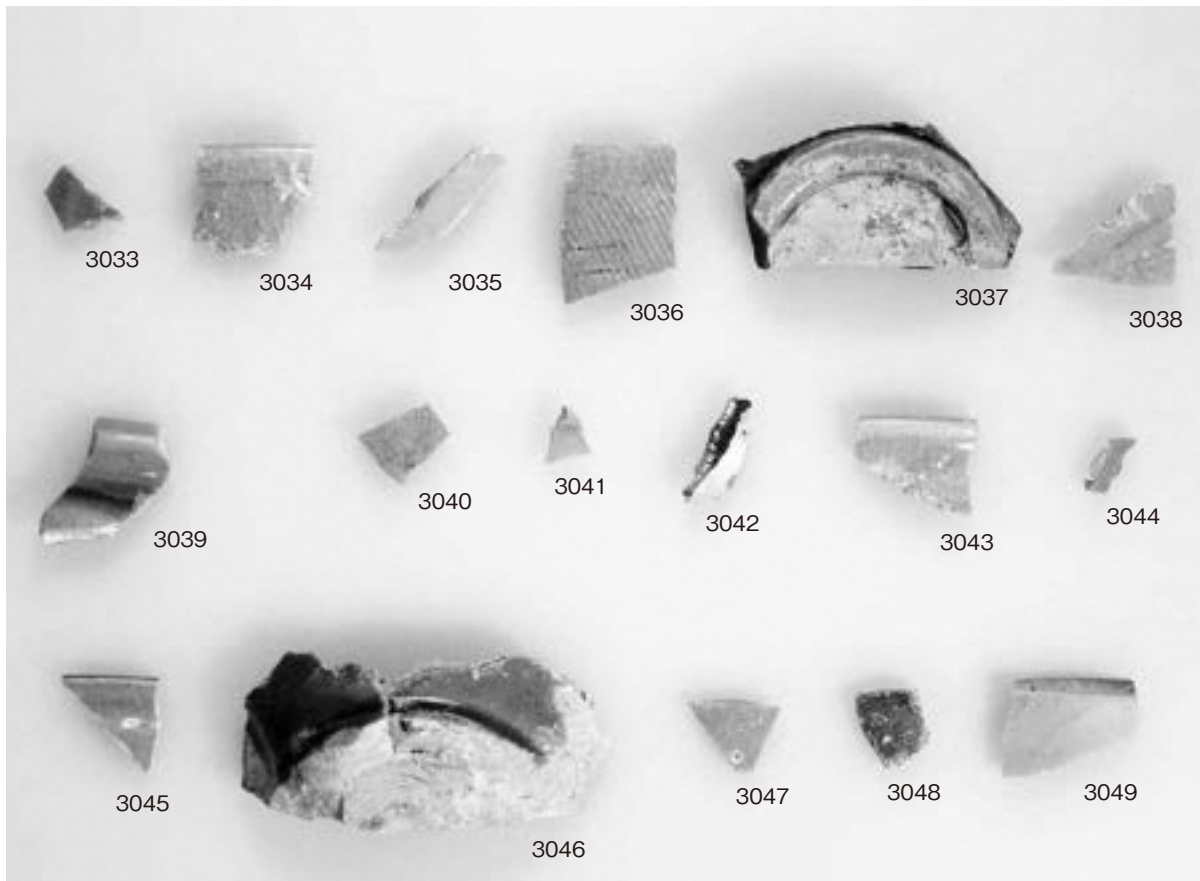
図版69 出土遺物 かわらけ (2)



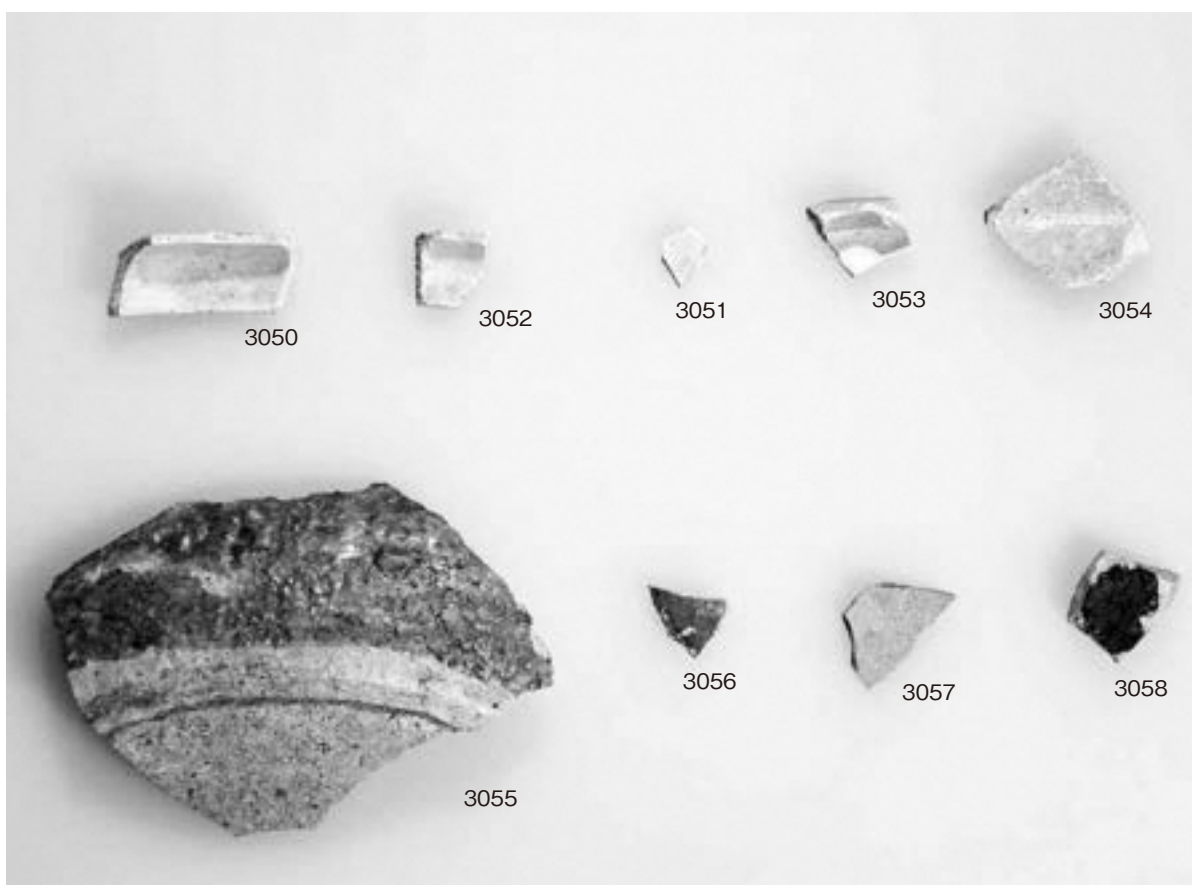
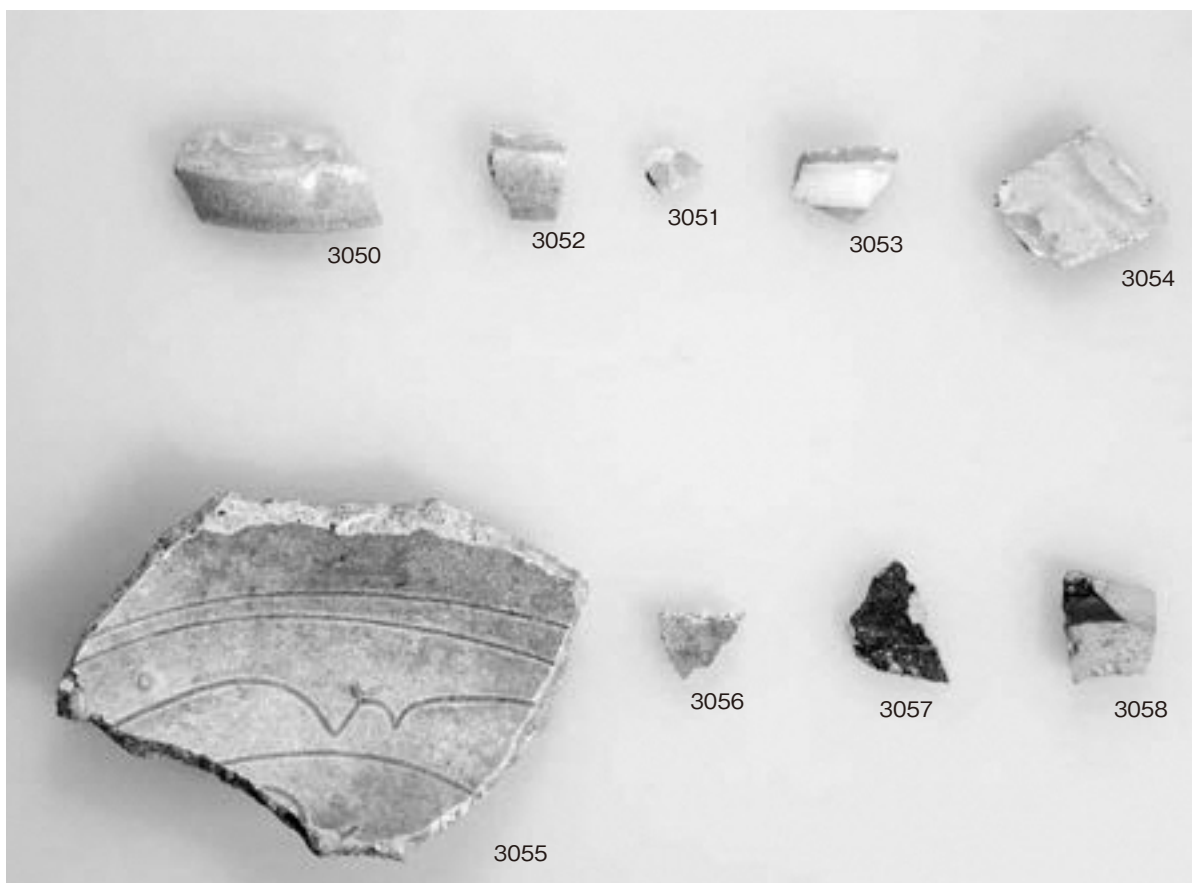
図版70 出土遺物 貿易陶磁器（白磁）



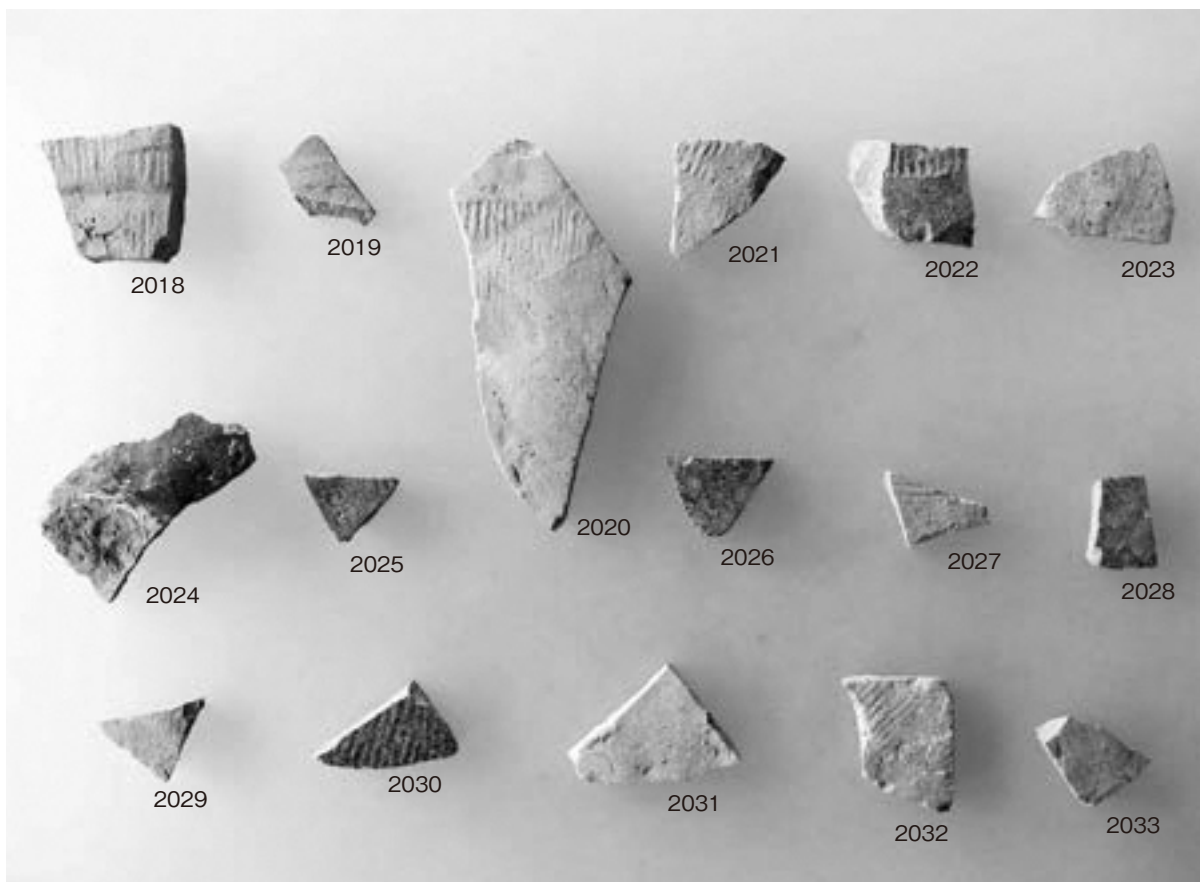
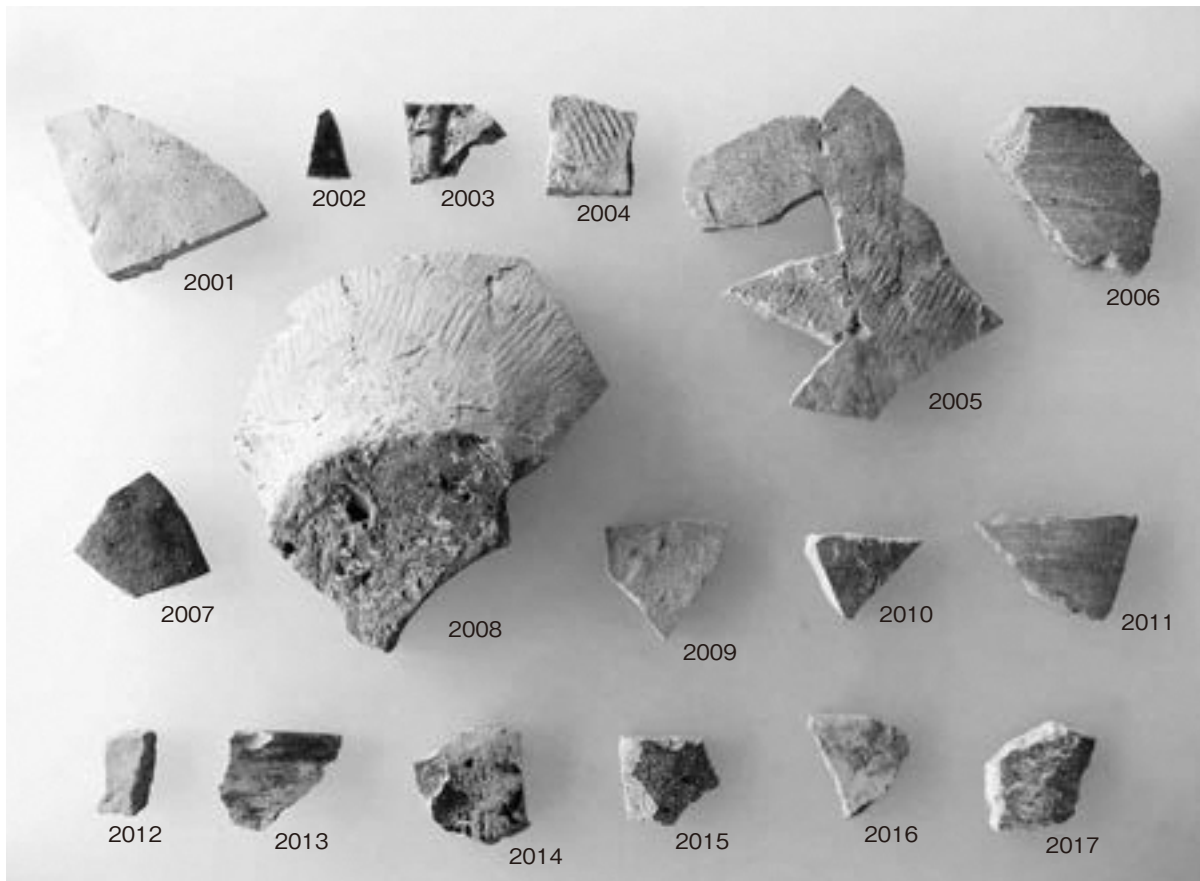
図版71 出土遺物 貿易陶磁器（青磁）（1）



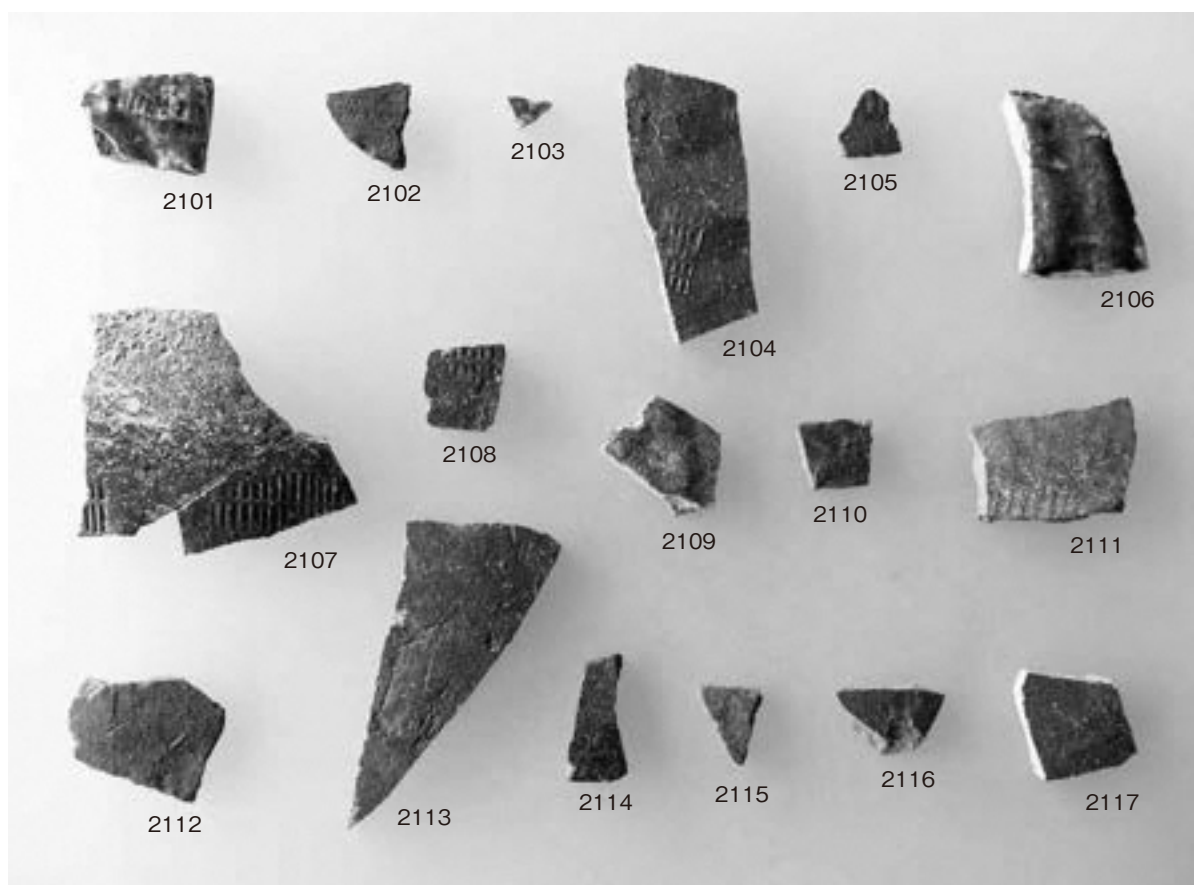
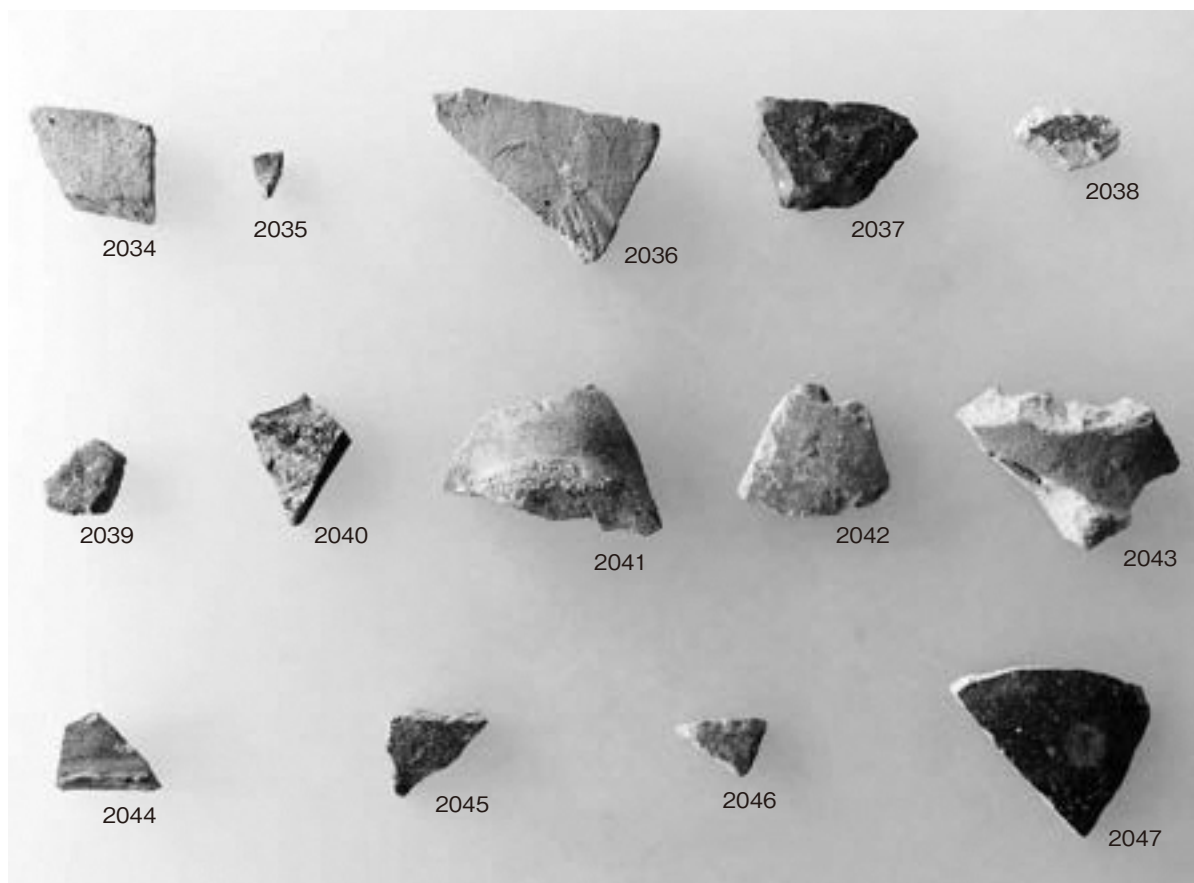
図版72 出土遺物 貿易陶磁器（青磁）（2）



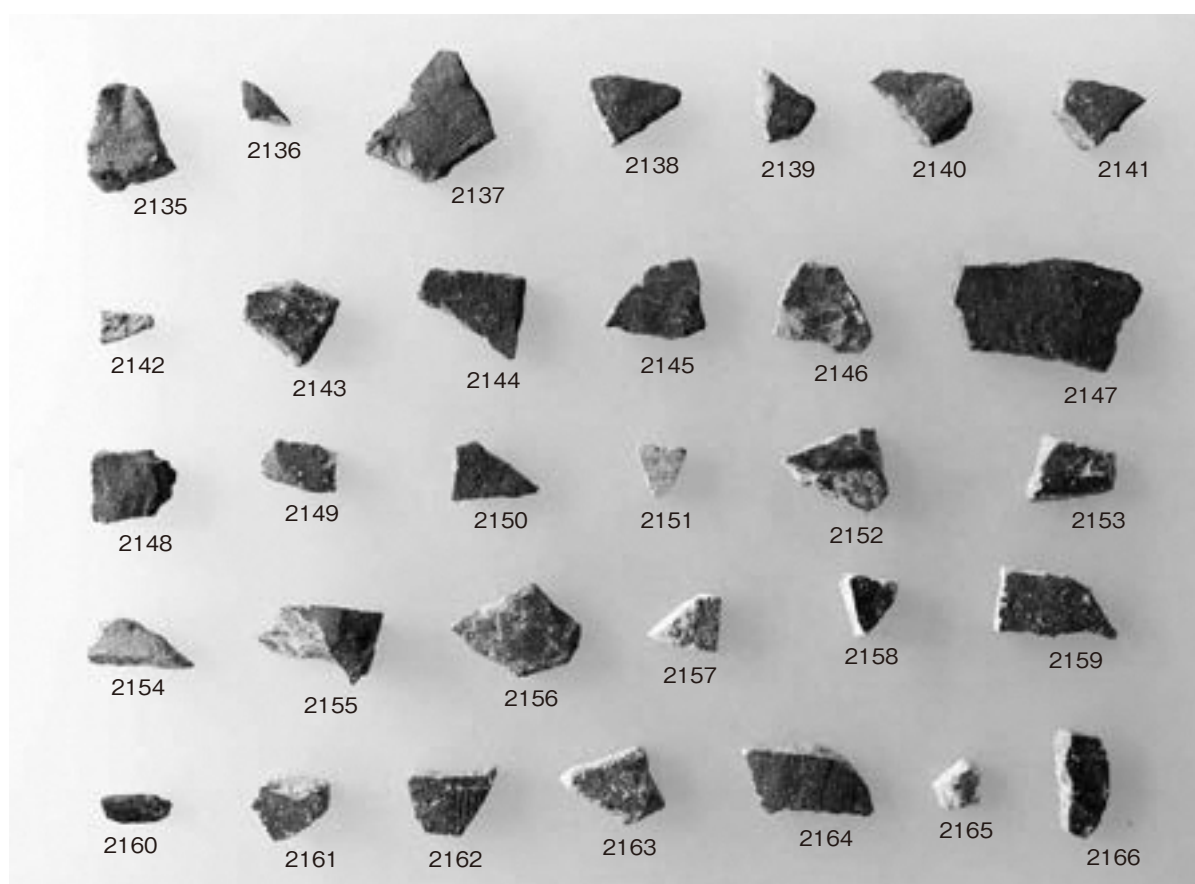
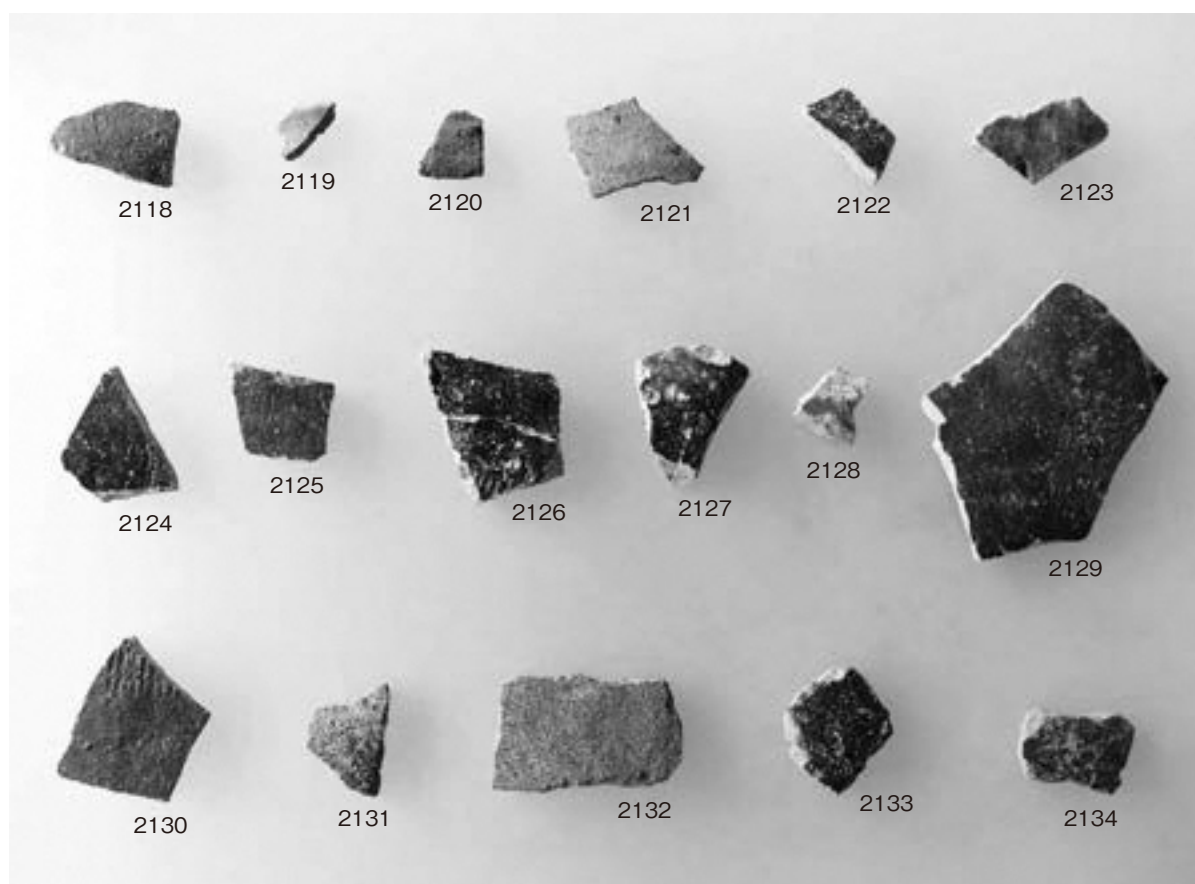
圖版73 出土遺物 貿易陶磁器（青白磁、褐釉陶器、綠釉陶器）



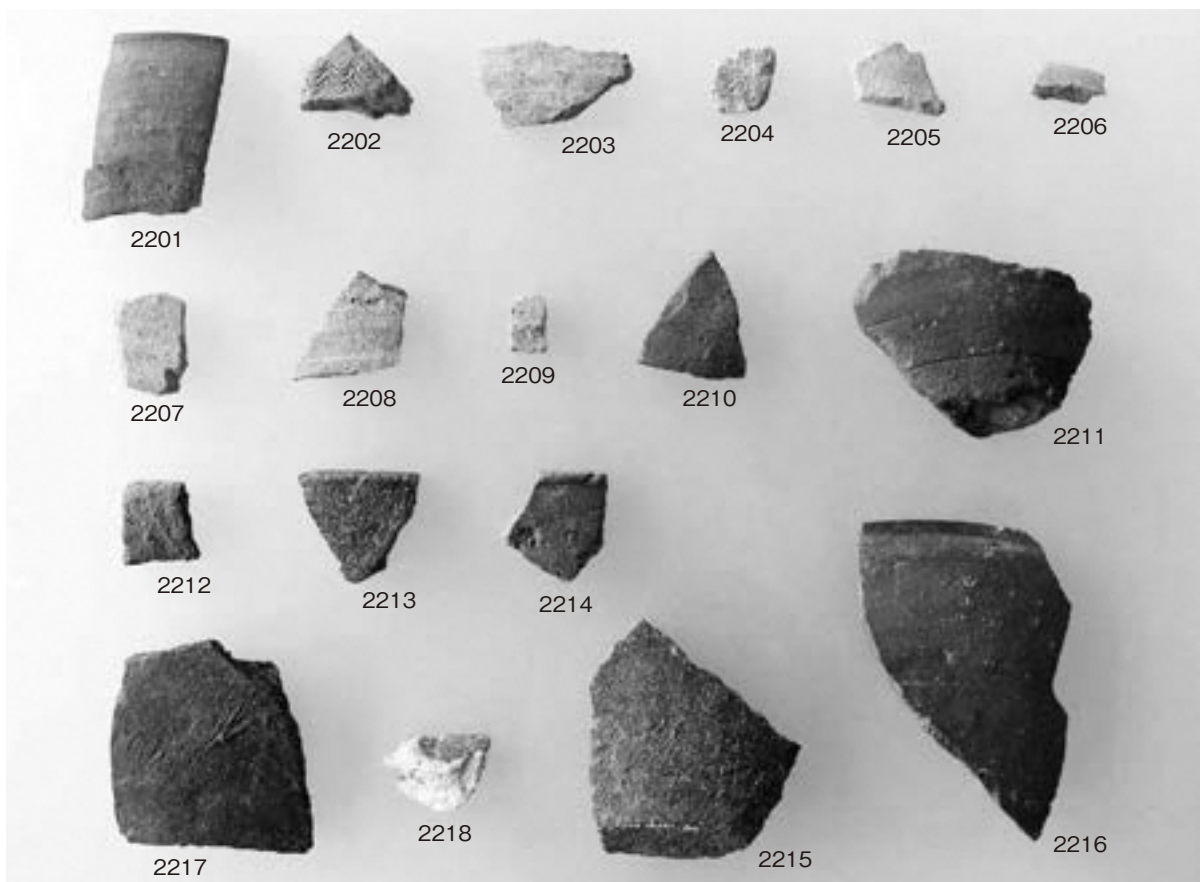
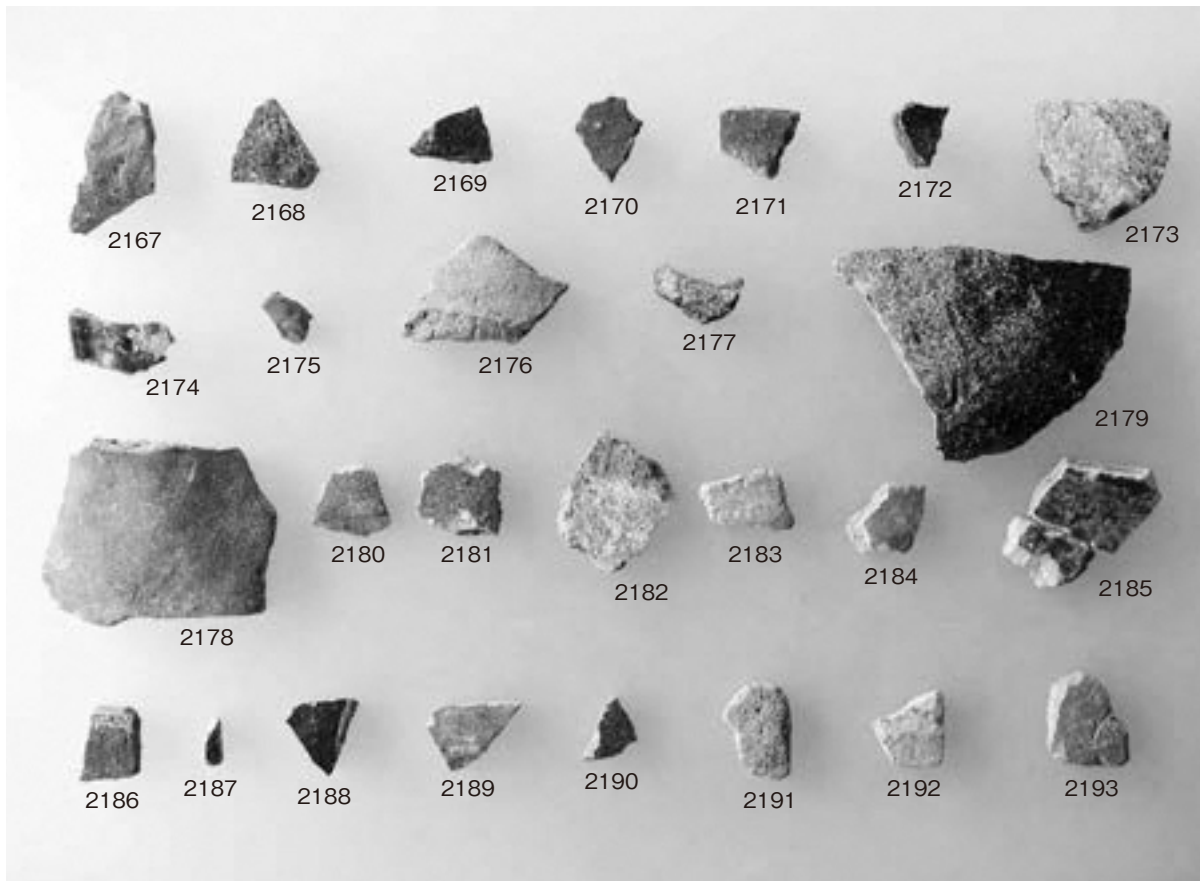
図版74 出土遺物 国産陶器（渥美）



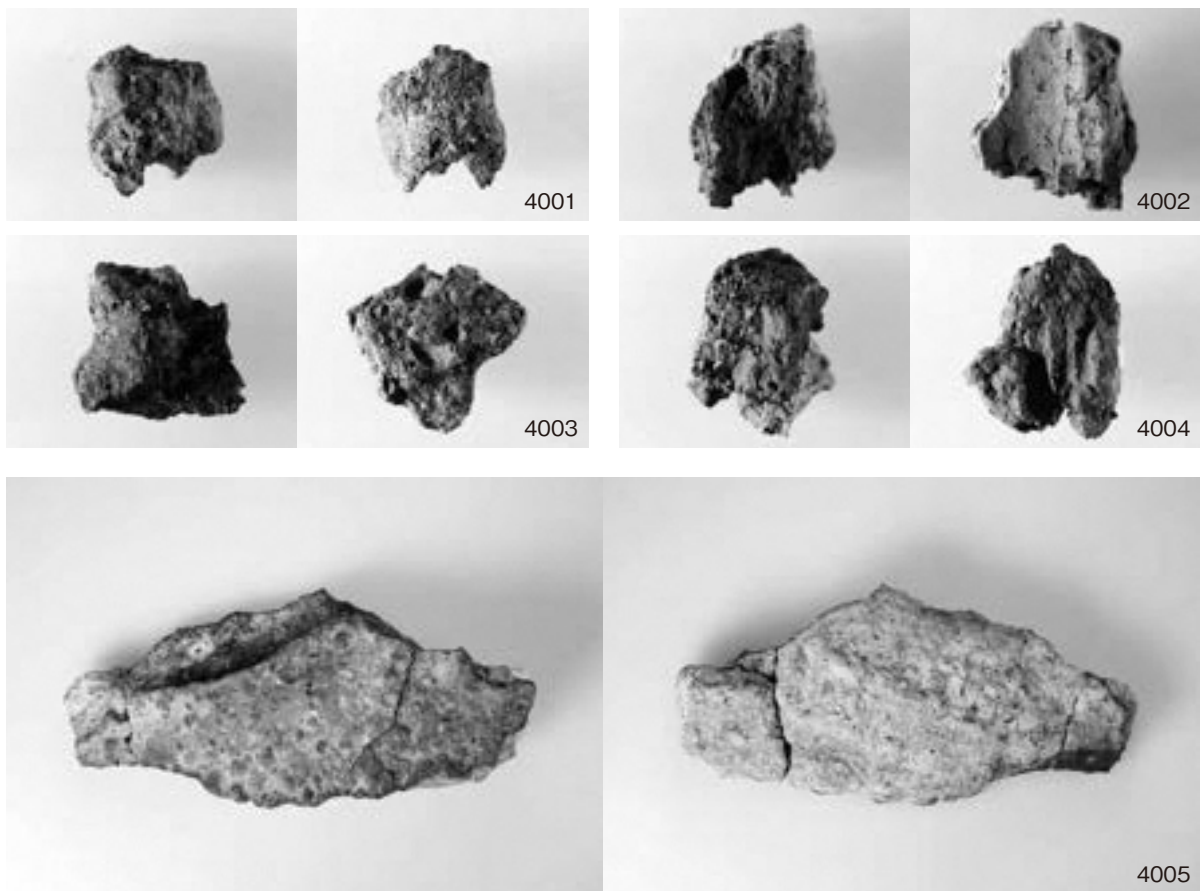
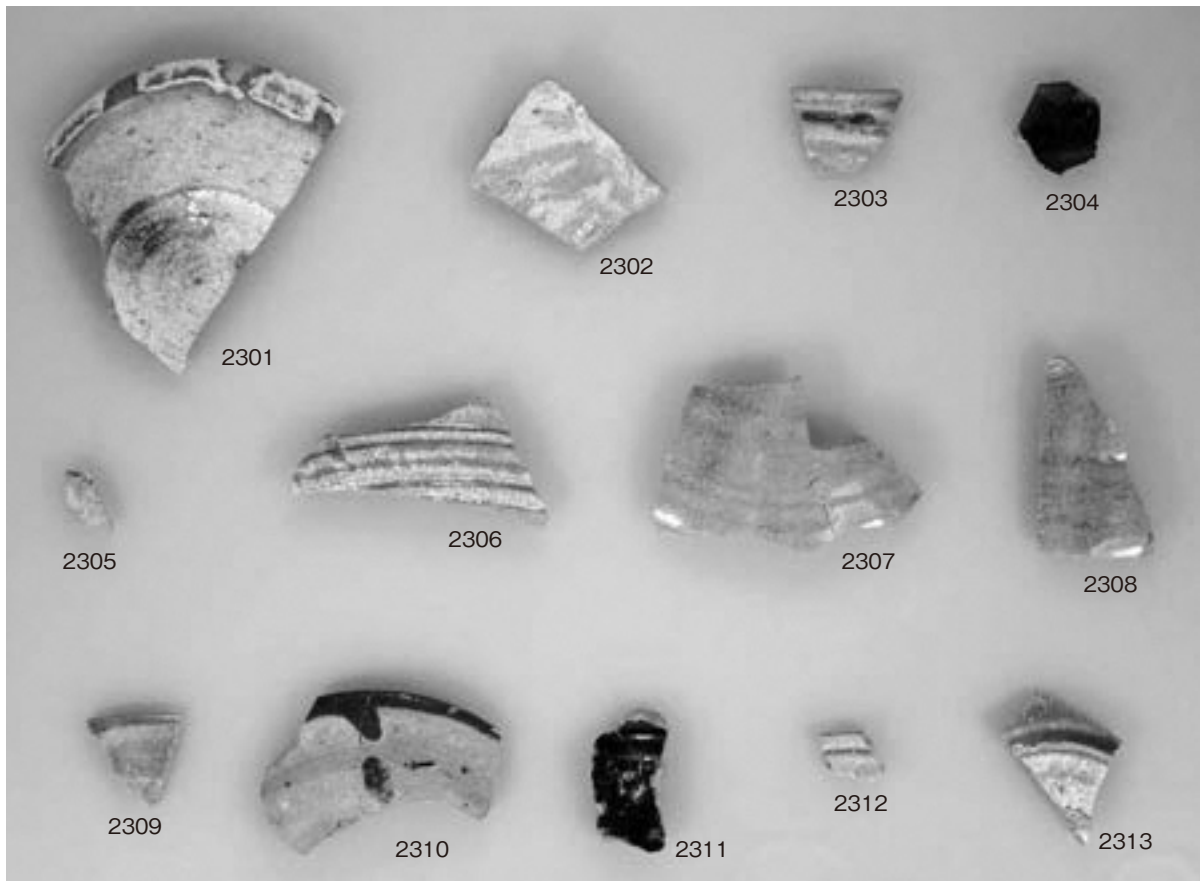
図版75 出土遺物 国産陶器（渥美・常滑）



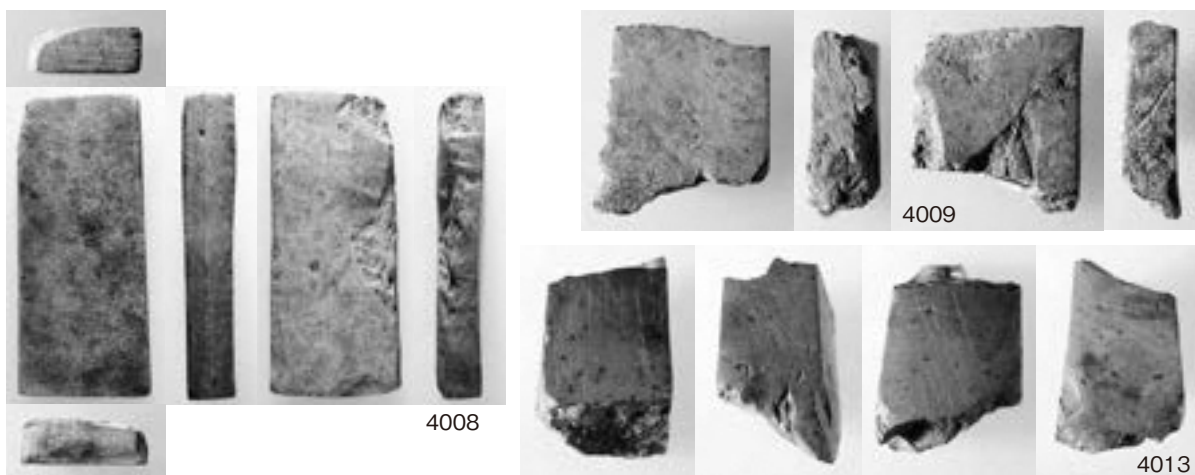
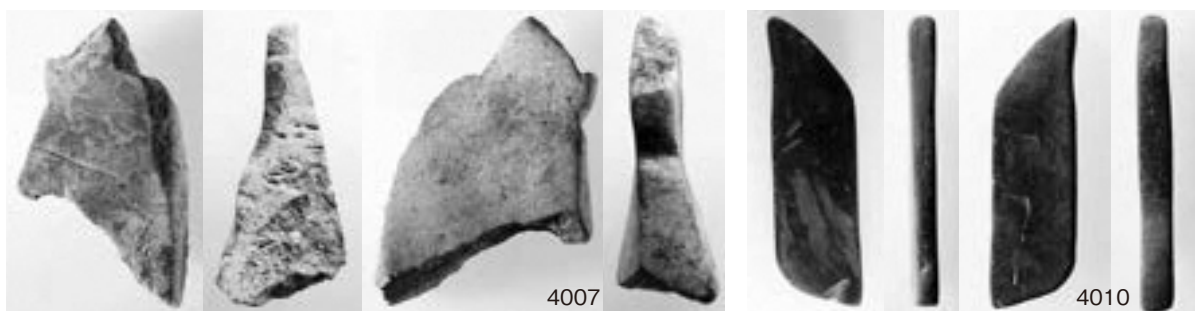
図版76 出土遺物 国産陶器（常滑）



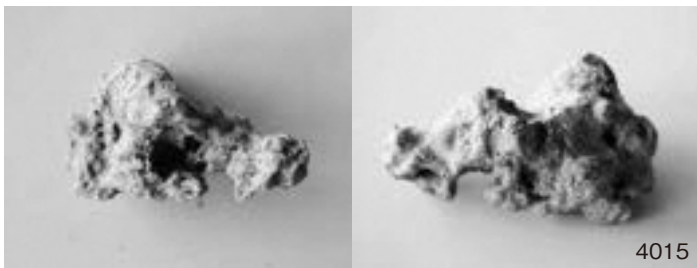
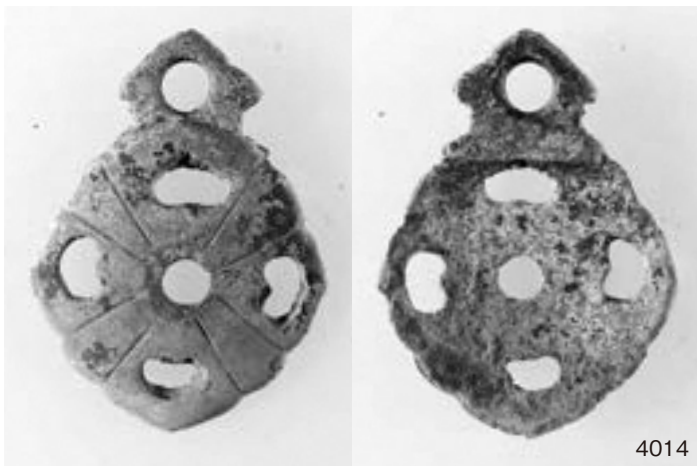
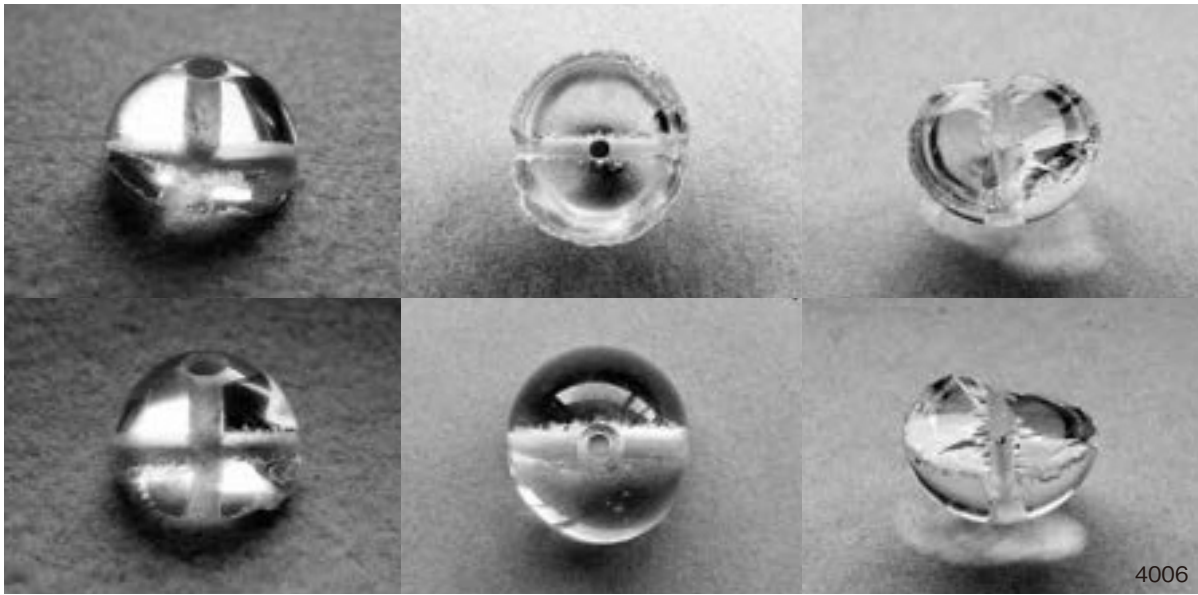
図版77 出土遺物 国産陶器（常滑・その他）



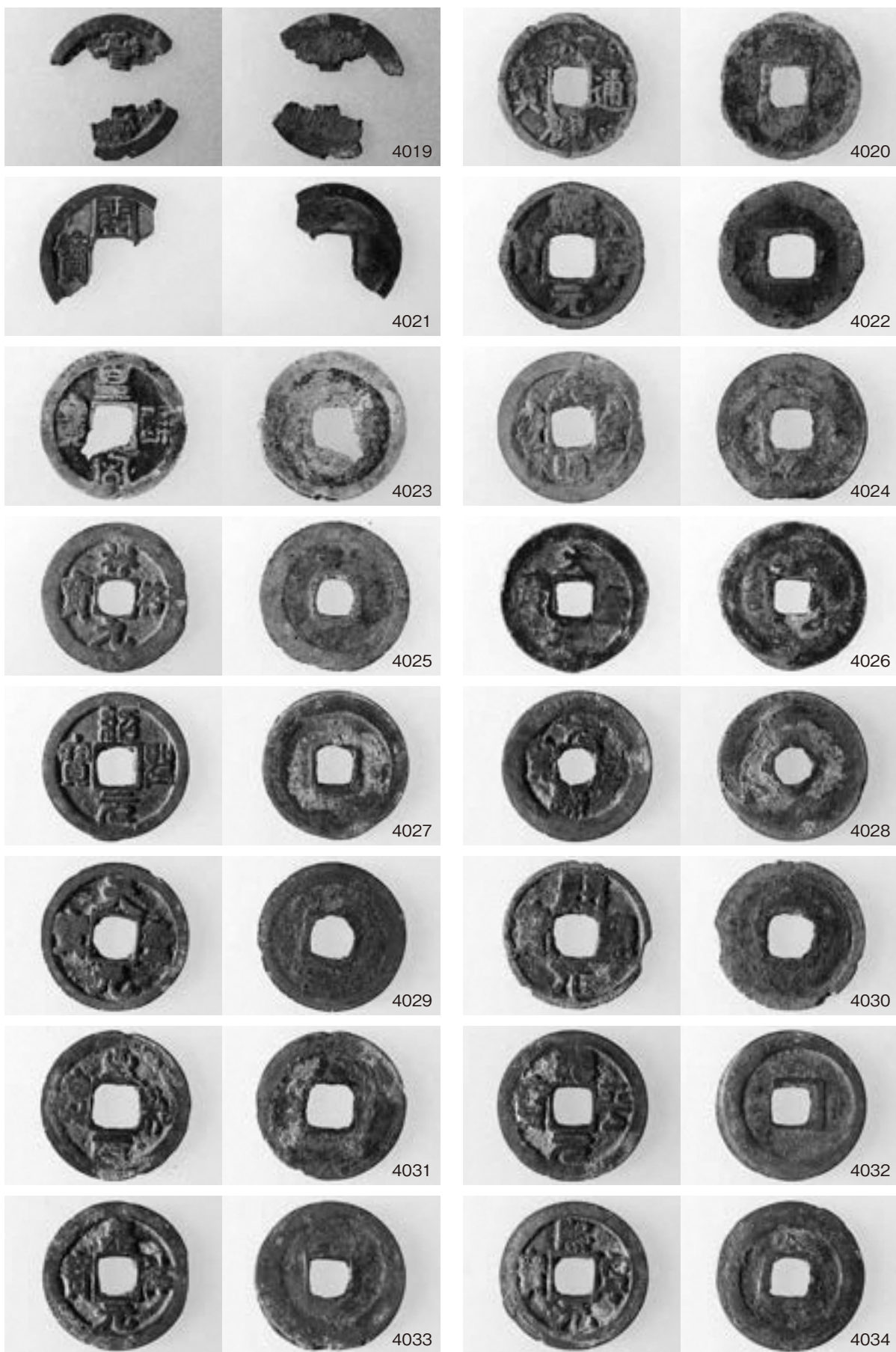
図版78 出土遺物 国産陶器（瀬戸）、土製品



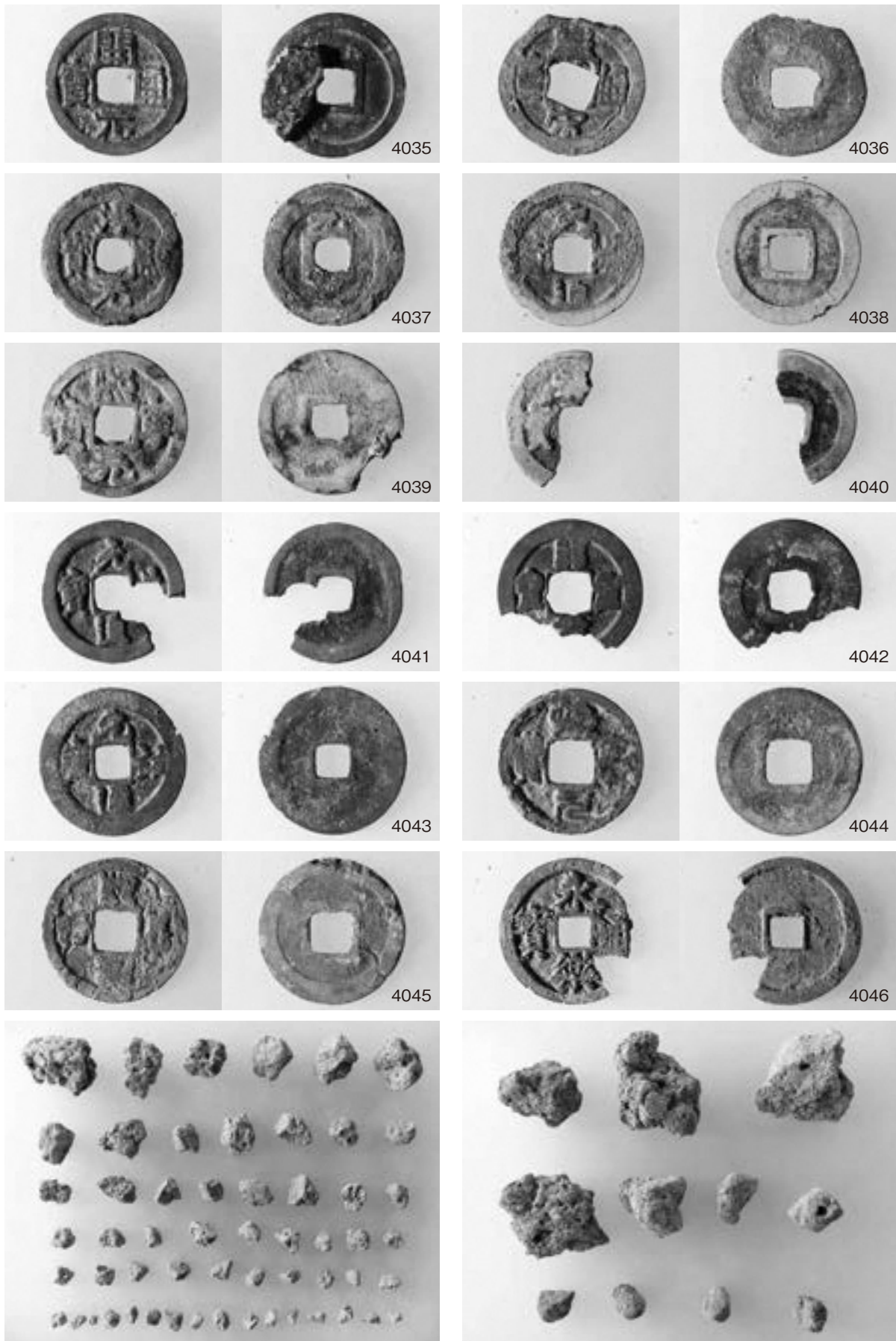
図版79 出土遺物 石製品



図版80 出土遺物 石製品、銅製品



図版81 出土遺物 銅製品（銭）



9・10SH200 焼土塊

14SE12 壁土

図版82 出土遺物 銅製品（銭）、その他

報告書抄録

ふりがな	しろとりたていせきだいくじからだいじゅうごじはっくつちようさほうこくしよ							
書名	白鳥館遺跡第9次～第15次発掘調査報告書							
副書名	遺構・遺物編							
巻次								
シリーズ名	岩手県奥州市埋蔵文化財調査報告書							
シリーズ番号	第32集							
編著者名	及川真紀							
編集機関	奥州市教育委員会 歴史遺産課 世界遺産登録推進室							
所在地	〒023-1192 岩手県奥州市江刺区大通り1番8号 TEL 0197-35-2111							
発行年月	西暦2017年（平成29年）3月31日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号	° ′ ″	° ′ ″			
しろとりたて 白鳥館	いわてけん 岩手県 おうしゅうしまさわく 奥州市前沢区 あざしろとりたて 字白鳥館・ うのきだなみあらい 鵜ノ木田・浪洗	03215	NE66-0254	39° 1′ 33″	141° 8′ 9″	第9次 20100601～20110331	602	範囲内容 確認調査
						第10次 20110516～20120331	673	
						第11次 20120501～20130331	977	
						第12次 20130601～20140331	764	
						第13次 20140417～20150331	699	
						第14次 20150415～20160331	330	
						第15次 20160502～20170331	71	
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
白鳥館	城館跡	弥生後期 古代(10c) 中世 (12c～15c)	竪穴住居跡（鍛冶遺構）、土坑跡 掘立柱建物跡、溝跡、井戸跡、かわらけ窯跡、鍛冶炉、焼成遺構、道路状遺構、粘土採掘遺構、土坑	弥生土器、石器 土師器、須恵器、灰釉陶器、鉄塊、鉄滓、鍛造剥片 かわらけ、国産陶器（渥美、常滑、珠洲、須恵器系、東濃系、在地）、貿易陶磁器（白磁、青磁、緑釉、褐釉）、ふいごの羽口、製鉄炉壁、数珠玉、砥石、銅金具、銅塊、火縄銃玉、銅金具、銭		遺跡南西の低地で、12～14世紀半ばごろにかけての鍛冶炉やかかわらけ窯などの手工業生産遺構群と、掘立建物跡や井戸跡、道路状遺構、粘土採掘遺構などを確認。12世紀から15世紀にかけての手工業生産遺構群を伴う北上川を介した流通拠点の遺跡と推定される。		

奥州市埋蔵文化財調査報告書第32集

国指定史跡

白鳥館遺跡第9次～第15次発掘調査報告書
－遺構・遺物編－

平成29年3月31日 発行

編集・発行

奥州市教育委員会

世界遺産登録推進室

岩手県奥州市江刺区大通り1番8号

TEL 0197-35-2111

印刷

川嶋印刷株式会社

岩手県西磐井郡平泉町平泉字佐野原21

TEL 0191-46-4161